

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

日本美術年鑑

平成 16 年版 (2003.1—12)

独立行政法人文化財研究所

東京文化財研究所

Independent Administrative Institution

NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES
TOKYO

13—43 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO

序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の一年間の動向を、基本となる資料を収集整理してまとめたもので、昭和 11(1936)年に当研究所美術部の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第一冊が刊行されました。この出版事業は、昭和 27(1952)年に美術研究所が東京国立文化財研究所になり、さらに平成 13(2001)年 4 月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められても変わることなく受けつがれ、今回は、その第 61 冊目となります。

この平成 16 年版は、平成 15 年(2003 年 1 月～12 月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目に分けて編集しています。これらの記述の方法は、創刊以来の基本的方針を継承していますが、美術界の活動が多様化し、博物館・美術館が増加した今日にあっては、各項目とも、調査・採録すべき事項が急増しているため、各項目の内容は厳選せざるを得ないのが現状です。そのため、平成 14 年には、情報の一層の精選をすすめるとともに、分類と内容を再精査して、一部構成を改めましたが、今回も、それを継承しました。

ところで、昨年度、当研究所美術部では、昭和 44 年に刊行した『日本東洋古美術文献目録』(昭和 11 年～40 年)の続編として、昭和 41 年から平成 12 年までの文献を収録編集した同題の目録を刊行することができました。いうまでもなく同日録に採録された文献のデータは、本年鑑の「古美術」文献が基礎となっています。したがって本年鑑編集の永年にわたる実績の成果と呼べるもので、斯界からの期待にこたえるものとして誇りに思います。また、こうした地道な活動が将来にわたって継続されなければならないと改めて確信した次第です。

ただ一方では美術界をめぐる近年の社会的、経済的な状況は、決して良好とはいえません。しかし、厳しい状況にあればこそ、社会における美術の果たす役割はより大きく、かつ、美術の価値はより高まってきていると考えます。こうした状況を正確に把握するためにも、本年鑑が一年間の美術界の動向を歴史として残すべきものとして、活用されることを願っています。

なお、この年鑑の編集には、美術部黒田記念近代現代美術研究室と同部日本東洋美術研究室とが当たり、情報調整室の協力を得ました。資料を提供して下さった多くの方々、国公私立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成 18 年 3 月

東京文化財研究所

所 長 鈴 木 規 夫

凡 例

- 1 本年鑑は、平成15(2003)年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を掲載した。
- 2 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 3 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。建築、写真、漫画、書はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。
- 4 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。
- 5 「美術展覧会」の欄は、平成12年版の年鑑より「企画展」「作家展」「団体展」の3つに分類し、展覧会名、作家名などの50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分を越えた展覧会が増加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、東洋古美術、及び近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、東洋古美術から現代までの作家を主題とした展覧会、および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される主要な公募を原則とする展覧会を指す。
- 6 「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録と展覧会ポスター等から得られるデータを補って作成した。データは、展覧会名、会期、会場の順に略記し、当該年末から翌年にかけて開催された場合は、翌年の年記を略した。展覧会名は、概ね50音順で記載した。巡回展は、展覧会関連記事のある会期と会場を掲載し、そのほかの巡回先を()内に列記した。同一展覧会でも展覧会関連記事があれば、言及された会期と会場を掲載している。展覧会が同時に複数会場で開催されている場合は、スラッシュで区切って列記した。
- 7 「美術文献目録」の欄は、平成12年版の年鑑より「定期刊行物所載文献」の分類を一部改めた。また、「美術展覧会図録所載文献」の項目を設け、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、項目の始めに凡例を付したので参照されたい。
- 8 本年鑑は、田中淳(美術部黒田記念近代現代美術研究室長)を編集主任とし、勝木言一郎(同部主任研究官)、塩谷純(同部主任研究官)、綿田稔(同部研究員)、小林未央子(同部研究補佐員)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については情報調整室の協力を得た。「物故者」記事の執筆にあたっては、津田徹英(同部広領域研究室長)、山梨絵美子(協力調整官-情報調整室長)、皿井舞(同室研究員)の協力を得るとともに、東京国立近代美術館研究員である、今井陽子、木田拓也、北村仁美、富田康子、増田玲、松本透、諸山正則の7氏にご協力いただいた。

なお、本年鑑の編集にあたっては、飛鳥川みつき、亀井愛、佐藤直子、三宮千佳、菅沼万里絵、高木瑞季、高橋景子、土橋那帆子、永田智世、宮田徹也の10君の献身的な編集補助を得たので、ここに記しておきたい。

目 次

序	i
凡 例	iii
目 次	iv
平成 15 年美術界年史	1
美術展覧会	7
企 画 展	7
作 家 展	27
団 体 展	46
美術文献目録	49
凡 例	49
定期刊行物所載文献	55
目 次	55
美術展覧会図録所載文献	271
企 画 展	271
作 家 展	281
物 故 者	293

平成15年美術界年史

1 月

○「大日蓮展」開催 立教開宗750年を記念して、日蓮諸宗の寺院に伝わる美術品等によって構成された展覧会が、1月15日より東京国立博物館で開催された。内容は、「第一章 日蓮聖人とその門弟」、「第二章 法華経の美術」、「第三章 外護者と信者」、「第四章 法華文化の精粹」の4部によって構成され、160件余の美術品等が出品され、これまであまり顧みられなかったこの宗門にまつわる中世から近世にわたる美術、文化を総合的に検証する展覧となった。(会期、2月23日まで。)

2 月

○「ダンス！ 20世紀初頭の美術と舞踏」展開催 パレエ・リュス、ノイエ・タンツなど、海外から紹介された新しい舞踏は、同時に新しい視覚的な身体イメージとして美術の分野にも少なからず影響を与えた。これを検証しようとする展覧会が、2月9日より栃木県立美術館で開催された。舞踏と美術の関係を顧みた企画としてユニークなものであり、内容は、「① 1910—20年代の美術家と舞踏」、「② 村山知義とニディー・インペコーフェン」、「③ 『シトゥルム木版画展覧会』と斎藤佳三の舞台美術」、「④ 久米民十郎と伊藤道郎の『鷹の井戸』」、「⑤ 石井漢と写真家たち」、「⑥ 1930年代—高田せい子と崔承喜」の6部によって構成され、油彩、水彩、素描、版画、写真等253点が出品されていた。(会期、3月23日まで。)

○第10回VOCA賞受賞者決定 具象、抽象の区別なく、絵画、平面表現に取り組む40歳以下の作家を対象とした「VOCA展2003」(同展実行委員会、財団法人日本美術協会、上野の森美術館主催)の最高賞であるVOCA賞は、津上みゆきの「View, Sep—Nov, 02」に決定した。奨励賞には、岩城直美、大谷有花、小野博、中ザワヒデキが選ばれた。なお展覧会は、3月14日から30日まで上野の森美術館で開催された。

○文化庁予算決まる 平成15年度の文化庁予算は、前

年度比1.9%増の133,300万円にすることが決まった。新規事業では、「文化交流使の派遣」、「ITによる国内外への発信」、「文化ボランティア活動推進事業」などが盛り込まれた。

3 月

○芸術選奨受賞者決定 芸術の分野で昨年一年間に優れた業績をあげた人々に贈られる芸術選奨の受賞者が、3月7日文化庁より発表された。美術関係では、彫刻家若林奮(67)(展覧会「若林奮展」)、美術史家榊原悟(54)(著作「美の架け橋—異国に遭わされた屏風たち」)が文部科学大臣賞、また建築家遠藤秀平(43)(建築「筑紫の丘斎場」)が文部科学大臣新人賞を受賞した。贈呈式は、3月13日に東京都内のホテルで行われた。

○国宝の答申 文化審議会(高階秀爾会長)は、3月20日、藤原定家自選歌集「拾遺愚草」上中下、自筆本(冷泉家時雨亭文庫)を国宝にするよう、遠山敦子文部科学大臣に答申した。また、葛飾北斎筆「紙本墨画日新除魔図」(坂本安子)、錦木清方筆「三遊亭円朝像」(東京国立近代美術館)、藤島武二筆「天平の面影」(石橋財団石橋美術館)、関根正二筆「信仰の悲しみ」(大原美術館)、小出楯重筆「Nの家族」(大原美術館)など、45件を重要文化財に指定するように答申した。あわせて近代建造物の保護を目的とした登録有形文化財(建造物)として、157件を登録するように求めた。

○第75回アカデミー賞長編アニメ部門賞受賞 宮崎駿監督のアニメーション映画「千と千尋の神隠し」が、長編アニメ部門賞を受賞したことが、3月23日に発表された。

○出光美術館(大阪)閉館 大阪市中央区にある出光美術館が、運営の母体である出光興産のリストラ策の一環から、3月23日をもって閉館した。同美術館は、大阪心斎橋の出光興産ビルの13階に設けられた施設で、平成元年11月に開館、これまでに72回の展覧会を開催してきた。

○第10回日本文化芸術振興賞受賞者決定 日本の伝統文化や現代芸術の分野での優秀な人材の顕彰と育成を目的にした同賞(財団法人日本文化芸術財団主催)の第10回の受賞者が決定した。同賞の日本現代芸術振興

賞には、荒川修作(67)とマドリン・ギンズ(62)、奨励賞には和紙デザイナー堀木エリ子(41)が選ばれた。3月24日、授賞式が元赤坂の明治記念館で行なわれた。

- 「西本願寺」展開催 浄土真宗の宗祖親鸞の木像を安置した西本願寺御影堂の修復工事業を記念した展覧会が、3月25日より東京国立博物館で開催された。内容は、「一 飛雲閣と諸殿の障壁画」、「二 親鸞聖人の肖像と筆跡」、「三 親鸞聖人の生涯と信仰」、「四 本願寺の草創と歴史」、「五 東国の真宗文化」、「六 名筆と唐物」、「七 本願寺本三十六人家集」、「八 慕婦絵」、「九 御影堂の修復」の9部からなり、国宝「親鸞聖人影像(鏡御影)」、「本願寺本三十六人家集」を含む、同寺所蔵の文化財120件余を、一同に東京において紹介する初めての機会となった。(会期、5月5日まで。)

- 青木繁と近代日本のロマンティズム展開催 青木繁の芸術を今日的な視点から回顧しようとした展覧会が、3月25日より東京国立近代美術館で開催された。内容は、「Ⅰ. 神話的渾沌から」、「Ⅱ. 海のフォークロア」、「Ⅲ. 生命礼賛」、「Ⅳ. 恋愛あるいは永遠の女性」、「Ⅴ. 古代の発見」、「Ⅵ. 望郷あるいは晩婦」の6章からなり、青木繁の芸術が投げかけた問題を共有するかとおもわれる、萬鉄五郎、村上華岳など近代日本の作家19人の作品もあわせて展示され、近代日本の底流を問い直そうとする意欲的な試みとなった。(会期、5月11日まで。以後、石橋財団石橋美術館に巡回。)

- 日本芸術院賞受賞者決定 日本芸術院(犬丸直院長)は、3月28日、芸術の分野で顕著な功績のあった人に贈る平成14年度の日本芸術院賞受賞者を決定した。恩賜賞・日本芸術院賞の第1部(美術)受賞者には、日本画家岩倉寿(66)(日展出品作「南の窓」に対して)、洋画家塗師祥一郎(70)(日展出品作「春を待つ山間」に対して)、彫刻家澄川喜一(71)(新制作展出品作「そのあるかたち2002」に対して)、工芸家大角勲(62)(日展出品作「天地守道(生)」に対して)、書家井茂圭洞(66)(日展出品作「清流」に対して)、建築家栗生明(55)(平等院宝物館の建築設計に対して)が選ばれた。授賞式は、6月2日に東京・上野の日本芸術院会館で行なわれた。

4 月

- 「空海と高野山」展開催 弘法大師空海が、入唐留学して1,200年を記念して、金剛峯寺をはじめ高野山内の諸寺の文化財を展示する展覧会が、京都国立博物館で4月15日より開催された。内容は、「第一章 空海と高野山の歴史」、「第二章 空海の実想と密教のかた

ち」、「第三章 信仰の重なりとその美術」、「第四章 山の正倉院」、「第五章 近世の高野山」の5部から構成されていた。出品されたのは国宝21件、重要文化財103件を中心とする160件であり、真言密教の霊場高野山の古代から近世美術までの全容を紹介する機会となった。(会期、5月25日まで。以後、愛知県美術館、東京国立博物館、和歌山県立博物館を巡回。)

- 第28回木村伊兵衛賞受賞者決定 故木村伊兵衛の業績を記念して朝日新聞社が、昭和50年に創設した同賞は、オノデラユキ写真集『カメラメラ』(水声社)、佐内正史写真集『MAP』(佐内正史事務所)の2氏に決定した。授賞式は、4月17日に行い、受賞作品展を4月15日よりミノルタフォトスペース新宿で開催した。

- 建造物の重要文化財指定の答申 文化審議会(高階秀爾会長)は、3月18日、「東京駅丸ノ内本屋」(東京都千代田区)など8件の建造物を重要文化財に指定するように遠山敦子文部科学大臣に答申した。これにより、建造物の重要文化財は、2,238件・3,806棟(国宝を含む)となった。

- 第40回記念朝日陶芸展開催 陶芸の公募展である同展覧会が、4月19日より目黒区美術館で開催された。659点の応募から入賞10点と入選99点選ばれ、グランプリには泉田之也(36)「溝」、40回記念賞には金正逸(37)「かなたへと向かっていくかたちⅡ」が選ばれた。(会期、6月15日まで。以後、陶芸メッセ・益子を巡回。)

- 第22回土門拳賞受賞者決定 昨年一年間に作品を発表したプロ、アマを問わない写真家を対象とする同賞(毎日新聞社主催)の第22回の受賞者に、『写真記録パレスチナ』(日本図書センター)を出版した広河隆一(60)が決定した。同賞受賞作品展が、銀座二コンソロンで4月28日から5月17日まで開催された。

- 春の褒章受章者 政府は春の褒章の受章者810人を4月28日付けで発表した。美術関係の紫綬褒章受章者は、絵本作家佐野洋子(64)、版画家野田哲也(63)、漆芸作家山口松太(63)。

5 月

- 史跡・名勝の指定と登録有形文化財 文化審議会(高階秀爾会長)は、5月16日、12件の史跡、名勝の指定と、「十和田ホテル本館」(秋田県小坂町)など148件の建造物を登録有形文化財とするよう、遠山敦子文部科学大臣に答申した。

6 月

- 「鎌倉一禅の源流」展開催 建長寺創建750年を記念して、同寺をはじめ鎌倉を中心とした禅宗文化を紹介する展覧会が、6月3日より東京国立博物館で開催された。内容は、「第一章 鎌倉武士と禅」、「第二章 中国との往来」、「第三章 鎌倉ゆかりの絵画」、「第四章 中国風文化の隆盛」の4部からなり、茶道、能、生花などの芸術に洗練されていた京都の禅文化とは異なり、禅宗の源流の地である鎌倉の寺院内で継承されてきた文化財150件余が展覧された。(会期、7月13日まで。)
- 「地平線の夢—昭和10年代の幻想絵画」 地平線をキーワードとして、時代の閉塞感を背景に理想郷への憧憬を表現した作品によって構成された展覧会が、6月3日より東京国立近代美術館で開催された。内容は、「第1章 物語る絵画」、「第2章 古代への憧憬」、「第3章 大陸の蟹気楼」、「第4章 画学生たちの心象風景」の4部からなり、79点が出品され、これまで同時代の「幻想絵画」をシュルレアリスムの影響のみで語ろうとしていたことに対して、異なった切り口をみせ、新鮮な印象をあたえた展示となった。(会期、7月21日まで。)
- 人間国宝指定 文化審議会(高階秀爾会長)は、6月20日、10人を重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するように遠山敦子文部科学大臣に答申した。「工芸技術の部」では、無名異焼の五代伊藤赤水(61、本名伊藤窯一)、献上博多織の小川規三郎(66)、木工芸の村山明(59)、竹工芸の五代早川尚古斎(71、本名早川修平)が選ばれた。これにより、現在の人間国宝は、116人となった。
- 第33回中原悌二郎賞受賞者決定 彫刻家中原悌二郎を記念した同賞(北海道旭川市主催)の受賞者に、舟越桂(52)「水の山」が決定した。また優秀賞には、青木野枝(44)「玉鋼—Ⅲ」、多和圭三(51)「沼」が選ばれた。授賞式は、10月4日に同市内で行なわれた。

7 月

- 新潟県立万代島美術館開館 7月12日、新潟県新潟市に同美術館が開館した。信濃川河口に建設された31階建ての複合ビル「万代島ビル」の5階に、展示室1,400平方メートルの施設として設けられた。新潟県立近代美術館(長岡市)の分館として、収蔵品を共有しながら、おもに1945年以降の作品を企画展示していくことになった。開館記念展は、国内作家11人の作品によって構成された「絵画の現在」が開催された。

(会期、8月17日まで。)

- 「もうひとつの明治美術」展開催 明治期の洋画の再検討を促す試みの展覧会が、7月19日より静岡県立美術館で開催された。副題に「明治美術会から太平洋画会へ」とあるように、これまで黒田清輝が指導する東京美術学校西洋画科とは異なる明治洋画の系譜をたどろうとするもので、内容は「第1章 明治洋画の胎動」、「第2章 明治美術会の創立」、「第3章 太平洋画会の創立と展開」、「第4章 水彩画の時代」、「第5章 日本近代彫刻と太平洋画会」の5部からなり、資料を含め250点余が出品された。(会期、8月24日まで。以後、府中市美術館、長野県信濃美術館、岡山県立美術館を巡回。)
- 第2回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2003開催 新潟県十日町市を中心とする6市町村で、7月20日より同展が開催された。今回は、152人の作家が選出され、公募の5人を加えた157人が出品した。「人間は自然に内包される」という基本理念のもと、地域と自然と人間の調和を目指した作品が数多く出品された。(会期、9月7日まで。)

8 月

- 第11回本郷新賞受賞者決定 過去2年間に公共空間・建築に設置された彫刻から選ぶ第11回の同賞(財団法人札幌彫刻美術館主催)が、土屋公雄(48)「時の知層」(大阪府和泉市・和泉シティプラザのエントランス広場に設置)に決定した。8月29日に同美術館で贈呈式が行なわれ、30日より受賞記念「土屋公雄彫刻展」が、10月13日まで同美術館で開催された。

9 月

- 「円山応挙 <写生画>創造への挑戦」展開催 円山応挙の芸術を初期作品から晩年の作品まで網羅した展覧会が、9月13日より大阪市立美術館で開催された。内容は、「実の写生」、「気の写生」、「虚の写生」、「虚実一体空間」、「伝統描法による作品・からくりのある絵・資料」の5部からなり、国宝「雪松図」、重要文化財14件を含む120件が出品され、円山応挙の「写生」の意味と表現を今日的な視点から再検討する展覧となった。(会期、10月26日まで。以後、福島県立美術館、江戸東京博物館を巡回。)
- 登録有形文化財の答申 文化審議会(高階秀爾会長)は、9月19日、明治村北里研究所本館(大正4年建築、愛知県犬山市)をはじめとする建造物134件を登録有形文化財にするよう、遠山敦子文部科学大臣に答申した。これにより建造物の登録有形文化財は、累計

3,729件となった。

- 第21回平櫛田中賞受賞者決定 彫刻家平櫛田中の百寿を記念して、国内の彫刻界の振興を目的に設立された同賞(岡山県井原市主催)の第21回の受賞者に、鮎内佐斗司(50)が決定した。9月25日、東京で授賞式が行なわれ、9月24日から30日まで日本橋高島屋で受賞記念展が開催された。

10 月

- 「肉体のシュルレアリスム 舞踏家土方巽抄」展開催 現代舞踏のなかでユニークな位置を占め、舞踏界のみならず同時代の美術家、写真家、文学者等に刺激を与えつづけた土方巽(1928～1986)の残したドキュメントを展示した展覧会が、10月11日より川崎市岡本太郎美術館で開催された。会場では、土方と関連した美術作品とともに、写真、自筆原稿、舞踏譜、舞台美術、ポスター、資料等が展示され、あわせて当時の映像とともに、舞踏の公開レッスンやパフォーマンスが上演され、「舞踏」創造の跡を検証しようと試みられた。(会期、平成16年1月12日まで。)
- 神奈川県立近代美術館・葉山館開館 10月11日、神奈川県立近代美術館の本館となる葉山館が開館した。施設は、地上2階、地下2階、延床面積は7,111平方メートル、4室ある展示室の総面積は1,297平方メートル。鎌倉館にはなかった図書室、講堂、ミュージアムショップ、レストラン等が設けられた。民間の資金、経営ノウハウを活用することを目的に、国内の美術館として初めてPFI(プライヴェート・ファイナンス・イニシアチブ)方式がとられ、施設の建設、維持管理、運営などの事業に民間会社があたった。開館記念展として、収蔵品170点で構成された「もうひとつの現代」展が開催された。(会期、平成16年1月25日まで。)
- 「浮世絵 大武者絵展」開催 浮世絵版画における近世初期から明治期までの武者絵に焦点をあて、その展開をたどろうとする展覧会が、10月11日から町田市立国際版画美術館にて開催された。内容は、「第一部 浮世絵武者絵の流れ」、「第二部 太閤記の世界」の2部構成で、特に第一部では、元禄時代の墨摺り浮世絵から明治期までの武者絵360余点によって回顧しており、初めての試みとして注目された。また第二部でも江戸時代には禁制であった「太閤記」を主題にしながら、その表現の変容を80余点の作品によってたどろうとする意欲的な試みであった。(会期、11月24日まで。)なお、同年4月8日から、「武者絵 江戸の英雄大図鑑」展が渋谷区立松濤美術館で開催され、同展は、義経、弁慶、曾我兄弟等を題材にした武者絵、錦絵、絵馬、風絵などによって構成され、同じテーマな

がら前記展覧会とは異なった試みをしていた。(会期、5月18日まで。)

- 建造物の重要文化財指定 文化審議会(高階秀爾会長)は、10月17日、旧日光田母沢御用邸(栃木県日光市)をはじめ14件を重要文化財に指定しよう河村建夫文部科学大臣に答申した。これにより、国宝を含む建造物の重要文化財は2,250件(3,844棟)となった。
- 森美術館開館 東京都港区の複合総合施設六本木ヒルズ内に、同美術館が、10月18日に開館した。美術館は、53階建ての高層ビルの52、53階に設けられ、総床面積7,284平方メートル、ギャラリー総面積2,875平方メートル。開館記念展として、「ハピネス：アートにみる幸福への鍵」展を開催した。(会期、平成16年1月18日まで。)
- 第13回吉田秀和賞受賞者決定 芸術の評論を対象にした第13回の同賞(吉田秀和芸術振興基金主催)の受賞者が、10月21日、岡田温司『モランディとその時代』(人文書院)に決定した。授賞式は、11月22日、水戸市の水戸芸術館で行なわれた。
- 第15回世界文化賞 世界の優れた芸術家に贈られる高松宮殿下記念世界文化賞(総裁、常陸宮殿下、日本美術協会主催)の第15回授賞式が、10月23日、東京、元赤坂の明治記念館で行なわれた。美術関係の受賞者は、絵画部門ではブリジット・ライリー(72、イギリス)、彫刻部門ではマリオ・メルツ(78、イタリア)、建築部門ではレム・コールハース(58、オランダ)が選ばれた。
- 第15回国華賞受賞者決定 日本及び東洋の美術をテーマにした研究論文を対象に創設された同賞(同賞顕彰基金主催)受賞者が公表された。國華賞には、安藤佳香『仏教莊嚴の研究—グプタ式唐草の東伝—』(中央公論美術出版)が、同奨励賞には、猪熊兼樹『春日大社蔵『沃懸地螺鈿毛抜形太刀』の意匠に関する考察』(『仏教芸術』266号、平成15年1月)が選ばれた。贈呈式が、10月23日に朝日新聞社東京本社で開催された。
- 文化勲章、文化功労者決定 政府は、10月28日、平成15年度の文化勲章受章者5人と文化功労者15人を発表した。美術関係では、日本画家加山又造(76)が文化勲章を受章。また、建築家安藤忠雄(62)、写真家田沼武能(74)が文化功労者に選ばれた。

11 月

- 秋の褒章受章者 政府は、11月2日付けで秋の褒章受章者846人と5団体を発表した。美術関係では、紫綬褒章に、版画家中林忠良(66)、劇画家さいとう・たかを(67、本名斎藤隆夫)、写真家富山治夫(68)、木工芸作家中川清司(61)、美術家荒川修作(67)、美術史家

若桑みどり(67)が選ばれた。

- 第25回サントリー学芸賞受賞者決定 サントリー文化財団主催の同賞の受賞者が、11月6日に発表された。「芸術・文学部門」では、飯島洋一(多摩美術大学助教授)『現代建築・アウシュヴィッツ以後』(青土社)、宮崎法子(実践女子大学教授)『花鳥・山水画を読み解く—中国絵画の意味』(角川書店)が選出された。贈呈式は、12月10日、東京・丸の内の東京会館で行なわれた。
- 「大見世物」展開催 江戸時代後期から明治初期にかけて、浅草をはじめとする庶民の盛り場において、興行としておこなわれた見世物を見なおそうとするユニークな展覧会が、11月1日からたばこと塩の博物館で開催された。内容は、「浅草と両国—見世物の空間」、「籠細工」、「生人形」、「菊細工」、「細工見世物の世界」、「軽業・曲芸」、「動物見世物」等、刷り物だけではなく、一部その再現をしながら展示し、260余点によって幅広く当時の庶民文化を検証する試みとなった。(会期、12月14日まで。)
- 登録有形文化財の答申 文化審議会(高階秀爾会長)は、11月21日、明治村帝国ホテル中央玄関(愛知県犬山市)をはじめとする170件の建造物を登録有形文化財に新たに登録するよう、河村健夫文部科学大臣に答申した。これにより登録累計は、3,899件となった。
- 第24回ジャポニズム学会賞受賞者決定 ジャポニズム学会(高階秀爾会長)は、第24回の同会賞を美術史家松村恵理『壁紙のジャポニズム』(思文閣出版)に決定した。授賞式は、11月22日、東京・恵比寿の東京都写真美術館で行なわれた。
- 第9回重森弘淹写真評論賞受賞者決定 国内で唯一の

写真評論賞で、写真評論家重森弘淹の業績を称えて設立された同賞(重森弘淹顕彰会)の第9回の受賞者に、今橋映子『＜パリ写真＞の世紀』(白水社)が決定した。授賞式は、11月23日、東京総合写真専門学校で行なわれた。

12 月

- 日本芸術院新会員決定 日本芸術院(犬丸直院長)は、12月1日、新会員9人を発表した。第一部(美術)では、洋画家塗師祥一郎(71)、陶芸家今井政之(72)。現在の定員120人に対して、今回の補充により会員数は112人となった。
- 日本学士院新会員決定 日本学士院(長倉三郎院長)は、12月12日、会員の補充選挙を行ない新会員6人を選定したことを発表した。会員は学術上優れた業績を上げた研究者が選ばれ、第一部人文科学では、狩野派障屏画の独創的研究による成果を上げた美術史家武田恒夫(78)が選出された。今回の補充で、会員は139人(定員150人)となった。
- 第15回倫雅美術奨励賞受賞者決定 新鋭の美術評論家や美術史家を顕彰する倫雅美術奨励賞(同基金主催)の第15回目の受賞者が決定した。「美術評論部門」では、小沢節子『「原爆の図」描かれた＜記憶＞、語られた＜絵＞』(岩波書店)、「美術史研究部門」では木村理恵子(栃木県立美術館)「ダンス! 20世紀初頭のアートと舞踏」展の企画及びカタログ内の論文が対象となった。授賞式は、12月1日、東京・赤坂プリンスホテルで行なわれた。

美術展覧会

企画展

(ア)

アート・ウォッチングpart2 感覚
遊園地探検 6.28—8.31 宮城県
美術館

アート オブ スター・ウォーズ展
EPISODE IV, V, VI + α
6.24—8.31 京都国立博物館
美術フォーラム21 9 ジャク
リーヌ・ベルント
朝日 6.26 森本俊司
朝日 8.28 大西若人

「アート・スコープ」の12年—アー
ティスト・イン・レジデンスを読
み解く 10.11—11.24 原美術館
新美術新聞 1008 (美)
朝日夕刊 11.11 大西若人

アートでZOO 7.19—9.7 秋田県
立近代美術館
ARK 37 保泉充/佐々木直子

ART FASHION—20世紀のモード史
を綴るファッション・イラスト展
3.21—4.20 パルコミュージアム
毎日 3.20 深井晃子 談

アートフィールド2003 7.6—11.2
小牧市、春日井市各所
新美術新聞 996 (林)

アートみやぎ2003 1.28—3.23 宮
城県美術館

アート未来展8回 4.23—5.7 東
京都美術館
美術の窓 238 切刀知子

art—Link上野—谷中2003 9.27—
10.13 上野、谷中、根津、千駄
木
新美術新聞 1004 西澤美子

アール・デコ様式 朝香宮がみたバ
リ 東京都庭園美術館開館20周年
記念 10.1—2.1 東京都庭園美
術館
美術手帖 843 池上ちかこ

アイ・ガット・アンツ・イン・マ
イ・パンツ展 7.18—8.23
GALLERY SIDE 2
美術手帖 840 平野千枝子

アイヌからのメッセージ ものづく
りと心 7.19—8.31 徳島県立博
物館(旭川市博物館、国立民族学
博物館)

藍の諸相 紺—織りの文様表現
10.2—11.24 姫路市書写の里・
美術工芸館

Outspoken Glass 遠慮のないガラ
ス—今日の日本から 2.5—3.23
北海道立近代美術館(岡山県立美
術館)

東又窯〜アガリヌカマ 新垣家住宅
重要文化財指定記念 11.1—
11.30 那覇市立壺屋焼物博物館

明るい窓：風景表現の近代 2.1—
3.30 横浜美術館
美術手帖 833 松浦寿夫
朝日夕刊 2.20 北澤憲昭
朝日夕刊 3.13 神谷幸江
読売夕刊 2.13 (前)

安芸吉川氏とその文化 今よみがえ
る戦国時代の新たな歴史像
10.10—11.9 広島県立歴史博物
館

芥川龍之介と菊池寛・久米正雄
9.27—11.30 山梨県立文学館

アサヒ・アート・フェスティバル
2003 6.13—7.24 アサヒビール
(株)本社周辺を中心に全国各地
新美術新聞 995 (常)

アジアの世紀のはじまりに PART
III 4.2—4.20 海岸通ギャラ
リー・CASO
美術手帖 835 古川誠

アジアの華—台湾・インドネシアの
染織— 9.13—12.7 静岡市立芦
沢銑介美術館

飛鳥の苑池 9.20—9.28 奈良県立
橿原考古学研究所附属博物館

飛鳥—藤原京展 帰還展 4.22—
6.1 奈良文化財研究所飛鳥資料
館

明日の白日会展14回 7.23—7.29
松屋(銀座)
新美術新聞 1002 高岡忠雄

遊びのかたち展：ヨーロッパの木製
玩具 ネフコレクション 5.12—
6.7 武蔵野美術大学美術資料図
書館
芸術新潮 643
美術手帖 836 染谷比呂子

遊べや遊べ！子ども浮世絵展—歌麿
や広重も描いた江戸の子宝—
4.12—5.11 山口県立萩美術館・
浦上記念館(香川県歴史博物館、
京都文化博物館、いわき市立博物
館、太田記念美術館)

新しい国民のたから 文化庁買上美
術品展覧会 7.1—8.10 東京国
立博物館
文化財(月刊) 477 文化庁美術
学芸課

あつぎの遺跡展 「遙かなる歴史—
古墳」—古代人の権威の象徴—
2.22—3.2 厚木市立玉川公民館

あなたと私の物語展 7.29—8.24
multiple choice
美術手帖 840 能勢陽子

あなたの選んだ古美術展 館藏品に
よる 4.26—7.6 板橋区立美術
館

アフガニスタンそしてイラク 流出
文化財を守れ〜平山郁夫からの緊
急アピール〜 8.12—8.24 三越
(日本橋)
朝日夕刊 8.11 前田たつひこ

アフリカのストリートアート 7.4
—8.3 福井県立美術館(川崎市岡
本太郎美術館、福岡市博物館)

アフリカ美術展 わきあがるかたち
仮面・染織からストリートアート
まで 4.29—6.22 広島県立美術
館

安倍晴明と陰陽道展 9.13—10.19
郡山市立美術館

アボリジニ現代美術展 精霊たちの
ふるさと 10.1—10.11 ヒルサ
イドフォーラム
毎日 10.8 木村葉子
読売夕刊 10.2 松本良一

天地耕作、まで 3.4—3.22 静岡
文化芸術大学ギャラリー
静岡文化芸術大学研究紀要 4
尾野正晴
天野の歴史と芸能 丹生都比売神社
と天野の名宝 10.11—11.24 和
歌山県立博物館
雨引の里と彫刻展5回 8.23—11.3
茨城県真壁郡大和村
新美術新聞 1003 (千)
毎日夕刊 7.31
毎日夕刊 8.29 佐藤由紀
アメリカから来た日本展 クラーク
財団日本美術コレクション 1.4
—2.2 千葉市美術館
朝日夕刊 1.24 山盛英司
アモータル・サスペンション—飛び
かう光のメッセージ 11.1—
11.24 山口情報芸術センター
美術手帖 843 白坂ゆり
あやかし
妖と艶〜幕末の情念〜江戸文化シ
リーズ19 11.29—12.28 板橋区
立美術館
朝日夕刊 12.20 大西若人
東京 12.18 (青)
あるサラリーマン・コレクションの
軌跡展 戦後日本美術の場所
7.11—9.21 周南市美術館
(福井県立美術館)
版画芸術 122 秋田インタ
ビュー・構成
朝日 9.3 山本克哉
毎日夕刊 9.2 米本浩二
あるサラリーマン・コレクションの
軌跡展 戦後日本美術の場所
12.13—2.1 三鷹市美術館
STUDIO VOICE 338
読売夕刊 12.20 芥川喜好
アレクサンドロス大王と東西文明の
交流展 8.5—10.5 東京国立博
物館(兵庫県立美術館)
国立博物館ニュース 661 後藤
健
朝日夕刊 9.13 宮代栄一
東京 8.28 (青)
日経 8.15
読売夕刊 7.31、8.18〜22 片岡
正人
読売夕刊 9.8 森谷公俊

阿波の人形師と人形浄瑠璃芝居
7.19—8.24 徳島市立徳島城博物
館
神々と王の饗宴—アンコール・ワッ
ト拓本展 7.19—8.31 古代オリ
エント博物館
読売夕刊 8.8 飯田祐子

(イ)

E.A.T.—芸術と技術の実験 4.11—
6.29 NTTインターコミュニ
ケーション・センター[ICC]
STUDIO VOICE 330 野々村文
宏
デザインの現場 128
美術手帖 836 高島直之
朝日夕刊 6.5 神谷幸江
朝日夕刊 6.19 田中三蔵
毎日夕刊 4.22 三田晴夫
読売夕刊 5.22 菅原教夫
井伊家伝来の茶道具—薄茶器—
5.16—6.17 彦根城博物館
井伊家歴代の肖像 8.23—9.16 彦
根城博物館
井伊の赤備え—彦根藩の甲冑—
10.25—11.24 彦根城博物館
イエノカタチ展 12.9—12.18
ギャラリープランネット
10+1 (Ten Plus One) 34 小林
聖明/真野巖
家へおいでよ トラベリング・エキ
シビション 2.28—3.2 三田村
光土里邸
美術手帖 835 原田環
いしかわの歌仙絵馬 4.19—5.25
石川県立歴史博物館
『伊勢物語』とその文化 4.3—6.1
大阪青山歴史文学博物館
一関藩の武士たち—旧沼田家武家住
宅公開記念— 4.26—6.15 一関
市博物館
一創会展25回 1.23—1.29 東京都
美術館
美術の窓 236 切刀知子
伊藤伊兵衛と江戸園芸 10.8—
11.30 豊島区立郷土資料館
いととぬの こどもとおとなの美術
入門 7.19—9.15 群馬県立近代
美術館

伊都国の国際交流—「さあ、伊都国
へ…」— 10.21—12.21 伊都国
歴史博物館
井上・幸高遺跡群発掘調査速報展
10.28—12.7 須崎市立博物館
伊能忠敬と日本図 江戸開府400年
記念特別展 10.31—12.14 東京
国立博物館
目の眼 327 編集部
読売夕刊 11.19 片岡正人
国立博物館ニュース 661、662
田良島哲
いのちの輝き 5.10—6.29 山種美
術館
読売夕刊 6.11 石川敬子
祈りの造形〜シルクロード周辺に残
る埴仏 4.5—5.25 姫路市書写
の里・美術工芸館
Irradiation 5.9—5.17 SUMISO
美術手帖 836 金悠美
印材清賞展—美麗なるハンコの世
界—新関欽哉氏コレクション受贈
記念 4.12—6.1 静嘉堂文庫美
術館
印象派のあゆみ ヴァルラフ=リ
ヒャルト美術館ゴッブー財団所蔵
1.2—2.16 そごう美術館
読売夕刊 2.5 渡辺美喜
印旛再発見 センター20年の足跡
10.6—6.30 印旛郡市文化財セン
ター
印旛の弥生文化 2000年前の記憶を
紐とく 1.14—6.30 印旛郡市文
化財センター
イン/プリント プリティッシュ・
アートの新たなヴィジョン 6.10
—7.21 北海道立函館美術館(丸
亀市猪熊弦一郎現代美術館)
版画芸術 121 辺見

(ウ)

ウィーンの夢と憧れ 世紀末のグラ
フィック・アート 4.26—6.15
徳島県立近代美術館(うらわ美術
館、豊田市美術館)
芸術新潮 646
ヴィクトリアン・ヌード—19世紀英
国のモラルと芸術— 2.8—5.5
神戸市立博物館
毎日 1.5 江森敬治

毎日 1.26、2.16 薩摩雅登
 毎日 2.2、9 喜多崎親
 毎日 2.23 小野寺玲子
 毎日 3.2、9 井出洋一郎
 毎日 3.16、23、30 金井紀子
 毎日夕刊 2.13 高階秀爾
**ヴィクトリアン・ヌード—19世紀英
 国のモラルと芸術—** 5.24—8.31
 東京芸術大学大学美術館
 朝日夕刊 6.21 山盛英司
 東京 6.7 中村隆夫
 東京 7.3 (青)
 日経 5.30 竹田博志
 毎日 5.21 江森敬治
 毎日 5.22
 毎日 6.6 スティブ・ゴマ
 ソール
 毎日 7.4 アリソン・スミス
 談/山田研 まとめ
 毎日 8.20 江森敬治
 毎日夕刊 5.28—30、6.2、31
 石川健次
 毎日夕刊 6.6 千足伸行
 毎日夕刊 8.1 布施英利
 読売夕刊 8.14 前田恭二
ヴェネツィアの光と影 8.10—9.15
 茨城県近代美術館(北海道立帯広
 美術館、大丸ミュージアム(梅
 田)、岩手県立美術館、尾道市立
 美術館)
 朝日夕刊 8.30 田中三蔵
上野彦馬賞展 3.14—3.24 東京
 都写真美術館
 毎日夕刊 3.10
植村和堂収集書画 7.5—8.17 根
 津美術館
 読売夕刊 7.24 菅原教夫
ヴェルサイユ展 華麗なる宮廷
 1.25—3.30 東京都美術館
 朝日夕刊 2.22 大西若人
 東京 1.30 (青)
 日経 1.20 中野稔/高階秀爾/
 小島英照
 日経夕刊 2.4 福原義春
 日経夕刊 2.5 深井晃子
 日経夕刊 2.6 鹿島茂
 日経夕刊 2.7 高村薫
 日経夕刊 2.8 高田万由子
 日経夕刊 2.24 森村泰昌

日経夕刊 2.25 白幡洋三郎/藤
 本ひとみ
VOID 9.5—10.18 ヨコハマポー
 トサイドギャラリー
 美術手帖 842 市原研太郎
浮世絵アヴァンギャルドと現代
 9.27—11.9 東京ステーション
 ギャラリー
 東京 10.2 (青)
 東京 10.18 草薙奈津子
**浮世絵風景画名品展 ホノルル美術
 館所蔵** 4.8—5.11 千葉市美術
 館(秋田市立千秋美術館、山口県
 立萩美術館・浦上記念館、静岡県
 立美術館、大分市美術館)
 産経 4.3 浅野秀剛
**失われた文化財—アフガニスタン
 パーミヤン展—** 3.25—7.31 名
 古屋大学博物館
国宝 韓国 1.10—2.2 根津美術
 館
**うちわ絵に見る明治大正昭和のくら
 し** 4.15—5.25 王塚装飾古墳館
宇都宮美術の現在展2回 1.19—
 3.9 宇都宮美術館
**器が語る装いの美—漆に彩られた縄
 文の美—** 2.8—3.23 茨城県立
 歴史館
**うつわ歳時記—細川家の暮らしと飲
 食器** 6.10—8.23 永青文庫
 読売夕刊 7.30 小林祐子
器と装飾Ⅱ さまざまな加飾の技
 2.13—6.15 茨城県陶芸美術館
**海を渡った中国の書—エリオット・
 コレクションと宋元の名蹟** 4.8
 —6.1 大阪市立美術館
 目の眼 321
**海を渡った人—ター貝製装身具と古代
 の祈り—** 2.7—3.9 鹿児島県歴
 史資料センター黎明館
 デアルテ 19 脇岡隆夫
埋もれた松阪を探る 3.21—5.11
 松阪市文化財センターはにわ館
**裏千家五代不休斎常叟宗居士三百
 回忌展** 4.25—6.15 茶道資料館
**裏千家十六代家元継承記念 坐忘斎
 千宗室 自作・好み物展** 9.30—
 11.26 茶道資料館

平成15年美術展覧会(企ウ、エ)

うるわしの京都 いとしの美術館
 4.5—5.18 京都市美術館

(エ)

永源寺の歴史と美術 10.4—11.3
 栗東歴史民俗博物館
**なんなの? A—POC—Miyake Issey
 + Fujiwara Dai—** 9.10—10.5
 AXISギャラリー
 STUDIO VOICE 334
 朝日夕刊 9.29 大西若人
**描かれた音楽—西洋楽器と出会った
 日本絵画** 11.1—12.25 神戸市
 立博物館
 芸術新潮 649
**描かれた身体 ひとの表現・ひとの
 かたち** 7.2—9.28 大川美術館
描かれた朝鮮人虐殺 8.20—9.28
 高麗博物館
 読売 8.23
**描かれた幕末の琵琶湖—湖・里・山
 のなりわい—** 5.21—6.15 大津
 市歴史博物館
**描き出された歌人たち—三十六歌
 仙—みんなでつくろう展覧会**
 2.23—3.16 斎宮歴史博物館
**エカテリーナⅡ世のセーブル磁器展
 国立エルミタージュ美術館所蔵**
 2.11—2.23 三越(日本橋)
 読売 2.5 前田恭二
**エコール・ド・パリ カフェを愛し
 た画家たち** 4.26—8.31 松岡美
 術館
 読売夕刊 7.16 後藤修
**エジプトのイスラーム文様—暮らし
 の中に華開いた美しき意匠—**
 3.15—6.8 MIHO MUSEUM(岡
 山市立オリエント美術館)
 芸術新潮 642
**エジプトのイスラーム文様—暮らし
 の中に華開いた美しき意匠—**
 10.4—12.7 中近東文化センター
 朝日夕刊 11.8 中村俊介
 読売 10.15、16、21、25 川床
 睦夫
 読売 10.23 真道洋子
**SOS ふるさとの文化財をすくえ—
 伝えたい古人の心と技—** 7.15—
 8.24 長野県立歴史館

越後妻有アートトリエンナーレ2003
大地の芸術祭 7.20—9.7 越後妻有6市町村(新潟県十日町市、川西市、津南町、中里村、松代町、松之山町)
あいだ 94 前山忠
あいだ 94 佐藤玲子
あいだ 94 池田龍雄
ギャラリー(月刊) 219
芸術新潮 645
新美術新聞 997 西澤美子
STUDIO VOICE 333 嘉藤笑子
美術手帖 839 染谷比呂子
美術手帖 839 暮沢剛巳
美術手帖 839 竹田直樹
朝日 8.13 大西若人
産経 8.9 渋沢和彦
毎日夕刊 8.5、6 三田晴夫
読売夕刊 7.31 菅原教夫
越中のやきもの—越中瀬戸焼と小杉焼を中心に— 7.3—11.3 富山市陶芸館
目の眼 325 編集部
絵でみる日本の歴史 第7回—総集編— 1.1—3.2 神宮徴古館農業館
江戸時代の絵画展—絵を観るよこび— 10.4—11.30 静嘉堂文庫美術館
江戸時代の科学・技術 国友一貫斎から広がる世界 10.25—11.24 市立長浜城歴史博物館
江戸時代の獅子ヶ谷村—絵図・古文書で探る村と名宝— 1.25—3.9 横浜市歴史博物館
江戸大博覧会 モノづくり日本 6.24—8.31 国立科学博物館
目の眼 323 鈴木一義
毎日 5.14 宮本扶未子
毎日 6.23 元村有希子
毎日 6.30 梶原英之
毎日 8.20
江戸東京(もの)がたり—江戸東京博物館特別収蔵品展— 3.6—3.30 東京都江戸東京博物館
東京 3.11 小林克
東京 3.12 江口智子
東京 3.13 早川典子
東京夕刊 3.5 竹内誠

江戸東京名所独案内 江戸開府400年記念特別展 10.10—11.3 通信総合博物館
江戸のいろどり 城陽の近世絵画 2.15—3.23 城陽市歴史民俗資料館
江戸の音楽・百花繚乱 浮世絵展—歌舞・音曲の世界— 7.1—7.21 東京オペラシティアートギャラリー
江戸の匠 印籠・棗・拵などにみる匠の技 8.23—9.28 根津美術館
江戸の繁栄—「名所江戸百景」と広重の名所絵— 9.2—10.26 太田記念美術館
日経 9.5 竹田博志
江戸への憧憬 肉筆浮世絵から岸田劉生まで 7.26—9.7 ニューオータニ美術館
産経 8.3 生田誠
江戸・明治幻景—館蔵古写真とその周辺 1.16—2.13 早稲田大学図書館
朝日 2.5
「江戸を掘る」江戸開府四〇〇年記念 特集陳列シリーズ 幕府と町人 7.19—9.28 東京国立博物館
国立博物館ニュース 660 望月幹夫
愛媛・絵馬堂へようこそ! 7.12—8.31 愛媛県歴史文化博物館
(オ)
王朝の文様—天平・平安の花文様とその流れ— 4.15—5.25 サントリー美術館
近江源氏と沙汰貴神社—近江守護佐々木一族の系譜—展 10.12—11.10 滋賀県安土城考古博物館
古文書研究 57 高木叙子
近江の彫刻—参詣道と金勝寺文化圏の諸像— 5.17—6.29 栗東歴史民俗博物館
近江八景 3.11—4.13 大津市歴史博物館
大江戸八百八町展 1.5—2.23 東京都江戸東京博物館
アートトップ 189
芸術新潮 639
建築史学 41 金行信輔

朝日夕刊 2.5 高階秀爾
読売夕刊 2.12 小沢弘
大きな視点小さな視点 開館15周年記念 10.1—11.30 中野区立歴史民俗資料館
大倉集古館名品展 新潟県立近代美術館 開館10周年記念 10.18—11.30 新潟県立近代美術館
読売夕刊 11.1 芥川喜好
大津事件 2.27—3.30 大津市歴史博物館
大津百艘船 江戸時代の古文書 2 1.7—3.9 大津市歴史博物館
大友水軍 海からみた中世豊後 10.15—11.23 大分県先哲史料館
大原美術館所蔵名品展 8.19—9.28 千葉市美術館
朝日夕刊 9.6 大西若人
大原幽学と門人—道友とよばれた人々— 11.1—3.28 大原幽学記念館
岡崎美術館収蔵作品展 9.23—11.9 茅ヶ崎市美術館
“おかね”はじめて物語—地方における古代銭貨の受容— 3.15—5.5 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
岡本太郎記念現代芸術大賞展 6回 2.27—4.13 川崎市岡本太郎美術館
朝日夕刊 4.8 田中三蔵
送りの考古学—後期旧石器から縄文時代の葬送— 7.18—9.21 地底の森ミュージアム
MOTアニュアル2003 おだやかな日々 1.11—3.23 東京都現代美術館
美術手帖 833 白坂ゆり
朝日夕刊 3.6 神谷幸江
日経 1.29 宝玉正彦
落合白山神社の三匹獅子舞 都市化とともに変わる「伝統」 5.31—7.21 パルテノン多摩
男の茶会 風流の秋をたのしむ 10.4—11.9 根津美術館
おひなさま展 2.8—3.9 中野区立歴史民俗資料館
オプ・アート展 明滅／振動／幻惑する絵画 1.19—3.23 北海道立函館美術館

お水取り 2.18—3.23 奈良国立博物館
 オリエンとアンデスの名品 11.1—12.20 遠山記念館
 織りだされた絵画 国立西洋美術館
 所蔵17—18世紀タピスリー 3.18—5.25 国立西洋美術館
 芸術新潮 642
 朝日夕刊 5.8 高橋明也
 読売夕刊 4.1 高野清見
 オリベッティ・デザイン展 7.1—7.14 AXIS1・2フリッピングモティーフ
 STUDIO VOICE 332
 オロンスムーモンゴル帝国のキリスト教遺跡— 7.26—10.13 横浜ユーラシア文化館
 朝日夕刊 10.4 中村俊介
 尾張徳川家の雛まつり 2.8—4.6 徳川美術館
 おんなのけしき 世界のとどろき 5.31—7.14 東京日仏学院
 美術手帖 839 新見隆

(カ)

ガール! ガール! ガール! 8.5—10.15 東京オペラシティアートギャラリー
 STUDIO VOICE 333
 美術手帖 841 新川貴詩
 朝日夕刊 9.4 神谷幸江
 朝日夕刊 9.30 大西若人
 産経 8.10
 産経 9.6 渋谷和彦
 東京 9.6 草薙奈津子
 読売夕刊 8.28 前田恭二
 girls don't cry展 4.26—5.26 パルコミュージアム
 朝日夕刊 5.8 神谷幸江
 絵画新世紀 6.21—8.10 広島市現代美術館
 美術手帖 839 松本はる
 絵画の現在 新潟県立万代島美術館
 開館記念展 I 7.12—8.17 新潟県立万代島美術館
 朝日夕刊 7.31 田中三蔵
 毎日夕刊 7.16 三田晴夫

絵画の手法「線」〜画家のまなざしと表現〜 6.12—7.27 練馬区立美術館
 日経 7.9 宝玉正彦
 絵画の力 80年代以降の日本の絵画 3.8—9.7 東京都現代美術館
 楷書の歴史—はじまりから完成まで— 10.28—12.21 台東区立書道博物館
 懐石の器—桃山から江戸初期にみる器の美— 10.11—11.30 八幡市立松花堂美術館
 目の眼 327 柴沼裕子
 カウパレード東京 in 丸の内 2003 9.5—10.5 丸の内・有楽町・大手町地域
 新美術新聞 1004
 朝日夕刊 8.29 佐藤美千代
 香りの道具 6.14—7.31 遠山記念館
 「香りの美術」展—貴なるものへの憧れ— 1.2—3.9 細見美術館
 画家たちへの讃歌: 1930—60年代のバリ〈マニユエル・ブルケール出版の版画本を中心に〉絵と言葉 II 10.8—11.30 目黒区美術館
 ピリエ 20 ジャック・ブルケール 応答/矢内みどり 質問・編集/円谷智子 協力
 「輝け 日本油画」独立美術協会70回記念 2.19—3.3 高島屋(なんば)(松坂屋美術館)
 新美術新聞 985 富山秀男
 朝日 2.26 富山秀男
 朝日夕刊 3.8 森本俊司
 日経 3.13
 輝ける慶長時代美術—桃山から江戸へ— 10.4—11.9 徳川美術館
 駆けめぐる馬たち—馬と人が出会う場所— 9.13—11.3 馬の博物館
 過去からのメッセージ—大阪発掘30年— 1.25—3.23 大阪府立弥生文化博物館
 紺—藍と木綿が織り成す文様— 4.25—6.1 広島県立歴史博物館
 狩野派の世界 特集2003 4.12—5.18 静岡県立美術館
 芸術新潮 642
 朝日夕刊 4.22 山盛英司

平成15年美術展覧会(企オ、カ)

歌舞伎でめぐる日本—国員画「大日本六十余州」の世界— 4.22—5.25 池田文庫
 池田文庫 23 太壽堂素子
 鎌倉御家人平子氏の西遷・北遷 10.18—11.24 横浜市歴史博物館
 鎌倉—禅の源流 建長寺創建750年記念特別展 6.3—7.13 東京国立博物館
 国立博物館ニュース 659 浅見龍介
 美術手帖 836 池上ちかこ
 朝日夕刊 6.28 山盛英司
 産経 5.29 赤岡東
 東京 6.14 草薙奈津子
 東京 6.19 (青)
 日経 6.2—6 辻惟雄
 日経 6.22 浜部貴司
 日経夕刊 6.19 河合隼雄
 日経夕刊 6.20 山田匡通
 日経夕刊 6.21 真野響子
 日経夕刊 6.24 高橋源一郎
 日経夕刊 6.25 鳥居泰彦
 日経夕刊 6.26 玄侑宗久
 鎌倉幕府滅亡 1.30—4.13 神奈川県立金沢文庫
 鎌倉彫—収蔵品を中心として— 7.31—8.31 鎌倉国宝館
 亀山に遺る絵図—着地したとこ、ここはどこ?— 6.28—9.25 亀山市歴史博物館
 家紋展 5.1—5.13 ウフギャラリー
 芸術新潮 643
 ガラスの酒器・ヨーロッパ ローマン・グラスからアール・デコまで 8.5—9.21 サントリー美術館
 朝日夕刊 9.9 田中三蔵
 伽藍御影堂と弘法大師信仰 弘法大師入唐—二〇〇年記念 7.20—9.10 高野山霊宝館
 ラ・カリカチュール 王に挑んだ新聞展 4.19—6.8 町田市立国際版画美術館
 朝日夕刊 5.1 神谷幸江
 KALEIDOSCOPE—6人の個性と表現— 7.26—9.28 世田谷美術館
 芸術新潮 646
 朝日夕刊 8.28 山盛英司

平成15年美術展覧会(企力、キ)

華麗なる装い 10.25—11.24 徳島市立徳島城博物館
川越の算額と和算家 第22回企画展 10.4—11.9 川越市立博物館
川崎家の江戸期和本—松川半山旧蔵書を中心に— 10.16—12.1 池田文庫
池田文庫 22 太壽堂素子
川の道 江戸川 10.11—11.30 松戸市立博物館
国宝鑑真和上坐像 12.19—12.27 鹿児島県歴史資料センター黎明館
館蔵 秋の優品展 絵画・墨跡と李朝の陶芸 9.6—10.19 五島美術館
館蔵 中国の陶芸展 5.18—6.8 五島美術館
館蔵 特別名品Part 1 4.24—6.29 佐久市立近代美術館
館蔵品による江戸名所図屏風展 最古の江戸風景を歩く 9.6—10.19 出光美術館
館蔵品による 皇帝を魅了したうつわ—中国景德鎮窯の名宝 7.5—8.31 出光美術館
目の眼 323 金沢陽
朝日夕刊 8.19 山盛英司
館蔵名刀展 古刀と新刀の名品 2.22—3.30 五島美術館
館蔵名品展2003 3.6—5.12 石川県輪島漆芸美術館
関東大震災80年 THE震災 8.1—10.26 国立科学博物館
カンボジアの染織 10.4—11.7 福岡市美術館
デアルテ 20 岩永悦子
朝日 10.9

(キ)

紀伊狩野の絵画—収蔵品を中心に— 4.26—6.8 和歌山県立博物館
菊田せつこ追悼 ハンカチ3D 布のファンタジア 7.3—7.8 ギャラリー新宿高野
毎日 6.25 窪田千代
貴古創新展 4.1—4.19 林田画廊 東京 4.5 草薙奈津子
紀州・移動する職人たち—鍛冶・木地・炭焼き— 9.27—11.24 和歌山県立紀伊風土記の丘

北・貝・道—海と陸と人びと— 6.27—8.17 北海道開拓記念館
北の木仕事 14人の工房から 2.27—3.11 OZONEプラザ
産経 2.28
東京夕刊 3.4
北の創造者たち展 虚実皮膜 10.26—1.18 芸術の森美術館
キッズゲルニカ2003 8.22—8.24 パナソニックセンター
読売 8.23
木のワンダーランド VERY GOOD, VERY WOOD 11.21—1.28 北海道立帯広美術館
92年ぶりの里帰り展 助戸十二天古墳とその周辺 10.18—11.9 足利市立美術館
九州力 世界美術としての九州展 2.15—4.6 熊本市現代美術館
美術手帖 834 平芳幸浩
旧名主茶室の調度品 4.29—6.22 中野区立歴史民俗資料館
行基の構築と救済 10.1—11.30 大阪府立狭山池博物館
KYODOCAT(経堂CAT)[アート&クラフトイベント] 4.15—5.14 世田谷区経堂30店舗
毎日 5.10 宮本扶未子
KYOTO映像フェスタ 10.18—11.30 京都文化博物館
郷土の絵師と日本画家 日向の国三〇〇年の彩り 1.11—2.9 宮崎県立美術館
デアルテ 19 高橋ゆみ子
京都の日本画100年—栖鳳・松園から現代まで— 4.26—6.22 うらわ美術館
京の茶陶 仁清・乾山を中心に 4.19—6.29 出光美術館
陶説 602 荒川正明
読売夕刊 5.21 荒川正明
玉つくり 原石に輝きを求めて 10.7—11.30 下関市立考古博物館
巨匠たちが描いた日本の自然展 国立公園の四季 3.4—3.29 文化フォーラム春日井・ギャラリー(ハウステンボス美術館、八戸市美術館、たけはら美術館、都城市立美術館)

巨匠の本画と素描 8.30—10.13 山種美術館
朝日夕刊 9.27 田中三蔵
煌きのダイヤモンド ヨーロッパの宝飾400年展 10.7—12.21 東京国立博物館表慶館(大阪市立美術館)
国立博物館ニュース 661 井上洋一
国立博物館ニュース 662 小林牧
デザインの現場 130 東京 11.6 (青)
きらめく光 日本とヨーロッパの点表現 2.18—3.30 静岡県立美術館
朝日夕刊 3.20 田中三蔵
読売夕刊 3.25 (前)
きらりと光る—高麗美術館名品展 10.3—12.23 高麗美術館
記録と記憶のトライアングル—韓国、在日、沖縄を撮る10人の眼— 6.24—8.22 Jun Plazaビル 7階(那覇)(大阪市立総合生涯学習センター、新宿文化センター、ソウル韓国電力プラザ)
日経夕刊 7.12
銀座ウィンドウディスプレイ・コンペティション1回 3.13—3.18 TEPCO銀座館プラスマイナスギャラリー
読売夕刊 3.14
近代金銀屏風名作選 8.1—9.28 富山県水墨美術館
近代日本の絵画名品展 ウッドワン美術館所蔵 9.10—9.30 高島屋(日本橋)
新美術新聞 1003 下村智子
近美展30回 11.25—12.1 東京都美術館
美術の窓 245 高山淳/刃刀知子
「近代の洋画」展 1.18—3.23 講談社野間記念館
毎日 2.5
近代洋画の開拓者たち アカデミズムの潮流 10.24—11.24 佐賀県立美術館
デアルテ 20 野中耕介
デアルテ 20 後小路雅弘

(ク)

空海と高野山 弘法大師入唐1200年
記念 4.15—5.25 京都国立博物
館(愛知県美術館、和歌山県立博
物館)
芸術新潮 642
国立博物館ニュース 658
空想散歩 夢は日常に遠く近く
1.26—3.2 茅ヶ崎市美術館
雲にのる神仏 10.14—11.24 神奈
川県立金沢文庫
芸術新潮 648
グラウンドスケープ展 5.9—6.14
TNプローブ
朝日 5.21 大西若人
くらしの中の着物—明治・大正・昭
和— 7.5—8.10 園部文化博物
館
黒のアイデア展 7.14—8.2 文房堂
ギャラリー
美術手帖 840 平野千枝子
黒船 ペリー来航150周年記念
4.26—6.15 神奈川県立歴史博物
館

(ケ)

慶賀のうたげ 1.7—3.9 茶道資料
館
GEISAI—3 3.30 パシフィコ横
浜
朝日 4.23 大西若人
GEISAI—4 9.14 東京ビッグサ
イト
産経 10.4
芸術浄土展12回 2.13—2.17 かね
まつホール
新美術新聞 982 林錦洞 談
形象展7回 2.8—2.28 ギャラ
リー香染美術
東京 2.22 草薙奈津子
化粧—女性の装い— 11.15—12.14
徳川美術館
源氏絵—華やかな源氏物語— 3.1
—3.30 和泉市久保惣記念美術館
国宝源氏物語絵巻 柏木(二)・東屋
(二) 11.15—11.23 徳川美術館
現水展42回 10.5—10.14 東京都
美術館
美術の窓 243 高山淳/刃刀知
子

現創展29回 12.10—12.16 東京都
美術館
美術の窓 245 川室美幸
幻想と幻視 混在領域と領域侵犯
10.11—11.23 平塚市美術館
朝日夕刊 11.4 田中三蔵
現代陶芸の華—西日本の作家を中心
に— 1.25—3.16 茨城県陶芸美
術館
新美術新聞 985 外館和子
陶説 598 外館和子
朝日夕刊 3.7 田中三蔵
現代陶芸の100年展—第二部「世界の
陶芸」—開館記念展Ⅰ 1.25—
3.23 岐阜県現代陶芸美術館
現代日本画の旗手展 ネクスト・ス
ピリッツ。 4.27—6.8 天竜市
立秋野不矩美術館(大三島町立大
三島美術館、天竜市美術館、佐藤
美術館)
現代日本の洋画家たち 1.11—3.23
サトエ記念21世紀美術館
現代根付展 手のひらの中の芸術品
高円宮コレクションを中心に
5.20—7.6 たばこと塩の博物館
東京 5.19 沢田一朗
毎日 6.18 鈴木玲子
読売夕刊 6.21 芥川喜好
現代の東南アジア美術—それぞれの
視点 7.11—9.7 多摩美術大学
美術館
アジアセンターニュース 25 峯
村敏明
朝日夕刊 7.31 神谷幸江
現代の日本画 その冒険者たち
8.9—9.15 岡崎市美術館
日経 9.10 宝玉正彦
現代の木工家具—スローライフの空
間とデザイン 9.20—11.30 東
京国立近代美術館工芸館
読売夕刊 11.8 芥川喜好
源平合戦とその時代 10.18—11.24
香川県歴史博物館

(コ)

工芸の意匠1 人物・動物の造形～
芹沢銈介コレクションから～
10.11—11.16 東北陶磁文化館

平成15年美術展覧会(企くへこ)

工芸の世紀 明治の置物から現代の
アートまで 10.7—11.30 東京
芸術大学大学美術館
目の眼 326 横溝廣子
朝日夕刊 11.6 北澤憲昭
東京 10.16 (青)
日経 11.22 竹田博志
工芸風土記・式 木・竹・漆工の世
界 7.5—9.7 宮内庁三の丸尚蔵
館
皇室と成田山 1.1—2.23 成田山
霊光館
荒神山と周辺地域の暮らし 7.25—
8.20 彦根城博物館
弘法大師空海と密教伝来 9.20—
11.25 東寺宝物館
高麗茶碗名品展 9.10—12.11 野
村美術館
陶説 607 谷晃
小絵馬と御札 描かれた祈りと願い
4.19—6.22 板橋区立郷土資料館
古河藩の武具 10.17—11.24 古河
歴史博物館
国画展34回 12.2—12.9 東京都美
術館
美術の窓 245 高山淳/川室美
幸
国際コンテンポラリーアートフェス
ティバル(NICAF)2003 TOKYO
8回 4.4—4.7 東京国際フォー
ラム
ギャラリー(月刊) 215
新美術新聞 988 (真)
朝日夕刊 4.1
読売夕刊 3.28
国宝紅白梅図屏風と所蔵名品展
1.31—3.4 MOA美術館
朝日夕刊 2.15 藤生京子
朝日夕刊 2.20 神谷幸江
国宝「史記」から漱石原稿まで—東北
大学附属図書館の名品— 10.31
—12.21 仙台市博物館
国宝「不二山」と桃山・江戸時代の茶
陶展 7.31—11.24 サンリツ服
部美術館
目の眼 324 宇野千代子
国立公文書館所蔵資料特別展 変貌
江戸から帝都そして首都へ 10.4
—10.19 国立公文書館

九つの音色 7.8—7.14 三越(日本橋)
新美術新聞 996
新美術新聞 996 竹内順一
小袖—デザインを着る— 9.2—10.26 遠山記念館
古代イラン秘宝展—山岳に華開いた金属器文化— 1.11—4.6 中近東文化センター
読売夕刊 3.19 片岡正人
五大老—豊臣政権の運命を託された男たち— 10.11—11.16 大阪城天守閣
古代を考えるⅠ「郡の役所と寺院」 4.19—6.15 川崎市市民ミュージアム
古代を考えるⅡ「武蔵の国府と国分寺」 4.26—6.22 府中市郷土の森博物館
古代を考えるⅢ 文字との出会い 南武蔵・相模の地域社会と文字 5.24—7.6 横浜歴史博物館
古典籍の魅力 大谷大学の名品 10.14—11.30 大谷大学博物館
子どもと楽しむ静物・風景画—地球を切り取った世界発見!— 9.25—10.19 天童市美術館(氷上町立植野記念美術館、高崎市美術館・高崎市タワー美術館)
子どものいる情景 10.1—12.23 ブリヂストン美術館
朝日夕刊 12.13 西田健作
毎日 10.1 宮本扶未子
子供の王国 絵本黄金時代展 コドモノクニに集った画家たち 5.10—6.8 多摩美術大学美術館
朝日 5.27 吉田純子
こどもミュージアム うま博士の大発見 3.15—6.1 馬の博物館
子どもワークショップ展—記録—文化庁芸術拠点形成事業 8.2—8.24 練馬区立美術館
古年輪 10.7—11.24 奈良文化財研究所飛鳥資料館
古墳時代の馬との出会い—馬と馬具の考古学— 4.19—6.8 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
古墳出土土器が語るもの—オオヤマトの前期古墳資料展— 3.1—3.30 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

湖辺集落を読む—新守山川関連遺跡— 1.18—4.6 滋賀県立安土城考古博物館(守山市立埋蔵文化財センター、滋賀県立琵琶湖文化館)
戸方庵井上コレクションを愉しむ—群馬県立女子大学芸術学研究室による8つの視点 11.15—12.14 群馬県立近代美術館
湖北の王たち 神功皇后から継体天皇へ 1.31—3.10 市立長浜歴史博物館
こもれば展 8.9—10.5 水戸美術館現代美術ギャラリー
朝日夕刊 9.24 大西若人
これが私の生きる道—今を生きる若き作家たちの挑戦— 11.22—2.1 佐久市立近代美術館
コレクション101 雪舟から現代美術まで美術館の作品101点を一挙大公開 4.15—5.25 山口県立美術館
コレクション展 新収品展—美術工芸の優品 11.8—12.14 米沢市上杉博物館
コレクションにみる画家たちのバリ 6.7—9.23 ポーラ美術館
朝日夕刊 7.19 田中三蔵
産経 8.30 (I)
東京 7.31 (青)
読売夕刊 8.16 芥川喜好
コレクションにみるベル・エポック 美しき時代1900年前後の芸術 9.27—1.27 ポーラ美術館
産経 10.11 生田誠
コレクションによるテーマ展Ⅶ 「本」の現代美術 4.22—10.13 うらわ美術館
コレクションによるテーマ展Ⅷ 浦和アトリエ村3 赤羽夕景 高田誠・石井桃子の家路より 11.8—2.22 うらわ美術館
京都・細見美術館名品展 コレクターからの贈り物—琳派・若冲・風俗画に親しむ— 4.26—6.22 大倉集古館
朝日夕刊 6.17 田中三蔵
東京 5.31 草薙奈津子
コレクター・駒形十吉の眼 併設平山郁夫展 8.23—9.28 新潟県立万代島美術館

殺す・なアンデパンダン1 5.26—6.8 康ギャラリー
美術手帖 838 堀浩哉
殺す・なアンデパンダン2 6.9—6.22 LABLINE.TV
美術手帖 838 堀浩哉
恐い、怖い、こわい 6.17—9.28 ブリヂストン美術館
東京 8.2 中村隆夫
金色のかざり 金属工芸にみる日本美 10.11—11.24 京都国立博物館
芸術新潮 648
日経 11.22 竹田博志
コンテナ展 10.9—10.13 東京湾岸地区空き地
読売 10.11
今日の作家展2003 水を掬ふ。花を弄する。自然へのまなざし 2.18—3.16 横浜市民ギャラリー
芸術新潮 640
新美術新聞 983 内山淳子
朝日夕刊 3.7 大西若人
読売夕刊 2.27 (管)
今日の人形芸術 想念の造形展 3.28—5.18 東京国立近代美術館工芸館(京都文化博物館、静岡アートギャラリー、ミウラート・ヴィレージ、岐阜市歴史博物館)
芸術新潮 642 丹尾安典
東京 4.12 中村隆夫
毎日 3.22、5.2、3 今井陽子
(サ)

サーサーン朝ペルシアのコイン—王の肖像が語る歴史と文化— 4.26—9.15 中近東文化センター
雑賀の兜をさぐる—雑賀鉢の系譜 10.25—11.24 和歌山市立博物館
再現・『延喜斎宮式』—平安の斎宮を探る— 10.4—11.24 斎宮歴史博物館
再現! 桃山時代の小袖—よみがえる辻が花— 4.26—6.1 京都府立丹後郷土資料館
西条藩松平家のお道具と雛飾り 2.25—4.6 愛媛県歴史文化博物館

サウンディング・スペース 9つの
音響空間 7.11—9.28 NTTイン
ターコミュニケーション・セン
ター[ICC]
美術手帖 840 梅津元
朝日夕刊 8.28 神谷幸江
嵯峨展 平成15年秋季展 9.30—
11.3 畠山記念館
芸術新潮 648
桜さくらサクラ2003 3.14—5.5
山種美術館
朝日夕刊 4.5 田中三蔵
産経 3.15 渋谷和彦
読売夕刊 4.5 芥川喜好
蛙 秋味を待つ人々 10.7—11.24
東北歴史博物館
酒談義 下妻の酒蔵発 12.13—
1.25 下妻市ふるさと博物館
薩摩の近世絵画展 2.11—3.30 鹿
児島市立美術館
土 日本のだんディズム 写真と絵
画の展覧会 10.12—11.24 東京都
写真美術館
芸術新潮 648
朝日夕刊 11.15 大西若人
読売夕刊 11.5 小沢健志
SARACA VISION 10.4—11.1 東
京銀座資生堂ビル
デザインの現場 130

(シ)

詩歌と書の世界 近代詩文書作家協
会創立30周年記念 9.30—11.16
北海道立函館美術館
シガラベルの世界 葉巻の箱の小
さな世界 9.6—10.19 たばこと
塩の博物館
「時間旅行」展—TIME! TIME!
TIME! 3.19—6.30 日本科学
未来館
デザインの現場 127
デザインの現場 128 沢水潤
色彩のアルバムBD—フレンチ・コ
ミック展 4.26—7.6 印刷博物
館P&Pギャラリー
デザインの現場 128
色彩の粋—刺繍と絵画 3.21—6.29
高麗美術館

時空を超える風景たち 明治の記録
画から現代都市の写真まで
10.11—12.7 世田谷美術館
芸術新潮 650 木下直之
朝日夕刊 11.27 田中三蔵
寺社縁起と神仏霊験譚 12.4—2.15
神奈川県立金沢文庫
紙上のモダニズム 1920—30年代日
本のグラフィック・デザイン
10.8—3.5 特種製紙総合技術研
究所Pam
芸術新潮 649 川畑直道 談
芸術新潮 650
地震と津波 7.15—9.7 千葉県立
安房博物館
自然のなかで 美術館ワンダーラン
ド 7.12—8.17 豊科近代美術館
自然への愛情 日本画家の眼 1.31
—3.9 山種美術館
毎日 2.26
自伝『或る男』の青春 初恋・親友・
そして夢へ 4.26—6.1 調布市
武者小路実篤記念館
シネマ古今東西—150人のイラスト
レーター映画を描く 8.18—9.12
クリエイションギャラリーG8
毎日夕刊 7.17
下原刀 八王子市指定文化財刀剣と
赤羽刀 2.8—3.9 八王子市郷土
資料館
下布田古墳群の調査 11.2—12.28
調布市郷土博物館
釈迦と仏弟子たち 4.17—5.25 神
奈川県立金沢文庫
釈迦の美術 10.11—11.16 滋賀県
立琵琶湖文化館
JAG展26回 11.25—12.1 東京都
美術館
美術の窓 245 切刀知子
JAGDA新人賞受賞作家作品展2003
6.2—6.27 クリエイションギャ
ラリーG8
デザインの現場 128
若冲と琳派—きらめく日本の美—細
見美術館コレクションより
12.27—1.12 高島屋(なんば)(高
島屋(日本橋)、高島屋(横浜)、高
島屋(名古屋))
写真で楽しむ「江戸から東京へ」
8.19—9.7 JCI クラブ25
読売 8.20

平成15年美術展覧会(企サ、シ)

Japanese Ceramics Today, Part
1 — Masterworks from the
Kikuchi Collection 4.19—9.23
菊池寛実記念智美術館
陶説 601 花里麻理
朝日夕刊 7.29 田中三蔵
産経 4.26 渋谷和彦
シャヒード、100の命 パレスチナ
で生きて死ぬこと 8.1—8.10
キッド・アイラック・アート・
ホール
朝日夕刊 8.24
上海博物館展—中国文人の世界—
6.3—7.13 渋谷区立松濤美術館
朝日夕刊 7.1 山盛英司
読売夕刊 5.28、6.25 味岡義人
収蔵資料の紹介 2.18—4.6 秋田
県立博物館 菅江真澄資料セン
ター
重要文化財—かながわ考古展—
10.18—12.7 神奈川県立歴史博
物館
朝日夕刊 10.25 渡辺延志
シュルレアリスム展 開館5周年記
念 4.20—6.30 諸橋近代美術館
新美術新聞 990 高浜兼二
純展33回 12.10—12.16 東京都美
術館
美術の窓 245 切刀知子
春陽会 草創の画家たち 第八〇回
展記念 4.12—6.15 小杉放菴記
念日光美術館／萬鉄五郎記念美術
館
新美術新聞 992 入江親
朝日夕刊 4.24 田中三蔵
松花堂昭乗と茶の湯釜の美 松花堂
美術館、大西清右衛門美術館特別
交流展 2.18—3.16 大西清右衛
門美術館(八幡市立松花堂美術館)
城下町と歌山の本屋さん—「紀伊国
名所図会」を中心に— 7.19—
8.24 和歌山市立博物館
正倉院展55回 10.25—11.10 奈良
国立博物館
朝日 10.16 天野幸弘
常総の文人その1 激動の時代を風
靡した人たち 5.1—5.25 下妻
市ふるさと博物館
称名寺の美術工芸 7.31—9.28 神
奈川県立金沢文庫

職美展第57回 6.12—6.22 東京都
美術館
助手展2003 武蔵野美術大学助手研
究発表 1.6—1.17 武蔵野美術
大学美術資料図書館
女性と仏教 いのりとほほえみ
4.15—5.25 奈良国立博物館
芸術新潮 643
産経 4.26 鷲塚泰光
所蔵初期風俗画と肉筆浮世絵展 湯
女図と機織図屏風を中心に 4.18
—5.20 MOA美術館
初代広重画『浮世絵張交』展 4.1—
6.29 日本浮世絵博物館
読売夕刊 3.26
地雷展2 8.2—8.31 FADs art
space
STUDIO VOICE 333
知られざる唐津—二彩・単色釉・三
島手— 11.2—12.15 根津美術
館
芸術新潮 637
資料に見る江戸時代の災害 国立公
文書館所蔵資料特別展 4.5—
4.24 国立公文書館
シルクロードの響き—ペルシア・敦
煌・正倉院— 2.22—4.20 古代
オリエント博物館
東京 2.25 宮下佐江子
東京 2.26、27 堀咲
毎日 2.19
新芸術展28回 11.25—12.1 東京
都美術館
美術の窓 245 高山淳/刃刀知
子
新作家展10回 4.23—5.7 東京都
美術館
美術の窓 238 高山淳/刃刀知
子/佐久間智香子
新作家展10周年記念 7.1—7.6 東
京セントラル美術館
美術の窓 240 高山淳
新収資料の公開 1.15—2.16 国立
歴史民俗博物館
平成14年度新収蔵品展 2.21—4.15
天童市美術館
新樹会 6.24—6.30 三越(日本橋)
新美術新聞 995
新発見遺蹟速報展2003 新宿の遺跡
7.26—8.31 新宿歴史博物館

新春展 特別展示池大雅「洞庭赤壁
図」 1.1—1.19 ニューオータニ
美術館
読売夕刊 1.8 家田奈穂
新春国宝展 1.4—2.9 奈良国立博
物館
新春名宝展—頼朝帰郷— 1.4—2.2
鎌倉国宝館
日経 1.17
新春を寿ぐ 1.5—1.26 山種美術
館
新匠工芸会公募展58回 12.4—12.9
東京都美術館
美術の窓 245 小森佳代子
新世紀こども大博覧会 入江コレク
ションにみる児童文化史400年
4.26—6.29 兵庫県立歴史博物館
新世代への視点2003 7.28—8.9
銀座、京橋の10画廊
朝日夕刊 8.5 大西若人
毎日夕刊 8.4 三田晴夫
読売夕刊 8.7 菅原教夫
新撰組の人々と旧富澤家 11.1—
2.16 バルテノン多摩歴史ミュー
ジウム
新日美展27回 12.10—12.16 東京
都美術館
美術の窓 245 川室美幸
新美展36回 12.2—12.9 東京都美
術館
美術の窓 245 川室美幸
新聞漫画の眼—人 政治 社会—
11.1—2.1 日本新聞博物館
読売夕刊 11.10 石田汗太

(ス)

水墨画・古筆と陶芸 4.5—5.5 五
島美術館
菅原通済 粹美の世界 鎌倉常磐山
文庫創立60周年特別展 11.15—
12.14 根津美術館
ずこうのじかん 美術の時間 体感
する美術2003 7.19—8.3 佐倉
市立美術館
すざかのがっこう おらが学校のい
ま・昔 9.6—10.5 須坂市立博
物館
須坂藩のお雛さまと印籠・根付
2.25—5.5 須坂市立博物館

スタジオジブリ立体造形物展 今年
の夏もジブリがいっぱい「ナウ
シカ」から2004年夏公開「ハウルの
動く城」まで 6.14—9.7 東京都
現代美術館
芸術新潮 645 丹尾安典
朝日 8.28 大西若人
スバル〈断面〉展 戦後大分の美術
I 2.8—3.23 大分市美術館
SPACE INVADERS—クロスオー
バーから生まれる建築 3.15—
4.12 TNブローブ
デザインの現場 127
10+1(Ten Plus One) 31 納村
信之/田島則行
墨絵の美展 9.6—10.23 松岡美術
館
墨のいろどり 2003年秋 館蔵優品
展 10.4—11.30 正木美術館
初公開 住友コレクション 刀剣・
刀装具展 9.2—11.30 泉屋博古
館
諏訪の甲冑 7.19—8.31 諏訪市博
物館

(セ)

清興展25回 12.10—12.16 東京都
美術館
美術の窓 245 川室美幸
清昌院の雛人形と調度 2.13—3.23
諏訪市博物館
青砥展30回 6.12—6.22 東京都美
術館
美術の窓 239 高山淳
PYHÄ TILA〈聖なる空間〉展 8.18
—8.31 東京デザインセンターガ
レリアホール
芸術新潮 646
世界都市展〜都市は空へ〜 4.25—
9.21 森アーツセンター
芸術新潮 643
デザインの現場 128
世界の貨幣展 金は天下のまわりも
の 7.19—9.7 大阪府立弥生文
化博物館
世田谷の絵馬 11.1—11.31 世田
谷区立郷土資料館
セリーヌ「FEMMES」写真展 9.20
—10.19 セリーヌONE表参道ブ
ティック
STUDIO VOICE 334

全展41回 8.20—8.30 東京都美術館

美術の窓 241 高山淳

泉屋博古館名品展分館開館記念 第2部茶道具と書画 4.30—7.6

泉屋博古館分館

東京 6.28 草薙奈津子

泉屋博古館名品展分館開館記念 第3部近代の絵画と工芸 9.2—12.14 泉屋博古館分館

朝日夕刊 10.18 大西若人

宣教師が見た堺—発掘成果からの生活復元— 10.7—11.24 堺市博物館

戦国時代内と外 越前朝倉氏とその時代の対外交流 7.17—8.31 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

戦国大名朝倉氏 その戦いの軌跡をさぐる展 7.25—9.8 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館
古文書研究 57 佐藤圭

全国の船形埴輪 11.15—12.14 松阪市文化財センターはにわ館

戦国を生き抜いた上杉氏—国宝「上杉家文書」の世界— 1.18—3.16 米沢市上杉博物館

戦後ヨーロッパ・グラフィックの潮流—スイス派/ポーランド・ポスター 1.7—2.12 大阪芸術大学博物館

仙台的埴輪—富沢周辺に古墳が築かれた頃— 1.24—4.6 地底の森ミュージアム

仙台藩の金と鉄 7.19—9.7 東北歴史博物館

銭湯プロジェクト 6.5—6.18 日光温泉(大阪市鶴見区)
新美術新聞 994 (真)
美術手帖 838 金悠美

(ソ)

蒼騎展43回 10.5—10.14 東京都美術館

美術の窓 243 高山淳/刃刀知子

「創作陶芸」の現在Ⅰ—個性と創造性を求めて— 6.19—10.26 茨城県陶芸美術館

「創作陶芸」の現在Ⅱ—拡張する表現の多様性— 10.30—2.8 茨城県陶芸美術館

双樹会33回 8.21—8.30 東京都美術館

美術の窓 241 高山淳

草々会展19回 7.2—7.12 清月堂ギャラリー

新美術新聞 999 高岡忠雄

草創期の日本刀 反りのルーツを探る 1.5—2.3 佐野美術館(大阪歴史博物館、一関市博物館)

日経 1.22 竹田博志

創造の手わざ 近代工芸・栃木の七星 4.19—6.15 栃木県立美術館
相馬地方の妙見信仰 千葉氏から相馬氏へ 9.20—1.15 野馬追の里歴史民俗資料館

ZONE—不穏な時代の透視者たち

11.1—12.28 府中市美術館

芸術新潮 649

美術手帖 843 清水穰

朝日夕刊 12.4 大西若人

産経 12.20 渋谷和彦

毎日夕刊 11.18 石川健次

読売夕刊 12.18 菅原教夫

園部の仏教文化—街道と古寺紀行—開館5周年記念 10.4—11.9 園部文化博物館

「素朴と幻想」絵画展 10.24—12.14 静岡アートギャラリー

新美術新聞 1007 桂木紫穂

空へ—能登空港開港直前記念展

5.16—7.1 石川県輪島漆芸美術館

損保ジャパン美術財団選抜奨励展22回 3.15—4.20 損保ジャパン東郷青児美術館

(タ)

大英博物館の至宝展 創立250周年記念 10.18—12.14 東京都美術館(神戸市立博物館、福岡市美術館、新潟県立万代島美術館)

朝日 5.3、6.14、24

朝日 7.2 山盛英司/ニール・マクレガー

朝日 8.2 唐仁原雅之

朝日 10.26

朝日 10.30 中村俊介

朝日夕刊 10.3 平山郁夫

朝日夕刊 10.4 宮尾登美子

朝日夕刊 10.6 舟越桂

平成15年美術展覧会(企セ〜タ)

第九の怒濤展 ロシア絵画の至宝

特別公開! 11.1—1.25 東京富士美術館

毎日 10.31 五木田聡

毎日 11.19 松山彦蔵

毎日 12.2 銭場裕司

毎日 12.10 立入正之

帯鉤—中国古代金工の美— 10.6—

11.22 天理ギャラリー

日経 11.17

大古美術展 6.14—6.15 東京美術倶楽部

目の眼 322 編集部

大地の芸術 クレイワーク新世紀

10.9—11.25 国立国際美術館

読売夕刊 10.18 芥川喜好

タイデザイン@原美術館 3.21—

4.13 原美術館

読売 4.9

国宝 大徳寺聚光院の襖絵 10.31

—12.14 東京国立博物館

国立博物館ニュース 661、662

田沢裕賀

目の眼 327 編集部

朝日夕刊 11.29 田中三蔵

日経 11.5 竹田博志

大トルコ展 遙かなるイスタンブール

文明と美術 サドベルク・ハヌム美術館所蔵 2.18—4.6

サントリー美術館

東京 2.22 芳賀満

東京 2.27 (青)

東京夕刊 2.26 平山郁夫

東京夕刊 2.27 大村幸弘

東京夕刊 3.1 水田徹

東京夕刊 3.3 鈴木董

東京夕刊 3.5 加藤卓男

毎日 3.12

大トルコ展 遙かなるイスタンブール

文明と美術 サドベルク・ハヌム美術館所蔵 9.5—10.15

そごう美術館

東京 9.9、11 森谷美保

大名古屋展—パラサイトがまちを変

える?!— 12.9—12.14 愛知芸

術文化センターアートスペースX

10+1 (Ten Plus One) 34 小林

聖明/真野巖

美術手帖 845 能勢陽子

大日蓮展 1.15—2.23 東京国立博物館
 芸術新潮 639
 歴史評論 638 佐藤博信
 朝日夕刊 2.1 田中三蔵
 産経 12.15、1.14
 産経 2.4、6、7 生田誠
 東京 1.23 (青)
 日経 1.30

大見世物 江戸・明治の庶民娯楽
 開館25周年記念特別展 11.1—12.14 たばこと塩の博物館
 芸術新潮 648、650 木下直之
 朝日夕刊 11.27 田中三蔵
 東京 11.13 (青)

大名具足と相馬の武具 6.7—7.27
 野馬追の里歴史民俗資料館

大名の婚礼調度 9.19—10.21 彦根城博物館

浮世絵 大武者絵展 武者絵200年の歴史をたどる 10.11—11.24
 町田市立国際版画美術館
 読売夕刊 10.30 前田恭二

大洋展25回 11.25—12.1 東京都美術館
 美術の窓 245 高山淳／川室美幸

太陽展40回 5.8—5.21 日動画廊(東京)

太陽美術展29回 11.25—12.1 東京都美術館
 美術の窓 245 高山淳／刃刀知子

DOWN TO ART ダウン症のアーティスト展 8.12—8.24 すみだリバーサイドホールギャラリー
 芸術新潮 646

高槻の古窯 古曾部焼の世界 10.11—11.16 高槻市立しろあと歴史館

匠の技—やきもの、工芸美の結晶 4.5—6.29 戸栗美術館
 読売夕刊 6.4 岸本歩

竹の造形 ロイド・コッツェン・コレクション展 7.20—8.31 大分市美術館
 芸術新潮 645

竹の民俗誌—静岡、竹のある暮らし再発見— 10.1—11.30 静岡市立登呂博物館

武満徹 御代田森のなかで 4.15—9.7 浅間縄文ミュージアム
 読売夕刊 6.16 片岡正人

大宰府へ、こころが動き、ものが動く 1.5—3.9 九州歴史資料館
 デアルテ 19 馬田弘稔

大宰府へ、ひとが動き、ものが動く 8.9—11.3 九州歴史資料館

戦う上杉氏 4.19—5.25 米沢市上杉博物館

伊達家の茶の湯—利休・織部・遠州・道閑・石州・不昧— 4.18—5.25 仙台市博物館
 陶説 601 小井川百合子

田中家の帯 秋の特別企画展 9.11—12.1 田中本家博物館

楽しみの琳派展 10.10—10.26 富山市佐藤記念美術館

たばこと塩の動物園 動物意匠の喫煙具たち 3.8—5.11 たばこと塩の博物館

田原市博物館 館蔵名品選 10.17—12.7 田原市博物館

旅「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン 10.28—12.21 東京国立近代美術館
 美術手帖 845 石川直樹

旅人会日本画展15回 10.15—10.21 松坂屋(銀座)
 新美術新聞 1009 高岡忠雄

たぶろう展38回 5.31—6.10 東京都美術館
 美術の窓 239 磯部靖

玉手山古墳群を探索 開館十周年記念企画展 7.12—8.31 柏原市立歴史資料館

達磨寺の美術 9.2—10.15 奈良国立博物館

男爵が愛した日本美術—大倉集古館コレクションの精華—大観・栖鳳・清方・深water近代の名画と古美術の至宝 3.14—5.11 細見美術館

ダンス! 20世紀初頭の美術と舞踊 2.9—3.23 栃木県立美術館
 芸術新潮 640
 美術手帖 834 鴻野わか菜
 日経 2.20

団地ライフ「桐ヶ丘」「赤羽台」団地の住まいと住まい方 10.25—12.7 北区飛鳥山博物館

(チ)

小さな遺物見つけた!!—親子で楽しむ考古学3— 7.19—8.31 滋賀県立安土城考古博物館

ミュージアム・スクール 地球の上で 10.4—12.14 東京都現代美術館
 芸術新潮 648 丹尾安典

地中探訪—市内遺跡発掘速報展— 4.22—6.1 諏訪市博物館

地平線の夢 昭和10年代の幻想絵画 6.3—7.21 東京国立近代美術館
 芸術新潮 645
 朝日夕刊 6.26 北澤憲昭
 産経 6.28 生田誠
 東京 7.5 中村隆夫
 読売夕刊 7.5 芥川喜好
 読売夕刊 7.15 前田恭二

茶道具—春の取り合わせ— 3.1—4.13 根津美術館

茶道具と書画の名品 3.29—6.8 遠山記念館

茶の湯と煎茶—器の楽しみ— 8.13—9.21 和泉市久保惣記念美術館

茶の湯の造形 五島美術館・大和文華館所蔵名品選 6.21—7.27 五島美術館(大和文華館)
 日経 7.2 竹田博志

中国影絵人形展 4.23—5.22 日中友好会館

中国昇龍力展 6.9—7.5 東京画廊
 読売夕刊 6.12 前田恭二

中国染付 コバルトブルーの世界 開館五周年特別企画展 明代官窯青花磁器の宝庫 南京博物院蔵 4.22—7.21 佐川美術館
 陶説 603 弓場紀知

中国の近代絵画—一定静堂コレクションの人物画— 6.1—8.3 和泉市久保惣記念美術館

中国文人の文房具 住友コレクション 3.1—6.29 泉屋博古館

中世寺院の姿とくらし—密教・禅僧・湯屋—展 10.1—11.24 国立歴史民俗博物館
 古文書研究 57 井原今朝男

彫刻の身体 7.1—7.21 東京芸術大学陳列館
 芸術新潮 645

朝日夕刊 7.16 田中三蔵
毎日夕刊 7.14 石川健次
読売夕刊 7.10 菅原教夫
朝鮮の美術—白磁との出逢い—
7.4—9.28 高麗美術館
陶説 605 李須恵
目の眼 325 片山真理子

(ツ)

使われなくなった道具たち—道具に見る昔のくらし— 1.28—3.2
三和町立資料館(燦SUN館)
筑紫の世界 今甦る幻の古箏曲
10.17—11.30 多久市郷土資料館
筑紫野の指定文化財 7.1—9.28
筑紫野市歴史博物館
つちうらの洪水記録 7.19—8.31
土浦市立博物館
土の中からのメッセージ 発掘された仙台的遺跡7 4.25—6.22 仙台市博物館
土の中の仙台—出土品にみる江戸時代のくらし— 7.11—8.24 仙台市博物館
簡描—幸を祈る藍、福を招く布
12.2—1.25 サントリー美術館
つどう・いのる・たべる—奈良の講と神仏— 10.25—11.9 元興寺総合収蔵庫
椿会展2003「小品考」 4.8—5.25
資生堂ギャラリー
芸術新潮 642
朝日夕刊 5.13 大西若人
毎日夕刊 5.6 三田晴夫
椿物語展 安達瞳子の世界の名花
3.4—3.9 三越(日本橋)
朝日夕刊 2.28 藤生京子
産経 3.4 猪谷千香
鐺と印籠・根付展 微の中に美を探る—意匠の世界— 2.8—3.23 静嘉堂文庫美術館
鶴岡八幡宮古神宝類 9.4—9.28
鎌倉国宝館

(テ)

テクスチュア その意味—美大の非日常—金沢美術工芸大学教員作品
10.18—10.26 金沢美術工芸大学
デザインとアートの挑戦—国際陶磁器フェスティバル美濃の歩み—
8.9—11.30 岐阜県現代陶芸美術館

手仕事の美展 メキシコの民族衣装にみる 7.9—9.15 天理大学附属天理参考館
デジタルアートフェスティバル東京2003 8.8—8.17 パナソニックセンター東京
日経夕刊 8.4

鉄道と絵画展 8.2—9.15 東京ステーションギャラリー(ひろしま美術館、栃木県立美術館、福岡市美術館)
朝日夕刊 8.23 大西若人
産経 8.23 生田誠
東京 8.27、28 柚花文
東京 8.30 稲田威郎
東京 8.30 西村京太郎
東京 9.4 (青)
日経 8.6 竹田博志

ASTRO BOY 鉄腕アトム Perfect Search展 4.2—4.14 高島屋(日本橋)

毎日 3.19 月足寛樹
寺田コレクションの女性作家たちを中心に 収蔵品展013 12.7—3.2
東京オペラシティアートギャラリー
朝日 1.11 (文)

天下統一と高槻—安土城・大阪城そして高槻城— 3.30—5.11 高槻市立しろあと歴史館

天津市芸術博物館展 10.11—11.24
千葉市美術館

伝統と技—四季から生まれた工芸の美— 8.2—9.25 大倉集古館
temporary project room exhibitions 2.10—3.30 名古屋造形芸術大学内B棟前石彫場内
美術手帖 833 山本さつき

(ト)

ドイツ表現主義の芸術 2.1—3.9

府中市美術館
朝日夕刊 2.8 藤生京子
朝日夕刊 2.27 神谷幸江
読売夕刊 1.27 本江邦夫
読売夕刊 2.26 志賀秀孝

ドイツ・ロマン主義の風景素描 ドレスデン版画素描館所蔵 6.24—8.24 国立西洋美術館
朝日夕刊 8.9 田中三蔵
読売夕刊 8.6 佐藤直樹

平成15年美術展覧会(企ちへト)

等迦展36回 12.2—12.9 東京都美術館
美術の窓 245 川室美幸
灯火器—東アジアのあかりの歴史—
10.5—11.24 和泉市久保惣記念美術館
目の眼 326 橋詰文之

平成14年度東京芸術大学卒業・修了制作作品展 2.21—2.26 東京都美術館/東京芸術大学大学美術館
他

東京国立博物館コレクションの保存と修理 平成十四年度修理作品
9.9—10.19 東京国立博物館
国立博物館ニュース 661 神庭信幸

東京大空襲資料展 2.22—3.19 墨田区立緑図書館
東京 3.7 石井敬

東京美術学校昭和13年度日本画科同期回顧展 4.18—4.20 ギャラリー槐

東京流行生活展 9.13—11.16 東京都江戸東京博物館
産経 9.20 生田誠
毎日 9.24 須藤晃
毎日 9.25 新田太郎
毎日 9.26 小山周子
毎日 10.3 田中裕二
毎日夕刊 10.7

東寺観音院の歴史と美術—名宝の美聖教の精華— 3.20—5.25 東寺宝物館

東大寺の鎌倉復興 東大寺総供養800年記念展観 10.12—10.19
東大寺

東美アートフェア4回 10.3—10.5 東京美術倶楽部
ギャラリー(月刊) 221
目の眼 326 編集部

動物と考古学—動物意匠の遺物を中心に 10.12—11.16 大田区立郷土博物館

動物にそそぐ画家のまなざし 日本画動物園 3.1—5.31 足立美術館

どうぶつ美術園 描かれ、刻まれた動物たち 3.29—6.15 宮内庁三の丸尚蔵館
朝日 4.5
朝日夕刊 5.29 神谷幸江

東北大学総合学術博物館のすべて I
はるかなる憧憬 チベット—東北
大学所蔵河口慧海チベット請来品
の全貌— 1.16—2.29 仙台市博
物館

東洋文庫名品展 千代田区江戸開府
400年記念事業 12.23—1.12 丸
ビルホール
目の眼 328 田仲一成
東京 12.25 (青)

時の贈りもの—収蔵記念木村定三コ
レクション特別公開展 3.1—
3.30 愛知県美術館
読売夕刊 3.8 芥川喜好

時は江戸 村の事件簿—砲術・水
論・土砂留— 11.1—12.14 城
陽市歴史民俗資料館

徳川将軍家展 江戸開府四〇〇年記
念 5.24—7.6 岡崎市美術館
(東京都江戸東京博物館、静岡
県立美術館)

都展39回 12.3—12.9 東京都美術
館

殿様の茶の湯—尾張徳川齊荘と裏千
家玄々斎— 1.4—2.2 徳川美術
館

DOMANI・明日展2003 未来を担
う美術家たち 文化庁芸術家在外
研修の成果 1.25—3.2 損保
ジャパン東郷青児美術館
東京 2.15 中村隆夫
日経 2.5 竹田博志

土門拳と土門拳賞作家展 2.8—
3.16 群馬県立近代美術館
毎日夕刊 2.3

富山の職人—技と道具— 2.8—
3.30 富山市郷土博物館

富山の歴史資料と美術工芸品 4.5
—6.6 富山市郷土博物館

豊橋市美術館収蔵品展 後期
森田家文庫 1.4—2.2 豊橋市美
術博物館

THEドラえもん展 3.15—5.5 そ
ごう美術館
朝日夕刊 3.20 神谷幸江
朝日夕刊 5.6 山盛英司

トルコ三大文明展 8.2—9.28 東
京都美術館(福岡アジア美術館、
大阪歴史博物館)
芸術新潮 646
東京 8.21 (青)

トルコ美術の現在 neresi? bur-
asi? どこに? ここに? 6.20—
8.31 埼玉県立近代美術館
美術手帖 839 片岡真実
朝日夕刊 7.3 大西若人
朝日夕刊 7.24 神谷幸江
読売夕刊 8.21 菅原教夫
トンボ 日本人に愛されてきた水辺
のハンター 7.13—9.15 栃木県
立博物館

(ナ)

長井前ノ山古墳と周辺の遺跡 2.1
—3.23 福島県立博物館

中里介山「大菩薩峠」の世界 4.26—
6.29 山梨県立文学館

平成14年度長野県埋蔵文化財セン
ター速報展 長野県の遺跡発掘
2002 3.15—5.5 長野県立歴史
館

中村真一郎江戸漢詩文コレクション
展 5.26—6.6 国文学研究資料
館

中村藩の砲術 関流砲術を中心とし
て 1.19—2.23 野馬追の里原町
市立博物館

流れをかける大和川—つけかえ決定
から300年— 9.25—12.7 柏原
市立歴史資料館

名づけえぬもの アメリカ・イン
ディアンの手仕事 3.23—5.18
宇都宮美術館

あいだ 89 編集部
芸術新潮 641

新美術新聞 988 有木宏二

夏の茶会 6.19—9.23 茶道資料館

奈良ホテル収蔵絵画展 2.17—2.24
奈良ホテル

産経 2.8 田村龍彦

南蛮堂コレクションと池長孟展
7.19—8.31 神戸市立博物館

芸術新潮 646 丹尾安典

南蛮—東西交流の精華— 5.2—6.1
堺市博物館

(二)

肉体FLESH—情報化時代における
—収蔵作品展2003—II 7.29—
9.28 広島市現代美術館
美術手帖 840 中井康之

肉筆浮世絵の美—氏家浮世絵コレク
ション— 4.24—6.1 鎌倉国宝
館

二元展42回 6.12—6.22 東京都美
術館

美術の窓 239 高山淳

西東京アートマンス2003 8.16—
9.17 西東京エリアの画廊や倉
庫、アパートなど
新美術新聞 1002 (千)

西と東の弥生土器—卑弥呼の時代の
安芸・備後— 10.9—11.24 広
島県立歴史民俗資料館

西本願寺展 3.25—5.5 東京国立
博物館

国立博物館ニュース 658 島谷
弘幸/松原茂

朝日夕刊 4.12 山盛英司

東京 4.24 (青)

読売夕刊 4.9 島谷弘幸

21世紀展3回 伝統からの創造
4.23—4.27 東京美術倶楽部

新美術新聞 990

新美術新聞 994 高岡忠雄

21世紀に蘇る博物画 8.6—8.11
積雲画廊

毎日 7.23 窪田千代

25人の絵画展 4.26—6.29 損保
ジャパン東郷青児美術館

新美術新聞 992 嘉門安雄

朝日夕刊 5.27 山盛英司

東京 5.10 中村隆夫

二十年の歩み—新収蔵の東洋美術—
12.7—1.31 和泉市久保惣記念美
術館

2000年後の冒険ミュージアム “川
に埋もれた伝説の町—草戸千軒”
と“現代の美術”展 7.1—9.21
広島県立歴史博物館

岡山県立美術館ニュース 62 廣
瀬就久

美術手帖 841 中村共子

二千年の鼓動 弥生土器の世界
10.10—12.7 青川県立歴史博物
館

名古屋市民芸術祭2003 日常に遍在
するアート 10.7—10.19 名古
屋市民ギャラリー矢田

美術手帖 842 能勢陽子

日洋展17回 6.24—7.7 東京都美術館／上野の森美術館
美術の窓 240 高山淳／刃刀知子

日記が開く歴史の扉 4.23—5.25
京都大学総合博物館

日象展30回 11.25—12.1 東京都美術館
美術の窓 245 高山淳／川室美幸

日選展29回 4.23—5.7 東京都美術館
美術の窓 238 高山淳／佐久間智香子

日本絵画に見る女性の躍動美 働く女、遊ぶ女 10.7—11.16 サントリー美術館
朝日夕刊 11.1 小原篤
産経 10.25 (M)

日本画に描かれた動物たち—明治から今日まで—展 6.14—7.27 茨城県近代美術館

日本近代美術展 韓国国立中央博物館所蔵 4.3—5.11 東京芸術大学大学美術館(京都国立近代美術館)
朝日 3.30 森本俊司
東京 4.10 (青)
東京 4.19 草薙奈津子

日本近代洋画への道 幻の「山岡コレクション」を中心に—高橋由一から藤島武二まで— 6.27—7.27 そごう美術館
朝日夕刊 7.12 大西若人

日本近代洋画への道—山岡コレクションを中心に— 9.6—10.19 岩手県立美術館

日本芸術院所蔵作品展 開館10周年記念 10.2—11.9 式年遷宮記念神宮美術館

日本自由画壇展29回 8.21—8.30 東京都美術館
美術の窓 241 高山淳

日本秀作美術展25回 5.21—6.9 高島屋(日本橋)
読売夕刊 5.19
読売夕刊 5.24 芥川喜好

日本新水墨派展28回 11.25—12.1 東京都美術館
美術の窓 245 川室美幸

日本人の風景表現 独立行政法人国立博物館・国立美術館所蔵名品展 1.4—2.16 岡崎市美術館

日本陶芸展17回 5.15—5.27 大丸ミュージアム(東京)
朝日夕刊 2.5 金子賢治
毎日 5.14 石川健次

日本の色 藍 4.3—7.4 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

日本の三大七夕 七夕『額』飾りの世界 7.19—8.31 安城市歴史博物館

ドイツ国立芸術展覧会ホール開催「日本の美 日本の心」東京国立博物館所蔵名品展 1.27—3.7 東京国立博物館
国立博物館ニュース 663 島谷弘幸

日本の風土と美 自然と共に 2.8—5.5 世田谷美術館
産経 2.23
東京 2.20 (青)
日経 2.27 竹田博志

日本のやきもの千二百年 奈良三彩から伊万里・鍋島、仁清・乾山 3.1—5.11 サントリーミュージアム[天保山]
新美術新聞 987 岡田彰

日本版画会展44回 11.25—12.1 東京都美術館
美術の窓 245 川室美幸

日本文人画府展32回 10.5—10.14 東京都美術館
美術の窓 243 刃刀知子

日本洋画史上に輝く巨匠展 高橋由一・黒田清輝から小磯良平まで 7.5—9.15 佐久市立近代美術館

日本洋画の楽しみ 三重県立美術館所蔵名品展Ⅰ 7.10—8.17 川越市立美術館

人間国宝のわざ 髹漆と截金 9.4—10.20 石川県輪島漆芸美術館

(又)

盗まれた自然 6.7—9.23 川村記念美術館
美術手帖 841 保坂健二郎

(ノ)

ノアの箱舟に見る現代社会 4.11—6.2 福沢一郎記念館
読売夕刊 5.17 芥川喜好

能装束の美—華麗なる世界展 1.5—2.11 三鷹市美術ギャラリー

能面と能装束 4.5—5.25 三井文庫

のぞいて見よう!大名の家づくりとその暮らし 汐留遺跡展パート2 5.16—6.18 港区立港郷土資料館

のぞいてみよう江戸時代 徳川幕府開府400年記念 7.19—9.28 徳川美術館

能登 仏像紀行 9.27—11.9 石川県立歴史博物館

信長と宗教勢力—保護・弾圧そして支配へ— 10.11—11.9 滋賀県立安土城考古博物館

(ハ)

party展 1.15—2.24 CAP HOUSE
美術手帖 832 古川誠

白雨コレクション展—肥前を中心に— した東洋陶磁器コレクション—
受贈記念 10.3—11.24 佐賀県立九州陶磁文化館
目の眼 326 宮原香苗

白士会展39回 8.21—8.30 東京都美術館
美術の窓 241 高山淳

白磁・青磁の世界 板谷波山・富本憲吉から現代への軌跡 4.26—6.29 茨城県陶芸美術館

白日会会員選抜展2003 12.16—12.22 三越(日本橋)
新美術新聞 1014 高岡忠雄

白橋廬コレクション 中国陶磁展 10.4—11.30 大阪市立東洋陶磁美術館
陶説 607 野村恵子

博物館ワールドへようこそ 12.6—1.25 徳島市立徳島城博物館

畠山記念館名品展—茶道美術を中心に— 石川県立美術館開館20周年記念 10.4—11.3 石川県立美術館
陶説 607 武内範男

80年目の記憶 関東大震災といま 7.26—9.7 神奈川県立歴史博物館

八戸市立図書館所蔵「読本」展 10.8—10.24 国文学研究資料館
発掘された安城 今、よみがえる古井遺跡群の姿 2.8—4.6 安城市歴史博物館
発掘された日本列島2003 新発見考古速報展 6.3—7.9 東京都江戸東京博物館(福島県立博物館、園部文化博物館、亀岡市文化資料館、浜松市博物館、いのちのたび博物館、鳥取県立博物館、相模原市立博物館)
文化財(月刊) 476 玉田芳英
目の眼 323 編集部
発掘ふくしま3 8.20—9.23 福島県立博物館
発掘物語2003 4.26—6.15 和歌山市立博物館
八星会18回 10.25—10.31 加藤ギャラリー
版画芸術 121 岡部
Happy Trail 8.5—9.21 資生堂ギャラリー
STUDIO VOICE 333
美術手帖 840 神谷幸江
Puddles 2003 歴史と創造、未来へのモンタージュ 9.13—9.24 十思スクエア
毎日夕刊 9.19 三田晴夫
花展～四季を彩る描かれた花の魅力～ 4.5—6.15 サトエ記念21世紀美術館
はなのさきおりものがたり 岬の裂織物語 4.26—6.8 愛媛県歴史文化博物館
花火～夜空を彩る大輪の華～ 7.19—9.7 さいたま川の博物館
華やきのかたち～草花の意匠～ 1.10—2.23 根津美術館
場 日本画展 3.26—4.6 ナカジマアート他
読売夕刊 3.26
はにわ一形と心一 3.18—6.8 国立歴史民俗博物館
歴博 116 杉山晋作
はにわ一形と心 開館十周年記念特別展 6.27—8.31 四日市市立博物館
四日市市立博物館研究紀要 11 中野千幸

ハピネス アートにみる幸福への鍵 10.18—1.18 森美術館
芸術新潮 648 丹尾安典
新美術新聞 1006 デヴィッド・エリオット
STUDIO VOICE 336 北澤ひろみ
デザインの現場 130
美術手帖 842 樹山寛
朝日夕刊 12.27 西田健作
産経 10.25 生田誠
毎日夕刊 10.31 小倉正史/新見隆
読売 12.2—5 鈴木潤子
読売夕刊 10.17 デヴィッド・エリオット
読売夕刊 12.4 菅原教夫
パリ・コミュニケーションの諷刺画 1871年ペンと大砲の市民革命 2.2—3.30 平塚市美術館
芸術新潮 640
朝日夕刊 3.8 田中三蔵
東京 3.15 中村隆夫
パリー1900 ベル・エボックの輝き 11.1—12.28 豊田市美術館(福岡市美術館、東京都庭園美術館、財団法人ひろしま美術館、サントリーミュージアム[天保山]、静岡アートギャラリー)
芸術新潮 649
「パリ2時間ウォーキング」原画展 1.23—2.4 紀伊國屋画廊
新美術新聞 981 藪野健
播磨の旅人たち 紀行と絵図にみる江戸時代 10.17—11.30 姫路文学館
春の院展58回 4.1—4.13 三越(日本橋)
春の茶会 根津美術館の茶道具 3.1—4.13 根津美術館
春の飲み お人形たち 2.1—3.9 大阪青山歴史文学博物館
バルビゾン派～印象派展 ボルティモア美術館所蔵 1.11—2.16 山梨県立美術館(佐倉市立美術館、岡崎市美術博物館、サントリーミュージアム[天保山]、宮崎県立美術館)
板院展53回 6.11—6.22 東京都美術館
美術の窓 239 高山淳/小森佳代子

版画 大正から昭和へー光と影のモダニズムー 2.22—4.6 町田市立国際版画美術館
版画・半画・反画 表現と技法 ねりまの美術2003 9.6—10.13 練馬区立美術館
毎日夕刊 9.18 三田晴夫
世紀の祭典 万国博覧会の美術 パリ・ウィーン・シカゴ万博に見る東西の名品 7.6—8.29 東京国立博物館
国立博物館ニュース 664
はんこにする?サインにする? 5.31—6.29 米沢市上杉博物館
萬古の美一有節以前一 2.1—3.2 朝日町歴史博物館
絆纏—藍染めの仕事着— 6.7—7.27 豊島区立郷土資料館
般若寺遺跡と常陸の中世寺院遺跡 10.4—11.23 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
(ヒ)
比叡山麓の仏像 10.4—11.16 大津市歴史博物館
光をとらえた女性たち vol. 1—2 1.9—2.22 ポーラ ミュージアム アネックス
東京 1.25 草薙奈津子
美術館の眼 10年間の収集記録 I 開館10年記念第1弾 3.7—4.20 秋田県立近代美術館
肥前国産物図考の世界 1.31—3.2 佐賀県立美術館
秘蔵の名品アートコレクション展—不滅の輝き 甦る幻の松方コレクション— 8.2—8.28 ホテルオークラ別館・曙の間
朝日夕刊 8.12 山盛英司
東京 8.7 (青)
東京 8.9 草薙奈津子
日継知らず可き王無し—継体大王の出現— 4.26—6.8 滋賀県立安土城考古博物館
ひと・くらし・いのり—第二名神・亀山直結線 最新の発掘調査成果から— 1.4—3.23 亀山市歴史博物館

一橋徳川家のひなまつり 2.8—3.23 茨城県立歴史館
 雛とミニチュアのお道具展 愛でたきもの 3.3—4.3 思文閣美術館
 ひな人形 2.6—3.9 鎌倉国宝館
 ひな人形の世界 3 2.7—4.6 徳島市立徳島城博物館
 雛人形と雛道具「田中平八コレクションと北信濃の雛人形」 1.25—3.2 長野県立歴史館
 雛の世界 2.8—3.23 遠山記念館
 「美の遺産展」大名が好んだ名宝と華江戸開府四〇〇年記念 6.6—6.9 味の素スタジアム
 目の眼 322 編集部
 美の巨匠たち 東京富士美術館所蔵～西洋絵画400年展～ 4.18—5.25 福岡市美術館
 姫路市立美術館館蔵名品展 美術館20年のコレクションから 4.2—6.5 姫路市立美術館
 姫路に伝わる工芸の系譜 木工・漆工・染織 館蔵品展Part1 12.2—1.25 姫路市書写の里・美術工芸館
 姫路のやきもの展 1.7—3.30 姫路市書写の里・美術工芸館
 百花百草—花と木によせる日本の心— 4.12—5.25 徳川美術館
 表象都市 metamorphosis 広島—芸術実験プロジェクト2003— 9.27—10.26 旧日本銀行広島支店／平和大通り
 朝日夕刊 10.16 田中三蔵
 漂着物考—浜辺のミュージアム— 12.1—2.21 INAXギャラリー—読売夕刊 12.6 芥川喜好
 漂泊の詩人 芭蕉—風雅の跡 10.25—12.7 出光美術館
 目の眼 327
 日経 11.26 竹田博志
 屏風絵の魅力 4.19—5.18 根津美術館
 漂流物考—浜辺のミュージアム— 9.4—11.21 INAXギャラリー—名古屋
 デザインの現場 130
 「開けゴマ!」Vol. 1 絵の夢 八王子市夢美術館開館記念展 10.18—12.7 八王子市夢美術館

「開けゴマ!」Vol. 2 美術誕生
 八王子市夢美術館開館記念展 入選作品展 12.19—2.11 八王子市夢美術館
 特別展 平山郁夫コレクション
 ブッダの生涯とガンダーラをめぐ
 る人びと 8.15—9.23 飯田市美術博物館
 美をたどる—久保惣コレクションの
 国宝・重文— 4.6—5.25 和泉市久保惣記念美術館

(フ)

フィンランドの美術—神話が息づく
 自然の国— 9.20—11.24 群馬県立館林美術館(山口県立美術館、せんだいメディアテーク)
 朝日夕刊 10.28 大西若人
 フェアリー・テイル 妖精たちの物語 9.13—11.3 埼玉県立近代美術館
 東京 10.11 中村隆夫
 読売夕刊 10.1 大越久子
 4 D—溶け合う仮想と現実 10.9—10.18 AXISギャラリーア
 ネックス
 デザインの現場 130
 ブギ・ウギ・ワンダーランド 11.11—11.23 山口県旧県庁舎
 美術手帖 843 市原研太郎
 福岡市美術展37回 3.11—3.23 福岡市美術館
 ふくしまの俳諧—「おくのほそ道」以後—平成15年度歴史資料展 10.10—11.24 福島県歴史資料館
 福の神 2.8—3.16 富岡市立博物館・福沢一郎記念美術館
 福・北美術往来 1.2—2.2 北九州市立美術館／福岡市美術館
 新美術新聞 981 (美)
 美術手帖 832 中村共子
 武家と禅—伊達氏とみちのくの禅宗寺院— 9.12—10.19 仙台市博物館
 藤岡の瓦づくりとその時代—太子講に結ばれた瓦師たち 3.1—3.30 藤岡市郷土資料館
 フジタと秋田の画家たち 1.25—3.30 平野政吉美術館

平成15年美術展覧会(企ヒ、フ)

武士のおしゃれ 5.31—7.13 徳川美術館
 藤森栄一展 没後30年記念 10.30—12.21 諏訪市博物館
 フジヤマミュージアムオープン記念
 展示 7.26—11.30 フジヤマ
 ミュージアム
 東京 10.23 (青)
 府中ビエンナーレ1回 ダブル・リ
 アリティー—両義的な空間とイ
 リュージョンの7人 11.16—1.19 府中市美術館
 朝日夕刊 1.10 大西若人
 仏教美術の世界 おのみち七仏めぐ
 り寺院に見る 8.9—8.31 尾道市立美術館
 仏像東漸—伊勢・伊賀、そして東
 へ— 開館10周年記念特別展 4.26—6.1 四日市市立博物館
 芸術新潮 642
 四日市市立博物館研究紀要 11
 赤川一博
 不滅の剣豪3人展—鞍馬天狗、眠狂
 四郎、宮本武蔵 4.26—6.8 神奈川近代文学館
 日経夕刊 4.28
 FUSION MUROMACHI↔NOW—
 時空を超えて融合するアート— 8.23—10.26 板橋区立美術館
 フランス近代絵画展—印象派からエ
 コール・ド・パリ— 松岡美術館
 所蔵 9.13—10.19 秋田県立近代美術館(徳島県立近代美術館、
 大丸ミュージアムKOBÉ、かご
 し県民交流センター)
 フランス現代美術展:ルノー・コレ
 クション 7.17—9.10 損保ジャ
 パン東郷青児美術館
 新美術新聞 998 五十嵐卓
 STUDIO VOICE 332
 朝日夕刊 9.2 田中三蔵
 日経 7.23 竹田博志
 プリヂストン美術館コレクション展 1.11—3.23 プリヂストン美術館
 朝日夕刊 3.15 藤生京子
 東京 2.13 (青)
 ブルガリア現代版画と日本 それぞ
 れの版表現 6.7—7.21 山梨県立美術館

ブルガリデザイン100年展 9.26—
9.28 新国立劇場
芸術新潮 647

〜ふるさと文化の源流〜四日市の文
化財 開館十周年記念特別展
11.1—12.7 四日市市立博物館
四日市市立博物館研究紀要 11
堀越光信

PresentA'03 あなたは、何処
ミュンヘン国立芸術アカデミー×
東京芸術大学 現代美術交流展
6.3—6.15 東京芸術大学陳列館
／学生会館
美術手帖 838 染谷比呂子
毎日 6.4 宮本扶未子
毎日夕刊 6.12

文京の匠たち 和紙をめぐる技と文
化 江戸開府四百年記念伝統工芸
展 6.21—7.27 文京ふるさと歴史
史館

文人画名品展 出光美術館所蔵
4.25—6.15 田原町博物館

文房具展 名品に親しむ 4.26—
6.22 都留市博物館「ミュージア
ム都留」

(ヘ)

平安・鎌倉の歌人たち 秋季特別展
10.11—11.23 大阪青山歴史文学
博物館

平安時代の土器づくり—三和町の須
恵器窯跡群—第5回企画展 8.23
—9.28 三和町立資料館

平成14年度史跡出雲国府跡の調査
3.4—5.5 島根県立八雲立つ風土
記の丘資料館

平林寺展 10.11—11.24 埼玉県立
博物館

平和のいしづえ2003 テーマ展
8.1—8.31 栗東歴史民俗博物館

平和へのメッセージ展 11.25—
12.25 佐藤美術館／日本キリス
ト教団銀座教会
新美術新聞 1010 (美)

壁画古墳の流れ 高松塚とキトラ
10.7—12.7 大阪府立近つ飛鳥博
物館

ペリー来航と東京湾 ペリー来航
150周年記念 7.19—8.17 横浜
市歴史博物館

ペリー来航百五十年—開国から帝国
議会開設まで— 5.22—6.13 衆
議院憲政記念館

(木)

房総の素封家と近代日本画壇—大
観・紫紅とその周辺— 9.24—
10.25 城西国際大学水田美術館
法隆寺秘宝展(平成十五年度春季)—
世界文化遺産登録10周年記念—
3.20—6.30 法隆寺大宝藏殿
聖徳 178 河野昭昌

星粒展9回 8.13—8.19 高島屋
(日本橋)

新美術新聞 1004 高岡忠雄
ポスター芸術の巨匠たち—ロート
レックからウォーホルへ— 6.20
—7.27 サントリー美術館

ポスターで観る日本映画200 その
黄金期を中心にして 8.9—9.13
武蔵野美術大学美術資料図書館

ポスターのユートピア ロシア構成
主義のグラフィックデザイン
2.15—4.6 川崎市市民ミュージ
アム

芸術新潮 640
美術運動史研究会ニュース 59
後藤宣代

朝日夕刊 3.22 大西若人
日経 4.2 宝玉正彦
読売夕刊 3.3 生井英考

細川家伝来の貴重書 1.14—3.22
永青文庫
目の眼 319 小林祐子

細川家と宮本武蔵 4.1—5.11 永
青文庫
朝日夕刊 4.17 神谷幸江
日経 4.9 竹田博志

細見古香庵 コレクションの軌跡
5.16—7.21 細見美術館

帆立貝形古墳を考える 特別展11回
10.26—12.7 かみつけの里博物
館

北海道の基層文化をさぐる—北から
南から— 9.11—11.3 北海道開
拓記念館

北海道の水彩画 9.6—10.26 北海
道立三岸好太郎美術館

仏さまの世界—三和の仏教遺品 第
6回企画展 11.1—12.14 三和
町立資料館
特別展観 仏を観る 9.18—10.5
東京芸術大学陳列館

(マ)

Chaosmos'03 Mindscape 8.30
—9.28 佐倉市立美術館
美術手帖 841 西村智弘

まち 歌会始御題によせて 3.5—
4.6 式年遷宮記念神宮美術館
町田・民俗の世界から 民具と暮らし
小特集・講と講中の用具
2.11—3.16 町田市立博物館

まどわしの空間 遠近法をめぐる現
代の15相 11.18—2.22 うらわ
美術館
美術手帖 846 古屋俊彦

東京 12.13 草薙奈津子

守り伝える民俗の心 アジアの服飾
文化学園創立80周年・新博物館開
館記念館蔵品名品展 11.28—
2.25 文化学園服飾博物館

マヤ文明展 神秘の王朝 3.18—
5.18 国立科学博物館(静岡県立
美術館、鹿児島県歴史資料セン
ター黎明館、宮崎県総合博物館、
高知市文化プラザ)
朝日 3.17 佐藤雄二
朝日夕刊 3.29 山盛英司

繭蔵プロジェクト 温度差7℃展
2003 9.14—10.19 青梅市内の
織物工場、倉庫など
新美術新聞 1004 西澤美子

マンダラ展 チベット・ネパールの
仏たち 3.13—6.17 国立民族学
博物館
朝日 6.5 石田裕樹

萬野コレクション 日本の美 4.11
—6.22 萬野美術館

万葉歌を描く 奈良県立万葉文化館
所蔵 現代日本画家50人 1.2—
1.20 松屋(銀座)(高島屋(横
浜)、松坂屋美術館、大丸(下
関)、富山県水墨美術館、大和(新
潟))

万葉歌を観る 万葉びとのところを
映した絵画から 9.21—10.25
武蔵野市立吉祥寺美術館

(ミ)

三浦半島の横穴墓—王墓から家族墓へ— 10.26—3.2 横須賀市博物館
横須賀市博物館報 50 稲村繁
三重の優品展—めったに見られない考古遺物—第23回三重県埋蔵文化財展 9.28—11.3 松阪市文化財センターはにわ館
「見える」風景「見えない」風景—3つの展覧会 小野木学 小野具定 明治から現代の風景画 2.22—3.30 練馬区立美術館
朝日 2.27
美杉村 遺跡ぶらり旅 10.4—11.9 美杉ふるさと資料館
水田コレクション 浮世絵は楽し2 役者絵 4.15—5.10 城西国際大学水田美術館
水田コレクション 浮世絵は楽し3 美人画 11.2—11.22 城西国際大学水田美術館
みずのきの絵画—鶏小屋からの出発 9.21—11.24 林原美術館
日経 9.9
水の情景 画家たちが描いた生活と自然 4.26—5.18 星野画廊
未知の世界へ 児童文学にえがかれた冒険 7.19—11.9 国立国会図書館国際子ども図書館
三井家の雛人形 2.1—3.2 三井文庫別館
三井家の着物—江戸・明治・大正— 3.29—5.16 文化学園服飾博物館
三井文庫名品展 三井文庫創立100年記念 12.29—1.13 三越(日本橋)
日経 1.10
湊町アンダーグラウンドプロジェクト 9.20—10.5 大阪・湊町中央広場地下空間
美術手帖 842 木ノ下智恵子／五十嵐太郎
美濃の鉢 美濃古窯の変遷からみた用の器 9.14—11.24 瑞浪陶磁資料館
陶説 608、609 岩井理
目の眼 326 編集部

京の葵祭展—王朝絵巻の歴史をひもとく— 4.12—5.18 京都文化博物館
未来美術館 1.24—2.14 石井倉庫朝日 2.4
弥勒如来にささげる お経のタイムカプセル 親と子のギャラリー 9.2—10.15 奈良国立博物館
明代陶磁の魅力—青花と五彩— 8.5—9.15 畠山記念館
明末・清初のうつわ展 呉州赤絵古染付・南京手 6.14—7.27 静嘉堂文庫美術館
陶説 604 長谷川祥子
目の眼 323 編集部
読売夕刊 7.9 長谷川祥子

(ム)

武者絵 江戸の英雄大図鑑 4.8—5.18 渋谷区立松濤美術館
朝日夕刊 4.26 大西若人
日経夕刊 4.14
無印良品の未来 9.13—11.8 ギャラリー・間
デザインの現場 130

(メ)

明治前期教育用絵図展 11.8—12.7 玉川大学教育博物館
芸術新潮 649
明治の宮中デザイン 和・中・洋の融合の美を求めて 9.27—12.14 宮内庁三の丸尚蔵館
芸術新潮 647
朝日夕刊 11.25 田中三蔵
名所絵の世界 6.20—7.22 彦根城博物館
名所の変貌—広重から清親へ— 10.23—11.30 中山道広重美術館
瞑想のための球体 2.25—3.30 川越市立美術館
メキシコの民族衣装 母から娘へ伝えられる手仕事 2.10—3.22 天理ギャラリー
目黒区美術・書—2003 12.6—1.11 目黒区美術館
埼玉の名宝シリーズ4 めざめろ古代—新指定の考古資料— 7.19—8.31 埼玉県立博物館

平成15年美術展覧会(企ミ〜モ)

メディア・ソケット—多層なる創造圏 11.1—12.28 山口情報芸術センター
美術手帖 843 白坂ゆり
目でみる近代の金沢 5.29—7.27 神奈川県立金沢文庫
メテウンデ展 5.13—5.25 同時代ギャラリー
STUDIO VOICE 330

(モ)

もうひとつの現代 10.11—1.25 神奈川県立近代美術館(葉山)
もうひとつの明治美術 明治美術会から太平洋画会へ 7.19—8.24 静岡県立美術館(府中市美術館、長野県信濃美術館、岡山県立美術館)
芸術新潮 647
朝日夕刊 8.4 田中三蔵
模型の世界展 7.19—8.31 城陽市歴史民俗資料館
文字展@smt 2.2—2.23 せんだいメディアテーク
デザインの現場 128 池田美奈子
「モノ」が語りかけるハンセン病問題 人権教育のための国連10年によせて 10.25—11.22 昭和女子大学光葉博物館
ものが語る人と文化—ミュージアム・コレクション再発見— 10.4—11.24 栃木県立博物館
「モノム・プロジェクト」「モノム・ファクトリー」展 11.6—12.2 リビングデザインセンターOZONE
STUDIO VOICE 336
もみじ 夕焼け 里の秋 唱歌・童謡のふるさと信州 9.27—11.9 長野県立歴史館
木綿の島々 インドネシアの染織 エイコ・クスマ・コレクション 1.5—3.2 福岡市美術館(渋谷区立松濤美術館)
桃山陶に魅せられた七人の陶芸家—陶片に学んだ技と美— 4.5—5.25 山梨県立美術館(愛知県陶磁資料館、滋賀県立陶芸の森)
芸術新潮 646 青柳恵介

陶説 600

陶説 603 唐澤昌宏

桃山陶に魅せられた七人の陶芸家—

陶片に学んだ技と美— 10.18—

12.7 茨城県陶芸美術館

東京 11.8 森孝一

盛岡を発掘する 盛岡の亀ヶ岡文化

埋蔵文化財調査資料展20回 3.7

—3.9 盛岡市中央公民館

守部和秋主と平戸藩 国学者をとり

まく人々 11.1—11.30 朝日町

歴史博物館

(ヤ)

やきものに描かれた人々 1.2—

1.13 佐賀県立九州陶磁文化館

やきものの美展 美濃・釉薬の魅力

7.6—7.28 佐野美術館

TOSA・TOSA2003 柳原睦夫と現

代陶芸の尖鋭たち 現代陶芸の系

譜—現代陶芸・14人の尖鋭たち

3.2—4.20 高知県立美術館

大和文華館所蔵 梅の美術 2.21—

3.30 大和文華館

大和文華館所蔵 高麗・朝鮮時代の

絵画と工芸 11.21—12.24 大和

文華館

大和文華館所蔵 国宝「寝覚物語絵

巻」と平安・鎌倉の美術 8.29—

10.5 大和文華館

大和文華館所蔵 国宝「松浦屏風」と

桃山・江戸の美術 4.4—5.11

大和文華館

大和文華館所蔵 古代東洋の美術—

仏教彫刻・工芸・考古— 7.11—

8.24 大和文華館

大和文華館所蔵 中国陶磁—花の意

匠— 5.16—7.6 大和文華館

大和を掘る21 2002年度発掘調査速

報展 7.19—8.31 奈良県立橿原

考古学研究所附属博物館

所蔵 山中常盤物語絵巻展—描かれ

た義経伝説— 9.19—10.21

MOA美術館

日経 9.24 宝玉正彦

山梨の農民文学展 7.19—8.31 山

梨県立文学館

弥生創世記 検証・縄文から弥生へ

4.12—6.15 大阪府立弥生文化博

物館

弥生文化研究への熱いまなざし 森

本六爾、小林行雄と佐原真 10.4

—11.30 大阪府立弥生文化博物

館

(ユ)

豊かさの研究—石器時代から見る未

開と文明展 第七回収蔵品展

1.25—4.6 相模原市立博物館

地方史研究 303 西海賢二

ユニークな土器たち 第45回企画展

4.2—6.9 天理大学附属天理参考

館

(ヨ)

洋館を彩った金唐草紙 3.18—5.25

紙の博物館

百万塔 115 五十嵐

朝日夕刊 3.27 神谷幸江

遙玄展30回 12.2—12.9 東京都美

術館

美術の窓 245 高山淳/功刀知

子

ヨーロッパ・ジュエリーの400年

ルネサンスからアール・デコまで

4.24—7.1 東京都庭園美術館(福

岡市博物館、松坂屋美術館、美術

館「えき」KYOTO)

芸術新潮 643

デザインの現場 128

朝日夕刊 6.19 神谷幸江

東京夕刊 5.6—8 関昭郎

ヨーロッパ版画の散歩道 三重県立

美術館所蔵名品展Ⅱ 8.23—9.23

川越市立美術館

ヨーロッパポスター展 産業とアー

トの出会い 7.7—8.10 思文閣

美術館

吉野ヶ里 戦いの始まりとクニの成

立 9.20—11.16 野洲町立歴史

民俗資料館

吉原治良賞美術コンクール展12回

1.6—1.17 大阪府立現代美術セ

ンター

『吉原治良賞美術コンクール』歴代大

賞受賞作品展 大阪府立現代美術

センターコレクション 1.6—

1.17 大阪府立現代美術センター

4つの窓と釜山 東アジアの中の日

韓交流 開館10周年記念特別企画

展 10.17—11.24 佐賀県立名護

屋城博物館

よみがえった赤羽刀 7.19—8.31

広島県立歴史民俗資料館

よみがえる古代の茨城 7.19—8.31

茨城県立歴史館

よみがえる上宮寺の宝物 11.1—

12.4 安城市歴史博物館

よみがえる幕末・明治 時代の風物

詩 2.4—3.2 JCIフォトサロン

毎日 1.22 奥村隆

黄泉のアクセサリ 古墳時代の装

身具 4.15—6.15 大阪府立近つ

飛鳥博物館

黄泉国を開ける 3.4—4.13 佐賀

県立博物館

読む風景、眺める本 9.6—10.13

うらわ美術館

デザインの現場 130

読めた古文書、むかしの字—龜山に

のこされたくずし字を読んでみよう、

書いてみよう、さがしてみよう—

7.19—9.1 龜山市歴史博

物館

四都美人装い競べ—京・大阪・江

戸・名古屋— 1.25—3.2 神奈

川県立歴史博物館

四〇〇年前の板橋とその周辺の世界

江戸開府400年記念 10.11—12.7

板橋区立郷土資料館

(ラ)

ラブプラネット 愛の惑星 11.15

—12.28 旧出石小学校(岡山市)

美術手帖 845 竹田直樹

ランス美術館 ヴァニエ&ボメリー

コレクション ~コロ、モネと

その時代の絵画、ガレのガラス器

や家具を中心に~ 7.11—11.9

メルシャン軽井沢美術館

東京 9.11 (青)

ランデブープロジェクト 「マイ・

スウィート・ホーム」 3.27—

4.14 スパイラルガーデン

デザインの現場 127

(リ)

龍門文庫—知られざる奈良の至宝展
11.26—12.23 奈良国立博物館
芸術新潮 638
両洋の眼展2003 2.8—2.18 松坂
屋美術館(名古屋)
新美術新聞 983 米倉守

(レ)

歴史の風景 遺跡からのメッセージ
8.30—11.16 愛知県陶磁資料館
陶説 606 小川裕紀
歴史を決めた戦い—信長の台頭から
家康の覇権まで— 4.22—5.25
徳島県立博物館
歴史を巡るサイエンス 10.21—
11.30 国立歴史民俗博物館
日経 11.7

(ロ)

ローマン展35回 12.10—12.16 東
京都美術館
美術の窓 245 切刀知子
六郷用水歴史探訪 2.9—3.23 大
田区立郷土博物館
ロシア・アヴァンギャルドの陶芸展
モダン・デザインの実験 4.26—
7.27 岐阜県現代陶芸美術館(滋
賀県立陶芸の森陶芸館)
芸術新潮 643
デザインの現場 128
陶説 603、604 不動美里
毎日夕刊 7.1 三田晴夫
ロシア・アヴァンギャルドの陶芸展
モダン・デザインの実験 8.23—
10.5 茨城県陶芸美術館
朝日 8.20
ロマノフ王朝展 栄光の宮廷文化と
ロシア正教 4.22—7.6 東京都
美術館
芸術新潮 642
美術手帖 834 池上ちかこ
産経 3.13
産経 6.21、22 渋谷和彦
産経 6.23—25 富田佐知子
産経 6.26—28 河合晴生
東京 5.22 (青)

(ワ)

和歌の時代 古今集そして新古今集
5.11—6.8 天理ギャラリー
わざの美 日本伝統工芸展50年記念
展 5.27—6.8 三越(日本橋)
朝日 5.25 内山武夫
朝日 5.28 杉良太郎
朝日 5.29 司葉子 談
和算の時代—日本人の数学力をたど
る— 11.8—12.7 思文閣美術館
和紙 用と美の世界 11.7—12.7
八代市立博物館未来の森ミュージ
アム
和書のさまざま 3.18—4.25 国文
学研究資料館
私の愛する一点展 6.7—8.3 梅野
記念絵画館
日経 7.28
「わたしの居場所」展 静岡New Art
3.18—2.1 静岡県立美術館
私の劇場=3展 3.10—4.12 ギャ
ラリー北村
東京 3.29 中村隆夫
私の八月十五日展 8.26—8.29 大
田区民ホール
毎日 8.27 宮本扶未子
読売 8.16
和の美—雅と粋(古典から近代)—
1.2—2.23 メナード美術館
和様の心—井伊家伝来能装束から—
4.11—5.13 彦根城博物館
笑いの想像力—笑わせるヒトと笑う
モノの博物誌— 10.11—12.7
福島県立博物館

作家展

(ア)

相原求一朗・高橋久雄—ひとすじの
道 1.25—3.23 埼玉県立近代美
術館
朝日 1.22 国末憲人
産経 2.15 渋谷和彦
マリア・アイヒホルン 輸入禁制品
5.13—6.14 Masataka Hayakawa
Gallery
芸術新潮 643 丹尾安典
毎日夕刊 5.30 三田晴夫

青木克世展 3.4—3.29 セゾン
アートプログラム・ギャラリー
美術手帖 834 白木直子
青木繁と近代日本のロマンティシズ
ム展 3.25—5.11 東京国立近代
美術館
新美術新聞 989 蔵屋美香
美術研究 382 田中淳
美術手帖 835 北澤憲昭
朝日夕刊 4.8 高階秀爾
東京 4.3 (青)
青木繁と近代日本のロマンティシズ
ム展 5.21—7.6 石橋美術館
デアルテ 20 植野健造
デアルテ 20 浦上雅司
青木野枝展—熊と鮭に 7.12—8.10
国際芸術センター青森
朝日夕刊 7.22 大西若人
青柳家のお正月飾り[青柳豊和]
11.25—12.5 ギャラリー晩紅舎
毎日 11.26 重長聡
赤松麟作とその周辺 東京藝術大学
大学美術館コレクション展
12.12—2.8 東京芸術大学大学美
術館
新美術新聞 1013 新関公子
秋野不矩展—創造の軌跡— 4.26—
6.8 兵庫県立美術館
秋野不矩展—創造の軌跡— 7.19—
8.31 茨城県天心記念五浦美術館
毎日 7.18 岸桂子
読売夕刊 8.9 芥川喜好
秋野不矩展—創造の軌跡— 9.6—
10.26 天竜市立秋野不矩美術館
毎日 9.5 道浦母都子
秋廣誠展 10.13—10.19 フタバ画
廊
美術手帖 842 土屋誠一
水晶画 十二姫展[明(Akira)]
9.13—9.23 目黒雅叙園
新美術新聞 1002 (白)
特集陳列 高野コレクション・浅井
忠の水彩画 2.18—3.30 東京国
立博物館
読売夕刊 3.15 芥川喜好
浅野弥衛展 線の宇宙儀 1.17—
2.23 静岡アートギャラリー
読売夕刊 2.15 芥川喜好

悲し器父娘展 土を訪ねて3万里
父を訪ねて14年[浅葉克己、浅葉
春] 4.1—4.19 space TRY
デザインの現場 127
東強展 10.20—11.8 シルクラン
ド画廊
読売 10.9
安達忠良・高橋操二人展 2.17—
2.28 GALLERY晩紅舎
毎日 1.29 宮本扶未子
安達博文展 3.12—3.18 高島屋
(日本橋)
新美術新聞 986 村田慶之輔
エイヤ＝リーサ・アハティラ展
3.21—6.8 東京オペラシティ
アートギャラリー
美術手帖 835 東谷隆司
朝日夕刊 4.3 神谷幸江
朝日夕刊 5.15 田中三蔵
読売夕刊 4.3 (菅)
マリーナ・アブラモヴィッチ展
The Star 11.22—2.1 熊本市
現代美術館
芸術新潮 649
新美術新聞 1014
毎日夕刊 12.16 三田晴夫
阿部典英展 豊饒なる立体 9.7—
10.19 芸術の森美術館
網中いづる個展「Skirt」 5.23—
5.28 HBギャラリー
デザインの現場 127
荒木経惟 花人生展 5.1—6.8 東
京都写真美術館
朝日 5.29
有田巧 個展 1.19—1.31 岡崎画
廊
有馬かおる展 12.4—4.18 ワタリ
ウム美術館
STUDIO VOICE 338 原久子
栗津杜子 リトアニア十字架の丘
9.4—9.10 番町画廊
産経 9.4
栗野ユミト・藤阪新吾展 知覚スル
装置 2.27—4.13 川崎市岡本太
郎美術館
朝日夕刊 4.8 田中三蔵
安星金展 10.6—10.18 Gallery Q
美術手帖 843 古川美佳
毎日夕刊 10.16 三田晴夫

安藤忠雄建築展2003 再生一環境と
建築 4.5—5.25 東京ステー
ションギャラリー(兵庫県立美術
館)
芸術新潮 642
デザインの現場 127
美術手帖 836 暮沢剛巳
朝日夕刊 3.31 松葉一清
産経 5.17 渋谷和彦
毎日夕刊 4.22 五十嵐太郎
読売夕刊 4.12 芥川喜好
安部典子展 7.28—8.9 ギャラ
リーなつか
芸術新潮 645

(イ)

アジア現代美術個展シリーズ3
イ・ブル展「世界の舞台」 6.7—
7.13 国際交流基金フォーラム
朝日夕刊 6.30 大西若人
朝日夕刊 7.3 神谷幸江
毎日夕刊 6.27 三田晴夫
読売夕刊 6.26 前田恭二
飯島一博遺作展 8.23—8.30 富岡
美術館
読売 8.26
共和国広場から[アンドレア・イ
ヴァノビッチ] 4.17—4.29 ap-
pel/現代HEIGHTS・Gallery Den
読売夕刊 4.15
五百城文哉の植物画 兎嶺の百花譜
7.26—8.31 小杉放菴記念日光美
術館(水戸市立博物館、高知県立
牧野植物園、相模原市立博物館)
芸術新潮 650 寺門寿明 談
伊賀美和子新作展「テンペスト・イ
ン・ティー ポット」 11.28—
12.19 小出由紀子事務所
芸術新潮 650
イグチトシオ展 2.17—3.1 マキ
イマサルファインアーツ
美術手帖 834 白木直子
たがやすように一熟す画面の4つの
かたち[池垣タダヒコ] 9.13—
10.26 和歌山県立近代美術館
和歌山県立近代美術館ニュース
38・39 奥村泰彦
池田孔介展 9.8—9.13 東京芸大
ギャラリー
美術手帖 841 土屋誠一

その頃は無名だった 若き詩人画
家・池田満寿夫 3.29—11.26
池田満寿夫美術館
読売夕刊 8.23 芥川喜好
池松江美 『ソウルメイトを探して
…』 8.20—9.20 ミヅマアート
ギャラリー
STUDIO VOICE 333
伊澤達史展 5.19—5.25 フタバ画
廊
美術手帖 838 平野千枝子
日本画家 石井公男展 9.12—
10.22 茂原市立美術館・郷土資
料館
石井鶴三挿絵の世界 描かれた武蔵
12.2—1.25 茨城県近代美術館
石井幹子 心に響く光 11.3—
11.23 田崎真珠銀座店ギャラ
リー
毎日 10.22 鈴木玲子
石踊達哉展 古典と未来がつながる
瞬間 9.2—9.11 山形屋文化
ホール
2001.9.11事件以降[石川九楊個展]
9.16—9.28 ギャラリー白い点
芸術新潮 647
石川卓磨展 7.3—7.15 appel
美術手帖 839 平野千枝子
石川順恵 絵画の楽譜 11.17—
12.6 南天子画廊
毎日夕刊 12.2 三田晴夫
石田喜一郎とシドニーカメラサーク
ル 4.25—6.1 秋田県立近代美
術館(シドニー美術館)
ARK 36 山本丈志
石田達朗展 7.26—8.9 YEBISU
ART LABO
美術手帖 840 能勢陽子
石原友明展 5.9—6.14 MEM gal-
lery
美術手帖 838 金悠美
石原眞澄展 光の神話 3.11—4.4
ボラロイド・ギャラリー
産経 3.11 田中規雄
泉沢儒花展 12.11—12.24 gallery
cafe & used cloth SORA
美術手帖 846 平野千枝子
泉孝昭展 3.7—4.5 Culture Me-
dium
美術手帖 835 能勢陽子

和泉正敏 石のはなし 7.3—3.21
岩手県立美術館
磯崎新版画展 百二十の见えない都
市 5.8—6.28 ギャラリーサカ
朝日夕刊 6.24 田中三蔵
クリテリウム55 磯山智之 3.23—
6.8 水戸芸術館現代美術ギャラ
リー
伊丹潤回顧展 5.9—5.18 羽根子
ミュージアム
毎日夕刊 5.16
館蔵品による板谷波山展—神々しき
匠の技— 没後40年 素描完結記
念 2.8—4.13 出光美術館
芸術新潮 639
朝日夕刊 3.1 山盛英司
読売夕刊 3.26 荒川正明
板谷波山 没後40年 その人と芸術
10.8—10.20 高島屋(日本橋)(高
島屋(横浜)、高島屋(なんば)、高
島屋(京都)、しもだて美術館)
朝日夕刊 10.4 荒川正明
イチハラヒロコ+アン・ゼーバッハ
7.22—8.9 SAI GALLERY
美術手帖 840 池上司
一色ちか子 花になるドキュメント
展 5.6—5.24 西村画廊
芸術新潮 643
ヨハネス・イッテン 造形芸術への
道 8.24—10.13 宇都宮美術館
(京都国立近代美術館、東京国立
近代美術館)
デザインの現場 130
朝日夕刊 10.1 田中三蔵
渡仏支援 伊藤彰規展—Land—北
方の地の記憶1980—2003 4.15—
4.20 北網圏北見文化センター美
術館
[FUTURE DAYS] 伊藤桂司
3.28—4.2 gallery ROCKET
デザインの現場 127
伊藤存 『きんじょのはて』 9.5—
11.24 ワタリウム美術館
STUDIO VOICE 334 濱中マコ
ト
伊東忠太展 1.6—2.6 日本建築学
会建築博物館
朝日夕刊 1.16 神谷幸江

建築家・伊東忠太の世界展 4.12—
8.31 ワタリウム美術館
芸術新潮 642
建築史学 41 倉方俊輔
デザインの現場 128
美術手帖 836 五十嵐太郎
朝日 6.3 大西若人
読売夕刊 5.15 菅原教夫
伊藤誠展 10.13—11.8 村松画廊
芸術新潮 648
毎日夕刊 10.21 三田晴夫
読売夕刊 10.23 菅原教夫
井堂雅夫が描く宮沢賢治の心象の風
景 3.5—3.10 高島屋(日本橋)
朝日 2.26 山縣章子
流動する美術8 伊奈英次・金村修
の写真 都市風景のメカニズム
10.15—12.27 福岡市美術館
井上長三郎展 独創諧謔の画家
2.8—3.30 神奈川県立近代美術
館(伊丹市立美術館)
新美術新聞 984 関正和
猪熊弦一郎回顧展 生誕100周年記
念 11.23—2.8 丸亀市猪熊弦一
郎現代美術館(茨城県つくば美術
館、川越市立美術館、群馬県立館
林美術館)
猪越俊之展 ユーシャの幻想II
9.22—9.27 ギャラリー銀座
毎日 9.10 窪田千代
伊庭靖子展—まなごしの行方—
9.1—9.27 INAXギャラリー
読売夕刊 9.25 菅原教夫
人間国宝十三代今泉今右衛門展 色
鍋島から薄墨へ 9.9—9.21 三
越(日本橋)
新美術新聞 1001 外館和子
朝日夕刊 9.8 福島建治
風俗画伯 巖如春 都市の記憶を描
く 7.19—8.24 石川県立歴史博
物館
岩城直美展 10.18—11.15 白土舎
美術手帖 843 能勢陽子
いわさきちひろ展 4.26—6.1 茨
城県天心記念五浦美術館
岩澤有徑展 5.12—5.31 シティ
ギャラリー
美術手帖 836 金悠美
岩橋英遠・片岡球子展 10.3—
11.16 北海道立近代美術館

いわむらかずお絵本の世界展—えほ
んの丘のなかまたち 3.12—3.24
松屋(銀座)
朝日 2.19、3.11

(ウ)

上田邦介展 工芸としての岩絵具
11.28—12.19 GALLERY MAKI
東京 12.6 草薙奈津子
上野慶一展 10.18—11.4 ギャラ
リー二葉
美術手帖 842 土屋誠一
上原三千代展 9.8—9.20 ガレリ
ア・グラフィカ
芸術新潮 647
日経 9.15 竹田博志
植松奎二展 身体と眼差しへの思
考—'70sの写真・映像から新作ま
で— 5.3—6.1 北九州市立美術
館
植松奎二 滝・fall in art 7.1—
7.28 INAXギャラリー2
毎日夕刊 7.7 三田晴夫
読売夕刊 7.17 菅原教夫
植松琢磨展 9.8—9.27 GALLERY
wks.
美術手帖 841 金悠美
古希記念 上村淳之展 1.29—2.11
高島屋(日本橋)
新美術新聞 982 太田垣實
読売 1.31、2.2、4 上村淳之
上村次敏・五月女幸雄 迷宮と幻影
11.15—1.12 埼玉県立近代美術
館
ライオネル・ウェント写真展 「近
代」のまなごし 8.21—10.28 福
岡アジア美術館
芸術新潮 646
デアルテ 20 黒田雷児
元慶煥[ウォン・キョンファン] 木
剋土・土生金展 2.22—3.29
MDSギャラリー
芸術新潮 640
美術手帖 834 古川美佳
内田巖造作展 揺れるリアリズム
7.15—7.21 羽黒堂
毎日 7.16 重長聡
内田かんぬ展 11.8—11.29 島田
画廊
芸術新潮 649

内田鋼一展 7.1—10.15 Paramita
Museum
芸術新潮 646
ジャポニスム版画展 浮世絵に魅せ
られた芸術家たち[漆原木忠]
10.18—11.24 ニューオータニ美
術館
産経 11.1 生田誠
東京 10.30 (青)

(エ)

館蔵 永楽 保全の茶陶 9.13—
11.24 三井文庫別館
陶説 607 清水実
江成常夫写真展 原色の夢 9.3—
10.26 エブサイト
朝日夕刊 10.14 大西若人
毎日夕刊 9.18 三田晴夫
榎倉省吾の世界展 森羅万象を描く
9.27—11.3 姫路市立美術館
リビング・シネマ 『科学とガラ
クタのあいだで』[ピエール・エ
ペール] 11.11 愛知県芸術劇場
小ホール
AAC 39 佐近田展康
えりも展 5.12—5.31 ギャラリー
手
美術手帖 836 原万希子
エド・ヴァン・デル・エルスケン
セーヌ左岸の恋 1.24—2.23 東
京都写真美術館
朝日夕刊 2.13 神谷幸江
遠藤利克展 1.23—3.1 スペース
23℃
毎日夕刊 2.25 三田晴夫
遠藤良太郎展 1.14—2.8 ベイス
ギャラリー
読売夕刊 2.6 (菅)

(オ)

王元鼎の世界 4.7—4.26 シルク
ランド画廊
新美術新聞 988
大岩オスカル幸男展 4.3—5.10
第一生命南ギャラリー
新美術新聞 957 山下裕二
大倉ひとみ個展 遠街 4.1—4.6
ギャラリー近江
毎日夕刊 3.24

生誕100年大沢昌助一家の肖像—
12.6—1.7 練馬区立美術館
芸術新潮 650
朝日夕刊 12.18 田中三蔵
O JUN展 2.15—5.5 コオジ オ
グラ ギャラリー
美術手帖 833 山本さつき
いのちを考える 太田三郎と中学生
たち 8.9—9.7 伊丹市立美術館
太田徹也「本のINSIDE—OUT」展
7.11—8.8 Gallery 5610
デザインの現場 128
大津英敏展〜新・ふらんす物語〜
9.17—9.23 高島屋(日本橋)
新美術新聞 1002 米倉守
大津英敏展 11.26—12.2 鶴屋本
館美術ギャラリー
新美術新聞 1009
十代大槌長左衛門展 5.2—5.13
和光ホール
新美術新聞 991 高岡忠雄
大成哲雄展 6.3—6.11 ギャラ
リーGAN
美術手帖 838 土屋誠一
大巻伸嗣+栗林隆+マーティン・
シュミット アウト・オブ・ザ・
ブルー 展 7.5—10.26 トー
キョーワンダーサイト
新美術新聞 999 (美)
美術手帖 840 編集部
大道正男展 10.3—10.9 フジキ画
廊
大森せい子 立体イラスト展
11.20—12.28 TEPCO銀座館 プ
ラスマイナスギャラリー
毎日 10.15 宮本扶未子
岡崎和郎展 1.20—2.14 横田茂
ギャラリー
朝日夕刊 2.7 藤生京子
岡田謙三展 7.5—9.15 横浜美術
館(秋田市立千秋美術館・岡田謙
三記念館、神戸市立小磯記念美術
館、女子美術大学女子美アート
ミュージアム)
東京 7.19 中村隆夫
岡田毅志展 3.3—3.28 ウィン
ドゥギャラリーOct
美術手帖 833 古川誠
岡田裕子展 4.2—5.2 ミヅマア
ートギャラリー
美術手帖 836 平野千枝子

岡村桂三郎展 2.17—3.1 コバヤ
シ画廊
芸術新潮 640
毎日夕刊 2.25 三田晴夫
岡本敦生展 3.31—4.12 ギャラ
リー山口
毎日夕刊 4.4 三田晴夫
読売夕刊 4.10 (菅)
岡本健彦展 2.22—3.23 横須賀市
文化会館市民ギャラリー
写真家・岡本太郎の眼 東北と沖縄
5.31—6.22 せんだいメディア
テーク
芸術新潮 646
写真家・岡本太郎の眼 東北と沖縄
8.23—9.15 パルコミュージアム
毎日 7.9 鈴木玲子
ことばがひらく 岡本太郎展 7.19
—9.23 川崎市岡本太郎美術館
STUDIO VOICE 333 倉林靖
日経 7.30 宝玉正彦
小川敦生『Rendezvous』 11.4—
12.27 OFF SITE
STUDIO VOICE 336
美術手帖 845 土屋誠一
小川健一展 2.22—4.4 ケンジタ
キギャラリー
美術手帖 834 能勢陽子
小川待子展 うつわというかたち
11.29—12.9 うつわ菜の花
芸術新潮 650
奥まゆみ展 8.5—8.17 ユトレヒ
ト FLO GALLERY
美術手帖 841 平野千枝子
奥原しんこ展「HOTEL VERON-
ICA」 5.29—6.9 LAP—NET
CLUB+Cafe(FORET原宿)
デザインの現場 128
奥村光正 彗星のごとく 3.21—
5.5 松本市美術館
小沢眞弓展 8.28—9.3 東急(渋
谷)
毎日夕刊 8.19
押江千衣子新作絵画展「旅の空」
3.4—3.29 西村画廊
芸術新潮 641
新美術新聞 986 熊谷伊佐子
朝日夕刊 3.7 大西若人
東京 3.8 草薙奈津子
小田島等展 2.6—2.25 appel
美術手帖 833 小倉正史

YES オノ・ヨーコ展 10.25—
1.12 水戸芸術館現代美術ギャラリー
(広島市現代美術館、東京都
現代美術館、鹿児島県霧島アート
の森、滋賀県立近代美術館)
新美術新聞 1011 窪田研二
朝日 10.22 田中三蔵

**シリーズIX[岩手の現代作家] 小
原馨展「子どもの時間」** 2.8—
3.2 萬鉄五郎記念美術館

小茂田青樹展 10.25—12.7 川越
市立美術館
新美術新聞 1009 濱中真治
日経 11.12 宝玉正彦

**郷土出身作家シリーズ 松村秀太郎
関長造 小柳津三郎 院展彫塑部
で活躍した富山の彫刻家たち**
3.7—3.30 富山県民会館美術館

(カ)

フリーダ・カーロとその時代 7.19
—9.7 Bunkamuraザ・ミュージ
アム(サントリーミュージアム[天
保山]、名古屋市美術館、高知県
立美術館)
朝日夕刊 8.14 大西若人
朝日夕刊 8.21 神谷幸江
東京 8.9 堀尾眞紀子
東京 8.14 (青)
東京夕刊 7.17 野中雅代
東京夕刊 7.30 山本容子
東京夕刊 7.31 山脇一夫
東京夕刊 8.1 巖谷國士
東京夕刊 8.2 白石かずこ
東京夕刊 8.5 アウレリオ・ア
シアン

甲斐扶佐義写真展 京の街角から
4.15—4.20 Gallery Conceal
芸術新潮 642

ガウディ かたちの探求 10.4—
12.14 東京都現代美術館
東京 11.8 中村隆夫
読売夕刊 9.30 鳥居徳敏

柿沼和夫写真展 美の巡礼 6.28—
9.7 サトエ記念21世紀美術館

岩橋英遠・片岡球子展 10.3—
11.16 北海道立近代美術館

片山博文展 11.22—12.13 art
& river bank
美術手帖 845 平野千枝子

葛飾北斎の世界—肉筆と浮世絵
5.3—6.1 尾道市立美術館

**葛飾北斎名品展 津和野葛飾北斎美
術館所蔵** 7.30—8.31 大分県立
芸術会館

北斎展[葛飾北斎] 10.18—11.24
愛媛県歴史文化博物館

加藤学展 12.2—12.20 ギャラリ
エアンドゥ
美術手帖 845 土屋誠一

加藤豪展 ALBINO STATUE#2
3.1—3.30 愛知県美術館

加藤つくし展 7.12—7.17 ギャラ
リーツインスペース
美術手帖 839 金悠美

加藤唐九郎展 12.3—12.26 ギャ
ラリー上田
日経 12.16

加藤良造展 1.5—2.16 瀟画廊
芸術新潮 639

香取秀真展 1.21—2.20 佐倉市立
美術館

金沢友那展 5.12—5.24 MUSÉE
F
美術手帖 836 原万希子

金島桂華展 1.17—2.16 ふくやま
美術館
新美術新聞 981 谷藤史彦

金村仁展 4.12—4.27 ヴォイス・
ギャラリー
美術手帖 835 金悠美

金森映井智の偉業を偲んで 9.19—
10.19 高岡市美術館

金重有邦展—茶入と水指— 6.3—
6.7 壺中居
陶説 604 唐澤昌宏

**流動する美術8 伊奈英次・金村修
の写真 都市風景のメカニズム**
10.15—12.27 福岡市美術館

加納鉄哉展 知られざる名工 6.20
—7.27 岐阜市歴史博物館

下保昭展 4.4—5.5 富山県水墨美
術館

**神坂雪佳 琳派の継承・近代デザイ
ンの先駆者** 8.30—10.13 京都
国立近代美術館

**神坂雪佳 琳派の継承・近代デザイ
ンの先駆者** 11.8—12.21 佐倉
市立美術館
朝日夕刊 12.16 田中三蔵
産経 11.15 生田誠

平成15年美術展覧会(作オ、カ)

神林優展 8.1—8.10 Contempo
rary Photo Gallery
美術手帖 840 土屋誠一

川合玉堂展 12.30—1.19 松屋(銀
座)
新美術新聞 1012 宇佐美江中

河合まことと花の詩歌展 8.8—8.11
プルデンシャルタワー
毎日 8.7 江成康明

川内倫子写真展「blue」 1.24—
2.5 gallery ROCKET
デザインの現場 126

川内倫子展 4.10—4.16 白土舎
美術手帖 835 能勢陽子

**川上澄生 木版画名作あ・ら・かる
と** 10.1—3.28 鹿沼市立川上澄
生美術館

河口龍夫展 3.5—3.23 ヒルサイ
ドフォーラム/ヒルサイドギャラ
リー
芸術新潮 641

川崎清 美術館建築とその周辺
12.4—1.18 国立国際美術館

**たがやすように—熟す画面の4つの
かたち—[河崎ひろみ]** 9.13—
10.26 和歌山県立近代美術館
和歌山県立近代美術館ニュース
38・39 奥村泰彦

川島清展 4.3—5.10 ギャラリー
東京ユマニテ
毎日夕刊 4.7 三田晴夫

川島秀明展 5.9—5.31 Project
Room
芸術新潮 643

元気な商店街・川島葉子展 7.3—
8.12 TEPCO銀座館プラスマイ
ナスギャラリー
毎日 7.2 宮本扶未子

川島亮子展 11.6—12.16 彌右衛
門画廊
美術手帖 845 池上司

川田喜久治展 世界劇場 3.29—
5.25 東京都写真美術館
芸術新潮 642
朝日 3.18
朝日夕刊 5.1 大西若人
読売夕刊 5.12 山内則史

河田小龍 幕末土佐のハイカラ画人
11.2—12.23 高知県立美術館

河野鷹思展 昭和を駆け抜けたモダン
ニスト1906—1999 12.2—12.20
ギンザ・グラフィック・ギャラリー
芸術新潮 650
龍子の軌跡を追う〜 開館40周年記念展[川端龍子] 7.11—12.21
大田区立龍子記念館
東京 8.23 草薙奈津子
姜惠眞 HAEJIN KANG 2.17—
3.1 Gallery Q
菅野泰史展 1.27—2.5 ギャラリー
イK
美術手帖 833 小倉正史

(キ)

岸田劉生・麗子展 10.3—11.24
ふくやま美術館
朝日夕刊 11.19 田中三蔵
劉生と京都〜「内なる美」を求めて〜
[岸田劉生] 10.25—11.30 京都市
美術館
朝日夕刊 11.19 田中三蔵
岸野正之展 5.19—5.25 ギャラ
リー銀座
新美術新聞 992 (白)
北尾重光の絵馬—人々の願いと感
謝— 11.1—12.14 館林市立資
料館
魯山人の宇宙[北大路魯山人] 4.26
—6.29 笠間日動美術館
読売夕刊 6.18 亀山浩一
歌麿とびいどろ・ぎやまん展[喜多
川歌麿] 7.15—9.7 とちぎ蔵の
街美術館
北代省三と実験工房 風の模型
4.26—7.6 川崎市岡本太郎美術
館
芸術新潮 643
美術手帖 836 高島直之
朝日夕刊 6.19 田中三蔵
朝日夕刊 6.26 神谷幸江
北野恒富展 2.1—3.23 東京ス
テーションギャラリー(石川県立
美術館、滋賀県立近代美術館)
芸術新潮 639
新美術新聞 984 橋爪節也
朝日夕刊 2.12 田中三蔵
産経 2.22 生田誠
東京 2.8 草薙奈津子

毎日 2.12
読売夕刊 3.12 成川隆
黙示録 絹谷幸二展 5.17—7.13
世田谷美術館
新美術新聞 992 川口幸也/勅
使河原純/多川俊映
美術の窓 236 川口幸也
朝日 5.26
東京 6.21 中村隆夫
読売夕刊 7.2 野田尚稔
絹谷幸二展 現代作家デッサンシ
リーズ 5.21—5.27 松屋(銀座)
朝日 5.20
絹谷幸二展 11.13—11.18 高島屋
(日本橋)
新美術新聞 1008 宝木範義
木原康行展 始源のかたち 11.1—
12.14 北海道立旭川美術館
氷華 45 村山史歩
キム・キラ展 8.15—9.14 +Gal
lery
美術手帖 841 能勢陽子
木村蒨葎堂—なにわの巨人—没後
200年記念 1.15—2.24 大阪歴
史博物館
木村真由美展 12.15—1.18 prin
z 1 F gallery
美術手帖 846 池上司
木村友紀展 new garden 10.3—
11.1 タカ・イシイギャラリー
芸術新潮 648
朝日夕刊 10.22 大西若人

(ク)

クー・ボンチャン展 9.1—9.27
ピクチャー・フォト・スペース
美術手帖 841 金悠美
クートラス展 10.14—11.1 ギャ
ラリー無境
芸術新潮 647 堀江敏幸
ディディエ・クールボ展 11.14—
12.13 SCAI THE BATHHOUSE
STUDIO VOICE 336
久家靖秀写真展「Midlife Proc
ess」 2.1—2.23 T&S Gallery
デザイン現場 126
草間彌生展 Labyrinth—迷宮の彼
方に 6.29—9.7 丸亀市猪熊弦
一郎現代美術館(北海道立釧路芸
術館)

工藤甲人展 3.6—3.17 松木屋(青
森)
新美術新聞 984 長部日出男
工藤麻紀子個展 9.2—9.20 小山
登美夫ギャラリー
STUDIO VOICE 334 周富子
工藤美穂展 11.13—11.25 switch
point
美術手帖 843 土屋誠一
国谷隆志展 1.7—1.19 ギャラ
リーココ
美術手帖 832 古川誠
クリテリオム54 国谷隆志 2.8—
3.9 水戸芸術館現代美術ギャラ
リー
窪田美樹展 1.18—2.8 なるせ美
術座
美術手帖 833 白木直子
熊谷守一美術館18周年展 5.30—
6.15 熊谷守一美術館
読売夕刊 6.7 芥川喜好
立方体の7つの窓 ペア・クラセ
ンの世界 5.7—5.18 目黒区美
術館(女子美アートミュージアム)
芸術新潮 643
美術手帖 836 染谷比呂子
青い浸蝕 倉重光則展 11.1—
11.23 神奈川県民ホールギャラ
リー
朝日夕刊 11.18 大西若人
毎日夕刊 11.11 三田晴夫
読売夕刊 11.20 菅原教夫
ピカソを継ぐ者 アントニ・クラベ
「ガルガンチュア物語」 16世紀の
ベストセラー 4.1—6.29 大川
美術館
倉本麻弓展 2.27—3.10 Gallery
Jin
美術手帖 834 白木直子
倉本麻弓 西村智弘企画VOL.10
「現在性の美術」 5.19—6.7
ギャラリーMAKI
毎日夕刊 6.2 三田晴夫
クリスト&ジャンヌ=クロード
ザ・ゲート ニューヨーク・セン
トラル・パークのためのプロジェ
クト 6.7—6.21 MDSギャラ
リー
朝日夕刊 6.10 大西若人
産経 6.14 渋谷和彦

ジョセフ・グリッグリー展 12.9—
1.24 Masataka Hayakawa Gal-
lery
芸術新潮 650

大巻伸嗣+栗林隆+マーティン・
シュミット アウト・オブ・ザ・
ブルー展 7.5—10.26 トー
キョーワンダーサイト
新美術新聞 999 (美)
美術手帖 840 編集部

クリムト 1900年ウィーン的美神展
6.28—9.21 兵庫県立美術館
芸術新潮 645

新美術新聞 999 岡本弘毅
ダン・グレアムによるダン・グレア
ム 12.2—2.1 千葉市美術館(北
九州市立美術館)
芸術新潮 651
美術手帖 845 鷺田めろろ

「陰翳」解体新書/黒川雅之の自己解
剖 5.23—6.1 高岡市美術館
(カッシーナ・イクスシー
SPAZIO)

STUDIO VOICE 330 渡部千春
「陰翳」解体新書/黒川雅之の自己解
剖 6.6—6.22 国際デザインセ
ンター
デザインの現場 128

黒田清輝展 近代日本洋画の巨匠
7.19—8.31 和歌山県立近代美術
館
和歌山県立近代美術館ニュース
37 宮本久宣

くわなよしゆき展 4.7—4.19 マ
キイマサルファインアーツ
美術手帖 835 原万希子

桑原盛行展 10.14—10.25 色彩美
術館
芸術新潮 648
朝日夕刊 10.21 田中三蔵

(コ)

小池隆英展 New Paintings 10.4
—10.31 アキライケダギャラ
リー田浦
毎日夕刊 10.15 三田晴夫

小泉淳作磁器展 10.3—10.18 西
福真ギャラリー
日経 10.8 竹田博志

小磯良平回顧展 生誕100年記念
1.23—2.4 大丸ミュージアム(東
京)
読売夕刊 1.21 廣田生馬

小磯良平の青年時代 小磯良平生誕
100年記念 10.4—12.7 神戸市
立小磯記念美術館

郷倉和子展 12.16—3.15 成川美
術館
新美術新聞 1011 八木宏昌

合田佐和子 映像—絵画・オブ
ジェ・写真— 10.14—11.24 渋
谷区立松濤美術館
芸術新潮 648

朝日夕刊 10.30 田中三蔵
毎日夕刊 11.4 三田晴夫

河野通勢と実篤 思索の描写
10.25—12.7 調布市武者小路実
篤記念館

ジョミン・コー展 4.12—5.25
FADs art space
美術手帖 835 原万希子

郡裕美展 すべては流れである
3.1—5.31 メゾンエルメス8階
フォーラム
朝日夕刊 3.5

バーバラ・コール展 3.19—4.17
カナダ大使館ギャラリー
美術手帖 834 原万希子

韓国に向き合う二人展 写真と仏画
のコラボレーション[小坂泰子]
5.27—6.4 韓国文化院ギャラ
リー
読売 5.31

小杉放菴の風景 出光コレクション
による 10.11—11.16 小杉放菴
記念日光美術館

古平正義展 1.31—2.5 HBギャラ
リー
デザインの現場 126

牛腸茂雄展 5.24—7.21 東京国立
近代美術館
朝日夕刊 7.8 大西若人

ゴッホと花 ゴッホと同時代の画家
たち—'ひまわり'をめぐる—
9.20—12.14 損保ジャパン東郷
青児美術館

美術手帖 840 池上ちかこ
朝日夕刊 11.22 西田健作
産経 11.8 (M)
東京 9.25 (青)
日経夕刊 9.22

平成15年美術展覧会(作ク、コ)

後藤智展 5.15—6.3 現代
HEIGHTS Gallery Den
美術手帖 838 平野千枝子

文人画家 冬青小林勇展—海を越え
た絵手紙 父から娘への—二〇
通— 3.29—6.1 長野県北御牧
村立梅野記念絵画館
日経 4.2 小松美沙子

小林耕平展 9.5—9.28 SCAI
THE BATHHOUSE
美術手帖 842 平野千枝子

小林孝巨展 波打ち際で 10.21—
11.15 西村画廊
芸術新潮 648

毎日夕刊 10.27 三田晴夫
對州 小林東五展—酒器を中心とし
て— 4.26—5.11 ぎやらり思
文閣

小林秀雄写真展「trace」 2.18—
3.13 ツアイト・フォト・サロン
芸術新潮 640

コマル&メラミッドの傑作を探し
て「ヴィタリー・コマル」 10.4
—12.14 川村記念美術館
芸術新潮 648
美術手帖 842 福住康

朝日 10.9 大西若人
駒井哲郎作品展 未だ果てぬ夢のか
たち 11.11—11.24 資生堂ギャ
ラリー

ゴヤの四大連作版画 姫路市立美術
館所蔵 11.8—12.23 姫路市立
美術館

小山富士夫の眼と技 4.5—5.18
大阪市立東洋陶磁美術館(山口県
立萩美術館・浦上記念館、富山市
郷土博物館・佐藤記念美術館、岐
阜県現代陶芸美術館)
陶説 600

小山富士夫の眼と技 5.24—6.29
根津美術館
朝日 6.4

朝日夕刊 5.22 小野公久
朝日夕刊 5.24 山盛英司

小山富士夫の眼と技 7.11—8.17
MOA美術館

目の眼 324 小野公久
近藤弘明個展 4.2—4.8 高島屋
(日本橋)

毎日夕刊 4.4 石川健次

近藤聡乃展 9.2—9.7 ギャラリー
エス
STUDIO VOICE 333

(サ)

斎藤真一さすらい展—なつかしき故
里をもとめて— 10.7—11.9 岡
山県立美術館
岡山県立美術館ニュース 62 妹
尾克己

齋藤真成展 仏陀に帰依するアー
ティスト 10.24—11.30 天童市
美術館

齋藤ちさと be in clover 5.13—
5.31 セゾンアートプログラム・
ギャラリー
STUDIO VOICE 330

斎藤美奈子展 7.7—8.8 fujikawa
gallery/next
美術手帖 840 池上司

斎藤義重展 1.25—3.23 岩手県立
美術館(島根県立美術館、富山県
立近代美術館、熊本市現代美術
館)

美術手帖 833 榎木野衣
毎日夕刊 2.20 三田晴夫

斎藤義重展 5.17—6.29 千葉市美
術館

朝日夕刊 6.12 田中三蔵
朝日夕刊 6.12 神谷幸江
読売夕刊 6.19 菅原教夫

佐伯祐三とパリの時代展 7.18—
8.31 鹿児島市立美術館
デアルテ 20 谷口雄三

五月女ケイ子初個展 8.7—8.17
LAPNET SHIP
STUDIO VOICE 333

上村次敏・五月女幸雄 迷宮と幻影
11.15—1.12 埼玉県立近代美術
館

坂口登展 2.18—3.3 ギャラリー
美術世界
新美術新聞 989 (常)

坂本一道展—樹影— 2.3—3.8 ご
らくギャラリー
芸術新潮 640

日経 2.28 宝玉正彦

作間敏宏 接着／交換 5.1—5.25
ガレリア・キマイラ
STUDIO VOICE 330

宥密法[佐倉密] 9.14—12.28 豊
田市美術館

朝日夕刊 12.10 田中三蔵

笹埜能史展 11.3—11.22 Gallery
H.O.T

美術手帖 843 池上司

佐藤克久展 9.4—9.14 switch
point

美術手帖 841 平野千枝子

土の手をやすめて 佐藤忠良のス
ケッチブック展 9.20—11.3 ス
ペース・S

読売 9.23

読売夕刊 10.4 芥川喜好

實松亮展 5.6—6.28 OFF SITE

美術手帖 838 土屋誠一

佐野正興展 7.4—7.26 麹町画廊

美術手帖 840 土屋誠一

ラインハルト・サビエ展 10.6—
10.25 東邦画廊

新美術新聞 1005 ラインハル
ト・サビエ

セバスチャン・サルガド「ES-
SAYS」—この大地を受け継ぐも
の一展 11.29—1.12 東京都写
真美術館

読売夕刊 12.16 前田恭二

澤口俊輔展 1.14—2.2 ヒルサイ
ドギャラリー

美術手帖 832 白木直子

澤田知子展 5.10—6.8 コオジ

オグラ ギャラリー

美術手帖 836 能勢陽子

(シ)

塩田千春展 10.9—11.12 ケンジ
タキギャラリー

芸術新潮 648

美術手帖 842 能勢陽子

志賀理江子展 9.3—9.23 アップ
リンクギャラリー

美術手帖 841 土屋誠一

嶋剛 もう一つの眼差し 4.3—
5.18 国立国際美術館

朝日夕刊 5.10 森本俊司

政木貴子・蘭田珠子・信貴結子3人
展 現代郷土作家展 同じ播磨に
暮らして 1.10—1.31 姫路市民
ギャラリー

ローマン・シグネール近作展 2.11
—3.30 資生堂ギャラリー
芸術新潮 640
毎日夕刊 3.4 三田晴夫
読売夕刊 2.20 (管)

篠山紀信写真展 Tokyo Addict
3.4—4.13 KPOキリンプラザ大
阪

朝日夕刊 4.1 田中三蔵

十勝の新時代VI 渋谷栄一展 8.15
—11.12 北海道立帯広美術館

渋谷清道展 1.24—2.21 GAL-
LERY SIDE 2

美術手帖 833 白木直子

島剛展 1.10—2.15 村松画廊

毎日夕刊 1.28 三田晴夫

島岡達三陶業展 12.3—12.9 松屋
(銀座)

新美術新聞 1010

嶋田源三展 9.2—9.7 東京写真文
化館

美術手帖 841 土屋誠一

嶋田源三展 9.8—10.5 珈琲ギャ
ラリーREI

美術手帖 841 土屋誠一

嶋田しづ新作油彩展 5.14—6.24

フジテレビギャラリー

産経 6.7 沢沢和彦

レクイエム REQUIEM[島野芳子]

12.10—12.18 ギャラリーブリキ

星／遊工房アトスペース

版画芸術 123 岡部

清水伸展 4.28—5.10 ギャラリー
山口

毎日夕刊 5.2 三田晴夫

シモガワケイ／Re—Raum展 1.13
—1.25 藍画廊

美術手帖 832 原万希子

下園城二展 11.17—11.22 ギャラ
リー山口

美術手帖 843 土屋誠一

下田義寛展 4.25—7.21 リバート
リート雅楽俱4thMUSEUM

新美術新聞 994 草薙奈津子

下田義寛展 11.1—11.30 滑川市
立博物館

新美術新聞 1007 永井正晴

下村観山・木村武山展—新しい日本
画の創造をめざして— 10.25—
11.30 茨城県天心記念五浦美術
館

版画家としてのシャガール 夢想と
追憶のポエジー 9.14—10.5 釧
路市立美術館(萬鉄五郎記念美術
館、砺波市美術館、中山道広重美
術館)

ポール・ジャクレー 虹色の夢をつ
むいだフランス人浮世絵師 4.19
—6.15 横浜美術館

芸術新潮 642
美術手帖 838 木下長宏
朝日夕刊 6.3 田中三蔵
東京 5.3 草薙奈津子
日経 5.21 宝玉正彦

大団地展—きみは大谷団地を見た
か? [住宅都市整理公団] 7.29—
8.4 Gallery ART SPACE
芸術新潮 646

大巻伸嗣+栗林隆+マーティン・
シュミット アウト・オブ・ザ・
ブルー展 7.5—10.26 トー
キョーワンダーサイト
新美術新聞 999 (美)
美術手帖 840 編集部

庄司栄吉展 2.19—2.25 高島屋
(日本橋)

新美術新聞 983 安井収蔵

白旗史朗 日本と世界の名峰を讀う
展 8.2—9.15 山梨県立美術館

白濱雅也展 2.28—3.26 Gallery
二葉 奥の院
美術手帖 834 原万希子

今日の作家シリーズ 新庄茂扶展
封印と開削 日々の生のあかしと
しての紙日記1979—2003 2.25—
3.7 大阪府立現代美術センター

新味三郎展—江戸木版画摺り師の世
界— 11.8—11.16 すみだリ
バーサイドホール・ギャラリー
毎日 11.8 益子香里
読売 10.23

(ス)

菅創吉の世界 5.19—6.28 昭和女
子大学光葉博物館

シリーズIX [岩手の現代作家] 菅沼
緑展 「子どもの時間」 1.11—
2.2 萬鉄五郎記念美術館

杉浦康益展—登窯による陶石達—
10.6—10.18 かねこ・あーと
ギャラリー
朝日夕刊 10.14 田中三蔵

杉戸洋 『under the shadow』
12.24—1.24 小山登美夫ギャラ
リー

STUDIO VOICE 338 周富子

杉山健司展 11.24—12.1 名古屋
市市政資料館
美術手帖 845 能勢陽子

Sound Art Lab 2003 鈴木昭男—
アナラボスフィア 10.5—10.26
大阪築港赤レンガ倉庫サウンド
アートスタジオ
美術手帖 842 畠中実

鈴木治平 鍛金の世界 5.17—6.22
佐倉市立美術館

鈴木久雄展 1.18—2.8 島田画廊
芸術新潮 639

鈴木ひで・らくがき展 9.8—9.13
すぎもと画廊
毎日 9.9 鈴木玲子

鈴木理策展「吉野桜」 1.20—2.14
ギャラリー小柳
芸術新潮 639、640

鈴野ヨシ子展 4.16—4.26 調布画
廊
毎日夕刊 4.23 石川健次

須田國太郎デッサン展 ルドン素描
「ダブルプロフィール」の影
10.20—11.7 白銅鞮画廊

スタジオ・アズーロ 5.12—6.28
mori yu gallery
美術手帖 838 金悠美

スタジオ・アズーロ 地中海を巡
る想い 5.18—6.15 森アーツセ
ンター

デザインの現場 128
朝日夕刊 5.28 大西若人

フランク・ステラ展 4.26—6.15
名古屋美術館(岩手県立美術館)

ベアト・ストロイリ展 5.9—6.28
イナートギャラリー
美術手帖 836 金悠美

エリック・スネル展 2.20—3.9
GALLERY 360°
芸術新潮 640

レオン・スピリアルト展 4.9—
6.6 プリヂストン美術館(姫路市
立美術館、愛知県美術館)
芸術新潮 642
朝日夕刊 5.8 田中三蔵
東京 4.19 西澤信彌

東京 5.8 (青)
東京夕刊 4.8 富山秀男/福満
葉子

東京夕刊 4.23 松永真
東京夕刊 4.24 辰野登恵子
東京夕刊 4.26 隠岐由紀子
東京夕刊 4.28 押江千衣子
東京夕刊 5.1 養庭孝男
読売夕刊 4.19 芥川喜好

鷺見和紀郎展 5.10—5.31 島田画
廊
芸術新潮 643

鷺見和紀郎素描展 9.13—10.18
タグチファインアート
芸術新潮 647

STRANGE MESSENGER & CROSS
SECTION : THE WORK OF
PATTI SMITH 7.18—8.18 パ
ルコミュージアム
芸術新潮 646

ヤツェック・スロカ展 9.5—9.30
ギャルリー-MMG
芸術新潮 647

(セ)

イチハラヒロコ+アン・ゼーバッハ
7.22—8.9 SAI GALLERY
美術手帖 840 池上司

郷土出身作家シリーズ 松村秀太郎
関長造 小柳津三郎 院展彫塑部
で活躍した富山の彫刻家たち
3.7—3.30 富山県民会館美術館

関根伸夫展 〈環境美術〉なるもの
4.12—6.1 川越市立美術館
毎日夕刊 4.21 石川健次

妹島和世+西沢立衛/SANAA
5.24—7.26 ギャラリー間
STUDIO VOICE 330

ふたつの重要文化財—藤島武二《天
平の面影》と雪舟《四季山水図》
9.23—11.24 石橋美術館別館
デアルテ 20 平間理香

アナ・ゼマンコーヴァ 「夢想植物」
展 9.5—9.26 小出由紀子事務
所
芸術新潮 647

STUDIO VOICE 334

芹沢銈介 もう一つの創造—日本
篇— 1.4—5.25 静岡市立芹沢
銈介美術館

芹沢銈介一布染め 心染め— 6.14
—8.31 静岡市立芹沢銈介美術館
新美術新聞 999 白鳥誠一郎

(ソ)

政木貴子・園田珠子・信貴結子 3人
展 現代郷土作家展 同じ播磨に
暮らして 1.10—1.31 姫路市民
ギャラリー

曾谷朝絵展 5.19—6.20 第一生命
南ギャラリー

毎日夕刊 6.2 三田晴夫

韓国に引き合う二人展 写真と仏画
のコラボレーション[宋光武]

5.27—6.4 韓国文化院ギャラ
リー

読売 5.31

宋栄邦展[ソン・ヤンハン] 5.27—

6.9 ギャラリー美術世界

新美術新聞 997 (常)

(タ)

ヘンリー・ダーガーの部屋展 3.4
—3.18 IKAZUCHI

芸術新潮 641

朝日夕刊 3.11 西岡一正

ヘンリー・ダーガー展 『非現実の
王国で』 11.29—4.6 ワタリウ
ム美術館

朝日夕刊 3.11 西岡一正

スーザン・ダージェス展 4.19—

4.27 東京デザインセンター

美術手帖 836 新見隆

高田誠展〜点描技法による風景の叙
情詩〜 9.20—12.21 サトエ記
念21世紀美術館

新美術新聞 1005 江口健

メモワール 高田美の50年 1.18—

2.23 東京都写真美術館

産経 1.17 藤田綾子

鷹野依登久展 8.5—9.27 OFF
SITE

美術手帖 841 平野千枝子

高橋匡太 ART—EX派遣作家帰国
報告展 2.10—2.15 大阪府立現
代美術センター

美術手帖 833 古川誠

高橋常雄 11.1—12.14 高崎タ
ワー美術館

高橋伸行展 6.6—6.29 +Gallery

美術手帖 838 能勢陽子

相原求一朗・高橋久雄 ひとすじの
道 1.25—3.23 埼玉県立近代美
術館

朝日 1.22 国末憲人

産経 2.15 渋谷和彦

高橋秀年日本画展 10.21—10.27

三越(日本橋)

新美術新聞 1006 橋秀文

安達忠良・高橋操二人展 2.17—

2.28 GALLERY晩紅舎

毎日 1.29 宮本扶未子

高橋淑人展 1979—2002 5.6—

5.24 東京画廊

芸術新潮 643

高畑郁子展 情念の緋色 2.8—

3.16 豊橋市美術館

高畑一彰展 11.4—11.22 ギャラ
リー北村

産経 11.15 渋谷和彦

高原洋一展 6.3—6.14 色彩美術
館

毎日夕刊 7.3 横田一

再検証・高松次郎絵画作品〜アトリ
エより〜 6.25—8.3 三鷹市美
術ギャラリー

新美術新聞 997 浅倉祐一朗

朝日夕刊 7.15 山盛英司

東京 7.26 草薙奈津子

毎日夕刊 7.24 石川翠

高見澤文雄展 6.30—7.12 ヒノ
ギャラリー

毎日夕刊 7.7 三田晴夫

読売夕刊 7.3 菅原教夫

高村光太郎と智恵子の世界 11.7—
12.14 メナード美術館

高村規写真展 木彫・高村光雲

7.21—7.30 文京シビックセン
ター

高柳恵里展 10.18—11.4 ギャラ
リー人

美術手帖 843 平野千枝子

田口和奈展 10.24—11.14 GAL
LERY MAKI

美術手帖 843 平野千枝子

田口雅巳新作展「極楽遠近法」 6.9
—6.28 東邦画廊

読売夕刊 6.14 芥川喜好

竹内彰遺作展 9.3—9.15 ギャラ
リー・サザ

竹川宣彰展 11.14—12.20 オオタ
ファインアーツ

美術手帖 845 平野千枝子

ハイカラさんの香り〜竹久夢二にみ
る大正浪漫〜 4.19—6.22 豊田
町香りの博物館

目の眼 322 編集部

竹久夢二追想展 漂泊する心 7.26

—8.31 郡山市立美術館(尾道市
立美術館、(財)駿府博物館、奈良
県立美術館)

田澤茂の絵画世界 4.26—6.11

茅ヶ崎市美術館

新美術新聞 990 瀬木慎一

シリーズIX[岩手の現代作家] 田代
耕司展「子どもの時間」 3.8—

3.30 萬鉄五郎記念美術館

館勝生展 9.1—9.30 第一生命南
ギャラリー

毎日夕刊 9.9 三田晴夫

レニ・リーフェンシュタール&館石

昭コラボレーション写真展 8.22

—9.5 マリンカルチャーセン
ター

芸術新潮 645

タイガー立石と絵本 1.4—2.2 田
川市美術館

デアルテ 19 原田真紀

建畠覚造展 6.16—7.5 ギャラ
リー山口

産経 6.28 渋谷和彦

日経 6.25 宝玉正彦

田中一光回顧展 われらデザインの
時代 6.21—8.31 東京都現代美
術館(サントリーミュージアム[天
保山])

芸術新潮 645

デザインの現場 128

美術フォーラム21 9 大坪健二

朝日 8.21 大西若人

朝日夕刊 7.17 神谷幸江

産経 7.19 渋谷和彦

毎日夕刊 7.29 三田晴夫

読売夕刊 6.18

田中栄作彫刻展 9.25—10.25 武
蔵野美術大学美術資料図書館

田中春弥油画展—卒寿記念— 7.29
—8.4 三越(日本橋)

新美術新聞 998 本山唯雄

田辺竹次17回忌追悼展 地球堂ギ
ャラリー開廊35周年記念 6.30—

7.5 地球堂ギャラリー

新美術新聞 994 (常)

田邊晴子展 11.17—12.18 CAS
美術手帖 845 池上司

谷川晃一・宮迫千鶴2人展 伊豆高原アートフェスティバル 5.1—5.31 南庭工房
読売夕刊 5.10 芥川喜好

谷口竜介展 9.30—10.12 CASO
美術手帖 842 金悠美

谷中安規の夢 シネマとカフェと怪奇のまぼろし 12.9—2.1 渋谷区立松濤美術館
版画芸術 122 瀬尾典昭
読売夕刊 12.15 前田恭二

東芋展：おどろおどろ 3.21—6.8 東京オペラシティアートギャラリー
芸術新潮 641
美術手帖 835 東谷隆司
朝日夕刊 5.15 田中三蔵
産経 4.5 渋谷和彦
読売夕刊 4.3 (菅)

田端季子展 3.26—3.30 前橋市市民文化館
新美術新聞 992 (畠)

田淵俊夫一語一会展 4.28—5.26 ギャラリー長谷川
新美術新聞 991 陰里鐵郎

田部光子展 9.1—9.13 ギャラリー58
毎日夕刊 9.9 三田晴夫

玉征夫展—虚空から— 2.26—3.14 SPC GALLERY

太郎知恵蔵展 7.6—7.26 ギャラリーセラー
美術手帖 839 能勢陽子

多和英子展 9.29—10.11 コバヤシ画廊
読売夕刊 10.9 菅原教夫

丹阿弥丹波子 銅版画 10.29—11.4 高島屋(日本橋)

(チ)

チャベック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド 6.1—7.13 和歌山県立近代美術館
和歌山県立近代美術館ニュース 36 井上芳子

スーザン・チャンチオロ 『angels do exist』 10.31—12.13 trees are so special
STUDIO VOICE 336

(ツ)

塚田守展 6.6—6.28 小山登美夫ギャラリー
美術手帖 839 土屋誠一

津上みゆき展 11.17—11.29 ギャラリー山口
産経 11.22 渋谷和彦

津田亜紀子展 7.28—8.9 ギャラリー山口
芸術新潮 645

土屋公雄彫刻展 第11回本郷新賞受賞記念 8.30—10.13 札幌彫刻美術館
新美術新聞 1001 山脇一夫

土屋貴哉展 12.22—12.28 フタバ画廊
美術手帖 846 土屋誠一

筒井伸輔展 1.15—2.15 ミヅマアートギャラリー
美術手帖 832 原万希子

恒松正敏新作展—屏風考— 10.18—11.1 ギャラリー椿
芸術新潮 648

椿昇「国連少年」 3.23—6.8 水戸芸術館現代美術ギャラリー
朝日夕刊 4.9 大西若人
朝日夕刊 4.10 神谷幸江

椿原章代展 7.4—7.13 ギャラリーAPA
美術手帖 839 能勢陽子

The exhibition of the proposal work KOSUKE TSUMURA 3.18—3.24 スパイラルガーデン
デザインの現場 126

鶴岡政男と松本竣介 画家の動と静 10.1—12.21 大川美術館

(テ)

オットー・ディックス展 3.24—4.25 fujikawa gallery/next

トーマス・デマンド展 6.27—7.26 タカ・イシイギャラリー
芸術新潮 645

STUDIO VOICE 332 濱中マコト

寺崎廣業展—卓越した筆技の美— 12.3—2.29 秋田県立近代美術館
ARK 38 保泉充

平成15年美術展覧会(作タ〜ト)

安房の人物シリーズ8 寺崎武男の世界 2.8—3.16 館山市立博物館

寺田真由美展 9.1—9.26 ベイスギャラリー
東京 9.13 中村隆夫
読売夕刊 9.25 菅原教夫

寺山修司の青春時代展 没後20年 4.26—6.15 世田谷文学館
毎日 5.7 宮川裕章

(ト)

堂本印象の世界 華麗なる変貌 1.2—2.16 茨城県天心記念五浦美術館

堂本印象展 2.25—3.30 田辺市立美術館

オノレ・ドーミエ展 19世紀フランス諷刺版画 9.25—10.25 武蔵野美術大学美術資料図書館

遠山由美展 4.8—4.23 GALLERY 360°
美術手帖 835 原万希子

徳重道朗展 10.18—11.9 muzz program space
美術手帖 842 金悠美

モーリス・ドニ展 4.26—6.22 府中市美術館
芸術新潮 643
美術手帖 834 池上ちかこ
朝日夕刊 6.14 田中三蔵
東京 5.24 中村隆夫
読売夕刊 4.23 武居利史
読売夕刊 5.14 能勢亜希子

鉄斎 春季展 画賛を中心に 3.12—5.11 鉄斎美術館

鉄斎の粉本 本画にいたる道 5.14—8.7 鉄斎美術館

富岡鉄斎展 あるコレクターが見た画業七十年 7.18—8.31 愛媛県美術館(徳島県立近代美術館、埼玉県立近代美術館)

鉄斎 文人の器玩 8.20—10.13 鉄斎美術館

戸谷成雄 森の襲の行方 6.6—7.27 愛知県美術館
朝日夕刊 7.10 田中三蔵

豊田直巳展 劣化ウランとイラクの子供たち 3.29—9.7 原爆の図丸木美術館
新美術新聞 990 (真)

オーストラリア現代工芸3人展:未知のかたちを求めて[キャサリン・トルーマン/ロビン・ベスト/スー・ロレイン] 5.27—6.29 東京国立近代美術館工芸館(京都国立近代美術館)

(ナ)

クリテリオム57 ナカイメグミ 10.25—1.12 水戸芸術館現代美術ギャラリー
中江紀洋展 Art Spirit/くしろの造形—2 8.2—9.7 釧路市立美術館
中川敦夫 かいじゅうの王様 5.8—5.20 複眼ギャラリー STUDIO VOICE 330
中川久/母袋俊也展 6.5—7.15 かわさきIBM市民文化ギャラリー 毎日夕刊 6.27 三田晴夫
中川幸夫 魂の花展 4.29—6.8 霧島アートの森 朝日 5.28 大西若人
誘いの夢…/中川幸夫展 7.26—10.5 メゾンエルメス8階フォーラム 芸術新潮 646 川瀬敏郎
有隣荘・中川幸夫・大原美術館 10.10—10.19 大原美術館
中川佳宣展 3.29—5.17 タグチファインアート 美術手帖 835 白木直子
たがやすように—熟す画面の4つのかたち—[中川佳宣] 9.13—10.26 和歌山県立近代美術館 和歌山県立近代美術館ニュース 38・39 奥村泰彦
長坂元彦展 12.6—12.21 トーキョーワンダーサイト 美術手帖 845 土屋誠一
長沢明展 9.13—10.12 GALLERY HIRAWATA 東京 9.27 中村隆夫
中島千波展 3.19—3.25 高島屋(日本橋) 新美術新聞 987 橋秀文
中島千波展 6.14—7.27 北野美術館別館北野カルチュラルセンター 新美術新聞 997 小池佳子

中島千波展 9.26—10.26 ギャラリー白石 東京 10.4 草薙奈津子
中島千波展 10.24—1.13 おぶせミュージアム中島千波館 新美術新聞 1011 (林)
中基瑞真 一周忌追悼展 人間国宝の技と木工芸の世界 3.22—4.27 港区立港郷土資料館
中谷貞彦展 5.28—6.3 高島屋(日本橋) 新美術新聞 992 瀧梯三
永戸鉄也「ホチキス」展 9.1—9.13 DEPOT STUDIO VOICE 333
中西夏之 二箇所—絵画場から絵画衝動へ— 1.16—2.2 東京芸術大学大学美術館 美術手帖 834 松浦寿夫 読売夕刊 1.30 (菅)
中西夏之展 4.11—5.18 愛媛県美術館 美術手帖 834 松浦寿夫
永沼敦子展 7.29—8.10 Days Photo Gallery 美術手帖 840 土屋誠一
中野隆夫遺作展 寝たきり関白 9.6—10.13 思文閣美術館
中ハシクシゲ『ゼロプロジェクト 京都〜琵琶湖』#601—1XX、2003』 7.22—8.31 京都芸術センター 美術手帖 840 竹田直樹
中原淳一展 2.21—3.9 そごう美術館 デザインの現場 126 朝日 2.2 朝日 2.27 大西若人
中平卓馬展 原点復帰—横浜 10.4—12.7 横浜美術館(那覇市市民ギャラリー) 美術手帖 842 鳥原学 読売夕刊 10.14 前田恭二
中村哲油絵展 9.14—9.20 東京近代美術クラブ画廊 読売夕刊 9.13 芥川喜好
中村綾緒展 9.29—10.12 photographers' gallery 美術手帖 842 土屋誠一

左洲 その生涯[中村左洲] 7.25—8.31 式年遷宮記念神宮美術館
中村太郎展 48枚の絵葉書による宮沢賢治への旅 9.14—9.23 谷中木楽庵 毎日 9.17 宮本扶未子
中村彝の全貌 9.20—11.3 茨城県近代美術館(愛媛県美術館、愛知県美術館) 芸術新潮 647 丹尾安典 朝日夕刊 10.11 田中三蔵 東京 10.25 加藤貞雄
琳派展VI「中村芳中—光琳に憧れた上方文人—」 9.27—12.21 細見美術館
中村政人展 メタユニット 10.7—11.1 SCAI THE BATHHOUSE 朝日夕刊 10.22 大西若人
二世中村蘭臺展 9.19—11.24 篆刻美術館/古河街角美術館 目の眼 326 編集部
中山恵美展 3.3—3.22 GALLERY wks. 美術手帖 834 金悠美
今日の作家シリーズ 夏原新展 光学劇場 1.21—1.31 大阪府立現代美術センター
生意気展「Ultradeluxe Osaka!!!」 5.30—7.8 KPOキリンプラザ大阪 デザインの現場 128
奈良美智展 『new drawings 2003』 11.8—12.6 小山登美夫ギャラリー STUDIO VOICE 336
奈良美智 S.M.L.展 12.20—2.1 グラフメディア・ジエム 美術手帖 845 福永信
植橋朝子展 5.10—6.7 イル・テンポ 美術手帖 838 土屋誠一 読売夕刊 6.5 前田恭二
奈良原一高作品展 天 5.8—5.30 港区フォト・ギャラリー・インターナショナル 芸術新潮 641
アートツアー・イン青森 成田亨が残したもの 9.13—10.13 七戸町立鷹山宇一記念美術館 美術手帖 842 樋口真嗣

生川晴子展 1.11—2.15 白土舎
美術手帖 832 山本さつき
名和晃平展 6.28—7.26 ノマルエ
ディション/プロジェクト・ス
ペース、Studio J
美術手帖 839 金悠美

(二)

第6回倉吉：緑の彫刻賞受賞記念展
西雅秋・深井隆・飯内佐斗司
9.6—10.19 倉吉博物館
妹島和世+西沢立衛/SANAA
5.24—7.26 ギャラリー間
STUDIO VOICE 330
西田俊英回顧展 10.4—10.26 今
井美術館
新美術新聞 1004 川口直宜

(又)

ジャン・ヌーベル展 11.1—1.25
東京オペラシティアートギャラ
リー
芸術新潮 649
デザインの現場 130
美術手帖 843 飯田高誉
朝日夕刊 10.27 松葉一清
額田宣彦展「営巣地」 6.30—7.19
ギャラリー東京ユマニテ
美術手帖 839 平野千枝子
読売夕刊 7.3 菅原教夫

(ノ)

あかり イサム・ノグチが作った光
の彫刻 10.28—12.21 東京国立
近代美術館
野田裕示展 12.1—12.20 ギャラ
リー東京ユマニテ
毎日夕刊 12.9 三田晴夫
野町和嘉写真展 祈りの大地 7.19
—9.15 平塚市美術館
野見山暁治展 8.12—10.5 東京国
立近代美術館(大分市美術館、富
山県立近代美術館、愛知県美術
館)
新美術新聞 1000 窪島誠一郎
朝日夕刊 9.11 田中三蔵
産経 9.13 (M)
東京 8.30 中村隆夫
日経夕刊 8.4
毎日夕刊 8.18 三田晴夫
読売夕刊 9.4 菅原教夫

野村和弘展 3.31—4.26 南天子画
廊
美術手帖 835 白木直子
野村佐紀子 秘蜜 12.5—12.27
成山画廊
芸術新潮 650
野村義昭新作展 9.29—10.11 村
越画廊
東京 10.4 草薙奈津子

(ハ)

IN A SPIN, THE ACTION OF THE
WORLD ON THINGS Vol.1[ダミ
アン・ハースト] 7.18—7.22
SPACE FORCE
STUDIO VOICE 332
版画芸術 121 辺見
リカルド・パーニ展 5.13—6.5
ギャラリーMMG
毎日夕刊 5.30 三田晴夫
ロバート・ハインデル展 4.22—
4.28 三越(日本橋)
朝日 4.24
リヒャルト・パウル・ローゼ展
11.1—2.8 多摩美術大学美術館
芸術新潮 650
橋寛憲展 水に遊ぶいきものたち
8.5—8.18 松屋(銀座)
朝日 8.4
時代ヲ撃テ! 橋本章展 6.7—7.13
福島県立美術館
橋本雅邦展—近代日本画黎明期の巨
匠— 10.28—12.23 松岡美術館
橋本典久展—プライベート・パノラ
マ— 11.4—11.26 INAXギャラ
リー
MAKIO HASUIKE DESIGN EXHI-
BITION FROM MILANO 1.24
—2.14 ヨコハマポートサイド
ギャラリー
デザインの現場 126
長谷宗悦展 10.14—10.25 ギャラ
リーなつか
毎日夕刊 10.21 三田晴夫
読売夕刊 10.23 菅原教夫
浮世絵師初代長谷川貞信が描いた幕
末・明治の大阪—「水の都」の原風
景— 3.21—5.5 大阪城天守閣

長谷川淑子造形展 あそび心とエレ
ガンス—日常の中から 8.13—
9.30 TEPCO銀座館プラスマイ
ナスギャラリー
毎日 8.13 重長聡
秦テルヲの軌跡 デカダンから光明
へ—そして竹久夢二・野長瀬晩
花・戸張孤雁… 9.6—10.13 笠
岡市立竹喬美術館(京都国立近代
美術館)
芸術新潮 647
秦テルヲの軌跡 デカダンから光明
へ—そして竹久夢二・野長瀬晩
花・戸張孤雁… 10.21—11.30
練馬区立美術館
朝日夕刊 11.13 田中三蔵
東京 11.22 草薙奈津子
日経 11.19 宝玉正彦
読売夕刊 11.13 前田恭二
島山直哉写真展「Atmos」 11.21—
12.20 タカ・イシイギャラリー
読売夕刊 11.27 前田恭二
島中光享日本画展 11.25—12.1
三越(日本橋)
新美術新聞 1009 藤慶之
今日の作家シリーズ 八田豊展—磁
場の生まれるところ 3.10—3.21
大阪府立現代美術センター
服部奈奈展 3.17—3.22 Oギャラ
リーeyes
美術手帖 834 古川誠
浜口陽三・南佳子展 詩との出会い
4.12—6.8 練馬区立美術館
東京 5.17 草薙奈津子
浜口陽三への誘い 開館5周年記念
展 10.18—12.23 ミュゼ浜口陽
三
読売 11.28
浜田浄展 作品集出版記念 1.20—
2.8 かねこ・あーとギャラリー
東京 2.1 中村隆夫
浜田知明展 7.19—8.31 碓井町織
田廣喜美術館
デアルテ 20 有江俊哉
林功の世界展 古典に学んだ日本画
家の軌跡 10.18—11.16 そごう
美術館
東京 11.1 草薙奈津子

林武史展—林間—(石の声を聴く)
11.3—11.28 福井県立鯖江高校
ギャラリー—王山
毎日夕刊 11.14 石川健次
原游展 3.17—3.22 ギャラリー—21
+葉
美術手帖 834 原万希子
クリテリオム56 原倫太郎 8.9—
10.5 水戸芸術館現代美術ギャラ
リー
原口典之展 1.27—2.15 ギャラ
リー—現
毎日夕刊 2.6 三田晴夫
たがやすように—熟す画面の4つの
かたち—[原田要] 9.13—10.26
和歌山県立近代美術館
和歌山県立近代美術館ニュース
38・39 奥村泰彦
フランス・ハルスとハールレムの画
家たち 10.7—11.30 新潟県立
万代島美術館(豊橋市美術博物
館、佐倉市立美術館)
芸術新潮 648
ロラン・バルト展 11.27—12.25
東京大学教養学部・美術博物館
芸術新潮 649
アベル・バロツン展 第3世界のイ
ンターネットカフェ 4.10—4.22
プロモ・アルテ
毎日夕刊 4.18 三田晴夫
読売夕刊 4.17 (菅)
(ヒ)
ピカソ 再発見の旅 3.20—3.14
彫刻の森美術館
産経 8.30 生田誠
日経 10.8 竹田博志
ピカソとマチス 1930—40年代の版
画を中心に 4.1—5.5 埼玉県立
近代美術館
ピカソ・クラシック 1914—1925
9.20—12.14 上野の森美術館
朝日夕刊 12.2 大西若人
産経 9.20
産経 9.30、10.2、3 生田誠
産経 10.18 高階秀爾
産経 12.2
東京 11.27 (青)
『ラビタ』表紙原画展[日暮修一]
2.20—2.27 伊東屋(銀座)

毎日夕刊 2.20 中島みゆき
舞踏家土方巽抄 肉体のシュルレア
リスム 10.11—1.12 川崎市岡
本太郎美術館
美術の窓 246 村田慶之輔
朝日夕刊 12.24 田中三蔵
東京 10.25 中村隆夫
読売夕刊 11.6 菅原教夫
菱田春草展 4.11—5.18 愛知県美
術館
東京夕刊 4.26 村田真宏
日経 5.7 宝玉正彦
櫃田珠美個展 2.28—3.22 小山登
美夫ギャラリー—
芸術新潮 641
パトリシア・ピッチニーニ WE
ARE FAMILY 12.6—2.1 原美
術館
芸術新潮 650
美術手帖 845 ドミニク・チェ
ン
スティーヴン・ピピン展 5.2—
5.30 GALLERY SIDE 2
美術手帖 836 平野千枝子
ダニエル・ビュレン 移行|場/作
品 6.28—8.31 豊田市美術館
芸術新潮 646
朝日夕刊 8.21 田中三蔵
ビュロ・デストラクト 東京ストッ
プオーバー 9.3—9.16 渋谷バ
ルコ ログスギャラリー—
STUDIO VOICE 334 立古和智
源内焼 平賀源内のまなざし
10.25—11.30 五島美術館(愛知
県陶磁資料館、MOA美術館、大
阪市立東洋陶磁美術館、福岡市美
術館)
平賀源内展 11.29—1.18 東京都
江戸東京博物館(東北歴史博物
館、岡崎市美術博物館、福岡市博
物館、香川県歴史博物館)
東京 11.28 竹内誠/益田茂
東京 12.11 (青)
東京夕刊 12.12 早坂暁
東京夕刊 12.13 奥村正二
東京夕刊 12.16 今橋理子
東京夕刊 12.17 横尾忠則
東京夕刊 12.18 芳賀徹
東京夕刊 12.18 高橋克彦
東京夕刊 12.20 夢枕獯

開光市展 4.4—4.14 日動画廊
新美術新聞 988 佐々木豊
平柳田中の全貌展 近代日本彫界
の最高峰 4.15—6.15 井原市立
田中美術館
平田五郎展 2.2—2.28 佐久島弁
天サロン大葉邸
美術手帖 834 能勢陽子
平田ゆたか展 11.12—11.17 西武
アート・フォーラム
読売 11.7
平野杏子展 アート七変化 3.31—
5.31 池田20世紀美術館
新美術新聞 989 安井収蔵
平野正樹写真展 5.9—5.20 ガレ
リアビル
毎日夕刊 5.19 三田晴夫
平福百穂展 ゆるぎなき画境の高み
没後70年 10.25—11.24 秋田県
立近代美術館
ARK 38 山本丈志
平松礼二展 6.4—6.10 高島屋(日
本橋)
新美術新聞 994 山崎富治/米
倉守
平山郁夫版画展 2.28—3.10 JR亀
戸駅ビル・エルナードホール
東京 3.1
エンライトメント/ヒロ杉山展
「ボスサイズ」 7.20—9.27 現代
美術館・名古屋
美術手帖 841 能勢陽子
広河隆一写真展 チェルノブイリ・
核の傷跡 4.17—4.24 キッド・
アイラック・アート・ホール
毎日 4.9 奥村隆
宇宙芸術展 ヒロ・ヤマガタと
NASAの世界 4.5—8.26 大さ
ん橋国際客船ターミナル大さん橋
ホール/みなとみらい21新港地区
3街区
朝日 6.12 大西若人
日和崎尊夫と鑿の会 10.23—12.4
高知県立美術館
(フ)
Species : foa—種の起源 1.7—
2.15 TNプロローブ
デザイン現場 126

アリソン・フォッシー展 6.6—
7.18 小出由紀子事務所
芸術新潮 645

第6回倉吉：緑の彫刻賞受賞記念展
西雅秋・深井隆・飯内佐斗司
9.6—10.19 倉吉博物館

深沢幸雄銅版画展 11.1—12.14
伊丹市立美術館

福島誠展 生活空間のかたち 10.5
—10.20 多摩美術大学美術館

福田平八郎作品 首藤コレクション
3.11—4.6 大分県立芸術会館
デアルテ 19 吉田浩太郎

福田平八郎展 没後30年 12.27—
1.12 小田急グランドギャラリー
毎日 12.24 益子香里

藤井勉洋画展 魅惑の大地 9.23—
9.29 三越(日本橋)
新美術新聞 1003 武田厚

栗野ユミト・藤阪新吾展 知覚スル
装置 2.27—4.13 川崎市岡本太
郎美術館
朝日夕刊 4.8 田中三蔵

ふたつの重要文化財—藤島武二《天
平の面影》と雪舟《四季山水図》
9.23—11.24 石橋美術館別館
デアルテ 20 平間理香

藤城凡子展 11.27—12.27 白土舎
美術手帖 846 能勢陽子

藤田道子展 9.23—9.28 Gallery
ES
美術手帖 842 平野千枝子

藤幡正樹 Field—Works 3.31—
4.26 art space kimura ASK?
東京 4.5 草薙奈津子

イ・クトゥット・ブディアナ展 魔
境を幻視するバリ島絵画 6.7—
7.21 東京ステーションギャラ
リー
東京 6.26 (青)
東京 7.12 草薙奈津子
日経 6.18 竹田博志

太公良展 井米ドンマイdon't
mind' 11 days 8.7—8.17
LAP—NET CLUB+Cafe(FORET
原宿)
STUDIO VOICE 332 立古和智

舟越桂展 4.12—6.22 東京都現代
美術館(栃木県立美術館、北海道
立旭川美術館、高松市美術館、岩
手県立美術館、広島市現代美術
館)
芸術新潮 642
新美術新聞 993 森千花
デザインの現場 127
朝日 5.14 天童荒太
朝日 5.15 日野原重明
朝日 5.16 森村泰昌
朝日 5.20
朝日夕刊 4.11 田中三蔵
朝日夕刊 5.15 神谷幸江
東京 4.26 中村隆夫
毎日 7.13 いしかわじゅん
毎日夕刊 5.20 三田晴夫
読売夕刊 4.24 (菅)

舟越直木展 3.3—3.15 ギャラ
リーせいほう
東京 3.8 草薙奈津子

舟越直木展 HANGED—It's All
Right MA 9.16—10.3 GAL
LERY TERASHITA
毎日夕刊 9.30 三田晴夫

バーナード・フュクス アンコー
ル展 4.24—5.25 ジ・オブセッ
ションギャラリー
毎日 4.16 宮本扶未子

ジャポニスム版画展 浮世絵に魅せ
られた芸術家たち[フランク・ブ
ラングイン] 10.18—11.24
ニューオータニ美術館
産経 11.1 生田誠
東京 10.30 (青)

サム・フランシス展 出光コレク
ションによる 4.5—5.25 東京
都現代美術館
朝日夕刊 4.17 田中三蔵
毎日夕刊 5.12 三田晴夫
読売夕刊 4.7 広本伸幸

ローラン・ブリジョー展 7.22—
9.27 エトワール画廊
産経 8.9

ディック・ブルーナ展 ミッ
フィー、ブラック・ベア、そのシ
ンプルな色とかたち 9.20—11.2
サントリーミュージアム[天保山]
芸術新潮 645

古川吉重 版画・ドローイング展
2.10—2.22 シロタ画廊
毎日夕刊 2.13 三田晴夫

古川吉重展 9.22—10.11 ギャラ
リー山口
毎日夕刊 9.30 三田晴夫
読売夕刊 10.9 菅原教夫

ルイズ・ブルジョワ スパイダー
5.12—6.7 SCAI THE BATH
HOUSE
STUDIO VOICE 330

ユージン・ヴォン・ブルチェンハイ
ン写真展 4.17—5.30 小出由紀
子事務所
芸術新潮 643

ジャン＝シャルル・ブレ展 5.14—
6.28 ケンジタキギャラリー
美術手帖 836 能勢陽子

(ヘ)

ハンナ・ヘーヒ1889—1978 カラー
ジュ 4.12—5.25 伊丹市立美術
館(町田市立国際版画美術館)

オーストラリア現代工芸3人展：未
知のかたちを求めて[キャサリ
ン・トルーマン/ロビン・ベスト
/スー・ロレイン] 5.27—6.29
東京国立近代美術館工芸館(京都
国立近代美術館)

ラファエル・ロサノ＝ヘメル『ア
モータル・サスペンション 飛び
かう光のメッセージ』 11.1—
11.24 山口情報芸術センター
STUDIO VOICE 336

(ホ)

細谷玉江油彩新作展(空の旅人)
11.4—11.22 東邦画廊

堀浩哉展 1.6—1.18 ギャラリー
山口
毎日夕刊 1.14 三田晴夫
読売夕刊 1.16 (菅)

ポール・ホリウチ展—シアトルに
渡った日本の感性— 9.27—
11.24 山梨県立美術館

堀内正和の世界展 11.15—2.8 神
奈川県立近代美術館(京都国立近
代美術館、茨城県近代美術館、芸
術の森美術館)
美術手帖 842 池上ちかこ

東京 11.29 中村隆夫
日経 12.19 竹田博志
毎日夕刊 11.19 三田晴夫
読売夕刊 11.18 酒井忠康
堀江優遺作展—聖書を描く— 2.4
—2.11 アートホール神戸
美術の窓 236 一井建二
堀越千秋展—he has gone to spain
in 1977— 11.7—12.7 三菱地
所アルティアム
読売夕刊 11.15 芥川喜好
堀田裕子展 2.8—3.3 京都芸術セ
ンター ギャラリー北・南
美術手帖 834 金悠美
堀本恵美子展 5.14—5.20 阪急
(神戸)
新美術新聞 989
ディミトリ・ホルタのコラージュ
展 7.7—7.26 成山画廊
芸術新潮 645

(マ)

眞板雅文 音・竹水の関—大原美術
館 2.25—11.3 大原美術館
新美術新聞 988 (美)
前川知美展 4.4—4.26 オオタ
ファインアーツ
美術手帖 835 白木直子
前田常作 マンダラへの道 12.8—
1.26 神奈川県立近代美術館
日経 1.8 竹田博志
前田哲明展 1.14—2.15 ギャラ
リーGAN
毎日夕刊 1.28 三田晴夫
前田麻里展 11.1—11.9 工芸ギャ
ラリー園
新美術新聞 1014 (林)
牧谷光恵展 11.1—1.25 東京オベ
ラシティアートギャラリー
芸術新潮 649
牧野虎雄展 10.11—11.16 上越市
立総合博物館
甞る画家たち[牧野義雄] 6.4—
6.15 アートサロン光玄
東京夕刊 5.29
植原泰介展 11.10—11.15 マキイ
マサルファインアーツ
美術手帖 843 土屋誠一
政木貴子・蘭田珠子・信貴結子3人
展 現代郷土作家展 同じ播磨に
暮らして 1.10—1.31 姫路市民
ギャラリー

正木隆展 5.17—5.26 ギャラリー
人
美術手帖 836 平野千枝子
真島直子展 地ごく楽 5.12—5.31
art space kimura ASK?
毎日夕刊 5.19 三田晴夫
ジェネシス〜ミケランジェロの詩と
光彩〜増浦行仁写真展 4.1—
4.25 東京都写真美術館
毎日 4.11 桐山正寿
ピカソとマチス 1930—40年代の版
画を中心に 4.1—5.5 埼玉県立
近代美術館
松井智恵展 第一部 10.10—10.31
MEM gallery
美術手帖 843 池上司
松井智恵展 第二部 11.4—11.21
MEM gallery
美術手帖 843 池上司
松岡徹展 10.4—12.7 三河・佐久
島アートプラン21
美術手帖 843 能勢陽子
松岡リン展 3.4—3.9 銀座東和
ギャラリー
朝日 2.28
産経 3.4 田中規雄
宥密法[松澤宥] 9.14—12.28 豊
田市美術館
朝日夕刊 12.10 田中三蔵
松下黄沙墨画集出版記念展 5.6—
5.24 始弘画廊
新美術新聞 991 (高)
松田一戯と密祐快 美術の中のかた
ち—手で見る造形— 7.17—11.3
兵庫県立美術館
松谷武判展 2.24—3.15 かねこ・
あーとギャラリー
朝日夕刊 3.13 田中三蔵
郷土出身作家シリーズ 松村秀太郎
関長造 小柳津三郎 院展彫塑部
で活躍した富山の彫刻家たち
3.7—3.30 富山県民会館美術館
松本英一郎 Works1968—2001
6.15—6.30 多摩美術大学美術館
新美術新聞 995 渡辺恂三
小特集:具象と抽象—竣介のこと作
品のこと 常設展 春季展示[松
本竣介] 2.28—5.25 岩手県立
美術館

松本陽子展 10.6—10.25 art
space kimura ASK?
毎日夕刊 10.5 三田晴夫
まど・みちおの絵—行間の宇宙—
11.19—1.31 ちひろ美術館
芸術新潮 649
ソイレ・ユリ=マユリュ展 4.7—
4.12 ギャラリーポート
朝日 4.9
鞠安日出子展 イコンの世界 3.9
—3.15 丸善(日本橋)
新美術新聞 989 (常)
円山応挙 〈写生画〉創造への挑戦
9.13—10.26 大阪市立美術館(福
島県立美術館、東京都江戸東京博
物館)
新美術新聞 1002 鈴木幸人
目の眼 325 編集部
毎日 1.5 岸桂子
毎日夕刊 9.16 佐々木丞平
丸山直文展 10.11—11.8 シュウ
ゴアーツ
毎日夕刊 10.27 三田晴夫

(ミ)

三浦小平二展 青磁の世界 5.1—
6.29 くにたち郷土文化館
三岸好太郎展 生誕100年記念
4.18—5.25 北海道立三岸好太郎
美術館/北海道立近代美術館(名
古屋市美術館)
三岸好太郎展 生誕100年記念
5.31—6.29 下関市美術館
デアルテ 20 岡本正康
三岸好太郎展 生誕100年記念 7.5
—8.24 府中市美術館
東京 7.26 原田光
東京夕刊 7.11 三岸黄太郎
東京夕刊 7.12 絹谷幸二
東京夕刊 7.14 前橋汀子
東京夕刊 7.15 宋敏鎬
東京夕刊 7.17 横尾忠則
御宿至彫刻展 6.28—7.26 富士宮
信用金庫神田支店/神田商店街特
設会場
朝日夕刊 7.22 田中三蔵
水上央子展 10.6—10.25 南天子
画廊
日経 10.21 宝玉正彦

水木しげる 妖怪道五十三次展
8.17—8.23 丸善(日本橋)
毎日 7.30 宮本扶未子
読売 8.14

Merry in New York[水谷孝次]
2.14—2.23 六本木THINK
ZONE
デザインの現場 126
朝日 2.14
産経 2.22 (S)
毎日 2.12 山縣章子

水野淳子水彩画展 10.7—10.13
中央美術画廊
新美術新聞 1004

松田一戯と密祐快 美術の中のかた
ち一手で見る造形— 7.17—11.3
兵庫県立美術館

満江英典展 11.28—12.7 ギャラ
リー エスプリ・ヌーボー
美術手帖 845 池上司

浜口陽三・南佳子展 詩との出会い
4.12—6.8 練馬区立美術館
東京 5.17 草薙奈津子

ボリス・ミハイロフ個展 9.2—
10.4 シュウゴアート
芸術新潮 647

MIHO展 「for LOVE」 2.14—
2.19 gallery ROCKET
デザインの現場 126

宮内理司展 6.22—7.5 ライト
ワークス
美術手帖 839 土屋誠一

宮城亜梨紗展 2.10—2.15 The
Third Gallery Aya
美術手帖 833 金悠美

三宅信太郎展 SWEET SUMMER
7.11—8.2 小山登美夫ギャラ
リー
産経 7.26 渋谷和彦

宮崎進展 11.4—11.22 ギャル
リー東京ユマニテ
芸術新潮 649
新美術新聞 1008 田中日佐夫

谷川晃一・宮迫千鶴2人展 伊豆高
原アートフェスティバル 5.1—
5.31 南庭工房
読売夕刊 5.10 芥川喜好

みやじけいこ展 2.8—2.28 ノマ
ルエディション／プロジェクト・
スペース
美術手帖 833 金悠美

退官記念 宮下安弘展 BREEZE
1.16—2.2 東京芸術大学大学美
術館

三代藍堂・宮田宏平展 4.26—6.15
新潟県立近代美術館
朝日夕刊 5.22 田中三蔵

三代藍堂・宮田宏平展 7.8—9.7
東京国立近代美術館工芸館
毎日夕刊 8.11 石川健次

宮永愛子展 9.1—10.4 CAS
美術手帖 841 金悠美

宮本史典+宮本武典展 7.31—8.12
ギャラリー・ラセン
美術手帖 840 平野千枝子

武蔵 武人画家と剣豪の世界展[宮
本武蔵] 4.11—5.25 東京都江
戸東京博物館(岡山県立美術館)

マノロ・ミリャレス展 スペイン現
代美術の革新者 3.11—4.13 泉
屋博古館分館
毎日夕刊 3.31 石川健次

ミレーとバルビゾン派の作家たち展
4.2—4.14 大丸(札幌)(大丸
ミュージアム(梅田)、三鷹市美術
ギャラリー)

ミレー3大名画展 ヨーロッパ自然
主義の画家たち 4.10—7.13
Bunkamuraザ・ミュージアム(福
岡市美術館)
新美術新聞 994 宮澤政男
東京 6.5 (青)
読売 5.27—31 宮沢政男
読売夕刊 4.2 木村俊介
読売夕刊 4.30 宮沢政男

ミロ展 生命を謳う版画 4.5—
5.18 芸術の森美術館(北海道立
旭川美術館)

共和国広場から[ゴラン・ミロサブ
リュビッチ] 4.17—4.29 appel
／現代HEIGHTS・Gallery Den
読売夕刊 4.15

三輪和彦 白の稜線展 9.23—9.29
三越(日本橋)

三輪洋嵩展 11.10—11.16 フタバ
画廊
美術手帖 843 平野千枝子

(△)

ヘンリー・ムーア 創作の秘密
4.5—5.23 川村記念美術館
朝日夕刊 5.10 田中三蔵
東京 4.17 (川)
東京 5.7、8、11 沼辺信一
東京 5.17 酒井忠康
東京夕刊 4.3 高橋幸次
日経 4.23 竹田博志
毎日 4.9

ヘルマン・ムテジウスとドイツ工作
連盟 クッションから都市計画ま
で 1.18—3.9 東京国立近代美
術館工芸館
デザインの現場 126
毎日夕刊 2.17 新見隆

武藤亜希子展 7.1—7.6 gallery J
2
美術手帖 839 平野千枝子

棟方志功展 生誕100年記念 2.22
—3.30 滋賀県立近代美術館
読売夕刊 3.22 芥川喜好

棟方志功展 生誕百年 大原美術館
所蔵 3.19—3.31 高島屋(日本
橋)
朝日夕刊 3.15 森本俊司

棟方志功—わだばゴッホになる—生
誕100年記念 4.5—6.15 宮城県
美術館(高岡市美術館、福光美術
館、青森県立郷土館、奈良県立美
術館、愛媛県美術館)
朝日夕刊 5.29 田中三蔵
読売 3.17

棟方志功—北国の睡り、南国の醒
め—生誕百年記念 8.8—11.3
大原美術館

棟方志功—わだばゴッホになる—生
誕100年記念 11.22—2.1 Bun-
kamuraザ・ミュージアム
産経 11.29 生田誠
東京 12.4 (青)

SHUNJI MURAI Child Work
10.6—10.25 ヒノギャラリー
毎日夕刊 10.16 三田晴夫

村田朋泰 原画展 11.1—11.29
GALLERY MoMo
毎日 11.12 宮本扶未子

室越健美オマージュ展 10.8—
10.14 高島屋(日本橋)
新美術新聞 1004 宝木範義

(メ)

コマル&メラミッドの傑作を探して
[アレックス・メラミッド]
10.4—12.14 川村記念美術館
芸術新潮 648
美術手帖 842 福住廉
朝日 10.9 大西若人

(モ)

最上壽之展 9.20—10.19 横須賀
市文化会館市民ギャラリー
朝日夕刊 10.7 田中三蔵
中川久/母袋俊也展 6.5—7.15
かわさきIBM市民文化ギャラリー
毎日夕刊 6.27 三田晴夫
元永定正展 いろだまあかしろきい
ろ 1.6—1.28 INAXギャラリー
2
読売夕刊 1.11 芥川喜好
もとはし遙展 10.6—10.11
MUSÉE F
美術手帖 842 平野千枝子
モネと印象派の画家たち 6.20—
8.14 高知県立美術館(島根県立
美術館、松本市美術館)
モネ、ルノワールと印象派展 11.1
—1.15 広島県立美術館(Bunka-
mura ザ・ミュージアム)
森太三展 4.1—4.13 ギャラリー
ココ
美術手帖 835 古川誠
森弘治展 5.2—5.25 Figure
17—15 CAS
美術手帖 836 原万希子
森芳雄遺作展 10.24—11.5 一番
星画廊/サカモト画廊
日経 10.31 竹田博志
森岡実莉絵手紙展 1600の自分
8.5—8.10 衍芸館
朝日 8.3
森田茂展 11.1—12.17 しもだて
美術館
森田多恵展 8.20—8.29 INAX
ギャラリー
芸術新潮 646
森本遙水墨画展 9.8—9.13 文藝
春秋画廊
美術の窓 240 安井収蔵

森山大道1965—2003 光の狩人
3.1—4.6 島根県立美術館(北海
道立釧路芸術館、川崎市市民
ミュージアム)
朝日夕刊 4.1 田中三蔵
毎日夕刊 3.26 飯沢耕太郎
森脇修治展 6.14—8.17 コオジ
オグラ ギャラリー
美術手帖 838 能勢陽子

(ヤ)

屋代敏博展「回転」 1.17—2.12
ツァイト・フォト・サロン
美術手帖 833 小倉正史
芸術新潮 647
安田彩展 11.4—11.9 アートス
ペース虹
美術手帖 843 池上司
安田侃の世界—天にむすび、地をつ
なぐ— 6.6—7.13 北海道立近
代美術館
新美術新聞 996 久米淳之
美術手帖 838 柴橋伴夫
柳沢正人展 刻(とき)—時空の流転
1.8—1.14 高島屋(日本橋)
新美術新聞 980 ワシオ・トシ
ヒコ
東京 1.11 草薙奈津子
柳原義達展の芸術 リニューアル開館
記念 11.1—12.14 三重県立美
術館
新美術新聞 1010 毛利伊知郎
共和国広場から[タディア・ヤニ
チツ] 4.17—4.29 appel/現
代HEIGHTS・Gallery Den
読売夕刊 4.15
ヤノベケンジ MEGALOMANIA
8.2—9.23 国立国際美術館
美術手帖 840 小田マサノリ
朝日夕刊 9.13 森本俊司
日経 8.17 白木緑
ヤノベケンジ アトムスーツ サ
ヴァイヴァル・リヴァイヴァル
10.4—11.16 北九州市立美術館
第6回倉吉:緑の彫刻賞受賞記念展
西雅秋・深井隆・飯内佐斗司
9.6—10.19 倉吉博物館
矢吹申彦展 2.21—2.26 HBギャ
ラリー
芸術新潮 640

ヤマガミユキヒロ展 2.18—2.23
neutron
美術手帖 834 古川誠
山口晃展 5.14—6.21 ミヅマア
ートギャラリー
朝日夕刊 6.5 大西若人
山口薫展 11.22—1.25 東京ス
テーションギャラリー
新美術新聞 1010 黒田亮子
朝日夕刊 12.18 田中三蔵
産経 12.13 生田誠
日経 12.10 竹田博志
山口啓介展 7.26—9.11 高崎市美
術館
日経 8.20 宝玉正彦
毎日夕刊 9.1 石川健次
版画家山口進展 没後20周年 伊那
谷から世界を目指して 10.11—
11.16 長野県伊那文化会館
山倉研志展 11.24—12.6 ギャラ
リー覚
毎日夕刊 12.2 三田晴夫
山下大五郎展 安曇野の田園を描く
4.27—7.27 池田町立美術館
読売夕刊 7.12 芥川喜好
山田佐保子展 7.22—8.3 ギャラ
リーココ
美術手帖 840 池上司
山本太郎展 4.1—4.13 立体ギャ
ラリー射手座
美術手帖 835 金悠美
山本直彰展 4.7—4.19 コバヤシ
画廊
日経 4.16 宝玉正彦
平和美術展7回 吉野誠・山本美次
生命を凝視めて 8.2—8.31 は
つかいち美術ギャラリー
山本容子の美術遊園地 2.22—3.30
うらわ美術館
朝日 2.19
山本耀司 May I help you?
4.26—7.21 原美術館
朝日夕刊 7.10 神谷幸江
山本竜基展 12.9—12.14 ギャラ
リーエス
美術手帖 846 平野千枝子

(ユ)

- 柳在学展 6.9—6.14 地球堂ギャラリー
毎日 6.4 窪田千代
結田信展 6.28—8.10 佐倉市立美術館
ユトリロ展 生誕120年記念 3.27—4.8 大丸ミュージアムKOBE (大丸ミュージアムKYOTO、大丸(札幌)、北海道立釧路芸術館、北海道立函館美術館)
伊錫男展[ユン・ソクナム] 5.31—7.27 鎌倉画廊

(ヨ)

- 横尾byヨコオ:描くことの悦楽—イメージの遍歴と再生[横尾忠則] 7.8—8.17 京都国立近代美術館
横尾龍彦展 4.28—5.10 アートスペース羅針盤
毎日夕刊 5.2 三田晴夫
横澤典展 2.10—3.8 BASE GALLERY
美術手帖 833 白木直子
毎日夕刊 3.4 三田晴夫
横田七郎展 誰も気が付かなかった彫りの美を求めて 4.26—6.1 平塚市美術館
朝日夕刊 5.20 田中三蔵
横手山慎二展 6.1—6.29 BOICE PLANNING
美術手帖 838 平野千枝子
横溝静「Untitled」展 3.20—4.26 ワコウ・ワークス・オブ・アート 芸術新潮 641
横溝静「Forever (and again)」展 11.26—12.20 ワコウ・ワークス・オブ・アート 芸術新潮 650
美術手帖 845 平野千枝子
蕪村 没後220年—逸翁美術館・柿衛文庫にみる—[与謝蕪村] 9.13—10.19 逸翁美術館/柿衛文庫 目の眼 325 編集部
吉川仁仁展 3.22—5.25 鎌倉画廊
吉澤美香展 1.18—3.2 双ギャラリー
毎日夕刊 2.3 三田晴夫

- 吉田憲司展 10.6—10.11 シティギャラリー
美術手帖 842 金悠美
吉田多最展 1.29—2.4 さいか屋美術画廊
毎日夕刊 1.27
吉田ふじを展 1.5—2.23 福岡市美術館
福岡市美術館ニュース 130 山本香瑞子
吉野健一の世界展 心のふるさと 11.1—11.15 まちやギャラリー
読売 11.7
吉野誠の世界 よみがえる乾板写真 7.13—9.14 流山市立博物館
平和美術展7回 吉野誠・山本美次 生命を凝視めて 8.2—8.31 はつかいち美術ギャラリー
吉村益信展 3.2—4.3 村松画廊
朝日夕刊 3.13 田中三蔵
読売夕刊 3.13 (管)
吉村益信展 3.3—3.22 東京画廊
朝日夕刊 3.13 田中三蔵
毎日夕刊 3.18 三田晴夫
読売夕刊 3.13 (管)
米田知子 記憶と不確かさの彼方 6.3—7.20 資生堂ギャラリー
デザインの現場 128
毎日夕刊 6.10 三田晴夫
米原昌郎展 12.1—12.13 ギャラリー21+葉
美術手帖 846 平野千枝子

(ラ)

- ヴォルフガング・ライブ展 1.5—3.23 豊田市美術館
芸術新潮 639
芸術新潮 640 丹尾安典
朝日夕刊 2.4 大西若人
ヴォルフガング・ライブ展 1.17—3.8 ケンジタキギャラリー
芸術新潮 640 丹尾安典
ヴォルフガング・ライブ展 1.18—3.9 東京国立近代美術館
芸術新潮 639
芸術新潮 640 丹尾安典
新美術新聞 982 松本透
朝日夕刊 1.30 神谷幸江
朝日夕刊 2.4 大西若人
産経 1.25 渋谷和彦

平成15年美術展覧会(作ユ〜リ)

- 東京 3.1 中村隆夫
毎日夕刊 2.12 石川健次
読売夕刊 1.23 (管)
ヴォルフガング・ライブ展 3.21—6.15 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
デザインの現場 127
はじめての親子展 楽家14代寛入と15代吉左衛門 10.28—12.21 楽美術館
目の眼 327
サンドラ・ラモス展 9.6—9.15 府中市美術館市民ギャラリー
毎日夕刊 9.11 三田晴夫
ガラスの芸術 アール・デコの華ルネ・ラリック展 3.27—4.8 大丸ミュージアム(東京)
毎日 3.5 奥村隆
毎日夕刊 3.20
(リ)
ルーシー・リー展 静寂の美へ 1.25—3.30 ニューオータニ美術館
朝日夕刊 3.14 山盛英司
日経 2.25
読売夕刊 3.5 太田美喜子
レニ・リーフェンシュタール&館石 昭コラボレーション写真展 8.22—9.5 マリンカルチャーセンター
芸術新潮 645
ジャポニスム版画展 浮世絵に魅せられた芸術家たち[アンリ・リヴィエール] 10.18—11.24 ニューオータニ美術館
産経 11.1 生田誠
東京 10.30 (青)
タロット[マリタ・リウリア] 8.2—10.5 原美術館
朝日 9.11 大西若人
ゲルハルト・リヒター展 1.31—2.12 ワコウ・ワークス・オブ・アート
朝日夕刊 1.31 大西若人
ゲルハルト・リヒター展 4.5—5.18 トーキョーワンダーサイト
毎日夕刊 5.12 三田晴夫
読売夕刊 5.1 (管)

林世宝絵画展 8.26—8.31 埼玉県
立近代美術館
毎日夕刊 8.22

(ル)

ジョルジュ・ルオー—未完の旅路
4.10—6.22 NAISミュージアム
朝日夕刊 5.22 神谷幸江
朝日夕刊 6.7 大西若人
読売夕刊 5.28 増子美德

ジョルジュ・ルオー 魂の独白
4.12—6.1 茨城県近代美術館
モネ、ルノワールと印象派展 11.1
—1.15 広島県立美術館(Bunka-
mura ザ・ミュージアム)

(レ)

ヴィルヘルム・レームブルック展
7.5—8.31 芸術の森美術館(宮城
県美術館、足利市立美術館、高知
県立美術館、神奈川県立近代美術
館(葉山))

レンブラントとレンブラント派 聖
書、神話、物語 9.13—12.14
国立西洋美術館
朝日夕刊 10.6 高階秀爾
産経 9.27 (M)
東京 10.9 (青)
日経夕刊 9.22
読売夕刊 10.11 芥川喜好

(ロ)

妻正綱作品展 こころ 3.31—4.9
草月プラザ
朝日 3.18

アドルフ・ロース+F.O.シュミット
工房展 知と匠のコラボレーショ
ン 3.17—3.27 武蔵野美術大学
12号館

マリー・ローランサン回顧展 生誕
120周年 3.1—3.24 せんだいメ
ディアテーク(マリー・ローラン
サン美術館、宇都宮美術館)
芸術新潮 643 藤田一人

マリー・ローランサン回顧展 生誕
120周年 7.19—9.15 東京都庭
園美術館
朝日夕刊 7.26 山盛英司
産経 7.21

産経 7.29、30、8.1 生田誠
産経 8.19 黒柳徹子
産経 8.20 榎本孝明
産経 8.21 柴門ふみ
東京 8.16 中村隆夫

ミック・ロック写真展「ROCK'N'
ROLL EYE」The photography of
Mick Rock 7.18—8.28 東京都
写真美術館
日経 8.4

オーストラリア現代工芸3人展：未
知のかたちを求めて[キャサリ
ン・トルーマン/ロビン・ベスト
/スー・ロレイン] 5.27—6.29
東京国立近代美術館工芸館(京都
国立近代美術館)

(ワ)

アニアス・ワイルダーの7日間
2.9—2.16 岩手県立美術館
東京 1.30

ワイルドスマス絵本の世界 おとぎ
の国のファンタジア 5.1—6.15
東京富士美術館
東京夕刊 5.27、29、30 三宅興
子

若江漢字展 シリーズ・テキスト
《夜の現代史》 5.2—6.29 カス
ヤの森現代美術館
毎日夕刊 6.10 三田晴夫
読売夕刊 5.29 菅原教夫

若林奮 振動尺をめぐる 1.2—
3.23 川村記念美術館
美術手帖 834 森田一

若林奮展「銅・弧」 11.26—12.27
ケンジタキギャラリー
芸術新潮 649

若山八十氏展 なつかしのガリ版！
孔版画のパイオニア 7.19—9.23
町田市立国際版画美術館
芸術新潮 645

朝日夕刊 8.26 田中三蔵
塗師 渡辺喜三郎展 1.8—3.9 畠
山記念館
芸術新潮 639

読売夕刊 2.19 武内範男
渡辺信明展 7.7—7.12 ギャラ
リー白
美術手帖 839 金悠美

ジェニー・ワトソン展 Child's
Play 7.19—8.17 横浜美術館
アートギャラリー
朝日夕刊 8.7 神谷幸江
和平寛子展 6.23—6.28 マキイマ
サルファインアーツ・S
美術手帖 839 土屋誠一

団体展

(ア 行)

朝日陶芸展40回 4.19—6.15 目黒
区美術館
朝日 5.30
朝日夕刊 4.14 井上隆生

亜細亜現代美術展39回 6.12—6.22
東京都美術館
美術の窓 239 高山淳

一期会展38回 8.20—8.30 東京都
美術館
美術の窓 241 高山淳

一陽展49回 9.18—10.3 東京都美
術館
美術の窓 243 高山淳/切刀知
子

一水会展65回 9.18—10.3 東京都
美術館
美術の窓 242 高山淳

一線美術会展54回 10.5—10.14
東京都美術館
美術の窓 243 高山淳

上野の森美術館大賞展21回 4.26—
5.7 上野の森美術館(福岡市美術
館、京都文化博物館)

VOCA展2003 3.14—3.30 上野の
森美術館
朝日 3.27

産経 3.29 渋谷和彦
東京 3.22 草薙奈津子
日経 3.26 竹田博志
読売夕刊 3.27 (管)

旺玄展69回 5.21—5.30 東京都美
術館
美術の窓 238 高山淳/佐久間
智香子

(カ 行)

鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞
展9回 2.15—2.23 鹿沼市民文
化センター

近代美術協会展40回 8.20—8.30
東京都美術館
美術の窓 241 高山淳
現代童画展29回 12.2—12.9 東京
都美術館
美術の窓 245 高山淳/刃刀知
子
現代日本彫刻展20回 10.1—11.10
宇部市野外彫刻美術館
朝日夕刊 10.16 田中三蔵
毎日 10.17 米本浩二
毎日夕刊 10.22 谷新
現展59回 6.12—6.22 東京都美術
館
美術の窓 239 高山淳
元陽展34回 11.25—12.1 東京都
美術館
美術の窓 245 刃刀知子
行動美術展58回 9.1—9.15 東京
都美術館
美術の窓 242 高山淳
光風会展89回 4.6—4.20 東京都
美術館
美術の窓 237 高山淳/刃刀知
子/磯部靖
光陽展51回 5.9—5.18 東京都美
術館
美術の窓 238 高山淳/刃刀知
子/磯部靖
国展77回 4.23—5.7 東京都美術
館
美術の窓 238 高山淳/刃刀知
子/磯部靖
駒展34回 5.31—6.10 東京都美術
館
美術の窓 239 磯部靖
(サ 行)
朔日会展72回 5.9—5.18 東京都
美術館
三軌展55回 3.26—4.4 東京都美
術館
美術の窓 237 高山淳/刃刀知
子/磯部靖
示現会展56回 4.6—4.20 東京都
美術館
美術の窓 237 高山淳/磯部靖
自由美術展67回 10.16—10.31 東
京都美術館
美術の窓 243 高山淳

主体展39回 9.1—9.15 東京都美
術館
美術の窓 242 高山淳/磯部靖
朱葉会展83回 6.1—6.10 東京都
美術館
美術の窓 239 高山淳/刃刀知
子
春陽展80回 4.23—5.7 東京都美
術館
美術の窓 238 高山淳/刃刀知
子/佐久間智香子
昭和会展38回 1.31—2.10 日動画
廊
絵 448
女流画家協会展57回 5.21—5.30
東京都美術館
美術の窓 239 高山淳/刃刀知
子/佐久間智香子
新槐樹社展47回 3.14—3.24 東京
都美術館
美術の窓 236 高山淳/刃刀知
子
新協展46回 10.5—10.14 東京都
美術館
美術の窓 243 高山淳/刃刀知
子
新構造展75回 6.12—6.22 東京都
美術館
美術の窓 239 高山淳
新興展53回 5.21—5.30 東京都美
術館
美術の窓 238 高山淳/刃刀知
子/佐久間智香子
新象展46回 6.1—6.10 東京都美
術館
美術の窓 239 高山淳/佐久間
智香子
新世紀展48回 5.9—5.18 東京都
美術館
美術の窓 238 高山淳/刃刀知
子/佐久間智香子
新制作展67回 9.18—10.3 東京都
美術館
美術の窓 242 高山淳
新美術協会展50回 6.1—6.10 東
京都美術館
美術の窓 239 高山淳/刃刀知
子

水彩連盟展62回 3.26—4.4 東京
都美術館
美術の窓 237 高山淳/刃刀知
子
創画展30回 10.16—10.31 東京都
美術館
美術の窓 243 高山淳/川室美
幸
創型展52回 5.9—5.18 東京都美
術館
美術の窓 238 高山淳/刃刀知
子
創元展62回 4.6—4.20 東京都美
術館
美術の窓 237 高山淳/佐久間
智香子
創展37回 10.4—10.14 東京都美
術館
美術の窓 243 高山淳/刃刀知
子
蒼樹展28回 3.14—3.24 東京都美
術館
美術の窓 236 刃刀知子
創造展56回 6.1—6.10 東京都美
術館
美術の窓 239 磯部靖

(タ 行)

第一美術展74回 5.21—5.30 東京
都美術館
美術の窓 238 高山淳/刃刀知
子
大潮展67回 12.11—12.24 東京都
美術館
美術の窓 245 川室美幸
大調和展42回 3.14—3.24 東京都
美術館
美術の窓 236 高山淳/刃刀知
子
太平洋展99回 5.20—5.30 東京都
美術館
美術の窓 238 高山淳/刃刀知
子
中美展55回 6.12—6.22 東京都美
術館
美術の窓 239 高山淳
東京展29回 9.18—10.3 東京都美
術館
美術の窓 242 高山淳

東光展69回 4.23—5.7 東京都美術館

美術の窓 238 高山淳／刃刀知子／佐久間智香子

東方展37回 3.14—3.24 東京都美術館

美術の窓 236 高山淳／刃刀知子

独立展71回 10.16—10.31 東京都美術館

美術の窓 243 高山淳

(ナ 行)

二科展88回 9.1—9.15 東京都美術館

美術の窓 242 高山淳／刃刀知子／佐久間美智子

二紀展57回 10.16—10.31 東京都美術館

美術の窓 243 高山淳

日展35回 11.2—11.24 東京都美術館

新美術新聞 1010 常盤茂

美術の窓 244 高山淳／刃刀知子／川室美幸

朝日 11.13 大西若人

東京 11.15 中村隆夫

日本画院展63回 5.9—5.18 東京都美術館

美術の窓 238 高山淳／刃刀知子

日府展50回 5.8—5.18 東京都美術館

美術の窓 238 高山淳／刃刀知子

日本現代工芸美術展42回 3.26—4.4 東京都美術館

美術の窓 237 高山淳／刃刀知子／佐久間智香子

日本水彩展91回 6.1—6.10 東京都美術館

美術の窓 239 高山淳／刃刀知子／佐久間智香子

日彫展33回 4.5—4.20 東京都美術館

美術の窓 237 高山淳／刃刀知子

日本伝統工芸展50回 9.30—10.13 三越(日本橋)

毎日 9.28 室瀬和美

日本南画院展43回 3.14—3.24 東京都美術館

美術の窓 236 高山淳／刃刀知子

日本版画協会展71回 4.6—4.20

東京都美術館

美術の窓 237 高山淳／刃刀知子

院展88回 9.1—9.15 東京都美術館

美術の窓 242 高山淳／刃刀知子

日本アンデパンダン展56回 2.28—3.12 東京都美術館

日本表現派展47回 10.5—10.14

東京都美術館

美術の窓 243 高山淳／刃刀知子

(ハ・マ・ラ行)

白亜展26回 12.10—12.16 東京都美術館

美術の窓 245 刃刀知子

白日展79回 3.26—4.4 東京都美術館

美術の窓 237 高山淳／刃刀知子／磯部靖

汎美展2003 3.13—3.24 東京都美術館

美術文化展63回 3.26—4.4 東京都美術館

美術の窓 237 高山淳／刃刀知子／佐久間智香子

从展29回 3.14—3.24 東京都美術館

美術の窓 236 高山淳／刃刀知子

風土展25回 9.16—9.21 東京銀座画廊美術館

美術の窓 242 高山淳

モダンアート展53回 4.6—4.20

東京都美術館

美術の窓 237 高山淳／佐久間智香子

立軌展55回 2.5—2.16 東京セントラル美術館

日経 2.13 宝玉正彦

美術文献目録

凡 例

1. ここに採録した文献は平成15年中にわが国において発行された定期刊行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし雑誌により年外が含まれることもある。
2. 「美術文献目録」の欄は、従来の「定期刊行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けることにした。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている現状に対応して行ったものである。
3. 「定期刊行物所載文献」の欄は、従来の「現代美術・西洋美術」、「東洋古美術」の分類を、「近現代美術」「古美術」に改め、また、両分類にかかわる記事については、「総説」「その他」中の各項目に統合して記載した。
4. 「定期刊行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。また、古美術に関する文献のうち、新聞紙上に掲載された記事で、現代に関連する内容をもつものはここに採録した。
5. 「定期刊行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。
6. 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」と「作家展」の2つに分類した。美術展覧会の分類は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の開催美術館名、文献名、執筆者名の順に記載し、展覧会名の50音順に配列した。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について五十音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを採録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後にあらわれるデータにおいては、展覧会名、会場のみに限った。
7. 号数は主として通巻番号を採用した。なお757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は14号と15号の合併号を示す。9. 1、3、6、は平成15年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
8. 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は§記号を両端に付して示した。便宜上編集部が補った内容は[]で示した。

収録定期刊行物誌名

(50音順)

ARK(秋田県立近代美術館 ニュース)	アマリリス(静岡県立美術 館)	叡山学院研究紀要	岡山大学文学部紀要
ART iT	飯田市美術博物館研究紀要	エスプラナード(福岡市美 術館)	沖縄県公文書館研究紀要
アート・ドキュメンテー ション研究	池田文庫	絵解き研究	沖縄県立芸術大学紀要
アート・ドキュメンテー ション通信	石川県立美術館紀要	etc.(言水制作室)	沖縄県立博物館紀要
アートトップ	石川県立美術館だより	江戸東京たてももの園だより	隠岐の文化財
ARTの森(上野の森美術館)	石川県立歴史博物館紀要	愛媛県美術館研究紀要	お札と切手の博物館ニュー ス
アートペーパー(名古屋市美 術館)	和泉市久保惣記念美術館久 保惣記念文化財団東洋美術 研究所紀要	愛媛県歴史文化博物館研究 紀要	小樽市博物館紀要
アートヨコハマ(横浜市民 ギャラリー)	一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀 要	大分県立先哲史料館研究紀 要	お茶の水女子大学人文科学 紀要
ART LIBRARY(日本彫刻 会)	一関市博物館研究報告	大分県立歴史博物館研究紀 要	尾道大学芸術文化学部紀要
RGB(横浜美術館)	一寸	大分県立歴史博物館年報	オリエンテ(古代オリエン ト博物館)
aica JAPAN	五浦論叢(茨城大学五浦美 術文化研究所紀要)	大阪教育大学紀要	オリエンテ(日本オリエン ト学会)
あいだ	出光美術館館報	大阪城天守閣紀要	学術研究(早稲田大学教育 学部)
愛知教育大学研究報告	出光美術館研究紀要	大阪大学大学院人間科学研 究科紀要	学叢(京都国立博物館)
愛知県美術館研究紀要	伊能忠敬記念館年報	大阪の歴史と文化財	学鏡
愛知県立芸術大学紀要	茨城県近代美術館研究紀要	大阪府立近つ飛鳥博物館館 報	鹿島美術財団年報別冊
青森県史研究	茨城県近代美術館だより	大阪文化財研究	柏原市立歴史資料館館報
青山学院女子短期大学紀要	茨城県立歴史館報	大阪歴史博物館研究紀要	神奈川県立近代美術館年報
青山史学	茨城大学人文学部紀要コ ミュニケーション学科論集	太田記念美術館論集	神奈川県立博物館研究報告
秋田県立博物館研究報告	茨城大学人文学部紀要文学 科論集	大田区立郷土博物館紀要	かながわの考古学
秋田公立美術工芸短期大学 紀要	いわき市教育文化事業団研 究紀要	大谷大学真宗総合研究所研 究紀要	金沢学院大学紀要
秋田美術	岩手県立博物館研究報告	大津市歴史博物館研究紀要	金沢大学文学部論集
AXIS	印度学仏教学研究	大妻女子大学紀要	金沢美術工芸大学紀要
アジアセンターニュース	浮世絵芸術	大手前大学史学研究所紀要	金沢文庫研究
アジア遊学	Ouroboros(東京大学総合 研究博物館ニュース)	大手前大学社会文化学部論 集	鎌倉
明日の東洋学	絵	大手前大学人文科学部論集	鎌倉遺文研究
跡見学園女子大学人文学 フォーラム	A-ism(青森県美術館整備 室ニュース)	大和(大神神社)	カリスタ(東京芸術大学美 術学部美学研究室)
跡見学園女子大学文学部紀 要	AAC(愛知芸術文化セン ター)	岡山県立美術館ニュース	川崎市市民ミュージアム紀 要
aprire(岩手県立美術館)		岡山市立オリエンテ美術館 研究紀要	元興寺文化財研究所研究報 告
			関西大学哲学

- 関西大学東西学術研究所紀要
 季刊博物館だより(福島県立博物館)
 北区飛鳥山博物館研究報告
 木野評論
 岐阜市歴史博物館研究紀要
 ギャラリー(月刊)
 九州産業大学芸術学部研究報告
 九州史学
 九州歴史資料館研究論集
 キュレーターズ・エッグ
 京都工芸繊維大学工芸学部研究報告人文
 京都女子大学人文論叢
 京都市立芸術大学芸術資料館年報
 京都市立芸術大学美術学部研究紀要
 京都精華大学紀要
 京都大学総合博物館年報
 京都美学美術史学
 京都府立総合資料館紀要
 共立女子大学文芸学部紀要
 青春
 金鱗叢書 史学美術史論文集(徳川黎明会)
 近代画説(明治美術学会)
 釧路論集
 くにたち郷土文化館研究紀要
 熊本県立美術館研究紀要
 グリーンルーフ(鹿児島市立美術館)
 ぐんしょ(季刊)
 群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要
 群馬県立女子大学紀要
 群馬県立歴史博物館紀要
 群馬の森美術館ニュース
- 慶応義塾大学アート・センタースタッフ年報
 慶応義塾大学日吉紀要
 芸術学(三田芸術学会)
 芸術学学報(金沢美術工芸大学芸術学研究室)
 芸術学研究(筑波大学大学院芸術学研究科)
 芸術学研究(明治学院大学文学部芸術学科)
 芸術新潮
 芸術評論(学校法人中延学園)
 芸術論究(帝塚山学院大学美学美術史研究室)
 芸叢(筑波大学芸術学系芸術学研究室)
 藝大通信
 化粧文化(ポーラ文化研究所)
 研究紀要金沢城研究
 現代芸術研究(京都女子大学現代社会学部)
 現代の眼(東京国立近代美術館)
 建築雑誌(日本建築学会)
 建築史学
 皇学館大学神道研究所紀要
 皇学館大学文学部紀要
 皇学館論叢
 考古学雑誌
 考古学史研究
 構造
 高知県立美術館ニュース
 神戸市立博物館研究紀要
 高野山大学密教文化研究所紀要
 郡山市立美術館研究紀要
 国学院雑誌
 国語国文(京都大学文学部国語学国文学研究室)
 国語と国文学(東京大学国語国文会)
- 国際交流研究(フェリス女学院大学国際交流学部)
 国際日本学(法政大学国際日本学研究センター)
 国文学解釈と鑑賞
 国文学研究資料館紀要
 国文学研究資料館史料館研究紀要
 国文学研究資料館文献資料部・調査研究報告
 国文学論考(都留文科大学国語国文会)
 国立国際美術館月報
 国立西洋美術館研究紀要
 国立西洋美術館年報
 国立博物館ニュース
 国立民族学博物館調査報告
 国立歴史民俗博物館研究報告
 古代オリエント博物館紀要
 古代文化(財団法人古代学協会)
 古代文化研究(島根県古代文化センター)
 国華
 国華清和会会報
 ことひら(金刀比羅宮)
 古文化研究
 コミュニケーション科学(東京経済大学コミュニケーション学会)
 古文書研究(日本古文書学会)
 斎宮歴史博物館研究紀要
 埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要
 埼玉県立さきたま資料館調査研究報告
 埼玉県立歴史資料館研究紀要
 埼玉史談(埼玉県郷土文化会)
 採蓮 千葉市美術館研究紀要
 堺市博物館報
- 佐賀県立名護屋城博物館研究紀要
 佐賀県立博物館調査研究書
 佐賀県立博物館・美術館報
 札幌大谷短期大学紀要
 ザ・ルーフ(郡山市立美術館)
 三の丸尚蔵館年報・紀要
 史淵(九州大学文学部)
 史苑(立教大学史学会)
 史学(三田史学会)
 史学雑誌
 滋賀県安土城郭調査研究所研究紀要
 滋賀県文化財保護協会紀要
 滋賀県立安土城考古博物館紀要
 滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要
 静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要
 静岡県立美術館紀要
 静岡文化芸術大学研究紀要
 死生学研究(東京大学大学院人文社会系研究科)
 史迹と美術
 自然と文化(季刊)
 自然と文化(平塚市博物館)
 思想
 実践国文学
 実践女子大学文学部紀要
 実践女子大学文芸資料研究所年報
 島根県芸術文化センター(仮称)準備ニュース
 下関市立考古博物館研究紀要
 下関市立美術館研究紀要
 ジャポニスム研究
 自由美術(自由美術協会)
 修復研究所報告

美術文献目録

純心人文研究(長崎純心大学)	墨	朝鮮学報	東京都現代美術館紀要
春陽	駿台史学	潮流(下関市立美術館)	刀剣美術
正倉院紀要	生活と文化(豊島区立郷土資料館)	筑波大学芸術学系研究報告	陶磁館ニュース(東北陶磁文化館)
聖徳	生活文化研究所年報	筑波大学芸術研究報告	同志社大学博物館学年報
縄文の森から(鹿児島県立埋蔵文化財センター)	成城美学美術史	筑波大学芸術年報	陶説
城陽市歴史民俗資料館館報	成城文芸	筑波大学先史学・考古学研究	東方学
続日本紀研究	西洋美術研究	津田塾大学紀要	東方学報京都(京都大学人文科学研究所)
女子美術大学研究紀要	セゾンアートプログラム・ジャーナル	土浦市立博物館紀要	同朋大学仏教文化研究所紀要
書陵部紀要	説話文学研究	壺屋焼物博物館紀要	東北アジア研究(東北大学東北アジア研究センター)
書論	セラ・バ(岐阜県現代陶芸美術館)	津山弥生の里(津山弥生の里文化財センター年報)	東北アジア研究センター叢書
史料館研究紀要(国文学研究資料館史料館)	泉屋博古館紀要	デアルテ(九州芸術学会)	東北芸術工科大学紀要
資料館だより(世田谷区立郷土資料館)	仙台市博物館調査研究報告	帝京大学山梨文化財研究所研究報告	東北歴史博物館研究紀要
資料と研究(山梨県立文学館)	全文連会報(全国国宝重要文化財所有者連盟)	デザインの現場	東洋学報(東洋文庫和文紀要)
史林(京都大学文学部内史学研究會)	園部文化博物館報	哲学会誌(学習院大学哲学会)	東洋史研究
絲綢之路(シルクロード)(文化財保護振興財団)	大学院諸究(群馬県立女子大学大学院文学研究科)	哲学年報(九州大学大学院人文科学研究院)	東洋陶磁
シルクロード学研究(シルクロード学研究センター)	大正大学研究紀要	帝塚山学院大学人間文化学部研究年報	東洋文化研究所紀要
塵界(兵庫県立歴史博物館紀要)	大日光(日光東照宮)	帝塚山芸術文化	東洋文庫書報
新美術新聞	太陽(別冊)	帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要	ドーム
人文(京都大学人文科学研究所)	竹中大工道具館研究紀要	帝塚山大学短期大学部紀要	遠山記念館だより
人文学(同志社大学人文学系)	辰馬考古資料館考古学研究紀要	天台学報	徳島県立近代美術館ニュース
人文学研究所報(神奈川大学人文学研究所)	辰野美術館だより	10+1 (Ten Plus One)	徳島県立博物館研究報告
人文学報(京都大学人文科学研究所)	田原町博物館年報	天理参考館報	徳島文理大学文学論叢
人文研究(神奈川大学人文学会)	田原の文化(田原町教育委員会)	東海大学紀要教養学部	図書館情報大学研究報告
人文論究(関西学院大学人文学会)	多摩美術大学研究紀要	東京学芸大学紀要	図書館情報メディア研究
椋山女学園大学研究論集	淡交	東京家政学院生活文化博物館年報	栃木県立なす風土記の丘資料館年報
椋山女学園大学文化情報学部紀要	千葉県の文書館	東京家政大学研究紀要	栃木県立博物館研究紀要
朱雀(京都文化博物館研究紀要)	千葉県文化財センター研究連絡誌	東京芸術大学美術学部紀要	とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要
STUDIO VOICE	千葉県立安房博物館研究紀要	東京国立近代美術館研究紀要	富山考古学研究
	千葉県立中央博物館研究報告	東京造形大学研究報	富山市篁牛人記念美術館館報
	千葉市美術館ニュースC'n	東京大学史料編纂所研究紀要	富山大学人文学部紀要
	地方史研究	東京大学総合研究博物館標本資料報告	豊橋市美術博物館研究紀要
	中国近現代文化研究		

- 直島通信(直島コンテンツ
ラリーアートミュージアム)
- 長野県立歴史館研究紀要
- 名古屋市博物館研究紀要
- 名古屋市美術館研究紀要
- 名古屋大学文学部研究論集
- 奈良教育大学紀要
- 奈良女子大学文学部研究年報
- 奈良大学紀要
- 奈良文化財研究所紀要
- 南都仏教
- 新潟県立歴史博物館研究紀要
- にくら(跡見学園女子大学花咲記念資料館)
- 西アジア考古学
- 西宮市立郷土資料館研究報告
- 日仏美術学会会報
- 日文研
- 日展ニュース
- 日本研究(国際日本文化研究センター紀要)
- 日本建築学会計画系論文集
- 日本考古学年報
- 日本史研究
- 日本女子大学紀要 人間社会学部
- 日本大学芸術学部紀要
- 日本の美学
- 日本仏教総合研究
- 日本文化財科学会会報
- 日本歴史
- 人間文化(滋賀県立大学人間文化学部)
- 人間文化研究(京都学園大学人間文化学会)
- 野村美術館研究紀要
- 博物館研究(日本博物館協会)
- 八戸市博物館年報
- PATIO(高岡市美術館)
- 版画芸術
- 美学
- 美学芸術学(同志社大学文学部美学及芸術学研究室)
- 比較社会文化
- 美学美術史研究論集(名古屋大学大学院文学研究科美学美術史研究室)
- 美学美術史論集(成城大学大学院文学研究科)
- 比較文化論叢(札幌大学文化学部)
- 美学論究(関西学院大学文学部美学研究室)
- 東アジアの古代文化(古代学研究所)
- 彦根城博物館研究紀要
- 美術運動史研究会ニュース
- 美術京都(財団法人中信美術奨励基金)
- 美術研究
- 美術史
- 美術史学(東北大学)
- 美術史研究(早稲田大学美術史学会)
- 美術史論集(神戸大学美術史研究会)
- 美術史論叢(東京大学大学院美術史研究室)
- 美術手帖
- 美術の窓
- 美術の森(北九州市立美術館)
- 美術フォーラム21
- 美術文化(美術文化協会)
- 美のたより(大和文華館)
- ビブリア(天理図書館報)
- 姫路市立美術館研究紀要
- 姫路市立美術館だより
- 姫路美術工芸館紀要
- 百万塔
- 百科(月刊)
- 氷華(北海道立旭川美術館)
- 兵庫県揖保郡太子町立歴史資料館館報
- 兵庫県埋蔵文化財研究紀要
- ピリエ(目黒区美術館)
- HILL WIND(三重県立美術館)
- 広島県立歴史博物館研究紀要
- 広島県立歴史民俗資料館研究紀要
- 広島市立大学芸術学部紀要
- フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学・芸術史講座)
- 福井県立若狭歴史民俗資料館館報
- 福井市立郷土歴史博物館研究紀要
- 福岡県地域史研究
- 福岡市博物館研究紀要
- 福岡市美術館ニュース
- 福島県歴史資料館研究紀要
- ふくやま美術館研究紀要
- 藤女子大学・藤女子短期大学紀要
- ふたかみ(香芝市二上山博物館)
- 府中市郷土の森博物館紀要
- 府中市美術館だより
- 仏教芸術
- 仏教史学研究
- 仏教大学教育学部論集
- 仏教大学社会学部論集
- 仏教大学文学部論集
- ブリヂストン美術館・石橋美術館館報
- 文化(東北大学文学会)
- 文化学年報(同志社大学文学会)
- 文化学年報(神戸大学大学院文化学研究科)
- 文学(隔月刊)
- 文化財(月刊)(文化庁文化財保護部)
- 文化財学報(奈良大学文学部文化財学科)
- 文化財研究紀要
- 文化財の保存と修復(文化財保存修復学会)
- 文化財保存修復学会誌
- 文化財レポート(京都文化財団)
- 文化財論考(金沢学院大学美術文化学部文化財学科)
- 文化史学
- 法政考古学
- 法政史学
- 法政大学国際日本学研究所研究報告
- 北斎研究
- 保存科学(東京文化財研究所)
- 北海道開拓記念館研究紀要
- 北海道開拓記念館だより
- 北海道開拓記念館調査報告
- 北海道東海大学紀要
- 梵鐘(古鐘研究会)
- マキエ(ポーラ文化研究所)
- 待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科)
- 町田市立国際版画美術館紀要
- 松ヶ岡文庫研究年報
- 三重県埋蔵文化財センター研究紀要
- 三重大史学
- 瑞垣(神宮司庁)
- 見世物
- 三田国文
- 密教図像
- 密教文化(密教研究会)
- 港区立港郷土資料館研究紀要

美術文献目録

美濃加茂市民ミュージアム 紀要	目の眼	横浜美術館研究紀要	ろびい(北海道立近代美術館)
宮城学院女子大学研究論文 集	文書館紀要(埼玉県立文書 館)	横浜美術短期大学教育・研 究紀要	和歌山県文化財センター年 報
宮崎県総合博物館研究紀要	野洲町立歴史民俗資料館研 究紀要	横山大観記念館館報	和歌山県立近代美術館 ニュース
宮崎大学教育文化学部紀要	山形県埋蔵文化財センター 研究紀要	四日市市立博物館研究紀要	和歌山県立博物館研究紀要
MUSEUM(東京国立博物 館)	山形大学歴史・地理・人類 学論集	立教大学日本学研究所年報	和歌山市立博物館研究紀要
MUSEUM STUDY(明治大 学学芸員養成課程紀要)	山口県史研究	立正史学	早稲田大学会津八一記念博 物館研究紀要
ミュージアム・データ(丹 青研究所)	山口県文書館研究紀要	栗東歴史民俗博物館紀要	早稲田大学大学院文学研究 科紀要
MUSEOLOGY(実践女子大 学美学美術史学科研究室博 物館学課程)	山口県立山口博物館研究報 告	立命館大学考古学論集	早稲田大学図書館紀要
MUSEOLOGIST(明治大学 学芸員養成課程年報)	山口蓬春記念館研究紀要	龍谷史壇(龍谷大学史学会)	和洋国文研究
視る(京都国立近代美術館)	大和文華(大和文華館)	Lure(札幌芸術の森)	和洋女子大学紀要
民具マンスリー	山梨県立考古博物館山梨県 埋蔵文化財センター研究紀 要	黎明館調査研究報告(鹿児 島県歴史資料センター黎明 館)	朝日
民俗学研究所紀要	山梨文化財研究所報	歴史遺産研究(東北芸術工 科大学歴史遺産学科)	朝日夕刊
民博通信	游美(茨城県近代美術館友 の会)	歴史学研究	産経
武蔵野美術大学研究紀要	ユネスコアジア文化セン ター文化遺産ニュース	歴史地理教育	東京
武蔵野美術大学美術資料図 書館館報	ユリイカ	歴史と地理(大鑑閣)	東京夕刊
ムゼイオン(立教大学博物 館研究)	横須賀市博物館研究報告	歴史評論(歴史科学協議会)	日経
明治大学博物館研究報告	横須賀市博物館報	歴史評論(歴史科学協議会)	日経夕刊
明治大学博物館年報	横浜市ふるさと歴史財団年 報	歴博	毎日
明星大学研究紀要	横浜市歴史博物館紀要	LOTUS(日本フェノロサ学 会)	毎日夕刊
		鹿園雑集 奈良国立博物館 研究紀要	読売
		礪山美術館報	読売夕刊

目 次

〔定期刊行物所載文献〕

総 説	56	石 工	128
美 学	56	木 竹 工	129
概 論	58	ガ ラ ス 工	129
日本美術史	69	その他の工芸	130
海外美術史(アジア)	73	建 築 一 般	130
海外美術史(その他)	74	都市・集落	130
保 存 修 復	78	建 物	132
情 報 処 理	85	宮殿・官衙	133
文化財行政	87	宗 教 建 築	133
美 術 教 育	90	城 郭	135
古 美 術	92	住 宅 ・ 館	135
絵 画	92	その他の建造物	136
図像・文様	102	庭 園	136
地図・絵図	103	墳 墓	137
彫 塑	104	建築部材など	138
土偶・埴輪	107	建築に付随するその他	138
面	108	近現代美術	140
書 蹟	108	絵 画	140
金石文など	111	漫画・アニメーション	142
工芸(一般)	112	版 画	144
宗 教 工 芸	113	写真・映像	145
武具・馬具類	113	彫刻・空間表現	146
茶 道 具	114	工 芸	146
装身具・化粧具	115	デ ザ イ ン	148
文 房 具	116	建 築 史	151
装潢・料紙装飾	116	その他のジャンル	155
陶 磁	117	作 家	155
土 器	119	日 本	155
瓦	123	海 外	212
金 工	124	そ の 他	230
鏡	125	美術関係者	230
青 銅 器	125	書 評	237
刀剣・刀装・槍	125	時 評	247
染織・服飾	127	美術館・博物館・画廊	249
漆 工	128	海 外 展	267

定期刊行物所載文献

総 説									
美 学									
光と形—古代美術とその技法にみる光の影響とはたらき—	神田 每実	愛知県立芸術大学紀要	32	ロジェ・ド・ピールの絵画論における鑑賞の距離に関する試論	渋谷 拓	成城美学美術史	9		
なぜ自然は美的でありうるか あるいは、光景の感情	菅野 盾樹	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	29	芸術作品における闘争—ハイデガー『芸術作品の根源』より—	河合 大介	成城文芸	182		
メルロ・ポンティの現象学的還元	砂原 陽一	金沢大学文学部論集	23	特集 パレルゴン：美術における付随的なもの		西洋美術研究	9		
『判断力批判』における「崇高」の二重性について	鈴木 賢子	カリスタ	10	絵のなかの文字：視覚言語の記号学	メイヤー・シャピロ 木俣 元一 翻訳・解題				
九鬼周造と西田幾多郎—あるいは邂逅の論理—	木岡 伸夫	関西大学哲学	22	表象の枠組みと枠のいくつかの形象	ルイ・マラン 栗田 秀法 翻訳・解題				
自然・身体・表現—現象学と芸術的表現行為—	井上 克人	"	23	[研究ノート]署名論に関するノート 近世における画像空間への侵犯を中心に	森 雅彦				
人間形成における美的感性の地平	三木 博	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	47	[原典資料紹介]パレルゴンに関する言説 プリニウスからデリダまで					
芸術的精神の現象学 8	岩城 見一	京都美学美術史学	2	文献リストと解題	木俣 元一、 栗田 秀法、 三浦 篤 編				
芸術享受における公衆的「自然」の生成—近代的鑑賞者概念の源泉としてのルセル音楽論の「国の民」概念—	馬場 朗	群馬県立女子大学紀要	24	特集1 中井正一論		セゾン アートプログラム・ジャーナル	10		
文化の文脈における美学	ヴォルフハルト・ヘンクマン 大石 昌史 訳	芸 術 学	6	中井正一再考メモ	針生 一郎				
ポストモダンの文化の内部あるいは外部のアドルノとハイデガー	ハインツ・ベッツォルト 小野部胤久 訳	"	"	「委員会の論理」を読む—一つの註釈として	木下 長宏				
表象の空間	マリーヴォンヌ・セゾン 倉田 剛 訳	"	"	機能主義の転向形態—中井正一の美学によせて	西 欣也				
美学と形而上学との間—ヘーゲル以後の存在論的美学の可能性	大石 昌史	"	"	二つの樹の絵—中井正一の日本美術論	苅部 直				
絵画—意味作用のもう一つの範疇 6	同			ダッシュと寂の間で	篠原 資明				
義反復の方途	平井 亮一	構 造	14	中井正一の芸術論における技術美と身体—スポーツ美学の射程	武藤 大祐				

〈フィルム・アヴァンギャルド〉としての中井正一	高島 直之			アーサー・C・ダン トの芸術論—行為 論を通して—	森田 作夫	美学芸術 学	18
「白」の不安—中井 正一と建築につい ての小論	鈴木 貴宇			パノフスキーの「イ コノロジー」形成と 展開	関 竜司	" "	" "
造形における有機的 形態の研究	森 竹巳	筑波大学 芸術研究 報告	41	造形的な目で見える— フィードラーの芸術 論の可能性—	石原みどり	フィロカ リア	20
芸術への問い—技 術・遊び・芸術—	菊地 恵善	哲学年報	62	自然美・風景・環 境—環境美学への一 視点—	村田 誠一	文化学年 報(同志 社大学)	52
フィギュールの翻訳 を規定する要因	松尾 大	東京芸術 大学美術 学部紀要	39	現代の芸術理解とハ イデガーの芸術論	今村美邦子	" "	" "
論壇 空の美学	大橋 良介	日本の美 学	36	映画の知覚と自然的 知覚	辻本 宗正	" "	" "
視覚的隠喩は可能か 遊戯における芸術作 品の現実性について	西村 清和	美 学	212	中世のステンドグラ スと光の形而上学に ついての一考察	新井 思郎	" "	" "
芸術体験の中動相	大石 昌史	"	213	ヒュームのデザイン 論証—カントとの比 較において—	山本 道雄	文化学年 報(神戸 大学)	22
美学上の文化的多元 主義—その成立と含 意をめぐって—	森田 亜紀	"	214	総特集 ロラン・バ ルト	ユリイカ		487
バーネット・ニュー マンの美学批判とそ の帰結	西 欣也	"	"	せせらぎのバルト	蓮實 重彦		
美学会第五十四回全 国大会発表要旨	金 悠美	"	215	言葉の運動／記号 の運動 ロラン・ バルトを読む快樂	多木 浩二		
「自由」の過剰とし ての「芸術」—ハイ デッガーの芸術論—	石関 正史	"	"	手のプンクトゥム バルトの「第三の 意味」について	吉田 喜重		
芸術と倫理のあい だ—レヴィナスに おける感覚の問題 をめぐって—	石田 圭子			映画への抵抗	ドミニク・ バイニ 岡村 民夫 訳・解題		
岡倉天心『茶の本』 における美学のプ ラクシス的性格に ついて	一色 裕			手に負えないもの	ユベール・ ダミッシュ 松岡新一郎 訳・解題		
芸術経験における 身体と歴史の交錯 —(意味=像)とし ての象徴の生成—	大石 昌史			バルト I・II	ジャン＝ク ロード・ミ ルネール 松岡新一郎 訳・解題		
美的仮象について	小林 信之			身体と言葉が共振 する	松浦 寿輝		
美術史学の作業概 念としての不可視 性	辻 成史			時代 時代 時代	與謝野文子		
アドルノの芸術論 における「技術」概 念	東口 豊			器用な不器用さ ロラン・バルトの 手	小林 康夫		
ウィットゲンシュタ インと美学の(不) 可能性	松崎 俊之			蝶の採集	城殿 智行		
“演じられた”滑稽 を笑う意義	宮川 達			無関心の恋	丹生谷貴志		
ドラモット作『諸 芸術の勝利』の ビュグマリオン： 西洋近代美学創成 期における「生」と しての芸術観	馬場 朗			箸と筆 『記号の 帝国』と翻訳体験	野崎 歆		
				オペラあるいは声 の原光景	千葉 文夫		
				ロラン・バルトと 音楽	中地 義和		

可能なかぎり多くの味わい ロラン・バルトのコレージュ・ド・フランス講義ノート をめぐって	石井洋二郎			次なる建築の姿、描くのは誰 第8回 ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展	上條 昌宏	A X I S	101
模造の弁明 広告の記号論とバルト	北田 暁大			デザインの復権 第5回～第10回	團 紀彦	"	101～106
演劇博士バルトロメウスの日本探訪	日比野 啓			庭からの視線13 21世紀東京の空中庭園事情	伊藤 公文 文 家 靖秀 久家 靖秀 写真 川上典李子 編集協力	"	101
「物語の構造分析序説」再考 一九六六年の東京日仏学院でのセミナーをきっかけに	桑田 光平			アートが作るネットワークとは? キッズ・アートワールド あおもり2002—こどもの時間—が残したもの		A — ism	7
ロラン・バルト年譜	桑田 光平			アートが生み出す地域との絆	黒岩 恭介		
ロラン・バルト著作一覧	前田 晃一			「こどもの時間」が結ぶもの	板倉 容子		
「動く絵画」—フリードリヒ・シュレーゲルの『マイスター論』について—	武田 利勝	早稲田大学大学院文学研究科紀要	48	〈情報昨今〉大阪の寺町—都心に残された歴史的景観—	植木 久	大阪の歴史と文化財	12
概 論				イラク国立博物館の状況と略奪文化遺産のリスト	大沼 克彦	オリエンテ	27
アート・ドキュメンテーション研究会第17回講演会報告 市民社会とアート・ドキュメンテーション活動 第一部 講演会	岩淵 潤子	アート・ドキュメンテーション研究	10	逆転視における奥行知覚に関する研究(3)—逆転視実体鏡を着用した課題遂行—	太田 雅夫	金沢学院大学紀要	1
巻頭特集 異文化からの触発 失われる美、見いだされる美 ドナルド・キーン氏		ア ー ト ト ッ プ	193	環境デザインの基礎理論構築に向けて	黒川 威人 角谷 修	金沢美術工芸大学紀要	47
コラム 粘土遊び(1) チンパンジーがこねる	中川 織江	ART LIBRARY	4	壁面のアウラ	五十嵐嘉晴	"	"
特集 肖像画ってなんだろう? その1～3	雪山 行二	R G B	51～53	展覧会資料紹介 「バリを描いた日本人画家」展	中谷 伸生	関西大学哲学	23
「アジア」の痛点—国際シンポジウム「激動するアジア」に参加して	水沢 勉	あ い だ	85	新春ボイス2003 JADA展 画家の眼・画商の目 JADA展から見える洋画の現状と今後の展望		ギャラリー(月刊)	213
〈大阪万博〉は美術史を書き換える座標軸たりえるのか—榎木氏の主張をめぐって	高島 直之	"	86	特集 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2003 3年の歳月が変えたそれぞれの風景		"	219
報告 「モノをめぐる物語」と「理念としての美術史」の二重の距離—国際研究集会「うごくモノ」雑感	藤原 貞朗	"	"	特集 創造する銀座 企業と美大生による第1回銀座ウインドウディスプレイ・コンペティション—前編、後編—		"	223、224
国立民族学博物館：「フォーラム」を睥睨する「神殿」「アイヌからのメッセージ」展の吉田憲司フォーラム論批判	犬塚 康博	"	94	How Latitudes Become Forms[緯度はいかにかたちとなるか]	フィリップ・ヴェルニュー	キュレーターズ・エッグ	4
あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第19回 21世紀の日本武道の行方	稲賀 繁美	"	96	Extension—Expanding the Space of Artistic Expression[エクステンション—拡張する美術表現の場—]	神谷 幸江	"	5

近代芸術におけるデジタル体験	リチャード・シフ 永井 隆則 翻訳	京都工芸繊維大学 工学部 研究報告 人文	51	慰霊と墓 [共同研究]近現代の兵士の 実像Ⅱ 慰霊のモ ニュメントと「銃後」 社会 石川県にお ける忠霊塔建設運動	本康 宏史	国立歴史民俗博物館研究報告	102
二つの『日本文化私観』をめぐる—ブルーノ・タウトと坂口安吾—中	山下 裕二	芸術学研究(明治大学)	13	考古資料の偽造と誤断	春成 秀爾	"	108
ホモ・コスメティックスのファッション 万華鏡 婆娑羅、かぶきからマリリン・マンソンまで	藤原えりみ	化粧文化	43	美術史という学問—徳川義宣氏(徳川美術館館長)聞き書き	近藤 壮	国華清和会報	1
[小企画展]「美術と音楽」によせて	古田 亮	現代の眼	540	「美」というもの—徳川義宣氏(徳川美術館館長)聞き書き	"	"	2
『建築雑誌』アーカイブス 第13回、第14回、第16回、第18回～第24回	青井 哲人	建築雑誌	1499、 1500、 1504、 1506～ 1512	屋上緑化デザイン手法研究	宮川 潤次 川口 宗敏	静岡文化芸術大学研究紀要	3
特集 アジアのなかの日本建築		"	1500	総合芸術作品としての全体主義国家	H.ギ ン ター	思想	952
座談会Ⅰ アジアの住宅集落研究の課題—アジアの居住空間と住環境整備	稲葉 佳子、 佐藤 浩司、 陣内 秀信、 畑 聰一、 穂坂 光彦 布野 修司			シンポジウム 評 Reflection and Reality: The Influence on American Arts, 1853—2003 New York University, 20—22 March 2003	渡辺 俊夫	ジャボニスム研究	23
対談 アジアの建築交流 回顧と展望—地に足をつけた多彩な交流を	鈴木 成文、 李 光魯 布野 修司 聞き手・編集			特集 生涯で最も重要な出会い		自由美術	2003
特集 建築の新しさはどこから生まれるか—I 建築デザインの最先端を巡る考察序文にかえて 新しいモノが生まれる…その過程と条件とは	勝山 里美	"	1506	見えざる他者との出会い	松永 康		
建築年報2003 顔のない日本建築	五十嵐太郎	"	1509	アギア・エカテリニ修道院の闇	益田 朋幸		
学界展望 建築論	田路 貴浩	建築史学	41	PARIS発 チベット文化の神髄	安部 雅延	新美術新聞	980
時評的発言 芸術の目的、芸術の自律性論争、万博参加批判の批判など	門田 秀雄	構 造	14	日本初“古美術・骨董”の通信教育講座が開講	(千)	"	"
個性と障害—映画「花子」の語ること	大倉 宏	"	"	創刊31年目を迎えた『一枚の繪』山城一子代表に抱負を聞く	(常)	"	"
世界の中の能—外国人の能楽発見—	西野 春雄	国際日本学	1	新美術時評 ミュージアム・シティよ、永遠に。[ミュージアム・シティ・天神]	後小路雅弘	"	983
合成素材と博物館資料 資料 国立民族学博物館におけるレプリカ及び使用される合成樹脂	宇治谷 恵	国立民族学博物館調査報告	36	PARIS発 カタストロフィーと人類	安部 雅延	"	986
文化遺産の保存／活用装置としての民宿と女性労働 白川村荻町地区の事例から	才津祐美子	"	37	新美術時評 鏡像について	中村 敬治	"	987
				美術市場レーダー137 どこへ行く国 テーマパークカジノ	瀬木 慎一	"	988
				新美術時評 横尾忠則に触発されて荒川修作に思い至る 非言語文化の復権に向けて	山脇 一夫	"	989
				新美術時評 山積の課題—美術品の危機	岩渕 潤子	"	990
				現代女性のアートに対する関心は ポーラ文化研究所が調査	豊原 真澄	"	992

新美術時評「城」… 「女工哀史」容易に 埋めえないギャップ	岩渕 潤子	新美術新聞	993	バンコク「オタク」の次のプロトタイプは、天使の都から生まれつつある。	遠藤 治郎	
2003年度国際交流基金事業概要決まる	(美)	"	996			
北方4島巡回展 絵は万国共通語	斎藤 吾朗	"	999	北京 新区のパワーが誘発する、北京カルチャーの新感覚。	方 振寧	
PARIS発 危機にさらされる南仏芸術祭	安部 雅延	"	"			
新美術時評「蒐集は創作」—南蛮堂コレクション	後小路雅弘	"	1001	21世紀はアジアの世紀なのか これは、ポスト西洋&東洋の世界的カルチャーの出現と見るべきだ。	ジョン・ネイバック	
関東大震災から80年 絵図で読み解く地震・噴火・津波 東京・神奈川・千葉で災害展	西澤 美子	"	"	台北 文化を生む街に必要なものは、中山北路に揃っている。	岩切 みお	
マンションの彫刻を学生から募集 最優秀者に100万円	(美)	"	1003			
現在通信from NEW YORK あれから二年…	富井 玲子	"	1004	シンガポール「学芸の都」政策が、チャイナタウンをさらに熱くさせる。	桑島 千春	
第2回横浜トリエンナーレ 2005年秋1年遅れの開催へ	西澤 美子	"	1006		岩切 みお 桑島 千春 小島 卓 地畑 寧子 中西 WU 方 振寧	
「メセナ」言い換えに反対 国語研究所に抗議の声明	(美)	"	"	次のアジアを創る A—VIP55人		
メセナ大賞2003に常陽藝文センター	"	"	1007			
第4回東美アートフェア開かれる 吉田誠之助氏に聞く	吉田誠之助	"	"	東西南北、全てを混在させるサイアムアート クリエイティヴに生きる。その余裕がここにあるのだ。	金子 義則	
新美術時評「消費のプレッシャー」解放の兆しある若者たち	岩渕 潤子	"	1008			
新潟柏崎 県立美術館計画中止へ	(美)	"	1009	鼎談収録「傾く日本社会—アートの役割」	村上陽一郎 小林 陽一 平田オリザ	セゾン アート プログラム・ジャーナル 10
PARIS発 抽象絵画の起源 科学と芸術	安部 雅延	"	1011	美術の解剖学 後編	布施 英利	" "
7割の企業が「評価」を導入 2003メセナ活動実態調査	(美)	"	"	1950年代アメリカの対日文化政策—概観	藤田 文子	津田塾大学紀要 35
60年代アングラ周辺カルチャー解説	榎本 了彦 紫牟田伸子 仲世古佳伸 橋本 優子 柳本 浩市	STUDIO VOICE	332	ネオ・SOHOとなるか? NYの新しいカルチャー発信地「DUMBO」	大竹 秀子	デザインの現場 130
特集 アジアの現在		"	333	アムステルダム建築の歴史と今を知る ARCAM(アムステルダム建築センター)オープン	廣川 覚子	" 131
「サイアム的」が世界を変える!これはジェット速度の「スローライフ」だ。今、東京抜きで進行する、東南アジア革命に参画せよ。	金子 義則			日本の伝統色と色彩イメージ(第12報)	和田 淑子	帝塚山大学短期大学部紀要 40
香港 クリエイターたちが愛する、湾仔のユニークさ。	中西 多香			都市表象分析13 イメージの／による葬儀 コロソスとしての記念碑	田中 純	10+1(Ten Plus One) 31
				ポストモダニズムと建築1 「暗黒」から建築を建ち上げる	日埜 直彦	" "

現代建築思潮 ダイアローグ：「現代建築思潮研究」のための序	今村 創平 日埜 直彦	"	"	環境情報デザイン・カタログ21 光の館—光のアー トによる場の体験	野島 耕平 山本 尚明		
大名古屋論#1 純建築としてのダンボールハウス	長嶋 千聡	"	"	環境情報デザイン・カタログ30 キネティック・デザイン—人と空間をダイナミックにつなぐタンジブル・インターフェイス	山藤 靖宏		
1990年代以降の建築都市? 再発見された《エレクトリック・ラビリンス》	五十嵐太郎	"	"	グローバリズム3 植民都市と散逸する主体	八束はじめ	"	"
都市表象分析14 帝国と都市 方法の問題	田中 純	"	32	国際学会 トウルファン再訪—シルクロード美術・文化研究の第一世紀—	松井 太 山部 能宜	東方学	106
都市とモードのフィールドノート1 ブランド化する建築	成実 弘至	"	"	姜亮夫・蔣禮鴻・郭在貽紀念 漢語史・敦煌学国際學術研究会	石塚 晴通 佐藤 晴彦	"	"
特集80年代建築／可能性としてのポストモダン		"	"	特集1 まちやミュージアムをツアーする楽しみ「アサヒ・アート・フェスティバル(AAF)」のイベントを全部観てまわるツアー」をドキュメント 東京下町のアートのスポットをリンクする「アサヒ・アート・フェスティバル2003」		ドーム	70
八〇年代リヴィジョニズム	日埜 直彦			特集2 まちやミュージアムをツアーする楽しみ「すみだ・こうとう産業文化ツアー」をドキュメント 下町の「ものづくり」の心を追いかける「アサヒ・アート・フェスティバル2003」		"	"
禁止主義の終焉	パオロ・ポルトゲージ 加藤 耕一 訳			語りと文化遺産—ある寺院における案内解説の分析より—	小川 伸彦	奈良女子 大学文学 部研究年 報	47
デコンストラクティヴィスト・アーキテクチャー	マーク・ウィグリー 入江 徹 訳			グローバリゼーション、文化ナショナリズム、多文化主義と日本近現代文芸	鈴木 貞美	日本研究	27
デコンストラクティヴィスト・アーキテクチャー 訳者解題 あなたは一体いつまで表現し続けるというのか	入江 徹			オズバード・チャドウィックの報告書から見た旧香港植民地の居住改善事業 東南アジアの植民地都市と建築に関する研究 その3	泉田 英雄	日本建築 学会計画 系論文集	567
形態表現から物質現前へ 現代建築の問題構成	勝矢 武之						
「最後の啓蒙」「啓蒙の最後」 コーリン・ロウ『コラージュ・シティ』をめぐって	丸山 洋志						
グローバリズム2 ナショナリズムとその美学化	八束はじめ						
セヴェラルネス：事物連鎖と人間2 建築職人ウィトルウィウス 弱い技術	中谷 礼仁	"	33				
「悪い場所」にて3 崩れ落ちるビデオ装置『ワラッティイトモ、』から垂れたアカリイ導火線	榎木 野衣	"	"				
特集 建築と情報の新しいかたち		"	"				
情報と建築の新しいかたち コミュニティウェア	仲 隆介 中西 泰人 本江 正茂						

第四分科会 近現代 史部会 近代日本社 会における道徳と宗 教		日本史研 究	487	アウトサイダー・ アートはなぜ困難 か	斎藤 環		
「近代日本社会に おける道徳と宗 教」趣旨	北泊謙太郎			芸術をめぐる言葉 121 芸術の時間的 性格は現在的であ る。……九鬼周造	谷川 渥	" "	
近現代史部会共同 研究報告 日露戦 後～大正前期にお ける「道徳」と「宗 教」の思想史的位 相	見城 悌治			サウンド＝アートの 境界画定 3～6	佐々木 敦	"	833～836
コメント 「報徳」 と日露戦争前後の 現実世界—見城報 告についてのコメ ント	重松 正史			第12回芸術評論募 集 入選作発表 審査員 座談会 新しい批評 の時代のために	谷川 渥 小林 康夫 榎木 野衣	"	834
コメント 見城報 告に寄せて	宇野田尚哉			第12回芸術評論募 集 入選作発表 【佳作】 alternative reality アマチュア・スト リート・クリティカ ル	福住 廉	" "	
コメント 仏教者 と「報徳」—明治前 期～大正前期の仏 教界の動向と関連 して—	福島 栄寿			特集 21世紀の戦争 と美術 イラク戦争 以後のアートを考え る		"	835
滋賀県における文化 工芸都市づくりにつ いて—現在に至る道 路—	安土 優	人間文化	14	反戦運動「殺すな」 今日の反戦運動 殺す・な	榎木 野衣		
コレクション道 蒐 集こそ我が人生 電 脳蚤の市で版画を購 入する インター ネットとコレクショ ン	辺見、岡部 取材・構成	版画芸術	121	反戦運動「殺すな」 殺すな一九六七の 記(とその追記)	小田マサノ リ		
「事後」の芸術—The Legacy Project に寄 せて	小沢 節子	美術運動 史研究会 ニュース	59	戦争と都市	五十嵐太郎		
伝統のもつ多元性は 取り戻せるか?	森 芳功	"	61	戦争と迷彩	寸		
論考 お静かに 日 本人の美意識	秦 恒平	美術京都	30	戦争と表象	横山 昭夫		
特集 ニューヨー ク・ニューアート最 前線 ニューヨーク の時代 1950年代再 訪	海野 弘	美術手帖	829	最新レポート 「ヒ ルズ」と「コンプレ ックス」がつなが 、アートによる都市 のリノベーション	日埜 直彦	" "	
[再検証]横浜トリ エンナーレ2001 恋 する美術だった。最 終回 日本という現 場から	白坂 ゆり	"	"	芸術をめぐる言葉 125 存在しないこ との不可能性……宮 川淳	谷川 渥	" "	
特集 心のひみつ・ アートの衝動		"	831	特集 アートの仕事 がしたい ボラン ティアからスペシャ リストまで		"	836
ダニエル・キイス 書き下ろし特別寄 稿 天才・アウト サイダー・アー ティスト	ダニエル・ キイ ス 梅宮 典子 訳			アート起業する 芸術NPOの可能 性	吉本 光宏		
今日も、彼らは描 いている みずの きアトリエ、工房 絵、すずかけ絵画 クラブ訪問	山下 里加			「アートの仕事」と 「カネ」のお話	新川 貴詩		
				特集 現代アーティ スト10組の仕事場 に見るアトリエの建 築的冒険 劇的リノ ベーションから共同 スタジオまで ク リーン・プラザーズ	古川 誠	"	838
				芸術をめぐる言葉 127 モダン建築 は、ミズーリ州セン トルイスで1972年7 月15日午後3時32分 に死んだ。……ジェ ンクス	谷川 渥	" "	

アートプロジェクト・リポート 四十 年のときを経て、東京の街にハブニング が頻発 東京都内各 所「バス観光ハブ ニング2003」	長澤 章生	"	"	視点	會田 雄亮 福原 義春 滝本 誠夫 中村 隆夫 ワシオトシ ヒコ	"	242
芸術をめぐる言葉 128 いまだかつて どのような画家も、 かくも乱暴に膿汁の パレットや傷痕の血 まみれな絵具皿に絵 筆をひたした者はな かった。……ユイス マンス	谷川 渥	"	839	視点	河合 隼雄 藤森 武夫 中村 隆夫 ワシオトシ ヒコ	"	243
アートプロジェクト・リポート 「思 い出話を取材して新 聞記事にする」とい う相互的な美術行為 岐阜県現代陶芸美術 館「労働記者クラブ」 先日労働新聞	山田 亘	"	"	特集 〈生と死〉と美 術 IV美術館と〈生 と死〉美術は「死」 に向き合えるか 「メメント・モリ」再 考	小勝 禮子	美術 フォーラム21	8
特集 新しい身体と 彫刻の美学 Figure /Sculpture		"	840	美術随想 「生と死」 と芸術との関係につ いての個人的な感想	吉岡健二郎	"	"
対談 東浩紀×五 十嵐太郎 データ 化する身体、動物 化するボスト・ ヒューマン	斎藤 環			風景画の社会学	倉橋 重史	仏教大学 社会学部 論集	36
「萌力」、あるいは 被媒介の享楽につ いて				ベネトン広告に見る (人種)の構築と(多 文化主義)	北原 恵	文化学年 報(同志 社大学)	52
《座談会 明治文学 史 第四回》つづく …新聞小説の通路				富山 太佳 夫、十川 信介、 山田 俊治、齋藤 出席者 希史 ロバート・ キャンベル 司会	文 学	4-1	
芸術をめぐる言葉 129 ビュグマリ オンは呆然と像を眺 め、この像に胸の火 を燃やした。…オ ウディウス	谷川 渥	"	"	鼎談 文化財ボラン ティアを語る	竹内 誠 浜河合 美枝 隼雄	文化財 (月刊)	472
「ARTISTS BY ART- ISTS」という試み アーティストが主導 してアーティストに 作品展示を依頼する アート・イベント	新川 貴詩	"	841	イラクの文化財不正 流出に想いを寄せて	藤井 秀夫	"	479
アートにとって多文 化主義とはなんだっ たのか1 世界をめ ぐってアメリカに帰 還した多文化主義	市原研太郎	"	842	ジョン・ラスキン— 芸術から「ポリテ ィカル・エコノミー」 へ—	木村 竜太	文化史学	59
アートプロジェクト ・リポート 観客 とアートのライブな 関係の再生現場 大 阪・新世界「プレー カー・プロジェクト」	染谷比呂子	"	"	岩面刻画の謎をさぐ る一洞窟を利用した 人びと—「フゴッペ 洞窟」	木村 重信	北海道開 拓記念館 だより	32-5
芸苑雑事記129 小 結社命名の弁	瀧 悌三	美術の窓	239	国の芸術文化施策に みる文化志向の方向 性—ポストモダンの 時代における「日本 文化」—	住川 軺子	宮城学院 女子大学 研究論文 集	97
視点	林屋 晴三 小林 英樹 福原 義春 中村 隆夫 ワシオトシ ヒコ	"	241	C. H. ベッカーの文 化政策論	佐藤 史浩	"	98
				ウィーン所在の日本 資料	井上 善博	民具マン スリー	425
				公開講演会 イタリ アと東アジア—人物 と知識文化の交流—	ヴィータ・ シルヴィオ	民俗学研 究所紀要	27
				芸術・科学・技術の 創造的出会いを求め て—学生の意識調査 による比較研究	圓山 憲子 逢坂 卓郎 粟谷 容子 齋藤 嘉博 松居 エリ	武蔵野美 術大学研 究紀要	33

《i-art》論—現代 アートの民俗3—	中島 智	武蔵野美術大学研究紀要	33	イラク博物館略奪 収蔵室まで根こそぎ トラック横付けも	"	"	"
狭小空間「ハット・ 環 具」の研究—環 具：家具環境からの 形成／家具と建築の 一体化	寺原 芳彦 島崎 信 椎名 純子 中村 萬里 足立 正 落合 勉 山口 泰幸 山田佳一郎 山口由加里 上村 晴彦 滝田 智美 鈴木 友子	"	"	レプリカで美は伝わ るか？作品の真正性 失う 見る側の感性 も変化 兵庫県香住 町でシンポジウム	山盛 英司	"	4. 16
車椅子で行くギリ シャ古美術の旅2、 3	久野 健	目の眼	316、317	時時刻刻 バグダッ ド 博物館略奪 計 画的 強まる	国末 憲人	"	4. 22
翼へのパッション— 飛行機と想像力3～ 6、8～10、最終回	橋爪 紳也	ユリイカ	471～ 475、 479～ 481、484	略奪文化財の行方 和光大学名誉教授前 田耕作さんに聞く	山盛 英司	"	5. 4
空間の思考	多木 浩二	"		稲作伝来、500年早 まる 国立歴史民俗 博物館が発表 弥生 の始まり、紀元前約 1000年	中村 俊介 宮代 栄一	"	5. 20
12 場所と境界 ベンヤミン『一九 〇〇年頃のベルリ ンの幼年時代』			480	弥生時代の始まり 500年さかのぼる		"	5. 21
13 街の名前ある いは都市の言語化 ベンヤミンにおけ る固有名詞			481	イラクの歴史遺産、 再び公開 博物 館 員、心の傷深く 盗 掘被害、資料の破棄 も	山盛 英司	"	6. 19
わいせつと芸術	松本 博文	横浜美術 短期大学 教育・研 究紀要	1	森とケータイの国 フィンランドの視覚 芸術 下 風土に根 ざす現代性	大西 若人	"	7. 9
史料紹介 史料研究 の新時代	杉山 正明	歴史と地 理	564	イラクの世界遺産 略奪免れ遺跡「健在」 警備・保全に残る不 安	国末 憲人	"	8. 4
【歴史のひろば】美術 史と歴史教育—途絶 した試み—	今野日出晴	歴史評論	634	現代アートの登竜門 審査員は絶賛 最高 作なのに非公開な ぜ？テレビ番組使い まくって問題に	大西 若人	"	9. 25
[特集]胎動する歴史 学「歴史展示」幻の 国立歴史博物館「国 史館」とその周辺	金子 淳	歴 博	118	「ガチャガチャ」何が 出るかな… 美術作 品 気 軽 に 手 に art—Link上 野—谷 中	"	"	10. 8
天才・奇才ノーベル 賞級 アート 大胆・ 精密巧みな表現 [江戸時代の美術]	高階 秀爾 朝	日	1. 1	キリンアートアワード 「ワラッティイ トモ」審査員特別優 秀賞に 著作権問 題、修整でクリア	"	"	10. 21
「求ム！あなたのお 宝」「思い入れ」の 品々を芸術作品に作 りかえ		"	2. 14	「アート・マネジメ ント講座」今年度終 了 担い手育成に課 題残る	星野 学	"	11. 5
天声人語[江戸時代]		"	"	疑問主義5 芸術家 は何歳まで芸術家か 100歳の「新 人」夢 じゃない	由里 幸子	朝日夕刊	1. 10
非営利画廊、じわり 浸透 貸画廊への不 満背景にネットワー ク化の動きも	藤生 京子	"	2. 19	アジアはいま千だけ ある——インド・デ リー大で考えたこと 天心「アジアは一つ」 から100年	四方田犬彦	"	2. 3
探究 明治生まれの 美 術 誌「國 華」 DVD発行と鑑賞会 の復活	田中 三蔵	"	4. 2	国際協力で遺産の散 逸防げ 略奪を受けた イラク国立博物館	大沼 克彦	"	4. 17
イラク国立博物館で 略奪 文化財、壊滅 的な損失	小森 保良	"	4. 14				

美術館困らせるカメラ付き携帯 手軽に撮影「やめて」	"	4. 23	枠を超えるアートの場 プースで自由展示、多数が参加「イベント型」[GEI-SAI-4]	猪谷 千香	"	9. 14	
イラク博物館の収蔵品 奪還 略奪者の車から1千点	国末 憲人	"	4. 26	ブランドの秋 芸術への誘い “歴史”物語る展覧会続々[ブラダ、セリヌス、エルメス、ブルガリ]	藤田 綾子	"	9. 20
美の現在 「後期印象派」は誤訳 内面の描写目指す次の動き 正確に「ポスト印象派」では	高階 秀爾	"	6. 4	パーミヤン日本隊、ハイテクで地下探査へ 三蔵法師の夢掘り当てろ	"	"	9. 25
美術館では味わえぬ「重み」[國華清話会]	田中 三蔵	"	6. 12	東大寺・国宝にくぎ NHK委託業者『ゆく年くる年』中継で	東 京	1. 3	
法隆寺「再建」裏付け五重塔663年ごろ伐採の木 年輪測定で判明	"	"	7. 16	イラク遺跡に戦火迫る 歴史の宝庫破壊の危機	"	"	3. 23
にぎわい空間 ビル群でアートと出会う 六本木ヒルズ 新宿アイランド	"	"	8. 21	市民数千人、国立博物館に押し入り メソポタミアの秘宝17万点略奪 NYタイムズ報道	斎田 太郎	"	4. 14
凸凹鏡 「ものづくり」に漂う危機感	田中 三蔵	"	8. 28	社説 イラク博物館秘宝略奪は人類の損失	"	"	4. 15
凸凹鏡 人気という両刃の剣	"	"	10. 9	計りきれぬ“お宝”被害 バグダッド・国立博物館戦下の略奪	"	"	4. 16
雑誌「國華」に菊池寛賞 先駆者に永遠に栄光あれ 美術史に足跡 権威と冒険心が両立	大岡 信	"	11. 12	色鮮やかに三十六歌仙 今日から京都で公開	"	"	5. 1
遺跡守る特別警備隊 1500~2000人規模イラクに新設	"	"	11. 13	イラク略奪 アッバース宮殿無残 王朝時代の家具など文化財数千点が散逸	"	"	5. 5
凸凹鏡 「勲章爆弾」が破壊したもの	田中 三蔵	"	11. 20	雑誌「文字」6月創刊 [石川九楊責任編集]	"	"	5. 25
メディチ家に日本製「お宝」 400年前の漆器は「帽子入れ」	"	"	12. 3	TOKYO発 アートの世界へ リサイクリング 『放置自転車なくそう』向島でイベント	吉岡 逸夫	"	6. 26
日本の独自性強調 「国民の芸術」発刊シンポに500人	産 経	2. 23		TOKYO発 前衛の記憶 ご存じですか『池袋モンパルナス』	出田 阿生	"	7. 8
飛鳥発掘物語 3、5、7、12、13、20、22、24~28、30~32	河上 邦彦	"	4. 19、5. 3、17、6. 21、28、8. 30、10. 4、18、25、11. 1、8. 15、29、12. 13、20	法隆寺はやはり再建 670年の焼失後 木材年輪測定で分かる	"	"	7. 16
緯度経度 文化遺産 略奪と仏の悔恨	山口 昌子	"	4. 20	「上野の森」猫虐待? の作品入賞 盗作疑いも ネット公開画像に酷似	"	"	8. 19
略奪 古代の栄華無残 バビロン博物館石像の大半…資料や壁まで	加納 洋人 岩田 智雄	"	5. 7	みんなでエコ社会 危機の野生植物を絵に 日本植物画倶楽部がボタニカルアート作品	坂口 千夏	"	8. 31
知的で美的な六本木ヒルズ パブリック・アート満載	渋谷 和彦	"	6. 21	東京解剖図鑑 がちゃがちゃは小さなアート	山内 宏泰	"	10. 3

平成15年定期刊行物所載文献(総／概論)

「ビーグル2」が展示 火星に芸術作品！？ 宇宙の神秘解くアート	東京	12.23	近代陶芸の先駆者十 選1～10	小山 岑一	"	5.15、 16、19、 20、22、 23、26～ 29
イラク情勢論考 イ ラク遺跡の危機	上原 和	東京夕刊 3.11	「アジアと弥生」研究 に弾み 始まりの年 代測定 紀元前800 年ごろ稲作本格化な ら朝鮮史とも整合	松岡 資明 小林 達雄 金 関恕	"	5.20
東北の地震 国宝・ 瑞巖寺 壁に亀裂	"	5.27	藤村氏発掘旧石器 159遺跡でねつ造 考古学協会「検証終 了」宣言へ	"	"	5.24
イラク国立博物館 一部収蔵品を公開	"	7.4	文化 科学が覆した 考古学の定説 縄文 中期・弥生、500年 繰り上がる	松岡 資明	"	5.31
騒ぎになった浮世絵 十選1～10	高橋 克彦	日 経 1.23、24、 27、28、 30、31、 2.3、4、 6、7	月曜リポート 景観 整備か利便向上か 岩手・平泉遺跡群に 堤防・バイパス 世 界遺産めざし苦肉の 土塁・植栽	"	"	6.2
物語のある情景十選 1～10	穂積 和夫	" 2.11、12、 14、17、 18、20、 21、24～ 26	廃校ユニーク再活用 文科省が「50選」公表	"	"	6.5
けいざい探検 切手 収集家は泣いている 買い取り価格暴落。 世界からもそっぽ。 記念乱発公社の負債 に	"	3.1	ミイラの正体は王 妃？ ツタンカーメ ン王の義母か 英研 究者が新説 遺体の かつらに特徴	"	"	6.10
産業遺産で地域活性 化 文化財登録後押 し 企業頼みの負担 限界に	"	3.3	音楽を奏でる絵画十 選1～10	林 光	"	6.16、 17、19、 20、23、 24、26、 27、30、 7.1
文化 弥生時代はい つ始まった？ 解明 に挑む動き盛んに	小橋 弘之	" 3.8	文化 海軍軍装は時 代の鏡 半生費やし 研究、250点余りを まとめ図鑑に	柳生 悦子	"	7.1
江戸の桜画十選1～ 10	今橋 理子	" 3.24、 25、27、 28、31、 4.1、3、 4、7、8	トレンド特区 谷中 猫のギャラリー集積	"	"	7.5
略奪、博物館も標的 バグダッド 世界的 な文化遺産危機に	"	4.13	半歩遅れの読書術 自画像の名作 素人 の及ばぬ深い自己省 察	富岡多恵子	"	7.20
文化 開かれた建築 次々 東京生活都心 への試み 工業跡地 に「職住接近」	松岡 弘城	" 4.19	異形の神パン十選 1～10	前田 耕作	"	4.28～ 30、 5.1、2、 5、8、 9、12、 13
文化往来 「アフリ カ年」、民間主導の 企画が続々	"	5.2	文化 大阪・シカゴ都 市フォーラム パネル 討論 魅力ある街へ 個性磨け 住みよさ 美しさ求めて	マ ー ク・ シュワブ、 橋爪 紳也、 大林 剛郎、 大谷 博昭、 山口 フランク・ ブルック・ クルー ジ 対談 山形 司会	"	7.21、 22、24、 25、28、 29、31、 8.1、4、 5
エコノ探偵団 お城 復元なぜ増えた？ ハコモノ行政デフレ 型に	小林 健一	" 5.4	トビックス 市民参 加型のアート祭開催 東京・浅草などで	"	"	7.24
	"	5.7				

文化 公共建築 設計選び変化の兆し コンベ採用、審査を公開… 市民の視点を反映	松岡 弘城	"	7. 26	絵の中のドラマ十選 1～10	別役 実	"	12. 1、 2、 4、 5、 8、 9、 11、 12、 16、 17
需要創出新たな視点 中「文化力」伸ばす 戦略を	杉浦 勉	"	7. 29	文化 謎多き都大津 京を掘る わずか5 年で消えた「荒都」、 調査・研究30年	林 博通	"	12. 10
国宝「風神像」の腕脱 落 東京国立博物館 へ運搬中		"	8. 5	イラン地震 救助活 動が難航 日本無償 協力8300万円決定 [アルゲ・バム]		"	12. 28
源氏物語の美十選 1～10	瀬戸内寂聴	"	8. 7、 8、 12～15、 18、 19、 21、 22	歴史観 覆す「弥生 ショック」 渡来の 背景など新たな謎	松岡 資明	日経夕刊	5. 23
文化 「企業と宗教」 広がる研究 施設内 の社寺、企業墓、社 葬…	田村 雅弘	"	8. 23	建築も競う高級ブラ ンド 先端デザイン 東京から発信		"	6. 26
自画像の女たち十選 1～10	堀尾真紀子	"	8. 28、 29、 9. 1～4、 8、 9、 11、 12	古い町屋かし新し い人の波 新潟・村 上市の商店街 人形 や屏風公開	牧野 広行	"	7. 4
文化往来 「幸福」探 る美術展が問うもの		"	9. 26	「女の子」による「女 の子」アート 素朴 な実感、世界を撃つ		"	7. 31
楽住快居 部屋に絵 を飾ろう 油絵小ぶ りに版画は大胆に	牧内 岩夫	"	9. 27	「御伽草子」印刷 最 古の版木か 京都で 40枚発見		"	10. 11
文化 企業メセナに 「非資金型」台頭 社 有施設を開放 自前 の体験学習	内田 洋一	"	"	滞在型創作支援、新 たな担い手 美術館 やNPOが軸に		"	10. 16
芸術NPOの挑 戦 上、中、下		"	10. 22～ 24	Town 奈良・明日 香村 石造物群古代 ロマン誘う	(浅)	"	11. 26
老子の思想は老いず 道教の全容、本に 美術との関連研究進 む	中野 稔	"	10. 25	中国・マレー融合の 「ペラナカン」社会 シンガポール・カト ン地区 伝統文化保 存住民動く	宮内 禎一	"	11. 28
美少年十選 1～10	皆川 博子	"	10. 27～ 30、 11. 3、 4、 6、 7、 10、 11	障害がある人の芸術 活動根付く 街づく りに、子供たちの教 育に…	大和田香織	毎 日	3. 27
バーミヤン西方に寺 院跡 アフガンで龍 谷大学名誉教授ら 仏教の広がり研究に 一石		"	11. 20	林を包む白い布に 「ギョツ」 山梨の現 代美術	鈴木 賢司	"	5. 2
文化往来 最新の科 学が支える考古学研 究		"	11. 22	弥生の始まり500年 早く 九州の土器 炭素法で年代測定 歴博発表	伊藤 和史 田中 泰義	"	5. 20
西域の香りと技 古 代日本に浸透 奈良 とシルクロードの語 り部たち	岡田 保良 妹尾 達彦 菅谷 文則 中村 祥二 小泉 和子 古瀬奈津子	"	11. 24	旧石器時代「前・中 期」全遺跡が無効 藤村氏162遺跡ねつ 造 考古学協会が最 終報告	旧石器遺跡 取材班	"	5. 25
文化往来 企業メセ ナ「評価基準」の重み 増す		"	11. 28	楔形文字板無事だっ た イラク文化財盗 難、予測より少なく	木村 知勇	"	5. 29
		"		世界の目 21世紀の 「ゲルニカ」の悪夢 [イラク戦争]	クリスチャ ン・バロス 藤原 章生 訳	"	6. 28

平成15年定期刊行物所載文献(総／概論)

パーミヤン遺跡 石窟から仏典の断片		毎 日	9. 5	仏教の西方波及を実証(アフガニスタンの遺跡発見に寄せて)	樋口 隆康	"	12. 9
パーミヤン西に仏教寺院跡 8世紀以前の伝播を示すシルクロードに新ルートも	山成 孝治	"	11. 19	アンコール王朝末期に宗教改革 上智大国際調査団発掘	稲葉 康生	"	12. 27
記者の目 パーミヤン西方仏教遺跡 日本の調査に期待膨らむ	"	"	12. 12	メソポタミア文明遺跡 文化財も略奪 [イラク国立博物館]	久保 健一 読 売	"	4. 14
美術批評は弱体化したか 評論家4氏の連続講座から	三田 晴夫	毎日夕刊	3. 17	主婦らが美術NPO結成 分かりやすい解説好評 三鷹 [MAG-net]	"	"	4. 17
文化財行政の理想の姿とは 戸沢充則さんが『考古学のこころ』を刊行	伊藤 和史	"	4. 1	文化財略奪 イラク国立博物館で約15万点 散逸が心配	片岡 正人	"	4. 24
イラク博物館略奪 文明の遺産、無残 専門家も加担か	小倉 孝保	"	4. 14	編集委員が読む 展覧会の責任 「真筆」「疑問作」明示してこそ...	芥川 喜好	"	5. 11
文化財被害 湾岸戦争時、4000点流出 専門家、17日に対策会合 [イラク戦争]	和田 浩明	"	"	東京の記憶 モナ・リザ展 “なぞの微笑” 輸送大作戦	志賀 克也	"	7. 7
盛り返せるかNICAF アートフェアの可能性とは 海外からの参加画廊が減少	三田 晴夫	"	4. 25	曼荼羅復元 よみがえる空海の真理	高野山プロジェクト取材班 陳 舜臣	"	8. 15
文化戦略なく不利な日本 美術評論家峯村敏明さん	"	"	"	野外芸術展の作品公募 代官山 きょう現地説明会	"	"	9. 21
漱石も見たヴィクトリアン・ヌード 画家たちの三角関係が小説に影響?	佐藤 由紀	"	7. 18	秋を彩る街中アート作品展示やイベント相次ぐ	"	"	9. 25
注目される戦争遺跡 巨大地下壕が語るものは	伊藤 和史	"	8. 15	600万円相当の日本画→二束三文の絵にすり替え 神奈川県庁内誰も気づかず	"	"	11. 21
先端芸術とは 「もの」から「こと」へ表現を日常へ、社会へと開いて	石川 健次	"	8. 22	手帳 現代彫刻センター解散 彫刻表現は批評的位置に	前田 恭二 読売夕刊	"	1. 14
三留理男の地球を歩く バンテアイ・チュマール 荒廃と盗掘続くカンボジアの貴重な文化遺産	三留 理男	"	8. 23	海外の文化 芸術と文化の都 独・ドレスデン 地道な復興 大洪水後も	(緒)	"	1. 22
5月に盗難「彫刻のモナリザ」 6億4000万円“身代金”要求	"	"	8. 29	建築季評 レプリカ保存最善の策なのか	中川 理	"	3. 27
ねつ造発覚から3年 研究批判の書『旧石器時代の型式学』を刊行 竹岡俊樹さんに聞く	伊藤 和史	"	11. 5	イラク 遺跡の宝庫 荒廃の危機 爆風、盗掘...米軍が保護へ	大内 佐紀 樋口 郁子	"	4. 5
今週の「異議あり!」文化の極集中 河合隼雄さん テレビを見ない日でもつくらなあかん	鈴木 琢磨	"	11. 6	手帳 現代美術の市場拡大 若者たちに期待したい	高野 清見	"	4. 11
福島線の線画も偽造か 指摘の春成教授「学界、無防備」	伊藤 和史	"	11. 21	「東西美術の中の死生観」学会報告 比較の手法確立へ新展望	小佐野重利	"	5. 7
				法隆寺五重塔 「再建」確実 伐採年測定で判明	"	"	7. 16
				横浜トリエンナーレ第2回展 メーン会場先約で断念 来秋の開催困難に	前田 恭二	"	9. 5

日本美術史

連載 日本美術史見 なお誌 第12回～第 17回	瀬木 慎一	ア ー ト ト ッ プ	189～194
巻頭特集「遊び」の創 造力 “遊び” のコス モロジー 辻惟雄氏		"	190
新・旧刊案内	青木 茂	一 寸	
13 昭和十八年の 美術研究 七			13
14 昭和十八年の 美術情況研究 八			14
16 太平洋戦争下 の出版事情、その 他			16
日本浮世絵協会の変 遷	久保田一洋	浮世絵芸 術	146
1873年ウィーン万国 博覧会における日本	森 洋久	鹿島美術 財団年報 別冊	20
土器棺葬の研究史— 西日本の軌跡を対象 に—	角南聡一郎	元興寺文 化財研究 所研究報 告	2002
大正期刊行物におけ るJ.-A.-D.アング ルの紹介について	武田 信孝	関西大学 哲学	23
白虎隊を描いた絵	川延 安直	季刊博物 館だより	68
「創造美術」結成の周 辺—物語風に—	大須賀 潔	京都市立 芸術大学 芸術資料 館年報	12
特集 「近代」と「美 術」の外側		近代画説	12
〔解題〕	佐藤 道信		
古物—江戸から明 治への継承	吉田 衣里		
近代における「書」 の成立	高橋 利郎		
「アジア復興レオ ナルド・ダ・ヴィ ンチ展覧会」と戦 時下の「レオナル ド時代」	谷口 英理		
霊獣模のイメージと その居場所に関する 一考察	中神 明夏	芸術学学 報	10
特集 ワビサビなん てぶっ飛ばせ! バ ロック王国ニッポン	小野 一郎 山口 由美	芸術新潮	638
特集 橋本治がとこ とん語るニッポンの 縄文派と弥生派 第 一章 縄文的なもの と弥生的なもの	橋本 治	"	646
立ち読み「ひらがな 日本美術史」1 古代・中世篇	"	"	"
立ち読み「ひらがな 日本美術史」2 中世 篇	"	"	"

特集 橋本治がとこ
とん語るニッポンの
縄文派と弥生派 第
二章 フォーマット
が美を作る

立ち読み「ひらがな
日本美術史」3 安土
桃山篇

立ち読み「ひらがな
日本美術史」4 江戸
前期篇

特集 橋本治がとこ
とん語るニッポンの
縄文派と弥生派 第
三章 現代は縄文だ

日本におけるウィス
ラーの受容—明治期
から大正期まで—

プロレタリア美術運
動における日韓交流
について

美術批評家協会につ
いて

特集1 地平線の
夢—昭和10年代の幻
想絵画

昭和10年代の古代
憧憬

昭和戦前期の浪漫
主義的絵画につい
て

『岩倉公実記』編纂関
係書簡(3)

新聞付録「やまとひ
めとブリタニヤ」に
ついて

特集 神道と日本文
化の諸相—神道と日
本文化の関わりにつ
いての一面

芥川と谷崎の芸術
観—「小説の筋」論争
の底流—

“場”としての『スバ
ル』—翻訳・創作の
生まれる土壌—

時評/小説の彼岸—
「田楽豆腐」は何をど
んな風に書いたか

再考・「政治」と「文
学」—プロレタリア
文学における「芸術
的価値」—

特集 「熊野学」への
アプローチ

座談会 熊野学へ
の歩み

研究の手引き
「熊野」研究の軌跡
と展望

" " "

" " "

" " "

" " "

小熊佐智子 芸 叢 19

喜多恵美子 現代芸術
研究 5

大谷 省吾 " "

現代の眼 540

小林 俊介

土方 明司

上野 秀治 皇学館大
学文学部
紀要 42

菅野 洋人 郡山市立
美術館研
究紀要 3

安蘇谷正彦 国学院雑
誌 1159

田鎖 数馬 国語国文 830

須田喜代次 国語と国
文学 951

新保 邦寛 " 960

島村 輝 " "

国文学解
釈と鑑賞 869

山本 殖生、
高木 亮英、
楠本 弘児、
林 雅彦、
司会

山本 殖生

特集『江戸』の魅力—開府四〇〇年座談会「江戸」を語る	掛斐 高、長島 弘明、ロバート・キャンベル渡辺 憲司会	国文学解釈と鑑賞	871	(その十六)No. 一〇五 為人息神童挙及第設斎文			343
深川萬年橋	桑子 敏雄	国立国際美術館月報	127	(その十七)No. 一〇三 為人妻祥設斎文			344
日本・東洋美術の見方が変わる 楽しくなる 誌上チャリ・トーク		国立博物館ニュース		(その十八)No. 一一〇 七月十五日願文			345
10 大人の遠足 鎌倉編 中国の風が吹いた古都	浅見 龍介、小林 構成		658	(その十九)No. 八八 瑞応像讀并序			346
14 東京国立博物館所蔵名品展「Soul and Beauty of Japan—日本の美—」ヨーロッパで見た日本の美	島谷 弘幸、小林 構成		662	天平勝宝元年の大般若経書写について—写経作業と布施支給作業を中心に—	岩宮 隆司	" "	
[特定研究]アイヌ文化の成立過程についてⅡ アイヌ文化の形成過程をめぐる一試論—威信財もしくはikora的存在を考える—	宇田川 洋	国立歴史民俗博物館研究報告	107	従軍した画家たち—『戦時画報』における不同舎門人の活動	山田 直子	女子美術大学研究紀要	33
近代の「風俗」論再考—学説史的検討—	青木 隆浩	"	108	新春特集2002回顧と2003展望 女性の視点から 第一部特別インタビュー 長谷川智恵子さん	油井 一人、聞き手	新美術新聞	980
聖なる現代芸術の可能性	半田 滋男	採蓮 千葉市美術館研究紀要	6	新美術時評 美術(館)への「抵抗」	中村 敬治	"	981
永楽年間の日明朝貢貿易	中島 楽章	史 淵	140	現在通信from NEW YORK 日韓初期仏教美術展「ジャパン・ソサエティ・ギャラリー」	富井 玲子	"	991
回顧と展望 二〇〇二年の歴史学界		史学雑誌	112—5	新美術時評 夢見る力 反近代の視点	山脇 一夫	"	998
日本 古代八	古藤 真平			見世物はおもしろい		太 陽 (別冊)	123
日本 古代九	奥 健夫			スペクタクルと都市	橋爪 紳也		
日本 中世六 文	藤原 重雄			戦争と見世物	木下 直之		
日本 中世八 美術	加須屋 誠			明治大阪・見世物十景	樋口 保美		
日本 近世十五 古文書学・史料学	山口 和夫			鼎談 だから見世物は面白い	川添 裕、木下 橋爪 紳也		
日本 近世十八 美術	北野 良枝			伝統的着色材料の名称とその変遷 その1 古代の赤色顔料	鈴木明日香	多摩美術大学研究紀要	17
日本 近現代八 文化史1	季武 嘉也			関門美術史探索ノート	濱本 聰	潮流	
日本 近現代九 文化史2	加藤 厚子			(事始め5)「下関素人絵画展覧会」と「関西絵画展覧会」			75
日本 近現代十 美術	菊屋 吉生			(事始め6)「関門美術協会」と「鞆音会」のことなど			76
聖武天皇宸翰『雑集』所収「鏡中積霊実集」注解	東京女子大学古代史研究会	続日本紀研究		「彫塑の世界」と「絵画の世界」の概念について—遅ればせながら田中英道氏に答えて—	笠井 昌昭	同志社大学博物館学年報	35
(その十五)No. 九一 画釈迎像讀一首并序			342	祢布ヶ森遺跡出土の題籤軸	古尾谷知浩	名古屋大学文学部研究論集	146

研究報告 関野貞関 係資料	吉川 聡	奈良文化 財研究所 紀要	2003	そして絵画に至る 視覚性への侵犯、 特殊な表面の立ち 上げ—抽象の今日 性—	永草 次郎		
19世紀のバリで催さ れた二つの日本画家 新作品展	隠岐由紀子	日仏美術 学会会報	22	そして絵画に至る 風景が再構成され て「風景画」がうま れる	原 久子		
17世紀初期のフラン ス版画と南蛮絵画	坂本 満	" "	"	そして絵画に至る 「絵画」だったり、 「絵画」でなかった り	山本さつき		
松室重光「京都府古 社寺建築調査報告」 について	山崎 幹泰	日本建築 学会計画 系論文集	564	ポストモダンの彼 方「スーパーフ ラット」的視覚性 の美的可能性	松井みどり		
高山樗牛の「日本主 義」思想—日清戦後 期における「国家」と 「美学」	長尾 宗典	日本歴史	667	戦争と万博 完結編 【前編】、【後編】 も うひとつの戦争美術	榎木 野衣	"	838、 839
植民地朝鮮はどのよ うに表象されたか— 官展に入選した日本 人画家の作品をめ ぐって—	朴 美貞	美 学	213	特集 新しい身体と 彫刻の美学 Figure /Sculpture 1988— 1992再考 未来の美 術の欠片たち	"	"	840
田中日佐夫教授成城 大学退任記念シンポ ジウム 日本美術史 における「近代」	金 恵信、 小林 純子、 田中 修二、 田中 日佐 夫、 田中 恵、 千速 敏男、 富田 章、 野地耕一郎 発言者 津上 英輔 司会	美学美術 史論集	15	芸苑雑事記122 独 立美術発生期をめ ぐって	龍 悌三	美術の窓	232
日本美術史における 近代及び現代考	田中日佐夫	"	"	巻頭特集 '03風景 画セレクション 小 林忠氏に聞く 日本 の風景画の歴史	"	"	243
金尾文淵堂をめぐる 人々(三)—東京時代 の店員たち	石塚 純一	比較文化 論叢	11	郷土作家の調査から 1. 華北の美術—断 片 1930年代後半～ 1940年代前半 2. 軍需生産美術推 進隊について	平瀬 礼太	姫路市立 美術館研 究紀要	6
『仏教大辞典』と金尾 文淵堂	"	"	12	知られざる明治美術 の一面	志賀 秀孝	府中市美 術館だより	9
日本画滅亡論とはな んだったのか	野地耕一郎	美術運動 史研究会 ニュース	58	朝鮮人男性のイメ ージと日本のまなざ し—官展の入選作を めぐって—	朴 美貞	文化学年 報(同志 社大学)	52
戦争美術の内と外— その語法と文脈	河田 明久	"	59	はてな?おもしろ浮 世絵200 「見立六歌 仙」を読む	中右 瑛	目の眼	316
1930年代の画学生— 同人誌『線』の周辺	山口 泰二	"	61	日本美術院をめぐる 人びと	堀岡弥寿子	横山大観 記念館館 報	19
和辻哲郎『古寺巡 礼』—偏在する 「美」—	鈴木 廣之	美術研究	379	特集 日本文化の境 界と交通(第4セッ ション:絵画と文 字)キリスト教絵解 きと日本	原 聖	立教大学 日本学研 究所年報	2
平成十四年度支部例 会研究発表要旨 「アジア復興レオナ ルド・ダ・ヴィンチ 展覧会」と戦時下の レオナルド・ダ・ ヴィンチ流行	谷口 英理	美術史	154	「考古学」パラダイム 史序説	星野 達雄	立命館大 学考古学 論集	3
戦争と万博 もうひ とつの戦争美術 最 終回 戦争・万博・ ハルマゲドン	榎木 野衣	美術手帖	829	初期の「型式」と「様 式」の相違—山内清 男の「型式」と小林行 雄の「様式」—	矢野 健一	"	"
特集 絵画輪廻転生	"	"	832	日本美術史と「女」	池田 忍	歴史評論	634

教科書のなかの「歴史/画」—天皇の視覚表象	北原 恵	歴史評論	634	文化 モノづくり「ニッポン」江戸期に源流あり	松岡 資明	"	3. 29
戦前の女性画家の出自・家庭環境——九二〇〜三〇年代を中心に—	小勝 禮子	"	"	文化 幕末に量産力メラあった 骨董好き高じ調査、半世紀繰り上がる仮説提唱	東野 進	"	4. 10
[特集]胎動する歴史学 色		歴 博	116	美の美 やまと絵—息づく和様上、中、下	河野 孝	"	4. 20、27、5. 4
色の考古学	松本 直子			文化 埴輪の作者指紋から追う 鑑識の「神様」に協力仰ぎ、同一のものの発見	杉山 晋作	"	5. 20
色を測ることの難しさ	鈴木 卓治			美の美 走れ北斎—晩年の真実上、中、下	竹田 博志	"	6. 1、8、15
ラフカディオ・ハーンと日本美術—その2	高成 玲子	LOTUS	23	文化 建長寺再建に遠祖の苦心 300年前の震災復興、義天和尚の業績調べる	今泉 藩	"	6. 30
天野地域文化財目録	和歌山県立博物館編	和歌山県立博物館研究紀要	10	美の美 地震鮫—変幻上、下	内田 洋一	"	8. 31、9. 7
民芸運動の沖縄—「方言戦争」再考に向けてのノート—	戸邊 秀明	早稲田大学大学院文学研究科紀要	48	美の美 白隠さん上、中、下	竹田 博志	"	9. 14、21、28
尼門跡寺院の彫像・美術品など公開—米の女性研究者らが調査に10年	由里 幸子	朝 日	4. 24	文化 明治の美術理もれた系譜 洋画団体や書画、再評価進む	白木 緑	"	10. 4
古墳時代、100年早まる? 名古屋大炭素分析 濃尾平野の遺跡測定		"	6. 8	文化 社紋で読み解く日本史 10年で全国1000の神社訪ね歩き調査・研究	青地 治男	"	10. 7
「243年ぶりの縁」庶民の心つなぐ 清水寺奥の院「三面千手観音坐像」公開		"	7. 17	文化 窠跡が語る瀬戸の源流 愛知万博会場の丘陵地に眠る高級産地「狼投」	浅田 員由	"	10. 9
江戸の前期作「鳥類大図鑑」 絵師・狩野常信、小笠原のメグロを活写		朝日夕刊	6. 5	文化 織部は日本のダ・ヴィンチ 研究20年、陶芸ルネサンス先駆者の素顔に迫る	久野 治	"	10. 20
三角縁神獣鏡めぐる研究 古代の政治・文化映し出す	宮代 栄一	"	7. 2	「忠臣蔵」最古の浮世絵 討ち入り9年後1711年作品か 立命館大公開		"	12. 14
単眼複眼 太刀の意匠に竹・猫・雀 平安朝にも宋画の影響	沖 真治	"	10. 25	文化 琉球王国誕生150年以上早く? グスク発掘調査で浮上	神谷 浩司	"	12. 27
単眼複眼 裸体はいつ芸術になったか 権力との攻防を研究発表	池田洋一郎	"	11. 8	寺院展花盛り 門外不出のお宝拝見 調査中に新発見も		日経夕刊	5. 22
名作を食べる 西瓜図 葛飾北斎 スイカに“宇宙”託す	黒谷 正人	東 京	7. 27	佐賀・鍋島家の湿板カメラ 国産で最古級	平山 千里	毎 日	6. 5
TOKYO発 江戸っ子2200人の息吹[江戸名所図屏風、出光美術館]	森川 清志	"	10. 2	出土した国内最古の暦 時間支配のルーツ 国家行政の要、生活の指針	岡田 芳朗	毎日夕刊	3. 4
新江戸伝説40 上野大仏		東京夕刊	1. 28	現代アート考 平面表現の現在 VOCA展の10年が語るもの	三田 晴夫	"	3. 24
「天平の薨」実は創建当時の作 唐招提寺金堂『単体でも国宝級』		"	2. 13	ブロードキャスト 絵画が訴える戦争	荻野 祥三	"	8. 2
美の美 みちのくの仏たち1~4	宝玉 正彦	日 経	2. 2、9、16、23				

手帳「兼輔集」断簡 発見 よみがえる雅 の世界	菅原 教夫	読売夕刊	5.8
華やぐ「粋」文化 江戸から東京へ		"	10.8

海外美術史(アジア)

報告 マイノリ ティ・マジョリティ の彼岸 第1回 「ディアスポラ/ アート研究会」	黒川 典是	あいだ	87
アジア理解講座 バーミヤンの仏教遺 跡	土谷 遥子	アジアセ ンター ニュース	25
クローズアップ展示 ハンコの誕生[印章]	石田 恵子	オリエン テ	26
未知の世界 サウジ アラビアへの案内	松本 健	"	"
収蔵品紹介:ハルボ クラテス像の首飾り	宮下佐江子	"	"
収蔵品紹介:突起装 飾ガラス碗	堀 暁	"	27
彫金技術からみた西 アジアの印章と漢代 の金印	鈴木 勉	"	"
『ヒンズー教と仏教 の説話』の挿絵をめ ぐって—ベンガル派 による朦朧体受容の 一側面—	佐藤 志乃	鹿島美術 財団年報 別冊	20
モンゴル近代美術の 基礎的研究—アッ プリケ作品についての 考察—	山木 裕子	"	"
日中戦争下における 中国美術家にとって の政治と美術—歴史 資料から見た抵抗と 対日協力の諸相—	陸 偉榮	"	"
初期の朝鮮建築・古 蹟調査とその後の (文化財)保護—九 〇九年から一九一 二年の関野貞の調査成 果より—	広瀬 繁明	考古学史 研究	10
民衆が見た植民地征 服戦争・台湾—『風 俗画報』と『点石齋画 報』を中心に—	林 正子	史 苑	170
西インドの門前町、 ナートドワラーの 絵師集団—慣習的交 換関係の変容—	八幡 綾	"	171
回顧と展望 二〇〇 二年の歴史学界		史学雑誌	112—5
東アジア 中国 殷・周・春秋	小寺 敦		
東アジア 中国 戦国・秦漢	阿部 幸信		
東アジア 中国 魏晋南北朝	佐川 英治		
東アジア 中国 隋・唐	高瀬奈津子		

東アジア 中国 五代・宋・元	矢澤 知行		
東アジア 朝鮮 古代	橋本 繁		
内陸アジア—	白須 淨眞		
東南アジア	菅原 由美		
南アジア 古代・ 中世	和田 郁子		
西アジア・北アフ リカ 古代オリエン ト—	紺谷 亮一		
西アジア・北アフ リカ 古代オリエン ト二	山花 京子		
近代の朝鮮半島と日 本の美術関連年表— 朝鮮から日本への主 な留学生、主な美術 団体の結成などを中 心に—	李 美那	静岡県立 美術館紀 要	18
[特集] ボンソ・ノ・ タオ [台湾蘭嶼の 民族と文化] ヤミ 族以前の蘭嶼	米沢 容一	自然と文 化(季刊)	73
衛星写真を利用した シルクロード地域の 都市・集落・遺跡の 研究 第3章 サマ ルカンド周辺の考古 学	堀 暁	シルク ロード学 研究	17
現在通信from NEW YORK 日韓初期仏 教美術展[ジャパ ン・ソサエティー・ ギャラリー]	富井 玲子	新美術新 聞	991
退官記念講演 ヒン ドゥークシュ南北の 考古学	桑山 正進	人 文	50
見世物はおもしろい 野人の頭から、首つ りまで—なんでも見 せませ、清朝末期の 見世物	武田 雅哉	太 陽 (別冊)	123
初期西冷印社と近代 美術社团	菅野 智明	中国近現 代文化研 究	6
訳注 西冷印社記	中国近現代 文化研究会 編	"	"
報告「西冷印社百 年華誕慶典活動」参 加記	菅野 智明	"	"
冥界の道教的神格— 「急急如律令」をめ ぐって—	坂出 祥伸	東洋史研 究	62—1
漢代避諱に関する若 干の問題について	影山 輝國	東洋文化 研究所紀 要	144
ガンダーラ仏教にお ける廻向儀礼	小谷 仲男	富山大学 人文学部 紀要	38
「関妃」試論—図像を めぐる—考察	三谷 憲正	日本研究	27

朝鮮美術展創設と書画	五十嵐公一	美術史論叢	19
中国における現代美術国際展の命題と評価 中国当局と現代美術、1990年代十年間の功？罪？	栗山 明	美術手帖	831
特集 絵画輪廻転生 WORLD PAINTING REPORT ボンベイ	中尾 智路	"	832
特集 21世紀の戦争と美術 イラク戦争以後のアートを考える 北朝鮮の美術(神話)の生産、描かれつつける(戦争)	古川 美佳	"	835
雲南省藏族の輪踊りとその装飾美術—国際共同調査による雲南省奔子欄郷の春節儀礼と造形・表現のアーカイブ化に関する研究—	服部 等作	広島市立大学芸術学部紀要	8
美術史学における敦煌学百年の軌跡	百橋 明穂	仏教芸術	271
敦煌写本を求めて—日本人学者のヨーロッパ訪書行—	高田 時雄	"	"
敦煌石窟研究の回顧と展望	樊潘 錦詩 訳 亮文	"	"
敦煌莫高窟と石窟寺院における考古学的研究—往事回想—	馬 世長 齋藤 龍一 訳	"	"
ネパールの仏塔双六について	吉崎 一美	密教文化	211
モンゴルの密教美術	オフエル・シャガン 中條加奈子 訳	目の眼	317
ガンダーラ美術集大成の試み	栗田 功	"	327
特集 中国幻想奇譚 中国現代アートに現れた「中華」	牧 陽一	ユリイカ	471
青銅器鑄造遺跡における粘土の研究	神崎 勝	立命館大学考古学論集	3
TOKYO発 発掘調査に実績 国士舘大イラク古代文化研	沢田 一朗	東京	4.3
美の美 鄭道昭—もう一人の書聖1〜4	竹田 博志	日経	1.5、12、19、26
文化 中国辺境絢爛たる壁画 防備軍人の礼拝所クチャのアイ石窟を調査	山田 勝久	"	11.26
則天武后時代の仏像 30体 竜門石窟で発見		毎日	7.13

海外美術史(その他)

フランス19世紀美術事典の成立と展開	太田 瑞穂	アート・ドキュメンテーション研究	10
傷ついた美術史 第25回 模写か贋作か	小泉 晋弥	アートトップ	194
身体表現—エロスと暴力の現場として、あるいは……	萩原 弘子	あいだ	91
論文 ルネサンスの「移動遠近法」	篠塚二三男	跡見学園女子大学人文学フォーラム	1
なぜ死はかくも美しいのか—初期赤像式陶器にみる古代ギリシアの身体観—	中村 るい	五浦論叢	10
翻訳 想像力の甘美な世界—一四〇〇年代美術における多様性と観想—	カルロ・デ ル・ブラー ヴォ 甲斐 教行 訳・註解	"	"
肖像画の可能性—《モナ・リザ》、レンブラント、印象派	舟木 力英	絵	450
芸術家とアナーキズムとの関係についての考察—19世紀末から第一次世界大戦前まで—	田中ひかる	大阪教育大学紀要	52—1
『ユエゲント』を見／読する	井戸田聡一郎	学 鐘	100—4
ジローナ・ベアトウス写本の巻頭挿絵研究	宮内ふじ乃	鹿島美術財団年報別冊	20
ケルト美術史上におけるエトルリア文明の影響について—バルメット・ロータス文の変容を中心として—	望月 規史	"	"
アルフォンソ二世とサン・フリアン・デ・ロス・ブラドス聖堂壁画—アストゥリアスにおける人物像の不在—	太田 博子	"	"
20世紀ドイツ美術における〈記憶〉の表象—アートが現実を指示するアボリアについて—	香川 檀	"	"
古代肖像画におけるエンカウスティック技法と表現—フロッグ美術館の作例とプリニウス『博物誌』の検討—	中村 るい	"	"

13世紀フランスを中心とする聖書図像の伝播・交流に関する研究—『13世紀フランス語聖書』写本挿絵の展開—	駒田亜紀子	"	"	「アイコン」「イメージ」論争の歴史的意味と近代開幕期における影像と言葉—東ローマ帝国におけるイコノクラズム(Iconoclasm)の変容と17世紀イギリスにおける新しい「読み方」の展開—	香内 三郎	コミュニケーション科学	19
古代ローマの私的地下墓所における図像主題の研究—魂の同伴者ヘルメス像を中心に—	山田 順	"	"	フィレンツェ・シンポジウム報告「洋の東西の美術と思想にみられる死後の世界観」からの寄稿	小佐野重利	死生学研究	2003秋
ヒトラーとイメージ	田畑 千秋	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	47	東欧七ヶ国への旅(上)、(下) (ウクライナ・ベラルーシとバルト三国ほか)	中西 亨	史迹と美術	732、733
新古典主義の時代のイタリヤ人パトロン1	Tak	群馬の森美術館ニュース	114	メッセネのヘレニズム時代の墓廟1の新発見の彫刻遺物の解釈と年代	勝又 俊雄	女子美術大学研究紀要	33
ミニアチュールにおける鑑賞者のまなざし—『マリー・ド・ブルゴーニュの時禱書』の2枚のミニアチュールをめぐる—	櫻田しのぶ	芸術学学報	10	聖母マリアの乳—聖母図像説話群にみるマリア信仰の諸相(1)	田桐 正彦	"	"
舗床モザイクにおけるセグメントウムの用途と変容	四十九院仁子	芸術学研究(筑波大学)	7	「黙せる詩」Muta poesisをめぐる—ベッローリの美術家列伝における絵画の理想—	清瀬みさを	人文学	174
国民記念碑としてのヴァルハラ	大原まゆみ	芸術学研究(明治大学)	13	特集 バレルゴン：美術における付随的なもの		西洋美術研究	9
特集 よみがえる王たちの物語 古代マヤの扉をひらく	中村 誠一	芸術新潮	639	美術史とバレルゴン 境界と枠組みの思考	三浦 篤		
特集 ヴィクトリア朝の闘うヌード	谷田 博幸	"	642	台座考 ルネサンスから現代へ、あるいは現代からルネサンスへ	遠山 公一		
イギリスの歎び 美術でめぐる、とっておきの旅ガイド	都築 誓一	"	644	絵画におけるタイトル誕生とカタログ、そして画集18～19世紀前半のフランスを例として	島本 浣		
特集 ロシア・アイコンへの旅	鐸木 道剛	"	648	展覧会評 「諸芸術の競合 デューラーからドーミエの彫刻と絵画」展	尾関 幸	"	"
スイス現代美術の諸側面—國學院大學文学部講演会『「声」—スイス現代芸術と日本』に寄せて—	宮下 誠	国学院雑誌	1153	展覧会評 「シュルレアリスム革命」展	田中 正之	"	"
『「声」—スイス現代芸術と日本』	マルクス・シュテークマン、クラウディオ・モーザー 浅沼 敬子 翻訳	"	"	18世紀と19世紀の英訳ヨセフス—近代語訳の誕生とその背景その2—	秦 剛平	多摩美術大学研究紀要	17
グレー雑感	前川 公秀	国立国際美術館月報	125	『眼の大きな聖母』板絵の復元と14世紀までのシエナ大聖堂内陣装飾のプログラムをめぐる	小野 迪孝	東海大学紀要教養学部	33
特別展 アレクサンドロス大王と東西文明の交流展	後藤 健	国立博物館ニュース	660	『陶 瓷 Taoci』フランスの東洋陶磁学会	山崎 一雄	東洋陶磁	32

研究ノート 彩文土器に描かれた文様—エジプト先王朝期の「表現」について—	関廣 尚世	西アジア考古学	4	一八九三年シカゴ万国博覧会「女性館」—「芸術」と「女性の領域」	味岡 京子		
フランス革命における新聞記者のイメージ—記者の頭部を飾る「炎」の意味—	平 正人	日仏美術学会会報	22	一八九〇年代におけるヴェイヤールの装飾画と女性表象	牧野 理絵		
15世紀末ブリュッセルの群小画家による物語構成の手法—空間構成の類型と建築モチーフ—	平岡 洋子	"	"	『ヒュブネロトマキア』におけるエクフランスの問題	前木 由紀		
17世紀初期のフランス版画と南蛮絵画	坂本 満	"	"	十八世紀の女性の住居—絵画の資料的役割と住居と美術の関係についての考察	小柳由紀子		
1925年パリ現代装飾美術・工芸美術国際博覧会の敷地選定に関する考察	三田村哲哉 小林 克弘	日本建築学会計画系論文集	563	『ヒュブネロトマキア』における言葉とイメージ—「オペリスの神殿」部分を中心に—	前木 由紀	"	155
ルネサンス期イタリアの劇場空間に関する研究の歴史的展開と意義	赤松加寿江	"	567	第五六回全国大会研究発表要旨		"	"
1925年パリ現代装飾美術・工芸美術国際博覧会の会場計画に関する考察	三田村哲哉 小林 克弘	"	"	帝国と自由—ソドマのスペイン人礼拝堂装飾にみる皇帝礼賛と聖母崇拜—	松原 知生		
ロクス・アモエヌス(心地よき場)としてのルネサンス庭園と場所記憶術 アゴステイノー・デル・リッチョ(1541—98)の理想庭園計画にみられる記憶術的空間構成と百科全書的知の表象	桑木野幸司	"	569	『ヒュブネロトマキア』における凱旋行進のイメージ表現について	前木 由紀		
展示のカー「勝利への道」展とヘルバルト・バイヤーの展示デザインを巡って—	小林 美香 美	学	212	《メロドの祭壇画》—その成立事情に関する考察—	蜷川 順子		
美学会第五十四回全国大会発表要旨 イタリア未来派「機械芸術宣言」の諸文脈	出村 雅哉	"	215	ジローナ・ベアトウス写本巻頭挿絵の「キリスト伝」プログラム	宮内ふじ乃		
カッパドキア岩窟修道院聖堂—アーチ・アルト・キリセシの装飾プログラム—	高 晟竣	美術史	154	《ヴィンチェスター聖書》の挿絵—ロマネスク大型聖書本における物語挿絵の場面選択をめくって—	武井 美砂		
紀元前四世紀のギリシアの彫刻家たちの同時代的評価—レオカレス、スコパス、ティモテオス、プリュアクシス—	芳賀 京子	"	"	エクス・ヴォトとしての《ファン・デル・パーレの聖母》	鮫島 正安		
平成十四年度支部例会研究発表要旨		"	"	コーラ修道院聖堂エソナルテックスの「聖母マリヤ伝サイクル」	吉松 実花		
都市のシンボルとしての「聖母被昇天と聖帯の授与」—プラートにおける十三〜十四世紀の聖帯崇拜と、コムーネ政府による聖遺物の象徴化	金原由紀子			南米アンデス植民地時代美術における「メスティソ(混血)」概念の再検討	岡田 裕成		
				現代産業装飾芸術国際博覧会(Exposition internationale des arts décoratifs et industriels modernes)にみる都市・装飾芸術論	千葉真智子		

二〇世紀前半の欧米における中国古美術の評価	藤原 貞朗			ドイツ表現主義と新表現主義をつなぐ敗戦の歴史	宮下 誠		
アギイ・アナルギリ聖堂(カストリア)東壁面のプログラム—中期ビザンティン聖堂装飾プログラム論—	益田 朋幸	美術史研究	41	「抽象」の場所「パリ」とニューヨークの彼方	飛嶋 隆信		
オシオス・ルカス修道院主聖堂の聖人像プログラム	海老原梨江	"	"	ポップの系譜 ポップ・アートと軸にデュシャンと村上隆をつなぐ	平芳 幸浩		
芸術をめぐる言葉 120 ヨーロッパ美術史を通じて、画家の視点は、近視法から遠視法に変化してきた。……オルテガ	谷川 渥	美術手帖	829	インスタレーションからアーカイヴへ NowHere / NoWhere —「いま、ここ」と「どこでもない」の狭間で	鷺田めろろ		
特集 心のひみつ・アートの衝動		"	831	メキシコ壁画運動とグラフィティ・アートをつなぐアティテュード 壁に始まり、壁に戻って	中嶋 泉		
存在のすみか 宿命の衝動	榎木 野衣			未来派からメデア・アートまで 芸術と科学の同床同夢	暮沢 剛巳		
奇妙な近代主義者 アウトサイダー・アートの独創性とは?	服部 正			コンセプチュアル・アートからコミュニケーション・アートへ 言葉の交換、意識の交感	市原研太郎		
特集 絵画輪廻転生		"	832	美術と建築の越境 「作ること」「建てること」「考えること」	暮沢 剛巳		
絵画の道は尽きない! アメリカの新世代ペインターたち	藤森 愛実			ミニマリズムからインターメディアをこえて いくつものグラウンド・ゼロに架かる虹	鷹見 明彦		
WORLD PAINTING REPORT ロンドン	アンドリュース・ゲラトリ			現代芸術における身体とジェンダー愛を語るために「身体」を回復させること	保坂健二朗		
WORLD PAINTING REPORT モスクワ	鴻野わか菜			特集 〈生と死〉と美術 I 西洋美術における〈生と死〉の表象	美術フォーラム 21	8	
芸術をめぐる言葉	谷川 渥	"		「生より死こそ願わしい」ギリシア彫刻の一面	眞方 忠道		
123 MoMAイズム……フォスター			833	死と蘇生と (物神) サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ聖堂奉納像	水野 千依		
126 造形美術においてはまだまだほとんど未開拓の女のヌードが、大手をふってまかり通るという機会があった、すなわち、活人画である。……ホイジンガ			836	美術随想 「感じる」と「考えること」[中世宗教美術]	辻 佐保子	"	"
130 アール・ヌーヴォーなんてナンセンスだ。…ミューシャ			841				
特集 現代美術の教科書 現代美術の3D(立体)観測 新しい物語としての美術史のために	"	"	842				
特集 現代美術の教科書 現代美術マスターピース・リンク		"	"				
絵画と写真からビデオ・アートへ 光学テクノロジーとアートのゆくえ	中嶋 泉						

十四世紀マケドニア地方の教会堂装飾—アギオス・ニコラオス・オルファノス聖堂の事例から—	吉松 実花	フィロカリ	20	馬繁浦四坪薬師寺大般若波羅蜜多經修復考(正式名称)石川県指定文化財紙本墨書 大般若波羅蜜多經	川口 法男		
イザベッラ・デステの『ストゥディオーロ』(上)	勝 國興	文化学年報(同志社大学)	52	修理補修紙の打ち紙加工について	萩原 真人		
〈研究ノート〉「イタリアの聖セバスティアヌス像」の所蔵状況一覧	石坂 尚武	"	"	業務報告 4. 出土遺物の保存処理		一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要	2002
イタリアの教会におけるセバスティアヌス像の分布状況	"	文化史学	59	研究報告 一乗谷朝倉氏遺跡の修景について	藤原 武二	"	"
1920年代フランスにおける『エスプリ・ヌーヴォー』の位置	千葉真智子	待兼山論叢	37	研究報告 一乗谷朝倉氏遺跡出土漆器の科学分析	四柳 嘉章	"	"
ウィロー・バターの発生と推移 器の絵となり語り継がれた悲恋物語	青木 本吉	目の眼	318	研究報告 伊能忠敬記念館館内環境調査の結果について	青木 司	伊能忠敬記念館年報	4
西アフリカの黄金芸術「知られざる西アフリカの美術」展をとおして	ガーデナ香子	目の眼	320	保存修復 1 県内遺跡出土遺物		大分県立歴史博物館年報	2002年度
			471、472、474、475、478～482、484、485	保存修復 2 遺構の取り上げと土層の剥ぎ取り		"	"
魔術的跛者10～19、最終回	種村 季弘	ユリイカ		保存修復 3 その他		"	"
ワールド・カルチュア・マップ フランス カタストロフの詩学? ボール・ヴィリリオ『起こっていること』	彦江 智弘	"	472	英国のコンサベーション2—英国の修復技術—	大湾ゆかり	沖縄県公文書館研究紀要	5
ワールド・カルチュア・マップ ロシア 現代ロシア美術の失われた環 アレフィエフ・サークル	鈴木 正美	"	474	平成八～十年度 修復文化財関係銘文集		学叢(京都国立博物館)	25
ドイツにおけるナチ美術の現在	大原まゆみ	歴史評論	634	川崎市市民ミュージアム所蔵の五鈴鏡の自然科学的研究	平尾 良光 榎本 淳子	川崎市市民ミュージアム紀要	15
美の美 ビザンチン 残照—ルーマニアの宗教画1～4	浜部 貴司	日 経	12. 7、14、21、28	発掘された江戸時代の焼損文書—「明石町遺跡」出土炭化紙資料の保存処理—	金山 正子	元興寺文化財研究所研究報告	2002
「マティス・ピカソ」展 英米仏3美術館で互いに意識 時に挑発	田中 正之	読売夕刊	4. 2	台湾における寺廟建造物彩絵の保存修復研究(1)	山内 章	"	"
保 存 修 復				ポリエチレングリコールの低分子化	米村 祥央	"	"
名古屋城本丸御殿障壁画復元模写について	秦 誠	愛知県立芸術大学紀要	32	保存処理後遺物の経年調査	伊藤 健司	"	"
活動記録 石川県文化財保存修復工房		石川県立美術館紀要	13	カラーシンチレータシステムX線透過装置の文化財への応用(1)—江戸時代末期から明治時代の奉納絵馬に使われた絵具について—	菅井 裕子	"	"
石川県文化財保存修復工房のあゆみ	宮 衛			薬剤含浸処理した出土木製品の接着の力学的研究—各種保存処理法と接着剤の適合性—	川本 耕三	"	"

近代絵図面類の素材分析と保存に関する研究	金山 正子	"	"	美術館における修復保存部門の役割と問題	河口 公夫	国立西洋美術館研究紀要	7
古代製鉄遺跡における作業形態の実態把握—加速器質量分析法による ¹⁴ C年代測定を利用して—	山田 哲也	"	"	保存修復に関わる活動報告	塚田 全彦	国立西洋美術館年報	36
文書修復に求められる紙の強度—文化財としての強度基準の構築を目指して—	村田 忠繁	"	"	CD-ROMを保存科学に応用する可能性「繊維製品の保存マニュアル」を作成して	園田 直子	国立民族学博物館調査報告	35
有機高分子で構成された文化財の熱的挙動について	植田 直見	"	"	文化財の除錆技術マルチメディアを利用した保存修復技術のための教科書作成の試み	森田 恒之	"	"
台湾における道教寺廟建造物装飾彩色の技法画材調査と保存修復方法に関する研究—台南市の興濟宮と王氏宗祠の装飾彩色を研究対象として—	山内 章	"	"	合成素材と博物館資料 序文	園田 直子	"	36
出土漆製品の保存処理における漆膜の挙動について	植田 直見	"	"	ものを形づくる材料としての合成素材 合成樹脂小史 文化財保存に利用されるものを中心に	森田 恒之	"	"
出土木製品の使用樹種に関する基礎的調査—近畿地方を中心に—	木沢 直子	"	"	ものを保存・修復する材料としての合成素材		"	"
PEGの低分子化による酸性物質の発生量に関する研究	米村 祥央	"	"	回顧：日本における文化財修理への合成樹脂利用のはじまり	樋口 清治		
近世彩色資料における彩色材料の調査—可視光反射スペクトルデータの蓄積—	菅井 裕子	"	"	装演における合成樹脂	岡 岩太郎		
大宰府史跡出土青銅製遺物の自然科学的調査—大楠地区出土銅鏡の構造と材質について—	加藤 和歳	九州歴史資料館研究論集	28	文化財建造物の修復に用いられた合成樹脂	川野邊 渉		
慶應義塾所蔵作品調査・保存活動		慶應義塾大学アート・センター年報	10	合成素材を用いた保存修復の現状西洋画と現代美術	伊藤 由美		
岸駒筆「蚕食婦人図」の保存修復とその歴史的考察	馬場 秀雄	芸術学学報	10	民俗(族)文化財の保存に使用されている合成樹脂	伊達 仁美		
ART NEWS 絵葉書から1000倍に“デジタル再生” 河鍋曉斎の龍、戸隠山に再臨す		芸術新潮	642	合成素材の使用 文化財の修復と保存の社会的意味 合成素材の使用をめぐる	荻野 昌弘	"	"
遺跡漫遊第11回 桜町縄文建築部材の年代 AMS法による再検証	伊藤 隆三	建築雑誌	1509	合成素材の分析		"	"
地域の眼43 岡山古民家再生工房の活動から	萩原 嘉郎	"	1510	博物館資料を対象にしたときの合成素材の分析法 フーリエ変換赤外分光分析(FIR)と熱分解ガスクロマトグラフィー(PyGC)の可能性	園田 直子 柘植 新		
〈修復トピックス〉桃山時代、二つの唐門	森田 卓郎	建築史学	40	新旧“パラロイド Paraloid B-72”の比較分析	"		
幸運にも修復中—トランス・バリアなメムリンクの修復—	蜷川 順子	国立国際美術館月報	129	[特定研究]アイヌ文化の成立過程について2		国立歴史民俗博物館研究報告	107
				北海道内出土古代～近世の鉄製品の非破壊調査	永嶋 正春		

北海道出土鉄製刀剣類の自然科学的分析結果	齋藤 高塚 努 秀治			染色用型地紙の品質に関する研究—江戸小紋、長板中形について—	水上嘉代子	"	"	
高精度年代測定による総合的歴史研究—現状と課題—	今村 峯雄	国立歴史民俗博物館研究報告	108	記録史料保存のための生物被害対策と総合的害虫管理—史料館地下収蔵施設の対策事例を中心に—	青木 睦 木川 りか、 山野 勝次 共同執筆	史料館研究紀要	34	
鉛同位体比産地推定法とデータの解釈について	齋藤 努	"	"	高橋由一作《琴平山遠望》の修復を終えて	宮崎 安章	絲綢之路(シルクロード)	41	
19世紀の輸出漆器における螺鈿技法の分析	日高 薫 小瀬 戸恵美	"	"	海のシルクロードからみたベトナム中部・南部の考古学的研究		シルクロード学	15	
百舌鳥大塚山古墳出土繊維着短甲について	玉城 一枝	堺市博物館報	22	海のシルクロードと東西文化交流	櫻井 清彦			
史跡観音寺城跡 源三谷試掘調査の成果と今後の課題	仲川 靖	滋賀県安土城郭調査研究所研究紀要	9	I 部 調査記録篇 第1章 ベトナム調査の経緯と概要	菊池 誠一			
民具の科学的保存処理の研究—本部の脱塩研究を中心に—	橋本 俊範	滋賀県文化財保護協会紀要	16	II 部 遺跡探査篇 第1章 ディエンバン・タインチェム遺跡の探査結果	西村 康			
〈修理報告〉平成13年度館蔵資料保存修理事業報告	古川 史隆	滋賀県立安土城考古博物館紀要	11	II 部 遺跡探査篇 第3章 ホイアン市内の遺跡探査結果	"			
〈模写報告〉寂室元光像模写事業報告	"	"	"	III 部 自然科学的研究篇 第1章 ベトナム陶器・土器の自然科学的研究	阿部百里子 藤波 朋子 大沢 眞澄			
修理報告		滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	19	拓本の保存	富谷 至	人文	50	
財団法人日本ナショナルトラストからのメッセージ 昭和初期名邸の保存を喜ぶ	竹之下久義	自然と文化(季刊)	71	書論の広場 投稿 飛雲紙の年代測定—「藤原行成筆 佚名本朝佳句切」の飛雲紙について—	池田 和臣	墨	161	
高橋由一作品 試料片調査結果	宮田 順一	修復研究所報告	16	古文書の年代測定の実際	小田 寛貴	"	164	
白河ハリストス正教会蔵 作者不詳「授洗者イオアン」修復報告	田中智恵子	"	"	シンポジウム《黒耀石と人類史》 黒耀石原産地遺跡群の保存と活用—長門町鷹山遺跡群の取り組み—	大竹 幸恵	駿台史学	117	
「授洗者イオアン」試料片調査報告	宮田 順一	"	"	井向1号銅鐸の保存処理とこれに伴う調査	矢野 健一	辰馬考古資料館考古研究紀要	5	
町田市立国際版画美術館蔵 作者不詳「吉祥婦人像」修復報告	山中 和人	"	"	井向1号銅鐸の鉛同位体比	平尾 良光 鈴木 浩子	"	"	
正倉の温湿度環境調査(2)—正倉各倉間での比較および聖語蔵との比較—	成瀬 正和	正倉院紀要	25	辰馬考古資料館が所蔵する銅鐸の鉛同位体比	平尾 良光 早川 泰弘 鈴木 浩子	"	"	
年次報告	成瀬 正和 西川 明彦 三宅 久雄 飯田 剛彦 杉本 一充 尾形 陽子	"	"	資料紹介・研究ノート 2. 津山城今昔⑦—津山城跡の保存整備と桜の植樹—	行田 裕美	津山弥生の里	10	
江戸型山車飾幕の修復—『那古祭礼寺赤組飾幕』にみる刺繍技法—	岡田 宣世	女子美術大学研究紀要	33					

東京美術学校西洋画 科卒業制作作品・自画 像の技法材料・保存 修復に関する基礎的 研究1	佐藤 一郎 木島 隆博 大西 由美 伊藤 郁夫 渡辺 三稔	東京芸術 大学美術 学部紀要	39	岡山県鴨方町の町屋 公園内にある旧高戸 家住宅の土壁の色彩	廣川 美子 石田 志朗 寺田 博一 阪口 明弘 宇高 忠	日本建築 学会計画 系論文集	563
出土黒漆塗鯨皮鞘の 保存学的研究	辻 賢三 鈴木 稔 関根 理恵	"	40	伝統的居住環境に対 する住民の選好～高 山市三町地区を事例 として～	公文 曉明 山本 義之 河東 之	"	565
「洛中洛外図屏風(東 博模本)」復元模写制 作	村岡 ゆかり	東京大学 史料編纂 所研究紀 要	13	中国における歴史文 化名城の類型化と保 存課題に関する基礎 的考察—中小規模の 歴史文化名城を対象 として—	陰 劬 鳴 邦 海 硯 澤 昌 木 典	"	"
「カンヴァス画の保 存修復におけるTear — Repair — Tech nique」公開講演会と ワークショップの開 催報告	松田 泰典 眞鍋 千絵 佐々木直子	東北芸術 工科大学 紀要	10	満州国における熱河 古蹟の調査保存事業 日本植民地における 歴史的建造物の調査 保存と異文化理解	田中 禎彦	"	569
パンリアル美術協会 初期作品群技法材料 研究	眞鍋 千絵 松田 泰典	"	"	英国における歴史的 建造物の「古び(古び たものの美)」認識過 程	額原 澄子	"	571
ベイスギ揮発成分と その文化財材質への 影響	及川 規	東北歴史 博物館研 究紀要	4	2001年度の日本考古 学界 (1) 日本考古 学研究の動向 (2) 学際領域研究—自然 科学的手法による考 古学研究—	樋泉 岳二	日本考古 学年報	54
学芸員ノート 古代 アンデス染織におけ る赤色染料の同定	井上 則子	遠山記念 館だより	24	キトラ古墳保存研究 の最前線	沢田 正昭	日本文化 財科学会 会報	45
研究報告 縄文土器 の突起周辺のX線透 過観察—長野県更埴 市屋代遺跡群の研究 その3—	水沢 教子	長野県立 歴史館研 究紀要	9	近江の中世城館遺跡 調査の現状と課題	中井 均	人間文化	14
研究報告		奈良文化 財研究所 紀要	2003	随筆 ふくげん・復 元・復原	平井 聖	博物館研 究	416
壬申乱の武人	石橋 茂登			コレクション道 蒐 集こそ我が人生 コ レクション保存法・ プロの技! 酸性 化、カビ、シミー版 画の天敵予防マニ ュアル	秋 田	版画芸術	121
平城宮第一次大極 殿の復原設計	清水 真一 清水 重敦 金子 隆之			古代史情報	片岡 正人	東アジア の古代文 化	114, 115, 116
平城宮第一次大極 殿院地形と回廊基 壇の復原	山本 紀子 金井 健 中島 義晴 平澤 麻衣子 長尾 充			特集2 弥生時代の 年代測定をめぐる		"	116
平城宮第一次大極 殿院楼閣の復原設 計	金子 隆之 清水 真一 清水 重敦			AMS法による14 C年代と弥生時代 の考古年代	大塚 初重		
宮内庁所蔵金銅製 四環壺の調査	西口 壽生 村上 隆 大熊 敏之			弥生時代開始年代 測定への提言	小田 富士雄		
歴史的町並みと現 代の造形—高山市 伝統的建造物群保 存対策調査から—	清水 重敦			弥生時代像は転換 するか	松木 武彦		
年輪年代法による 興福寺一切経経箱 の調査—	光谷 拓実 綾村 宏			特集2 弥生時代を どうみるか 弥生時 代の実年代を考古学 的に考える	宮本 一夫	"	117
金製垂飾付耳飾の 製作技術に関する 新しい知見	村上 隆						
インスタントシー トフィルムのX線 ラジオグラフィー への応用	村上 隆 井上 直夫						

第五回全国大会シンポジウム『美術と修復』		美術史	155	史跡吉川氏城館跡「中世社会の再現」をめざして	佐々木直彦		483
「洗浄」という難問—ピーテル・ハウル・リュベンス《十字架建立》—	森 直義			煉瓦建造物の再生によるまちづくり	矢谷 明也	" "	
絵画の洗浄をめぐる	岡田 温司			基調講演 日本の技術がどう活かされているか	三輪 嘉六	文化財の保存と修復	5
彫刻修理と日本彫刻史研究	根立 研介			特別講演：日本に期待されるもの 世界の文化遺産の保護	吉村 作治	" "	
東洋絵画の修復の現状について	岡 泰央			和紙と刷毛による貢献 世界に広がる装潢技術による修復技法	増田 勝彦	" "	
染織品の修復—小袖直しの打敷を例に—	河上 繁樹			インドネシアの木造建造物保護をめぐる 日本とインドネシアの保存技術を活かす	大和 智	" "	
特別寄稿 美術史研究者のための保存環境学講座 その(2)	三浦 定俊	美術史論集	3	なぜ日本が石造建造物の修復か アンコール遺跡の保存修復	中川 武	" "	
貴船神社製塩遺跡の調査と保存整備	渡辺 昇	兵庫県埋蔵文化財研究紀要	3	シルクロードに眠る都をよみがえらせる 交河故城の保存修復	矢野 和之	" "	
20世紀における篠山盆地の考古史学	池田 正男	"	"	地域に根づく技術の開発と応用 ガンダーラ仏教寺院遺跡の保存	西浦 忠輝	" "	
蛍光X線分析による南蛮人蒔絵鞍の材質調査	早川 泰弘	福井市立郷土歴史博物館研究紀要	11	うつぶせの石像を起こす イースター島モアイ像の保存修復	沢田 正昭	" "	
(付記) 南蛮人蒔絵鞍の復元制作について	志賀 太郎	"	"	パネルディスカッション 世界の文化遺産の保存に日本の技術がどう活かすべきか	三輪 嘉六 コーディネーター	" "	
市町村合併と公文書の保存～福島県の事例～	饒田 克史	福島県歴史資料館研究紀要	25	[報文] 油画作品のメディウム判定に用いられる染色法の分光学的検討	高橋 弘美 北田 眞介 歌田	文化財保存修復学会誌	47
額装について	石井 亨	ブリヂストン美術館・石橋美術館館報	51	[報文] 製造条件による古糊の物性の差異について	早川 典子 川野邊 渉	" "	
旧岩崎家住宅洋館の装飾金物と金唐革紙の復原について	宮谷 慶一	文化財(月刊)	476	[報文] 赤色天然染料のHPLCによるキャラクタリゼーション(Ⅱ)—紅花、蘇芳と2つの染色文化財の赤色染料—	小嶋真理子 齊藤 昌子	" "	
特集 秘められていたモノとワザ—保存修理から得た新知見—		"	"	[短報] 史跡・志波城趾築地塀の凍結劣化に関する研究	石崎 武志 武田 登尾	" "	
美術工芸品の保存修理から	文化庁美術学芸課			[短報] 版画制作時における版画用紙の防カビ法の検討	間瀬 勝 勝亦 野田 中林 稲葉	創京子哲也忠良雅満	" "
文化財建造物の保存修理から	文化庁建造物課			[短報] FT—IR法を用いた木質保存箱の劣化解析	神庭 信幸 武井 利之	" "	
唐招提寺金堂解体修理調査から	田中 泉	"	"	[資料] FT—IR法を用いた和紙の非破壊測定	武井 利之 神庭 信幸	" "	
東京駅丸ノ内本屋の保存と復原	北澤 章	"	478				
旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)の沿革とその保存	小野田 滋	"	"				
隔月連載 史跡等の整備と活用		"					
特別史跡西都原古墳群 自然と歴史的景観を活かした古墳の博物館	東 憲章		479				
史跡長者ヶ原遺跡「翡翠のふるさと」の整備と活用	木島 勉		481				

〔資料〕博物館・美術館・図書館等におけるIPM—その基本理念および導入手順について—	木川長屋津菜津子 園田日高真吾 Tom Strang	りか直子 真吾	"	"	親水性樹脂を用いた凍結劣化抑制の試み	早川森井 朽津	典子 順之 信明	"	"
〔資料〕各種燻蒸剤・殺虫剤・防虫剤・殺菌剤・防黴剤等の人体への影響一覽	間瀬木川 佐野	創りか 千絵	"	"	文化庁委託事業「臭化メチル製剤の使用実態調査」報告	佐野木川 山野三浦	千絵 りか 勝次 定俊	"	"
重要文化財本願寺大師堂「御影堂」の歴史と修理工事について	菅澤 茂	文化財レポート	11		展示公開施設の館内環境調査報告—平成13年度—	石崎佐野 三浦	武志 千絵 定俊	"	"
行永家住宅保存修理について	塚原十三雄	"	"		平成14年度 修復処置概報	修復技術部	"	"	
北中条遺跡(石川県津幡町)出土木製品の保存	中村 晋也	文化財論考	3		伊賀国府跡(第6次)調査	竹内 英昭	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	13	
剥片剥離におけるハンマーの選択	山崎 芳春	法政考古学	29		宮崎県内遺跡出土の館蔵赤色顔料の科学分析結果から一遺跡における赤色顔料使用の一例—	近藤 協	宮崎県総合博物館研究紀要	24	
埼玉稲荷山古墳出土金錯銘鉄剣の金象嵌銘文の蛍光X線分析	早川三浦 大森青木 今泉	泰弘定俊 信宏繁夫 泰之	保存科学	42	法隆寺献納宝物 葡萄唐草文錦褥—平成十二年度の修理を終えて—	沢田むつ代	MUSE-UM	582	
白杵磨崖仏で観察される彩色表現について(2)—屋外彩色文化財の現地分析法の展開—	朽津 信明	"	"		文化財と保存科学	門倉 武夫	MUSE-UM STUDY	14	
鎌倉のやぐらで観察される装飾材料について	"	"	"		国立民族学博物館における知的財産の確立と保全の研究 研究開発の事例報告：加温空気による大型民族学資料の殺虫処理	園田 直子	ミュージアム・データ	60	
エミシオグラフィ撮影用代替フィルムとしてのRO-100の特性	三浦松島	定俊朝秀	"	"	文化遺産セミナーレポート アジアの文化遺産保護に賭ける		ユネスコアジア文化センター文化遺産ニュース	9	
川越市山車収蔵施設の環境調査	石崎孫	武志喜山	"	"	オピニオン		"	"	
アリルからし油による顔料の変色とその機構	佐野早川 三浦	千絵泰弘 定俊	"	"	文化遺産のパーミヤーンを今後どうするか	樋口 隆康			
文化財収蔵庫用建築材として使用される国産杉材の試験法に関する検討	佐野日下 三輪三浦	千絵光彦 嘉六定俊	"	"	アッシュール遺跡とイラクの世界遺産	岡田 保良			
簡易型窒素発生装置と脱酸素剤の併用による中規模の低酸素濃度殺虫処理	木川宮澤 三浦	りか淑子 定俊	"	"	直接打撃と押圧剥離—石器製作における微細剥片の解釈—	長井 謙治	立命館大学考古学論集	3	
二酸化炭素殺虫処理における種々の文化財材質の二酸化炭素吸着量	木川後出 木村宮澤 三浦トム ・スラング	りか秀聡 広淑子 定俊 スト	"	"	2つ眼の野外科学—地理学と考古学によるステレオグラフ—	中塚 良	"	"	
図書資料のカビ対策：三康図書館の事例	佐野志多 伯藤井 早川能見 木三浦	千絵峰子 一博帆 真仁勝利 りか定俊	"	"	土器の物理的特性と用途	西田 泰民	"	"	
			"	"	「刷毛目」調整と工具の基礎的研究I—「刷毛目」研究の課題と「刷毛目」の役割—	木立 雅朗	"	"	
			"	"	海洋遺跡出土鉄製遺物の腐食状況とその成因についての検討	松井 敏也	歴史遺産研究	1	

文化遺産を科学する—文化財研究から文化遺産学へ—	石澤 良昭	歴史評論	633	消えゆく園舎模型に杉並・天沼日の丸幼稚園 現存唯一の「梅鉢型」建物		産 経	4.5
遺跡の環境整備と歴史認識	内田 和伸	"	"	高松塚古墳壁面にカビ、ムカデ 文化庁国宝保存へ緊急調査		東 京	3.13
《小特集 災害と歴史資料—資料ネットの経験から》被災資料救出活動の新展開—歴史資料ネットワークの改組と各地でのとりくみ—	佐賀 朝	"	"	高松塚壁面に黒カビ迫る 文化庁緊急保存対策へ		"	4.25
各地域ネットのとりくみから		"	"	熱気球[唐招提寺金堂盧舎那仏坐像]		"	6.27
歴史資料ネットワークの活動の展開と課題	藤田 明良			190年ぶり73色の復元 祇園祭の重文装飾品		"	9.2
山陰史料ネットの活動について	小林 准士			兵馬俑の“治療” 抗真菌薬が活躍	東京夕刊	4.21	
愛媛資料ネットの活動と今後の課題	寺内 浩			ライトアップ[大崎八幡宮(仙台)の修復現場公開]		"	7.31
発言—災害と歴史資料によせて	保坂 裕興			高松塚古墳壁面のカビ 文化財保存に抜本策を 背景に地球温暖化など環境の急変	板垣 忠雄	"	9.3
【科学運動通信】緊迫！高速道路計画から世界遺産・平城宮(京)を守る運動	小井 修一	"	642	パーミヤン遺跡日本が地下探査 涅槃仏、王城…大発見なるか 文化財研究所『地域振興にもつながる』		"	9.8~10
[特集]胎動する歴史学 実年代 弥生時代よどこへゆく AMS- ¹⁴ C法と弥生開始期の暦年代	今村 峯雄	歴 博	120	パーミヤン遺跡を後世に 上、中、下主要窟担当日本隊 散乱壁画片を収集	前田 耕作	"	1.25
修理報告 大和天神山古墳出土鉄製品の保存修理	尾崎 誠 井口 喜晴	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要	5	考古学に新風 遺跡有効活用検討 DNA 進化の謎探る	日 経	"	2.7
重要文化財 旧中筋家住宅主屋ほか5棟保存修理の設計監理	寺本 就一	和歌山県文化財センター年報	2002	文化往来 専門領域超え遺跡の保存・活用を検討		"	3.13
重要文化財 粉河寺大門保存修理の設計監理	鈴木 徳子	"	"	高松塚古墳 壁面に黒カビ		"	4.4
重要文化財 粉河寺本堂及び千手堂保存修理の設計監理	"	"	"	文化往来 カンボジア遺跡保存、人材育成が急務		"	4.23
重要文化財 熊野那智大社第一殿他7棟保存修理の設計監理	多井 忠嗣	"	"	狩野派ふすま絵修復作業終わる 京都の実相院		"	5.11
県指定文化財 荒田神社本殿保存修理の設計監理	鈴木 徳子	"	"	大崎八幡宮・西本願寺… 解体修理の文化財一般公開が相次ぐ		"	"
史跡和歌山城 御橋廊下復元設計	鳴海 祥博	"	"	東大寺恒例の「お身ぬぐい」 大気汚染による腐食防止に効果 奈良大教授「ほこり」分析		"	5.22
丸棧瓦の調査中間報告—和歌山県西北部に分布する特殊な棧瓦—	御船 達雄	"	"	平等院の阿弥陀仏50年ぶりお色直し		"	5.26
楼蘭壁画 幻の王国 彩り鮮やか 盗掘きっかけに発見		朝 日	3.3	月曜レポート カビ退治 切り札なく 高松塚古墳の壁画むしばむ		"	

東北の地震 国宝や 史跡被害19件 瑞巖 寺本堂など	"	5.30	高松塚古墳「緊急に 防水シートを」 黒 カビ発生で文化庁検 討会 本格的修復も 提言	阿部 浩之 中本 泰代	"	6.20
法隆寺「再建」裏付け 年輪年代測定で判明 奈文研	"	7.16	北区・ふるさと農家 体験館事業 区民主 導で賛否の議論を [旧松澤家住宅]	重長 聡	"	"
文化 釈迦の生誕地 復興の産声 ネパー ルの遺跡整備を支え 30年余り、生母の堂 再建	菊池 法純	"	8.20	宇治平等院壁画 8 世紀ぶり復元彙報	梅崎 亮	毎日夕刊 5.31
匠とハイテクで遺跡 保存 分析は先端機 器 職人の技で修復	"	9.7	戦災焼失の大和絵復 元 文京・根津神社 にきょう奉納		読 売	9.21
文化 幻の三十六歌 仙絵復元 最高傑作 「佐竹本」の美の世界 に迫る	太田 耕嗣	"	10.24	繊維つなぎ、色を補 う 絵画修復家・岩 井希久子さん[メト ロポリタン美術館 展]	安江 邦彦	読売夕刊 2.7
伊能地図を修復・保 存へ 日本写真印刷 (京都市)	"	11.19				
梵鐘の鋳型内側部分 復元 滋賀の遺跡で 出土	"	12.19				
鎌倉時代の絵巻物 「春日権現験記絵」 15年かけ保存修理	"	12.31				
古代文明メソポタミ ア 戦火、遺跡損壊 の恐れ 日本の研究 者訴え修復作業も中 断	日経夕刊	3.29				
琥珀の輝き半世紀ぶ り エカテリーナ宮 殿修復終わる	"	5.14				
高松塚古墳カビ問題 シートで覆い応急措 置 検討会が対策 除去方法は先送り	"	6.19				
女と時間と日本経済 千年持続 資源残す 心生活の中に[文化 財修復会社「さわの 道玄」]	山田 康昭 塩田 信義 名波 彰人 原川 裕司 羽田 洋子 神谷 浩平 堀江 耕平 畑中 麻里 長岡 幸一 船越 純一	"	7.9			
バーミヤンの大仏立 像「再現」 3D技術 を駆使大きな10分 の1 スイスの大学教 授、寄贈へ	"	11.14				
古都の宝進まぬ保存 ラオス政府、資金難 世界遺産ルアンブラ バン王宮博物館の収 蔵 5 万点	竹之内 満	毎 日	2.1			
イラクの遺跡群危機 長年の戦禍、盗掘、 経済制裁… 日本人 研究者「歴史消すな」	石原 聖	"	2.11			
ひと 城壁を修復す る石材会社社長 小 林善勝さん	田中 公明	"	5.9			
情報処理						
京都映像文化デジタ ル・アーカイブ「マ キノ・プロジェクト」 のアーカイヴィ ング	富田 美香	アート・ ドキュメ ンテー ション研 究	10			
日本民俗建築学会 データベースの確立	杉本 文司	"	"			
国際博物館会議国際 ドキュメンテーショ ン委員会の概念参照 モデルCRMについ て：その概要と評価	田窪 直規	"	"			
「博物館資料情報の ための国際指針」に ついて：図書館資料 と文書館資料の国際 記述標準との関係で	"	"	"			
アート・ドキュメン テーション研究会第 17回講演会報告 市 民社会とアート・ド キュメンテーション 活動 第二部 座談 会	岩淵 潤子、 波多野 宏 之、 深川 雅文 談 中村 節子 司会	"	"			

アート・ドキュメン テーション関連文献 目録(2001)	JADS文 献 情報委員会 編	アート・ ドキュメ ンテー ション研 究	10	「民俗研究映像」の現 状と課題	内田 順子	" "	
特集・美術参考図書 の展開 美術館の歴史を 一冊の参考図書 とする	水谷 長志	アート・ ドキュメ ンテー ション通 信	56	〈図版解説〉鴨都波1 号墳出土帛復元研究	押元 信幸	古代文化	536
特集・美術情報と著 作権		"	59	國華DVD版の画像 撮影について	晶堀 操八	国華清和 会会報	1
美術作品のデータ ベース化と著作権 との関係について	南 亮一			埋蔵文化財情報管理 システムの概要と情 報公開	高見 憲次	縄文の森 から	1
デジタル情報時代 の著作権を考える：著作権決済の システムを巡って	細井 五			衛星写真を利用した シルクロード地域の 都市・集落・遺跡の 研究		"	17
報告 美術作品と 著作権処理：川崎 市市民ミュージア ムの事例	濱崎 好治			第1章 衛星写真 で見るシルクロ ードの古代都市	小方 登		
美術品管理の現場 における実務的情 報の共有化と活用 に関する提言	柳井 康弘			第2章 ウズベキ スタンの都城遺跡 を探る—Corona 衛星利用の試み—	出田 和久		
建築史研究のための データベース	大田 省一	明日の東 洋学	9	第4章 Corona 衛星写真から判読 される米蘭遺跡 群・若羌南遺跡群 —楼蘭王国の国都 問題との関連を含 めて—	相馬 秀廣 高田 将志		
『甲骨文編』における 検索上の障害につ いて	鈴木 敦	五浦論叢	10	第5章 タリム盆 地・トルファン盆 地における石窟寺 院の分布を規定す る要因	相馬 秀廣 渡辺三津子 田安 順恵		
浮世絵研究とWEB 環境—2003年現在—	赤間 亮	浮世絵芸 術	146	PARIS発 バーチャ ル展覧会の試み[フ ランス国立図書館な ど]	安部 雅延	新美術新 聞	1002
DIS (Digital Image System) とミュージ アムへの応用	神内 俊郎	Ourobor- os	20	資料の保存と修復— アーカイブの重要性 と活用—	坂本 勇	千葉県 の文書館	8
琉球政府文書のマイ クロ化について	吉嶺 昭	沖縄県公 文書館研 究紀要	5	文化財情報処理シ ステムのデータコー ドについて(2)	大野 康男	千葉県文 化財セン ター研究 連絡誌	64
いま、東北学はアジ アをめざす	赤坂 憲雄	学 鑑	100—2	キネティックエンジ ンを利用した画像投 影システムの開発研 究	上北 恭史 合原 勝之 藤井 章博 高橋 淳也	筑波大学 芸術年報	2002
資料紹介 日本建築 学会所蔵の伊東忠太 資料について	橋寺 知子	関西大学 東西学術 研究所紀 要	36	フェナキスチスコ ープ作成ソフトの制 作—過去の映像装置 についてのデジタル 教材化	松村 泰三	東北芸術 工科大学 紀要	10
土方巽アーカイヴ 瀧口修造アーカイヴ ノグチ・ルーム・ アーカイヴ ヨー ロッパ博物誌アー カイヴ		慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	10	特集3 デジタルし てる？ミュージアム デジタルアーカイブ の現在		ド ー ム	66
『バリのアート・ラ イブラリー』の試み	波多野宏之	国立民族 学博物館 調査報告	35	研究報告 遺跡情報 と遺跡データベー ス	森本 晋	奈良文化 財研究所 紀要	2003
合成素材の保存に関 するデータベースの 開発 合成素材保存 のためのデータベー ス	山本 泰則	"	36	センター通信 GIS 考古学と学際研究	宇野 隆夫	日 文 研	30
歴史研究に関する情 報提供方法の検討	安達 文夫 鈴木 卓治 宮田 公佳	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	108	序論・映像のデジタル アーカイブは可能 か	八木 信忠	日本大学 芸術学部 紀要	37

〈報告と展望〉高野山におけるデジタルアーカイブ—高野山大学での取り組みを中心に—	藤吉 圭二	密教文化	210
資料のデジタル化について	林 華子	民具マンスリー	422
民俗資料の映像化とデジタル・アーカイブの課題—豊北町歴史民俗資料館民俗資料映像データ・ベースの事例を通して—	吉留 徹	"	428
「博物館」所蔵民具の調査・整理と公開・情報発信にむけて—松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館の実践記録—	松下 師一	"	429
報告 文書館館蔵品情報発信事業について	伊藤 南方	一晴長 山口県文書館研究紀要	30
歴史への招待状 特別企画「歴史を探索サイエンス」	齊藤 努	歴 博	120
大英博物館の至宝展HPで世界一周1万年		朝 日	6. 4
崩れず、色あせず文化財デジタル保存	岩切 勉	朝日夕刊	8. 23
全国の博物館・美術館100万点オンライン化 総務省／文化庁 著名な収蔵品自宅で“独占”		産 経	4. 19
所蔵品をデジタル映像化 凸版印刷とウフィーツイ美術館		東 京	4. 22
ビデオで秘宝復活 破壊前のカプセル博物館を作品化		"	6. 11
彫刻を立体データ化 宮城県美術館 レーザーで解析実験 精密修復に威力 仮想美術館も		"	11. 14
明治期の本著作権者5万人調査 国会図書館HPで公開 同意確認呼びかけ		日 経	3. 17
文化往来 戦後日本の産業技術、体系化し継承[産業技術史資料情報センター]		"	7. 1
文化往来 記録保存・活用へ「アーカイブズ学会」設立		"	10. 21
文化往来 デジタル記録の長期保存に難題		"	12. 17
「美術新報」誌DVDで復活		"	12. 21
学楽サイト探訪 夢・仕事 伝統工芸、職人が自ら紹介		日経夕刊	4. 25

イラク文化遺産バーチャル再生 米の大学美術品、遺跡情報集め	國枝すみれ	毎 日	6. 28
広重が見た日本橋 CG使い風景再現 東大研究室[空間情報学]	足立 旬子	毎日夕刊	12. 13
1000館結ぶネット美術館 2006年度目標 収蔵品共通検索 画像で7、8割公開		読売夕刊	1. 4
アフガン文化財保護、東京芸大協力へ		"	1. 22

文化財行政

巻頭特集 首都蘇生と文化 未知なるパワーが東京を面白くする	石原慎太郎 談	ア ー ト トップ	194
〈文化財総合調査〉明治時代の〈文化財〉調査—明治24年の監査状をめぐる—	伊藤 純	大阪の歴史と文化財	11
平成14(2002)年度 大阪市指定の文化財	大阪市教育委員会	"	"
大正時代における沖縄県の文化財指定関連の行政文書について	園原 謙	沖縄県立博物館紀要	29
地域の眼25 愛媛 地域文化財の活用をNPOで若者に!		建築雑誌	1499
特集 アジアのなかの日本建築 座談会 2 アジア建築遺産の保存修復と技術協力	中川 武、 斎藤 英俊、 西村 幸夫、 本谷 眞、 浅谷 勇雅、 川司 滋男、 黒野 弘靖、 山根 周 編集協力	"	1500
まちづくりノート		"	"
文化の復興継承と情報ネットワーク “サスティナブルカルチャー コミュニティ”を柱とした文化保存・観光等産業・住民生活の共生	平尾 大輔 小池 公二		1507
環境との全体的な関係性を示す固有文化 ヨルダン村落の保存：古い生活環境を現代へ組み込み、均衡の取れた生活環境を創る	シーファ・ツグール 裕、 天野 眞人、 土肥 翻訳		1509
小川敬吉と「小川敬吉資料」について—朝鮮総督府の「文化財行政」に関する資料	浦川 和也	佐賀県立名護屋城博物館研究紀要	9

平成15年定期刊行物所載文献(総／行政)

アフガニスタン文化財復興支援の現状	山内 和也	絲綢之路(シルクロード)	42	御所野遺跡の保存と活用	高田 和徳	662
イラク文化財の略奪—今後の課題—	松本 健	"	"	史跡上野原遺跡の保存と活用	池畑 耕一	663
古墳壁画の保存の現状と課題	渡邊 明義	"	43	長者ヶ原遺跡の保存と活用—遺跡保存の歩みと展望—	木島 勉	664
イラク文化財復興支援について ユネスコ第2次調査団に参加して	青木 繁夫	"	"	平成十四年度後期の史跡等の指定(上)(下)		665、666
PARIS発 美術は観光の核[フランス]	安部 雅延	新美術新聞	983	平成15年度文部科学省・文化庁における博物館振興施策の概要について	博物館研究	417
平成15年度文化庁予算 前年 比1.9%のアップ	(美)	"	985	古代史情報	片岡 正人	東アジアの古代文化 117
「関西元気文化圏」発足 参加事業の募集・登録開始	(常)	"	996	TOPICS 海外における美術品の国家補償制度—日本での実施の参考として	養 豊	美術フォーラム21 8
芸術文化の発展における経済的背景について—芸術文化支援策の世界的事例と振興への提言—	駒橋 恵子	多摩美術大学研究紀要	17	日本及び韓国における埋蔵文化財行政の研究	禹 景準	文化 362・363
【動向 史跡保存問題】茅ヶ崎市下寺尾西方A遺跡の保存・活用をめぐる	高橋 浩明	地方史研究	302	特集 文化財ボランティア 事例紹介		文化財(月刊) 472
事業の概要 3調査研究活動(1)「なす風土記の丘祭」におけるなす考古倶楽部の活動記録		栃木県立なす風土記の丘資料館年報	11	美術学芸 文化財市民レスキュー体制	福田 孝治	
動向 アフガニスタン文化遺産復興支援に対する我が国の取り組みについて	山内 和也	西アジア考古学	4	記念物 記念物および埋蔵文化財の保護とボランティア	榎垣田佳男	
伝統的建造物群保存地区制度の運用過程における実施施策の内容	小林 史彦 川上 光彦	日本建築学会計画系論文集	567	記念物 市民参加による考古展	杉本 宏	
台湾における集集大震災後の歴史的環境保全制度の改正及び現状に関する研究—文化資産保存関連法を中心に—	林 美吟 浅野 聡 浦山 益郎	"	573	建造物 住民のボランティア活動による文化財建造物の活用	田中 禎彦	
研究展望 荘園遺跡の行方—きのくに荘園調査・覚書—	海津 一郎	日本史研究	492	建造物 文化財建造物の活用とまちづくり—各地での取り組み—	梅津 章子	
時評 「陵墓」公開をめぐる動向と展望—「陵墓」懇談会報告—	福島 幸宏 後藤 真	"	495	登録有形文化財一覧第33回登録有形文化財	文化庁建造物課	" "
歴史通信 山科本願寺・寺内町遺跡について—国史跡化と今後の課題—	安藤 弥	"	496	学校ボランティアと文化財	高野 尚好	" "
文化財レポート		日本歴史		板付弥生のムラのボランティア	井澤 洋一	" "
平成十四年度前期の史跡等の指定			657	陸平貝塚に情熱をかける住民活動「陸平をヨイシヨする会」	堀越 實	" "
史跡北黄金貝塚の保存と活用	大島 直行		660	新指定の文化財 記念物 史跡の指定	文化庁文化財部	" 473
特別史跡大湯環状列石の保存と活用	藤井 安正		661	新指定の文化財 記念物 名勝の指定	"	" "
				史跡常呂遺跡の整備と活用	武田 修	" "
				登録有形文化財一覧第34回登録有形文化財	文化庁建造物課	" "

特集 国際文化交流・協力の現状と推進		"	474	新選定の文化財 伝統的建造物群〔重要伝統的建造物群保存地区の選定〕	"	"	"	
文化財分野における国際協力・交流の現状	文化庁伝統文化課文化財保護企画室			第五〇回文化財防火デーの実施について	文化庁伝統文化課	"	"	
事例1 アフガニスタンの文化遺産保存への支援協力	渡邊 明義			御殿前遺跡祭祀遺構出土土器指定説明書		文化財研究紀要	16	
事例2 文化財の共同研究	青木 繁夫 西浦 忠輝 巽 淳一郎 杉山 洋			文化財保護における歴史学的視点の現状	馬場 憲一	法政史学	60	
事例3 文化財の保存修復	加藤 寛 澤田 正昭			ドイツにおける考古学遺産の保存と活用—ヨーロッパにおける遺跡の保存と活用の事例(1)—	井上 敏 二神 葉子	保存科学	42	
文化庁主催の海外で開催する展覧会	野田 潔			文化遺産をめぐるホストとゲストの持続可能な関係とは 共同研究：文化遺産管理とツーリズムに関する研究	西山 徳明	民博通信	102	
採択から30年を迎えた世界遺産条約	平澤 毅 本中 眞			歴史の眼 史跡保存運動は今—現状と課題		歴史評論	633	
アジア・太平洋地域文化財建造物保存修復協力事業について	苅谷 勇雅			平城宮・京跡の現状と課題	杉田 義			
福岡市における史跡の保存と活用—板付遺跡を中心として—	井澤 洋一	"	"	仙台城の長櫓建設問題と石垣保存運動	柳原 敏昭			
埋蔵文化財関係資料(平成14年度版)の解説と分析	玉田 芳英	"	475	三重県久居市上野遺跡の危機—消滅寸前の重要遺跡—	藤田 達生			
登録有形文化財一覧第35・36回登録有形文化財	文化庁建造物課	"	"	「1万年保存」日本も支援 壁画修復「あと350年」世界遺産インド・アジャンタ石窟寺院	竹内 幸史	朝日夕刊	1.25	
伝統的集落および建造物に関するベトナム社会主義共和国との討議記録(Record of Discussion)の交換について	萩原 均	"	476	アフガン「パーミヤン」イラク「アッシュール」世界遺産に登録決まる 戦後復興の後押しにも	国末 憲人	"	7.3	
新指定の文化財 美術工芸品	文化庁文化財部	"	477	北朝鮮・高句麗古墳群 世界遺産に再挑戦か 中国の顔立てて合同で	"	"	7.5	
新指定の文化財 建造物	"	"	478	単眼複眼 盗掘進むアフガンの仏教遺跡 日本の緊急発掘へ期待続く	山盛 英司	"	7.17	
登録有形文化財一覧第37回登録有形文化財	文化庁建造物課	"	"	単眼複眼 イラク文化財保護で国際会議 ユネスコが「支援競争」調整	"	"	8.13	
新指定の文化財 記念物	文化庁文化財部	"	479	単眼複眼 「ベトナムの明日香」保存 住民協力含め日本の手法で	中村 俊介	"	11.4	
登録有形文化財一覧第38回登録有形文化財	文化庁建造物課	"	"	破壊・略奪から保存・修復へ パーミヤン、世界遺産にイラクのアッシュール遺跡も	東 京		7.4	
「農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究(報告)」について	文化庁文化財部記念物課	"	480					
埋蔵文化財保護に関する調査研究結果の報告について	"	"	482					
新指定の文化財 建造物〔重要文化財の指定〕	文化庁文化財部	"	483					

モアイ像修理に日本の技術 15体復元、次は強化処理	沢田 正昭	東京夕刊	1.20	パーミヤン遺跡 保存・修復へ 日独が専門家チーム	佐藤 浅伸	"	6.1
東京と海外の若手芸術家 文化交流 都が一役		日 経	1.4	社説 高松塚古墳 古代の壁画をどう守っていくか		"	6.20
育て21世紀のフェノロサ、八雲 外国人留学生にも文化の担い手に		"	1.18	世界遺産に博物館 ベトナムのミーソン遺跡 日本政府が建設資金援助		"	10.16
「映画の街」スタート 川口で街開き		"	2.1	イラク文化遺産存亡の危機	藤井 秀夫	読売夕刊	6.16
文化往来 芸能報酬にかかる法人源泉制度 撤廃へ		"	2.8	眼 モアイを救え！ 日本の支援で修復本格化	本間 圭一	"	"
大地震から文化遺産守れ 検討委、国が設置 移送や防火策提言へ		"	6.26	手帳 行政の枠を超えた刺激的な空間	高野 清見	"	"
文化往来 パーミヤン遺跡修復、日本チーム始動		"	7.3	イラク支援 文化財保護へ国際委 対ユネスコ勧告案 各国貢献策を調整		"	"
パーミヤン世界遺産に イラクの遺跡も登録		"	7.4	手帳 文化財破壊イラクの悲劇	片岡 正人	"	"
				美術教育			
“Save イラク文化財”キャンペーン広告企画 一刻も早くイラク文化財の保全・修復を		"	7.20	美術鑑賞教育の一つとしてのアート・ゲームについて	ふじえみつる	愛知教育大学研究報告	52
世界遺産 保存・活用に関心 候補地経済効果を期待		"	8.18	「表現教育」の社会化について(2)ー表現教育のリーダーはどこからやってくるのか？ー	堀切 和雅	青山学院女子短期大学紀要	57
ネットで文化遺産見よう 文化庁、年内にホームページ		"	8.27	美術教育における模倣についてー臨画による美術教育の実践からー	長瀬 達也	秋田美術	39
文化往来 文化財の防災研究、立命館大が拠点開設		"	10.15	「感情の教育」から「ヴィジョンの教育」へーS.K.ランガーが言い残したことー	吉野 秀幸	大阪教育大学紀要	52ー1
帝国ホテル旧中央玄関 有形文化財登録へ 文化審議会、170件答申		"	11.22	「戦時下における児童文化」について(その八)ー「東日小学生新聞」の「紙上作品展覧会」における位相と展開(八)ー	熊木 哲	大妻女子大学紀要	35
「世界遺産」ウィーン旧市街 再開発で登録抹消？「高層ビル」にユネスコ激怒	高坂 哲郎	日経夕刊	1.17	図学教育へのパーソナルコンピューターの利用について(9)ー不規則平面、主として半球、半円筒形天井に描画する方法ー	井村 俊一	金沢美術工芸大学紀要	47
観光ニッポンへ感性集合 観光立国懇が始動	黒沼 晋	"	3.18	韓国における美術教育調査ーアジア造形文化理解の鑑賞教材開発の一環としてー	佐々木 宰	釧路論集	35
文化財の交流で日韓長官、合意へ		"	4.7	博物館と学校がさらに近づいていくためにー「連携授業」への取組・実践を中心としてー	岡 泰正	神戸市立博物館研究紀要	19
南部藩主の子孫、盛岡市に寄贈 お宝8361点	手塚さや香	毎日	3.11				
アフガン・パーミヤン イラク・アシュール 2遺跡、世界遺産に		"	7.4				
文化遺産保護 ユネスコ、米と緊急協議へ	池村 俊郎	読 売	4.16				

高等学校における総合学科「系列」の在り方に関する研究—芸術(美術)系科目の設置に焦点をあてて—	山田 朋子	女子美術大学研究紀要	33	葛飾考古学クラブのボランティア活動—調査研究から教育普及まで—	谷口 榮	文化財(月刊)	472
生涯学習講座の投げかけた波紋	庄山 晃	多摩美術大学研究紀要	17	隔月連載 史跡等の整備と活用		"	
「総合的な学習の時間」の実践に関する文献展覧	榎本 和生	"	"	親しまれる斎宮跡をめざして	倉田 直純		475
造形教育現場における具現化するデザイン課題の考察 附属学校との連携研究「ヤギ観察施設のデザインと制作」1	鉄矢 悦朗 太田 朋宏 正木 賢一	東京学芸大学紀要	55	史跡賤機山古墳ほか 地域文化財活用の一視点	伊藤 寿夫		477
「総合的な」デザイン演習の制作過程を通して見る「総合的な学習」観 附属学校との連携研究「ヤギ観察施設のデザインと制作」2	"	"	"	ハーバート・リードの「芸術による教育—再述—」『芸術による教育』執筆21年後の視点—	幸 秀樹	宮崎大学教育文化学部紀要	9
デザイン教育における「伝える力・魅せる力」の育成について 附属学校との連携研究「ヤギ観察施設のデザインと制作」3	"	"	"	ソフトから考える歴史遺産の整備	田中 哲雄	歴史遺産研究	1
建築科実測報告 奈良県大宇陀町松山地区の歴史的建造物—建築教育における実測演習の意義と実践—	光井 渉 野口 昌夫 鉄矢 悦朗	東京芸術大学美術学部紀要	40	中学校の授業 歴史 江戸城に入城する外国人	小出 宗治	歴史地理教育	650
教師教育における鑑賞教材開発(3)—大学院と中学校におけるアート・カードを使った授業から—	宇田 秀士 松永 有加	奈良教育大学紀要	52—1	小学校の授業 6年 「そば一杯の値段で買った浮世絵」の授業—城下町に住む武士の時代—	櫻本 豊己	"	654
工部美術学校再考—デザイン史的観点から—	天貝 義教	日本歴史	661	高校の授業 日本史 みんなで描いた「富嶽三十六景」—模写から学ぶ浮世絵—	松井 秀明	"	661
工部美術学校設立事情考	河上 眞理	美術史	155	教室レポート 絵図を用いた地域史共同授業の試み—「若松正保城絵図」・「享保五年田島地図」を素材に—	須賀 忠芳	歴史と地理	565
ART HEAD QUARTERS 美術と社会の距離を縮める挑戦 女子美・現代造形コース〈一年課程〉	堤 康彦	美術手帖	841	子どもの「遊び」を通して歴史を読む P・ブリューゲル作「子どもの遊戯」(一五六〇)を題材に	村瀬 正幸	"	566
「学校美術館」の試み	下 栄子	HILL WIND	1	南伸坊さん、渡辺和博さんら輩出 「美学校」、存続の危機に 入学希望者少なく経営難		朝 日	3.25
「子どもたちの抽象画制作体験」—2003 松阪ワークショップ〈眼の陶冶〉と帝国主義(三)—大正期芸術教育論に見る国民国家形成の影—	"	"	2	私の視点 映像文化義務教育に写真の学習を	江成 常夫	"	6.17
	有田 和臣	仏教大学文学部論集	87	文化往来 筑波大に世界遺産専攻の修士課程		日 経	11.18
				鉄腕アトム活躍 小学校授業や大学講座 平和や命の尊さ 文化論教材にも		日経夕刊	4.5
				21世紀を読む 美術教育の今後「創造的」とは何か?	森川嘉一郎	毎 日	8.24

古 美 術

絵 画

中 国

中国文化の中に於ける桃李と、跡見花蹊	嶋田 英誠	跡見学園女子大学文学部紀要	36
定静堂蒐集 近代百年中国絵画・明清書画釈文	鶴田 武良	和泉市久保惣記念美術館久保惣記念文化財団東洋美術研究所紀要	12・13
敦煌莫高窟隋代法華経変相図の研究	下野 玲子	鹿島美術財団年報別冊	20
宋代の山水画論について(一)	山岡 泰造	関西大学東西学術研究所紀要	36
六朝絵画における南京・西善橋墓出土「竹林七賢磚画」の史的位置	謝 振發	京都美学美術史学	2
伝周昉筆「簪花仕女図」(遼寧省博物館蔵)について	古田 真一	芸術論究	30
特集 絵解き—その意義と魅力 絵解きの源流と展開 変と変文	荒見 泰史	国文学解釈と鑑賞	865
黄筌六鶴図壁画とその系譜(下)一薛稷・黄筌・黄居采から庫倫旗一号遼墓仙鶴図壁画を経て徽宗・趙伯驥・牧 谿・王 振鵬、浙派・雪舟・狩野派まで—	小川 裕充	国 華	1297
唐代の海図—その主題内容と絵画史上の意義をめぐって—	竹浪 遠	古文化研究	2
『支那禪刹図式』の中の何山寺鐘	斉藤 善夫	史迹と美術	735
敦煌隋唐壁画説法図に表れた「聖樹」	趙 声良	成城美学美術史	9
「水墨画発見」この人の絵を見よ 中国編	山下 裕二	太 陽 (別冊)	124
中国の吉祥モチーフについて	井上裕紀子	哲学会誌	27
敦煌莫高窟の西方浄土変に描かれた「観無量寿経」モチーフ	大西磨希子	南都仏教	83

第五六回全国大会研究発表要旨 敦煌莫高窟北魏時代の中心柱窟における仏説法図について—第二五四窟北壁の難陀出家因縁図の主題検討を通して—

濱田 瑞美 美術史 155

第五六回全国大会研究発表要旨 敦煌莫高窟の唐代法華経变相図と報応思想

下野 玲子 " "

論文要旨《博士(課程)》中国における墓主図像の研究—魏晉南北朝時代を中心として—

柴 生芳 美術史論集 3

中国山水画の透視遠近法—郭熙のそれを中心に—

小川 裕充 美術史論叢 19

特集 〈生と死〉と美術 II 東洋美術における〈生と死〉の表象 骷髏幻戯 中国における「生と死」の表象

板倉 聖哲 美術フォーラム21 8

敦煌莫高窟の白衣仏について

濱田 瑞美 仏教芸術 267

南宋の道教における地獄救済の図像学—傅梁楷「黄庭経図巻」考—

林 聖智 " 268

敦煌莫高窟の「龍車・鳳車図」について

田中知佐子 " 269

大英博物館所蔵の敦煌絵画断片について

ロデリック・ウィットフィールド 有地 芽湮訳 " 271

敦煌の二流作品—ベリオコレクションの紙絵—

ジャン・ピエール・ドレージュ 影山 悦子訳 " "

日 本

江戸の男に魅力あり人に迫る江戸開府四〇〇年記念展覧会

芳賀 徹 アートトップ 194

月千古に輝く—大徳寺聚光院の名宝 永徳二四歳、青春の絵

高畑 勲 " "

月千古に輝く—大徳寺聚光院の名宝 見つけ合う鶴鴛

榊原 悟 " "

〈應舉寺[大乘寺]と美の運命〉を討議するシンポジウムを開いたことについて

木下 長宏 あいだ 88

江戸時代における光琳像の変遷について(中)一明和～享和一	安田 篤生	愛知教育大学研究報告	52	鈴木春信画『絵本春の雪』について	藤澤 紫	"	"
秋田蘭画・小田野直武をとりまくイメージ(1)	山本 丈志	秋田美術	39	国芳の百面相	稲垣 進一	"	"
古山師重の枕絵組物	浅野 秀剛	池田文庫	22	図版解説 鈴木春信画『絵本青楼美人合』の魅力	藤澤 紫	"	"
講演要旨 松川半山と画口合—十一月十日 川崎家の江戸期和本展—	荻田 清	"	"	図版解説 青楼見立七福神	谷田 有史	"	"
収蔵品紹介 池田文庫所蔵『売立目録』の意義	佐々木丞平	"	23	図版解説 「稚芸能琴棋書画」に見る国貞の遊び心	中城 正亮	"	"
連載 池田文庫の服飾関係資料(第十二回) 喜田川季壮著『類聚近世風俗志 原名守貞漫稿』明治四一年刊	平井 紀子	"	"	図版解説 江戸庶民の素顔	稲垣 進一	"	"
三十六歌仙絵馬奉納の社会史—能登・加賀の事例から—	戸潤 幹夫	石川県立歴史博物館紀要	15	図版解説 石版役者絵と写真	新藤 茂	"	"
武蔵と峯山、点と線。	笠嶋 忠幸	出光美術館館報	122	女形の生え際—帽子・羽二重・江戸かづら	古井戸秀夫	"	146
仏画の楽しみかた(5)—当館所蔵の仏画コレクションを通して—	八波 浩一	"	"	「男伊達初買曾我」における対面の場の意味—宝暦年間の役者評判記の挿絵を手懸かりにして—	黒石 陽子	"	"
第二二〇回水曜講演会 池大雅と与謝蕪村	小林 忠	"	123	死絵に見る役者の人氣	藤澤 茜	"	"
伴大納言絵巻に描かれた馬	黒田 泰三	"	125	上方における役者絵出版の諸相	北川 博子	"	"
長谷川等伯と狩野探幽—探幽の紙中極をめぐって—	"	出光美術館研究紀要	9	芳流画「三府役者顔似世大見立」をめぐって—芳流・大見立・八尾善—	荻田 清	"	"
浮世絵の図様と鑑識—江戸期における鑑定の事情	内藤 正人	"	"	「石投げ」の変貌	佐藤 悟	"	"
仙厓と旅—ある江戸時代の禅僧の旅と作画	八波 浩一	"	"	図版解説 古山師政筆「浮世絵屏風」	内田 欽三	"	"
九品往生に関する一考察—特に来迎図と関連して—	若園 善聡	印度学仏教学研究	102	図版解説 「柏峠吉例相撲」—初期鳥居派の役者絵とせりふ正本—	佐藤 知乃	"	"
寺社縁起の再生産とその変容—「稚児観音縁起」をめぐって—	多川 文彦	"	103	沢村宗十郎遺文	二又 淳	"	"
『光琳画譜』考	鈴木 淳	浮世絵芸術	145	松本山雪筆「製茶風俗図屏風」について	西田 多江	愛媛県美術館研究紀要	2
懐月堂派と俳諧に関する一試論	門脇むつみ	"	"	文人・田能村竹田—初めての京遊・詩学への思い	宗像 健一	大分県立歴史博物館研究紀要	4
菱川師宣筆『人間不禮考』小考—古典画題と近世社会の笑い—	内田 欽三	"	"	おもちゃ絵の歌謡統考	小野 恭靖	大阪教育大学紀要	51—2
丹羽桃溪研究序論	高杉 志緒	"	"	出土絵馬小考—讃良郡条里遺跡出土の絵馬について—	島内 洋二	大阪文化財研究	23
北尾重政画『絵本吾妻花』『絵本浅紫』	日野原健司	"	"	研究ノート 宮本君山『御ぐしあげ』の検討から(一)—近世大坂風俗再考のために—	中野 朋子	大阪歴史博物館研究紀要	2
				浮世絵類考 成立・変遷史の研究	中嶋 修	太田記念美術館論集	2

平成15年定期刊行物所載文献(古／絵)

伝儀屋宗達筆『伊勢物語絵色紙』をめぐる一歌絵の視点から一	木村 朱晶	大手前大学文学部研究紀要	3	月感撰『無常十界之画図』一研究と翻刻一	菊池 政和	京都精華大学紀要	24
『北野天神縁起』の詞書の一考察一慈円との関わりを巡って一	丹羽 博之	"	"	『新撰和漢書画一覽』小考一江戸時代中期鑑画知識の一端相一	安田 篤生	京都美学美術史学	2
新資料紹介 奈良絵本『水宮けい』	中野 幸一	学術研究	51	江戸東京名所考(二)	高階 秀爾	近代画説	12
雪舟筆天橋立図の作期について	山本 英男	学叢(京都国立博物館)	25	「地口行灯」に見る江戸の名残	岡村 昌夫	くにたち郷土文化館	5
袈裟を着た渡唐天神像	"	"	"	佐々布室石小考	村田 栄子	熊本県立美術館研究紀要	9
画題からみた高井田横六群の線刻壁画	安村 俊史	柏原市立歴史資料館館報	15	永青文庫所蔵絵画作品調査報告(一)	"	"	"
岡本秋暉の画業と作品に関する基礎的研究一干支印作品群を中心に一	郡司亜也子	鹿島美術財団年報別冊	20	羽川珍重と浮世絵「江戸町西田屋内こゝのゑ」	齋藤 健司	ぐんしょ	61
尾形乾山の絵画一俳画とその接点一	安田 彩子	"	"	京都大学附属図書館蔵大本『しほやきぶんしやう』にみられる中世的要素一その絵画表現と本文から一	寺本 里絵	芸術学学報	10
常盤源二光長周辺制作絵巻物群の研究一「伴大納言絵巻」の制作目的について一	五月女晴恵	"	"	二〇〇三年ヨーロッパにおける近世絵手本調査報告	柏尾 沙織 立浪佐和子	"	"
若冲の《最初期の著色画》、「雪中雄鶏図」をめぐる	市川 彰	"	"	中間評論論文梗概 役者大首絵の成立と大成一勝川派・歌川派を中心として一	渡邊 晃	芸術学研究(筑波大学)	7
室町時代に於ける狩野派肖像画の基礎的研究一騎馬の宗祇像を中心に一	志賀 太郎	"	"	錦絵風における国芳風武者絵の画題伝播	岡野 泰子	"	"
蛸崎波響の絵画資料一画稿にみる同時代画人との交流一	白石 恵理	"	"	筑波大学本狩野尚信筆「李白観瀑図」屏風について	渡邊 晃	"	"
祭礼図の系譜に関する基礎的研究	國賀由美子	"	"	特集 歌麿と浮世絵エロチカ黄金時代 日本の春画ルネサンス 芸術エロチカの黄金時代	リチャード・レイン	芸術新潮	637
世界地図屏風の地図化	ジョセフ・ロー	"	"	特集 歌麿と浮世絵エロチカ黄金時代 春画ルネサンス絵師列伝	"	"	"
北尾重政の狂歌絵本制作について	日野原健司	"	"	特集 歌麿と浮世絵エロチカ黄金時代 『歌まくら』の失敗と復活	リチャード・レイン	"	"
【資料紹介】「東海道名所風景」における現・神奈川県域の表現	桑山 童奈	神奈川県立博物館研究報告	29	ひらがな日本美術史【連載】その九十二 天つ晴れなもの 葛飾北斎筆「富嶽三十六景」	橋本 治	"	"
太寧寺所蔵仏涅槃図について	向坂 卓也	金沢文庫研究	311	ART NEWS 江戸の屏風のデザインは大胆、珍奇、洒落が身上	"	"	638
月岡雪斎に関する一考察一関西大学図書館所蔵の「十二ヶ月図屏風」をめぐる	西垣 香	関西大学哲学	22	ひらがな日本美術史【連載】その九十三 非日常的で日常的なもの 喜多川歌麿筆「歌まくら」	橋本 治	"	"
耳鳥齋「別世界巻」	中谷 伸生	関西大学東西学術研究所紀要	36				
観る事から読む事へ一金光明経巻第三の下絵の場合一	中村 興二	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	47				

ひらがな日本美術史 【連載】その九十四 不思議に我慢をして いるもの 五渡亭国 貞、漢斎英泉の錦絵	"	"	639	隨身庭騎絵巻の謎— 図像文学の世界—	渡辺 昭五	国学院雜 誌	1160
ART NEWS 好事 の人木村謙葭堂が 造った浪花のヴン ダーカマー	"	"	640	「夢応の鯉魚」と鯉魚 図	山崎美紗子	国語国文	822
ひらがな日本美術史 【連載】その九十五 うねるもの 歌川国 芳筆「宮本武蔵の鯨 退治」	橋本 治	"	"	役者絵にみるスター の対抗と世代継承— 二代目嵐吉三郎 対 三代目中村歌右衛門 の場合—	ア ン ド リ ュ ー・ ガーストル 岩田 秀行 訳	"	823
ひらがな日本美術史 【連載】その九十六 うねるもの續編 歌 川国芳筆「宮本武蔵 の鯨退治」	"	"	641	文之玄昌と『聖蹟図』	伊東 慎吾	"	827
ひらがな日本美術史 【連載】その九十七 うねるもの残篇 歌 川国芳筆「荷宝蔵壁 のむだ書」他	"	"	642	『最勝四天王院障子 和歌』の歌枕表現— 「名所の景氣并に其 の時節」をめぐつ て—	小山 順子	"	829
ひらがな日本美術史 【連載】その九十九 遠いもの 小田野直 武筆「不忍池図」	"	"	645	絵解き資料としての 『当麻曼陀羅疏』	上野 麻美	国語と国 文学	952
特集 橋本治がとこ とん語るニッポンの 縄文派と弥生派 縄 文弥生七番勝負 二 番光琳対宗達	"	"	646	『契情お国驛妓』の趣 向	若木 太一	"	954
特集 橋本治がとこ とん語るニッポンの 縄文派と弥生派 縄 文弥生七番勝負 五 番北斎対光悦	"	"	"	八文字屋本板木の修 訂をめぐる諸問題— 『契情お国驛妓』と御 用絵師狩野家・土佐 家	倉員 正江	"	"
特集 橋本治がとこ とん語るニッポンの 縄文派と弥生派 縄 文弥生七番勝負 六 番正信対黙庵	"	"	"	特集 絵解き—その 意義と魅力 座談会 信濃路の絵解き	竹澤 繁子 日野多慶子 小林 玲子 林 雅彦 司会	国文学解 釈と鑑賞	865
特集 橋本治がとこ とん語るニッポンの 縄文派と弥生派 縄 文弥生七番勝負 七 番藤白対元信	"	"	"	特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の今日的課題 絵巻 の画中詞と言説—絵 解きの視野から	小峯 和明	"	"
ART NEWS 武者 絵バトルロワイヤル	"	"	647	特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の今日的課題 唱導 と絵解き	徳田 和夫	"	"
ひらがな日本美術史 【連載】その百一 前 を向くものと向かない もの 渡辺寧山筆 「鷹見泉石像」「市河 米庵像」	橋本 治	"	"	特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の源流と展開 経典 にみる絵解き—「十 王絵」の場合	関山 和夫	"	"
ひらがな日本美術史 【連載】その百二 横 を向くもの 月岡芳 年・落合芳幾筆「英 名二十八衆句」と落 合芳幾筆「真写月花 乃姿絵」	"	"	648	特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の世界 「当麻曼茶 羅」の絵解き	"	"	"
「万国絵図屏風」の原 図について—1609年 版P.カエリウス世 界地図の復元—	三好 唯義	神戸市立 博物館研 究紀要	19	特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の世界 「地獄絵」の 絵解き	根井 浄	"	"
				特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の世界 法華経變相 図	宮 次男	"	"
				特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の世界 聖徳太子絵 伝と絵解き	渡辺 信和	"	"
				特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の世界 「弘法大師 絵伝」の絵解き	中前 正志	"	"

特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の世界 親鸞聖人絵 伝の絵解き	小山 正文	国文学解 釈と鑑賞	865	神社祭祀と村落祭祀 に関する調査研究 [特定研究]近畿の村 落社会と民衆 津八 幡宮祭礼の史料と画 像 幕末惣町祭礼の 一事例	福原 敏男	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	98
特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の世界 立山曼荼羅 の絵解き	米原 寛	"	"	《名所江戸百景》考	大久保純一	"	100
特集 絵解き—その 意義と魅力 絵解き の世界 「荳蔻道心 石童丸御親子絵伝」 の絵解き	久野 俊彦	"	"	都市の地域特性の形 成と展開過程—近世 以降の流通と文化を 中心に—[共同研究] 日本における都市生 活史の研究 長崎く んち考 城下町祭礼 としての長崎くんち	久留島 浩	"	103
特集 絵解き—その 意義と魅力 東アジ アの絵解きとその周 辺 朝鮮仏画甘露幀 と熊野観心十界図	西山 克	"	"	[共同研究]アジア地 域における環境とそ の民族的ブラクシス 環境と認識 図像化 された動物 オオカ ミの表象と形態認識	菱川 晶子	"	105
特集 絵解き—その 意義と魅力 東アジ アの絵解きとその周 辺 熊野比丘尼と絵 解き	根井 浄	"	"	近世・近代の女性の 旅について—納経帳 と絵馬を中心に—	山本 光正	"	108
特集 「熊野学」への アプローチ 熊野の 文化 熊野比丘尼と 絵解き—文献資料に 見る	林 雅彦	"	869	肉筆浮世絵制作の一 様態—国立歴史民俗 博物館所蔵「浅草風 俗図巻」から—	大久保純一	"	"
特集 「熊野学」への アプローチ 研究の 手引き 絵解き研究 文献目録抄—平成六 年～十年	"	"	"	酒井抱一筆 百合 椿・流水図団扇	水尾比呂志 国 華	1288	
特集 『江戸』の魅 力—開府四〇〇年 江戸空間—文学の名 所と名所案内	市古 夏生	"	871	黄檗画僧逸然の画業	錦織 亮介	"	"
特集 『江戸』の魅 力—開府四〇〇年 浮世絵に見る江戸の 町	小澤 弘	"	"	長谷川信春筆 陳希 夷睡図	海老根聰郎	"	"
近世の後摺り本の問 題—四谷怪談の正本 写し合巻—	高橋 則子	国文学研 究資料館 紀要	29	大雅二十代の作品— 沈鬱と偏執と緊張—	河野 元昭	"	1289
マリオ・マレガ文庫 蔵黒本・青本『さよ の中山』について	"	国文学研 究資料館 文献資料 部・調査 研究報告	24	竹に横・鹿に楓図屏 風	河合 正朝	"	"
『甲子吟行画卷』批 評—絵画と同行者に 関する試論—	楠元 六郎	国文学論 考	39	新出 東福門院入内 図屏風	徳川 義宣	"	"
日本・東洋美術の見 方が変わる 楽しく なる 誌上ギャラ リー・トーク12 特 別一挙公開 北斎の 富嶽三十六景 ほん とうは四十六景!?	田沢 裕賀	国立博物 館ニュー ス	660	円山応挙筆 懸崖飛 泉図屏風	河野 元昭	"	1290
特別公開 長谷川等 伯の松林図	松嶋 雅人	"	661	長沢芦雪筆 白象黒 牛図屏風	辻 惟雄	"	"
				伊藤若冲筆 旭日雄 鶏図	狩野 博幸	"	"
				酒井抱一筆 十二ヶ 月花鳥図	水尾比呂志	"	"
				鈴木其一筆 雨中青 桐・楓図	村重 寧	"	"
				磯田湖龍斎筆 雪中 美人図	並木 誠士	"	"
				勝川春章筆 美人図	ジュリア ン・ウォ ルフグラ ム 国華 編集部 訳	"	"
				源琦筆 雪松図屏風	小林 忠	"	"
				岡田米山人筆 江村 春色図	河野 元昭	"	1291
				祇園南海筆 五老峰 図	小田誠太郎	"	"

彭城百川筆 柳陰水亭図	神谷 浩	"	"	「太平記絵巻」と寛文期文化の一側面—絵入り版本と幸若舞「新曲」—	谷澤 孝	埼玉県立さきたま資料館調査研究報告	16
池大雅筆 芳野山図	小林 忠	"	"				
与謝蕪村筆 山水図屏風	佐々木正子	"	"	孫六老人像と画人千哥女	佐藤 繁	埼玉史談	273
田能村竹田筆 隠棲喫茶図	高橋 博巳	"	"				
青木木米筆 新緑帯雨図	黒田 泰三	"	"	鈴木春信と娘評判	田辺 昌子	採蓮 千葉市美術館研究紀要	6
浦上玉堂筆 山高水長図	佐藤 康宏	"	"	春信画の版元	浅野 秀剛	"	"
谷文晁筆 金碧青緑山水図	武田 光一	"	"	高伝寺の杉戸絵—《韃靼人物・竹に虎図》と佐賀城二の丸御殿障壁画—	福井 尚寿	佐賀県立博物館調査研究書	27
文献再録 文人画概論(抄)	滝 精一	"	"	資料紹介 鍋島報效会所蔵の狩野尚信筆《松図襖》	"	佐賀県立博物館・美術館報	129
久隅守景筆「朝鮮通信使行列図屏風」について	ロナルド・トビ	"	1294				
岡本秋暉筆 波浪飛燕図	河合 正朝	"	"	研究ノート 絵画制作における藩主の関与—初代佐賀藩主鍋島勝茂の場合—	"	"	"
河鍋暁斎筆 大和美人図屏風	高階 秀爾	"	"				
白隠筆 文殊図	水尾比呂志	"	1295	当館蔵「源氏物語画帖」について—その制作時期と絵師の問題—	太田 彩	三の丸尚蔵館年報・紀要	8
菱川師宣筆「北楼及び演劇図巻」の検討	浅野 秀剛	"	"	フィレンツェ・シンポジウム報告 日本における「地獄」イメージの流布—『往生要集』の影響—	長島 弘明	死生学研究	2003秋
研究資料 師宣肉筆落款の書風に関する試論	笠嶋 忠幸	"	"				
酒井抱一筆 鳥獸戯画写し	小林 忠	"	1296	春日権現験記絵の研究(三)(四)—その成立・信仰と「聖なるもの」の表現—	多川 文彦	史迹と美術	732、738
荔閨秀景について	赤澤 英二	"	"				
松島・塩竈図屏風	濱田 直嗣	"	"				
山田道安筆 鍾馗図	四宮美帆子	"	"	伊達道具鳥羽累	佐藤 悟	実践国文学	63
研究資料 山田道安再考	"	"	"				
与謝蕪村筆「雨乞の」自画賛	小林 忠	"	1297	富川房信画『福神十二段』考	松原 哲子	"	64
岳翁派 山水図	海老根聰郎	"	"	「絵解きの世界」で語り継がれる聖徳太子—井波・瑞泉寺—	小松 光江	聖 徳	175
初期江戸狩野派の歌仙画帖—探幽、安信を中心に	松島 仁	"	1298	玉虫厨子・捨身飼虎図—『金光明経・捨身品』による私の理解—	谷口 哲也	"	178
伊年印 雷神図屏風	辻 惟雄	"	"				
新出 円山応挙筆「竹虎図」	近藤 壮	国華清和会会報	1	高松塚古墳壁画の研究	黄 士純	女子美術大学研究紀要	33
新出 狩野探幽筆「黄葵小禽図」	小林 忠	"	"	乙骨耐軒の詩と「甲陽御嶽新道之図」—昇仙峽最古図考—	成瀬 哲生	資料と研究	8
新出 冷泉為恭筆「蟬丸図」	山本ゆかり	"	"				
池田孤村筆「四季草花図屏風」	近藤 壮	"	2	正徳度贈朝屏風の問題	五十嵐公一	塵 界	14
葛飾北斎筆「花魁図」	小林 忠	"	"	〈資料紹介〉「往生要集絵」の諸本(一)—聖衆来迎寺本六道絵の模本—	小栗栖健治	"	"
渡辺崋山の肖像画と作画精神	杉本 欣久	古文化研究	2	江馬細香の「雪竹図」をめくって—中国文人「三絶」の日本的受容—	鄭 麗芸	椋山女学院大学研究論集	34
斎宮歴史博物館所蔵の伊勢物語屏風について	木戸久二子	斎宮歴史博物館研究紀要	12				

平成15年定期刊行物所載文献(古／絵)

鶴澤派研究序論—主に探山と探鯨に関する文献的考察—	野口 剛	朱雀	15	足利義政室町殿の舞絵制作と土佐広周・土佐光信	高岸 輝	東京大学史料編纂所研究紀要	13
京都府立総合資料館蔵鶴澤家資料の紹介	"	"	"	表紙解説「宮本武蔵像」(財団法人日本美術刀剣保存協会蔵)	河田 昌之	刀剣美術	555
白泉寺蔵 帝鑑図屏風	葉師寺 君子	生活と文化	13	表紙解説 重要文化財宮本武蔵筆「枯木鳴鶴図」(和泉市久保惣記念美術館蔵)	"	"	558
『女年中祝事の始全』(刊記不明)解題	横山 學	生活文化研究所年報	16	表紙解説 重要美術品宮本武蔵筆「布袋見聞鶏図」(福岡市美術館蔵・松永コレクション、山崎信一撮影)	後藤 恒	"	561
翻刻史料『女年中祝事の始全』(刊記不明)	横山 小野 翻刻	學、雅美	"	象の表現に関する基礎的考察(下)—江戸時代末期まで—	土井 陽子	同志社大学博物館学年報	35
『天狗草紙』に見る園城寺の正統性	若林 晴子	説話文学研究	38	「聖徳太子伝」における蘇我馬子像	渡辺 信和	同朋大学仏教文化研究所紀要	865
延慶本『平家物語』「法皇御灌頂事」の思想的背景—思想的背景としての『天狗草紙』—	牧野 淳司	"	"	東洋文庫所蔵『摸刻鑑』について 附『石川年足脚墓誌』『賀春禧單』	大沼 宜規	東洋文庫書報	34
真言僧栄海における天狗像—『泉宝入壇記』を中心に—	佐藤 愛弓	"	"	「古状揃」の挿絵について	綿拔 豊昭	図書館情報大学研究報告	21—2
『熊野の本地』に描かれた虎	永藤 美緒	"	"	資料紹介 谷文晁筆「五星及廿八宿神形圖卷」	鈴木 かつおる	栃木県立博物館研究紀要	20
『春日権現験絵』巻十九検討	内田 滯子	"	"	日本水墨画の流れ(7)～室町時代の水墨画(三)・周文	木村 弘道	富山市箕牛人記念美術館報	12
調査報告 大崎八幡宮石の間天井画について	樋口 智之	仙台市博物館調査研究報告	23	加賀藩前田土佐守家伝来の賢聖障子粉本	鈴木 景二	富山大学人文学部紀要	38
見世物はおもしろい江戸は見世物に満ちていた	川添 裕	太 陽 (別冊)	123	口絵 青楼美人図	伊藤 羊子	長野県立歴史館研究紀要	9
見世物はおもしろい名古屋見世物劇場	武藤 真	"	"	田中訥言一落款による作品の編年	竹内美砂子	名古屋市博物館研究紀要	26
「水墨画発見」いま、ここにある水墨画	山下 裕二	"	124	浄土寺蔵「弘法大師絵伝」考—絵巻から掛幅へ 第七幅と第八幅の場合—	塩出貴美子	奈良大学紀要	31
「水墨画発見」驚愕の水墨グラフィック	"	"	"	資料紹介 『神呪寺縁起絵巻』	俵谷 和子	西宮市立郷土資料館研究報告	6
「水墨画発見」この人の絵を見よ 日本編	"	"	"	《三条本洛中洛外図》の人脈について	マシユール・P・マッケルウエイ 直子 訳	日本研究	27
普及活動 渡辺畢山没後160年特別記念講演会「渡辺畢山から今何を学ぶか」	童門 冬二	田原町博物館年報	9	特集 風 風 シンポジウム	高階 秀爾 大橋 孝之 小島 優子 田中 橋本	日本の美 学	36
【特集】数寄の大名・酒井宗雅 夢うつつのはさまで—宗雅と抱一—	甲斐 史子	淡 交	699				
【特集】聚光院と桃山美術 聚光院の襖絵	小野澤虎洞	"	706				
【特集】聚光院と桃山美術 桃山美術を切り開いた障壁画	田沢 裕賀	"	"				
長門国分寺所蔵十二天曼荼羅図について	才藤あずさ	デアアルテ	19				
江戸幕府御絵師の序列とその変動—住吉家を例に—	森岩 恒明	哲学会誌	27				
『北野天神縁起』の天台	渡辺 守順	天台学報	45				

特集 風 風の神と いう存在 続・江戸 の風神・雷神意匠考	玉蟲 敏子	"	"	室町殿絵巻コレク ションの形成	高岸 輝	"	155
青蓮院旧蔵の金剛界 曼陀羅諸尊図様と最 澄請来「三十七尊様」 をめぐる諸問題	松原 智美	日本仏教 総合研究	1	蕪村筆「鶯・鴉図」を めぐって—蕉風復興 運動と南蘋画風—	安永 拓世	"	"
平安時代の画所につ いて—その基礎的研 究—	芳之内 圭	日本歴史	659	月岡雪鼎試論—古典 をめぐる絵画制作の 再検討—	山本ゆかり	"	"
口絵 紙本墨画日新 除魔図	鬼原 俊枝	"	660	池大雅筆「洞庭赤壁 図巻」の表現と賞翫 の場	吉田 恵理	"	"
口絵 絹本着色終南 山曼荼羅図	林 温	"	665	第五六回全国大会研 究発表要旨 岡本秋 暉の画業と画風展 開—千支印作品群を 中心に—	郡司亜也子	"	"
《研究ノート》相阿弥 再考—文献史料にも とづいて—	家塚 智子	野村美術 館研究紀 要	12	第五六回全国大会研 究発表要旨 応為筆 《夜桜美人図》を めぐって—その主題と 発想—	秋田 達也	"	"
伊藤若冲筆「動植綵 絵」試論—仏の目か ら見た世界を提示す ること—	島津 梨沙	美学芸術 学	18	第五六回全国大会研 究発表要旨 田能村 竹田《柳閣曉粧図》に ついて	松本 朋香	"	"
芝琳賢の涅槃図と図 像の源流 愛知・妙 伝寺本と奈良・唐招 提寺本	渡辺 里志	美学美術 史研究論 集	20	第五六回全国大会研 究発表要旨 一四世 紀における陀磨派の 活動の一側面につい て—醍醐寺南朝方門 跡との関係を中心 に—	藤元 裕二	"	"
大和絵瞥見—「源氏 物語絵巻」東屋第一 段を中心として—	永田雄次郎	美学論究	18	第五六回全国大会研 究発表要旨 伝能阿 弥《三保松原図》考— 和と漢、実景と伝習 の狭間—	千 方可	"	"
歌川広重の描く「日 本橋図」考—その実 景表現をめぐる—	山本野理子	"	"	第五六回全国大会研 究発表要旨 伊藤若 冲の《鳥獣花木図屏 風》考察	山口真理子	"	"
狩野内膳と南蛮屏 風—その画風の確立 と継承—	塚本 美加	"	"	第五六回全国大会研 究発表要旨 《機峯 寺建立修行縁起絵 巻》の制作背景—土 佐光信・橋本公夏・ 細川政元—	高岸 輝	"	"
関ヶ原合戦図屏風の 図像とその展開	野田 浩子	彦根城博 物館研究 紀要	14	第五六回全国大会研 究発表要旨 洛中洛 外図屏風に描かれた 農耕風景	奥田 敦子	"	"
論考 表具・落款・ 箱書・印章について (上)	今井 淳	美術京都	31	第五六回全国大会研 究発表要旨 「八文 字屋本」における吹 抜屋台の再発見—出 版文化の中で起こっ た物語絵画の新手 法—	植松 有希	"	"
光明本尊考	津田 徹英	美術研究	378	第五六回全国大会研 究発表要旨 江戸初 期狩野派の観瀑表現 について—筑波大学 本狩野尚信筆《李白 観瀑図》屏風を中心 に—	渡邊 晃	"	"
図版解説 ウィーン 美術史美術館所蔵画 帖	塩谷 純	"	379				
京都国立博物館蔵 「祇園祭礼図屏風」の 史的位置	八反裕太郎	美術史	154				
平成十四年度支部例 会研究発表要旨 「安徳天皇縁起絵」に おける聖地図像の意 味と機能	水野 僚子	"	"				
平成十四年度支部例 会研究発表要旨 新 出 元龜二年銘の長 谷川信春筆鬼子母神 十羅刹女像	松嶋 雅人	"	"				
平成十四年度支部例 会研究発表要旨 法 金剛院本「清涼寺大 念仏縁起絵巻」と禪 林寺本「融通念仏縁 起」について	内田 啓一	"	"				

第五六回全国大会研究発表要旨《天神縁起絵巻》成立初期の問題	須賀 みほ	美術史	155
第五六回全国大会研究発表要旨「擬人化」に託された物語表現の可能性—御伽草子《弥兵衛鼠》が語る中世民衆の人生の夢—	田口 文哉	" "	" "
「鳥獣人物戯画」甲巻の主題について	五月女晴恵	美術史学	23
北斎と遠近法・アナモルフォーズ	田中 英道	" "	" "
「楊梅図屏風」の主題について—『大和物語』第七十段の絵画化—	口井 知子	美術史研究	41
日中版画における夢の表現とフキダシ—通俗小説挿絵を中心として—	高島 淑江	" "	" "
日本における玄宗楊貴妃図—近世初期の画題と図様—	池田麻利子	" "	" "
英一蝶、その俳諧的世界—「雑画帖」の語るもの—	横山 昭	美術史論集	3
宗達と能	河野 元昭	美術史論叢	19
明治期から昭和初期における伊藤若冲の受容について—文献分析を中心に—	中村 麗子	" "	" "
研究ノート 円山応挙筆《難福図巻》と『観音経』・観音絵—出相観音経を中心に—	馬淵 美帆	" "	" "
[資料紹介] 銅雲泉の岡山在住時代	守安 收	美術フォーラム21	8
[資料紹介] 京都画派寄合描押絵貼屏風について	木村 重圭	" "	" "
特集 〈生と死〉と美術 Ⅲ美術史学・美術批評と〈生と死〉美術史家の生と死? 《一遍聖絵》の巻末は後補?	林 温	" "	" "
特集 〈生と死〉と美術 Ⅲ美術史学・美術批評と〈生と死〉歌川国貞死絵考 浮世絵師の理想像について	岸 文和	" "	" "
特集 〈生と死〉と美術 Ⅲ美術史学・美術批評と〈生と死〉《忠魂》の絵師と《長篠合戦図》浮田一憲の生と死	中谷 伸生	" "	" "

EXHIBITION 「画題」の再検討が必要では?—「青春の浮世絵師 鈴木春信江戸のカラリスト登場」展評	佐藤 悟	" "	" "
蕪村自画賛「若竹やはしもの遊女ありやなし」図、および俳詩「春風馬堤曲」の構想について	林 進	ビブリア	119
翻刻『花月日記 松平定信自筆』(九)文化十三年四月～六月	岡嶋偉久子 山根 陸宏	" "	" "
姫路酒井家の絵画—道具帳にみる酒井抱一とその周辺	岡野 智子	姫路美術工芸館紀要	4
雪舟史料を読む13 我レニ誅歌有ツテ招ケドモ返ラズ—中心口忠「弔郭璞墓」(三)	大西 廣	百 科 (月刊)	483
雪舟史料を読む14 回々人、西蕃人、琉球人、レウトウ人…—国々人物図巻、孫廷甫・画法巻(一)	"	" "	485
雪舟史料を読む15 南蕃人、天竺人、高麗人、琉球人…—国々人物図巻、孫廷甫・画法巻(二)	"	" "	487
雪舟史料を読む16 日本、頼麻、高麗、回々…琉球皆ナ宴ニ預カル—国々人物図巻、孫廷甫・画法巻(三)	"	" "	489
雪舟史料を読む17 日本・南蕃ノ商舶亦タ琉球国ノ海浦ニ集フ—国々人物図巻、孫廷甫・画法巻(四)	"	" "	491
雪舟史料を読む18 此ノ一軸ハ雪舟渡唐ノ時求メ来レル絵本ナリ—国々人物図巻、孫廷甫・画法巻(五)	"	" "	493
太子町の絵馬について—伊勢参宮のことなど—	田村三千夫	兵庫県揖保郡太子町立歴史資料館報	6
芸藩土産図の比較	西村 直城	広島県立歴史博物館研究紀要	7
武蔵国府と「調布の玉川」—府中市郷土の森博物館蔵《六所玉河図巻》に寄せて—	小野 一之	府中市郷土の森博物館紀要	16
「鳥獣人物戯画」甲・乙巻の筆者問題について—宮廷絵師制作の可能性をめぐつて—	五月女晴恵	仏教芸術	266

愛染明王画像二題— 根津美術館蔵とMO A美術館蔵を中心 に—	内田 啓一	"	268	〈史料紹介〉河野常吉 資料『絵画集』	三浦 泰之	北海道開 拓記念館 調査報告	42
壬生地蔵縁起絵巻と その周辺	泉 万里	"	"	香川・与田寺版十二 天像について(1)	佐々木守俊	町田市立 国際版画 美術館紀 要	7
堂内荘厳としての蟠 龍図	木村 展子	"	"	大英博物館蔵『浦し ま』解題・翻刻付図 版	辻 英子	三田国文	37
研究ノート 洛中洛 外図屏風に見られる 画法の特徴について	黒田 恭史	仏教大学 教育学部 論集	14	慶應義塾図書館蔵 [隠れ里]解題・翻刻	石川 透	"	"
楼閣のある風景—池 大雅の『岳陽樓醉亭 屏風』の画面につい て	ロレッタ・ チオファニ	文 化	360・361	鎌倉末期における涅槃 図像の変容—誓願 寺本を中心として—	加藤 善朗	密教図像	22
大岡春トと「鳥羽絵」	太田 孝彦	文化学年 報(同志 社大学)	52	矢崎家資料にみる歌 舞伎関係資料	日野原健司	港区立港 郷土資料 館研究紀 要	7
広告・宣伝の行為 論—戯作テキストで 仙女香を販売する—	岸 文和	"	"	矢崎家資料目録	矢崎 直子 日野原健司 編	"	"
「高士」の表象—狩野 永岳筆「陶淵明・林 和靖図」をめぐる て—	松本 直子	"	"	博物資料としての 『鳥写生図巻』	磯野 直秀	MUSE- UM	584
『七天狗絵』とその時 代	阿部 泰郎	文 学	4—6	素描の語る波山陶芸 の魅力	荒川 正明	目 の 眼	319
『七天狗絵』の詞書発 見	高橋 秀榮	"	"	江戸化政期の粹人、 文人たち(40)(谷文 晁・文一)文晁一族 一門、胡蝶の夢	渥美 國泰	"	322
[表紙解説]祇園祭・ 保昌山前懸「蘇武牧 羊図」	白井 進	文化財 (月刊)	472	江戸化政期の粹人、 文人たち(41)(渡辺 秀詮・林堯・山本若 鱗)長崎派三匹の虎	"	"	324
国宝 一遍上人絵伝 (一遍聖絵)の裏彩色	林 温	"	476	山口蓬春記念館蔵 《十二ヶ月風俗図》 の筆者問題について	笠 理砂	山口蓬春 記念館研 究紀要	3
南禅寺大方丈障壁画 の修理から—柳に椿 図襖の図様改変につ いて—	鬼原 俊枝	"	"	松浦史料博物館の八 字文殊八大童子図	平田 寛	大和文華	107・108
大崎八幡宮の壁画と 墨書	山本 薫子	"	"	松浦義(天叟)像につ いて	渡邊 雄二	"	"
表紙解説 国宝 一 遍上人絵伝	林 温	"	"	平戸松浦家伝来「江 戸火事場之真態」— 狩野派による火事絵 巻の模写—	植野かおり	"	"
蹄斎北馬の初期作品 と生没年について	伊藤めぐみ	北斎研究	33	松浦史料博物館の谷 文晁筆杭州四季風俗 図巻	福井 尚寿	"	"
先稿『二代柳川重信』 補訂『恋情穿語三 人娘』の別資料披見 から	大沢まこと	"	"	始興序説—京画壇に よせて—	武田 恒夫	"	110
[完訳14]ミシェル・ ルヴォン『北斎研究』	ミシェル・ ルヴォン 三浦 和郎 訳	"	"	渡辺始興展望	中部 義隆	"	"
葛飾北斎肉筆鑑賞六 十九「娘図」一幅・七 十「双鶴図」一幅	永田 生慈	"	34	【特集】日本文化の境 界と交通—2001年国 際シンポジウムの記 録—(第4セッション: 絵画と文字)絵 巻注釈の可能性—マ ルチメディアの発達 を手掛かりに—	楊 曉捷	立教大学 日本学研 究所年報	2
北斎の小布施滞在と 牛島神社の額	"	"	"				
北斎の西洋趣味と洋 風作品(一)	"	"	"				
[墨田区調査研究報 告]明治期浮世絵関 連新聞記事(3)—北 斎記事—	"	"	"				

【特集】日本文化の境界と交通—2001年国際シンポジウムの記録—〈第4セッション：絵画と文字〉コメント

米倉 迪夫 立教大学
金林 文京 日本学研
林 雅彦 究所年報 2

【研究会レビュー】描かれたアメリカ人—ベリー来航時のかわら版をもとに

田中 葉子 " "

【研究会レビュー】近世の『平家物語』をめぐる—絵入り版本と屏風絵を中心に—

出口 久徳 " "

多視点のキャンパス

河野 一隆 立命館大学考古学論集 3

木村探元自画像の模写作品について

山下 廣幸 黎明館調査研究報告 16

絵師平山東岳の経歴について

深港 恭子 " "

特集 天下統一の時代 戦争と民衆「大坂夏の陣図屏風」の世界

北川 央 歴史地理教育 655

特集 天下統一の時代 『雑兵物語』挿し絵を高校日本史で使ってみる

武田 章 " "

特集 天下統一の時代 天下統一時代の風景 絵画資料に描かれた鉄炮

宇田川武久 " "

『太平記』の時代にみる天神縁起物語

竹内 光浩 歴史評論 637

奈良国立博物館所蔵普賢十羅刹女像について

増記 隆介 鹿園雑集奈良国立博物館研究紀要 5

紀伊狩野家の画業

高松 良幸 和歌山県立博物館研究紀要 9

和歌浦東照宮奉納の操り芝居絵馬をめぐる—和歌山における芝居興行の一面—

宮本 圭造 " "

《史料紹介》紀伊藩お抱え絵師の系譜書

前田 正明 " "

《史料紹介》「江戸紀州御殿」(写)について

高橋 克伸 " "

日本の肖像画における横顔(プロフィール)—栄之筆「大田蜀山人(南畝)像」の意義—

村重 寧 早稲田大学大学院文学研究科紀要 48

雪村周継筆『竹林七賢図』の画題をめぐる

陳 達明 " "

朝鮮

松阪市朝田寺所蔵『孟蘭盆経説相図』を読む—無祀の横死孤魂救済鎮魂のための儀礼画—

服部 良男 絵解き研究 17

廓庵『十牛図』と絵解き考への架橋—表紙によせて—

林 雅彦 " "

研究ノート 湖林博物館所蔵《椽紙金泥大方広円覚修多羅了義経》について

藤本 真帆 美術史論叢 19

その他

バングラデシュの絵語り カズィル・ボト—絵語りの方法と絵の技法、そして起源について—

シャーナー・ジュ・フサイン・ジャーナー 大橋 弘美 東洋文化研究所紀要 142

ヴァーストゥナーガに関する考察

森 雅秀 美術史 155

第五六回全国大会研究発表要旨 アジャンター第一七窟《ヴィシュヴァンタラ太子本生》図の物語表現について

福山 泰子 美術史 155

第五六回全国大会研究発表要旨 バーミヤーン石窟と突厥の関係について

小山 満 " "

インド密教における葬送儀礼の一考察—『悪趣清浄タントラ』に基づく荼毘護摩儀軌を中心に—

川崎 一洋 仏教史学研究 46—2

集会樹にみられる宗教実践とイメージ

森 雅秀 金沢大学文学部論集 23

『幻化網タントラ』に見られる五秘密思想

川崎 一洋 密教文化 211

特集 絵解き—その意義と魅力 東アジアの絵解きとその周辺 チベットの絵解きの一例—女性行者シュンセブ・ジェツン・リンポチェのマニ語り

三浦 順子 国文学解釈と鑑賞 865

ピールーニーの『古代民族年代記』の挿絵における一考察—中国美術の影響とペルシア絵画史における位置付け—

門井 由佳 鹿島美術財団年報別冊 20

図像・文様

中国

論説・報告 中国古代の仙人の図像について

林 已奈夫 考古学雑誌 87—3

[特集] 東アジアの樹皮文化 中国 大興安嶺の狩猟民族の樺樹皮器物の装飾文様図録

岡田 陽一 自然と文化(季刊) 71

論文要旨《博士(課程)》文殊菩薩の研究—五台山・新様文殊を中心に—

孫 曉崗 美術史論集 3

「同心結」考

井上 豪 早稲田大学会津八一記念博物館研究紀要 4

日 本

院政期の北斗信仰と大江匡房—「江都督納言願文集」「北斗曼陀羅堂願文」を中心に—

李 育娟 国語国文 821

平安時代の折枝散らし文について

橋村 愛子 鹿島美術財団年報別冊 20

日輪の中の三本足の鶏の謎

澤田 文夫 史迹と美術 731

装飾意匠にみる東西交流—東漸と西漸の事例研究—(訳)第3章 シルクロードの異文化交流 正倉院の孔雀文—自然と奇態と極楽の表現

Bruce Darling 服部由紀子 訳 シルクロード学 18

縁起における霊性の象徴

築瀬 一雄 説話文学研究 38

境界の装置としての蝶鳥文様

山内麻衣子 美学論究 18

特集1 古代日本の道教・神仙思想 装飾古墳と神仙世界—蔵手文の謎を解く—

岡本 健一 東アジアの古代文化 116

第五六回全国大会研究発表要旨 天狗はどこから来たか—中国鬼神論からの位置づけ—

杉原たく哉 美術史 155

そ の 他

古代メソポタミアの舟：日常生活の船、「聖なる舟」、擬人化された舟

岡田 明子 古代オリエント博物館紀要 23

装飾意匠にみる東西交流—東漸と西漸の事例研究—第1章 イスラームの楽園思想とその造形的表現

杉村 棟 シルクロード学 18

装飾意匠にみる東西交流—東漸と西漸の事例研究—第2章 イスラーム世界の空想動物に見る中国の意匠：楽園思想との接点

ヤマンラール水野美奈子 " "

〈研究ノート〉古代エジプト文化形成期の一側面—前期青銅器時代パレスティナにおける古代エジプト文化の影響について—

大城 道則 古代文化 528

特集 絵解き—その意義と魅力 仏教説話画の東漸—時空を越えて広まった「仏伝図」—

林 雅彦 国文学解釈と鑑賞 865

蔵手文考—扶桑生命樹の森(1)

岡本 健一 人間文化研究 10

地図・絵図

日 本

中馬慣行と三州馬との紛争について—新資料「中馬街道図」を中心に—

小池 貞彦 飯田市美術館研究紀要 13

「宝暦火災以前の金沢城絵図」—竹下家文書所収「金沢城絵図」の分析—

濱岡 伸也 石川県立歴史博物館紀要 15

資料紹介「辰巳用水絵図」の基礎的考察

北 春千代 本康 宏史 小西 洋子 " "

一関藩領における村絵図—文化年間以降を中心に—

相馬美貴子 一関市博物館研究報告 6

〈資料紹介〉大谷家所蔵鋳造関係史料—江戸時代の高津周辺—

伊藤 純 大阪の歴史と文化財 12

日蓮の対外認識を伝える新出資料—安房妙本寺本「日本図」とその周辺—

坂井 法晴 金沢文庫研究 311

近世前期の争論絵図と裁許—関東地域における山論・野論を中心に—

宮原 一郎 金鯱叢書史学美術史論文集 30

【調査成果より】(1) 金沢城全域絵図目録

金沢城研究調査室 研究紀要金沢城研究 1

【資料紹介】「古より公儀江被上候御城絵図・御国絵図改申品々之帳」

" " "

国絵図の中の石見銀山・領内表現

鳥谷 芳雄 古代文化研究 11

齋宮歴史博物館所蔵「貞享四年 大嘗会悠紀主基廻立殿之物図」出御前催之図」所引「定世卿記」逸文考

加茂 正典 齋宮歴史博物館研究紀要 12

越前国坂井郡高串村東大寺大修多羅供分田図をめくって

奥野 中彦 続日本紀研究 342

シンポジウム〈村落史研究—歴史の基層〉近世絵図と地域景観—葛西用水絵図を事例に—

橋本 直子 駿台史学 117

旧高田村地引絵図に関する考察	伊藤 暢直	生活と文化	13	研究資料 南朝浮彫法華経変図と弥勒経変図	趙 声良 国 華	1298
千葉県白浜町における元禄汀線の再検討と村落景観の復元	笹生 衛	千葉県立安房博物館研究紀要	10	雷峰塔の宝篋印塔をめぐって	路 閣 秉傑 愛賓	734
「近江国菅浦与大浦下荘界絵図」の成立	奥野 中彦	日本歴史	657	唐代龍門石窟の地藏菩薩像	久野 美樹	女子美術大学研究紀要 33
「出雲大社并神郷図」は何を語るか—出雲国鎮守の主張—	佐伯 徳哉	"	662	鞆県石窟考	八木 春生	筑波大学芸術研究報告 41
口絵 日本沿海輿地図(伊能小図)	佐々木利和	"	667	北朝時代における葬具の図像と機能—石棺床囲屏の墓主肖像と孝子伝図を例として—	林 聖智	美術史 154
享保六年和州山辺郡三味田村乙木村附近地図を繞って	平井 良朋	ビブリア	120	山東省神通寺四門塔内の四仏について	村松 哲文	美術史研究 41
寄贈資料の紹介と研究—新出の文禄四年十一月二日付木下勝俊宛書と小浜城絵図を中心に—	有馬 香織	福井県立若狭歴史民俗資料館館報	H14年度	雲岡石窟曇曜五窟論—第十八窟本尊定光仏説の提起—	小森 陽子	仏教芸術 266
十七世紀中葉白峯銀山争論と論所のその後—絵図にみる国境・村境	阿部 俊夫	福島県歴史資料館研究紀要	25	雲岡第9・10窟の図像構成について	李 静傑	" 267
研究ノート 松浦武四郎「北海道国郡検討図」について	三浦 泰之 笹木 義友	北海道開拓記念館研究紀要	31	龍門石窟北魏後期諸窟についての一考察—520～530年代に開かれた石窟を中心として—	八木 春生	" "
京都代官小堀数馬による明和三年八月『御小物成場絵図』について	鳴海 邦匡	待兼山論叢	37	申生贅語—孝子伝図と孝子伝—	黒田 彰	密教図像 22
史料紹介 山口県地図史関係文献目録	河村 克典	山口県文書館研究紀要	30	中国墓葬における独角系鎮墓獣の系譜	吉村 菖子	MUSE-UM 583
歴史の証人 写真による収蔵品紹介 近世日本の世界図	青山 宏夫	歴 博	116	古代比丘像の着衣と名称—僧祇支・汗衫・偏衫・直裾について—	吉村 怜	" 587
朝鮮				雲岡中期石窟新論—沙門統曇曜の失脚と胡服供養者像の出現—	石松日奈子	" "
朝鮮肅宗三十四年描画入り『坤輿萬國全圖』攷	鈴木 信昭	史 苑	170	大和文華館の唐時代金銅板仏について—宮殿形平厨子と千仏	村田 靖子	大和文華 109
彫 塑				仏蹟仰慕と玄奘三蔵の将来仏像—七軀の釈迦像の意味をめぐって—	肥田 路美	早稲田大学大学院文学研究科紀要 48
中 国				日 本		
中国四川省出土阿育王像に関する調査研究—阿育王像説話の成立と南北朝時代の造像を中心に—	金子 典正	鹿島美術財団年報別冊	20	頭上に十の仏面をいただく千手観音像—日光山中禪寺波之利大黒天堂所蔵の千手観音立像をめぐって—	萩原 哉	青山史学 21
唐代龍門石窟の触地印阿弥陀像研究	久野 美樹	"	"	飯田市・開善寺の大鑑禪師(清拙正澄)坐像について	織田 顕行	飯田市美術博物館研究紀要 13
中国河北省南響堂山石窟における西方浄土変の研究	大西磨希子	"	"	能登の禪宗寺院に伝わる院派の仏像	本谷 文雄	石川県立歴史博物館紀要 15
初唐期の降魔成道像—龍門東山造像を中心に—	西林 孝浩	京都美学美術史学	2			

天照大神=大日如来 習合説をめぐって (上)	伊藤 聡	茨城大学 人文学部 文学 科論集	39	円覚寺蔵 仏光国師 坐像	清水 眞澄	"	"	
磨崖仏の保存調査一 研究ノート	山田 拓伸	大分県立 歴史博物 館研究紀 要	4	清雲寺蔵 観音菩薩 坐像	奥 健夫	"	1288	
大分法専寺・康成在 銘南無仏太子像をめぐ って	渡辺 文雄	"	"	元興寺蔵 薬師如来 立像	佐々木守俊	"	1294	
〈資料紹介〉『阿弥陀 池略縁記』について	鈴木 慎一	大阪の歴 史と文化 財	11	懸仏に現われた動物 表現	山下 立	滋賀県立 琵琶湖文 化館研究 紀要	19	
大念佛寺の迎講阿弥 陀如来立像	"	"	12	黄檗信仰史 四十 七〜五十三	江口 正尊	史迹と美 術	731〜 733、735、 737、739、 740	
比叡山延暦寺里坊等 所在・未指定彫刻調 査目録(上)(下)	寺島 典人 執筆、編集	大津市歴 史博物館 研究紀要	9、10	仏師通論(その四)一 史迹と美術七二七号 よりつづく	齊藤 孝	"	731	
慶派の造像活動の展 開について一天台と の関わりを中心に一	松岡久美子	鹿島美術 財団年報 別冊	20	静岡市・天羽衣神社 の懸仏と羽衣説話等 について(上)(下)	大塚 幹也	"	736、737	
運慶の二つの肩書を めぐって	根立 研介	京都美学 美術史学	2	石清水八幡宮に伝え られる銀製の太子像	小松 光江	聖 徳	177	
国立の石造地藏菩薩	濱中 秀子	くにたち 郷土文化 館	5	金沢・城下町の太子 像	"	"	178	
特集 橋本治がとこ ん語るニッポンの 縄文派と弥生派 縄 文弥生七番勝負 四 番円空対定朝	橋本 治	芸術新潮	646	出石町日野辺区伝聖 観音坐像について一 滋賀県伊吹町上野庵 寺大日如来坐像との 比較一	神戸 佳文	塵 界	14	
リレーエッセイ11 私の名宝物語 頂相 彫刻のまなざし	金子 啓明	国立博物 館ニユー ス	658	清凉寺の噂一『宝物 集』釈迦梅壇像譚を 起点として一	中川 真弓	説話文学 研究	38	
飛鳥大仏の制作地に 関する考察一ランド マークとしての『物 見岡』一	赤川 一博	古代文化	536	陸奥国分寺の不動明 王・毘沙門天・十二 神将	酒井昌一郎	仙台市博 物館調査 研究報告	23	
相模の仏像	清水 眞澄	国 華	1287	浄瑠璃寺九体阿弥陀 像の制作年代につい て	井上 英明	帝塚山大 学大学院 人文科学 研究科紀 要	4	
箱根神社蔵 萬巻 (満願)上人坐像	薄井 和男	"	"	新出・石山寺木造如 意輪観音坐像をめぐ って	井上 一稔	同志社大 学博物館 学年報	35	
宝城坊蔵 薬師如来 坐像	塩澤 寛樹	"	"	八幡神・女神像の手 勢と坐法についての 若干の覚書き一京都 府岩滝町・板列八幡 神社・女神坐像をて がかりに	長坂 一郎	東北芸術 工科大学 紀要	10	
宝樹院蔵 阿弥陀三 尊像	"	"	"	岐阜東別院所蔵 聖 徳太子勝鬘經講讀坐 像	奥出 賢治	名古屋市 博物館研 究紀要	26	
満願寺蔵 菩薩立 像・地藏菩薩立像	浅見 龍介	"	"	研究報告 飛鳥寺釈 迦三尊像の想像復元	花谷 浩	奈良文化 財研究所 紀要	2003	
曹源寺蔵 十二神将 像	"	"	"	東大寺西大門勅願八 天王像のうち金剛力 士の製作年代一松浦 正昭氏への反論一	奥 健夫	南都仏教	83	
円覚寺蔵 阿弥陀如 来及両脇侍菩薩立像	薄井 和男	"	"	歴史手帖 仏像の 「汗」	森 茂暁	日本歴史	658	
高德院蔵 阿弥陀如 来坐像(鎌倉大仏)	清水 眞澄	"	"	口絵 木造女神坐像	川瀬 由照	"	663	
大山寺蔵 不動明王 二童子像	津田 徹英	"	"					
善福寺蔵 親鸞聖人 像	"	"	"					

歴史手帖 法隆寺釈迦如来像および台座墨書銘の年代	大山 誠一	日本歴史	667	口絵解説 国宝唐招提寺金堂 東南隅鬼	田村 景子	文化財(月刊)	476
平成十四年度支部例会研究発表要旨 唐甲制の誤解的受容と天平甲制	石井 佳子	美術史	154	東京・金剛寺(高幡不動)不動明王像の解体修理と新知見	川瀬 由照	"	"
平成十四年度支部例会研究発表要旨 春日三宮・法服式地藏菩薩像について—生身地藏信仰と解脱房貞慶の周縁—	瀬谷 貴之	"	"	和歌山・金剛峯寺毘沙門天立像より発見された像内納入仏像	奥 健夫	"	"
第五六回全国大会研究発表要旨 浄瑠璃寺九体阿弥陀像考—一条院恵信造立の可能性について—	井上 英明	"	155	金剛山寺二天像の修理と新知見	神田 雅章	"	"
第五六回全国大会研究発表要旨 興福寺北円堂鎌倉再興造像について—解脱上人貞慶の関与と現南円堂四天王像の位置付けを中心に—	瀬谷 貴之	"	"	那比新宮信仰資料の新たな知見—懸仏を中心に—	雨森 久晃	"	"
法隆寺伝法堂西の間阿弥陀如来坐像の印相について	中野 聰	美術史研究	41	双身毘沙門天小像の諸相	村田 靖子	密教図像	22
都久夫須麻神社本殿の脇羽目彫刻について—都久夫須麻神社研究序説—	木村 展子	美術史論集	3	城陽市極楽寺阿弥陀如来立像について—仏師行快と快慶晩年の事績—	近藤 謙	"	"
特集 〈生と死〉と美術 II 東洋美術における〈生と死〉の表象 開山の木像は誰のために造られたか	根立 研介	美術フォーラム21	8	大將軍八神社神像群と神の表現	丸山 士郎	MUSE-UM	582
【資料紹介】福岡市志賀島 莊嚴寺の彫刻	末吉 武史	福岡市博物館研究紀要	13	[参考報告]携帯型簡易蛍光X線装置による大將軍八神社神像群の彩色分析結果について	和田 浩	"	"
安楽寿院不動堂本堂(北向不動)と仏師康助(下)	伊東 史朗	仏教芸術	266	ポータブル蛍光X線分析装置による大將軍八神社所蔵神像群の彩色材料調査	早川 泰弘 津田 徹英	"	"
〔口絵解説〕三重県の高木山	赤川 一博	"	"	日本古代における木彫像の樹種と用材観 II—八・九世紀を中心に—	金子 啓明 岩佐 光晴 能城 修一 藤井 智之	"	583
岡山・大賀島寺の本尊千手観音立像とその周辺	浅井 和春	"	267	水海道・無量寺の正安三年銘聖徳太子像	山本 勉	"	585
請来「本様」の写しと仏師(三)一白鳳期・国家的造像への過程と在銘像の検討(上)(下)一	紺野 敏文	"	269、270	特集 鎌倉禅道遺 禅僧の肖像	浅見 龍介	目の眼	322
源信造立の地藏菩薩像に関する新資料	奥 健夫	"	269	密教の異形像 双身毘沙門天	村田 靖子	"	323
〔作品紹介〕御調八幡宮の神像について	伊藤 史朗	"	"	兵庫県加古川市の教信寺木彫沙弥教信頭像について	齊藤 孝	大和文華	109
〔資料紹介〕九州の仏像(一)福岡市志賀島・莊嚴寺の聖観音菩薩像	末吉 武史	"	"	山梨県の中世石仏—塩山市延命院の十三仏—	坂本 美夫	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	19
〔資料紹介〕九州の仏像(二)熊本球磨郡・霧島神社の男神立像	有木 芳隆	"	270	資料紹介 市内寺院調査報告(仏像)	赤川 一博 堀越 上杉 田中 伸一	四日市市立博物館研究紀要	10
				仏像調査報告(東海の仏像展予備調査ノートから)承前	赤川 一博	"	"
				明治時代に於ける興福寺と什宝	藪中五百樹	立命館大学考古学論集	3
				一作品研究—高野山正智院の阿弥陀如来坐像	岩田 茂樹	鹿園雑集奈良国立博物館研究紀要	5

伝法院の大日如来坐像について—鎌倉時代後期・根来寺周辺の造営活動—	大河内智之	和歌山県立博物館研究紀要	9
天野・延命寺の仏像群—高野山膝下における平安時代の造像事例—	"	"	10
盧舎那大仏造立の意義について	大橋 一章	早稲田大学津八郎記念博物館研究紀要	4
修士論文概要 唐招提寺金堂三尊像について	真田 尊光	早稲田大学大学院文学研究科紀要	48
朝 鮮			
韓国における乾漆仏像—全羅南道竹林寺蔵の乾漆阿彌陀如来坐像について—	崔 恩頌	デアアルテ	19
〔資料紹介〕百濟金銅半跏思惟像について	久野 健	仏教芸術	269
統一新羅—高麗前期の石塔における四仏について—東面の円形持仏を執る如来像を中心に—	水野 さや	密教図像	22
軍守里鹿寺出土如来坐像に関する一考察	林 南壽	大和文華	109
そ の 他			
ボロブドゥール説話レリーフの制作過程	丹羽千代子	鹿島美術財団年報別冊	20
遺跡漫遊第10回 バイヨン修復活動における美術史学 巨大尊顔の新解釈	朴 亨國	建築雑誌	1507
祖霊像・精霊像の坐り方についての一考察—東南アジア多島海域の資料から—	吉田 裕彦	天理参考館報	16
バリ・ヒンドゥー寺院の神像について—パトゥラン・プサ寺院の事例報告—	山口しのぶ	密教図像	22
仏像出現ごろのタキシラ 層位と編年	桑山 正進	東方学	106
「舎衛城の神変」と大乘仏教美術の起源—研究史と展望—	宮治 昭	美学美術史研究論集	20
第五六回全国大会研究発表要旨 アマラーヴァティー欄楯の建造過程	島田 明	美術史	155
アジャンター第2窟後廊左右祠堂のヤクシャ像について—王朝とヤクシャ信仰をめぐる問題—	永田 郁	密教図像	22

「餓鬼をも救済する観音菩薩」の造形的な表現	朴 亨國	仏教芸術	270
波羅蜜(多)・到彼岸の最古の造形と仏像の起源—ガンダーラ仏教美術のいわゆる「非仏教的彫刻」の新解釈—	田辺 勝美	古代オリエント博物館紀要	23
「グデアの碑」について2～「杖を持つ神」～	小林登志子	"	"

土偶・埴輪

日 本			
久宝寺遺跡出土の土偶について	菊井 佳弥	大阪文化財研究	24
〈資料紹介〉館蔵埴輪資料について(3)—双脚立像人物埴輪の台部—	鈴木 直人	北区飛鳥山博物館研究報告	5
ひとりよがりのものさし 第46回 埴輪特集 橋本治がとことん語るニッポンの縄文派と弥生派 縄文弥生七番勝負 一番土偶対埴輪	坂田 和實	芸術新潮	637
〈図版解説〉史跡心合寺山古墳の葺石と埴輪列	橋本 治	"	646
摂津猪名川流域における前期古墳の埴輪とその系譜	吉田 珠己	古代文化	532
後期 中京土偶(北海道南茅部町著保内野遺跡)	廣瀬 覚	"	536
後期 大型土偶頭部(岩手県盛岡市科内遺跡)	鈴木 克彦	国 華	1293
晩期 大型遮光器土偶(青森県木造町亀ヶ岡遺跡)	藤沼 邦彦	"	"
〈資料報告〉武蔵埼玉稲荷山古墳出土の埴輪1	金子 昭彦	"	"
供養塚古墳出土埴輪について—砂礫観察結果を中心に—	若松 良一	埼玉県立さきたま資料館調査研究報告	16
多古町五十塚古墳出土の円筒埴輪	奥田 辻川 尚哲朗	滋賀県文化財保護協会紀要	16
館蔵東北縄文晩期の刺突文のある土偶 埴輪修理における発見	斎木 勝	千葉県文化財センター研究連絡誌	64
音の鳴る土偶(2)～「笛」という機能の可能性～	藤原 郁代	天理参考館報	16
	湯澤 健宏	文化財(月刊)	476
	野代 恵子	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	19

顔のない土偶	大野 薫	立命館大学考古学論集	3
「高柳型」土偶について	田邊 朋宏	" "	" "
柳井茶白山古埴の埴輪とその生産組織—異系統埴輪共存の意義をめぐって—	廣瀬 覚	" "	" "
面			
日 本			
豊川進雄神社の能人形面	飯塚恵理人	椋山女学文化情報学部紀要	2
泉屋博古館の面をめぐる近代	内海 靖子	泉屋博古館紀要	19
【資料紹介】黒田家ゆかりの能面	杉山未菜子	福岡市博物館研究紀要	13
書 蹟			
中 国			
黄庭堅の晩年	塘 耕次	愛知教育大学研究報告	52
『甲骨文編』における大文字域の分析	鈴木 敦	茨城大学人文学部紀要文学部論集	40
写経で用いる書体について	高井 恭子	印度学仏教学研究	103
ART NEWS 北宋三大、趙孟頫、そして王羲之 北米經由の恍惚を味わう		芸術新潮	642
〈抄訳〉ル・コックコレクションの5点のガンダーラ語文書	林 梅村 瀬川 敬也 抄訳 憲司 杉本 筆者紹介	古代文化	530
『孔子項託相問書』の世界—敦煌写巻の断簡一紙—俄羅斯科学院東方研究所聖彼得堡分所蔵『孔子項託相問書』断簡と京都大学内陸アジア研究所(羽田記念館)蔵『羽田亨博士収集西域出土文献写真』所収写真一葉との関係について—	牧野 和夫	実践国文学	63
明末清初の書法における異体字使用の風潮について(2)	白 謙慎 祁 小春 訳	書 論	33
特集 書史を貫く文字の力 顔真卿を極める 人物 顔真卿の素顔—その虚像と実像のはざままで—	氣賀澤保規	墨	160

特集 書史を貫く文字の力 顔真卿を極める 総論 中国書史における顔真卿	石田 肇	" "	" "
特集 書史を貫く文字の力 顔真卿を極める 行草書編 争座位帖	伊藤 滋	" "	" "
特集 書史を貫く文字の力 顔真卿を極める 行草書編 書論 顔真卿の行草書について	角井 博	" "	" "
特集 書史を貫く文字の力 顔真卿を極める 楷書編 解説 顔勤礼碑と顔書の源を探る	伊藤 滋	" "	" "
特集 書史を貫く文字の力 顔真卿を極める 楷書編 クロースアップ 顔真卿の現存する最初の楷書『郭虚己墓誌』について	井垣 清明	" "	" "
特集 書史を貫く文字の力 顔真卿を極める 破体書編 裴將軍詩	伊藤 滋	" "	" "
特集 書史を貫く文字の力 顔真卿を極める 破体書編 書論 顔真卿の破体書法	綾部 光洲	" "	" "
特集 書史を貫く文字の力 顔真卿を極める 破体書編 コラム 顔真卿と三大家—三過折筆の完成について—	魚住 和晃	" "	" "
保存版 早わかり中国書法史 第一回 文字のはじまり	赤井 清美 監修	" "	" "
保存版 早わかり中国書法史 第二回 股	"	" "	161
特集 書体シリーズ ①草書 楽しくマスターする草書 ガイダンス 起源から江戸の書までの変換がひと目でわかる 草書とは何か?—ビジュアル書道史・草書編—	須田 義樹	" "	162
特集 書体シリーズ ①草書 楽しくマスターする草書 論考 ① 新代の草書様式の典型 天鳳三・四年西域戦役簡	佐野 光一	" "	" "
特集 書体シリーズ ①草書 楽しくマスターする草書 論考 ② 『書譜』にまつわる謎と真相	谷村 雋堂	" "	" "
特集 書体シリーズ ①草書 楽しくマスターする草書 書論の広場 投稿 にじみを科学する(上)	和田 彩	" "	" "

保存版 早わかり中国書法史 第三回西周	赤井 清美 監修	"	"	平安仮名の鑑賞— 「書の名筆 高野切 と蘭亭序」展を振り 返って—	別府 節子	出光美術 館館報	123
特別寄稿 碑法帖存 疑『開通褒斜道刻石』 諸拓本比較考	伊藤 滋	"	"	第二二九回水曜講演 会て 芭蕉の書につい	古谷 稔	"	125
特集 没後120年 清朝の巨星趙之謙 趙之謙の書画篆刻	小林 斗盞	"	163	鎌倉時代後期の古筆 切資料—初期京極派 を中心に	別府 節子	出光美術 館研究紀 要	9
特集 没後120年 清朝の巨星趙之謙 鑑賞 趙之謙の書画 世界	田中 東竹 解説	"	"	称名寺本『十二神将 釈』について—翻刻 と解題—	向坂 卓也	金沢文庫 研究	310
特集 没後120年 清朝の巨星趙之謙 決定版・趙之謙年譜	鄒 濤 作成	"	"	筑後市彼岸田遺跡出 土の呪符木簡	小田 和利	九州歴史 資料館研 究論集	28
特集 没後120年 清朝の巨星趙之謙 趙之謙の系譜 知ら れざる北碑受容の推 進者たち	澤田 雅弘	"	"	徳川義直と寛永文化 人(続編)	佐藤 豊三	金鯉叢書 史学美術 史論文集	30
特集 没後120年 清朝の巨星趙之謙 私の知る趙之謙	叶 培貴	"	"	近世後期の江戸武家 歌壇に関する一考 察—色紙・短冊貼り 交ぜ手鑑帖『言葉の 林』をめくって—	並木 昌史	"	"
特集 没後120年 清朝の巨星趙之謙 今に伝える趙之謙の 思い	高木 聖雨	"	"	特集 橋本治がとこ とん語るニッポンの 縄文派と弥生派 縄 文弥生七番勝負 三 番定家対三十六人家 集	橋本 治	芸術新潮	646
特集 没後120年 清朝の巨星趙之謙 書論編 趙之謙の筆 法を探る—逆入平出 の歴史的意義と実 現—	"	"	"	海北若冲伝記資料— 「鈴木氏之家譜」影印 と解題—	信多 純一	国語国文	829
保存版 早わかり中国書法史 第四回東周	赤井 清美 監修	"	"	諸家売立目録所載一 休墨跡資料(三)—戦 後(上)—	岡 雅彦	国文学研 究資料館 文献資料 部・調査 研究報告	24
保存版 早わかり中国書法史 第五回秦・前漢・新	"	"	164	古代日本の書風試論	山口 香代	斎宮歴史 博物館研 究紀要	12
保存版 早わかり中国書法史 第六回後漢・三国・西晋・五胡十六国	"	"	165	(資料紹介)館蔵古筆 切三件と『近衛家熙 写手鑑』	平林 盛得	三の丸尚 蔵 館 年 報・紀要	8
鄭板橋の書画・篆刻	高畑 常信	東京学芸 大学紀要	54	(資料紹介)正倉院事 務所所蔵『正倉院御 物目録 十二(未修 古文書目録)』(三)	飯塚 剛彦	正倉院紀 要	25
論説 唐写本中の 「唐律」「唐礼」及びそ の他	栄 新江 森部 豊 訳	東洋学報	85—2	近代・現代の王羲之 の尊重	春名 好重	書 論	33
書誌学的観点から見た 敦煌写本と偽写本を めぐる問題	赤尾 栄慶	仏教芸術	271	明治時代における 書・篆刻の展覧会	伊藤 隆夫	"	"
圓悟克勤の墨蹟	田中 博美	松ヶ岡文 庫研究年 報	17	資料紹介 松田雪柯 東都日記(4)	杉村 邦彦、 鈴木 洋保、 後藤 芳川、 堀 久夫 編	"	"
東坡「黃州寒食詩卷」 と宋代士大夫	近藤 一成	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	48	【日本の書文化二十 三】和漢任意に筆を もてなす	松岡 正剛	墨	160
日本				特集 世紀のライバ ル最澄と空海 書論 最澄と空海の書	綾部 光洲	"	161
再出の江漢書簡 銅・石版画遺聞14	森 登 一 寸		16				

特集 世紀のライバル最澄と空海 観賞久隔帖(国宝)一弘仁四年(八一三年)一	綾部 光洲 解説	墨	161	特集 西行と西行風のかな 書論 冷泉家時雨亭文庫最新調査報告 冷泉家の古典籍と伝西行筆私家集類	田中 登	"	"
特集 世紀のライバル最澄と空海 観賞入唐牒(国宝)一唐曆貞元二十一年(八〇五年)一	"	"	"	特集 西行と西行風のかな 書論 伝西行筆のかな古筆	高城 弘一	"	"
特集 世紀のライバル最澄と空海 観賞最澄将来目録(越州録)(国宝)一唐曆貞元二十一年(八〇五年)一	"	"	"	特集 西行と西行風のかな 論考 一条摂政集の書風の展開	横山 煌平	"	"
特集 世紀のライバル最澄と空海 観賞最澄筆空海請来目録(国宝)一大同一年(八〇六年)以降一	"	"	"	書論の広場 投稿 木食応其の書一“自筆”と“写し”と一	増田 孝	"	"
特集 世紀のライバル最澄と空海 観賞最澄筆空海請来目録(国宝)一大同一年(八〇六年)以降一	"	"	"	書論の広場 投稿 新出「本願寺兼輔集切」考	高城 弘一	"	165
特集 世紀のライバル最澄と空海 観賞羯磨金剛目録(国宝)一弘仁二年(八一一年)一	"	"	"	書論の広場 本願寺三十六人家集『躬恒集』は寄合書か	埴原 幸枝	"	"
特集 世紀のライバル最澄と空海 観賞天台法華宗年分縁起(国宝)一弘仁九年(八一八年)以降一	"	"	"	研究報告 平安宮第91次調査出土木簡の再調査	市 大樹	奈良文化財研究所紀要	2003
特集 世紀のライバル最澄と空海 論考最澄書の魅力を探る 清澄な韻致そこには義之の香りが	高橋 蒼石	"	"	口絵 彩牋墨書古今和歌集卷第十三残巻	藤本 孝一	日本歴史	656
特集 世紀のライバル最澄と空海 コラム 三筆と最澄	"	"	"	史料散歩 評制下の地方支配と冷制国の成立時期一飛鳥京跡第一四七次調査出土木簡に接して一	森 公章	"	657
特集 世紀のライバル最澄と空海 Close-up 空海の飛白体「真言七祖像賛」の筆順精査 クロスオーバーする書体の独創	岡本 光平	"	"	研究余録 徳敷の墨蹟	西尾 賢隆	"	659
緊急寄稿 検証『末松青萍博士売立』目録に「香紙切」は二葉存在するか	高城 弘一	"	"	研究余録 本間美術館所蔵「名月記」断簡について一建仁元年正月朝観行幸	井原今朝男	"	660
特集 没後120年 清朝の巨星趙之謙 書論 我が国における趙書の受容	田中 東竹	"	163	織田信長「麟」字型花押の含意	石崎 健治	"	664
書論の広場 投稿 にじみを科学する(下)「膠」を使ったにじみ作品をプロのようにつくりたい!	和田 彩	"	"	《研究ノート》野村美術館所蔵「多賀切」について	日比 信子	野村美術館研究紀要	12
特集 西行と西行風のかな 鑑賞[西行真跡と伝西行のかな]	高城 弘一	"	164	《史料紹介》金森宗和の書状	谷 武田 晃 清明	"	"
特集 西行と西行風のかな 総論 伝西行筆のかな	名児耶 明	"	"	第五六回全国大会研究発表要旨 兵庫県太山寺所蔵『大吉祥陀羅尼經・宝賢陀羅尼經』の制作年代に関する考察一元朝の宗教政策と関連して一	大原 嘉豊	美術史	155
				新収蕪村自筆「取句法」について一蕪村筆蹟私見一	牛見 正和	ビブリア	120
				菅茶山宛小寺清先書状一黄葉夕陽文庫の菅茶山宛文人書状(2)一	花本 哲志 古文書資料整理ボランティア協力	広島県立歴史博物館研究紀要	7
				《新発見》後鳥羽院若き日の歌一付 写し三巻古筆資料一	池田 和臣	文学	4-1

紙背文書	池田 寿	文化財 (月刊)	476	独孤信石炭製多面体 印と独孤信の後裔た ち一付、中国出土ビ ザンチン金貨表—	秋山 進午	大手前大 学人文科 学部論集	3
口絵解説 国宝 拾 遺愚草上中下／自筆 本	藤本 孝一	"	477	隋・唐初期の独孤氏 と八柱国問題再考— 開皇二十年「独孤羅 墓誌」を手がかりと して—	山下 将司	学術研究	51
日本の書における 「名筆」の概念—「高 野切」、「蘭亭序」を めぐって—	笠嶋 忠幸	"	"	周亮工と『印人伝』	福本 雅一	学 叢(京 都国立博 物館)	25
江戸化政期の粹人、 文人たち(37)(亀田 鵬斎)艶やかな自戒 の書	渥美 國泰	目の眼	316	短期集中連載 北魏 光州青州摩崖刻石、 八七〇年来の誤説を 正す。鄭道昭は書者 ではなかった！ 一 「草」字未刻鄭義下碑 考	表 立雲 墨		160
江戸化政期の粹人、 文人たち(42)(亀田 鵬斎)鵬斎筆「南泉斬 猫偈」	"	"	326	短期集中連載 北魏 光州青州摩崖刻石、 八七〇年来の誤説を 正す。鄭道昭は書者 ではなかった！ 二 北魏天柱山・雲峰 山・大基山・百峰山 の摩崖刻石	"	"	161
【特集】日本文化の境 界と交通—2001年国 際シンポジウムの記 録—(第4セッション： 絵画と文字)文字と 境界	パスカル・ グリオー	立教大学 日本学研 究所年報	2	ギャラリー 皇甫驎 墓誌銘 北魏・延昌 四年(五一五)	木雞 室蔵	"	"
古代木簡と地域社 会—総説にかえて—	亀谷 弘明	歴史評論	643	短期集中連載 北魏 光州青州摩崖刻石、 八七〇年来の誤説を 正す。鄭道昭は書者 ではなかった！ 三 北魏光州青州摩崖刻 石拓本比較(鳥の目)	表 立雲	"	162
国宰、国司制の成立 をめぐる問題—徳島 県観音寺遺跡出土土 木簡に接して—	森 公章	"	"	特 集 没後120年 清朝の巨星趙之謙 印の真贋について	和中 簡堂	"	163
律令国家の蝦夷政策 と古代越後国—近年 の越後国木簡の検討 から—	相沢 央	"	"	特 集 没後120年 清朝の巨星趙之謙 趙之謙の篆刻 生 成—熟達のプロセス	"	"	"
加賀郡勝示札と在地 社会	鈴木 景二	"	"	コラム 趙之謙の遺 した珍品 愛すべき 小冊「華延年室吉金 小品」	清水 松塙	"	"
歴博対談 第44回 深まる正倉院文書の 研究	杉本 一樹 吉岡 眞之	歴 博	117	短期集中連載 北魏 光州青州摩崖刻石、 八七〇年来の誤説を 正す。鄭道昭は書者 ではなかった！ 最 終回 北魏光州青州 摩崖刻石書き癖違 いの発見=書者複数 (虫の目)	表 立雲	"	"
大宰府貢綿木簡の再 検討	金山まど加	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	48	特別寄稿 表立雲 「鄭道昭は書者では なかった！」への反 響 鄭道昭は書家で はなかった—鄭道昭 研究一斑—	伊藤 文生	"	164
朝鮮・その他				特集 最新版 篆刻 の楽しみ 鑑賞 西 治印社の魁となる篆 刻家たち 西冶八家 の集う扇面	"	"	165
〈資料紹介〉太山寺所 蔵の高麗国王発願金 字写経	松林 宏典	神戸市立 博物館研 究紀要	19				
ニヤ遺跡出土のカ ローシュティ—文 『温室洗浴衆僧経』残 巻の考察(一)—	林 梅村	仏教大学 文学部論 集	87				
金石文など							
中 国							
特集 中国の虚像と 実像 大清帝国と伝 国の罅	岩井 茂樹	アジア遊 学	56				
金石文献による中国 華嚴宗の研究(二)	織田 顕祐 編	大谷大学 真宗総合 研究所研 究紀要	20				

特集 最新版 篆刻の楽しみ 祝百年西泠100周年を迎える篆刻の殿堂西泠印社	陳 振濂 二宮 靖之 訳	墨	165
特集 最新版 篆刻の楽しみ 西泠印社早期社員篆刻名品選	松村 一徳	"	"
上海博物館新収『祖本・宋拓淳化閣帖』について	伊藤 滋	"	"
大趙神平二年「王真保墓誌」について—十六国北朝時期における「匈奴」の側面—	梶山 智史	駿台史学	119
学術を趣旨とする—西泠印社社史研究二題	陳 振濂	中国近現代文化研究	6
呉昌碩の論書—石鼓文	松村 茂樹	"	"
王同愈論唐碑(下)	弓野 隆之	"	"
[資料紹介]明末清初教派系宝巻の版本について	磯部 彰	東北アジア研究	7
批評と紹介 周紹良・趙超主編 唐代墓誌彙編續集	齋藤 勝	東洋学報	85—1
玄宗御製碑自鳴考—中国王権と怪異—	戸田 靖久	"	85—3
明代における法帖の刊行と蘇州文氏一族	増田 知之	東洋史研究	62—1
漢碑考—かたちと意匠をめぐって—	濱田 瑞美	美術史研究	41
「東西印章史論序説」—中国の印章とシルクロードの印章とオリエントの印章—	久米 雅雄	立命館大学考古学論集	3
水野疎梅と福岡の碑誌	横田 恭三	跡見学園女子大学文学部紀要	36
史料紹介 徳島県立図書館蔵『那須湯津上碑』について—木村兼葎堂の金石文研究の一齣—	伊東 純	大阪歴史博物館研究紀要	2
金毘羅碑をもとめて(七)〜山寺への道／二口街道を歩く〜	野口 一雄	ことひら	58
「瀧津経一千部読誦碑記」碑と中慶雲	嘉津山 清	埼玉史談	275
漢委奴国王印は光武帝が下賜した印か?—廣陵王璽との技術的距離を考える—	鈴木 勉	書 論	33
千葉県内における板碑研究の現状と課題	斎木 勝	千葉県文化財センター研究連絡誌	65

日 本

新指定重文・寛永寺蔵『天海版一切経木活字』について	水上 文義	天台学報	45
小樽市における川裾神社の石碑について	舟山 直治	北海道開拓記念館研究紀要	31
中世・九州の梵鐘銘文に現れた「日本」—表記率と件数の検討から—	湯川 紅美	梵 鐘	16
かつらぎ町上天野の建治二年銘板碑について	木下 浩良	和歌山県立博物館研究紀要	10

朝 鮮

日本・東洋美術の見方が変わる 楽しくなる 誌上ギャラリー・トーク11 広開土王碑—「教科書の日本史」再検証	谷 豊信	国立博物館ニュース	659
新羅・蔚珍鳳坪碑の「教事」主体と奴人法	武田 幸男	朝鮮学報	187
好太王(広開土王)碑と朝鮮式山城	藤田 友治	東アジアの古代文化	115
契丹国(遼朝)道宗朝の政治史に関する一考察—慶陵出土の皇后哀冊の再検討—	武田 和哉	立命館大学考古学論集	3
余滴 いままた「辛卯年」条を考える	武田 幸男	歴史と地理	561

そ の 他

アッシリア王碑文における海の名称	山田 恵子	オリエン	45—2
アヒラム碑文とアジタワッダ碑文	酒井 龍一	文化財学報	21

工芸(一般)

中 国

[特集]蠟燭 中国伝統のろうそく文化	孫岡田 建君 訳	自然と文化(季刊)	72
--------------------	-------------	-----------	----

日 本

丸子船の横断面が語ること	牧野 久美	史 学	72—3・4
特集1 古代日本の道教・神仙思想 卑弥呼の鬼道と神仙思想	大和 岩雄	東アジアの古代文化	116
滋賀県野洲町域における唐箕の変遷	井出 努	野洲町立歴史民俗資料館研究紀要	10
[コラム]徳川治宝の雅楽器コレクション	水野 僚子	歴 博	117
[特集]胎動する歴史学 音 音楽文化と音楽考古学	山田 光洋	"	"

そ の 他

東南アジアの漆工・金工遺品一わが国の遺品との関連において—	関根 俊一	帝塚山芸術文化	10
-------------------------------	-------	---------	----

宗 教 工 芸

日 本

前沢町寺ノ上経塚の測量調査報告	三浦 謙一 女鹿 潤哉 日下 和寿	岩手県立博物館研究報告	20
東日本の経塚の地域性	村木 二郎	国立歴史民俗博物館研究報告	108
上野国長楽寺の五鈷鈴	近藤 昭一	史迹と美術	740
南金目琉球山出土の経筒について	原田 典子	自然と文化(平塚市博物館)	26

平成十四年度支部例会研究発表要旨 玉虫厨子における宗教観	曾布川直子	美術史	154
------------------------------	-------	-----	-----

特集 〈生と死〉と美術 II 東洋美術における〈生と死〉の表象 生きている遺骨「舍利」如法愛染王法を中心に	内藤 榮	美術フォーラム21	8
---	------	-----------	---

特集 坪井良平 未発表遺稿 第一篇 無紀年銘鐘雑考	坪井 良平	梵 鐘	15
---------------------------	-------	-----	----

特集 坪井良平 未発表遺稿 第三篇 訪鐘記一昭和二十五年～昭和五十五年	"	"	"
-------------------------------------	---	---	---

特集 坪井良平 未発表遺稿 第四篇 和鐘と朝鮮鐘について	"	"	"
------------------------------	---	---	---

[原典研究]本邦梵鐘説	伊東 忠太	"	16
-------------	-------	---	----

鳥取市本願寺の梵鐘	坪井 良平	"	"
-----------	-------	---	---

室町初頭と判明した寺原八幡神社鐘	米田 仁	"	"
------------------	------	---	---

摂津佛眼寺鐘の祖形	斉藤 善夫	"	"
-----------	-------	---	---

[文字の技術史あれこれ]二 蘭溪道隆の建長寺鐘銘と物部重光の立体へら押し陽鑄銘	鈴木 勉	"	"
---	------	---	---

梵鐘の話(六)島根県木次町 西善寺鐘	杉山 洋	"	"
--------------------	------	---	---

鎌倉梵鐘紀行4 本覚寺	鈴木 重六	"	"
-------------	-------	---	---

山梨・本国寺所蔵推定康永四年銘孔雀文馨について	加島 勝	MUSE-UM	587
-------------------------	------	---------	-----

みるも語るもまた楽し その 88 SARS のこと、そして形の美しい経筒ひとつ	工藤 吉郎	目の眼	323
---	-------	-----	-----

五輪塔の成因・形成・日本展開—Saito Printにみる斎藤彦松氏の到達点—	小林 義孝	立命館大学考古学論集	3
---	-------	------------	---

仏教建築荘厳具としての絃楽器について—箏篋と風箏を中心に—	中安 真理	早稲田大学大学院文学研究科紀要	48
-------------------------------	-------	-----------------	----

そ の 他

海のシルクロードからみたベトナム中部・南部の考古学的研究 IV部 論攷篇 第3章 ホイアン歴史博物館の梵鐘	杉山 洋	シルクロード学	15
---	------	---------	----

舍利の奉安	井上 陽	印度学仏教学研究	102
-------	------	----------	-----

武 具 ・ 馬 具 類

日 本

鍬形についてのメモ—小樽市博物館保管鍬形実測図の報告—	石川 直章	小樽市博物館紀要	16
-----------------------------	-------	----------	----

日輪をあらわす長鳥帽子形兜について	古川 元也	神奈川県立博物館研究報告	29
-------------------	-------	--------------	----

剣菱形杏葉の形態に関する研究ノート	尼子奈美枝	元興寺文化財研究所研究報告	2002
-------------------	-------	---------------	------

上州甲冑師の基礎的研究(六)—上州住則重、重信、房宗、越後国村松、上州住成重について—	平野 進一 永田 仁志	群馬県立歴史博物館紀要	24
---	----------------	-------------	----

百舌鳥大塚山古墳出土短甲残欠付着繊維調査	吉松 茂信	堺市博物館報	22
----------------------	-------	--------	----

館収蔵・百舌鳥大塚山古墳出土の資料について	樋口 吉文	"	"
-----------------------	-------	---	---

特集：古墳時代後期の鉄鏃 第二章 静岡県の鉄鏃集成 10 中期古墳の鉄鏃	大谷 宏治	静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要	10
--------------------------------------	-------	-------------------	----

特集：古墳時代後期の鉄鏃 第三章 論考 副葬鉄群への指向	田村隆太郎	"	"
------------------------------	-------	---	---

特集：古墳時代後期の鉄鏃 第三章 論考 後期古墳に副葬される特殊鉄鏃の系譜	鈴木 一有	"	"
---------------------------------------	-------	---	---

特集：古墳時代後期の鉄鏃 第三章 論考 静岡県出土の胡録・鞍金具について	菊池 吉修	"	"
--------------------------------------	-------	---	---

特集：古墳時代後期の鉄鍬 第三章論考 静岡県内の飾り弓について—両頭金具をもつ被葬者の性格—	井鍋 譽之	静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要	10	【特集】毛利家と茶の湯 毛利家伝来の茶道具	小田 陽子	" "	
特集：古墳時代後期の鉄鍬 第四章 総括	佐藤 達雄	" "	"	茶の湯考古学・遺跡と茶道具 堺環濠都市遺跡①②	續 伸一郎 赤沼 多佳 協力	"	695、696
中期古墳における副葬鉄の特質	鈴木 一有	帝京大学山梨文化財研究所研究報告	11	茶人と香 茶と香の関わり	米田 該典	"	695
長野市飯綱社古墳出土の鉄鍬—未報告資料の紹介—	風間 栄一	" "	"	二つの木地扇形香合をめぐって—玄々斎宗室と徳川齊荘・蜂須賀齊裕兄弟との交友—	小池 富雄	" "	
特集 古代日本の鉄古墳時代に前期における鉄器生産の諸問題	村上 恭通	東アジアの古代文化	114	【特集】茶の湯のなかの漢詩 茶道具にみる漢詩散歩	目片 宗広	"	696
今月のエッセイ 刀と鉄砲—日本人の主武器はなんだったか	鈴木 眞哉	百 科 (月刊)	493	【特集】茶の湯のなかの漢詩 漢詩に親しんだ茶人たち	山田 哲也	" "	
弥生時代の飾り—いわゆる有椀形角製品について—	藤井 整	立命館大学考古学論集	3	【特集】女性と茶をめぐって『刀自快』にみる女性の茶の湯	谷端 昭夫	"	697
鉄錆地雑賀鉢兜(重要美術品)	太田 宏一	和歌山市立博物館研究紀要	17	茶の湯考古学・遺跡と茶道具 豊臣氏大坂城の大名屋敷跡から	森 毅 赤沼 多佳 協力	"	
朝鮮・その他				茶の湯考古学 遺跡と茶道具 大坂・船場の町屋跡から	"	"	698
古墳時代中期における日韓鉄鍬の一樣相	水野 敏典	帝京大学山梨文化財研究所研究報告	11	実践と基礎知識 会記を彩る工芸作家[大橋莊兵衛・大樋長左衛門・尾形周平]	"	"	
特輯 北アジア考古学の最前線(1)北東アジアの石刃鉄石器群—地域間比較に関する一考察—	高倉 純	古代文化	536	【特集】数寄の大名・酒井宗雅 酒井宗雅と茶の湯	谷 晃	"	699
特集：西アジアの動物 西アジアの馬面	巽 善信	西アジア考古学	4	茶の湯考古学 遺跡と茶道具 戦国大名・越前朝倉氏の城下町跡から	南 洋一郎 赤沼 多佳 協力	"	
茶 道 具				特集 釜に魅せられた人びと 茶の湯釜のコレクション	原田 一敏	"	700
日 本				茶の湯考古学 遺跡と茶道具 一乗朝倉氏遺跡の茶道具	南 洋一郎 赤沼 多佳 協力	"	
信長茶会の政治的意図再考	田中 秀隆	金鍼叢書 史学美術史論文集	30	茶人と香 茶道と香道の分離	米田 該典	"	
古田重然と織部	徳川 義宣	" "	"	道具がたり、人がたり 本能寺の謎	近藤 道生	"	701
「唐物数寄」の美意識	水尾比呂志	国 華	1292	茶の湯考古学 遺跡と茶道具 小田原北条氏最大の支城 八王子城跡	戸井 春夫 赤沼 多佳 協力	"	
日本美術史における茶の湯	依田 徹	" "	"	茶人と香 嵯峨天皇と茶香	米田 該典	"	
翻刻『御茶會記』(上)	両角かほる	泉屋博古館紀要	19	【特集】稽古のかたちとところ 茶の湯における稽古の歴史—仙叟宗室の稽古風景を中心に—	熊倉 功夫	"	702
【特集】毛利家と茶の湯 毛利重就の茶の湯	柴原 直樹	淡 交	695				

道具がたり、人がたり 曜変天目と春日局	近藤 道生	"	"	「春の茶会」—根津美術館の茶道具—	吉岡 明美	"	"
茶の湯考古学 遺跡と茶道具 八王子城跡～発掘品と採取品との質の違い～	戸井 春夫 赤沼 多佳 協力	"	"	口絵・表紙図版解説	西田 宏子	"	"
茶の湯考古学 遺跡と茶道具 東海の巨鎮、清須城と城下町の茶陶～前期～	鈴木 正貴 赤沼 多佳 協力	"	703	仙台伊達家の売立に見る茶道具	小田 榮一	"	606
実践と基礎知識 会記を彩る工芸作家 [亀井味楽・川瀬表完・川端近左]	"	"	"	「目利之書」から	中野 多里	"	"
香合を楽しむ 香合を知る	目片 宗弘	"	704	石川県立美術館開館二〇周年記念「畠山記念館名品展—茶道美術を中心に—」より	南 俊英	"	607
香合を楽しむ 香合の種類と変遷	赤沼 多佳	"	"	続「目利之書」から	中里 多里	"	"
香合を楽しむ 香合番付と諸役および上位香合—数寄者が知恵を集結した形物香合のランク付けと呼称の統一—	小田 達也	"	"	前田利家と茶道	上坂 信子	富山市箕 牛人記念 美術館館 報	12
香合を楽しむ 茶匠の好んだ香合	鈴木 皓詞	"	"	《翻刻》野村得庵茶会記(五)	野村美術館 学芸部	野村美術 館研究紀 要	12
香合を楽しむ 楽焼の香合—個性豊かな歴代の技—	楽吉左衛門	"	"	茶会における季節感の誕生	宮嶋 幸子	美学芸術 学	18
【特集】茶の名残、名残の茶趣 名残の茶趣と取り合わせ	菱本 芳明	"	705	みるも語るもまた楽し その82 一つでも若くなりたい、そして乾山茶碗ひとつ	工藤 吉郎	目 の 眼	317
茶の湯考古学 遺跡と茶道具 東海の巨鎮、清須城と城下町の茶陶～後期～	鈴木 正貴 赤沼 多佳 協力	"	"	物に執して(四四)	鈴木 皓詞	"	"
実践と基礎知識 会記を彩る工芸作家 [川本光春・岸一閑・北大路魯山人]	"	"	"	みるも語るもまた楽し その83 春の夜、斗々屋茶碗をさかなに	工藤 吉郎	"	318
茶の湯考古学 遺跡と茶道具 江戸期の城郭、名古屋城三の丸遺跡	水野 裕之 赤沼 多佳 協力	"	706	みるも語るもまた楽し その84 薬疹のこと、そして今月は備前の水指	"	"	319
実践と基礎知識 会記を彩る工芸作家 [吉向十三軒・清水六兵衛・楠部彌次]	"	"	"	特集 仕覆と茶道具の素敵な出会い	鈴木 皓詞、 飯田 國宏 対談	"	320
茶の湯考古学 遺跡と茶道具 名古屋城の城下町から出土する茶道具	水野 裕之 赤沼 多佳 協力	"	707	特集 鎌倉禅逍遙 鎌倉の禅院の茶	今井 敦	"	322
茶人と香 利休に至るまでの茶と香	米田 該典	"	"	特集 歳の暮れのお茶事をおもう	柴山 笑庵	"	327
実践と基礎知識 会記を彩る工芸作家 [久世久宝・栗田元竺・酒井田柿右衛門]	"	"	"	そ の 他			
口絵・表紙図版解説	赤沼 多佳 清水 実	陶 説	599	特別展「東南アジアの茶道具」を終えて 茶道具にみる南蛮焼締め陶—	赤沼 多佳	陶 説	599
「国宝 藤壺と所蔵茶の湯の道具展」より	河野 泰典	"	600	装身具・化粧具			
				中 国			
				李静訓墓出土首飾り	石渡 美江	古代オリ エント博 物館紀要	23
				日 本			
				巻頭特集 「遊び」の創造力 こだわりの遊び心 鐘、印籠、根付		ア ー ト ト ッ プ	190
				初代飯塚桃葉の蒔絵作品(その1)—印籠二合と脇息一基—	永島 明子	学 叢(京 都国立博 物館)	25

晩期 土製大型耳飾
り(群馬県桐生市千
網谷戸遺跡) 今村 啓爾 国 華 1293

研究ノート 江戸極
初期における下駄の
変容 一六世紀末か
ら一七世紀初頭にお
いて 今野 春樹 史 苑 171

物に執して(四三) 鈴木 皓詞 目の眼 316

根付の意匠(十)「注
連飾に鼠」 吉田ゆかり " " 317

根付の意匠(十一)
「未(ひつじ)」 " " 318

根付の意匠(十二)
「白澤(はくたく)」
「件(くだん)」 " " 319

多彩で楽しい印籠
清水三年坂美術館蔵
のシャンプーコレク
ションより 村田 理如 " 320

根付の意匠(十三)
「太田道灌 山吹・
笠の雪」 吉田ゆかり " 322

根付の意匠(十四)
「筑摩祭(鍋被り)」 " " 324

根付の意匠(十五)
「赤松子」 " " 326

特集 素材で楽しむ
根付 " " 326

特集 素材で楽しむ
根付 古文獻にみる
貴重素材の入手ルー
ト " " 326

特集 素材で楽しむ
根付 根付の珍しい
素材いろいろ " " 326

特集 素材で楽しむ
根付 珍しい根付の
素材を使った彫師 " " 326

特集 素材で楽しむ
根付 ジョゼフ・
カースティンコレク
ションより " " 326

朝鮮・その他

三燕における帯金具
の新例をめぐる 藤井 康隆 立命館大
学考古学 3

中世・東アジアにお
ける隣国の行き来—
明皇帝から琉球国王
への勅封下賜を通じ
て— 孫 薇 国際日本
学 1

文房具

中 国

【日本の書文化二十
五】文房四宝に「和」
はあるか 松岡 正剛 墨 163

【日本の書文化二十
六】「照り」と「起り」
の文房具 " " 164

連載 文房四宝の話 北畠 雙耳 目の眼 316
12 五客図墨 北畠 五鼎

連載 文房四宝の話 " " 317
13 落花硯

連載 文房四宝の話 " " 318
14 猫書鎮

印石趣味 強さと品 太田 博史 " "
格を賞でる

連載 文房四宝の話 北畠 雙耳 " 319
15 印章四顆 北畠 五鼎

連載 文房四宝の話 " " 320
16 十八学士墨

連載 文房四宝の話 " " 322
18 羅漢像筆架

中国文人が愛した文 外山 潔 " "
房具 清雅な日常を
いろうった道具と飾
り

連載 文房四宝の話 北畠 雙耳 " 323
19 染付水盂 北畠 五鼎

連載 文房四宝の話 " " 324
20 靈璧石硯山

連載 文房四宝の話 " " 325
21 甕竜硯

連載 文房四宝の話 " " 326
22 竹根墨床

日 本

尾張藩御用紙漉(第 河野 徳吉 百万塔 114
八回)第五章 御用
紙漉技術秘伝・系譜

『延喜式』にみられる 平田 真澄 " "
「苦参紙」に関する研
究

尾張藩御用紙漉(第 河野 徳吉 " 115
九回)御用紙漉職年
表

飛騨紙の文化史(一) " " 116

紀元前に生まれた筆 西川 嘉廣 " "
記具—「葦ペン」の歴
史

《資料紹介》広島県三 和田 崇志 広島県立
次市三次町旭堤出土 歴史民俗
の円面硯 資料館研
究紀要 4

印材の美 静嘉堂文 編集 部の眼 321
庫美術館コレクショ
ンより

装潢・料紙装飾

中 国

連載 文房四宝の話 北畠 雙耳 目の眼 327
23 花卉図詩箋 北畠 五鼎

日 本

文化財修理に使われ 小嶋 義雄 田原の文 29
る和紙 表具に使わ
れる和紙について 化

陶 磁		中 国		特 集 机 上 の ア ン テ ィ ー ク 目 で あ そ び 手 で な ご む 昔 日 の ミ ニ チ ュ ア 動 物 中 国 ・ 安 南		浦 上 満 談 目 の 眼		316
館蔵品紹介 魚缸雑 考—染付体験教室で の小学生の指摘に応 えて—	金沢 陽	出光美術 館館報	125	中国やきもの紀行11 【古越と甌窯】陶窯の 歴史時代のはじまり	水上 和則	" "	" "	
明代前期景德镇官窯 磁器の規範—当館所 蔵の規範の一部を避 けた龍文官窯製品の 存在意義について	"	出光美術 館研究紀 要	9	中国やきもの紀行12 【漢魏の明器】漢から 北朝の灰陶俑像	"	"	"	317
中国・耀州窯青瓷の 系譜的研究	森 達也	鹿島美術 財団年報 別冊	20	中国やきもの紀行 13、14 【白瓷のは じまり(1)(2)】雑 じり気のない瓷器	"	"	"	318、319
ART NEWS 中国 官窯が育んだ「青い 花」	西村 康彦	芸術新潮	643	中国やきもの紀行15 【唐三彩】貴人の華麗 な明器	"	"	"	321
汝窯青磁水仙盆	出川 哲朗	国 華	1297	中国やきもの紀行16 【甌窯と越窯】透きと おった釉に硬い素地	"	"	"	322
試論 五代黄堡窯青 磁の成果と性格	王 小蒙 加藤 瑛二	陶 説	599	特集 観て使う、古 染付	編 集 部	"	"	323
汝官窯窯址瑤瑤見聞 記(上)(下)	長江 惣吉	"	599、600	特集 観て使う、古 染付 盛る	"	"	"	"
「建盞」原料取りばな し	"	"	601	特集 観て使う、古 染付 観る	浦上 満	"	"	"
中国・青瓷ものがた り(14)—秦・西漢時 代の原始青瓷2—	森 達也	"	"	中国やきもの紀行17 【越窯秘色瓷その1】 法門寺出土の秘色碗	水上 和則	"	"	"
中国・青瓷ものがた り(15)—東漢時代の 原始青瓷—	"	"	602	中国やきもの紀行18 【越窯秘色瓷その2】 貢窯の秘色瓷碗	"	"	"	324
中国・青瓷ものがた り(16)青瓷の完成— 東漢時代の青瓷1—	"	"	603	物に執して(五一)	鈴木 皓詞	"	"	"
皇帝を魅了したうつ わ—中国景德镇窯の 名宝—	金沢 陽	"	604	中国やきもの紀行19 【匣鉢】生産規模を拡 大した窯詰法	水上 和則	"	"	325
中国・青瓷ものがた り(17)—東漢時代の 青瓷2—	森 達也	"	"	中国やきもの紀行20 【龍窯】量産を可能に した南方窯	"	"	"	326
中国・青瓷ものがた り(18)—東漢時代の 青瓷3—	"	"	605	中国やきもの紀行21 【石炭燃料】華北の石 炭燃料	"	"	"	327
日 本								
正徳アラビア文字装 飾青花に関する一考 察—その生産背景と 景德镇窯業における 位置—	佐藤サアラ	東洋陶磁	32	研究報告 一乗谷朝 倉氏遺跡出土染付に ついての一樣相	水村 伸行	一乗谷朝 倉氏遺跡 資料館紀 要	2002	
研究報告 日本に於 ける黄冶窯唐三彩と 絞胎器の流行とその 影響	廖 永民 張 文霞 巽 淳一郎 沢 記	奈良文化 財研究所 紀要	2003	近世陶磁における型 物造形—「造り物」か ら室礼のうつわへ	荒川 正明	出光美術 館研究紀 要	9	
《研究ノート》「天啓 年製」銘の古染付に ついての一考察—樹 枝文を手がかりとし て—	葉 文秀	野村美術 館研究紀 要	12	ART NEWS 古九 谷の夢のあと	編 集 部	芸術新潮	637	
古染付の制作状況に ついての一考察—絵 付けの差異をめぐっ て—	"	文化学年 報(同志 社大学)	52	特集 唐津 日本の やきものルネサンス I 古唐津礼讃	編 集 部	"	640	
				特集 唐津 日本の やきものルネサンス II 唐津が変えた日本 のやきもの	荒川 正明 解説	"	"	

特集 唐津 日本のやきものルネサンス 雅俗のあわい、唐津の純一	青柳 恵介	芸術新潮	640	古伊賀花入の名品と 藤堂伊賀	小田 榮一	"	608
特集 唐津 日本のやきものルネサンス IV 知られざる唐津を見よ	編集部	"	"	陶片は語る(8)伊賀	谷本 光生、 谷本 景 話し手 孝一 森 聞き手	"	"
特集 唐津 日本のやきものルネサンス 異彩のやきもの もうひとつの唐津ヒストリー	西田 宏子	"	"	伊賀窯における桃山陶磁生産	井上喜久男	"	"
研究ノート 古代緑釉陶器生産の終焉— 院政期の尾張における緑釉陶器・円塔生産の可能性—	尾野 善裕	考古学雑誌	87—1	表紙・口絵図版解説	谷本 光生	"	"
特輯 11～15世紀における南九州の歴史的展開—万之瀬川下流域に見る交易・支配・宗教—(1) 博多遺跡群の発掘調査と持鉢松遺跡	大庭 康時	古代文化	529	古伊賀二三	満岡 忠成	"	"
特輯 11～15世紀における南九州の歴史的展開—万之瀬川下流域に見る交易・支配・宗教—(2) 12世紀前後陶磁器から見た持鉢松遺跡の評価—金峰町出土の焼き物から追求する南海地域の貿易・流通—	山本 信夫	"	530	古伊賀に会う	中島誠之助	"	"
鬚德利	桜庭 美咲	国 華	1295	伊賀焼	新 佳三	"	"
尾形光琳画乾山作梅図角皿	水尾比呂志	"	1297	源内焼を考える I 源内焼の研究と軟質施釉陶磁	仲野 泰裕	"	"
斎宮跡出土の陶枕について	泉 雄二	斎宮歴史博物館研究紀要	12	桃山時代美濃で焼かれた唐津・伊賀・備前	河合 竹彦	"	"
寄贈資料紹介	倉田 直純	"	"	酒器放談・酒天之美祿	加藤 孝明、 三遊亭 鳳 楽、 豊場 惺也、 村田 淳一 話し手 孝一 森 聞き手	"	609
防長地域の近世陶磁器の動向	中原 周一	下関市立考古博物館研究紀要	7	近世陶磁 酒宴のやきもの	仲野 泰裕	"	"
近世陶磁器の数量把握について—異なる算定方法による遺物組成の比較—	森本伊知郎	椋山女学園大学研究論集	34	古今のぐいのみ	黒田 和哉	"	"
海を渡った壺屋焼陶器	小田 静夫	壺屋焼物博物館紀要	4	「瓶蓋病」	須磨 満	"	"
日本陶磁の流れ(5)～(14)	井上喜久男	陶 説	599～ 607、609	酒豪の作る酒器	黒田 草臣	"	"
陶片は語る(7)上野	渡 久兵衛、 毛利 茂樹 話し手 孝一 森 聞き手	"	603	鍋島家と大聖寺前田家	中矢 進一	"	"
富山支部創立五〇周年記念茶会 特別展観「名碗展」より	森 孝一	"	606	源内焼を考える II 青の器	仲野 泰裕	"	"
尾張青瓷研究会のこと(上)(中)	鶴 勲	"	607、609	首里城「京の内」跡倉庫跡出土の陶磁器について	金城 亀信	東洋陶磁	32
				今帰仁城跡出土の陶磁器	金武 正紀	"	"
				沖縄出土の日本陶磁	大橋 康二	"	"
				学会彙報 二〇〇一年の陶磁研究の回顧(東日本)	飯村 均	"	"
				学会彙報 二〇〇一年の陶磁研究の回顧(西日本)	森 達也	"	"
				大沢A—2号窯出土緑釉の鉛同位体比分析結果	齋藤 努	豊橋市美術博物館研究紀要	12
				平成十四年度支部例会研究発表要旨 御室焼唐物写組茶入をめぐる考察	梶山 博史	美術史	154
				播磨出土の備前焼	松岡 千寿	兵庫県埋蔵文化財研究紀要	3
				茨城県北浦町出土の灰釉短頸壺について	吉澤 悟	MUSE-UM	586

オランダ東インド会社文書における肥前磁器貿易史料の基礎的研究—1650年代の史料にみる医療製品取引とヨーロッパ陶磁器の影響—	櫻庭 美咲	武蔵野美術大学研究紀要	33	古陶随伴録7 まぼろしの近代陶磁器その4 洛北 鞍馬焼	三好 一	"	"	
「伊万里」調査最前線(35)伊万里の陶胎染付	大橋 康二	目の眼	317	真葛伝来 青木木米の「陶法手録」について	二階堂 充	横浜美術館研究紀要	5	
物に執して(四五)(四六)(五三)	鈴木 皓詞	"	318、319、326	資料紹介 萬古焼三点について	田中 伸一	四日市市立博物館研究紀要	10	
「伊万里」調査最前線(36)長崎・出島とオランダ	大橋 康二	"	319	朝鮮				
鳴瀧での乾山楽焼について	住友 慎一	"	320	慶尚南道彦陽地域の粉青沙器窯址の新例—台機里窯址と出土遺物—	趙 允珠	デアルテ	19	
「伊万里」調査最前線(37)長崎・出島とオランダ(続)	大橋 康二	"	321	研究報告 日本出土の百済・新羅緑釉	千田 剛道	奈良文化財研究所紀要	2003	
古陶随伴録1 京焼の諸相—栗田口焼	三好 一	"	"	特集 李朝を味わう酒器のたのしみ	臼井 一元	目の眼	318	
みるも語るもまた楽し その86 今春の桜開花は、そして初期鍋島の珍品ひとつ	工藤 吉郎	"	"	みるも語るもまた楽し その87 合併で変わる地名そして、今月は粉引の茶盤ひとつ	工藤 吉郎	"	322	
古陶随伴録2 京焼の諸相—徳川幕府御用茶碗師	三好 一	"	322	そ の 他				
「伊万里」調査最前線(38)子供に関わる伊万里二題	大橋 康二	"	323	イラン・サファヴィー朝陶芸における意匠の系譜—ケルマーンの下絵付けタイルを中心に—	阿部 克彦	鹿島美術財団年報別冊	20	
古陶随伴録3 京焼の諸相—語り継がれなかった焼物達	三好 一	"	"	海のシルクロードからみたベトナム中部・南部の考古学的研究 4部 論攷篇 第4章 16世紀から19世紀のベトナムにおける中国陶磁の流通	森 達也	シルクロード学	15	
古陶随伴録4 まぼろしの近代陶磁器その1 嵐山焼	"	"	324	東南アジアの陶磁器	杉山 洋	帝塚山芸術文化	10	
みるも語るもまた楽し その89 オサムシ(マイマイカブリ)のこと、そして京焼風陶器の水指ひとつ	工藤 吉郎	"	"	特集 机上のアンティーク 目であそび手でなごむ昔日のミニチュア動物 インダス・バクトリア・アケメネス		目の眼	316	
特集 暮らしがいきづくそば猪口の世界	"	"	325	特集 机上のアンティーク 目であそび手でなごむ昔日のミニチュア動物 先史時代の動物たち	栗田 功	"	"	
特集 暮らしがいきづくそば猪口の世界 描かれた日本の情景 そば猪口に溢れる器のこころ	木暮 享	"	"	みるも語るもまた楽し その90 私の近況、そしてベルシャミナイ手鉢ひとつ	工藤 吉郎	"	325	
「伊万里」調査最前線(39)伊万里の人形成形法について	大橋 康二	"	"	土 器				
古陶随伴録5 まぼろしの近代陶磁器その2 京都瓢池園ふくべ焼—ひょうたんから駒が出た	三好 一	"	"	中 国				
古陶随伴録6 まぼろしの近代陶磁器その3 嵯峨 小倉山窯	"	"	326	中国新石器時代河南中部地域の土器から見た地域間交流(上)(下)—王湾三期文化の形成過程—	徳留 大輔	古代文化	532、533	
「伊万里」調査最前線(40)伊万里にみる雪輪と氷裂の意匠	大橋 康二	"	327					

平成15年定期刊行物所載文献(古／土)

器種と文様、そして機能の相関関係にみる大洞A式土器の変遷過程	品川 欣也	駿台史学	119	近畿における遠賀川系甕の成立過程—摂津・河内・大和の弥生甕—	藤尾慎一郎	"	"
二里頭時代の土器動態とその背景—中国初期国家形成過程における地域間関係の分析—	秦 小麗	東方学	106	近江南部の中期弥生土器—様式と器種構成—	伊庭 功	古代文化	532
日本				水銀朱精製用具の検討—弥生時代中期末～後期初頭—	岡山真知子	"	533
いわき市川部町横根遺跡出土の面装飾付土器	木幡 成雄	いわき市教育文化事業団研究紀要	12	山陰地域の古墳時代後期～奈良時代の炊飯具について—土製支脚・移動式竈を中心として—	岩橋 孝典	古代文化研究	11
資料紹介 松山市波賀部神社古墳出土須恵器について	富田 尚夫	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	8	縄文土器とは何か—美術史のためのアウトライン	今村 啓爾	国 華	1293
生駒山西麓域における在地産・搬入弥生土器の推移—鬼虎川・西ノ辻遺跡の採集資料をめぐる検討から—	秋山 浩三 瀬川 貴二 中川 二美	大阪文化財研究	23	草創期 丸底深鉢(神奈川県大和市上野遺跡)	村澤 正弘	"	"
小阪合遺跡の遺構の報告—古墳時代土器溜りと平安時代方形土壇	福田由里子 辻本 武	"	"	早期 尖底深鉢(青森県八戸市田面木平遺跡)	原田 昌幸	"	"
大阪府下の縄文遺跡(その3)—箕面市白島所在の白島遺跡—	松尾洋次郎	"	24	前期 大波状口縁印刻文土器(長野県諏訪市荒神山遺跡)	今村 啓爾	"	"
高宮・小路・讃良郡糸里遺跡出土の早～前期縄文土器	宮本 飛鳥 黒須亜希子	"	"	中期 浅鉢(青森県三内丸山遺跡)	辻 惟雄	"	"
玩具考察—池島・福万寺遺跡出土の泥面子についての覚書—	島内 洋二	"	"	中期 顔面把手付深鉢(山梨県須玉町御所前遺跡)	山形真理子	"	"
難波地域の新資料からみた7世紀の須恵器編年—陶器窯跡編年の再構築に向けて—	佐藤 隆	大阪歴史博物館研究紀要	2	中期 蛇身装飾付有孔罎付土器(山梨県塩山市安道寺遺跡)	"	"	"
研究ノート 前期難波宮南方の土器群と開発	寺井 誠	"	"	中期 深鉢(群馬県北橘村道訓前遺跡)	原田 昌幸	"	"
宮ノ台式土器の研究(2)	弥生時代研究プロジェクトチーム	かながわの考古学	8	三重県における縄文時代早期煙道付炉穴の諸相—多気町板倉遺跡検出例を中心に—	小濱 学	斎宮歴史博物館研究紀要	12
神奈川県出土の土製品	近世研究プロジェクトチーム	"	"	砂沢式再考	根岸 洋	埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	18
月夜野型羽釜の生産と流通—地域限定流通の背景—	桜岡 正信	群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	21	須恵器に刻まれた記号と文字—南比企窯跡群出土例を中心に—	末木 啓介	埼玉県立歴史資料館研究紀要	25
縄文土器の使用痕跡について—縄文土器の変色部分の検討を中心として—	松村 和夫	群馬県立歴史博物館紀要	24	佐賀平野における弥生後期の土器編年	蒲原 宏行	佐賀県立博物館調査研究書	27
続縄文文化と弥生文化の相互交流	設楽 博己	国立歴史民俗博物館研究報告	108	古墳時代における須恵器の生産単位について—須恵器に記されたヘラ記号の目的と関連して—	岡田 裕之	史 淵	140

北大津遺跡出土の縄文土器について—近江地方湖西南部地域における縄文時代の一様相—	小島 孝修	滋賀県文化財保護協会紀要	16	日本における火焰形透孔土器の系譜について	竹谷 俊夫	"	"
南九州貝殻文系土器の組合せに関する覚え書き	黒川 忠広	縄文の森から	1	修士論文要旨 指導石野博信教授 遠賀川系土器様式の解体と地域色の成立過程	川部 浩司	徳島文理大学文学論叢	20
石坂式土器再考	前迫 亮一	"	"	栃木県佐野市松山・エグロ遺跡の検討	仲山 英樹	とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要	11
縄文時代早期の壺形土器出現の意義	新東 晃一	"	"	任海宮田遺跡出土の墨書土器—平成14年度出土資料の紹介—	森田 利枝	富山考古学研究	6
上野原遺跡第10地点検出の「環状遺棄遺構」について	八木澤一郎	"	"	任海宮田遺跡出土の土鍾について2	細辻 真澄	"	"
シンポジウム〈出土文字資料研究の現在〉墨書土器研究の現在—データベース化された墨書土器—	吉村 武彦	駿台史学	117	北陸地域の「籠形土製品」について	田中 昌樹	"	"
シンポジウム〈出土文字資料研究の現在〉墨書土器の出現と展開—飛鳥・藤原地域を中心に—	松村 恵司	"	"	富山県の黒色土器(2)—9~11世紀の県内資料を中心にして—	内田亜紀子	"	"
シンポジウム〈出土文字資料研究の現在〉律令官衙と墨書土器(再録)—平城・長岡京から地方へ—	清水 みき	"	"	富山県の中世土器(資料編)—県東部・富山平野を中心とした地域における—	森 隆	"	"
シンポジウム〈出土文字資料研究の現在〉東国墨書土器研究の新視点	荒井 秀規	"	"	資料紹介 小県郡真田町唐沢岩陰遺跡の出土遺物	綿田 弘実	長野県立歴史館研究紀要	9
コメント シンポジウム出土文字資料研究の現状	山路 直充 宮瀧 交二	"	"	研究報告 平城宮出土「難波津の歌」墨書土器	神野 恵	奈良文化財研究所紀要	2003
「佛」墨書土器の出土状況—印西市南西ヶ作遺跡出土遺物の紹介を兼ねて—	糸川 道行	千葉県文化財センター研究連絡誌	64	研究報告 西隆寺回廊埋納土器の再検討	佐藤 昌憲 金子 裕之	"	"
木更津市久野遺跡出土押型紋土器の再検討	小笠原永隆	"	65	越の旅人 自立篇—茨城県水戸市塙東遺跡の「火炎土器」について—	鈴木 素行	新潟県立歴史博物館研究紀要	4
第四四回日本史関係卒業論文発表会発表要旨 二、瓦塔の成立とその意趣—八・九世紀を中心に—	坂田 敏行	地方史研究	303	越の旅人 自立篇【コメント2】茨城県水戸市塙東遺跡の「会津型火炎土器」	寺崎 裕助	"	"
古霞ヶ浦沿岸地域における古墳時代須恵器の受容—器種組成の変遷から—	小野寿美子	筑波大学先史学・考古学研究	14	口絵 黒色磨研注口土器 二箇	原田 昌幸	日本歴史	658
研究ノート 据え置かれた甕形土器の用途について—群馬県における古墳時代後期の例を中心として—	岡田 圭	"	"	砂礫構成からみた三世紀頃の古備の土器の動き	奥田 尚	東アジアの古代文化	117
資料紹介・研究ノート 1.中央町錦織出土の土器	豊島 雪絵	津山弥生の里	10	兵庫県出土の裝飾付須恵器集成(2)—播磨磨明石郡及び摂津・但馬—	井守 徳男	兵庫県埋蔵文化財研究紀要	3
円形の刺突紋をもつ押型紋土器	太田 三喜	天理参考館報	16	兵庫県津遺跡出土の土製煮炊具	岡田 章一 長谷川 眞	"	"
				村上正名氏寄贈の黄島貝塚出土資料	遠部 慎	広島県立歴史博物館研究紀要	7

考古学者と弥生土器 一八八四～一九九五年論	酒井 龍一	文化財学 報	21	平成十四年度立正大 学史学会月例研究会 報告要旨 房総半島 における古代集落出 土の墨書土器につい て	内田 勇樹	立正史学	93
久ヶ原式土器成立考	比田井克仁	法政考古 学	29	南九州の縄文時代早期 前半期に関する覚書 —加栗山式土器段階 を中心に—	上杉 彰紀	立命館大 学考古学 論集	3
野方台遺跡の再検討 (2)—古墳時代中期 前半—	石丸 敦史	"	"	黄島貝塚再考	遠部 慎	"	"
北海道出土の須恵 器—北海道開拓記念 館所蔵資料より—	鈴木 琢也	北海道開 拓記念館 研究紀要	31	山陰地方中央部にお ける北白川下層式系 土器の編年学的研究	網谷 克彦	"	"
静岡県浅羽町高道遺 跡出土の弥生土器	菊池 真	ムゼイオ ン	49	中津式土器成立期の 諸相	穂積 裕昌	"	"
神奈川県二ツ池遺跡 出土弥生土器の再検 討—「二ツ池式土器」 の提唱—	黒沢 浩	明治大学 博物館研 究報告	8	山陰中部域における 縄文時代後期土器の 地域性—とくに「中 津式」の地域性につ いて—	柳浦 俊一	"	"
特集 再発見された 北の土器 伊勢神宮 に眠る千島列島の縄 文土器と中瀬庄吉氏		目 の 眼	321	東海地方における福 田K2式期土器群の 様相	小瀨 学	"	"
特集 再発見された 北の土器 北海道の 先史時代概要	豊原 照司	"	"	八日市新保式土器再 考	西野 秀和	"	"
東北北半における縄 文晩期前葉の注口土 器	小林 圭一	山形県埋 蔵文化財 センター 研究紀要	1	北海道縄文晩期後葉 の土器製作技法につ いて—江別市対雁2 遺跡土器集中1の事 例から—	鈴木 信 西脇対名夫	"	"
今塚遺跡の再検討と その性格について	植松 暁彦	"	"	滋賀里式再考—西日 本縄文晩期土器様式 の構造転換—	岡田 憲一	"	"
山形県内出土の瓦質 土器	高桑 弘美	"	"	京都府における凸帯 文土器の編年	中村 健二	"	"
奥羽南半における 「伊達氏系遺物」の分 布について	高桑 登	"	"	西部瀬戸内地域の刻 目突帯文土器編年試 案	小南 裕一	"	"
須恵器長頸瓶の製作 技法—山形県内の窯 跡出土資料から—	吉田江美子	"	"	大和における最終末 の凸帯文土器	豆谷 和之	"	"
山梨の縄文時代早期 沈線文土器群終末期 前後の検討	三田村美彦	山梨県立 考古博物 館山梨県 埋蔵文化 財セン ター研究 紀要	19	比叡山西南麓におけ る縄文から弥生—京 都大学構内遺跡出土 資料の紹介と検討を 通じて—	伊藤 淳史	"	"
山梨県の木島式土器 について	小野 正文	"	"	出雲地域における縄 文・弥生移行期の遺 跡の特徴について	中川 寧	"	"
上の平遺跡出土の動 物装飾付土器とその 周辺	新津 健	"	"	縄文時代から弥生時 代への続き方の構造	南 久和	"	"
(研究メモ)山梨県に おける勝坂式土器後 半期の素描	今福 利恵	"	"	『恵山式土器』『恵山 文化』の成立に係わ る一試論	佐藤由紀男	"	"
渦巻把手状装飾土器 の展開—渦巻突起連 結土器から渦巻把手 土器へ—	小林 広和	"	"	弥生集落遺跡から出 土する突帯文土器の 意味—高宮八丁遺跡 出土の突帯文土器—	濱田 延充	"	"
土器に施された文様 とその意味について (一試案)—中国西南 地域の少数民族衣装 等に見られるその文 様から—	野代 幸和	"	"	長門北浦地域におけ る弥生文化の成立	田畑 直彦	"	"
				弥生文化早期におけ る壺形土器の受容と 展開	中村 大介	"	"

混成そして地域色へー伊勢地方の弥生文化の理解に向けてー	竹内 英昭	"	"	ポスト・クシャン期バクトリアの土器編年	岩井 俊平	西アジア考古学	4
口縁部形態からみた弥生前期甕形土器ー雲宮遺跡(長岡京左京216次調査)出土資料を中心としてー	桐山 秀穂	"	"	イラン、マルヴダシュト平原の先史土器 マルヴ・ダシュト平原の土器標本	西秋 良宏	東京大学総合研究博物館標本資料報告	51
西部瀬戸内地方における土器からみる交流実態ー弥生時代前期後葉〜中期中葉を考えるー	梅木 謙一	"	"	イラン、マルヴダシュト平原の先史土器 標本データ/写真図版(Plates 1ー84)		"	"
土器装飾からみた九州北部の地域間関係ー弥生時代中期の丹塗土器を素材としてー	長友 朋子	"	"	研究ノート 北シリア新石器時代における土器装飾の変遷ールージュ盆地とバリフ川流域を例にー	小高 敬寛	西アジア考古学	4
大陸系青銅器模倣土製把手	角南聡一郎	"	"	研究ノート 彩文土器に描かれた文様ーエジプト先王朝期の「表現」についてー	関廣 尚世	"	"
鳥取県西部地域の弥生時代後期土器ー甕と壺を中心にー	濱田 竜彦	"	"	瓦			
初期須恵器観察ノートー杯身になされたヘラケズリと製作手順ー	伊藤 純	"	"	中 国			
古代の藤井寺地域における土師器甕について	新開 義夫	"	"	瓦當・封泥の美『金石叢編 瓦當封泥文字卷』出版によせて	路 東之	目の眼	320
須恵器長頸瓶の成形技法とその展開	北野 博司	歴史遺産研究	1	日 本			
第55回全国大会にむけて 高知に学ぶ1土佐の考古学最前線ー黒潮と田村遺跡ー	出原 敬三	歴史地理教育	653	大宰府式鬼瓦小考	井形 進	九州歴史資料館研究論集	28
擦文時代の交易体制	瀬川 拓郎	歴史評論	639	上家野地域における古瓦の検討ー正満コレクションの基礎調査ー	松田 猛夫 右島 和夫	群馬県立歴史博物館紀要	24
朝鮮・その他				〈史料紹介〉京都大学所蔵の西寺採集瓦について	梶原 義実	古代文化	536
翻訳 軟質甕と甗による地域圏設定ー3世紀代漢江以南地域を対象にー	洪 寺井 潜植 誠 訳	大阪歴史博物館研究紀要	2	金刀比羅宮蔵の古瓦について	安藤 文良	ことひら	58
特輯 北アジア考古学の最前線(1)〈図版解説〉ウスチ・カラコル1遺跡遠景と18層出土接合資料バリシャヤ・プフタ1遺跡およびベルジャンスキー湖1遺跡出土土器	加藤 博文	古代文化	537	初期地方寺院における単弁軒丸瓦の成立ー「棒状子葉」単弁八葉蓮華紋軒瓦の系譜と展開1ー	昼間 孝志	埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	18
特輯 北アジア考古学の最前線(2)バリシャヤ・プフタ1遺跡出土の土器が提起するもの	木山 克彦 シェフコムード, I. YA. コシーツィナ, F. S.	"	538	鬼瓦百選(十)〜(十九)	小林 章男	史迹と美術	731〜740
チョールダヴィ・ヴァロータ洞穴の土器、装身具および骨角器についての一考察	川崎 保	立命館大学考古学論集	3	平塚の古瓦ー高林寺境内出土瓦と前鳥神社蔵瓦ー	岡本 孝之香 新倉	自然と文化(平塚市博物館)	26
				長門国府跡周辺遺跡群出土の大宰府系軒瓦	石松 好雄	下関市立考古博物館研究紀要	7
				造瓦組織の復原と瓦当文ー東海地方の国分寺からー	梶原 義実	史 林	439

〈資料紹介〉帝塚山大学大学院所蔵八世紀の軒瓦	大野 瑞恵	帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要	4	初論中国南朝前期の金属工芸	藤井 康隆	帝京大学山梨文化財研究所研究報告	11
〈資料紹介〉帝塚山大学大学院所蔵七世紀・八世紀の軒瓦	矢倉 嘉人	"	"	日本			
多賀城創建期の造瓦活動について	進藤 秋輝	東北歴史博物館研究紀要	4	飯田・下伊那地方の出土古銭概要	岡田 正彦	飯田市美術館研究紀要	13
城輪柵跡出土の軒丸瓦	水戸部秀樹	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	1	〈調査報告〉王子本町出土銭について	新井 悠文 石崎 悠文 遠藤 恵理子 鈴木 直人	北区飛鳥山博物館研究報告	5
〈報告〉弘明寺出土の古瓦	廣瀬有紀雄 上本 進二 岡本 孝之	横浜市歴史博物館紀要	7	尾崎神社の飾金具—旧金沢城東照宮の荘厳—	久保 智康	研究紀要金沢城研究	1
上人ヶ平瓦工房に関する一考察—大規模瓦工房の操業契機をめぐって—	奥村 茂輝	立命館大学考古学論集	3	資料紹介 鹿児島県指宿市敷領遺跡出土の鉄製品について	下山 覚	考古学雑誌	87—3
長岡京造営論ノート—長岡宮式軒瓦の再検討—	山口 均	"	"	〔口絵写真解説〕依葉師応永十七年鰐口(川本町)	青木 忠雄	埼玉史談	272
朝鮮				明和期水戸鋳銭座における「吹方職人」の雇用事情	藤井 典子	史 学	72—3・4
新羅文様磚の製作技法	高 正龍	"	"	曲刃鎌とU字形鉄鋤先—「農具の画期」の再検討—	魚津 知克	帝京大学山梨文化財研究所研究報告	11
金 工				墓碑からみる金工野村正豊についての考察	武間 達也	刀剣美術	553
中 国				江戸金工・関義則について—生誕地川俣の紹介とそれに関わる人々	樋山 信一	"	554
新疆出土のサーサーン式銀貨—新疆ウイグル自治区博物館蔵のサーサーン式銀貨— 第I章 新疆出土のサーサーン式銀貨概要—自治区博物館所蔵コイン調査結果をふまえて—	津村眞輝子	シルクロード学研究	19	特集 古代日本の鉄 古代日朝の鉄の交易と技術移転	東 潮	東アジアの古代文化	114
新疆出土のサーサーン式銀貨—新疆ウイグル自治区博物館蔵のサーサーン式銀貨— 第II章 新疆ウイグル自治区博物館所蔵のサーサーン式銀貨	津村眞輝子 森本 公誠 山内 和也	"	"	特集 古代日本の鉄 古代北部九州における鉄—弥生時代を中心として—	橋口 達也	"	"
新疆出土のサーサーン式銀貨—新疆ウイグル自治区博物館蔵のサーサーン式銀貨— 第三章 アスターナ出土 東ローマ金貨倣製品	津村眞輝子	"	"	特集 古代日本の鉄 天目—箇神と鬼と鉄 工人—鉄をめぐる伝承と鬼伝説—	大和 岩雄	"	"
新疆出土のサーサーン式銀貨—新疆ウイグル自治区博物館蔵のサーサーン式銀貨— 第三章 ウチャ出土の金条(金錠)	菅原 文則	"	"	特集2 弥生時代の年代測定をめぐって 東アジアの鉄文化からみた弥生時代の鉄器	松井 和幸	"	116
				正倉院金銀花盤と唐代金花大銀盤	秋山 進午	美術史	155
				近世末東大寺方鋳物師の復活—備後国鋳物師丹下氏—	片山 清	梵 鐘	16
				河股城跡の粉川松之助鋳造工房跡	高橋 圭次	"	"
				辻村鋳物師関係資料 翻刻	山本 順也	栗東歴史民俗博物館紀要	9

朝鮮・その他

特集 古代日本の鉄
加耶の鉄 孫 呉 明助 東アジアの古代文化 114
恵淑 訳

(史料紹介)黒海沿岸
で出土した銀留式鏡 デミデン
コ・セルゲイ 古代文化 536

鏡

日 本

大神神社蔵の四葉座
内行花文鏡 柳田 康雄 大 美 和 105

川崎市民民ミュージ
アム所蔵の「五鈴珠
紋鏡」について 新井 悟 川崎市民
ミュージアム紀
要 15

盤龍鏡の諸系列 上野 祥史 国立歴史
民俗博物館研究報
告 100

「仿製」三角縁神獸鏡
の生産とその展開 岩本 崇 史 林 441

特集 邪馬台国の時代
音韻学から見た
三角縁神獸鏡 森 博達 東アジア
の古代文化 115

隅田八幡鏡銘文の解
釈に関する新しい試
み 張 八鉉 " " "

特集1 古代日本の
道教・神仙思想
『万葉集』と神仙信
仰一鏡をめぐって— 中西 進 " 116

特集1 古代日本の
道教・神仙思想—古
墳文化と神仙思想—
句文鏡の造形思
惟— 辰巳 和弘 " " "

第五六回全国大会研
究発表要旨 銀貼鏡
は日本で製作されて
いたか 植松 勇介 美術史 155

最北の破鏡—鏡片分
布から見た古墳出現
期の動態(予察)— 高橋 敏 山形県埋
蔵文化財セ
ンター研究紀要 1

青 銅 器

中 国

中国レポート 黄土
高原から出土した
“国宝” 眉県新発見
の青銅器『迷盤』 賈 尹 梅 墨 164
夏清

住友コレクションの
中国古銅器—泉屋博
古館分館開館記念講
演 梗概— 樋口 隆康 泉屋博古
館紀要 19

春秋時代における統
治権の変容—「器」の
意味を中心として— 水野 卓 東方学 106

戦国時代の青銅器に
表された山岳狩獵
図—自然風景と祭祀
活動の図像表現に注
目して— 龔 詩文 待兼山論
叢 37

日 本

带状円環型銅釧の形
態分類と地域色につ
いて 池田 治 かながわの
考古学 8

井向1号銅鐸の位置
づけ 難波 洋三 辰馬考古
資料館考古学研
究紀要 5

井向1・2号銅鐸の
絵画 春成 秀爾 " "

滋賀県の考古学②最
新の成果と課題
(第2回)近江の銅鐸
研究の現状と課題 木戸 雅寿 人間文化 13

静岡県湖西市白須賀
出土銅鐸について 福永 清治 野洲町立
歴史民俗資料館研
究紀要 10

歴史の証人 写真に
よる収蔵品紹介 銅
鐸の世界 春成 秀爾 歴 博 121

刀剣・刀装・槍

日 本

研究ノート 「鎮」字
銘豊後刀に関する覚
書き 真野 和夫 大分県立
先哲史料館研究紀
要 8

研究ノート 肥後金
工西垣家伝来「宝尽
蔭絵合口拵」をめぐ
って 内藤 直子 大阪歴史
博物館研究紀要 2

研究ノート 木製刀
装具にみる直弧文の
一例—兵庫県入佐川
遺跡出土土例の検討— 櫻井 久之 " "

金刀比羅宮の刀剣
(七)「肥前正広」と
「仙台国包」について 中条 新一 ことひら 58

刀装・刀装具初学教
室(103)(104)東 龍
斎・田中清寿 富士 繁雄 刀剣美術 552、553

刀装具の画題(103)
初夢・皿回し(軽業
の内) " " 552

資料紹介～審査の現
場から～虎徹の鐔 飯田 俊久 " "

改訂増補 日本古刀
史(6)～(17) 本間 順治 " 552～563

郷土刀紹介 刈谷藩
鍛冶寛重—赤羽刀の
中から— 近藤 邦治 " 553

資料紹介～審査の現
場から～新機軸の発
展と魅力、平安城象
嵌鐔 久保 恭子 " "

刀装具の画題(104) 壱正獅子・向い獅子	福士 繁雄	刀剣美術	553	武州下原鍛冶の研究 (2)武州下原鍛冶の 宗家・康重家	後藤 安孝	"	560
刀装・刀装具初学教 室(105)土佐明珍	"	"	554	刀装具の画題(111) 孔明と関羽・福祿寿	福士 繁雄	"	"
刀装具の画題(105) 六歌仙・新羅三郎義 光(足柄山)	"	"	"	資料紹介～審査の現 場から～銘字を改竄 された村正	飯田 俊久	"	"
資料紹介～審査の現 場から～肥前初代正 広・忠国の合作刀	飯田 俊久	"	"	莊司直胤の実子、 「松崎直宗」につい て—山形藩主水野氏 の新史料による—	武田喜八郎	"	561
わが勝村徳勝研究の 原点—刀剣観の形成 と徳勝刀の史的考察 の視点から	宮本 三郎	"	555	資料紹介～審査の現 場から～乗門下の 精鋭、一匠の若き入 念作	久保 恭子	"	"
資料紹介～審査の現 場から～後藤光孝門 人・戸張富久、長銘 の小柄	久保 恭子	"	"	刀装具の画題(112) 舞鶴・巢籠鶴	福士 繁雄	"	"
刀装・刀装具初学教 室(106)四代明珍紀 宗義	福士 繁雄	"	"	光悦村の金工—「光 悦町古図」中に見る 「埋忠」と「鉢阿弥」 (上)(下)—	内藤 直子	"	562、563
刀装具の画題(106) 草花に虫・四清 (梅・桂花・水仙・ 菊)	"	"	"	資料紹介～審査の現 場から～青木元長の 彫りが施された元平 の脇指	飯田 俊久	"	562
熊野にみる蓬萊文様 について	紀伊国治光	"	556	刀装具の画題(113) 鉄拐仙人、蝦蟇・鉄 拐	福士 繁雄	"	"
〈海外刀剣会だより〉 大和伝の特別鑑賞会 開催 大和伝、鎌倉 から現代まで	ハ ン・ピ ン・シ ョン 藤本 隆雄 訳	"	"	刀装・刀装具初学教 室(114)横谷 宗珉家 の代別について	"	"	563
資料紹介～審査の現 場から～虎徹の最初 期作と目される脇指	飯田 俊久	"	"	刀装具の画題(114) 老杉に月・老杉に月 影	"	"	"
刀装・刀装具初学教 室(107)～(113)東龍 斎・田中清寿一門に ついて	福士 繁雄	"	556～562	第四十二回全国大会 入札鑑定刀解説	田 野 辺 飯 野 田 日 野 原 小 中 林 村	"	"
刀装具の画題(107) 三福三友・野晒し	"	"	556	資料紹介～審査の現 場から～長州鐙工、 井上清高・通高親子 合作の鐙	久保 恭子	"	"
刀装具の画題(108) 和合神・林和靖	"	"	557	唐様大刀の展開	津野 仁	"	11
資料紹介～審査の現 場から～年紀、行年 銘を刻む平田就門の 小柄	久保 恭子	"	"	特集 古代日本の鉄 鉄製武器の東漸—直 刀の系譜論を中心 に—	奥野 正男	東アジア の古代文 化	114
『鍛冶金道系図』作成 の事情	小島つとむ	"	558	特集1 倭の五王か ら継体期の諸問題 「七支刀」銘文解釈を めぐる一試論—「聖」 とは誰か—	倉西 裕子	"	117
刀装具の画題(109) かくや姫と月宮殿・ 乙姫と竜宮城	福士 繁雄	"	"	春日大社蔵「沃懸地 螺鈿毛抜形太刀」の 意匠に関する考察	猪熊 兼樹	仏教芸術	266
資料紹介～審査の現 場から～夏雄の大黒 天の彫物が施され た、鍛冶平こと細田 直光の短刀	飯田 俊久	"	"				
出羽大掾国路と越中 守正俊	佐藤 幸彦	"	559				
資料紹介～審査の現 場から～宮長常門 人、藪常之の遺作	久保 恭子	"	"				
刀装具の画題(110) 源氏と塩焚・風神と 大仏	福士 繁雄	"	"				

装剣小道具の世界21 金家が見た桃山時代の風俗・愛宕飛脚図 鐔・橋弁慶図鐔二題 金家 桃山時代	善財	一	目の眼	316	装剣小道具の世界32 金工の質感描写 山水図鐔 染谷知信 江戸時代後期 田舎家図鐔 菊川南甫 江戸時代後期	"	"	327
装剣小道具の世界22 正月の井戸 桜井図鐔 左行秀 江戸時代	"	"	"	317	神奈川県伝比々田村在古墳資料について	中條	英樹	早稲田大学津八一記念博物館研究紀要 4
装剣小道具の世界23 雪の結晶と文様 雪華文図大小譚 後藤一乗 江戸時代末期	"	"	"	318	そ の 他			
装剣小道具の世界24 禪を生きた武蔵 瓢箪鯉国鐔 宮本武蔵戦国時代～江戸時代初期	"	"	"	319	西アジアにおける長剣の系譜	津本	英利	岡山市立オリエント美術館研究紀要 19
装剣小道具の世界25 超現実表現の花鳥 菊に軍鶏図大小鐔 石黒政常 江戸時代後期 桐に鳳凰図揃金具 石黒是常 江戸時代後期	"	"	"	320	黒海北岸地域出土鉄剣・鞘の編年—いわゆるスキタイの剣・鞘—	近藤さおり		古代文化 539
装剣小道具の世界26 熊のいる風景 熊図鐔 遊洛斎赤文 江戸時代後期 熊図縁頭 大森英秀 江戸時代後期	"	"	"	321	染織・服飾			
物に執して(四八)	鈴木	皓詞	"	"	日 本			
装剣小道具の世界27 鳥類の心象表現 猛禽図鐔 志水甚五 江戸時代前期	善財	一	"	322	蝦夷錦の品質と年代 赤地牡丹文蝦夷錦の分析を中心—to	関根 達人 柴 正敏	青森県史研究	8
装剣小道具の世界28 松樹の陰影 三階松透図鐔 西垣勘四郎 江戸時代初期 遠見松透図鐔 林重光 江戸時代中期	"	"	"	323	田中直コレクション染の型紙(東北地方)—商印・墨書から流通をみる—	小森 綾子	京都精華大学紀要	25
装剣小道具の世界29 文様から絵画へ 山椒図目貫・秋草図小柄 古美濃 室町時代 牡丹獅子図鐔 古金工 桃山時代 秋草図鐔 吉岡因幡介 江戸時代後期	"	"	"	324	平安朝服飾における歌絵意匠	塚本 瑞代	群馬県立女子大学紀要	24
装剣小道具の世界30 装剣金工における山水図 芦雁図鐔 金家 桃山時代 雨下老杉図鐔 加納夏雄 江戸時代後期 山水図鐔 中井友恒 江戸時代後期	"	"	"	325	正倉院宝物 刺繍調査報告		正倉院紀要	25
装剣小道具の世界31 透鐔の美学 透鐔四題 古甲冑師(室町時代)・菊花透鐔(室町時代) 林又七(江戸時代初期)・赤坂忠重(江戸時代中期)	"	"	"	326	概観 正倉院宝物に見る刺繍美	切畑 健 福田 喜重	"	"
					正倉院と法隆寺の刺繍の比較	澤田むつ代	"	"
					文様から見た正倉院の刺繍	河上 繁樹	"	"
					問縫刺繍羅帯残欠(中倉104)の復元的考察	田中 陽子	"	"
					第47回文化財講演会天平の彩り	吉岡 幸雄	城陽市歴史民俗資料館館報	8
					日光市観音寺藏(大平町久遠院旧藏)刺繍涅槃図についての考察—近世における刺繍涅槃図の諸本を参考に—to	千田 孝明	栃木県立博物館研究紀要	20
					伝直江兼統所用の胴服に関して—綴子の文様と織技を中心に—to	吉田 雅子	美術史	154
					日本近世における絹衣論の展開—禁絹批判を中心に—to	西村 玲	仏教史学研究	46—2

東京国立博物館蔵・水浅葱練緯地蔦模様三葉葵紋付辻が花染胴服について	長崎 巖	MUSE-UM	585
初期唐織の編年に関する考察—金春座伝来能装束を中心に—	小山弓弦葉	" "	" "
アットウシの歴史を紡ぐ—アイヌ文化を歴史的にとらえるための試みとして—	本田 優子	歴史評論	639
[特集]胎動する歴史学 色 小袖の染め色と帷子の染め色—中世から近世への展開—	澤田 和人	歴 博	116

そ の 他

渤海関連詩を読む 第五回 渤海国から渡来した皮衣—「ふるきの皮衣」について—	菊地 真	アジア遊学	58
東南アジアの織物	植村 和代	帝塚山芸術文化	10
物に執して(四七)	鈴木 皓詞	目の眼	320
古代織物の再現と仕様形状の研究	中嶋 鉄利	沖縄県立芸術大学紀要	11

漆 工

日 本

日本美術を楽しむ—西洋人を魅了した日本の漆器から—	日高 薫	学 鑑	100—9
江戸時代中期に輸出された日本国内仕様の香道具	永島 明子	鹿島美術財団年報別冊	20
佐賀藩鍋島家婚礼調度品の調査研究—杏葉紋付蒔絵作品を中心に—	佐藤 朋子	" "	" "
徳川美術館所蔵「芒に月蒔絵貝桶付属合具」について	龍澤 彩	金鯢叢書 史学美術史論文集	30
青貝細工壺形ナイフ入れに関する資料紹介	岡 泰正	神戸市立博物館研究紀要	19
黒漆雲龍螺細大盆	岡本 亜紀	国 華	1294
朱漆塗湯桶	柏木 麻里	国華清和会会報	2
『桜樹木地蒔絵復元について』	安藤 義之	ことひら	58
作品紹介 伊勢物語 図蒔絵料紙箱・硯箱について	五味 聖	三の丸尚蔵館 年報・紀要	8
竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について	高橋あけみ	仙台市博物館調査研究報告	23
《菊の白露蒔絵調度》にみられる意匠主題の再検討—「菊慈童」説話を巡って—	森戸 敦子	美学芸術学	18

宝相華迦陵頻伽蒔絵冊子箱の文様について	栗田美由紀	美術史	155
---------------------	-------	-----	-----

第五六回全国大会研究発表要旨 京都国立博物館所蔵 塩山蒔絵硯箱の検討—「塩山」意匠についての考察を中心に—	嶋野 友美	" "	" "
---	-------	-----	-----

第五六回全国大会研究発表要旨 源氏の栄華、初音の寿ぎ—徳川美術館蔵《初音の調度》の主題解釈をめくって—	森戸 敦子	" "	" "
---	-------	-----	-----

歴史の証人 写真による収蔵品紹介 西洋銅版画写しの輸出漆器—蒔絵ブラック・ブラケット—	日高 薫	歴 博	120
---	------	-----	-----

石 工

中 国

中国華東地方白類見聞小録—石臼雑記(3)—	秋山 浩三	大阪文化財研究	24
-----------------------	-------	---------	----

日 本

石材産地から見た青森県の板碑	川村 眞一 佐藤 仁	青森県史研究	8
隠岐西ノ島の廻国行者史料	小嶋 博巳	隠岐の文化財	20
資料紹介 柏原市の道標	桑野 一幸	柏原市立歴史資料館館報	14
西大寺奥ノ院五輪塔実測記	狭川 真一	元興寺文化財研究所研究報告	2002
石器石材の運用について—黒色安山岩製石器の原産地分析から—	津島 秀章	群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	21
群馬県内出土の茶臼について	谷藤 保彦 山下 貴之 水谷 信之	" "	" "
ひとりよがりのものさし 第48回 供養塔	坂田 和實	芸術新潮	639
結晶片岩製打製収穫具と打製石斧	中村 豊	古代文化	539
資料紹介 写真集 一畑薬師灯籠を訪ねて(その1)	川島 武良 佐々木敬志	古代文化研究	11
《表紙写真解説》二十二夜塔・庚申塔(所在地・神泉村阿久原路傍)	四方田 悟	埼玉史談	272
さいたま市廓信寺「元亨四年」板碑からの展開	" "	" "	273

〈表紙写真解説〉滝不動貞治五年宝篋印塔(東秩父村栗和田) " " 274

〈表紙写真解説〉上泉井双鉢庚申塔(鳩山町上泉井路傍) " " 275

妙恵会墓地内容口法悦他供養塔 木下 幹夫 史迹と美術 735

千葉県白井市の下総板碑 藪崎 香 " 736

鹿児島県のナイフ形石器文化後半期の研究 桑波田武志 縄文の森から 1

縄文時代早期の磨製石鐮について 宮田 栄二 " "

石庖丁の使用痕分析 永濱 功治 " "

ラントウ考試論—下総東部のミヤボトケを手掛かりとして— 水谷 類 地方史研究 301

〈論文・研究報告〉近世墓標の調査 服部 敬史 東京家政学院生活文化博物館年報 13

資料紹介 仙台市太白区秋保町発見の尖頭器 山田 晃弘 東北歴史博物館研究紀要 4

徳島県阿南市の由岐水銀鉱山丹波坑口付近で採集した石杵—若杉山遺跡の広がりに関連して— 高島 芳弘 徳島県立博物館研究報告 13

大会・例会発表要旨 ◎石製模造品の地域性—利根川周辺を例として— 稲葉 千絵 法政史学 59

天神遺跡出土土匙の起源と系譜 網倉 邦生 山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要 19

四国地域の石棒・石刀 中村 豊 立命館大学考古学論集 3

弥生時代開始期の石器技術—石鐮について— 吉留 秀敏 " "

〔特集〕胎動する歴史学 墓 石塔の変遷 村木 二郎 歴 博 121

根来寺における中世石造物の成立と展開 北野 隆亮 和歌山県立博物館研究紀要 9

そ の 他

北西シリア、テル・マストゥーマにおける玄武岩製容器の再利用 四角 隆二 岡山市立オリエンタ美術館研究紀要 19

特輯 北アジア考古学の最前線(2) 沿海州石器時代の考古学文化の変遷過程 ジャーコス, V. I. 加藤 博文 古代文化 538

木 竹 工

中 国

唐代文人と「琵琶」—白居易とその周辺— 山本 敏雄 愛知教育大学研究報告 52

〔特集〕東アジアの樹皮文化 中国 大興安嶺の狩猟民族の樺樹皮文化 蘇岡田 日台陽一 自然と文化(季刊) 71

〔特集〕東アジアの樹皮文化 樹皮容器と土器の文化 黒川 亮吉 " "

日 本

出雲市姫原西遺跡出土の木製品について—樹種鑑定の報告— 足立 克己 古代文化研究 11

〔特集〕東アジアの樹皮文化 日本の樹皮文化 名久井文明 自然と文化(季刊) 71

〔特集〕東アジアの樹皮文化 朴の木のスッポスケとさわるみの皮魚籠 秩父山村の樹皮製民具 小林 茂 " "

鎌田家天正櫛について 吉井 敏幸 ふたかみ 12

シルクロード展によせて—木画(もくが)を想う— 木内 武男 MUSE-UM 584

特集 花籠の楽しみ 目の眼 324

特集 花籠の楽しみ お花を生ける 武内 範男 生ける人大口 真美 花籠提供 " "

ガラス工

日 本

第二二一回水曜講演会「瑠璃」と日本のガラス 井上 暁子 出光美術館館報 122

モザイクガラス円条文珠の本邦流入—香川安造田東三号墳出土珠— 谷一 尚 美術史論集 3

江戸時代における舶来のガラス製造知識(4)—『硝子製法集説』と『厚生新編』を中心に— 岡本 文一 明星大学研究紀要 11

朝 鮮

韓国のガラス製舍利容器 朱木下 瑛照 古代オリエンタ博物館紀要 23

その他の工芸

中 国

古玉雑考	林 巳奈夫	泉屋博古館紀要	19
鼻煙壺の華麗な世界 愛する美煙壺物語	沖 正一郎	目 の 眼	320

日 本

連郷遺跡における漁 撈活動について	猪狩みち子	いわき市 教育文化 事業団研 究紀要	12
いわき市常磐西郷町 採集の子持勾玉につ いて	松嶋 直実	" "	" "
宮城県内出土のトン ボ玉について(製作 技法についての若干 の考察)	菊池 逸夫	東北歴史 博物館研 究紀要	4
研究報告 平城宮・ 京出土の瑠璃	次山 淳	奈良文化 財研究所 紀要	2003
玉作から見た三輪山 祭祀	清水 真一	東アジア の古代文 化	115
江戸のシューティン グゲーム「からく りの」—歴史とその 復原—	香川 雅信	見 世 物	2
矢崎家浄瑠璃人形の かしら・衣裳につい て	大谷津早苗 安蔵 裕子	港区立港 郷土資料 館研究紀 要	7
緑の神秘・勾玉 輝 きに秘めた古代の信 仰	松沢 京子	目 の 眼	322
米倉山B遺跡出土六 道銭と煙管・火打金 に関する基礎的研究	三森 鉄治	山梨県立 考古博物 館山梨県 埋蔵文化 財セン ター研究 紀要	19

朝 鮮

朝鮮時代初期におけ る「虎」をめぐる	平木 實	朝鮮学報	186
-----------------------	------	------	-----

建 築 一 般

日 本

弥生・古墳時代の建 築	宮本長二郎	歴史遺産 研究	1
----------------	-------	------------	---

都 市 ・ 集 落

中 国

建築史のパラメー ター—台湾都市史と 寺廟—はがして、つ なく	青井 哲人	建築雑誌	1510
--	-------	------	------

清末成都における都
市計画とその変容—
空間構造及びその認
識の問題から—

小羽田誠治 東洋学報 84—4

学会動向 嶺南史に
おける秦と南越—
「秦代造船遺址」論争
とその周辺—

吉開 将人 " "

日 本

衣川流域における古
代末期遺跡の分布調
査(2)

佐藤 嘉広
佐々木 務
高木 晃一
三浦 謙
三浦 潤哉
前田 義明
長戸 満男
黒須 希子
島田 裕弘

岩手県立
博物館研
究報告 21

讃良郡条里遺跡・小
路遺跡出土の木製遺
構について

大阪文化
財研究 23

能勢町東部における
条里復元案—能勢採
銅所『今富保延坪村』
の考察—

辻本 武 " "

八尾南・長原・城山
遺跡における集落構
成の変化—弥生時代
から古墳時代につ
けての地域社会の一
様相—

大阪歴史
博物館研
究紀要 2

山王遺跡について
(1)—研究史編—

野本 孝明 大田区立
郷土博物
館紀要 13

奈良・平安時代の
宮ヶ瀬遺跡群の研究

奈良・平安
時代研究
プロジェクト
チーム かながわ
の考古学 8

『金沢名所旧跡記』に
ついて—新出の近世
金沢地誌の紹介—

西岡 芳文 金沢文庫
研究 310

多摩丘陵・下末吉台
地における弥生集落
の構造

浜田 晋介 川崎市市
民ミュー
ジウム紀
要 15

琉球今帰仁城周辺の
集落とその移動

高橋 誠一 関西大学
東西学術
研究紀要 36

遺跡漫遊第8回 山
頂鉱山集落の股販
総合調査の進む石見
銀山遺跡

鳥谷 芳雄 建築雑誌 1503

建築史のパラメー
ター—山の都市史—

中嶋 節子 " 1504

遺跡漫遊第12回 再
び鹿兒島から 遺跡
跡の認定をめぐる

浅川 滋男 " 1511

記念講演会 日本古
代の都城研究の現状
と課題

田辺 征夫 建築史学 41

[特定研究]アイヌ文
化の成立過程につ
いてⅡ 第1部 根室
市弁天島遺跡発掘調
査報告

国立歴史
民俗博物
館研究報
告 107

〈図版解説〉智頭枕田
遺跡

木田 真 古代文化 533

〈図版解説〉平安京右京六条三坊七・八・九・十町の調査(遺構編)	坂本 範基	"	534	飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 飛鳥地域等の調査 石神遺跡(第15次)の調査—第122次	石橋 茂登 竹内 亮 富永 里 小谷 徳彦	"	"
菅谷館跡出土遺物の再検討	水口由紀子 栗岡真理子	埼玉県立歴史資料館研究紀要	25	平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 左京三条一坊の調査—第343・349次	神野 惠 高橋 克壽	"	"
安土城下町の再考	近藤 滋	滋賀県安土城郭調査研究紀要	9	平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 左京二条二坊の調査—第345次	豊島 直博	"	"
安土城下町の町割に関する一考察	松下 浩	"	"	水郷柳川における屋敷と水路の相互関係とその変容	丸茂 悠 菊池 成朋	日本建築学会計画系論文集	564
遺跡と道跡—南九州の縄文時代早期を主として—	繁昌 正幸	縄文の森から	1	名古屋「南寺町」における熱田との境界的性格について—橘町妙善寺を素材として—	岩本 馨	"	"
第42回文化財講演会 遺跡からみた平野の開発	小泉 裕司	城陽市歴史民俗資料館館報	8	近世における温泉町の空間構造—加州江沼郡山中温泉を事例として—	新城 景子 藤田 勝也	"	569
大会特集 南部の風土と地域形成 問題提起1 南部地方の縄文時代	高田 和徳	地方史研究	304	新開町の誕生—近世近代移行期における江戸、東京の都市空間(その3)—	松山 恵	"	571
大会特集 南部の風土と地域形成 問題提起2 下北半島の風土に生きる	橘 善光	"	"	直轄城下町甲府の都市空間—武家地の分析を通して—	岩本 馨	"	573
大会特集 南部の風土と地域形成 問題提起3 古代蝦夷の成立・交易・集落	八木 光則	"	"	近世における奈良井の町並みと町組	大島 規江	"	574
狭義の富山平野における扇状地立地型集落の様相—7世紀～10世紀を中心として—	武田健次郎	富山考古学研究	6	飛鳥池工房に見る古代の最先端技術	小池 伸彦	日本文化財科学学会報	45
古代周防国大嶋郡における村落の復元	館野 和己	奈良女子大学文学部研究年報	47	微生物が解き明かす飛鳥の都市環境	金原 正明	"	"
研究報告 平城京条坊道路の設計規格について—大宝令大尺=高麗尺説におよぶ—	井上 和人	奈良文化財研究所紀要	2003	“石の都・飛鳥”を飾る石材の謎	奥田 尚	"	"
飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査 東方官衙南地区の調査—第114—9次	小澤 毅	"	"	パネルディスプレイ—考古学と自然科学が解き明かす飛鳥研究の最前線	宇野 隆夫 司会 正明 金原 尚 奥田 正昭	"	"
飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査 東方官衙南地区の調査—第114—10次	"	"	"	倉庫建物にみる古墳時代社会の変質—水口町所在 植遺跡の調査から—	細川 修平	人間文化	14
飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原京の調査 右京八条一坊の調査—第123次	前岡 孝彰	"	"	藤原京の神話地理学	椎野 禎文	東アジアの古代文化	114
飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 飛鳥地域等の調査 山田道の調査—第121次	小池 伸彦	"	"	特集1 古代日本の道教・神仙思想 星宿の造形・酒船石遺跡の推理	吉野 裕子	"	116
				特集2 弥生時代の年代測定をめぐる古代史通信特別版	編集部 編	"	"
				武蔵国府における手工業生産	深澤 靖幸	府中市郷土の森博物館紀要	16

口絵解説 三富開拓 地割遺跡(埼玉県指 定旧跡)	鈴木 義雄	文化財 (月刊)	480
表紙解説 骨寺村莊 園遺跡	工藤 武	" "	" "
埋蔵文化センター 調査第二係 (1)発 掘調査		横浜市ふ るさと歴 史財団年 報	H14年度
【特集】日本文化の境 界と交通—2001年国 際シンポジウムの記 録—(第2セッション :都市)京都—古代 ・中世の国家と首 都の「かたち」	仁木 宏	立教大学 日本学研 究所年報	2
【特集】日本文化の境 界と交通—2001年国 際シンポジウムの記 録—(第2セッション :都市)東アジア における江戸の都市 空間	玉井 哲雄	" "	" "
【特集】日本文化の境 界と交通—2001年国 際シンポジウムの記 録—(第2セッション :都市)コメント	村井 章介 渡辺 浩一 王 成	" "	" "
文京遺跡の弥生前期 集落	吉田 広	立命館大 学考古学 論集	3
集団の形成—六甲南 麓地域の弥生集落—	丸山 潔	" "	" "
窓 江戸—東京の変 遷をさぐる	佐藤 伸雄	歴史地理 教育	659
講座・生活文化史 Vo1. 104 福原と 和田新京一行宮から 離宮へ—	富山 直人	歴史と地 理	562
中世における集落の 移動	佐久間貴士	" "	567

朝鮮

研究報告 韓国瓦生 産遺跡の調査見聞録	毛利光俊彦 花谷 浩	奈良文化 財研究所 紀要	2003
軸と五方位—韓国集 落空間の堂山群—	山中 冬彦	日本建築 学会計画 系論文集	564
【特集】日本文化の境 界と交通—2001年国 際シンポジウムの記 録—(第2セッション :都市)新羅の都 城	朴 方龍	立教大学 日本学研 究所年報	2

そ の 他

海のシルクロードか らみたベトナム中 部・南部の考古学的 研究 I部 調査記 録篇 第4章 オク エオ(オケオ)遺跡と バーテ遺跡	レ・ス エ ン・ジ エ ム、オ・リ ダン・コン、 ヴォー・カイ 菊池 誠一 訳	シルク ロード学 研究	15
---	---	-------------------	----

海のシルクロードか らみたベトナム中 部・南部の考古学的 研究 I部 調査記 録篇 第5章 ディ エンバン・タイン チェム遺跡の発掘調 査	阿部百里子 菊池 誠一	" "	" "
海のシルクロードか らみたベトナム中 部・南部の考古学的 研究 II部 遺跡探 査篇 第2章 ホイ アン市内の探査遺跡 の概要	菊池 誠一	" "	" "
海のシルクロードか らみたベトナム中 部・南部の考古学的 研究 IV部 論攷篇 第2章 ディエンバ ン・タインチェム遺 跡は広南鎮営跡か	"	" "	" "
ヒンドゥイズムにお ける都市の東西軸に ついて—カンボジ ア・アンコール古代 都市の事例を中心 に—	三村 翰弘	筑波大学 芸術研究 報告	41
バリ島の歴史的・自 然的地域区分化から みた集住の空間特性	大谷 聡 中岡 義介	日本建築 学会計画 系論文集	573
【調査紀行】ヨルダン 踏査	巽 善信	天理参考 館報	16
研究ノート キンメ リオイおよびスキタ イの西アジア侵攻	雪嶋 宏一	西アジア 考古学	4
報告 サウディ・ア ラビアの考古学的調 査(JICA Project)報 告	川床 睦夫	" "	" "
動向 イラン考古学 の新境地寸描	大津 忠彦	" "	" "

建 物

中 国

中国古典建築書『營 造法式』・『工程做法 則例』・『營造算例』 における井口天花 (格天井)の設計技法 について	蔡 軍 麗 和 張 善 内 健 藤 昌	日本建築 学会計画 系論文集	566
---	---------------------------------	----------------------	-----

日 本

掘立柱建物考(縄文 時代)—秋田県の例 を中心に—	富樫 泰時	秋田県立 博物館研 究報告	28
〈図版解説〉滋賀県大 津市膳所城下町遺跡 奈良時代の大型掘立 柱建物遺構	大崎 哲人 中村 智孝	古代文化	539
「木の家」—柱根の樹 種鑑定から建物を考 える—	町田 賢一	富山考古 学研究	6
〈研究ノート〉豊島郡 衛正倉再考	中島 広顕	文化財研 究紀要	16

そ の 他

クメール石造建築における石造屋根構法の発展について—アンコール・ワット様式の建立順序の再考—

崔 炳 夏
片 桐 正 夫
日本建築
学会計画
系論文集 573

宮殿・官衙

中 国

明代嘉靖朝の西苑再建 大石 隆夫 人文論究 53—3

日 本

平安宮内の道—馳道・置路・櫛葛— 野口 孝子 古代文化 534

上級地方官衙遺跡に関する覚書 村井 毅史 滋賀県文化財保護協会紀要 16

研究報告 平城宮第一次大極殿の成立 渡辺 晃宏 奈良文化財研究所紀要 2003

飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査 大極殿院の調査—第117次 西口 壽生 徳彦 小谷 徳彦 16

飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査 東南官衙地区および左京六条二坊の調査—第118次・124次 花谷 浩 徳彦 孝彰 前岡 小澤 毅 16

飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査 朝堂院東第二堂・東面回廊の調査—第120次 安田龍太郎 前岡 孝彰 小谷 徳彦 富永 里菜 大樹 16

飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 飛鳥地域等の調査 古宮遺跡の調査—第119—3次 西口 壽生 16

平城宮跡等の調査概要 平城宮の調査 第二次朝集殿院南門の調査—第326次 高橋 克壽 平澤 麻衣子 16

平城宮跡等の調査概要 平城宮の調査 第一次大極殿院西楼の調査—第337次 清野 孝之 高橋 克壽 渡辺 晃宏 金田 豊島 明大 直博 16

文化財レポート 久米官衙遺跡群の概要—浮かび上がる久米官衙の実像— 重松 佳久 日本歴史 658

中世国衙の一側面—筑後国在国司と高良社— 藤本 頼人 665

聖武天皇の東国行幸と壬申の乱 大津市膳所城下町遺跡の大型堀立柱建物を「大津の頼宮」とする考え方の参考に 田中 勝弘 人間文化 13

平城宮の大改造 湊 哲夫 立命館大学考古学論集 3

古代都城の内裏と離宮—長岡京東院跡の評価を中心に— 國下多美樹 16

出羽南半における官衙関連遺跡—内陸部の様相— 村木 志伸 歴史遺産研究 1

湊御殿に関する史料—坂井家文書より— 高橋 克伸 和歌山市立博物館研究紀要 17

宗 教 建 築

中 国

五台山大聖竹林寺について 坂上 雅翁 印度学仏教学研究 102

宋元時代の東嶽廟—地域社会の中核的信仰として— 水越 知 史 林 441

論説 金元代華北における州県祭祠廟祭祀からみた地方官の系譜—山西平遙県応潤侯廟を中心に— 飯山 知保 東洋学報 85—1

北京・天寧寺塔 松木 民雄 北海道東海大学紀要 15

日 本

月千古に輝く一大徳寺聚光院の名宝 聚光院と千家 千 宗守 アートトップ 194

資料紹介 白山麓風嵐村文書について—未刊史料を中心に— 石田 文一 石川県立歴史博物館紀要 15

高来神社(神奈川県中郡大磯町)再考—高来(たかく・こうらい)と高麗(こま・こうらい)の混在について— 糟谷 政和 茨城大学人文文学部紀要 コニケーション学科論集 14

伝教大師受法の聖跡「峰山道場」「臨海龍興寺」の現況 桑谷 祐顕 叡山学院研究紀要 25

「豊州前後六郷山百八十三所霊場記」について 櫻井 成昭 大分県立歴史博物館研究紀要 4

奈良県指定有形文化財 大神神社勅使殿の変遷について(保存修理工事の調査中間報告) 幹田 秀雄 大 美 和 104

県指定文化財大神神社勅使殿 保存修理工事中間報告～現状変更について～ 竹口 泰生 105

古代寺院研究上の問題点 森 郁夫 学 叢(京都国立博物館) 25

建長寺近世史料(九) 三浦 浩樹 鎌 倉 96

研究ノート『門葉記』所収 貞和三年十楽院指図	伊藤 瑞恵	建築史学	40	平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 西大寺の調査—第341・342次	深沢 芳樹 金井 健	" "	
【資料紹介】「神宮編年記」(内宮長官日記)—[寛文二年正月〜八月]—	神宮史料輪読会	皇学館大学神道研究所紀要	19	平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 西隆寺旧境内の調査—第344次	金田 明大	" "	
伊勢神郡内建立の大雷寺廃寺をめぐる	岡田 登	皇学館大学文学部紀要	42	若狭・越前地方における中・近世の五間堂・七間堂の外陣架構について	岩田 敏也	日本建築学会計画系論文集	565
特集 神道と日本文化の諸相 吉田神道と修験道—大元宮と柱源・柱松を中心に—	宮家 準	国学院雑誌	1159	今田八幡神社玉殿に見られる地方色	山田 岳晴 三浦 正幸	" "	566
特集 「熊野学」へのアプローチ 熊野の文化 熊野の本願所	根井 浄	国文学解釈と鑑賞	869	慶長十年再建の相国寺法堂について	木村 展子	" "	568
神社祭祀と村落祭祀に関する調査研究 [特定研究]近畿の村落社会と民衆 滋賀県湖北地方のオコナイとその建築 祭礼建築論の試み	黒田 龍二	国立歴史民俗博物館研究報告	98	安芸国の中世神社玉殿における屋根構造の調査研究	山田 岳晴 三浦 正幸	" "	572
慈照寺東求堂	熊倉 功夫	国 華	1292	萩藩寺社建築物における申請相違作事・不届け作事について—萩藩の建築規制に関する研究—その2—	妻木 宣嗣	" "	574
斎宮方格地割研究への提言—再検討への第一歩—	井上 和人	斎宮歴史博物館研究紀要	12	東大寺別当の成立	佐藤 全敏	日本史研究	490
斎宮の特殊性と方格地割の性格	仁藤 敦史	" "	" "	室町時代における禅宗寺院の建築経営について—五山僧と作事奉行の役割を中心に—	竹田 和夫	遥かなる中世	20
斎宮の建築的解釈とその問題について	藤田 盟児	" "	" "	白鳳の光 薬師寺・東塔の謎(上)(下)—姿に浮かぶ千三百年前の声—	斗機 萬照	東アジアの古代文化	115、116
甲賀寺雑考(続々)	畑中 英二	滋賀県文化財保護協会紀要	16	唐招提寺の創建について	酒井昌一郎	美術史学(東北大学)	23
上野国分寺七重塔復元模型	吉田 実	史迹と美術	733	出雲大社境内遺跡と出雲大社本殿の復元	黒田 龍二	仏教芸術	270
竜光院の瑜祇塔	野村 隆	" "	734	夢の聚楽第一国宝大徳寺唐門修理を通して—	森田 卓郎	文化財(月刊)	476
「離宮八幡宮の成立」試論	鈴木江津子	人文研究	148	鎌倉時代後半における越前気比社の造営事業	名子 学	文化史学	59
彩色について	田村 洋一	大 日 光	73	『底本・滋賀県の参宮常夜燈』について	荒井留五郎	瑞 垣	195
研究報告 白削建直し—出雲大社社殿等建造物調査から—	西山 和宏	奈良文化財研究所紀要	2003	[史料編・旧社家栗山家文書(栗山誠之氏所蔵)]2	赤川 一博	美濃加茂市民ミュージアム紀要	2
飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 飛鳥地域等の調査 飛鳥寺の調査—第119—1次	西川 雄大	" "	" "	西大寺造営試論 十一面堂創建時期の推定	三舟 隆之	四日市市立博物館研究紀要	10
飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 飛鳥地域等の調査 飛鳥寺の調査—第119—4次	渡辺 丈彦	" "	" "	「大寺制」再考—7世紀を中心として—	高橋 照彦	歴史学研究	773
平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 興福寺中金堂院回廊の調査—第347次	山本 紀子 神野 恵 今井 晃樹 長尾 充 井上 和人	" "	" "	東大寺前身寺院に関する試論		鹿園雑集奈良国立博物館研究紀要	5
平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 興福寺—乗院跡の調査—第350・351次	高橋 克壽 深沢 芳樹	" "	" "				

丹生都比売神社の建築と天野番匠	鳴海 祥博	和歌山県立博物館研究紀要	10	資料紹介・研究ノート 3. 津山城本丸御殿の変容過程—『御城御座敷向惣絵図面』の検討—	乾 貴子	津山弥生の里	10
天野郷における垣内の講と黒箱文書	吉井 敏幸	"	"	陸奥国府多賀城の建設	岡田 茂弘	東北歴史博物館研究紀要	4
朝鮮				加藤清正代末期の熊本城について—加藤氏時代の熊本城に関する研究(その2)—	小野 将史 北野 隆	日本建築学会計画系論文集	566
韓国の五大寂滅宝宮成立の前史	崔 福姫	印度学仏教学研究	102	文化財レポート 熊本県八代市麦島城跡の調査と歴史的意義	山内 淳司	日本歴史	659
韓国古代伽藍の占地と背景	李 興範	"	103	弥生時代の高地性集落と中世の水軍城砦—瀬戸内海・芸予諸島地域を中心に—	伊藤 実	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	4
その他				大和送迎山城に関する一考察	金松 誠	ふたかみ	12
大会抄録 チンギス=ハーン廟の起源	白石 典之	東洋史研究	62—3	その他			
仏塔変遷史における東アジアの位置	松村 恒	印度学仏教学研究	102	2002年度 ロシア・クラスキノ土城発掘調査概要報告	クラスキノ土城発掘調査団	青山史学	21
城郭				V. I. ボルディン、E. I. ゲルマン、A. L. イヴリエフ、Yu. G. ニキーチン	清水 信行	"	"
日本				住宅・館			
初期金沢城の実像を追って—2002年度の埋蔵文化財調査から—	吉岡 康暢	研究紀要 金沢城研究	1	中国			
江戸城天守台普請の原風景—加賀前田藩の場合—	北垣聰一郎	"	"	[連載]厦門 福建省の建築・都市文化3 住居と人々の暮らし	恩田 重直	自然と文化(季刊)	71
金沢城の「三階御櫓」	吉田 純一	"	"	中国鳳凰県苗族民家における主屋前方柱間と軒出の変化について—中国湖南省少数民族の民家における空間構成に関する研究 その3—	唐 堅 揚村 固 土田 充義	日本建築学会計画系論文集	568
金沢城石垣の変遷1	北野 博司	"	"	日本			
享保期における金沢城内の営繕をめぐる一側面について	田畑 勉	"	"	岩手県内の曲り屋の歴史的変遷について	瀬川 修	岩手県立博物館研究報告	20
元和～寛文期の金沢城修築について	木越 隆三	"	"	尾張藩による古家材移送および家作事管理	林 順子	金鯉叢書 史学美術史論文集	30
日本列島古代の城郭と都市	阿部 義平	国立歴史民俗博物館研究報告	108	[史料紹介]尾張藩邸・御殿の概略・変遷に関する史料	"	"	"
戦国期城郭の空間構成	千田 嘉博	"	"	ひらがな日本美術史 [連載]その九十八 文化なもの 京都島原「角屋」	橋本 治	芸術新潮	643
熊倉城と塩沢城に関する覚書	梅沢太久夫	埼玉県立歴史資料館研究紀要	25				
伝前田利家邸跡の整備—特別史跡安土城跡—	石橋 正嗣	滋賀県安土城郭調査研究所研究紀要	9				
浅井氏の権力と小谷城の構造	北村 圭弘	滋賀県立安土城考古博物館紀要	11				
中世山城跡の近世遺物	堂込 秀人	縄文の森から	1				
秋季特別展記念講演会『戦国乱世の小出一族—岸和田城跡発掘成果を中心に—』	西川 寿勝 渡辺 晴香	園部文化博物館報	4				

卯建・京都モデルの町屋形成—近世町家の在来形式と新興形式 後編—

大場 修 建築史学 41

〈修復トビックス〉九州の千年家解体修理

今岡 武久 " "

論説・報告 重複関係からみた竪穴住居の変遷について—下総地方西部域における縄文時代中期を対象に—

渋谷 文雄 考古学雑誌 87—2

都市の地域特性の形成と展開過程—近世以降の流通と文化を中心に—[共同研究]日本における都市生活史の研究 武家屋敷の神仏公開と都市社会

岩淵 令治 国立歴史民俗博物館研究報告 103

[共同研究]室町期荘園制の研究 江馬氏館と江馬氏 室町期の国人領主と館

小島 道裕 " 104

沖縄における佛教受容と展開(一)～(三)—生活の空間構成(佛間)を中心に—

神山 正之 史迹と美術 738～740

【日本の書文化二十七】書いて、障って、透いて、読んで

松岡 正剛 墨 165

馬買衆、振駒御役人と盛岡藩の御飯屋、仙台藩の外人屋、馬見所について

岡田 飯淵 悟 日本建築学会計画系論文集 563

諸職の家屋敷への出入りと普請の履歴、その季節との関わりについて—『富澤家日記』からみた家屋敷の維持に関する研究(その1)—

中村 琢巳 " 566

山口県柳井の町屋、小田家住宅と『小田家文書』屋敷の変遷と小屋組の架構形式に関する建築史的研究

生田 堀 光晴 賀貴 " 567

藩政期における萩の御殿について

岡田 悟 " 574

部会ニュース 中世史部会 二〇〇二年七月九日(火) 於事務所「会所」の構造と展開—室町將軍邸を中心に—

家塚 智子 日本史研究 491

そ の 他

建築のアジア 世界の植民地建築23 トンプクトゥ(マリ)「黄金の都」の残映

応地 利明 建築雑誌 1511

その他の建造物

中 国

トン族鼓楼と風雨橋—中国少数民族の多層木造建築について—

中西 亨 史迹と美術 736

中国福建省の厦門における港湾空間の形成過程に関する考察

恩田 重直 日本建築学会計画系論文集 572

日 本

武州金沢 能見堂「四阿・三星亭」について(下)

前田 元重 金沢文庫研究 310

屋敷囲いとしての石垣を作る文化—喜界島、阿伝集落の例—

漆原 和子 国際日本学 1

正倉について

阿部 弘 正倉院紀要 25

木戸門の役割と建築許可申請—江戸時代の京都の木戸門の研究(その1)—

丸山 俊明 日本建築学会計画系論文集 569

口絵解説 白山神社能舞台

上野 勝久 文化財(月刊) 478

野外能舞台の舞台環境とその構成—白山神社能舞台と春日神社能舞台—

澤 良雄 " "

庭 園

中 国

研究報告 唐長安城大明宮太液池の共同発掘調査

中島 今井 義晴 晃樹 奈良文化財研究所紀要 2003

日 本

特集 風水の歴史と現代 庭園の風水—福島県奥会津地方の『泉水之次第』を中心に—

宮内 貴久 アジア遊学 47

〈図版解説〉長岡京跡右京第735次調査・久保川遺跡の庭園遺構

古閑 正浩 古代文化 538

水石の風流

飯沼 清子 成城文芸 184

研究報告 飛鳥京跡苑池遺構のなかの動物園

小野 健吉 奈良文化財研究所紀要 2003

研究報告 石動山大宮坊跡庭園の発掘調査と修復整備

高瀬 要一 " "

平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 旧大乗院庭園の調査—第352次

次山 淳 " "

江戸時代中期の地方寺院における築庭工程に関する実証的研究—山梨県竜王町慈照寺を例に—

三浦 彩子 日本建築学会計画系論文集 565

平成十四年度支部例会研究発表要旨 禅宗庭園と室町絵画における空間構成の関連性—雪舟と常栄寺庭園をめぐって	原田千夏子	美術史	154	稲荷山古墳外堀の陸橋部について	中山 浩彦	埼玉県立さきたま資料館調査研究報告	16
表紙解説 飛鳥京跡苑池南池	玉田 芳英	文化財(月刊)	479	「武蔵国造の乱」はあったか—6世紀前半以降の上野・武蔵地域の政治勢力の所在—	利根川章彦	"	"
墳 墓				平成13年度秋季特別展記念講演会録『失われた時を求めて』—百舌鳥大塚山古墳の調査を回顧して—	森 浩一	堺市博物館報	22
中 国				鳥戸野陵の墳丘外形調査	陵墓調査室	書陵部紀要	54
論説・報告 遼代契丹墓の研究—分布・立地・構造について—	今野 春樹	考古学雑誌	87—3	平成13年度 陵墓関係調査報告	"	"	"
漢墓資料研究の方向性 長沙地域における前漢社会をモデルとして	上野 祥史	国立歴史民俗博物館研究報告	108	椿井大塚山古墳被葬者像の再検討	村田 昌也	朱雀	15
〈史料紹介〉秦始皇帝陵研究の成果と課題—『秦始皇帝陵園考古報告(1999)』第老部から—	秋山 進午	古代文化	534	研究ノート 図文構成からみた壁画系装飾古墳の展開	中尾麻由実	筑波大学先史学・考古学研究	14
春秋戦国時代燕山地域の北方系墓葬諸例	小田木治太郎	天理参考館報	16	五領式から和泉式への転換と中期古墳の成立	田中 裕	帝京大学山梨文化財研究報告	11
中華人民共和国陝西省東龍門漢墓 陝西省考古研究所・三重大学文学部考古学研究室合同発掘調査記録	山中 章 三品 典生 鈴木裕美子 山田真靖 植林啓介 大槻澄香	三重大史学	3	鉄製「字形鏡板付簪」の編年とその性格	中條 英樹	"	"
後漢代大型墓の構造と規格	岡村 秀典	立命館大学考古学論集	3	シナノの古墳時代中期とその前・その後—新来文化受容期の二相北南—	西山 克己	"	"
日 本				合掌形天井の埋葬施設について—いわゆる合掌形石室についての再整理—	飯島 哲也	"	"
松山平野南部における古墳時代後期首長墓の系譜	富田 尚夫	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	8	古墳時代中期における小規模墳の一樣相—甲府盆地を例として—	宮澤 公雄	"	"
〈研究報告〉神戸市北区南所3号墳の発掘調査と整理	森下 章司 藤本 史子	大手前大学史学研究紀要	2	姫塚と段塚—三河における古墳出土遺物の研究(3)—	岩原 剛	豊橋市美術博物館研究紀要	12
棺内礫敷をもつ組合式箱形木棺	岩本 崇	"	3	研究報告 キトラ古墳の調査—飛鳥藤原第126次—	花谷 浩	奈良文化財研究所紀要	2003
論説・報告 古墳の築造企画と横穴式石室(上)(下)	沼澤 豊	考古学雑誌	87—1、2	研究余録 比丘尼法葉の埋納遺物	真鍋 俊照	日本歴史	660
論説・報告 終末期古墳の墳形—方墳の導入をめぐる古墳の動向—	渡邊 邦雄	"	87—4	宮崎市榎一号墳木槨の調査	柳沢 一男	東アジアの古代文化	114
考古学からみた聖俗二重首長制	白石太一郎	国立歴史民俗博物館研究報告	108	河内巨大古墳の謎を探る(下)—五世紀前後を中心とする新仮説—	李 鐘學	"	"
埼玉県における低地の周溝墓と建物跡(6)—鳩ヶ谷・戸田・和光市域の低地遺跡について—	福田 聖	埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	18	特集 邪馬台国の時代 三世紀の纏向遺跡—小規模な埋葬施設の検討から—	橋本 輝彦	"	115

特集 邪馬台国の時代 管墓古墳の築造時期と被葬者—奈良県文化財調査報告書『管墓古墳周辺の調査』を読んで—	大和 岩雄	東アジアの古代文化	115
四世紀の日本は未開だったか—李鍾學氏に問う—	白崎昭一郎	"	"
特集1 倭の五王から継体期の諸問題 今城塚古墳と埴輪祭祀—継体陵論の道程—	森田 克行	"	117
《報告》史跡浄楽寺・七ツ塚古墳群測量調査報告	植田千佳穂	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	4
資料紹介 『馬來田皇女御墳墓取調ノ書類ノ写寄品物控』について—明治期における古墳の発掘記録足羽山山頂古墳を中心に—	角鹿 尚計 松村 知也	福井市立歴史民俗資料館研究紀要	11
終末期古墳出土の土製棺台について—塚廻古墳緑釉陶棺と平野2号墳棺の受台の比較・検討—	下大迫幹洋	ふたかみ	12
古代野洲の古墳群(二)	花田 勝広	野洲町立歴史民俗資料館研究紀要	10
渋江遺跡検出の墓域について—主に近代墓に関する報告—	押切 智紀 多田 和弘 西田 明日香	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	1
神奈川県 古墳(Ⅱ)—神奈川県前期古墳について(1)—	稲村 繁	横須賀市博物館研究報告	47
平成十五年度立正大学史学会大会発表要旨—近世大名墓の調査—池上本門寺の事例—	松原 典明	立正史学	94
近江湖南における弥生墓制の一試論—滋賀県服部遺跡の方形周溝墓群から—	丸山 竜平	立命館大学考古学論集	3
弥生時代末期における埋葬儀礼の一形態—口酒井遺跡円形周溝墓の例—	浅岡 俊夫	"	"
須恵器生産者とその墳墓—牛石13・14号墳の再検討—	中村 浩	"	"
棺と古墳祭祀(2)—『閉ざされた棺』と『開かれた棺』—	和田 晴吾	"	"
鳥取県における中世墓の変遷について	八峠 興	"	"
地域 日本から世界から99 月の輪古墳発掘五〇周年	角南 勝弘	歴史地理教育	656

[特集]胎動する歴史学 墓 大和の郷墓	白石太一郎	歴 博	121
磯の浦古墳群の発掘調査	丹野 拓	和歌山県文化財センター年報	2002
和歌山 市栄谷所在「貴志古墳」の出土遺物	前田 敬彦	和歌山市立博物館研究紀要	17
6世紀における上毛野の前方後円墳規格系列	山田 俊輔	早稲田大学大学院文学研究科紀要	48
朝鮮			
特集1 倭の五王から継体期の諸問題 栄山江流域における前方後円墳出現の歴史的背景—五、六世紀の韓半島と日本列島—	朴 天秀	東アジアの古代文化	117
建築部材など			
日 本			
荏柄天神社の「御用材」について	浪川 幹夫	鎌 倉	96
樹種と木取り—出土木製品観察の一視点—	木沢 直子	元興寺文化財研究所研究報告	2002
解体処理で下ろされた建築部材の基礎的研究	狭川 真一	"	"
年輪年代法による正倉院正倉の建築部材の調査	光谷 拓実	正倉院紀要	25
朝鮮・その他			
「韓国、中国、日本の挿肘木に関する研究(その1)—挿肘木の形態について—」に対する討論	中西 章	日本建築学会計画系論文集	564
中西章氏の討論に対する回答	崔 ゴウン	"	"
韓国、中国、日本の挿肘木に関する研究(その2)—挿肘木の機能について—	"	"	565
クメール建築における木工技術の研究—木造扉の施工技術と変遷過程について—	澤田 知香	建築史学	41
建築に付随するその他			
日 本			
特集 風水の歴史と現代 江戸時代後期の家相説	村田 あが	アジア遊学	47
【資料紹介】郷土文化館収蔵の大工道具について	安齋 順子 宮本 速寿	くにたち郷土文化館	5

わが国近世以前における建築造営と主要道具について—木の建築をつくる技術と道具の歴史に関する調査報告—その5—

渡邊

晶

竹中大工
道具館研
究紀要 15

18世紀初頭江戸城工
事に見る工事手伝と
幕府工事組織

藤尾 直史

日本建築
学会計画
系論文集 564

問面記法の運用に関
する考察

三浦 正幸

仏教芸術 270

近 現 代

絵 画

一 般

画用液における樹脂の効用	松本 昭彦	愛知教育大学研究報告	52
詩人の絵筆	松永 伍一	学 鐙	100—12
総力レビュー2002 ファインアート 絵画と映像の間	小林 昌夫	木野評論	34
チャイルド・プレイ? ハンズ・フィッシャーから三宅信太郎まで[ジェニー・ワトソン、フェリックス・ホフマン、バンド・デシネ]	編 集 部	STUDIO VOICE	332
特集2 絵画考 「ロマネスクな絵画論を求めて」		セゾンアートプログラム・ジャーナル	10
絵画のフォルムとアンフォルム	谷川 渥		
絵画とは何か?	本江 邦夫		
絵画がある理由	前田 英樹		
バラディグマティックな探求	松浦 寿夫		
特集2 絵画考 絵画論考 絵画を見るメルロ＝ポンティエー「眼と精神」の周辺をめぐって	加國 尚志	" "	" "
転生する波一波の伊八、北斎、ゴッホ、クローデル	齊藤 泰嘉	筑波大学芸術年報	2003
特集 〈生と死〉と美術Ⅲ美術史学・美術批評と〈生と死〉「近代美術と生死」覚書	原田 平作	美術フォーラム21	8
粒度分布から見たピアンコ・サン・ジョヴァンニ	大野 彩	武蔵野美術大学研究紀要	33
美の美 描かれた食卓 上、中、下	野瀬 泰申	日 経	3, 23, 30, 4, 6

日 本

日本画はどこから生まれ、何を意味し、そしてどこへ行くシンポジウム(転位する「日本画」)を聞いて	草薙奈津子	あいだ	89
愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介(27)	松村 公嗣	愛知県立芸術大学紀要	32

岩崎新太郎コレクションにおける人物画の展望(後編)	横村 洋介	飯田市美術館研究紀要	13
資料紹介 日本の近・現代漫画絵巻書	清水 勲	川崎市市民ミュージアム紀要	15
研究発表(要約) 影になること—十九世紀日本の身体感覚と肖像表現	岡戸 敏幸	近代画説	12
研究発表(要約) 東京芸術大学西洋画科自画像について	福田 徳樹	" "	" "
第九回文展の第三室(美人画室)についての考察	伊藤たまき	芸術学研究(筑波大学)	7
昭和期日本画の戦争表現と古典絵画	長嶋 圭哉	" "	" "
ものを形づくる材料としての合成素材画材としての合成素材	園田 直子	国立民族学博物館調査報告	36
対談「水墨画の過去・現在・未来」	島尾山下 新 裕二	太 陽 (別冊)	124
自然の探訪者—明治30年代の雑誌メディアと風景	鈴木 勝雄	東京国立近代美術館研究紀要	8
実測図の描き方—麻作りの民具を例として	大沼 正代	栃木県立博物館研究紀要	20
日本美術思想の帝国主義化—1910～20年代の南画再評価をめぐる一考察—	千葉 慶 美	学 術	213
珊瑚会論考	菊屋 吉生	美術研究	377
研究資料 珊瑚会資料集(補遺)	菊屋 吉生、純 塩谷 編	" "	" "
図版解説 ウィーン美術史美術館所蔵画帖	塩谷 純	" "	379
日本画の戦争画と古典絵画論—「戦争美術展覧会」(一九三八年)を中心に—	長嶋 圭哉	美 術 史	155
第五六回全国大会研究発表要旨		" "	" "
思い描かれた「二人の女性」—近代化の過程で現れた新主題の意味を探る—	福山 明子		
近代の美人画の展開と文部省美術展覧会—第九回文展を中心に—	伊藤たまき		

通信省発行日露戦役 紀年絵巻—その実 相と意義—	向後恵里子	美術史研 究	41	江戸博蔵めぐり 和 装西洋男女図	我妻 直美	"	6.20
海 外							
特集 21世紀の戦争 と美術—イラク戦争 以後のアートを考え る—戦争と戦争画	平瀬 礼太	美術手帖	835	イタリア素描の主題 研究	鯨井 秀伸	愛知県美 術館研究 紀要	9
墨戯ルネッサンス行 脚塾1 小林忠	編 集 部	美術の窓	235	ヴェネツィア派の 「聖会話」祭壇画の空 間構成	篠塚二三男	跡見学園 女子大学 文学部紀 要	36
巻頭特集 画材と技 法	"	"	242	イタリア中世板絵の 金地技法—中世初期 におけるボーロを使 用しない技法(一)—	大竹 秀実	五浦論叢	10
ホルベイン工業 (株)研究室長植本 誠一郎氏に聞く アクリル絵具の可 能性と問題点	松嶋 励路 取材・文	"	"	須磨ノート 中国近 代絵画編(一)	須磨弥吉郎 記述 西上 編 実	学 叢(京 都国立博 物館)	25
クサカベ本社工場 見学記	編 集 部	"	"	1880—90年代のフ ランスにおけるボス ターの流行と批評家	中山久美子	川崎市市 民ミュー ジウム紀 要	15
マツダ油絵具・埴 玉工場見学記	松嶋 励路 取材・文	"	"	《メロドの祭壇画》の 女性寄進者	蜷川 順子	関西大学 哲学	23
友泉亭杉戸絵の復元 研究 松永冠山の絵 画空間—	中山喜一郎	福岡市博 物館研究 紀要	13	長期在学研修報告 イタリアでのフレ スコ画の研修	赤松 玉女	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	47
元 聚楽小学校蔵 「和漢故事人物図」屏 風について	秋山美津子	文化学年 報(同志 社大学)	52	特集 森村泰昌が語 る 伝説の女性画家 フリーダ・カーロの ざわめき 女性シュ ルレアリストたちの 魔術的実験	多木 浩二	芸術新潮	645
「日本画」は終わる？ 広がる？ 名称、あ り方、存在意義…多 彩な論争 横浜でシ ンポ	大西 若人	朝 日	4.8	[翻訳]アン・マク タッガー、ピー ター・マクタッガー テンペラ技法と 鍵盤楽器装飾	高梨 光正	国立西洋 美術館研 究紀要	7
古い絵はがき再発見 生活・風俗映す美に 魅せられ… 手軽に 収集/史料としても	"	"	6.16	現在通信from NEW YORK ドローイン グ2題	富井 玲子	新美術新 聞	987
暮れゆく秋に大正絵 画 秦テルヲ、小茂 田青樹、岸田劉生… 企画展続々	生田 誠 産 経	11.8	"	財団法人東洋文庫所 蔵の歴史画コレク ション：作られた中 国的イメージを中心 に	ウィリア ム・シャン グ	東洋文庫 書報	34
私説 論説室から 画家の草の根外交	今里 義和 東 京	2.9	"	ミティリニ福音書写 本に見られる特殊な ヘッドピース—キリ ストと福音書記者の 組み合わせについて—	瀧口 美香	美 学	214
文化 日本画材に新 潮流 天然素材 絵 の具 鉱石から自作 膠 使い方再検証 新素材 溶剤に樹脂 の利点応用	宝玉 正彦 日 経	1.11	"	美学会第五十四回全 国大会発表要旨 オ ルサンミケレのタ ベルナーコロータベ ルナーコロの意味と その機能—	出 佳奈子	"	215
美の美 沈黙の絵 画—戦没画学生の青 春 上、下	浦田 憲治	"	8.3、10				
墨と生きる十選 1～10	土屋 禮一	"	11.13、 14、17、 18、20、 21、24、 25、27、 28				
日本画はどこへ行く 問われ続ける表現の 根拠 横浜でシンポ	三田 晴夫	毎日夕刊	4.4				
江戸博蔵めぐり 興 行チラシ「元祖生人 形細工」郵便報知 新聞第623号	新田 太郎	読 売	3.7				

ヴェロッキオ、クレ
ディ作「ヒストイア
祭壇画」の問題—フ
ランドル絵画との造
形的、機能的関係に
ついて—

江藤 匠 美術史 155

メルボルンのヴィク
トリア国立美術館蔵
《キリストの奇蹟の
祭壇画》—図像解釈
と制作年代—

平岡 洋子 " "

二〇世紀初期フラン
スのポスターをめぐ
る広告業と現代芸術
家連盟

吉田 紀子 " "

第五六回全国大会研
究発表要旨

" "

一七世紀初頭の北
部ネーデルラント
における「キモン
とペロー」—ホル
ツィウスとブルー
マルトの作品を
中心に—

深谷 訓子

オテル・ド・スー
ピーズ「公妃の楕
円形のサロン」に
おける装飾画《ア
モルとプシュケ》—注文者や空
間の性質に関わる
装飾画の場面選択
や表現について

太田 みき

「画材としての蜜
蝋：古代エンカウ
スティック技法にか
する一考察」

中村 るい 横浜美術
短期大学
教育・研
究紀要 1

キリスト・バントク
ラートルのコンテ
クスト—中期ビザ
ンティン聖堂装飾
プログラム論—

益田 朋幸 早稲田大
学大学院
文学研究
科紀要 48

海外文化 豪州 先
住民アボリジニーの
絵 現代アートとし
て人気に

ゲーリー・
ラウンドツ
リー 朝日夕刊 7.15

失われた一枚の絵
収容所で殺された少
年の遺作『コロンビ
ア』とともに散る

野村 路子 東京夕刊 2.25

中国宋画十選 1～
10

加山 又造 日 経 1.6、7、
9、10、
13、14、
16、17、
20、21

ゴッホのまなざし十
選 1～10

野村 義照 " 4.10、
11、14、
15、17、
18、21、
22、24、
25

絵の中の小道具十選
1～10

木村 三郎 " 9.17～
19、22、
23、25、
26、29、
30、10.1

メトロポリタン美術
館展「ピカソとエ
コール・ド・バリ」
を見て

岡谷 公二 読売夕刊 2.28

失われたシルクロ
ード壁画復元

" 9.8

漫画・アニメーション

一般

総力レビュー2000
マンガ 金の卵とし
ての食玩とマンガ

藤田 尚 木野評論 34

マンガ評判記 日本
マンガへの国際的な
注目の中で

細萱 敦 東京夕刊 12.5

日本製アニメ 米国
で存在感 米大手が
先物買い 海外専用
の作品も

長尾 弘嗣 日 経 3.25

米国で雑誌のめくり
方を変えた日本製マ
ンガ 筋の複雑さに
驚き

佐藤 由紀 毎日夕刊 5.23

『はだしのゲン』の力
に感動 M.コリン
ズさんに聞く

" "

米で評価高まる日本
アニメ—テキサス
大・ネイピア教授が
分析 娯楽を超えて現
代を表現

佐藤 憲一 読売夕刊 3.14

米マンガ評論誌 つ
げ義春「ねじ式」の英
訳掲載 海外読者も
楽しく迷う

小野 耕世 " 5.19

日本

「漫画」概念の重層化
過程—近世から近代
における—

宮本 大人 美術史 154

特集 マンガはここ
にある・作家ファイル
45

ユリイカ 485

マンガは誰のもの
か？ 著作権・批
判・読者

夏目房之介

サンプリング・マ
ンガのほうへ

斎藤 宣彦

発光する落伍者た
ち ギャグの現在

橘川 有彌

ミステリとマンガ
ダブル・スパイラル
の二重螺旋

鷹城 宏

なややかな男の子
たち

永山 薫

マンガにおける
「顔」と「関係」

斎藤 環

マンガ最前線の45人 相田裕、朝倉世界一、浅野いひこ、安倍吉俊、安野モヨコ、今市子、羽海野チカ、浦沢直樹、奥浩哉、小田原、小花さ穂、鴨居まね、雁須磨子、華倫変、かわかみゆんこ、鬼頭莫宏、黒田硫酸、コゲどんぼ、逆柱いみり、佐藤秀峰、施川ユウキ、篠房六郎、島田虎之介、志村貴子、ジョージ朝倉、すぎむらしんいち、高橋しん、高寛、TAGRO、武智、地下沢中也、魚喃キリコ、二ノ宮知子、羽生純、福島聡、古谷実、松本次郎、松本大洋、望月峯太郎、本秀康、柳沼行、矢沢あい、安彦良和、よしながふみ	伊藤 剛、斎藤 宣彦、斎藤 環、砂、芝田 隆弘、足立 守正、横井 周子、ヤマダトモコ、佐藤 心、七尾 藍佳、藤 宣彦 編	「千と千尋」にアカデミー賞 『高い普遍性』と称賛 邦画の再評価にも弾み	寺本 政司	”	”	
コンパス 漫画を「文化」にするために		(間)	”	11. 1		
創作探訪 鉄腕アトム 今も色あせぬメッセージ 科学と人間に警鐘		林 隆之 日 経	3. 23			
アニメやマンガ海外への発信支援 文化庁懇談会が報告		”	3. 25			
文化 紙フィルムの謎楽しむ 古い箱型映写機、アニメ大国の源流映す		芦屋 小雁	”	4. 29		
文化往来 レンタル漫画の著作権、関係団体が協議		”	5. 22			
アニメを地域産業に杉並や三鷹、民間と連携 人材育成や政策を支援		”	6. 4			
文化往来 日本製アニメ、国際的な影響力強める		”	8. 18			
リバイバルが聞こえる6 マンガ世代は中高年 細る市場古参が救い		”	”			
アカデミー賞長編アニメ部門賞受賞 「保守性」覆した「千尋」の芸術性 急速に浸透する日本アニメ	山本 克哉 朝 日	3. 25				
おゲレツか？芸術か？ 表彰された「クレヨンしんちゃん」劇場版 最新作はどっちだ	石飛 徳樹	”	4. 24			
ゼロサン時評 「アクション」の「雑」力	呉 智英	”	9. 25			
「千と千尋の神隠し」アカデミー賞受賞 日本アニメ実写よりリアル	スーザン・ネイピア	朝日夕刊	4. 15			
漫画世界 輝けるスターたち81 ジルベール(風と木の詩)	辻 真先	東京夕刊	1. 20			
鉄腕アトムは来なかった “その後の未来”の憧れでいてほしい	重松 清	”	1. 28			
漫画世界 輝けるスターたち88 ケンシロウ(北斗の拳)	辻 真先	”	”			
マンガ評判記 今こそ謙虚たれ！日本マンガ・アニメ	細萱 敦	”	2. 28			
『千と千尋』にアカデミー賞 長編アニメ部門 日本で初	野口 麻子	”	3. 24			
「千と千尋」にアカデミー賞 『高い普遍性』と称賛 邦画の再評価にも弾み						
コンパス 漫画を「文化」にするために		(間)	”	11. 1		
創作探訪 鉄腕アトム 今も色あせぬメッセージ 科学と人間に警鐘		林 隆之 日 経	3. 23			
アニメやマンガ海外への発信支援 文化庁懇談会が報告		”	3. 25			
文化 紙フィルムの謎楽しむ 古い箱型映写機、アニメ大国の源流映す		芦屋 小雁	”	4. 29		
文化往来 レンタル漫画の著作権、関係団体が協議		”	5. 22			
アニメを地域産業に杉並や三鷹、民間と連携 人材育成や政策を支援		”	6. 4			
文化往来 日本製アニメ、国際的な影響力強める		”	8. 18			
リバイバルが聞こえる6 マンガ世代は中高年 細る市場古参が救い		”	”			
明るい未来へ飛べ！アトム 各地で誕生日祝福 1億円の像／「新宿未来特使」に		日経夕刊	4. 7			
雑誌で復活、名作漫画 気軽に手に取れ 文庫より大ぶり 連載でワクワク		”	6. 12			
新色アキハバラ上 街彩るゲーム・アニメ芸術		”	12. 2			
記者の目 「日本的」世界観に可能性 「千と千尋」オスカー受賞	勝田 友巳 毎 日	4. 2				
マンガの居場所	宮本 大人 毎日夕刊	3. 31、6. 12、11. 12				
マンガの居場所 過去と現在を結ぶ意識	ヤマダトモコ	”	5. 15			
進むマンガの著作権保護	内藤麻里子	”	6. 20			
東京の記憶 若き漫画家たちの巣トキワ荘(豊島区) 集い、刺激しあって才能開花	岡本 公樹 読 売	8. 25				
アトムを探せ 生誕年を迎えて(下) 「永遠の子供」の屈折オタクの街アキハバラ	石田 汗太 読売夕刊	3. 19				
手帳 漫画原稿は文化資産	”	”	8. 22			

海外

特集アジアの現在
東南アジア漫画に独
自性はある。幸福な
スタートを切ったタイ
漫画の新潮流がす
ごい。

天野 昌直 STUDIO
VOICE 333

「ノー・ゴースト・
ジャスト・ア・シェ
ル」展 憂い顔のメ
タ少女たち

ドミニク・
チェン 美術手帖 833

ワールド・カルチュ
ア・マップ ロシア
インターネットの
(アンダーグラウン
ド・アニメ)『マー
シャーニャ』

毛利 公美 ユリイカ 475

小特集 韓国マンガ
文化の現在

" 485

座談会 網状言論
in Korea

東 斎 藤 浩
鈴 木 環
宣 李 謙
政 佑 錫

網状言論、韓国に
行く

東 浩紀

韓国マンガの歴史
と現在

宣 政佑

マンガ評判記 フラ
ンスコミック・ア
ート

細 萱 敦 東京夕刊 6.20

おとなの楽校 共感
呼ぶアートアニメ
人生の機微演じる人
形たち

日 経 2.22

インドネシアのマン
ガ状況 人気集める
日本の作品 伝統に
根ざした試みも バ
ンドンでセミナー開
催

小野 耕世 毎日夕刊 5.14

版 画

一 般

台湾出兵と日本のメ
ディア

土屋 礼子 アジア遊
学 54

研究ノート 国立銀
行紙幣の原図をめ
ぐって(下)

新堀 道生 お札と切
手の博物
館ニュー
ス 14

日 本

歌舞伎と錦絵新聞

佐藤かつら 浮世絵芸
術 146

〈論考〉明治前半期大
阪の出版と印刷

熊田 司 大阪の歴
史と文化
財 11

明治期雑誌の印刷表
現—博文館の雑誌群
多数を獲得するための
新技術の応用—2

森 啓 女子美術
大学研究
紀要 33

雑誌探索

紅野 敏郎

資料と研
究 8

(1)昭和初期の
「若草」の一駒—竹
久 夢二・片岡鉄
兵・南部修太郎・
岡本潤・小野十三
郎・伊藤整・黒島
伝治・宮地嘉六・
草野心平・川崎長
太郎ら—

(2)「異象」細目一
舟木重信・宇野喜
代之介・関口次
郎・伊藤武雄・藤
森秀夫・山脇信徳
ら—

ハンガ道場 体験的
制作講座 第4回
現在プリンター修行
中!—私がスクリー
ンプリントにこだわ
る理由

岡 部
イ ビュー・タ
成 ユー・構

版画芸術 119

蒐集快樂論 第四章
麗しき卓上芸術—木
版口絵の美を求めて

辺 見
構 成

" "

山口昌男エッチン
グ・ロード その
一—その四

松 山
取材・文

" 119~122

現代版画はどこへ行
く? 2、4

松山 龍雄

" 120, 122

ハンガ道場 体験的
制作講座 第5回
(最終回)「音」を奏
でるように彫る—女
性木口木版画家薔園
記

岡 部
イ ビュー・タ
成 ユー・構

" 120

Kuchi-eの 魅 力
1、2

山田奈々子

" 121, 122

ニュー・プリント・
スタジオ訪問 1
京都精華大学

秋 田

" 121

新・表現考 メディ
ア時代の版画の手わ
ざ 座談会 現代版
画は、どこから来
て、何であり、どこ
へ行くこうとするの
か?

松 山
文・構成

" 122

版画制作の場を探そ
う 版画工房・教室

" "

飾る「愉しみ」を追う
file1 1枚の版画か
ら生まれた安らぎの
食空間

秋 田

" "

明治の版画「時代か
がみ」明治29~30
年 楊洲周延

マ キ エ 23

広重の大作「名所江
戸百景」復刻若手
が技磨く

朝 日 1.9

海 外			
『ガゼット・デ・ボザール』と1873年の挿絵入り競売カタログの「改革」—1870年代の複製エッチングの流行とその背景—	陳岡めぐみ	鹿島美術財団年報別冊	20
18世紀スペイン宗教版画研究	浅野ひとみ 大坪 慈	純心人文研究	9
東洋文庫所蔵西洋版画類目録—その他の部—	辺見由起子	東洋文庫書報	34
例会発表要旨 第92回例会 19世紀フランスにおける写真製版技術とイラストレーション	寺田 寅彦	日仏美術学会会報	22
HANGA SCENE 海外 中国の現代版画は今?	黒崎 彰	版画芸術	119
初期メゾチントについてのメモ	佐川美智子	町田市立国際版画美術館紀要	7
タイの現代版画を調査する 6、7	奥村 泰彦	和歌山県立近代美術館ニュース	36、37
日露戦争 版画で欧州に報じた 1世紀前の「新聞」、色鮮やか 独の博物館	古山 順一	朝 日	2.25
江戸博蔵めぐり ヨンストン動物図説(オランダ語版)	益田 茂	読 売	12.5

写真・映像

一 般			
写真印画紙への銅版刷り—その意味と方法、銀塩写真の構造と歴史も含めて—	山田 純嗣	愛知県立芸術大学紀要	32
特集1 旅—「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン 二重露光の旅の途中で トラヴェシーア、エクソダス、ヴァイタル	今福 龍太	現代の眼	542
視覚の深淵から「映画」へ—芸術的創造活動に関する一試論(1)	碓井 涼子	日本女子大学紀要人間社会部	13
カラー映画フィルム技術史(6)	広沢 文則	日本大学芸術学部紀要	37
美学会第五十四回全国大会発表要旨		美 学	215
ヴァルター・ベンヤミンの写真論—写真とモダニズムの知覚について—	城丸 美香		

写真性を顕現させるものとしての写真の「マチエール」	内野 博子		
疾走する馬のイメージ論・再考—ベルクソン哲学と瞬間の表象—	大石 和久		
特集 21世紀の戦争と美術 イラク戦争以後のアートを考える		美術手帖	835
バグダッドでゴドーを待ちながら—スーザン・ソントグの『他者の苦しみを見つめて』	暮沢 剛巳		
戦争と写真	杉田 敦		
日韓20代の写真交流を企画して 内面と社会へのまなざし	平木 收	東 京	5.10

日 本

日本実験映像史 1～10	西村 智弘	あいだ	87～96
文学部人文学科主催講演会記録 日本映画とメロドラマ—みずからになった盲目	四方田犬彦	跡見学園女子大学人文学フォーラム	1
印刷による女性の好ましい肌色再現—世代と好ましい肌色との関係—	高森 玲奈 内藤 郁夫 芝木 儀夫	九州産業大学芸術学部研究報告	34
一九九〇年代以降の建築都市 8 白昼の怪物 彼岸と接続されるテレビ<個室<都市<テレビ	五十嵐太郎	10+1(Ten Plus One)	32
直木三十五と聯合映画芸術家協会	田島 良一	日本大学芸術学部紀要	37
雨月物語絵巻—繰り広げられる映画—	大井 桂太	人間文化	14
近代における美術資料としての動物・植物写真集	中川 馨	美学芸術学	18
単眼複眼 新しい遠近法示す写真 一点から眺める姿勢を相対化	大西 若人	朝日夕刊	2.10
停滞する実験映像 17歳の「無邪気さ」の勝利 イメージフォーラム・フェスティバルを見て	中村 敬治	"	6.11

海 外

フォトモンタージュの前史	島岡 将	茨城大学人文学部紀要コミュニケーション学科論集	13
--------------	------	-------------------------	----

〈教養のための表象文化論1〉催眠術師の誘惑—ワイマール映画の光と影—1	藤崎 康	慶応義塾大学日吉紀要	37
精神の共和国とコミュニケーション・ネットワーク—第二帝政期フランスにおける写真の社会性について—	菊池 哲彦	国際交流研究	5
大衆と映画の世紀：Nathanael WestのThe Day of the Locust	長澤 唯史	椋山女学院大学文化情報学部紀要	2
家庭と女性の創造行為—映像作品としての『若草物語』	野口 啓子	津田塾大学紀要	35
中国映画史Ⅲ 上海・商務印書館覚書—その成立と映画事業との関係—	横川 眞顯	日本大学芸術学部紀要	38
森とケータイの国フィンランドの視覚芸術 上 女性が作る映像表現の句	大西 若人 朝 日		7. 8
オーストリア写真家団体の企画力[カメラ・オーストリア]	前田 恭二	読売夕刊	10. 27

彫刻・空間表現

一般

風景と造形芸術—「サウンドスケープ」を導きとして—	村上 敬	アマリリス	68
特集2 今日の人形芸術—想念の造形 現代人形美術の潮流	小川千恵子	現代の眼	538
現在通信from NEW YORK DIYフルクサス	富井 玲子	新美術新聞	1009
特集 新しい身体と彫刻の美学 Figure /Sculpture		美術手帖	840
NEW FIGURE 身体感覚変容の、その先へ	飯田 高誉 構成・文		
アート界の人形たち	榊山 裕子		

日本

金次郎像について～岐阜地区小学校の場合～	青木 秀樹 小野木義浩	岐阜市歴史博物館研究紀要	16
「構造社」研究—総合試作について—	齊藤 祐子	芸術学研究(筑波大学)	7
「形物美術」の領域—近代日本の置物、彫刻、人形、模型(上)	大熊 敏之	三の丸尚蔵館年報・紀要	8
頻発する野外彫刻の被害	豊原 真澄 西澤 美子	新美術新聞	993

特集 新しい身体と彫刻の美学 Figure /Sculpture プロダクトの中の新しいヒトのかたち 概説 プロダクトにおけるフィギュアのトレンド	小田切 博	美術手帖	840
---	-------	------	-----

口絵解説 旧鈍川小学校二宮金次郎像台座	北河大次郎	文化財(月刊)	475
---------------------	-------	---------	-----

「ひとがた」の魅力、どこに 怪しさ、欠落、静かな語りかけ...	大西 若人 朝 日		5. 14
---------------------------------	-----------	--	-------

TOKYO発 代官山街角アート「インスタレーション'03」新進作家と住民が“合作”	井上 圭子	東京	12. 5
---	-------	----	-------

石の里で芸術発掘 宇都宮・大谷地区 舞踏・壁画・彫刻... 採掘現場は巨大な舞台	平沼 隆志	日経夕刊	7. 18
--	-------	------	-------

宇宙で創造、新たな美 シャトルの軌道、無重力での体形変化...彫刻に！		読 売	10. 18
-------------------------------------	--	-----	--------

海外

野辺の民間信仰・路傍の神々4	村越 信子	東京家政大学研究紀要	43
----------------	-------	------------	----

工 芸

一般

19世紀ヨーロッパにおける平戸・三川内焼の受容と現状—ジャポニズムの視点から—	松下 久子	鹿島美術財団年報別冊	20
陶素材の心理的効果	朴 修賢	女子美術大学研究紀要	33
フランス東洋陶磁学会に参加して—日本の「樂と焼締陶器」シンポジウム—	弓場 紀知	陶 説	598
[コラム]螺鈿の色	日高 薫	歴 博	116
美の美 ジャパン—西洋を魅了した漆黒上、中、下	松岡 資明	日 経	3. 2, 9, 16
芸文百話 漆はよみえるか1～4	"	"	10. 5, 12, 19, 26

日本

青森県下北地方の曲物細工	成田 敏	青森県史研究	8
現代生活スタイルへの適合を考慮した大館曲げわっぱのデザイン開発—秋田県における伝統工芸産業活性化への取り組みの一事例として—	柚木 泰彦	秋田公立美術工芸短期大学紀要	8

匠のかたち	谷口真佐子	A X I S	101~104	館蔵品紹介 御所人形「独楽廻し」	新井 久代	遠山記念館だより	24
石川県の金工	南 俊英	石川県立美術館紀要	13	館蔵品紹介 雪持ち南天に文字入り模様小袖	水上嘉代子	"	25
調査報告 金沢美術工芸大学所蔵紅型型紙資料について	寺川 和子	"	"	明治22年の日本の芸術 C・ドレッサーの寄贈品とA・イーストの批評に関連して	藤田 啓子	富山市篁牛人記念美術館報	12
名産 岐阜団扇〜成立と特徴についての考察〜	大塚 清史	岐阜市歴史博物館研究紀要	16	山中漆器産地の革新機構—交流の構造と革新の風土—	宮川 泰夫	比較社会文化	9
座談会 「工芸」と「邦楽」の未来形	堀口 光彦 増村紀一郎 野村 四郎 山本 泰正 (邦山)	藝大通信	6	特集 日本伝統工芸展五〇年 私と日本伝統工芸展 日本伝統工芸展の理念と成果	柳橋 眞	文化財(月刊)	481
「形物美術」の領域—近代日本の置物、彫刻、人形、模型(上)	大熊 敏之	三の丸尚蔵館年報・紀要	8	御装束神宝シリーズ(十一)組物—	采野 武朗	瑞 垣	195
庄内地方の蠟搾りと絵蠟燭	犬塚 幹士	自然と文化(季刊)	72	関の刀鍛冶にみる道具の変化と作業姿勢の変遷	青木 啓将	民具マンスリー	418
会津の漆蠟の歴史と技術	佐々木長生	"	"	伝統の技法に支えられ今に生きぬく北の藍	富士田金輔	"	419
「リボン・プロジェクト」「ノマド・テーブルメイド・イン・金沢」地場産業、工芸との交配が照らすデザインの未来	岡田 栄造	STUDIO VOICE	336	事例報告 産業社会移行期の竹細工—コメアゲザル・パイスケ・スイカゴ—	服部 武	"	420
道具がたり、人がたり	近藤 道生	淡 交	696~700、703、705~707	土浦の織機—形状と材質—	阪本 佳子	"	423
	服部 禮次郎、梅澤 信子、金子 賢治、和哉、黒田 宏子、宮島 格三、吉岡 庸治、谷野 亮爾、金ヶ崎 伸二、川上 智子	陶 説	600、601	柄の記憶—木工におけるアイヌの人々の身体技法の歴史—	大西 秀之	"	424
「陶説」六百号記念新春座談会(前)(後)				再現で得られる民具の情報—所沢市山口民俗資料館・所沢緋勉強会の活動から—	宮本八恵子	"	425
				養蚕双六の成立と展開	飯田 孝	"	426
from美濃—岐阜県支部通信 現代陶芸の意義	目黒 伸良	"	603	「こき竹」について—扱箸から千歯扱きへの変遷をめぐる—	佐々木長生	"	"
現代陶芸論叙説—近代工芸の歴史の中で—16~20	金子 賢治	"	604、605、607~609	アチック・ミュージアムの民具コレクション2 内耳鍋	吉田 晶子	"	"
from美濃—岐阜県支部通信 美濃のモダンイズム 精治の誕生と展開	立花 昭	"	605	江戸時代の髪飾りと明治以降の帯留	村田 理如	目の眼	316
陶芸と創作性—「創作陶芸」の現在I展に寄せて—	外館 和子	"	"	茶の湯と漆工芸 中村宗哲家が伝え生み出すもの	表千家北山会館・企画室	"	326
仙台支部茶会とシンポジウム—仙台支部設立五十周年記念—	森 孝一	"	606	[特集]胎動する歴史学 色 錦の衣と機械織りの呪術—物部村の七夕行事といざなぎ流御祈禱—	松尾 恒一	歴 博	116
凄みを感じる筒井伊賀	黒田 草臣	"	608	日本の技 銀線細工(秋田) 白い輝き雪国の温もり	斎藤 鑑三	朝 日	1.11
沖縄の陶器概説	宮城 篤正	東洋陶磁	32	重文れんが窯 保存ピンチ栃木・野木	"	"	6.22
				匠の技 加賀蒔絵 金沢市	野村 義博	日 経	3.1

文化 古布染め込む生活模様 江戸末期以降の加賀友禪を収集、技と美を後世に	花岡 慎一	日 経	7. 9
文化往来 「曜変天目茶碗」の謎に挑んだ道のり	"	"	9. 4
中部が拓く日本の未来特集 地場産業、企画力で勝負 四日市・万古焼 三河地域・三州焼 岐阜・オリベプロジェクト	"	"	10. 16
匠の技 南部鉄器岩手県	野瀬 泰申	日経夕刊	1. 18
匠の技 装漬(そうこう) 京都市	松岡 資明	"	2. 8
親を追い職人の道へ伝統工芸、娘が支える 後継者に名乗り創造性発揮に魅力	"	"	11. 7
伝統工芸の新・上京物語 アンテナ店開発に新風	"	"	11. 22
江戸博蔵めぐり 江戸小紋型紙	熊谷 紀子	読 売	11. 14
女性陶芸家による新たな「女性性」 内的な「個」表現 土と釉薬で人間映し出す	柏木 麻里	読売夕刊	5. 13

海 外

椅子の形態分析(その1)―「チャイニーズチェア」と幾何学形態との関係―	松本 研一	秋田公立美術工芸短期大学紀要	8
次世代リーダーフェローシップ・プログラム バングラデシュ社会を映し出す布、ノクシ・カンタ	五十嵐理奈	アジアセンタースニユース	25
タイ・アユタヤ王朝で人気を博した赤絵陶器 五色の彩〜ベンチャロン〜	レヌカー・ムシカシン トーン	"	"
18・19世紀のヨーロッパにおける扇製作とその装飾の諸様相に関する研究	三木由美子	鹿島美術財団年報別冊	20
特集2 オーストラリア現代工芸3人展：未知のかたちを求めて	"	現代の眼	539
オーストラリア陶芸の新しい動向	高 満津子	"	"
石炭の塊の美しさ	ケビン・マレイ 山本 仁志 訳	"	"
ライト・ブラックー科学の魅惑の回復	バメラ・ゼプリン 山本 仁志 訳	"	"

ボンソ・ノ・タオ 台湾蘭嶼の民族と文化	住田イサミ	自然と文化(季刊)	73
民族服と呪術	大嶋 智子	"	"
大型彫刻船落成儀礼	徐 瀛洲	"	"
金銀銅の装飾品	富井 玲子	新美術新聞	982
現在通信from NEW YORK ジーズ・ベンドのキルト	廣川 寛子	デザインの現場	129
ナシング・ニュー 伝統工芸と現代デザイン[ロイヤル・ティケラー・マッカム社]	山本 沙織	"	130
アーティストの限定製品が勢ぞろい! デンマーク・アートクラフトフェア	不動 美里	陶 説	598
現代陶芸の100年展第二部「世界の陶芸」より	山辺 寛史	遠山記念館だより	25
学芸員ノート 古代アンデス チャンカイ文化の紋り	金 寅圭	美 学	215
美学会第五十四回全国大会発表要旨 中国浙江省寧波市慈溪上林湖越州窯青磁が中国の初期青磁に及ぼした影響についての考察	浅見 恵理	明治大学博物館研究報告	8
資料紹介 ベルルー・チャンカイ出土の土器	斎藤 正光	目の眼	324
アメリカにおける竹籠事情	中田 節子	山梨文化財研究所報	45
研究ノート 復興しつつあるカンボジアの染織	川床 睦夫	読売夕刊	11. 7
エジプトのイスラーム文様 飲料水用小壺の装飾 日用品に秘められた「美」	"	"	"

デ ザ イ ン

一 般

デザインのことば デザインボキャブラリーの再定義	川崎 和男	A X I S	101~106
映像とデザイン―映像表現に求められるデザインの役割―	棒田 邦夫	金沢学院大学紀要	1
デジタル時代のデザイン教育についての考察	岩井庸之介	"	"
アール・デコ紋様にみる日本の紋様の影響	金 京姫	芸術学研究(筑波大学)	7
農村環境整備における色彩コントロールのあり方についての検討(3)	田口 敦子 佐藤 優 小泉 雅子	多摩美術大学研究紀要	17

経験の可視化表現におけるプロセスに関する研究	植村 朋弘	"	"		これ、誰がデザインしたの? 18~23	渡部 千春	"	"
バナナ・テキスタイル・プロジェクト	橋本 弥永 柏木 弘 川井 由夏 福岡 裕子	"	"		D-BROSからこの春生まれるウィットティなプロダクト	沢水 潤	"	127
世界グラフィックデザイン会議・名古屋「VISUALOGUE」1人間と機械(コンピュータ)のインタラクション・デザインの未来を考える	原 東 泉	研哉 一郎	デザインの現場	128	PAPER IN MY WORK 番外編 お金にシビアな時代の紙とデザイン[竹尾ペーパーショウ]	中島 優子	"	"
デザイン教育のための教材開発研究—造形教材の開発	三橋 幸次	東北芸術工科大学紀要		10	第2回竹尾賞デザイン史研究論文入選発表 優秀賞 タイポグラフィー試論—光朝体について	奥定 泰之	"	128
特集 風 エッセイ 風をデザインする	柏木 博	日本の美学		36	特集 仕事場のつくり方		"	131
近代デザイン史・近代建築史の概略 系統図・相関図による把握の試み	小林 邦雄	明星大学研究紀要		11	資生堂クリエイティブ本部 豊かさを体感する空間	中島 優子		
日 本					サン・アド 表現力を伸ばす、広告制作会社のあり方を探る	杉瀬 由希		
『奥國博覧會筆記』を読む(三)—日本近代デザイン黎明期の史料として	天貝 義教	秋田公立美術工芸短期大学紀要		8	ワイデン+ケネディ トウキョウ スタッフは家族、オフィスは家	道添 進		
広告に見る明治期の温泉宿	菅野 剛宏	大分県立歴史博物館研究紀要		4	graf “たまり場” 的オフィスを目指して	松本 希子		
プロダクトデザインとユニバーサルデザイン—できる限り最大限のすべての人のために	磯貝 恵三	学 鐙		100—5	バタフライ・ストローク・株式会社 遊びのある空間が育む新しい事業展開	石田 純子		
國華餘話(一)、(二)	水尾比呂志	國華清和会会報		1、2	パイクデザインオフィス デザインを面白く「する」力を重視	"		
静岡県におけるデザイン振興行政の変遷	黒田 宏治	静岡文化芸術大学研究紀要		3	flask 創造力を触発する長屋の工房	"		
美大生がスーパーをデザイン 店名、ロゴ、レジ袋に若い感性を JR平塚駅ビルに12月オープン	西澤 美子	新美術新聞		1003	eredie キャリアの違う者同士がチームを結成	穂積 敏克		
オールドスクールグラフィッカーズ 複製の神々の時代「グラフィズム」から「グラフィッカー」へ	榎本 了壺	STUDIO VOICE		332	A—bands インターフェイスとしての役割をもつオフィス	小川 浩一		
書が演出する空間1	橋本夕紀夫	墨		160	studio・OWL Company 大きな空間が生み出すもの	沢水 潤		
書が演出する空間2	森田 恭通	"		161	Katachi 変形自在、世界へ向けての場のカタチ	"		
書が演出する空間3	高山不二夫	"		163	新人デザイナーとショップバイヤーが“ガチンコ勝負” 神戸クリエイター・セレクション2004ドラフト! 2	松本 希子	"	"
書が演出する空間4	内田 繁	"		164	工部美術学校再考—デザイン史的観点から—	天貝 義教	日本歴史	661
D & DEPARTMENT PROJECT 0013 ホテル「D&MOTELS」をつくらう 8~13	ナガオカケンメイ	デザインの現場		126~131				

平成15年定期刊行物所載文献(近/デ)

表紙解説 一号御料車	松本 純子	文化財(月刊)	477
口絵解説 綿業会館談話室	田中 禎彦	"	483
特集 詩集のつくり方 詩集初版本談議	奥平 晃一 川島 幸希	ユリイカ	475
翼へのパッションー飛行機と想像力11 機械時代のデザイン	橋爪 紳也	"	482
特集 ブックデザイン批判	"	"	"
「そうてい」用字用語考	田中 栞		
中里介山『大菩薩峠』をめぐる書物史 近代小説におけるブックデザイン	紅野 謙介		
八〇年代のブック・デザインとタポグラフィを過ぎる	府川 充男		
題字表現論 文字／画像・立体／平面・アナログ／デジタル	古賀 弘幸		
装丁／ブックデザイン／書物はだれのものか	前田 年昭		
ブックデザインのためのブックリスト100冊	臼田 捷治		
造ろうデザインミュージアム 世界水準の「資源」生かして	三宅 一生	朝日夕刊	1. 28
進むデザインミュージアム構想 日本を社会美の先進国に 昭和の「形見」、細々と拾い始めて	大倉富美雄	"	5. 22
活字の海で 装丁の役割問い直す 手触りにこだわる作品も	中野 稔	日 経	10. 5
中小のデザイン力強化 都、デザイナーと企業仲介	"	"	12. 19
ものデザイン事情 隠すから見せるへ	中原俊三郎	毎日夕刊	10. 17
デザイン季評 お江戸コスプレ車登場	生井 英考	読売夕刊	11. 28

海 外

イギリス カントリーファニチャー「ウィンザーチェア」の形態分析研究 その5	山永 耕平	九州産業大学芸術学部研究報告	34
海外研修報告 2002年夏 ヨーロッパとアメリカの環境デザインの現在	池上 俊郎	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	47

研修報告：公共交通機関の車体広告 オーストリア、スイスの調査から	藤本 英子	"	"
「建築家のデザイン」の今日的意味 アレッシィ「Tea & Coffee Towers」	岡田 栄造	STUDIO VOICE	332
特集 アジアの現在	"	"	333
IdN系の独走態勢は続くのか。国境を越えたコラボレーションの時代は、アジアにとって相性がいい。	立古 和智		
「デザインの危機」を救う改革のグル。DUCTSTOREダクトストア	金子 義則		
米国コンサルティング・デザインの現場から	道添 進	デザインの現場	126
フランスの広告5 ベリエリアルなビジュアルギャグの連発!	貴田奈津子	"	"
特集 日用品のパッケージ	"	"	127
LONDON ハーヴェイニコルス食品パッケージの常識を変えたアイデア	三宅由希子		
PARIS ロクシタン パッケージに込められた自然素材のメッセージ	永末エングイエン亜子		
PARIS ル・ボン・マルシェラ・グランド・エビスリー・ドゥ・パリ イメージを刷新したデパートと食品売り場	浦田 薫		
イギリスのパッケージデザイン事情	エリザベス・ファレリー 文 長谷川香苗 訳		
LONDON ウェイトローズ 顧客の信頼を得る“真面目”な食品パッケージ	渡部 千春		
NewYork ロバーツ・アメリカン・グルメ コミックス・エイジのヘルシー・ジャンク	梁瀬 薫		

STOCKHOLM オーレンス 老舗 デパートがパッ ッケージに込めた新 しい顔	渡部 千春			デザイン季評 英国 デザイナー急成長 伝統よりも心地よき 重視	生井 英考	読売夕刊	5.26
PACKAGE'S CHOICE!! デザ イナー・名児耶肇 と編集者・服部全 宏のNYパッケー ジクルージング	名児耶 肇 服部 全宏			建 築 史			
パリ国際家具サロ ンに見た新たな発想と 傾向	桜井みどり	"	"	日 本			
ATYPYKなものづく り	貴田奈津子	"	"	1930年、建築と装飾 の間で—〈名古屋市 庁舎建築意匠設計競 技〉の顔末	(J.T.)	ア ー ト ペーパー	59
日用雑貨にうかがえ るミラノ・デザインの 変化	矢島みゆき	"	"	庭からの視線	伊藤 公文 文 久家 靖秀 写真 川上典李子 編集協力	A X I S	
product direction and design タンジェリ ン ユーザーと商品の 距離を縮める試み	川上典李子	"	"	14 ガラス上の水 辺 散歩—名古屋 「オアシス21」			102
ファッション化が進 む家具 年々派手にな るミラノサローネ [ミラノ国際家具見 本市]	矢島みゆき	"	128	16 『永遠』を守る 壊れやすさ 宇 治・平等院			104
ウォーカー・ア ート・センター デザ イン室の仕事[アメリ カ、ミネアポリ ス]	三宅由希子	"	"	いずれかたからいず かたへ—日本建築の 伝統と近代	森 仁史	一 寸	13
デ ザ イ ン マ イ DESIGNMAI(デザ インの5月)	河合 純枝	"	129	建築の東京を観る Vol. 8 国際子ども 図書館	米山 勇	江戸東京 たてもの 園だより	21
新しいデザインシー ンを紹介するドイツ の出版社、ゲシュタ ルテン	戸崎 順子	"	"	〈情報昨今〉中之島界 隈の歴史的建造物と 母の日記	武田佐知子	大阪の歴 史と文化 財	11
Design Office Re- port from USA 3、4	道添 進	"	129、130	歴史建築みてある記 8 心光寺本堂	植木 久	"	"
ドイツを“感じる”デ ザイン ラウムゲ シュタルト	猪飼 尚司	"	130	大阪歴史散歩12 大 坂城	脇田 修	"	12
手の感触を忘れない、 タイムレスなモ ダンクラフト DI- NOSAUR DESIGNS	川上典李子	"	"	歴史建築みてある記 9 四天王寺八角亭	酒井 一光	"	"
拡張し続けるイベ ントの行方は? ロ ンドン・デザイン・ フェスティバル		"	131	コンペ三題冬物語	田中 充子	京都精華 大学紀要	25
中国で内装をつくる	10+1 (Ten Plus One)			『建築雑誌』アーカ イブス 第15回、第17 回	青井 哲人	建築雑誌	1503、 1505
1、2 五〇平米 の事務所(前編) (後編)	松原 弘典 載 長靖		31、32	岩崎彌之助深川邸西 洋館の研究—立面意 匠の復元的考察を中 心に—	原 徳三	建築史学	40
3 八八二〇平米 の書店(前編 コ ンペから設計契約 まで)	松原 弘典		33	近代京都の洋風町家 —洋風摂取の町家形 成—	大場 修	"	41
				文化的建築を次世代 に 旧同潤社大塚女 子アパートを美術の 力で保存・再生へ	西澤 美子	新美術新 聞	981
				近代・茶室の伝承と 展開	桐浴 邦夫	淡 交	695~ 703、 705~707

「直島・家プロジェクト」その後。	石井ひろみ、立石肇、石川万里子、鈴木三重子、三宅和談、加藤淳、インジャー、ピュー、江原久美子構成	直島通信	2003.6	特集 現代アーティスト10組の仕事場に見るアトリエの建築的冒険 劇的リノベーションから共同スタジオまで			838
				相模原の共同アトリエ群	白坂 ゆり		
若狭能舞台の類型化と地域分布	宇野浩生、土本俊和、笹川明	日本建築学会計画系論文集	563	共同アトリエ 3号倉庫	福住 廉		
明治初期における能楽堂誕生の経緯 青山御所能舞台、能楽社の建設を通して	奥富 利幸	"	565	プロの設計者が明かすアトリエ設計のツボ	橋本 健二		
武蔵御嶽神社本殿の歴史的意味	白井 裕泰	"	567	カタリストとしてのリノベーション—交差する建築と美術	五十嵐太郎		
明治初年に大阪城址に設置された近代的諸施設について	橋寺知子、川道麟太郎	"	568	ネオ・メタポリズム—「湯島もみじ」に見るポスト・リノベーションの展開	暮沢 剛巳		
つくば市における民家(農家)の編年	黒坂貴裕、安藤邦廣、後藤治樹、藤川昌亨、堀江亨夫、中野茂夫	"	570	ART HEAD QUARTERS オタクと再開—秋葉原のITセンター	森川嘉一郎	"	"
明治期日本銀行の建築設計組織と小樽支店(明治45年)の設計者—辰野金吾、長野宇平治、岡田信一郎の関わり—	駒木 定正	"	"	東京駅丸ノ内本屋の意義	鈴木 博之	文化財(月刊)	478
大正・昭和初期における、いわゆる「ライト式」の用語の使用について	井上祐一、初田亭、内田青蔵	"	571	表紙解説 重要文化財 東京駅丸の内本屋	大和 智	"	"
明治・大正期日本の建築史・美術史・神道史の文献に見る伊勢神宮社殿	東 久仁政	"	572	旧日光田母澤御用邸の建築的意義	河東 義之	"	483
明治宮殿の建設経緯に見る表宮殿の設計経緯	山崎 鯛介	"	"	綿業会館と「大大阪」の建築	石田潤一郎	"	"
惣堂・村堂の存在形態—京都府和知町の事例を通じて—	森 雄一	"	573	ド・ロ神父の文化遺産「出雲文化村」づくり	片岡千鶴子	"	"
大正期に於ける日光東照宮寛永造替工期の訂正と当時の東照宮評価	内田 祥士	"	"	表紙解説 重要文化財 旧日光田母澤御用邸	西 和彦	"	"
五大の癒し空間—水御堂と墳丘庭—	藤原 成一	日本大学芸術学部紀要	38	〈調査報告〉小山酒造建造物調査報告書	波多野 純	文化財研究紀要	16
アート・ノンフィクション さようなら食糧ビル 食糧ビルディング物語	白坂 ゆり	美術手帖	832	近代デザイン史・近代建築史の概略 系統図・相関図による把握の試み	小林 邦雄	明星大学研究紀要	11
				横須賀製鉄所副首長ティボディエの官舎建築資料について	安池 尋幸	横須賀市博物館研究報告	47
				横須賀製鉄所における建設材料研究の史的意義に関する一考察	菊池 勝広	"	"
				近代土木文化財探訪	北河次次郎	歴史と地理	562、565
				妹尾邸(西村伊作設計)訪問記	田中 修司	和歌山県立近代美術館 ニュース	36
				近代文化遺産 大塚女子アパート保存を	鈴木 成文	朝 日	2.1

滋賀・豊郷小の校舎 で注目 まだまだ現 役ヴォーリス建築			"	2. 16	女と時間と日本経済 眠る宝物 建築・技 術に気づかぬ価値 [目黒雅叙園]			"	7. 5
明治の豪邸一般公開 旧岩崎家洋館修復終 わる			"	4. 25	とうきょう再耕 街 が変わる3 佐賀町 食糧ビル(江東区) 戦災に耐え不況に涙	奥村	隆	毎 日	1. 5
華麗な外観復元 旧 小笠原伯爵邸 スペ イン風の建物 タイ ル1600点焼く			"	5. 20	国の文化財「カト リック神田教会聖 堂」 荘厳…ルネサ ンス様式 保存・活 用市民団体来月19日 コンサート			"	5. 18
よみがえる明治の洋 館 「旧岩崎家」修復 中			朝日夕刊	1. 10	建築 オアシス21 積層された公共空間	五十嵐太郎		毎日夕刊	1. 28
建築保存がプラス生 む社会に 経済効果 も／生活との両立探 れ	西村	幸夫	"	2. 25	建築 川崎ラチッタ デッラ 根づくか、 西洋的空間			"	2. 18
本願寺伝道院シート の下で4年… 明治 の名建築、たなざら し 老朽化、改修め ど立たず			"	6. 3	建築 住まいのデ パート「ベントくん」 多摩センター店 楽 しいリフォームの実 物			"	3. 10
単眼複眼 窓枠や通 路が支える新建築 複雑さが生む親しみ やすさ	大西	若人	"	12. 3	経済から政治の時代 へ WTC再 建築 が 示すもの	鈴木	博之	"	3. 31
まちの名建築 萩原 家住宅	三船	康道	産 経	2. 4	建築 六本木ヒルズ そつがなく優等生的	五十嵐太郎		"	5. 6
「みなとヨコハマ」後 世に 景観保存へ歴 史的建物再生			日 経	1. 24	建築 湯島もみじ 現在進行形の開かれ た家			"	7. 29
文化 よみがえる白 鳳伽藍 先達の遺志 継ぎ、薬師寺大講堂 を復興	上原	政徳	"	3. 19	建築 森の学校キョ ロロ 巨大ヘビのよ うな			"	9. 9
文化 法隆寺のモノ サシ 割り切れぬ 謎、「材」解き明かし 通説覆す	川端俊一郎		"	3. 21	建築 東雲キャナル コートCODAN モ ダニズムをずらして 多様な都市生活に対 応			"	10. 7
けいざい探検 「廃 屋」転じて高級料理 店 旧華族の邸宅、 財政難で都は修復で きず。 ボランティ ア活用			"	3. 29	建築 品川セントラ ルガーデン 現代的 な幾何学式庭園			"	11. 4
東京のビルディング 十選 1～10	隈	研吾	"	7. 3、4、 7、8、 10、11、 15～18	建築 この一年 変貌 する都心 越境する 技術 拡張し続けた 表現の内実とは	鈴木	博之	"	12. 8
文化 屯田兵の苦難 遺物に思う 120年 前の被服庫保存、北 海道の開拓語り継ぐ			"	8. 6	建築 集合住宅の魅 力とは	飯島	洋一	読売夕刊	4. 2
エコノ探偵団 古い 民家残す手立ては？ 仲介市場が再生促す	島	治雄	"	8. 6	建築 先月オープンの 「プラダブティッ ク青山店」 重なる レトロと近未来			"	7. 14
NY貿易ビル周辺跡 地利用 独建築家案 に 世界最高530 メートル軸にビル群	勝又美智雄		"	10. 26	建築 “空中”から足 ニョキニョキ 新潟 の田園に巨匠へのオ マージュ[まつだい 雪国農耕文化村セン ター]			"	9. 9
東西南北 旧富士銀 横浜支店 歴史的建 築をNPOの“殿堂” に			日経夕刊	2. 27	建築 季評 非日常空 間で輝く「作品」 そ こにしか居場所がな くなった	中川	理	"	9. 29
			"	4. 2	建築 ONE 表参道	飯島	洋一	"	12. 11

建築季評 モノから 場所へ ジョン・ ジャーディが問うも の	中川 理	読売夕刊	12. 12	構成的芸術に関する 国際的通覧『CIR- CLE』(サークル)の 出版について—イギ リス20世紀建築・文 化研究 その1—	渡邊 研司	"	566
海外							
ダラム大聖堂の形体 とクロノロジー	愛宕 出	京都女子 大学人文 論叢	51	19世紀から20世紀前 半期までのソウル・ 京畿地域の寺院大房 の外部空間に関する 研究	金 成都	"	"
14世紀以前の西欧に おける「エルサレム」 の模造建築	関根 浩子	芸術学研 究(筑波 大学)	7		小岩 正樹 吉村 治郎 近藤 二朗 長谷川 奏一 西本 真武 中川	"	569
徽州民家の空間構成 と構造技術 中国安 徽省徽州民家に関す る調査研究	張 亮	"	"	エジプト・ダハ シュール北部で発見 されたパシェドウの 神殿型貴族墓		"	
「スーパーグラフィ ック」の出現に関 する研究 その過程、 背景、そして意義 について	西川 潔	"	"	トスカナ式柱頭に関 する議論 フランス 王立アカデミー (1671—1793)に関 する研究 その7	土井 義岳	"	"
意中の建築 その 九～十一	中村 好文	芸術新潮	638～640	デファン夫人のアバ ルトマンの復元的考 察—建築と家具と絵 画で構成される18世 紀フランス女性の空 間—	小柳由紀子 土井 義岳	"	570
建築のアジア—世界 の植民地建築18ラ ナー族の宮殿建築	モハン・バ ント 廣富 純 訳	建築雑誌	1506				
西洋近代建築史 世 紀転換期ドイツに関 する研究を中心に	太田 敬二	建築史学	41	中世イギリスの修道 院にみるホール空間 の二極性に関する研 究	福田 陽子	"	572
特集アジアの現在 近代建築のパラダイ スは南にある。乾い た地平にナムプラー を垂らす時がやって きた。	遠藤 治郎	STUDIO VOICE	333	西洋古代末・初期ビ ザンティン時代の史 料に見られる建築内 装用大理石の意味に ついて	岩出 まゆ	"	"
建築家が自主的に提 案 エイズ・モバイ ル診療所	大竹 秀子	デザインの 現場	127	サルデーニャのポリ クロミアにみられる トスカナの影響に ついて	吉田 香澄	"	573
現代建築思潮 オラ ンダ現代建築をめぐ って		10+1(Ten Plus One)	32	ギャルリー・ラファ イエット百貨店館の 建築造形—1925年パ リ現代装飾美術・工 芸美術国際博覧会の 展示館に関する考察 その1—	三田村哲哉 小林 克弘	"	574
オランダ現代建築 紀行	今村 創平						
討議	今村 創平 今井公太郎 日埜直彦 吉村 靖孝						
特集80年代建築/可 能性としてのポスト モダン ラ・ヴィレ ト公園 パリ1982— 1983	レム・コー ルハース 太田佳代子 訳	"	"	第二次シュバイヤー 大聖堂のアプシスと 霊廟建築	小倉 康之 美 学		212
中世後期シエナの都 市形成と塔状住宅の 分布について	片山 伸也	日本建築 学会計画 系論文集	563	ART HEAD QUAR- TERS ARCHITEC- TURE HEAD	五十嵐太郎 藤森 愛実	美術手帖	834
ルーブルの小ギャラ リーの設計図に於ける バルコニーの発 現—ルネサンスのバ リに於けるバルコ ニーの発現と水の景 の発見に関する研究 その1—	鳥海 基樹	"	564	特集 21世紀の戦争 と美術 イラク戦争 以後のアートを考え る 戦争と建築	飯島 洋一	"	835
				「殿堂」復活 誰の手 で? 露・サンクト ペテルブルク マリ インスキー劇場 磯 崎新氏ら12人デザイ ン競う		産 経	1. 19

その他のジャンル

一般

第1部 表現で「有名しよう」アイムアダンサー ストリートダンス考	三上 賀代	木野評論	34
ネットアートの可能性を求めて—電子メディア表現のために	山本 圭吾	" "	" "
デイヴィッド・テュードア《レインフォレストⅣ》小杉武久・ヤマタカEYJ・和泉希洋志	湯浅 学	美術手帖	836

日本

看板の歴史とその形態—江戸看板を中心として—	大貫 総	茨城県立歴史館報	30
第2部 本編 戦時下の考古遺物(1)—「萬古陶磁器工業組合」銘を有する耐火レンガの検討—	江浦 洋	大阪文化財研究	24
特集 盆栽 みどりの小宇宙	丸島 秀夫	芸術新潮	643
メディア・アートと生体コミュニケーション	長嶋 洋一	静岡文化芸術大学研究紀要	3
ART HEAD QUARTERS		美術手帖	
戦争をテーマに笑いと風刺が炸裂したスーパー狂言	新川 貴詩		835
珍しいキノコ舞踏団の“フリースタイル”あるいはソーイング/ダンシング	木村 覚		836
イマドキの「踊り子」のユーモラスで切ない宿命	"		841
新感覚「書アート」に挑む		日 経	10.5
大人のための鑑賞術 BONSAI じっとしてない現代美術	(宝)	日経夕刊	3.17

海外

サウンド=アートの境界画定	佐々木 敦	美術手帖	
第一回 「口腔=音声」の脱構築			831
第二回 「テクスト=サウンド」の問題系			832
オルテウス『世界の舞台(Theatrum Orbis Terrarum)』掲載の「ロシア図」について(三)	大山 知児	立正史学	94

作家

日本

(ア)			
オールドスクールグラフィッカーズ 田名網 敬一×EYJ [あい] サイケデリック革命の衝撃	紫牟田伸子 構成	STUDIO VOICE	332
美術百科「この人のこの一点」の巻 震 嘯 《鉄骨とクレーンと人と》	奥村 一郎	和歌山県立近代美術館 ニュース	34・35
視点 もの作りルネッサンス	會田 雄亮	美術の窓	242
「燦光」と呼ばれた想像力4〜6—時代の風雨に曝されて	ヨシダ・ヨシエ	絵	448〜450
セゾンアートプログラム 「美術家助成プログラム」受賞者に牡丹靖佳氏、青木克世さん	(美)	新美術新聞	982
象徴主義のつむじ風吹く—青木繁と熊谷守一の青春時代—	小泉 淳一	茨城県近代美術館 研究紀要	10
特集1 青木繁と近代日本のロマンティズム		現代の眼	538
青木繁の「九州放浪」遺聞	田中 淳		
夏目漱石に愛された青木繁	新関 公子		
青木繁と福岡一足跡をたどって—	名方 陽子	デアルテ	19
特集 〈生と死〉と美術 III 美術史学・美術批評と〈生と死〉 「夭折の画家」評価をめぐる断章 青木繁と松本竣介の場合	田中 淳	美術フォーラム21	8
研究報告 青木繁の晩年九州時代の資料紹介	植野 健造 後藤 純子 森山 秀子	ブリヂストン美術館・石橋美術館 報	51
美の美 眼差しの悲しみ 青木繁	竹田 博志	日 経	4.13
カバーインタビュー 青木淳		A X I S	102
アクセスポイント	青木 淳	読売夕刊	2.21、4.4、5.23、6.27、8.1、9.5
特集 生涯で最も重要な出会い 生涯で重要な出会い	アオキスミエ	自由美術	2003

平成15年定期刊行物所載文献(近/作了)

[illegible]

創刊1000号記念企画
トンバ伝心 浅葉克己のメッセージ

浅葉 克己 新美術新聞 1000

現代作家紹介
貴子の水墨画

浅見 福富 幸 美術フォーラム21 8

街並みの美学導いた
歩み 建築家・芦原義信氏を悼む

藤森 照信 朝日夕刊 9.30

「街並みの美学」を提唱した建築家 芦原義信さん 貫いた「明るい使命感」

大西 若人 " 10.27

人の語感に対する建築 芦原義信さんを悼む

横 文彦 毎日夕刊 9.30

作家訪問324 陶芸作家 足立直子さん

編集部 目の眼 327

安谷屋正義『塔』『秋の塔』の制作過程に関する考察—31枚のエスキースをもとに—

小林 純子 沖縄県立芸術大学紀要 11

花蹊—「梅癖」雑感—梅から桜へ—[跡見花蹊]

中野 一夫 にいくら 8

アジア・現代・美術2003 東京からアジアへ—風景と習慣と技術の関係性を考える

アトリエ・ワン 美術手帖 831

阿部一猛「響書の世界」魂のSOUNDを伝えるステージ

阿部 一猛 新美術新聞 1009

WORK展15年の流れ

安部 一博 春 陽 84

座談会「生涯で最も重要な出会い」

阿部 早苗、國定 正彦、榎本 ひろお、庄司 多津男、田中シンタロウ、醍醐 イサム、ミズテツオ 自由美術 2003

文化 日本画の筆作り 温故知新 職人生活30年、口伝と資料から技磨きする

安部 信治 日 経 5.26

日影 眩の360°のニューヨーク101「今がチャンスの時」か? ウィリアムズバーグ、ピエロギ画廊と安部典子の白い砂丘

日影 眩 ギャラリー(月刊) 214

交遊抄 運命の家

天野 彰 日 経 4.18

画家たちの美術史 天野純治 透視する平面の間合いと呼吸

鷹見 明彦 美術手帖 840

新春特集2002回顧と2003展望 女性の視点から 第三部アンケート 美術家はこう見る

雨宮 敬子
池田 史子
岩田 糸子
内田 あぐり
上條 陽子
笹戸 津子
志村 節子
三谷 青子

新美術新聞 980

青春ブレイバック 雨宮敬子 東京都杉並区・永福稲荷神社

林 茂樹 " "

新美術時評 不快適の住宅[荒川修作+マドリン・ギンズ]

中村 敬治 " 984

第10回日本文化芸術振興賞に 荒川修作氏+マドリン・ギンズさん 奨励賞は堀木エリ子さん

(美) " 991

秋の褒章 荒川修作氏、中林忠良氏、若菜みどり氏らが受章

" " 1009

「超人」荒川修作さん、名古屋に構想「世界観」変わる集合住宅 カラダ通して自己を発見

大西 若人 朝 日 3.5

作家訪問322 陶芸作家 荒木愛信さん

編集部 目の眼 325

土佐美術史外伝39 荒木寛敏

鍵岡 正謹 高知県立美術館ニュース 41

平等院鳳凰堂の壁画 浄土世界800年ぶり鮮やかに 葛飾の画家再現[荒木恵信]

読売夕刊 5.31

版画は、いま 版画マーケットの現況と将来 証言・版画マーケット FROM ARTISTS 4 荒木珠奈さん 版画とインスタレーションの共存世界

辺 構成 見 版画芸術 120

Go Artists Go! 荒木珠奈

小林 玉紀 美術手帖 840

ARAKI×UNIQLO 対談：荒木経惟×タナカノリユキ 「人間そのものがメディアなんだよね」

竹内万里子 インタビュー・文 STUDIO VOICE 330

「写真時代」を回顧しトーク 軌跡たどる本の出版記念 アラキー節に聞き入る[荒木経惟]

朝 日 1.20

ひみつ 朝の儀式 彼岸はねのけ撮り続ける 写真家荒木経惟さん

坪谷 英紀 " 2.24

視線 アラキー・バイ・アラキー 荒木経惟著

大竹 昭子 " 6.8

				1. 11, 18, 25. 2. 8, 15, 22, 3. 1, 8, 15, 22, 29. 4. 5, 12, 19, 26. 5. 3, 10, 17, 24, 31, 6. 7, 14, 21, 28, 7. 5, 12, 19, 26, 8. 2, 9, 16, 23, 30. 9. 6, 13, 20, 27, 10. 4, 11, 18, 25. 11. 1, 8. 15, 22, 29. 12. 6, 13, 20, 27	特集 建築を学ぶ人 たちへ 初学者に薦 める本	"	1512
					『風土—人間学的 考察』和辻哲郎著	"	
					『光の教会—安藤 忠雄の現場』平松 剛著	三宅 理一	
アラキーがゆく [荒木経惟]	産 経				文化勲章に加山又造 氏と大岡信氏 文化 功労者に安藤忠雄 氏、田沼武能氏	(美)	新美術新 聞 1008
					「安藤忠雄教授」見納 めに人波 東大での 退官講演 講堂の外 で講義も	朝 日	4. 19
					パリ・スガン島の現 代美術館 07年開館 内にいながら外感し る構成 設計の安藤 さん	安藤 忠雄	" 11. 18
					都市の再生 刻まれ た「記憶」を財産に	"	" 12. 6
					“優等生”に謙虚さと 気概を 5年半東大 教授を務めて	"	朝日夕刊 3. 5
乾いた時代こそ「ア ラーキー」写真家 人 生 を 集 大 成 「ARAKI by ARAKI」 を 発 行 愛 と 死 撮 り 続 け 40 年 [荒木経惟]	重松 明子	"		5. 30			
荒木経惟写真集 「ARAKI by ARAKI」	(前)	読 売		6. 29			
PAPER IN MY WORK87 荒木優 子 店舗のイメージ を“ダイレクト”に伝 える紙	升田 希子	デザインの 現場		129			
How Latitudes Be- come Forms [緯度はい かにかたちとなる か] 有馬かおる	フィリップ・ヴェル ニョーニタ ビュー	キュレー ターズ・ エッグ		4			
版画とその値段12 有元利夫の版画1、 2	秋山 修	美術の窓		242, 243			
オールドスクールグ ラフィックーズ 栗 津潔×宇川直宏 グラフィック以前、未 開の荒野にて	編 集 部 構 成	STUDIO VOICE		332			
わたしの好きなもの 間の知覚	栗野ユミト	新美術新 聞		988			
特集 生涯で最も重 要な出会い 少年の 頃のドクロ	安 茂	自由美術		2003			
巻頭特集「花」の再生 蘇る“花”の風景 建 築家安藤忠雄氏に聞 く	安藤 忠雄 談	ア ー ト ト ッ プ		191			
安藤忠雄 アクシス フォーラムレポート		A X I S		104			
Ⅲ 大庭脩前館長 追悼文集 大庭さん のこと	安藤 忠雄	大阪府立 近つ飛鳥 博物館館 報		8			
意識を変えろ	"	建築雑誌		1501			
					都市は消費物では ない 心に訴える風景 とは 建築家、安藤 忠雄さんに聞く	石川 健次	毎日夕刊 5. 21
					文化を発信 美連協 兵庫県立美術館での 取り組み	安藤 忠雄	読 売 4. 8
					「心の風景」受け継ぎ 誇るべき「顔」作ろう 基調講演 安藤忠雄 氏 [東京再生フォー ラム2003]	"	" 12. 25
					アメリカ現代建築 安藤忠雄が語る 上、中、下	森 恭彦	読売夕刊 1. 29~31

文化勲章・文化功労者喜びの声 文化功労者 安藤忠雄氏 環境作りも考えつつ		"	10. 28	新春特集2002回顧と2003展望 女性からの視点から 第三部アンケート 美術家はこう見る	雨宮敬子 池口史子 岩田糸子 内田あぐり 上田陽子 篠津子 志村節子 三谷青子	新美術新聞	980
安藤日出武さん 岐阜県重要無形文化財黄瀬戸保持者に認定される	(常)	新美術新聞	1005	巻頭特集 巨匠展 今そして未来2003	池口 史子	美術の窓	235
人と書 5、6 安藤 實の書(1)(2)	真鍋 井蛙	目 の 眼	323、325	明治期の詩絵伝統様式について—池田泰真と川之辺一朝の作品を中心に—	小松 大秀	三の丸尚蔵館年報・紀要	8
顔 「少年の日」美術館をオープン 安藤 勇寿さん	永井 一顕	読 売	5. 9	特集記事「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2003」を見て 3 ああ、もったいない—貧乏絵描きのつぶやき	池田 龍雄	あ い だ	94
インタビュー 安野 光雅 篆刻に抽象絵画を見る		墨	165	籠と箆の永い縁故	池田 瓢翁	目 の 眼	324
地球くらぶ 色覚検査はいらない	安野 光雅	朝日夕刊	8. 23	特集 峯孝を偲んで座談会「峯孝を語る」	池田 宗弘、 二森 駿、 中嶋 一雄、 八幡 健二 岡村 司会	自由美術	2003
土曜訪問 「どうなっているんだろう」が原点 画家安野光雅さん	三品 信	東京夕刊	4. 12	第13回タカシマヤ美術賞 磯江毅氏、池田良二氏	(常)	新美術新聞	983
「絵はアマチュアリズムがいい」 安野光雅さんがパート書店長に	佐藤 由紀	毎日夕刊	11. 20	人間発見 進めベルばら革命1～3	池田理代子 野村 義博 聞き手	日経夕刊	3. 17～19
安野光雅さんのお品書き ベベロンチーノ 絵心同様ただ「ほれた」	月野美帆子	読 売	7. 28	フェイス21世紀53 伊澤達史	常盤 茂	新美術新聞	996
(イ)				第7回手塚治虫文化賞 短編賞 いしい ひさいちさん		朝 日	5. 27
飯田鉄写真集「街区の眺め」	(前)	"	7. 13	美術百科「この人のこの一点」の巻 石垣栄太郎 《街》	奥村 一郎	和歌山県立近代美術館 ニュース	34・35
特集 日本伝統工芸展五〇年 私と日本伝統工芸展 竹工芸から見た日本伝統工芸展	飯塚小珣齋	文化財(月刊)	481	空間を満たす未知のテーブル 石上純也(建築家)	石井 芳征	デザインの現場	131
座談会 美術の教育現場における斎藤義重	飯塚 八朗、 守屋 行彬、 千石 英世、 金 昌永 パネラー 中川 猛 進行	芸術評論	別冊	土曜訪問 筆触で時代を読み解く 書家石川九楊さん	稲葉 千寿	東京夕刊	7. 12
教育現場での斎藤義重	飯塚 八朗	"	"				1. 26、 2. 2、9、 16、23、 3. 2、9、 16、23、 30、4. 6、 13、20、 27、5. 4、 11、18、 25、6. 1、 8、15、22、 29、7. 6、 13、20、 27、8. 3、 10、17、 24、31、 9. 7、14、 21、28
新作の背景 五百住乙人《飛翔》	石川 健次	毎日夕刊	2. 7	オトナの遊び15～50	いしかわ じゅん	毎 日	
ART NEWS 札幌上空160メートルに出現! 五十嵐威暢の圧巻重層レリーフ		芸術新潮	641				
版画は、いま 版画マーケットの現況と将来 証言・版画マーケット FROM ARTISTS 2 生田宏司さん 人のために作る版画	辺 構成	見 版画芸術	120				

平成15年定期刊行物所載文献(近/作イ)

石川義2001~2002年 作品の解説	石川 義	金沢学院 大学紀要	1	黒井千次連続対談 2003年幸せのカタチ 上 魔虚から出発す る建築とは	黒井 千次、 磯崎 新 対談有本 構成	毎日夕刊	1.6
第12回林忠彦賞決ま る 石川博雄氏	(真)	新美術新 聞	987	フェイス21世紀55 磯崎有輔	常盤 茂	新美術新 聞	1001
人・模・様 桜の画 ワシントンで咲かす [石川美枝子]	高尾 義彦	毎日夕刊	2.19	磯田尚男(皓) 狂言 肩衣《月下渡岸文》、 《蓮荷文》	磯田 尚男 (皓)	尾道大学 芸術文化 学部紀要	2
石黒宗麿研究	金子 賢治	東京国立 近代美術 館研究紀 要	8	ある夏の黒い衝撃	井田 彪	芸術評論	別冊
試される平和 イラ ク戦争 漫画家石坂 啓さん		東 京	3.29	磁器の本窯(還元焰) 黄色顔料(上)(中) (下)一熊沢治郎吉先 生の芳書一	井高 帰山 陶	説	599~601
アトリエの扉をあけ て51 石橋優美子 凛然としたまなざし の行方	杉瀬 由希	デザインの 現 場	130	変貌する陶芸家板田 甚内さん ガラス大 皿に挑む	(昌)	新美術新 聞	1001
ART iT独断一日本 の若手作家10人 石 橋義正	原 久子	ART iT	1	いつもそばにスケッ チがあった 板谷波 山の作陶一途『板谷 波山素描集』全6巻 出光美術館]		芸術新潮	639
クレマスター・クラ ブ第5夜 人体の美 しさのさらなる追求	石橋 義正	美術手帖	832	波山陶芸のタイムカ プセルー素描が語る 創造の背景—[板谷 波山]	荒川 正明	陶 説	599
アートスクール時代 とその後の仕事 石 橋義正 映像作家	"	"	837	文化 板谷波山の素 描を集成 近代陶芸 の先駆者が残した 2200枚を画集に	"	日 経	4.4
特集 現代アーティ スト10組の仕事場に 見るアトリエの建築 的冒険 劇的リノ ベーションから共同 スタジオまで 松井 智恵・石原友明「M. I. STUDIO」	永草 次郎	"	838	映画が伝える郷土の 誇り 陶芸家・板谷 波山の出身地茨城	関口 慶太	日経夕刊	3.28
ピンホールカメラで 自分発見 自由に表 現、元氣取り戻す [石原真澄]		朝 日	3.24	「板谷波山素描集」第 6巻	(前)	読 売	2.23
視線 『色とかたち』 石元泰博著	嵐山光三郎	"	11.16	市島桜魚2001~2002 年作品の解説	市島 桜魚	金沢学院 大学紀要	1
美術館の眼 10年間 の収集記録 I 伊勢 正義「集ひ」1935	山本 丈志	A R K	35	明治の絵葉書 其の 9 一条成美のアール ・ヌーヴォ	山田 俊幸	目 の 眼	324
第13回タカシマヤ美 術賞 磯江毅氏、池 田良二氏	(常)	新美術新 聞	983	マンガの居場所 ド ロドロの世界をゴー ジャスに「一条ゆか り」	ヤマダトモ コ	毎日夕刊	9.11
特集 アジアのなか の日本建築 鼎談2 アジアのなかで世界 建築の将来を展望す る	磯崎 新、 藤森 照信、 松山 巖 布野 修司 聞き手	建築雑誌	1500	もうみんな家に帰 ろー! 26歳という 写真家・一ノ瀬泰造	(前)	読 売	6.8
特集80年代建築/可 能性としてのポスト モダン ポストモダ ン一九六八~八九 近代批判としての 磯崎新インタビュー	五十嵐太郎 日埜 直彦 聞き手	10+1(Ten Plus One)	32	特集 生涯で最も重 要な出会い「自由 美術と私」	市橋 安治	自由美術	2003
対談 磯崎新×ヤノ ベケンジ 分裂と逸 脱の彼方へ「デメ」 を生んだ男と「デメ」 が育てた男	編 集 部 構成	美術手帖	829	共振するサンタモニ カの光—出光真子 『ホワット・ア・ うーまんめいど』を 読む	Kumico Se- jima	美術運動 史研究会 ニュース	63
凸凹鏡 現代におけ る結縁とは[磯崎新]	田中 三蔵	朝日夕刊	7.24	アーティストクロー ズアップ104 伊藤 あさひ 絵画の中に 自分を残すというこ と		ギ ャ ラ リ ー(月 刊)	218
				第七九回展 受賞者 の言葉(絵画部その 2)[伊藤昭二]		春 陽	84

ART iT独断一日本の若手作家10人 伊藤存	原 久子	ART iT	1	生きるって 旧ユーゴの戦禍描いた日本画家 稲田善樹さん	上田 千秋	東京	8.31
伊藤存「きんじょ」から「はて」の冒険へ!	木村 覚	美術手帖	842	顔「伊能大図」の復元を指導した洋画家 伊能洋さん	片岡 正人	読 売	11.3
ようこそ 伊藤存さん 現代美術家言葉にできない「感じ」を刺繍で描く	大西 若人	朝日夕刊	11.5	存在	井上 厚	明星大学研究紀要	11
伊東忠太の西本願寺関連の計画について一明治期の図面類にみる伊東忠太の設計活動 その2一	倉方 俊輔	日本建築学会計画系論文集	566	第7回新生展 井上恵子・松下俊・宮永直人が優秀賞を受賞	(高)	新美術新聞	1000
明治中期の未定稿からみた伊東忠太の日本建築研究	"	"	574	近美30周年記念近美群馬展 井上武仕理事長に聞く	"	"	988
文化 100年前の世界建築探検記 伊東忠太の足取り、膨大な資料で振り返る	"	日 経	5.8	井上長三郎の政治と美術	原田 光	美術運動史研究会ニュース	60
美の美 忠太が行く一近代建築の夜明け上、下[伊東忠太]	松岡 弘城	"	8.17、24	【意見交換から】(井上長三郎の政治と美術)	坂上義太郎 井上 リラ 関 正和 久田 弘 村田 哲朗	"	"
21世紀を読む 持続した私的なビジョン 伊東忠太の足跡	鈴木 博之	毎 日	5.4	井上長三郎・大連時代の新旧2点一戦争の暗雲描いた幻の絵	坂上義太郎	"	63
巻頭対談 MO-TOKO×グルーヴィジョンズ[伊藤弘]		美術手帖	834	東日本旅客鉄道株式会社蔵 猪熊弦一郎「自由」(JR上野駅中央改札口壁画)修理報告	渡辺 一郎 村山 浩規	修復研究所報告	16
特集 新しい身体と彫刻の美学 Figure/Sculpture 対談 伊藤 弘(Groovisions)×青島千穂(Kaikai Kiki)	編集部構成	"	840	猪熊弦一郎「自由」試料片調査結果	宮田 順一	"	"
「日本インターナショナル建築会」における伊藤正文の活動と建築理念	笠原 一人	日本建築学会計画系論文集	566	猪熊弦一郎「自由」の制作と修復の経緯	伊藤 由美	"	"
「ぶらりと現代美術、散歩。」	伊藤 行子	美術文化	24	第25回十果会展を迎えて 個を認め合い連帯を深める勉強会	今井 信吾	新美術新聞	996
マンガの居場所 すごくて、悲しい「一人用一軒家」[伊藤理佐]	ヤマダトモコ	毎日夕刊	1.30	アート ハイ&ロー(下)[今井俊満]	工藤 健志	A — ism	7
虚実皮膜 伊藤隆介の場合		L u r e	70	2003年度日本芸術院新会員決まる 塗師祥一郎氏 今井政之氏	(千)	新美術新聞	1011
注目する新人作家12人 伊藤類		版画芸術	120	この現況下にあって異例の評判 花の画家、今井美弘さん	(常)	"	982
街日和 聖ヒエロニムスの部屋	到津 伸子	朝日夕刊	11.15	第七九回展 受賞者の言葉(絵画部その2)[今泉敦子]		春 陽	84
巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派?アクリル派?	稲垣 考二	美術の窓	242	特集 生涯で最も重要な出会い 周辺があつて真中がない絵と末期の眼	今泉 省彦	自由美術	2003
近況 稲越功一さん(写真家)「魯山人」を自然の中で	桐山 正寿	毎日夕刊	1.24	高田力蔵先生のこと	今関 鷲人	春 陽	84
ひと 繊細な魯山人像見えてきた[稲越功一]		読売夕刊	2.12	戦前におけるグラフィックデザインとその時代—今竹七郎の仕事—	下村 朝香	美学論究	18

平成15年定期刊行物所載文献(近/作イ、ウ)

Close-up 4 今永清玄 名もなきもの、けれどそこに命が在るから描く	ギャラリー(月刊)	223
平成十四年度支部例会研究発表要旨 今村紫紅作「熱国之巻」について	中川原有紀 美術史	154
今月の書評 磯崎新『建築における「日本的なもの」「もの」を巡るテキストとしての日本建築	今村 創平 美術手帖	839
「春陽会第二世代の作家たち」について	入江 観 春 陽	84
中川一政コレクション オークションでゴッホ巡り注目 収集品真剣勝負の軌跡	" 読売夕刊	2. 12
版画のインパクト 5人の作家の表現から 入谷葉子	版画芸術	122
第七九回展 受賞者の言葉(絵画部その2) [岩井千佳]	春 陽	84
月刊絵本「こどものせかい」の研究 その3-岩崎ちひろ「あめのひのおるすばん」を中心に-	藤女子大学・藤女子短期大学紀要	41-2
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 岩崎智子	臼木 直子 美術手帖	832
美学会第五十四回全国大会発表要旨 即興舞踊の記述に向けて-ベルクソンの「図式論」から-[岩下徹]	富田 大介 美 学	215
気魄の師 松井康成先生	岩瀬 健一 陶 説	604
新春特集2002回顧と2003展望 女性の視点から 第三部アンケート 美術家はこう見る	雨宮 敬子 池口 史子 岩田 糸子 内田 あぐり 上條 陽子 笹戸 千津子 志村 節子 三谷 青子 新美術新聞	980
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 岩谷由愛	永草 次郎 美術手帖	832
特集 生涯で最も重要な出会い 一設問への回答	岩渕 欣治 自由美術	2003
岩谷徹 メゾチントパスカルの葦	松山 龍雄 版画芸術	119
新美術時評 因藤寿一精神の「黒」	柴橋 伴夫 新美術新聞	986
(ウ)		
クレマスター・クラブ第5夜 王道を行く妄想アーティスト	ヴィヴィアン佐藤 美術手帖	832

特集1 野見山暁治 ある日の先生	上葛 明広 現代の眼	541
上田義彦写真集 ポルトレーPORTRAIT	日 経	10. 26
アーティストクローズアップ98 佐野ぬい、上野 憲男、カジ・ギヤスディン 絵画が生まれる瞬間と自然が感得される瞬間	ギャラリー(月刊)	213
親子共同制作の装飾品披露 祇園祭の山鉦「蔽天神山」胸懸新調 [上村淳之]	産 経	7. 7
「花鳥園」奈良・橿原で構想 万葉集の風景を現代に [上村淳之]	日経夕刊	7. 5
上村淳之展から1~3	上村 淳之 読 売	1. 31、2. 2、4
上村松園(煥)について	伊藤たまき 芸術学研究(筑波大学)	7
上村松園「花がたみ」にかんする考察	戸張 泰子 女子美術大学研究紀要	33
明治の絵葉書 其の8 上村松園・ピンクのロマンチズム	生田 誠 目 の 眼	323
ライトアップ [上村松園]	東京夕刊	4. 4
「父の作品残っていたとは」 [魚住幸兵]	朝 日	4. 19
オールドスクールグラフィッカーズ 粟津潔×宇川直宏 グラフィック以前、未開の荒野にて	編集部 構成 STUDIO VOICE	332
美術百科「この人のこの一点」の巻 宇佐美圭司《水族館の中の水族館》	奥村 泰彦 和歌山県立近代美術館ニュース	34・35
追悼-奥田元宋 思うこと	宇佐美江中 アートトップ	191
現代日本画の最高峰 奥田元宋氏を偲ぶ 師に思う一募る寂しさ	" 新美術新聞	987
はてな? おもしろ浮世絵203 広重「狂戯芸づくし」 [歌川広重]	中右 瑛 目 の 眼	319
新春特集2002回顧と2003展望 女性の視点から 第三部アンケート 美術家はこう見る	雨宮 敬子 池口 史子 岩田 糸子 内田 あぐり 上條 陽子 笹戸 千津子 志村 節子 三谷 青子 新美術新聞	980
無国籍にして時代不詳 内田綱一の怒濤 やきもの道	芸術新潮	646

土曜訪問「伝統」と とらわれない「無国 籍」の器を作る 陶 芸家内田鋼一さん	三沢 典丈	東京夕刊	8.2	特集 マンガはここ にある・作家ファイ ル45 対談マンガの 遺伝子の行方	江口 寿史、 山本 直樹 堅田 浩二 司会	ユリイカ	485
内田青虹さん 壁画 「須佐之男命」完成披 露	(高)	新美術新 聞	1004	第6回岡本太郎記念 現代芸術大賞 優秀 賞に天明屋尚氏とえ ぐちりかさん	(美)	新美術新 聞	988
東京美術学校西洋画 科卒業制作品・自画 像の技法材料、保存 修復に関する基礎的 研究1 内野猛	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 伊藤 由美 渡辺 郁夫	東京芸術 大学美術 学部紀要	39	文化 天明鑄物 千 年の輝き再び	江田 蕙	日 経	1.24
オールドスクールグ ラフィッカーズ 宇 野亜喜良×絵露帝華 服装から広告まで一 感覚的な思想表現の 時代	編 集 部 構 成	STUDIO VOICE	332	特集 21世紀の戦争 と美術 イラク戦争 以後のアートを考え る 榎忠	江上 ゆか	美術手帖	835
巻頭特集 女性の美 学 時代が見せる女 性の美 宇野亜喜良 のイラストレーショ ンにみる女性美の変 遷	宇野亜喜良	美術の窓	238	0号への誘いPart12 榎俊幸	榎 俊幸	新美術新 聞	985
自著を語る 寺山修 司・文『塚の中の鳥』 宇野亜喜良さん(イ ラストレーター)	"	東京夕刊	11.20	技法講座36 榎俊幸 ミクストメディアに よるイメージの人物 画《前編》《中編》《後 編》	編 集 部 取 材 ・ 文	美術の窓	236~238
「宇野亜喜良60年代 ポスター集」	(前)	読 売	7.20	巻頭特集 画材と技 法 実力派人気作家 21名にきく あなた は油絵派? アクリル 派?	榎 俊幸	"	242
思い出の香合	宇野 宗賛	淡 交	704	座談会「生涯で最も 重要な出会い」	阿部 早苗、 國定 正彦、 榎本 ひろ お、 庄司 多津 男、 田中シンタ ロウ 醍醐 イサ ム、 ミズテツオ 司会	自由美術	2003
梅田恭子オリジナル 銅版画集『ツブノヒ トツヒトツ』 ツブ の序章〜梅田恭子イ ンタビュー〜	岡 部 イ タ ビ ュー・構 成	版画芸術	122	江端博行1999~2001 年作品の解説	江端 博行	金沢学院 大学紀要	1
梅田恭子オリジナル 銅版画集『ツブノヒ トツヒトツ』 ツブ ノヒトツ〜1〜3	梶橋 雅博 住吉 千砂 言水 へリオ	"	"	特集 新しい身体と 彫刻の美学 Figure /Sculpture プロダ クトの中の新しいヒ トのかたち えりも	小田切 博	美術手帖	840
芸苑雑事記131 追 悼二題一土井弘二、 梅津五郎	瀧 悌三	美術の窓	241	オールドスクールグ ラフィッカーズ 宇 野亜喜良×絵露帝華 服装から広告まで一 感覚的な思想表現の 時代	編 集 部 構 成	STUDIO VOICE	332
連載 天馬が空を行 く5 「呼応感覚の 眼」[梅原龍三郎]	米倉 守 清 春		33	追悼圓錐勝三氏 ロ マンを持った空想の イリュージョン	柳生不二雄	新美術新 聞	1011
新「静岡市」祝いポ スター担当「静岡ま つり」で浦田周社さ ん	(工)	新美術新 聞	989	文化往来 研究熱心 だった彫刻家・円錐 勝三		日 経	11.6
宮崎大学所蔵美術品 とその保存状態(一) 一瑛丸および児島虎 次郎の作品をめぐつ て	石川千佳子 幸本 陽子	宮崎大学 教育文化 学部紀要	9	巻頭特集 2003年人 物画傑作選 遠藤彰 子を選ぶ人物画十選	遠藤 彰子	美術の窓	232
試される平和 緊迫 イラク 漫画家江川 達也さん		東 京	3.7	巻頭特集 画材と技 法 実力派人気作家 21名にきく あなた は油絵派? アクリル 派?	"	"	242
ART iT独断一日本 の若手作家10人 エ キソニモ	坂口 千秋	ART iT	1				

制作ノート 遠藤彰子	遠藤 彰子	武蔵野美術大学研究紀要	33	女性美求め写真界育む 盟友・秋山庄太郎君を悼んで	大竹 省二	朝日夕刊	1. 20
2002年度芸術選奨文部科学大臣賞に若林奮氏、榊原悟氏新人賞に遠藤秀平氏	(美)	新美術新聞	989	エッセイ イギリスの達人 女王陛下の着メロ事情	大竹 伸朗	芸術新潮	644
「信犯性について」	遠藤 利克	国立国際美術館月報	124	語る現代史 ブラジル日系人 下 芸術融合、新たな価値創造[大竹富江]	窪田 淳	日 経	8. 17
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 遠藤良太郎	臼木 直子	美術手帖	832	特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 大竹竜太	原 久子	美術手帖	832
(オ)				アーティストクロウズアップ100 大谷有花 「キミドリ」の記憶を見つめて		ギャラリー(月刊)	216
『アフガニスタン 戦禍を生きぬく』出版 フォトジャーナリスト大石芳野さん	栗原 俊雄	毎日夕刊	10. 31	わたしの好きなもの ハワイアンの開感	大谷 有花	新美術新聞	996
放射線 時感	大江 匡	東京夕刊	7. 3	Artist Interview62 大塚いちお 自分の中にあるニュアンスをシンプルに描く	石田 純子	デザインの現場	129
第21回天理天理ビエンナーレ2003 大賞は大阪一成氏		新美術新聞	989	大塚睦追悼		構 造	14
大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2003 越後松之山森の学校 3組のアーティストに聞くメイキング・オブ“キョロロ” 逢坂卓郎		美術手帖	839	大塚睦の佇立する「裸形の母子像」について—福沢一郎の「満州の遠近」との関連において	尾崎 真人		
第七九回展 受賞者の言葉(版画部)[大坂忠司]		春 陽	84	アトリエ村の大塚さん	桂川 寛		
神宮名品解説 神宮美術館奉納美術品 彫塑「黒柿蘇芳染宝相華文嵌荘花形盤」[大坂弘道]	(深田)	瑞 垣	196	水の音に気がついた	鎗木 昌弥		
特集 生涯で最も重要な出会い 出会い	大崎 和男	自由美術	2003	戦後美術の夜と昼	門田 秀雄		
注目する新人作家12人 大塩紗永		版画芸術	120	大塚睦自筆年譜	大塚 絢子		
明治の絵葉書 其の11 大下藤次郎・水彩の水辺と山	山田 俊幸	目の眼	326	Go Artist Go! 大坪茜丸	小林 玉紀	美術手帖	838
第28回伊奈信男賞 大島洋氏に決まる	(林)	新美術新聞	1011	代表になって	大西 弘之	美術文化	24
特集 日本伝統工芸展五〇年 私と日本伝統工芸展 日本伝統工芸展で出会った人びと	大須賀 選	文化財(月刊)	481	島木さんのこと	"	"	"
こと場 太田三郎さん 美術家		朝日夕刊	8. 28	巻頭特集 巨匠展 今そして未来2003	大沼 映夫	美術の窓	235
絵ゴコロ読みドコロ 見えないものを伝える 画家太田大八さん	大平佐和子 構成	"	3. 20	新作の背景 大沼映夫《山百合》	石川 健次	毎日夕刊	3. 7
資料紹介『太田保日記』1(昭和四年)	倉成 多郎	壺屋焼物博物館紀要	4	舞踏家・大野一雄の活動—1977年作品『ラ・アルヘンチーナ頌』以前	相原 朋枝	お茶の水女子大学人文科学紀要	56
追悼 大嵩禮造—ただ今留守中—	林 紀一郎	新美術新聞	986	木版画—ダイナミズムの系譜 大野経典本質的な自己の存在	大野 経典	版画芸術	119
				挿画を描く 改めて知る歴史の難しさ	大野 俊明	新美術新聞	992
				美術百科「この人のこの一点」の巻 大野倅嵩 《Two Forms》	浜田 拓志	和歌山県立近代美術館ニュース	34・35
				文化 遊・食共にし分校撮影 20年で7校4万枚、厳選した116点を写真集に	大野 広幸	日 経	6. 12

特集 日本伝統工芸展五〇年 私と日本伝統工芸展 五〇年が経ちました	大場 松魚	文化財(月刊)	481	ぶぶひ ぶひぶぶ	"	朝日夕刊	8.9
作品「コレクション・開かれた男」(2001年原作)	大場 吉美	金沢学院大学紀要	1	東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 1 小笠原丁	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 伊藤 由美 藤 郁夫	東京芸術大学美術学部紀要	39
大樋長左衛門2001年作品の解説	大樋長左衛門	"	"	岡田春燈斎の銅版画 銅・石版画遺聞11	森 登 一 寸		13
日展にのぞんで 導かれての自分 一九五八—	大樋 年雄	日展ニュース	110	熟成の「時」は今だって本当はコントロールできないものだと思います。	岡田 匡史	辰野美術館だより	25
わたしの好きなもの 岐阜駅前アーケード街	大巻 伸嗣	新美術新聞	991	自著を語る 『仮名手本忠臣蔵』 岡田嘉夫さん(画家)	岡田 嘉夫	東京夕刊	12.11
大村廣陽のスケッチ・素描・小下絵について	石井 太	ふくやま美術館研究紀要	2	特集 建築を学ぶ人たちに 初学者に薦める本 『ブルネッレスキ伝—付グラッソ物語』アントニオ・マネッティ著、浅井朋子訳	岡部 憲明	建築雑誌	1512
大村廣陽作《休み(習作)》について	大前 勝信	"	"	パリのM・Oへー小谷博貞の9つの書簡—1979年	岡部 昌生	札幌大谷短期大学紀要	34
「大村廣陽文庫」について	掛谷 美江	"	"	想起の力	"	"	"
第1回奈良県万葉日本画大賞決まる 大賞は大矢真嗣氏		新美術新聞	990	柳宗悦と有縁の人々(5) 岡村吉右衛門	近藤 京嗣	陶 説	600
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 1 大八木一郎	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 伊藤 由美 藤 郁夫	東京芸術大学美術学部紀要	39	特集 生涯で最も重要な出会い ある風景の中の記憶(出会い)	岡村 光哲	自由美術	2003
巻頭特集 巨匠展 今そして未来2003	大藪 雅孝	美術の窓	235	特集 峯孝を偲んで 座談会「峯孝を語る」	池田 宗弘、 二森 一雄、 八幡 健二 岡村 光哲	"	"
現代日本画の最高峰 奥田元宋氏を偲ぶ 達成された究極の元宋の赤	大山 忠作	新美術新聞	987	創作探訪 彫刻家岡本敦生と石 風土に染まった温かさ	宝玉 正彦	日 経	5.11
奥田元宋氏を悼む 心象風景の「赤」創造	"	日 経	2.19	挑みの芸術。[岡本太郎]	岡本 敏子	辰野美術館だより	26
作家訪問317 陶芸作家 大山智子さん 岡さんのこと[岡鹿之助]	編 集 部	目 の 眼	320	岡本太郎の「幻」壁画 発見 「明日の神話」	中川 史	朝日夕刊	9.12
新・表現考 メディア時代の版画の手わざ 木版画対談 緒賀岳志×宮崎敬介 技と現代性	辺見・岡部 構成	版画芸術	122	故岡本太郎氏の壁画 35年ぶり発見 原爆への怒り再び 養子・敏子さん『ヒロシマで展示を』		東 京	12.14
特集2 絵画考 絵画論考 岡崎乾二郎のディプティック	上崎 千	セゾンアートプログラム・ジャーナル	10	思うままに 岡本太郎の復活 土器、土偶の前衛性に着目	梅原 猛	東京夕刊	8.4
特集 21世紀の戦争と美術 イラク戦争以後のアートを考える 岡崎乾二郎 with RAM でも哲学—「楽しい反戦」のすすめ	松浦 寿夫 ききて	美術手帖	835	岡本太郎氏の幻の壁画 復元へ 愛知万博で展示構想		日 経	8.29
特集 J ポップの詩学 音は二ホンゴを断ちきれるか	岡崎乾二郎	ユリイカ	479	岡本太郎の壁画現存 不明30年、メキシコで発見	"	"	9.8
				文化 岡本太郎 復活 没後に再評価、若者らが支持 回顧展など盛況 「太陽の塔」内部公開も	宝玉 正彦	"	12.20

平成15年定期刊行物所載文献(近/作オ)

「太陽の塔」33年ぶり 内部公開[岡本太郎]	石川 隆宣	毎日	9.13	奥田元宋氏を悼む 心象風景の「赤」創造	大山 忠作	"	2.19
しもべの読書	岡本 文一	明星大学 研究紀要	11	奥田氏死去 燃える 赤で風景画 90歳情 熱の一生、詩歌も親 しむ[奥田元宋]		読 売	2.16
茨城の画人たち 小 川芋銭 慶応4 (1868)年~昭和13 (1938)年	藤本 陽子	游 美	44	編集委員が読む 最 後の大家 飾らず常 に真つすぐ90歳の往 生[奥田元宋]	芥川 喜好	"	4.6
Artist Interview61 小川和子 ステンシ ルで奏でる自分スタ イル	池上ちかこ	デザインの 現場	128	奥田元宋さんを悼む 詩人の心で自然を表 現	川口 直宜	読売夕刊	2.18
第8回中村彝賞 荻 太郎氏に	(常)	新美術新 聞	984	巻頭特集 巨匠展 今そして未来2003	奥谷 博	美術の窓	235
荻原守衛英文書簡に ついて ウォル ター・バック関係資 料より	仁科 惇	碌山美術 館報	23	《奥原晴湖粉本資料》 の分析と目録作成	平井 良直	鹿島美術 財団年報 別冊	20
荻原守衛・青春日記 (一)『つくまのな べ』—新注釈つき—	榊原 好恭	"	23	日記にやつき43、44	大久村つな お	e t c .	48、49
追悼—奥田元宋		ア ー ト ト ッ プ	191	日記にやつき45	関口 涼子 大久村つな お	"	50
奥田元宋先生の思 い出	犬丸 直			顔 日本人で初めて ローマ法王の胸像を 制作した彫刻家 奥 村信之さん	高梨ゆき子	読 売	12.14
思うこと	宇佐美江中			芸苑雑事記128 奥 村先生のこと[奥村 光正]	瀧 梯三	美術の窓	238
詩想豊かな世界	小針 代助			小倉惣次郎と大隈重 信肖像	杓沢 耕介	早稲田大 学会津八 一記念博 物館研究 紀要	4
現代日本画の最高峰 奥田元宋氏を偲ぶ		新美術新 聞	987	マンガの居場所 自 在さ、壁の薄さこそ 特性[小栗左多里]	夏目房之介	毎日夕刊	10.9
弔辞	藤田 雄山			「フランス・パリ美 の革命展イン・ルー ブル」に出品して	尾崎 益江	新美術新 聞	1011
元宋先生のご逝去 を悼む	犬丸 直			BACK GARDEN— 裏庭考現学— 篠島 孝一著		日 経	6.8
達成された究極の 元宋の赤	大山 忠作			フェイス21世紀56 小澤愛	常盤 茂	新美術新 聞	1004
包容力あるお人柄 と繊細な優しさ	鈴木 竹柏			「幸せ」問う作品伊に 出品 現代美術家・ 小沢剛さん		朝 日	7.17
思い出された「画 人悠々」の数々	夏目 四郎			知られざる神秘空間 レオン・スピリアー ルト展4	押江千衣子	東京夕刊	4.28
「孤明歴々地」へ	野地耕一郎			押江千衣子作品集 「目をすます」	(前)	読 売	4.6
師に思う—募る寂 しさ	宇佐美江中			フェイス21世紀49 小田麻子	常盤 茂	新美術新 聞	985
台所の隅の「癩癩」 の色紙	岡村孝三郎			版画のインパクト 5人の作家の表現か ら 小高里枝子		版画芸術	122
惜別 洋画的感觉備 えた日本画家 奥田 元宋さん 心を描き とめた「元宋の赤」	田中 三蔵	朝日夕刊	3.17	特集 オノ・ヨーコ 未来に贈る I M A G I N E の力 未来の 母・ヨーコ	小田島 等	美術手帖	841
葬送 仕事への執念 が生んだ“究極の赤” 日本画家奥田元宋氏	田中 規雄	産 経	2.20				
死去の奥田さん 『元宋の赤』極める 『魁夷さんの青のよ うに』[奥田元宋]	塩野 栄	東 京	2.16				
奥田元宋画伯を悼む 壮大なロマン秘めた 幽玄の世界	富山 秀男	東京夕刊	2.19				
奥田元宋氏死去 燃 える赤、大自然描く	竹田 博志	日 経	2.16				

新・作家への道標
100 小谷元彦・新
たな感覚のリアリ
ティを求めて 人間
の記憶や肉体に刻み
込まれているもの、
それを揺さぶるよう
な作品をつくりたい。

恵まれた環境を離れ
て生まれる創作への
リビドーからモノを
作り出す。

特集 第50回ヴェネ
ツィア・ビエンナー
レ完全ドキュメント
日本館代表 曾根裕
／小谷元彦

ようこそ 小谷元彦
さん 美術家「ベ
ネチア」で日本を背
負う

この人 ベネチア・
ビエンナーレに日本
代表で出品中の美術
作家 小谷元彦さん

文化往来 ベネチア
の国際美術展に曾
根・小谷作品[小谷
元彦]

三雲祥之助先生の思
い出

『Slow boat』尾仲浩
二著

尾仲浩二写真集
「slow boat」

「小野佐世男ジャワ
従軍画譜」をめぐつ
て

旅を楽しみ、旅から
学ぶ アトリエ・グ
リズー[小野千寿]

日影 眩の360°の
ニューヨーク106
2003年秋、蔡国强
の花火スベクタクル、
村上隆のマーケッ
ト・ワールドの偶像
VS小野知美のネイ
チャー版画

[特集]YES! YOKO
ONO オノ・ヨー
コの復権

オノ・ヨーコ イ
ンタビュー

アレクサンドラ・
モンロー インタ
ビュー

ジョナス・メカス
インタビュー

特集 21世紀の戦争
と美術 イラク戦争
以後のアートを考え
る

ギャラ
リー(月 217
刊)

小谷 元彦 藝大通信 7

能勢 陽子 美術手帖 839

大西 若人 朝日夕刊 5.14

東 京 8.5

日 経 3.17

越智 雄二 春 陽 84

大竹 昭子 朝 日 9.28

(前) 読 売 9.28

小野 耕世 アジア遊 54
学

中島 優子 デザイン 126
の現場

日影 眩 ギャラ
リー(月 223
刊)

小崎 哲哉 ART iT 1
聞き手

美術手帖 835

IMAGINE オノ・ヨー
PEACE コ

オノ・ヨーコ
(平和の想像力)が 藤森 愛実
共有されるとき

特集 オノ・ヨーコ
未来に贈るIMAG- 美術手帖 841
INEの力

NY現地取材・最
新インタビュー
オノ・ヨーコ 藤森 愛実
100年後の私たち とき
はユートピアに住
んでいる。

CUT PIECE in
2003

『グレープフルー
ツ』抜粋

アートの輝き、日
常の糧 オノ・ 松井みどり
ヨーコの60年代の
アート

日本発世界へ オ
ノ・ヨーコと前衛 由本みどり

アートの受容と偏
見—オノ・ヨーコ
の近年の作品をめ
ぐって 藤森 愛実

Who has seen the
wind? 佐々木 敦

想像せよ、と
ヨーコは言った 大庭 萱朗

ザ・クロノロジー 長澤 章生
編集部 構成

ジョン&ヨーコは
“事故っちゃった
婚”だった!? 湯山 玲子

beyond BT 72
and FILMWORKS
最近のオノ・ヨー
コと映画作品 飯村 隆彦

横尾忠則が語るオ
ノ・ヨーコ 西野 基久
構成

インタビュー キ
ム・ゴードン 最
高のプレイを引き
出す声 藤森 愛実

オノ・ヨーコが語
りかけるとき 南條 史生

世界は姉妹で満ち
ている 小谷 真理

未来の母・ヨーコ 小田島 等

インタビュー
「YES オノ・
ヨーコ」展 キュ
レーター アレク
サンドラ・モン
ロー 藤森 愛実

第28回木村伊兵衛写
真賞決まる オノデ
ラユキさん、佐内正
史氏 (真) 新美術新 989
聞

ひと 初写真集で受賞さらに意欲[オノデラユキ]		読売夕刊	5.19						第104回受賞者インタビュー 第12回青木繁記念大賞公募展片渕敬徳	ギャラリー(月刊)	216	
第7回手塚治虫文化賞 新生賞「ヒカルの碁」作ほったゆみさん 画小畑健さん		朝 日	5.27						はくぶつかん散歩4 東京国立博物館表慶館 ライオン[片山東熊]	上野 仁哉 国立博物館ニユース	662	
巻頭特集 魂の探求者 ゴッホVSレンブラント レンブラントに寄せて 視覚的触感、光と影	小尾 修	美術の窓	240						香月泰男作品における形態とマチエールの関わりについて	濱本 聡 下関市立美術館研究紀要	9	
巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派? アクリル派?	"	"	242						視線 香月泰男のおもちゃ箱 詩と編・谷川俊太郎	嵐山光三郎 朝 日	9.7	
恩地孝四郎の(楽曲による抒情)シリーズをめぐって—1930年代の日本の抽象絵画に関する一考察—	桑原 規子	美 学	215						美の美 香月泰男—シベリアの祈り上、中、下	内田 洋一 日 経	11.16、23、30	
									大塚睦追悼 アトリエ村の大塚さん	桂川 寛 構 造	14	
									特集 絵画輪廻転生 加藤泉	白木 直子 美術手帖	832	
(カ)										加藤 孝造、鯉江 良二、榎本 パネラー 加藤幸兵衛 ナビゲーター	陶 説	598
対談 路傍の京都を撮る	甲斐扶佐義 秦 恒平	美術京都	31						日本陶磁協会岐阜県支部トークセッション			
ゼロゼロエポリーション3 カオリとマリ子 しまいなふたり		美術手帖	839						一透明を恋う—	加藤すみ子 美術文化	24	
巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派? アクリル派?	寛 本生	美術の窓	242						大トルコ展 遙かなるイスタンブール5	加藤 卓男 東京夕刊	3.5	
特集 生涯で最も重要な出会い 情熱の持続	加古マツオ	自由美術	2003						らんぼう美術館19 第十八室 加藤唐九郎	平松 礼二 美術の窓	238	
『森芳雄追悼文集』森芳雄追悼文集刊行会刊 正統な絵画の役割を考える上に貴重な文集	笠井 誠一	新美術新聞	1011						加藤一画集	日 経	6.1	
横堀先生と南城先生	笠木 實	春 陽	84						瀬戸赤津焼〜“土”と伝統技法	加藤 裕重 明治大学博物館年報	2001年度	
ART HEAD QUARTERS 笠原出が小学校で出前授業! 笑いをテーマに「びっくりマスクdeポン!」	武内 厚子	美術手帖	832						近況 加藤良造さん(画家) 今日の山水を追求	石川 健次 毎日夕刊	1.17	
明治の絵葉書 其の5 図案家・梶田半古の絵葉書	山田 俊幸	目の眼	320						虚実皮膜 上遠野敏の場合	L u r e	70	
特集 本をつくりたい!! 梶野彰一バリ+東京、ピンポイントに届けたい	小林 玉紀	デザインの現場	130						巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派? アクリル派?	金井 訓志 美術の窓	242	
第1回日本アートアカデミー賞 柏本龍太氏がグランプリ		東京夕刊	1.28						第七九回展 受賞者の言葉(絵画部その2)[金井順子]	春 陽	84	
コレクションの眼 片岡好		版画芸術	121						青春プレイバック 金山桂子 東京都中央区銀座・歌舞伎座	鳥村 千代 新美術新聞	1007	
0号への誘いPart14 片桐聖子	片桐 聖子	新美術新聞	991						アーティストクローズアップ102 金子國義 独自の世界を創り出す「商人」の血と「作家」の血	ギ ャ ラリー(月刊)	217	
									金重素山覚え書	立原 正秋 陶 説	605	
									金重素山の陶芸—その端正で、やわらかな線について—	森 孝一 " "	" "	

金重崇山年譜	編 集 部	”	”	特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 亀山 白木 直子 美術手帖 832
つくり手の言葉[金重陶陽]	福富 幸	岡山県立美術館 ニュース	62	「主人公と作者と私が共有する“家”のすがた」『カンパセイション・ピース』保坂和志著
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 金田勝一	原 久子	美術手帖	832	「主人公と作者と私が共有する“家”のすがた」『カンパセイション・ピース』保坂和志著
「黄色い夢」と「仮想昆虫図鑑」	金田 宣紀	明星大学研究紀要	11	春雷の遠野へ 追想 陶芸作家加守田章二
単眼複眼 50年代の風景「金田泰雄写真集」「なつかしさ」に誘う力強さ	音谷 健郎	朝日夕刊	1. 16	加山四郎先生と私
第七九回展 受賞者の言葉(絵画部その1)[金谷ちづさ]		春 陽	84	文化勲章に加山又造氏と大岡信氏 文化功労者に安藤忠雄氏、田沼武能氏
文化 「紙漉きアート」半世紀 郷土の風土生かし技法開拓、初の個展も実現	加納 俊治	日 経	6. 18	中国宋画十選 1～10
明治挿絵譚 前回の補綴『挿絵節用』の吟味／『佳人之奇遇』の挿絵—高橋節雄・浅井忠一／鏑木清方の『新小説』表紙絵評	岩切信一郎	一 寸	15	人らんだむ 小説『ロンド』で第17回下野文学大賞を受賞した柄澤齊氏
明治の絵葉書 其の1 鏑木清方の美人絵葉書	山田 俊幸	目 の 眼	316	『ロンド』柄澤齊著
時の絆 昭和47年3月2日 日本画家・鏑木清方死去	山本 雅人	産 経	3. 3	陶芸家・河井寛次郎の釉薬ノートの調査研究(第1報)
ダ・シルヴァ	鏑木 昌弥	構 造	14	柳宗悦と有縁の人々(4) 陶芸家 河井寛次郎
大塚睦追悼 水の音に気がついた	”	”	”	革工芸家川合京子さん「九重賞」受賞
アーティスト訪問 1 下保昭 中国に招かれた水墨画 100点の作品を中国美術館(北京)で展示		ギ ャ ラ リー(月刊)	222	日本新工芸家連盟会長 陶芸家河合髯徳氏 生活の中にあって美しいもの
対談 「銅版画と和紙表装」—コラボレーションを通して工芸の明日を考える—	鎌田 敏輝 中井 武志	百 万 塔	116	版画のインパクト 5人の作家の表現から 河合真由子
作家訪問320 陶芸・ガラス作家 神尾清美さん	編 集 部	目 の 眼	323	日 影 眩 の360°のニューヨーク103 アメリカン・ドリームのゆくえ—2 白い箱から逸脱する画廊と河合美咲のぬいぐるみ航空ショー
(創作ノート) テラコッタ・シリーズ	上條 文穂	沖縄県立芸術大学紀要	11	具象彫刻の現状と今後の課題
新春特集2002回顧と2003展望 女性の視点から 第三部アンケート 美術家はこう見る	雨宮 敬子 池口 史子 岩田 糸子 内田あぐり 上條 陽子 笹戸千津子 志村 節子 三谷 青子	新美術新聞	980	半泥子と楽山堂～慾袋の謎～(4)～(7)
日展にのぞんで 生き残る物になるために思う事	亀谷政代司	日 展 ニュース	110	特集 長寿広告の秘密 河北秀也×いいちこ「三和酒類」
				ノンフィクション ファンタジー かわきたまき
				美術百科「この人のこの一点」の巻 川口軌外 《少女と貝殻》
				奥村 泰彦
				和歌山県立近代美術館 ニュース
				34・35
				106
				602
				84
				1008
				1. 6、7、9、10、13、14、16、17、20、21
				1008
				1. 5
				11
				599
				1000
				993
				122
				216
				1
				599～601、603
				128
				129

PAPER IN MY WORK88 文京図案室[川口澄子] アノニマスな紙遊び	橋本 麻里	デザインの現場	130	研究資料 クンストカメラ所蔵フィッセル・コレクションの日本絵画—川原慶賀作品を中心に	山梨絵美子	美術研究	378
総合造形としての現代美術の研究と制作	河口 龍夫	筑波大学芸術学系研究報告	40	カワベ氏とは河邊正夫だった—国吉康雄が頼ったニューヨークの美術家	山口 泰二	美術運動史研究会 ニュース	63
文化芸術と科学技術特集 近未来の電腦空間へ向けて 事例報告 東京大学大学院教授河口洋一郎氏		日 経	12. 16	THE PERSON NOW 川又慶子	川又 慶子	アート トップ	194
デザインのことば デザインボキャブラリーの再定義	川崎 和男	A X I S	101~106	対談 画題との出会い	梅原 川村 悦子	美術京都	30
環境問題と建築デザイン	川崎 清	国立国際美術館月報	135	フランスへ渡った日本—川村 清雄の《建国》について—	高階絵里加	人文学報	89
国立国際美術館 設計 1969 川崎 清 (1932~)	加須屋明子	"	"	特集2 あかり: イサム・ノグチが作った光の彫刻《大地の彫刻》と《あかり》	川村 純一	現代の眼	542
美学会第五十四回全国大会発表要旨 近代京都における絵画と織物工芸との関係—二代川島甚兵衛の企画をめぐる—	山田由希代	美 学	215	[作品研究]河本五郎—挑戦と反逆の造形	唐澤 昌宏	"	"
アクリリックスワールド 川島秀明	難波 祐子	美術手帖	834	アクリリックス・ワールド13 管弘志	石井 芳征	美術手帖	829
新しき誘惑への使徒たち 第9回 川島未雷		アート トップ	194	青春プレイバック 神戸文子 東京都杉並区和田女子美術大学	林 茂樹	新美術新聞	996
日展にのぞんで「アロワナ」と出会う	川田 恭子	日 展 ニュース	110	観瀾齋 仏板画の世界1~4		美術の窓	240~243
“ブラモデル家具”に“折り紙家具”? 川谷興一郎(DID LABEL)+間中木工所	沢水 潤	デザインの現場	130	(キ)			
人と書3、4 刀匠河内國平の書(1)、(2)	真鍋 井蛙	目の眼	319、321	LIVE ARTIST 鬼煙 版画 流浪の版画	岡 部	版画芸術	122
文化往来 暁斎の天井画、デジタル技術で復元[河鍋暁斎]		日 経	1. 31	肖像を撮りつづけること 浅草を歩く人々を対象に30年	鬼海 弘雄	産 経	9. 27
追悼 回想の川仁宏(1)~(3)、補記	今泉 省彦	あ い だ	87~90	文化 浅草に集う「個性」カメラに 街の魅力は人々の魅力、浅草寺で撮り続ける	"	日 経	10. 2
貴賓席「回想の川仁宏」を読んで	高野 慎三	"	91	正論 日本の建築費は何故高いのか 波紋広がる中部空港の工費削減	菊竹 清訓	産 経	9. 15
明治期の蒔絵伝統様式について—池田泰真と川之辺一朝の作品を中心に—	小松 大秀	三の丸尚蔵館年報・紀要	8	特集 本をつくりたい!! 菊池敦己 Bluemark アートブックをつくり、海外でも流通させる	中村 宏美	デザインの現場	130
現代工芸作家シリーズ 魔術師たちの贈り物 第8回 川端健太郎	富田 康子	アート トップ	193	未来派美術協会習作展(1923年)出品の菊地武一《ローマ字のC》	五十殿利治	筑波大学芸術年報	2003
「国家主義的美術家」を育てる—「新京美術院」と川端龍子	飯野 正仁	あ い だ	92	美のパートナーシップ 画廊と私! 岸田淳平とギャラリー・しらみず美術		ギャラリー(月刊)	224
美術百科「この人のこの一点」の巻 川端龍子《芭蕉翁》	宮本 久宣	和歌山県立近代美術館 ニュース	34・35	交遊抄 超人的な女性	岸田 夏子	日 経	12. 20

「岸信夫作成『岸田劉生の作品に関する私ノート』1915—1929	郡山市立美術館編	郡山市立美術館研究紀要	3	絵画の支持体について	北山 善夫	国立国際美術館月報	134
二つの少女像が拮抗する展示——一九二二年の「岸田劉生個人展覧会」をめぐる一	中間 志織	文化学年報(同志社大学)	52	巻頭特集 画材と技法 ミクストメディア派 ミクストメディアによる表現	木津松嶋取材	文哉励路・文	美術の窓 242
0号への誘いPart11 岸野香	岸野 香	新美術新聞	982	すてき私流 画家、女優 城戸真亜子さん “一心同体”の水彩画セット	丸山 雅樹	読売夕刊	2. 13
ひと 日本の滝3930を撮影した写真家 木田薫さん	久門たつお	毎日	1. 6	ことばのデッサン 第3回～第5回、第7回、第8回	網谷 幸二	アートトップ	189、190、192～194
らんぼう美術館 最終回 第二十室 北大路魯山人	平松 礼二	美術の窓	240	黙示録—網谷幸二展 還選譚対談 網谷幸二×武藤敏郎	網谷 幸二、武藤敏郎	対談	191
清宮質文君の追想	北岡 文雄	春 陽	84	文化・アーティストと世界 シリーズ2 網谷幸二 豊かな人間関係を通して幅広く美術の精神を語る 画家		ギャラリー(月刊)	219
文化 近代美術育てた懐の深さ 春陽会創立80年、草創期と現在の展覧会	"	日 経	4. 30	未歳生まれの五人衆 還暦を語る	網谷 幸二	新美術新聞	980
北後美智子さん 作品「浄土莊嚴」を京都 佛光寺に寄贈	(常)	新美術新聞	989	絵画の虚実、創造の世界を語る 黙示録～網谷幸二展	米倉 守 網谷 幸二	"	992
esperanza 青森県立美術館(仮称)に望む 第4回	北島 敬三	A — ism	7	巻頭特集 巨匠展 今そして未来2003	網谷 幸二	美術の窓	235
特集 詩集のつくり方 詩集を遺さなかった詩人 クロニクル2002年9月—12月[北園克衛]	内堀 弘	ユリイカ	475	中特集 網谷幸二 色彩とイメージ力を豊かに	網谷 幸二 談 編集部	"	236
新・表現考 メディア時代の版画の手わざ リトグラフ対談 元田久治×北爪潤 版と絵との距離	秋 構成 田	版画芸術	122	空を飛ぶロマンティズム 三岸好太郎展2	網谷 幸二	東京夕刊	7. 12
近代大阪における女性画家の研究—島成園と「女四人の会」の画家を中心に—[木谷(吉岡)千種]	小川 知子	鹿島美術財団年報別冊	20	誉れ日月駿河富士 色彩の力感じる喜び	"	日 経	1. 1
講演会記録 北野恒富とその時代	加藤 類子 談	石川県立美術館だより	237	創作探訪 画家網谷幸二のプレス公開制作「うその世界」描く哲学披露	白木 緑	"	6. 15
特集 〈生と死〉と美術 II 東洋美術における〈生と死〉の表象 死と滅亡の絵画《淀君》 北野恒富は、なにを「露骨」に描いたか	橋爪 節也	美術フォーラム21	8	今週の1点 あ・あ(ラダックの壁画)[網谷幸二]		毎日	6. 4
アーティストクローズアップ107 北見隆 イラストとアートの境界を行き来すること		ギャラリー(月刊)	221	新作の背景 網谷幸二《菩提心》	石川 健次	毎夕刊	5. 2
文化 国宝復元先人の技に酔う 春日大社の毛抜形太刀、12世紀前半の姿に	北村 昭斎	日 経	5. 15	Weekly日誌	網谷 幸二	"	11. 7、14、21、28
特集 日本伝統工芸展五〇年 私と日本伝統工芸展 日本伝統工芸展に思う	北村 武資	文化財(月刊)	481	新しき誘惑への使徒たち 第6回 網谷幸太		アートトップ	191
				「不確かな世界」	木村 一生	多摩美術大学研究紀要	17
				インタビュー 木村繁之 木版画の「色」と陶立体の「かたち」	秋 イビュ ン・田タ構 成	版画芸術	120

ミュージアム・イン タビュー「ライト・ ウォッチングの木村 崇人さんにきまし た」の巻		aprire 4			
特集 森山大道 中 平卓馬 格闘写真史 196X—200X 木村 恒久インタビュー 「中平は、上位プロ グラムを設定した。」	中川 道夫 ききて	美術手帖	833		
巻頭特集 画材と技 法 アクリル派 あ らゆるものを絵の材 料に	木村 鐵雄 松嶋 励路 取材・文	美術の窓	242		
フェイス21世紀48 木村浩之	常盤 茂	新美術新聞	982		
ART IT独断—日本 の若手作家10人 木 村友紀	原 久子	ART IT	1		
視線 イマジナ リー・ナンバーズ 木本圭子著	都築 響一	朝 日	8.10		
茨城の画人たち 清 原斉(1896—1956)	藤本 陽子	游 美	43		
工房を訪ねて 革新 と伝統が生み出す香 合のかたち 京焼 清水六兵衛氏		淡 交	704		

(ク)

久家靖秀 Sound of Photography 逃 去る写真—写真家・ 久家靖秀のための断 片抄	中山 真理	美術手帖	838		
増殖のはての静けさ 草間ワールドに佇む [草間彌生]		芸術新潮	638		
現在通信from NEW YORK 鏡よ、鏡… [草間彌生]	富井 玲子	新美術新聞	981		
こと場 草間彌生さ ん 前衛美術家		朝日夕刊	4.17		
あこのころ 前衛芸術 家草間彌生さん 世 界を征服すると誓っ た	長谷部耕二 聞き手	読 売	2.24		
「YAYOI KUSAMA Furniture by graf」 [草間彌生]	(前)	"	3.9		
PAPER IN MY WORK85 久住欣 也 紙から奏でられ る譜面を読む	橋本 麻里	デザインの 現場	126		
久世建二—粘土の落 下・圧縮で造る異常 な痕跡表現	柴辻 政彦	陶 説	606		
工藤甲人が語る 師 友のことと人生のこと 絵画への情熱と思想	草薙 奈津 子、工藤 甲人	新美術新聞	984		
米寿記念展を終えて 郷里は制作へのエネ ルギーの源泉	工藤 甲人	"	990		

特集 絵画輪廻転生
工藤麻紀子

座談会「生涯で最も
重要な出会い」

『カ・タ・コ・ト』國
司華子著

アトリエの扉をあけ
て48 色を重ねてつ
くる、静かな世界
国分チエミ

福武コレクション
国吉康雄作品の寄託
について

カワベ氏とは河邊正
夫だった—国吉康雄
が頼ったニューヨーク
の美術家

文化往来 国吉康雄
コレクション、ベ
ネッセが寄託

制作ノート 久野和
洋

アーティストクロー
ズアップ101 久保
理恵子 絵画が絵画
として生命を持ちは
じめる、その瞬間の
ために

惜別 「幻の染め」を
独自に復元 久保田
一竹さん

追悼抄 染色家 久
保田一竹さん 美へ
の執念創作の泉

Go Artists Go! 窪
田美樹

特集 建築を学ぶ人
たちへ 初学者に薦
める本 『家父長制
資本制』上野千鶴子
著

美学会第五十四回全
国大会発表要旨 芸
術と自然支配—見え
ない展望台をめぐつ
て—[隈研吾]

フロントランナー
建築家隈研吾さん
その「日本表現」を、
東京大開発が呼び戻
す

東京のビルディング
十選 1～10

編集 部 美術手帖 832

阿部 早苗、
國定 正彦、
榎本 ひろ
お、司 多津
男、田中シンタ
ロウ、醍醐 イ
サム、ミズテツ
オ司会

日 経 1.19

中島 優子 デザイン
の現場 127

妹尾 克己 岡山県立
美術館 ニュース 61

山口 泰二 美術運動
史研究会 ニュース 63

日 経 3.12

久野 和洋 武蔵野美
術大学研
究紀要 33

ギャ
ラリー(月
刊) 216

川村 二郎 朝日夕刊 5.26

内田 淑子 読 売 6.8

小林 玉紀 美術手帖 835

隈 研吾 建築雑誌 1512

高安 啓介 美 学 215

松葉 一清 朝 日 9.13

隈 研吾 日 経 7.3、4、
7、8、
10、11、
15～18

『戦争と建築』五十嵐太郎著	〃	〃	10.5
名画塾「夏の月」熊谷守一(1880~1977)	古山 浩一	ARTの森	14
象徴主義のつむじ風吹く—青木繁と熊谷守一の青春時代—	小泉 淳一	茨城県近代美術館研究紀要	10
文化 疑惑の墨彩白黒付けます 熊谷守一作品登録で合議判定、混乱收拾図る	居原田 健 日 経		9.26
久米民十郎とブルリユークの絵葉書—イマジユイ資料散策1—	山田 俊幸	一寸	16
巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派?アクリル派?	倉数 和文	美術の窓	242
特集 新しい身体と彫刻の美学 Figure/Sculpture プロダクトの中の新しいヒトのかたち 倉科昌高	小田切 博	美術手帖	840
第9回足立美術館賞に倉島重友氏の「穠(みのり)」	(千)	新美術新聞	1004
「倉田先生!」[倉田三郎]	横山 了平	春 陽	84
巻頭特集 画材と技法 アクリル派 材料より内容	久里 洋二 松嶋 励路 取材・文	美術の窓	242
特集3 アーティストとミュージアムの、新しい関係?アーティストと共につくるプログラム「地球の上で」展の場合[栗田宏一]		ドーム	71
栗林慧写真集「はたる—源氏蜚全記録」	(前)	読 売	6.22
街日和 橋の小料理屋にいた父親	栗原 達男	朝日夕刊	3.15
新・作家への道標96 栗原幸彦・自然の中にある創作の原点		ギャラリー(月刊)	213
いまこの時は描くことができなくとも、それでも尚描きたいものの、感動の持続について			
栗谷川健一と札幌オリンピックのデザイン	鎌田 享	ろびい	70
巻頭特集 首都蘇生と文化 死都を蘇らせるには江戸に学べ	黒川 紀章	アートトップ	194
HANGA SCENE 海外 中国の現代版画は今?	黒崎 彰	版画芸術	119
特集 黒田硫黄		ユリイカ	481

全身漫画家・黒田硫黄	黒田 硫黄 穂村 弘 西 いづみ		
黒田硫黄・フェイクな王道	竹宮 恵子		
話は消去法からはじまるんです	黒田 硫黄 イン タ ヴェュー		
天狗党の余白に辛辣な「ユルさ」	四方田犬彦 三羽 省吾		
黒田硫黄の擬音と女	長嶋 有		
事実からズレていく真実を追いかけて	高坂希太郎 イン タ ヴェュー 佐分利敏晴聞き手		
ペペはアンダルシアで勝った アニメーション『茄子 アンダルシアの夏』のステージ作り	佐分利敏晴		
アンダルシアの「空」 漫画としての超越論	斎藤 環		
昔あるときあるところに...	野崎 敏		
未来を見つめる意志	瀬々 敬久		
黒田硫黄、あるいは食べることの荒唐無稽	砂		
黒田硫黄・マンガ的快楽	伊藤 剛		
黒田硫黄全著作解題	斎藤 宣彦 横井 周子		
天狗たちのほうへ象とかなしみは何の関係もありません	長山 靖生 越川 道夫		
ナスについて	七尾 藍佳		
黒田硫黄の中の少女マンガ	ヤマダトモコ		
声の行方	中条 省平		
現代まんがのボーダレス的な存在、黒田硫黄	おしぐちたかし		
ラファエル・コランと黒田清輝	河野 克彦		
黒田清輝のオランダ滞在	大川 智子		
第五六回全国大会研究発表要旨 黒田清輝の《樹陰》についての試論	渡部 周子	美術史	155
	島根県芸術文化センター(仮称)準備ニュース		11
	女子美術大学研究紀要		33

黒田征太郎
KAKIBAKA描く 男
黒田征太郎・長友啓
典著

日 経 9.7

創作探訪 黒田征太郎
ライブアート 即興
絵画、矛盾を描く

千葉 淳一

”

10.12

人と書 2 「鈍」の書 真鍋 井蛙 目の眼 317
里田辰秋

第七九回展 受賞者の言葉(絵画部その2) [黒原すみえ]

黒光茂明さん 樹齢
1300年の檜に桜を描く 畠山とし子 新美術新聞 983

受賞者インタビュー
110 キリンアート
アワード2003 K.
K

ギ ャ ラ
リ ー(月 223
刊)

日本陶磁協会岐阜県
支部トークセッション

鯉江良二—現代美術に
 関わった陶の造形家

柴辻 政彦

”

603

ひとこと 小池一子
さん クリエイティ
ブ・ディレクター

朝日夕刊 1.10

現代美術の若手と
「種をまいてきた」
ひと 広重の「名所

江戸百景」の復刻制作 藤川 明子 朝 日 1.13
業に取り組む 小池
香世子さん

追悼 若林奮 大木
とステッキ「普通」 小泉 俊巳 美術手帖 842
の純度

こいずみ道具店 小泉 誠 多摩美術大学研究紀要 17

『小出楯重画集』小出
楯重画集刊行委員会 常盤 茂 新聞美術新 986
刊

第五回全國大會研究發表要旨 小出楯 廣瀬 就久 美術史 155

特集 〈生と死〉と美術
Ⅱ 東洋美術における
身体と芸術の〈生と死〉
小出楯重をめぐって

熊田 司 美術フォーラム 8
ム21

新しき誘惑への使徒
たち 第5回 鴻崎
正武

アート
トップ 190

合田佐和子 見出さ 原田 環 美術手帖 842

イメージ絵柄と質感 高津 充志 筑波大学芸術研究報告 40

春霧か秋水か—土佐 森 仁史 一寸 16
紀行から—[幸徳秋水]

画家の精神風土—幸徳幸衛(幸徳秋水の甥)の生涯 三好 寛佳 美術運動史研究会 ニュース 63

第五六回全国大会研究発表要旨 幸野 嶺の絵画理念「十格」

とフェノロサの美術
真説—その作画と教
育—

特集 生涯で最も重 神路祇 隆 自由美術 2003

ART iT 独断—日本
の若手作家10人 小 白坂 ゆり ART iT 1
金沢健人

ART HEAD QUARTERS 日独共同出版！小金沢健人のド
" 美術手帖 836

映画「パリ・ルーヴ
ル美術館の秘密」の 小暮満寿雄 東京 12.6

“フーガ” 小坂井勢津 美術文化 24

私のベストセレクト ショーン 五島 健司 東京 4.6、13、20、27

マンネリだけど……
「男と女の恋は永遠」

活動半世紀初の画集
漫画家・小島功さん

第105回受賞者インタビュー
上野の森美術館大賞展 小島
純朗

第21回上野の森美術館大賞展 大賞は小島健児氏

宮崎大学所蔵美術品
とその保存状態(一)
石川千佳子 宮崎大学
教育学部

次郎の作品をめぐって

追憶	小島 直子	美術文化	24
巻頭特集 巨匠展 今そして未来2003	小杉小二郎	美術の窓	235

世界画から日本絵画へ8 小杉小二郎 揺るぎない眼差し	功刀 知子	"	243
パリのM・Oへー小 谷博貞の9つの書簡 —1979年	岡部 昌生	札幌大谷 短期大学 紀要	34
特集1 牛腸茂雄 牛腸茂雄の眼差し に潜むもの	佐藤 真	現代の眼	539
写真のスタンダー ド—「牛腸茂雄」と いう記憶	柳本 尚規		
意中の建築 その十 四 遺したかった瀟 洒な獄舎 豊多摩監 獄[後藤慶二]	中村 好文	芸術新潮	643
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 後藤 智	臼木 直子	美術手帖	832
生かされて在る	五島 秀明	美術文化	24
坂東青樹先生を偲ん で	後藤田仁一	"	"
日展にのぞんで 日 展落選の記	小灘 一紀	日 展 ニュース	110
欧文書体「Optima nova」ができるまで ライノタイプ・ライ ブラリ社タイプディ レクター 小林章	高岡 昌生 (嘉瑞工房 代表)	デザインの 現場	128
冬青・小林勇の思い 出によせて		清 春	33
「味と美一発見の 喜び」	竹田 博志		
「父」冬青—小林勇 の手帳	小松美沙子		
連載 清春桜その21 冬青・小林勇と吉井 長三	田村 祥蔵	"	"
文化 海超え届いた 父の絵手紙 文人画 家「冬青」の121枚、 生誕100年で展覧会 [小林勇]	小松美沙子	日 経	4.2
たてかけられた、風 景7~13、15~18	小林 紀晴	百 科 (月刊)	483~ 489、 491~494
新作の背景 小林敬 生《白い朝 又は 早 暁—03・賛歌A》	石川 健次	毎日夕刊	6.6
小林健二 ひかりさ え眠る夜に 夢の 〈光〉が発光するとき	松山 龍雄	版画芸術	121
画家たちの美術史 小林健二 ひかりさ え眠る夜に	鷹見 明彦	美術手帖	841
インタビュー 小林 耕平	斎藤 一典 聞き手	e t c .	53
小林古徑の「旅する」 絵	東 俊郎	HILL WIND	1
画家の美術史 小林 孝亘 木漏れ日のむ こう側	鷹見 明彦	美術手帖	832

巻頭特集 小林孝亘 が歩んだ15年 2002—1988		美術の窓	236
小林孝亘自作を語 る			
編集長対談 小林 孝亘×一井建二 普遍性を求めて			
小林孝亘の素顔に 迫る!! 50の質 問			
第七九回展 受賞者 の言葉(絵画部その 1)[小林俊明]		春 陽	84
この人 宮沢賢治賞 を受賞した画家 小 林敏也さん		東 京	8.23
青春ブレイバック 小林ドンゲ 東京都 江東区亀戸・竹中外 科	林 茂樹	新美術新 聞	1010
視点 いまあえて吐 き出さなければなら ないもの	小林 英樹	美術の窓	241
こころ 現代人の心 と色彩 太陽光の片 鱗は都会の中にも	"	産 経	12.20
文化 消えゆく野生 植物を描く 画家仲 間が連携、絶滅危惧 種の図譜を作成中	小林 英成	日 経	3.12
画家たちの美術史 小林正人 絵画から 星空までの距離	鷹見 明彦	美術手帖	842
特集 〈生と死〉と美 術 IV美術館と〈生 と死〉「死よりも生 を」と美術館は叫べ るか クリスチャン ・ボルタンスキー と小林正人	保坂健二郎	美 術 フォー ム21	8
文化 英国に通じた 更紗の粋 江戸の伝 統工芸承へ世界に 視野	小林 元文	日 経	2.26
支離滅裂	小林 康男	美術文化	24
中谷先生のこと[中 谷泰]	小林 裕児	春 陽	84
巻頭特集 画材と技 法 実力派人気作家 21名にきく あなた は油絵派? アクリル 派?	"	美術の窓	242
尾道美術紀行2 小 林和作《日照雨》	下山 肇	尾道大学 芸術文化 学部紀要	2
小林和作画伯と三原 支部	中野 多里	陶 説	599
駒井哲郎先生	渡辺 達正	春 陽	84
版画とその値段5~ 8 駒井哲郎—その 人と芸術1~4	秋山 修	美術の窓	235~238

岩手県立美術館所蔵 五味清吉「新天新地」 修復報告	後藤 八郎	修復研究 所報告	16
受賞者インタビュー 108 トーキョーワ ンダーウォール公募 2003 小柳仁志		ギ ャ ラ リ ー(月 刊)	221
トーキョーワンダー ウォール公募2003大 賞に小柳仁志氏	(美)	新美術新 聞	1002
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 小柳 裕	古川 誠	美術手帖	832
資料紹介 小山正太 郎資料(三)一遊峡録 艸稿 庚申夏日記一 小山正太郎 記一	金子 一夫	五浦論叢	10
酒器に想う	小山 岑一	陶 説	609
近代陶芸の先駆者十 選 1~10	"	日 経	5, 15, 16, 19, 20, 22, 23, 26~29
特集 唐津 日本の やきものルネサンス Ⅲ古唐津に憑かれた 男たち 小山富士夫	編 集 部	芸術新潮	640
陶磁学者・小山富士 夫の眼	弓場 紀知	陶 説	602
陶芸家・小山富士夫 の技	森 孝一	"	"
批評家の作陶	小山富士夫	"	"
小山富士夫特集 一 柱の線香一小山富士 夫先生を偲んで	伊藤郁太郎	"	"
小山富士夫における 人間の研究	白井 史朗	"	"
一升瓶の密造酒[小 山富士夫]	吉良 文男	"	"
小山さんと曜変天目 [小山富士夫]	山崎 一雄	"	"
小山富士夫先生の思 い出	清水 卯一	"	"
「小山先生」[小山富 士夫]	吉田 喜彦	"	"
小山富士夫先生が残 したものの	西端 大備	"	"
新発見の小山書簡 大原孫三郎の主治医 宛 浜田庄司を紹介 する[小山富士夫]	小野 公久	"	"
「含羞」一小山富士 夫先生一	関根 秀吉	"	606
夏の日に蘇った美 濃・花ノ木窯の記憶 小山富士夫が残した 未発表の作陶群	林 敬博	目 の 眼	321
画家たちの絵画史 近藤竜男	鷹見 明彦	美術手帖	831
アーティストイニシ アティブSOW活 動 報告一アーティスト の視点からの発言	近藤 昌美 茂井 健司 丹治 嘉彦	東京造形 大学研究 報	4

(サ)

THE PERSON NOW 齋正機	齋 正機 談	ア ー ト ト ッ プ	191
第38回昭和会展開催 最高賞には齋正機氏	(林)	新美術新 聞	987
神宮名品解説 神宮 美術館所蔵奉納美術 品 彫塑「蠟型吹分 花器『溶融』」[齊 藤 明]	(深田)	瑞 垣	195
私の父、斎藤義重	斎藤 史門	芸術評論	別冊
芸苑雄事記132 齋 藤真成画賛	瀧 悌三	美術の窓	242
第七九回展 受賞者 の言葉(絵画部その 2)[齋藤澄人]		春 陽	84
秋の喪章846人・5 団体に 劇画家さい とうたかをさん		東 京	11.2
土曜訪問 「ゴルゴ 13」連載35周年を迎 える 劇画家さいと う・たかをさん	久間木 聡	東京夕刊	11.15
人間発見 どんとい てまえ1~5	さいとう・ たかを 坂口 祐一 聞き手	日経夕刊	12.1~5
一画業兵の従軍記 画家・斎藤千代夫の 戦場	佐野 賢治	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	101
特集 生涯で最も重 要な出会い 生涯で 最も重要な出会いはい かか	斎藤 昇	自由美術	2003
わたしの好きなもの 公園墓地	斎藤美奈子	新美術新 聞	985
「傾く小屋—美術家 たちの証言 since 9. 11」展 《晒野団 地入居案内》等	齋藤 芽生	セ ソ ン ア ー ト プ ロ グ ラ ム・ ジャー ナル	10
巻頭対談 齋藤芽生 ×都築響一 日本裏 情景考	編 集 部 構成	美術手帖	832
アートスクール時代 とその後の仕事 齋 藤芽生 美術家	齋藤 芽生	"	837
斎藤義重と青森	黒岩 恭介	A — ism	7
斎藤義重および「斎 藤義重と教育展」関 連年譜(学校法人中 延学園との関係を中心)		芸術評論	別冊
「斎藤義重と教育展」 レポート	市野 泰通 中川 猛	"	"
斎藤義重とアーカイ ブ あいさつにかえ て	酒井 忠康	"	"

座談会 美術の教育現場における斎藤義重	飯塚 八朗、 守屋 行彬、 千石 英世、 金 昌永、 バネ ラー 中川 猛 進行	" "	虚実皮膜 坂巻正美 の場合	L u r e	70	
座談会配布資料 新しい美術教育の座標	斎藤 義重	" "	木版画—ダイナミズムの系譜 坂本恭子 思い、広がり、現れる風景	坂本 恭子	版画芸術 119	
私の父、斎藤義重	斎藤 史門	" "	アクリリックス・ワールド16 阪本ト クロウ	石井 芳征	美術手帖 836	
教育現場での斎藤義重	飯塚 八朗	" "	聞き書き27 相良人 形七代 相良隆さん	陶 磁 館 ニュース	49	
斎藤義重評伝メモ	針生 一郎	" "	真南風	崎原 永広	明星大学 研究紀要	11
かえってきた斎藤義重 ひとつの再現展示	千葉 成夫	" "	桜田知文 《早春の 景》、《泉の景》	桜田 知文	尾道大学 芸術文化 学部紀要	2
斎藤義重のカメラ・ワーク 一九六〇年代撮影のアメリカ旅行記録を見て	中村 英樹	" "	特集 生涯で最も重要 な出会い 少年	佐々木厚子	自由美術	2003
ある夏の黒い衝撃 [斎藤義重]	井田 彪	" "	0号への誘いPart16 佐々木裕而	佐々木裕而	新美術新聞	996
斎藤義重という方向	宇留野隆雄	" "	September of 11th 女の館	佐々木 豊	明星大学 研究紀要	11
斎藤先生の印象	狩野 邦彦	" "	文化 「風の又三郎」 がいた風景 賢治の 世界を写真に、東北 でロケ撮影	佐々木隆二	日 経	8.25
第12回芸術評論募集 入選作発表 【佳作】 失くしたものの在処 をめぐって 斎藤義 重、一九七三年、再 制作	土屋 誠一	美術手帖 834	新春特集2002回顧と 2003展望 女性の視 点から 第三部アン ケート 美術家はこ う見る	雨宮 敬子 池口 史子 岩田 系子 内田 あぐり 上條 陽子 笹戸 津子 志村 節子 三谷 青子	新美術新聞	980
斎藤義重を問い直す 千葉市美術館でシン ポジウム 美術を超 える何か	三田 晴夫	毎日夕刊 6.13	佐々布篋石小考	村田 栄子	熊本県立 美術館研 究紀要	9
注目する新人作家12 人 斎藤里香		版画芸術 120	新収蔵の佐竹永海筆 二作品について	鈴木 泉	資料館だ より	39
ローランサンと私 下 繊細で強き「守 る女」	柴門 ふみ	産 経 8.21	「ベニヤによるリト グラフ」	佐竹 邦子	多摩美術 大学研究 紀要	17
わたしの好きなもの 植木	坂井 淑恵	新美術新聞 982	版画は、いま 版画 マーケットの現況と 将来 証言・版画 マーケット FROM ARTISTS 3 佐竹 邦子さん アクショ ン!	岡 部 構成	版画芸術	120
血と死の諧謔—見世 物断片記	坂入 尚文	あ い だ 87	『プラハ』佐藤明著		日 経	4.27
「失業の世にあって、 縦横無尽に生きる 才能」『最後の浮世 絵師—河鍋暁斎と 反骨の美学』及川茂 著	榊原 晏	A X I S 102	佐藤明写真集「プラ ハ」	(前)	読 売	5.18
「ものづくりの道す じを知る」『ゼムク リップから技術の世 界が見える』ヘン リー・ペトロスキー 著、忠平美幸訳	"	" 106	顔 文化財撮影の指 導でアフガン入りす る 佐藤一郎さん	滝田 恭子	"	2.4
“心と地球”へのメッ セージ 坂口登	坂口 登、 竹村 健一 対談	ア ー ト トップ 191	マイナスをプラスに する デザイン nendo 佐藤大		デザインの 現場	127
画家たちの美術史 坂口寛敏 循環変化 する世界につなぐ ドゥローイング	鷹見 明彦	美術手帖 836	アートスクール時代 とその後の仕事 佐 藤大 建築家	佐藤 大	美術手帖	837
巻頭特集 巨匠展 今そして未来2003	坂田 哲也	美術の窓 235	インタビュー 佐藤 克久	斎藤 一典 聞き手	e t c .	48

青春プレイバック 佐藤園夫 東京都国立市・一橋大学構内	高岡 忠雄	新美術新聞	982	近況 佐藤ヒデキさん(写真家) 韓国人ボクサーの軌跡	岸 俊光	毎日夕刊	4.18
東京市政調査会館及東京市公会堂の設計変更に関する考察 佐藤功一の「建築—都市」観に関する研究1	米山 勇	日本建築学会計画系論文集	566	フェイス21世紀58 佐藤ひろみ	常盤 茂	新美術新聞	1010
自分と出会う カラカイの精神と愛語	サトウサンペイ	朝日夕刊	3.17	特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 佐藤万絵子	白坂 ゆり	美術手帖	832
佐藤潤四郎と日本近代工芸(一)〜工人社および各務鑑三との関わりから	鈴木 誠一	郡山市立美術館研究紀要	3	巻頭特集 女性の美学 佐藤泰生が選ぶ女性美ベスト3		美術の窓	238
明治の絵葉書 其の6 佐藤生果のオール・ヌーボー	生田 誠	目の眼	321	コレクションの眼 佐藤由美子		版画芸術	121
世界画から日本絵画へ6 佐藤泰生 透徹した詩情	功刀 知子	美術の窓	241	ゼロゼロエボリレーション5 佐藤好彦 ロック魂彫刻化作戦		美術手帖	841
特集 本をつくりたい!!! SONIC-BANG CO. 編集や営業もデザインの一環[佐藤孝洋]	大城 譲司	デザインの現場	130	この人 日本と中国の漫画交流に尽力する 里中満智子さん		東京	3.5
'02毎日デザイン賞 日常製品の成立、端的に 佐藤卓氏「展覧会『デザインの解剖』」	柏木 博	毎日	2.12	第28回木村伊兵衛写真賞決まる オノデラユキさん、佐内正史氏	(真)	新美術新聞	989
原点振り返る佐藤卓さん、深澤直人さん 毎日デザイン賞の表彰式		毎日夕刊	4.24	Aはアートの、Bはブックの…佐内正史『Chair Album』	佐内 正史	美術手帖	834
宮城県立こども病院に佐藤忠良氏のレリーフ「おおきなかぶ」が完成	(千)	新美術新聞	1008	アーティストクロウズアップ98 佐野ぬい、上野 憲男、カジ・ギヤスディン 絵画が生まれる瞬間と自然が感得される瞬間		ギャラリー(月刊)	213
風韻 手慣れて雄弁 情けないね 彫刻家 佐藤忠良さん	田中 三蔵 インタビュー	朝日夕刊	5.2	第26回損保ジャパン東郷青児美術館大賞 佐野ぬいさんに		新美術新聞	989
『佐藤忠良彫刻写真集 全野外作品』藤田観龍著		産 経	9.27	青春プレイバック 佐野ぬい 神奈川県横浜市横浜港大さん橋	鳥村 千代	"	993
佐藤忠良彫刻写真集 藤田観龍著		日 経	7.20	受賞者インタビュー 109 青垣2001年日本画展 佐野浩史		ギャラリー(月刊)	222
佐藤朝山と宮彫一明治大正の伝統木彫の「近代」	増渕 鏡子	鹿島美術財団年報別冊	20		(シ)		
文化 巨大カメラ撮る乗る眠る 家型をけん引、寝泊まりしながら全国行脚	佐藤 時啓	日 経	7.23	第107回受賞者インタビュー 群馬青年ビエンナーレ'03 椎名勇仁		"	220
特集 本をつくりたい!!! 佐藤直樹 ASYL DESIGN 「デザイン」のあり方を考え直す場所	大城 譲司	デザインの現場	130	文化 火山が窯 溶岩で焼き物 キラウエアで第一号、北海道を主な拠点に	椎名 勇仁	日 経	12.9
ひと 写真集「百年の愚行」でNYADC銀賞受賞 佐藤直樹さん カッコよく整えるより届くものをつくりたい	中島みゆき	毎日	5.10	特集 生涯で最も重要な出会い 生涯で最も重要な出会い 気鋭新鋭 塩田千春さん(美術家) 毛糸や泥を用い、「記憶」たどる	塩井 裕子	自由美術	2003
				第七九回展 受賞者の言葉(版画部)[塩田恵]	(清)	読売夕刊	10.10
						春 陽	84

風景も皮膚一過ぎし日々ー	嶋 剛	国立国際美術館月報	127	特集1 アーティストとミュージアムの、新しい関係? 「2000年後の冒険ミュージアム」をドキュメント[柴川敏之]	ドーム	71
《SHONAN 2》2001 嶋剛(1943~)	中井 康之	" "	"	柴田是真作「温室盆栽 蒔絵額」についてー第1回内国勸業博覧会の評価を巡ってー	間中 恵子	女子美術大学研究紀要 33
アーティストイニシアティブSOW活動報告ーアーティストの視点からの発言	近藤 昌美 茂井 健司 丹治 嘉彦	東京造形大学研究報	4	巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派? アクリル派?	柴田 俊	美術の窓 242
注目する新人作家12人 重野克明		版画芸術	120	「食べた後には新鮮な目線になる、おやつのような本」『毎月新聞』佐藤雅彦著	柴田 文江	A X I S 104
新・表現考 メディア時代の版画の手わざ 銅版画対談 重野克明×鷹見明彦 表現領域を縮小する方法	岡 部 構成	" "	122	0号への誘いPart13 菰澤卿	菰澤 卿	新美術新聞 988
入り口または出口、またはずっと途中	重松あゆみ	国立国際美術館月報	132	世界画から日本絵画へ? 菰澤卿 心のリアリズム	功刀 知子	美術の窓 242
ART iT独断ー日本の若手作家10人 篠田太郎	白坂 ゆり	ART iT	1	近代大阪における女性画家の研究ー島成園と「女四人の会」の画家を中心にー	小川 知子	鹿島美術財団年報別冊 20
クレマスター・クラブ第3夜 狂気の解放、思考の停止	篠田 太郎	美術手帖	829	島成園の自画像について	伊藤たまき	芸 叢 19
篠田桃江 自分流: 掟破りの作法	[M]	" "	834	島木さんのこと[島木津]	大西 弘之	美術文化 24
風韻 墨の黒には飽きません 美術家篠田桃紅さん	田中 三蔵 イン タ ビュー	朝日夕刊	6.20	出会う器	島田 敦夫	明星大学研究紀要 11
創作探訪 水墨画家篠田桃紅 卒寿の模索	浜部 貴司	日 経	4.6	青春ブレイバック 嶋田しづ パリ市ノージャン・シュル・マルヌ アトリエ・メゾン・ド・アルテスト	西澤 美子	新美術新聞 999
日影 眩の360°のニューヨーク102アメリカン・ドリームのゆくえー1 篠原有司男、44年目のボクシングペインティング	日影 眩	ギャラリー(月刊)	215	巻頭特集 巨匠展 今そして未来2003	島田 章三	美術の窓 235
第102回受賞者インタビュー 第6回小磯良平大賞展 四宮金一		" "	214	巻頭特集 女性の美学 島田章三が選ぶ女性美ベスト3	"	238
著者に会いたい 『長谷寺』篠山紀信さん 古刹の日々寺育ちの目で	西岡 一正 朝	日	4.6	第七九回展 受賞者の言葉(版画部)[島田節子]	春 陽	84
自著を語る 『長谷寺 篠山紀信』篠山紀信さん(写真家)	篠山 紀信	東京夕刊	4.3	島津和運さん、如来寺新客殿に格天井絵を完成	(常)	新美術新聞 1011
文化往来 篠山紀信、長谷寺の「優美」を活写		日 経	3.31	単眼複眼 映像の可能性示した村上と島袋 制御された官能と予測できない日常[島袋道浩]	大西 若人	朝日夕刊 3.22
篠山紀信さんが長谷寺を写す 伝わる濃密な空気		毎日夕刊	3.6	小山富士夫先生の思い出	清水 卯一 陶	説 602
篠山紀信写真集「Tokyo Addict」	(前)	読 売	1.12	江戸博蔵めぐり 松竹座にて 清水正博 1932年	江里口友子	読 売 10.24
著者来店 写真集「長谷寺」篠山紀信さん	(前)	" "	4.27	THE PERSON NOW 清水豊	清水 豊	アートトップ 189

新春特集2002回顧と2003展望 女性の視点から 第三部アンケート 美術家はこう見る	雨宮 敬子 池口 史子 岩田 糸子 内田 あぐり 上條 陽子 笹戸 津子 志村 節子 三谷 青子	新美術新聞	980	作家訪問314 陶芸家 城田鎮さん	編集部	目の眼	317
古典とは、 風韻 散りぎわを懸命に生きる 染織家志村ふくみさん	志村ふくみ	学 鑑	100—3	第20回記念現代日本彫刻展 大賞は新宮晋氏の「時のシルエット」に	(美)	新美術新聞	1006
特集 「近代」と「美術」の外側 観山と能[下村観山]	藤生 京子 イン タ ビュー	朝日夕刊	8. 8	ART HEAD QUARTERS EHON HEAD 地球は命の維持装置 新宮晋『くも』と「ウインドキャラバン」	中川 素子	美術手帖	834
下村観山の滞英時代について—《タイオゼニス》考	清水 玲子	近代画説	12	こと場 新宮晋さん 美術家		朝日夕刊	7. 10
今週の1点 富士 [下村観山]	八柳 サエ	横浜美術館研究紀要	5	ピエール・レスタニ氏を悼む 鋭く情熱的 美術評論の第一人者	新宮 晋 産 経		7. 26
版画のインパクト 5人の作家の表現から 霜山直良		毎日	1. 15	ひと 第20回現代日本彫刻展大賞の造形作家 新宮晋さん	米本 浩二	毎日	10. 13
注目する新人作家12人 集治千晶		版画芸術	122	新宮晋さん 大自然に溶け込む彫刻 ウインドキャラバンの写真集刊行		毎日夕刊	4. 8
『わび』十文字美信著		"	120	コラム：アートの境界線	辛酸なめ子	ART iT	1
座談会「生涯で最も重要な出会い」	阿部 早苗、 國定 正彦、 榎本 ひろお、 庄司 多津男、 田中シンタロウ 醍醐 イサム、 ミズテツオ司会	芸術新潮	638	街日和 みんなで迷えばこわくない	"	朝日夕刊	7. 12
大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2003 越後松之山森の学校 3組のアーティストに聞くメイキング・オブ「キョロロ」 庄野泰子		自由美術	2003	Artist Interview63 進藤恵子 浮遊するリアリティ	石田 純子	デザインの現場	130
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 1 庄野宗之助	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 伊藤 由美 渡辺 郁夫	美術手帖	839	美術百科「この人のこの一点」の巻 神中糸子 《海岸風景》	植野比佐見	和歌山県立近代美術館 ニュース	34・35
白川昌生氏誌上インタビュー 春の常設展テーマコーナーから	花田 伸一 聞き手	美術の森	107	「希望への感動シリーズ」神保秀光展「現在107回更新中	(畠)	新美術新聞	1011
特集 日本伝統工芸展五〇年 私と日本伝統工芸展 日本伝統工芸展をおもう	白幡 明	文化財(月刊)	481	文化 絵心伝え摺り師70年 東京の下町に工房、数々の美術木版画手がける	新味 三郎	日 経	11. 14
エッセイ Aはアートの、Bはブックの……	しりあがり寿	美術手帖	833	(ス)			
文化 左右の関係秩序を左右 食膳の配置・狛犬の向き…意味を探り続ける	城田孝一郎	日 経	9. 1	渡辺日記(続)	吹田 草牧	視 る	404
				特集 菅木志雄と室井俊二 座談会・現代アートと場の関係	菅 木志雄 室井 俊二	ギャラリー(月刊)	218
				《PROTRUSION279》1981年 菅木志雄	中井 康之	国立国際美術館月報	134
				94歳の彫刻展	須賀野チイ	東京	3. 29
				フェイス21世紀51 菅原さちよ	常盤 茂	新美術新聞	991
				特集 ニューヨーク・ニューアート最前線 杉浦邦恵インタビュー 「影の芸術家」による「芸術家の影」	梅津 元 イン タ ビュー・文	美術手帖	829
				日中友好水墨画交流展 北京と東京で開催	杉谷 隆志	新美術新聞	982

特集 絵画輪廻転生 杉戸洋	児島やよい	美術手帖	832	総力レビュー2002 文学と批評 緩い微笑 対抗するために	鈴木 隆之	"	"
東京美術学校西洋画 科卒業制作作品・自画 像の技法材料、保存 修復に関する基礎的 研究1 杉原基三郎 (池上)	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 伊藤 由美 渡辺 郁夫	東京芸術 大学美術 学部紀要	39	現代日本画の最高峰 奥田元宋氏を偲ぶ 包容力あるお人柄と 繊細な優しさ	鈴木 竹柏	新美術新 聞	987
ひと 生涯を振り返 る作品展を開く97歳 の現役洋画家 杉本 健吉さん	佐藤 雄二	朝 日	3. 16	あとがきのあと 不安 な若者、日本と重 ねる「モスクワ地 下鉄の空気」[鈴木常 浩]		日 経	6. 1
対談：杉本博司×都 築響一 500円と500 万円の間に一作品 のお値段はどうやって 決まるか？	編 集 部 構 成	ART iT	1	版画のインパクト 5人の作家の表現か ら 鈴木吐志哉		版画芸術	122
杉本博司 歴史を超 えるスタンダードと 想像力	竹内万里子 イン・タ ビュー・文	STUDIO VOICE	336	図書と百年—鈴木派 の誕生(上)[鈴木百 年]	松尾 芳樹	京都市立 芸術大学 芸術資料 館年報	12
直島・家プロジェクト 護王神社	杉本 博司 談	直島通信	2003. 1	工房を訪ねて 素材 とかたちを超える塗 物香合の楽しさ 京 塗 鈴木表朔氏		淡 交	704
受賞者インタビュー 111 あさご芸術の 森大賞展 杉山雅之		ギャラ リー(月 刊)	224	マンガの居場所 す ぐに棚から消える新 刊[鈴木みそ]	夏目房之介	毎日夕刊	2. 27
瀬戸内海・直島への 旅で	杉山留美子	札幌大谷 短期大学 紀要	34	伝統をかるやかに表 現する女性釜師 十 五代鈴木盛久	編 集 部	目の眼	326
Voice's Art Space VEGAS NEW SCHOOL ベガス 視察	寿司・町田 骸骨	STUDIO VOICE	334	第七九回展 受賞者 の言葉(版画部)[鈴 木康]		春 陽	84
注目する新人作家12 人 鈴木敦子		版画芸術	120	第七九回展 受賞者 の言葉(絵画部その 2)[鈴木善晴]		" "	
特集 日本伝統工芸 展五〇年 私と日本 伝統工芸展 なるが ままに	鈴木 蔵	文化財 (月刊)	481	『hysteric Eight SUZUKI RISAKU』 鈴木理策著		芸術新潮	640
美術百科「この人の この一点」の巻 鈴 木治 《馬》	浜田 拓志	和歌山県 立近代美 術館 ニュース	34・35	対談 ヴォルフガン グ・ライプ×鈴木理 策 時を超えるもの を見つめて	編 集 部 構 成	美術手帖	833
特集 ブックデザイ ン批判 ブックデザ インの風景化と言語 化をめくって	戸田ツトム 鈴木 一誌	ユリイカ	482	夢の今を信じる 鈴 木理策の「SAKURA 吉野桜」	前波 依理	" "	
第七九回展 受賞者 の言葉(絵画部その 2)[鈴木久美子]		春 陽	84	虚実皮膜 鈴木涼子 の場合		L u r e	70
エッセイ Aはアート の、Bはブックの ……[スズキコージ]	星野 智幸	美術手帖	835	人文研の“たからも の”よみがえった 《縄文記号》—須田剋 太の二点の絵画	高階絵里加	人 文	50
身体の未来観とその 表現	鈴木 淳子	女子美術 大学研究 紀要	33	TRAVEL FREAK 須田誠	林 文浩	デザインの 現場	130
巻頭座談会 「有名 する」ってなに？ 吉見俊哉・石田佐恵 子・西研・鈴木隆之 (司会)	編 集 部 文	木野評論	34	わたしの好きなもの なんてことない風景	須田 悦弘	新美術新 聞	980
戦争と思想の問題 3 死と平和のリアリ ティ 藤原新也+鈴 木隆之		" "		特集 黒田硫黄 黒 田硫黄、あるいは食 べることの荒唐無稽	砂	ユリイカ	481
				特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 鷺見 鷹	井上 昇治	美術手帖	832

日本芸術院賞決まる 恩賜賞に澄川喜一氏	(美)	新美術新聞	989
巻頭特集 画材と技法 ミクストメディア派 混合技法の選択	諏訪 敦 松嶋 励路 取材・文	美術の窓	242
特集 中国幻想奇譚 諏訪緑とわたなべまさこ	小谷野 敦	ユリイカ	471
特集 中国幻想奇譚 諸葛孔明の食生活	諏訪 緑	" "	" "
(セ)			
清宮質文君の追想	北岡 文雄	春 陽	84
特集ワイド1 この 国はどこへ行こうと しているのか いま は良寛さんと向き合 う日々 彫刻家関頭 亭さん	大槻 英二	毎日夕刊	12. 17
関長造「仔犬」	山本 成子	PATIO	16
井上長三郎展 丸 テーブルの壺とグラス	関 正和	新美術新聞	984
【意見交換から】(井 上長三郎の政治と美術)	"	美術運動 史研究会 ニュース	60
現代工芸作家シリーズ 魔術師たちの贈り 物 第4回 関島 寿子	富田 康子	アート トップ	189
関野準一郎と今純 三〜銅版画と青森を 結ぶ糸〜	菅野 晶	A — ism	8
特集 日本伝統工芸 展五〇年 私と日本 伝統工芸展 日本伝 統工芸展の人形につ いて	芹川 英子	文化財 (月刊)	481
月千古に輝く一大徳 寺聚光院の名宝 「生」と「死」の茶室— 聚光院伊東別院襖絵	千住 博 談	アート トップ	194
話題呼ぶ千住博さん の仕事 六本木ヒル ズに“滝の間”		新美術新聞	994
世界画から日本絵画 へ2 千住博 神へ の供物	切刀 知子	美術の窓	237
こと場 千住博さん 画家		朝日夕刊	4. 24
六本木ヒルズに荘厳 な“滝” 日本画家 千住博さん作の巨大壁 画「グランドハイ アット東京」神殿前 室		産 経	5. 1
絵の心 HEART OF THE PAINT- INGS 千住博著		日 経	9. 28

(ソ)			
特集 第50回ヴェネ ツィア・ビエンナー レ完全ドキュメント 日本館代表 曾根裕 ／小谷元彦	能勢 陽子	美術手帖	839
文化往来 ベネチア の国際美術展に曾 根・小谷作品[曾根 裕]		日 経	3. 17
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 曾谷 朝絵	白坂 ゆり	美術手帖	832
(タ)			
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 タ イ・テツヤ	古川 誠	" "	" "
《荒野の用心棒》1965 年 タイガー立石 (立石紘一) (1941~ 1998)	安来 正博	国立国際 美術館月 報	125
座談会「生涯で最も 重要な出会い」	阿部 早苗、 國定 正彦、 榎本 ひろ お、 庄司 多津 男、 田中シンタ ロウ、 醍醐 イサ ム、 ミズテツオ 司会	自由美術	2003
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 高幹 雄	トラスト・ ハワード	美術手帖	832
特別対談 高木正勝 ×小山田圭吾(コー ネリアス)	山下 紫陽、 編集 部 進行・構成	"	838
高砂淳二写真集 「night rainbow祝 福 の虹」	(酩)	読 売	7. 6
高島北海著『写山要 訣』にみる近代絵画 観	井土 誠	下関市立 美術館研 究紀要	9
高田博厚の彫刻につ いて—高村光太郎の 批評をもとに—	堀切 正人	静岡県立 美術館紀 要	18
高田力蔵先生のこと	今關 驚人	春 陽	84
日展にのぞんで 「むずかしいもんで す」	高梨 芳実	日展 ニュース	110
工房を訪ねて いの ちを頂いた木や竹を とことん生かす 京 竹器 高野宗陵師		淡 交	704
第7回手塚治虫文化 賞 大賞 黄色い本 高野文子著		朝 日	5. 27
津軽の孤高の陶芸家 高橋一智	諸山 正則	陶 説	598

人間国宝・刀匠高橋貞次の鍛錬場の資料	今村 賢司	刀剣美術	552	層としての国際感覚	高嶺 格	国立国際美術館月報	126
特集 生涯で最も重要な出会い 自由美術との出会い	高橋 秀造	自由美術	2003	高村光太郎『印象主義の思想と藝術』に関する一考察	六人部昭典	大手前大学人文科学部論集	3
まほろば佐久の美の殿堂[佐久市立近代美術館]	高橋 節郎	新美術新聞	993	高田博厚の彫刻について—高村光太郎の批評をもとに—	堀切 正人	静岡県立美術館紀要	18
日本の鉄道—パブリックアート大賞1回受賞者決まる 大臣賞に高橋節郎氏	(林)	"	1007	チャイム 高村光太郎		産 経	9.25
中特集 安曇野高橋節郎記念美術館		美術の窓	240	インタビュー 高柳恵里	斎藤 一典 聞き手	e t c.	50
節郎翁の証跡	米倉 守			新・作家への道標101 高柳恵里・ありふれたものの中に在る「何か」を見つめて「つくる」というよりも、感じたものをどう留められるか。そこに、リアリティが生まれる。		ギャラリー(月刊)	218
高橋節郎の芸術	武田 厚			行けども。	高柳 恵里	国立国際美術館月報	129
新・作家への道標98 高橋久雄・来るべき未来に繋いでいくために		ギャラリー(月刊)	215	《置物セット》2002年 高柳恵理(1962~)	中西 博之	"	"
〈色絵磁器〉色絵磁器線象嵌方法と上絵金銀彩方法の実験	高橋 紘	明星大学研究紀要	11	康耀堂美術館に高山辰雄さんの彫刻作品おめみえ	(常)	新美術新聞	998
特集 特殊印刷・加工ガイドブック2003 工場へ行こう!! 特別編19 高橋正実 工場から広がるデザインの可能性		デザインの現場	129	2003年北京国際美術ビエンナーレ開幕 特別企画として高山辰雄展を開催	浅木 正勝	"	1005
画家原田直次郎をめぐる出会い 高橋由一・森嶋外(その二)	福岡 直子	ことひら	58	所蔵作品紹介 野辺高山辰雄	森 芳功	徳島県立近代美術館ニュース	44
金刀比羅宮蔵 高橋由一「琴平山遠望」修理報告	宮崎 安章	修復研究所報告	16	風韻 未完が人間の充実かな 日本画家高山辰雄さん	田中 三蔵 インタビュー	朝日夕刊	12.19
金刀比羅宮蔵 高橋由一「燧具」修理報告	村松 裕美	"	"	創作探訪 高山辰雄のアトリエ 原始の自然感知する	吉田 俊宏	日 経	1.5
金刀比羅宮と高橋由一	山本 健	"	"	第41回ニューヨーク映画祭 公式ポスターに滝純一氏の作品		新美術新聞	1005
靖國神社蔵 高橋由一「甲冑図」修理報告	渡辺 郁夫	"	"	フェイス21世紀57 瀧川祐三	常盤 茂	"	1007
高橋由一作品 試料片調査結果	宮田 順一	"	"	現代工芸作家シリーズ 魔術師たちの贈り物 第6回 滝口和男	富田 康子	アートトップ	191
啓蒙家としての高橋由一	歌田 眞介	"	"	せとや職人よもやま話 9、10	瀧田 項一	陶 説	599、600
再考「影の絵画」あるいは「ルネ・マグリットの余白」の余白に 高松次郎メモ9	石川 翠 構 造	14		特集 慈愛の残欠断片に宿るやすらぎの美 空を見つめる	瀧本 光國	目の眼	317
高光一生1974~2001年作品の解説	高光 一生	金沢学院大学紀要	1	論点 魅力生かした農村景観に	田口 敦子	読 売	8.20
ART iT独断—日本の若手作家10人 高嶺格	原 久子	ART iT	1	陶芸家竹内彰の人と作品	外館 和子	陶 説	608
インタビュー 高嶺格	斎藤 一典 聞き手	e t c.	49				

竹内栖鳳とポール・クローデルの交流について—王舎城美術博物館所蔵関連資料の検討を中心に—	福永 知代	鹿島美術財団年報別冊	20	司馬遼太郎を歩く 喧嘩草雲上 豪傑絵師の涙[田崎草雲]	荒井 魏	毎 日	4.6
『生きられた家 経験と象徴』多木浩二著	竹内 昌義 (みかんぐみ)	A X I S	103	中特集 田澤茂 スペシャル対談 田澤茂×武田厚		美術の窓	236
世界のなかに放り出された書—日本近・現代書史点描18 戦後前衛書の到達点 武士桑風「作品」	石川 九楊	墨	160	私がいる時間 田島征三さんの午後4:00	田島 征三 佐藤実千秋 聞き手	朝 日	10.12
京都近代の都市景観と建築家・武田五一—都市景観デザイン再考—	清瀬みさを	文化学年報(同志社大学)	52	第七九回展 受賞者の言葉(絵画部その1)[館寿弥]		春 陽	84
森の中	竹田 光幸	多摩美術大学研究紀要	17	注目する新人作家12人 立川公子		版画芸術	120
聖路加国際病院における『木と語らい』展	"	"	"	コレクションの眼 立花文穂		"	121
竹中浩一李朝・白磁に清楚と潤いをもとめた静かな現代陶芸	柴辻 政彦	陶 説	607	特集 詩集のつくり方 立原道造の自装詩集 未刊詩集『優しき歌』が遺したメッセージ	宮本 則子	ユリイカ	475
仏像でファイン・アートに挑んだ彫刻家(1)—竹内久—	横溝 廣子	ART LIBRARY	4	一本イットク?	TATTAKA	e t c.	51~57
「ジャパニーズデザインに流れる『茶』の精神」『茶の本』岡倉天心著、浅野晃訳	竹原あき子	A X I S	105	画家たちの美術史 辰野登恵子 絵画と色彩のアトリウムにて	鷹見 明彦	美術手帖	833
竹久夢二と大正期の美術	中村 美幸	下関市立美術館研究紀要	9	充実したコレクション[佐久市立近代美術館]	建畠 覚造	新美術新聞	993
雑誌探索 (1)昭和初期の「若草」の一齣—竹久夢二・片岡鉄兵・南部修太郎・岡本潤・小野十三郎・伊藤整・黒島伝治・宮地嘉六・草野心平・川崎長太郎ら—	紅野 敏郎	資料と研究	8	創作探訪 彫刻家建畠覚造 84歳、情緒に流されず前へ	宝玉 正彦	日 経	9.28
竹久夢二の子ども絵について—庇護の対象としての子ども・その受容過程を巡って—	馬場美由紀	美学芸術学	18	近況 建畠覚造さん(彫刻家) 空間を波打たせる会心作	三田 晴夫	毎日夕刊	6.20
竹久夢二展あれこれ	菊地 明子	美術運動史研究会ニュース	62	連載「内科だった画廊だった—」ふたたび(内科画廊—60年代の前衛展)開催まで17 田名網敬一さん	宮田 有香	あいだ	87
夢二「野球ロマン」美人画家もう一つの「顔」早慶戦に情熱…選手宅で写生	丸橋 茂幸	産 経	11.23	オールドスクールグラフィッカーズ 田名網敬一×EYΘ サイケデリック革命の衝撃	紫牟田伸子 構成	STUDIO VOICE	332
大正ロマン羽子板に託す夢二の思い 3月から一般公開		"	12.27	英ブランド、日本人作品盗用 田名網さんのボスター「謝罪では許されぬ」賠償を求める方針[田名網敬一]		朝 日	3.9
夢二作?の羽子板見つかる		東 京	12.27	「日本ポップ」人気の光と影 アニメ、ゲーム、現代アート……日本料理まで英国ブランドの「田名網作品」盗用[田名網敬一]	上間 吉村 常正 千彰	"	4.2
特集 黒田硫黄 黒田硫黄・フェイクな王道	竹宮 恵子	ユリイカ	481	交遊抄 ギャラリー誕生[田中一光]	北島 義俊	日 経	12.9
				田中一村—豊穣の奄美1~9	大矢 頼音	美術の窓	235~243

特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 田中 栄子	原 久子	美術手帖	832	連載「内科だった画 廊だった」ふたたび (内科画廊) 60 年代の前衛展開催 まで18 谷川晃一さ ん	宮田 有香 あいだ	89
古本歩き(特別挿入) 神保町の巻 田中恭 吉版画再考5、6 あるいは、老年探偵 団	山田 俊幸	一寸	13、14	0号への誘いPart10 美しいものとの一期 一会	谷川 泰宏	新美術新聞 980
美術百科「この人の この一点」の巻 田 中恭吉 《薊はれゆ く歓喜と悲愁》	井上 芳子	和歌山県 立近代美 術館 ニュース	34・35	作家訪問323 陶芸 作家 谷口左和子さ ん	編集部	目の眼 326
座談会「生涯で最も 重要な出会い」	阿部 早苗、 國定 正彦、 榎本 ひろ お、 庄司 多津 男、 田中シンタ ロウ 醍醐 イサム、 ミズテツオ 司会	自由美術	2003	アートプロジェクト ・リポート 地下 鉄車内でワゴン・ サービス、あなたな らどうする? 東京 ・地下鉄銀座線ゲ リラ・パフォーマン ス タニシK「サン キュー・フライト」	新川 貴詩	美術手帖 834
芸苑雑事記127 三 十六人集[田中親美]	瀧 悌三	美術の窓	237	THE PERSON NOW タニシK	タニシ K	アート トップ 192
マン・レイ 写真と 恋とカフェの日々 普及の輝き放つクロ ニクル	田中 長徳	産 経	6.8	わたしの好きなもの の人工芝	"	新美術新聞 1007
巻頭特集 画材と技 法 実力派人気作家 21名にきく あなた は油絵派? アクリル 派?	田中 稔之	美術の窓	242	作家訪問316 ガラ ス作家 谷道和博さ ん	編集部	目の眼 319
新作の背景 田中稔 之《海裂け陸裂ける》	石川 健次	毎日夕刊	8.1	今週の1点 蝶を吐 く人[谷中安規]		毎日 3.19
自分だけの〈視線〉を 鍛え発想の根幹に据 える。	タナカノリ ユキ	藝大通信	7	文化勲章に加山又造 氏と大岡信氏 文化 功労者に安藤忠雄 氏、田沼武能氏	(美)	新美術新聞 1008
渡邊武夫先生を偲ぶ 会派を超え大きな牽 引力として若い人達 の育成に尽力	田中 実	新美術新聞	1006	時のかたち	田沼 武能	朝日夕刊 1.14~17
田中保の魅力もっと 知って 井上禎治さ ん 文京で作品ギャ ラリー開設	山本 雅人	産 経	1.15	秋山流写真美学を貫 いた生涯 秋山庄太 郎氏を悼む	"	東京夕刊 1.24
フォーラム「野生 稲」その生命力と可 能性」開催 保存を 呼びかける田辺光彰 氏	(林)	新美術新聞	1000	学校と私 文化功労 者に選ばれた写真家 田沼武能さん 撮影 後に学んだ「人生講 義」	横井 信洋 聞き手	毎日 11.24
野生稲の自生地を守 れ アジアから世界 へ 地球を駆けめぐ る田辺光彰の仕事 1~4	野村 太郎	"	1007~ 1010	エッセイ イギリス の達人 イギリス人 は口の中に小鳥を 飼っている	東 芋	芸術新潮 644
美術と社会をめぐる 問題—MOMIのかた ち—ある彫刻家の ケースを考える[田 辺光彰]	藤嶋 俊會	横浜美術 短期大学 教育・研 究紀要	1	特集 2003年版新人 大図鑑 東芋誌上イ ンタビュー		美術の窓 235
				ようこそ 東芋さん 現代美術家「につ ぼん」の戯画絵巻つ くる	山盛 英司	朝日夕刊 4.2
				ファイト!! 熱い 心より見たまを伝 えたい 海外からも 注目 アニメ作家東 芋さん	大地山 隆	産 経 4.19
				クローズアップ 「日本の今」を表現 する美術家 東芋さん		日経夕刊 4.10
				すてき私流 美術家 東芋さん「無欲な 私」が描いた絵本	大須賀 純	読売夕刊 2.6

平成15年定期刊行物所載文献(近/作タ〜ツ)

こと場 田淵俊夫さん 日本画家		朝日夕刊	5. 1	特集 建築と情報の新しいかたち 空間のレイアウト／情報のレイアウト 塚本由晴インタビュー	仲 隆介、中西 泰人、本江 正茂 聞き手	10+1(Ten Plus One)	33
人・模・様 富士山の自然を守りたい [玉田勇]	野崎 勲	毎日夕刊	8. 27	対談 宮本隆司×塚本由晴 ビンホール・ハウスと「小さな家」からの眺め		美術手帖	841
アクリリックス・ワールド14 玉野大介	長谷川香苗	美術手帖	832	日展にのぞんで 生命への讃歌	月岡 裕二	日展 ニュース	110
日展にのぞんで あのころ	田丸 稔	日展 ニュース	110	文化往来 つげ義春の幻想的な世界に脚光		日 経	6. 20
デザインの復権 第5回〜第10回	團 紀彦	A X I S	101~106	特集ワイド1 この国はどこへ行こうとしているのか 春にはフランスで「無能の人」翻訳出版 漫画家つげ義春さん	鈴木 琢磨	毎日夕刊	12. 11
歴史と現代の融合 「日本橋」の再生を探る [東京再生フォーラム2003]	伊藤 滋、白石 真澄、團 紀彦、根本 祐二、北山 孝雄、多田 宏行、パネリスト 榎野 信治 司会	読 売	12. 25	特集 再発見された北の土器 伊勢神宮に眠る千島列島の縄文土器と中瀬庄吉氏	佐々木利和 豊原 熙司 辻 清明 鈴木 一巳	目の眼	321
巡り会い	丹阿弥丹波子	春 陽	84	注目する新人作家12人 辻元子		版画芸術	120
アーティストイニシアティブSOW活動報告—アーティストの視点からの発言	近藤 昌美、藤 茂井、丹治 健司、嘉彦	東京造形大学研究報	4	わたしの好きなもの 見知らない土地の風景	津田亜紀子	新美術新聞	1004
(チ)				気鋭新鋭 津田亜紀子さん(彫刻家) 人体像 複製ゆえの強さ	(清)	読売夕刊	8. 1
巻頭特集 画材と技法 アクリル派 アクリル絵具は現代の漆	智内 兄助、松嶋 励路、取材・文	美術の窓	242	土浦亀城の山縣邸とフランク・ロイド・ライトのウィリッツ邸との比較研究	河野 良平	芸術学研究(筑波大学)	7
特集2 現代の木工家具 「現代の木工家具」展に際し、家具デザイン雑感	長 大作	現代の眼	541	あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第14回 《詩の翻訳は化膿か?》 金素雲『朝鮮詩集』の訳業と土田麦僊の風俗画を繋ぐもの—植民地絵画の読解のために	稲賀 繁美	あいだ	90
(ツ)				[作品研究]麦僊の庭—土田麦僊《舞妓林泉》について	中村 麗子	現代の眼	543
早春 無意識にその日を待っていた	司 修	東京夕刊	3. 18	美術百科「この人のこの一点」の巻 土田麦僊 《梅ヶ畑村》	寺口 淳治	和歌山県立近代美術館 ニュース	34・35
第103回受賞者インタビュー 第10回「VOCA展2003—新しい平面の作家たち—」 津上みゆき		ギャラリー(月刊)	215	タリバーン支配前のアフガニスタン 文化の跡、私家版ビデオに 映像作家の土本典昭さん		朝 日	7. 22
第10回VOCA賞に津上みゆきさん	(美)	新美術新聞	984	第11回本郷新賞に土屋公雄氏の「時の知層」	(千)	新美術新聞	1000
人らんだむ 第10回VOCA賞を受賞した津上みゆきさん	"	"	987	家族のこと話そう 勝手に創作…でも互いに理解 土屋礼一さん(日本画家)	井上 昇治 聞き手	東 京	10. 4
わたしの好きなもののお煮しめ	津上みゆき	"	1010				
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 津上みゆき	編集部	美術手帖	832				
気鋭新鋭 津上みゆきさん(画家) 風景の記憶を再構築	(清)	読売夕刊	2. 21				
巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派?アクリル派?	塚本 聰	美術の窓	242				

— 187 —

第6回岡本太郎記念
現代芸術大賞 優秀
賞に天明屋尚氏とえ
ぐちりかさん (美) 新美術新
聞 988

ゼロゼロエポリユー
ション4 天明屋尚
平成の武闘派絵師 美術手帖 840

(ト)

自分と出会う「不
信の世代」写真こそ
輝き 東松 照明 朝日夕刊 3.10

東京美術学校西洋画
科卒業制作作品・自画
像の技法材料、保存
修復に関する基礎的
研究1 時任雅雄 佐藤 一郎
木島 隆康 東京芸術
大学美術 39
大西 博 学部紀要
伊藤 由美
渡辺 郁夫

第七九回展 受賞者
の言葉(版画部) [時
田有理子] 春 陽 84

LIVE ARTIST 時任
亜矢子 “光”の語る
息づかい 秋 田 版画芸術 121

わざの美 私と伝統
工芸 下 徳田八十
吉「耀彩録『創生』」
将棋棋士・谷川浩司
さん談 朝 日 5.30

人間列島 石川県1
徳田八十吉 読売夕刊 11.8

特集 ブックデザイ
ン批判 ブックデザ
インの風景化と言語
化をめぐる 戸田ツトム
鈴木 一誌 ユリイカ 482

明治の絵葉書 其の
10 富岡永洗・江戸
の雨と傘の画家 生田 誠 目の眼 325

あいだのすみっこ不
定期漫遊連載 第10
回 文人画の終焉と
再覚醒—富岡鐵斎晩
年の文人画・南画の
国際評価 稲賀 繁美 あいだ 86

夏山富士、絶頂を極
める一鉄斎が描く富
士を追って—[富岡
鉄斎] 笠嶋 忠幸 出光美術
館館報 124

鉄斎の富士山図制
作—その諸相と展開
について[富岡鉄斎] ” 出光美術
館研究紀 9
要

富岡鉄斎『宣(宜)興
斎壺譜』と宣興紫砂
器 城塚 朋和 明星大学
研究紀要 11

アクリリックス・
ワールド17 富倉崇
嗣 原 久子 美術手帖 839

富田溪仙の1920年
紀州旅行について—
スケッチ帖を中心に— 佐藤 志乃 横山大観
記念館館 19
報

秋の褒章 荒川修作
氏、中林忠良氏、若
桑みどり氏らが受章
[富山治夫] (美) 新美術新
聞 1009

視線 逆白波のひ
と・土門拳の生涯 嵐山光三郎 朝 日 7.27
佐藤信・土門拳著

現代アート考 戸谷
成雄の彫刻 ヒダが
つむぐ雄弁な表現 三田 晴夫 毎日夕刊 6.16

特集 絵画輪廻転生
絵画百花繚乱 登山
博文 藤田 六郎 美術手帖 832

「傾く小屋—美術家
たちの証言 since
9. 11」展 《ミニ投
資》 豊嶋 康子 セゾン
アートブ 10
ロム・
ジャーナ
ル

現代工芸作家シリー
ズ 魔術師たちの贈
り物 第9回 豊田
正秋 富田 康子 アート
トップ 194

豊原国周「皇国蚕之
養育」をめぐる問題
—明治前期美人画の
一断面— 田島 達也 史料館研
究紀要 34

口絵解説 芝居絵
鳥居派九代目宗家
鳥居清光筆 齋藤 裕嗣 文化財
(月刊) 482

表紙解説 矢の根
鳥居派九代目宗家
鳥居清光筆 ” ” ”

(ナ)

オリエンタル・ハイ
ブリッド 内藤 定壽 筑波大学
芸術学系 40
研究報告

庭からの視線18
「何とはなしに不自
然でない場所」—内
藤慶氏に聞く 川上典李子 A X I S 106

《死者のための枕》
1997年 内 藤 礼 島 敦彦 国立国際
美術館月 128
報

第1回アサヒビール
芸術賞に内藤礼さん
ら四件 (美) 新美術新
聞 990

風韻 仕事の時は年
も考えない 挿絵画
家中一弥さん 由里 幸子
インタ 朝日夕刊 8.15
ビュー

著者に聞く『挿絵
画家・中一弥』中
一弥さん 青木 千恵 産 経 2.16

ひと 92歳の現役画
家が語る昭和から平
成の挿絵史 中一弥
さん 桐山 正寿 毎 日 3.16

自著を語る『紅逢
黒逢の刻』第1話・
第2話 名嘉睦穂さ
ん(アーティスト) 東京夕刊 7.3

第44回毎日芸術賞
早川良雄氏 展覧会
「早川良雄の時代—
デザイン都市・大阪
の軌跡」(大阪・ATC
ミュージアム) 永井 一正 毎 日 1.1

対談 「銅版画と和紙表装」—コラボレーションを通して工芸の明日を考える—	鎌田 敏輝 中井 武志	百万塔	116	フェイス21世紀54 中畔千嘉	常盤 茂	新美術新聞	999
はてな?おもしろ浮世絵201~211	中右 瑛	目の眼	317~327	アートスクール時代とその後の仕事 長崎訓子 イラストレーター	長崎 訓子	美術手帖	837
変化する書家長岡美和子さん 米での個展、日本画制作経た成果を日本で発表	(白)	新美術新聞	1010	現在通信from NEW YORK NYの中ザワヒデキ	富井 玲子	新美術新聞	998
第107回受賞者インタビュー 関口芸術基金賞 中垣直美		ギャラリー(月刊)	219	特集 21世紀の戦争と美術 イラク戦争以後のアートを考える 戦争と方法	中ザワヒデキ	美術手帖	835
本物のゴッホ 故中川一政氏が収集きょう競売どこまで上がるか		産 経	2.8	明治の絵葉書 其の4 中沢弘光の美人絵葉書	生田 誠	目の眼	319
中川一政氏収集の油絵 「一万円」実はゴッホ		日 経	2.8	特集 ブックデザイン批判 吉岡実と「社内装幀」の時代	中島かほる イン タ ビュー	ユリイカ	482
文化 ゴッホ神話 健在 検証 中川一政コレクション競売	竹田 博志	"	2.15	特集 峯孝を偲んで座談会「峯孝を語る」	池田 宗弘、 二森 駿、 中嶋 一雄、 八幡 健二 岡村 光哲	自由美術	2003
中川一政氏の収集品競売に		読売夕刊	1.29	映像におけるデジタル化革命	中島 信也	多摩美術大学研究紀要	17
「一万円」実はゴッホ 中川一政氏収集品 「作者不詳」競売予定		"	2.7	世界画から日本絵画へ4 中島千波 いのちの韻律	切刀 知子	美術の窓	239
中川一政コレクション オークションでゴッホ巡り注目 収集品真剣勝負の軌跡	入江 観	"	2.12	ART iT独断一日本の若手作家10人 長島有里枝	白坂 ゆり	ART iT	1
中川紀元に美術を学んだ中国人—画家関紫蘭の活動をめぐって—	陸 偉榮	中国近現代文化研究	6	「公共性」を表現のアプローチとした広告の実践	中島 祥文	多摩美術大学研究紀要	17
シリーズ・書家の仕事9 仲川恭司	仲川 恭司	墨	162	特集 長寿広告の秘密 仲條正義×『花椿』[資生堂]	橋本 麻里	デザインの現場	128
秋の褒章 荒川修作氏、中林忠良氏、若桑みどり氏らが受章 [中川清司]	(美)	新美術新聞	1009	第14回五島記念文化賞 美術新人賞に福本双紅さん、中田秀人氏	(美)	新美術新聞	992
特集 森山大道 中平卓馬 格闘写真史 196X—200X	中川 道夫 ききて	美術手帖	833	写真展 子供が写した新鮮な世界	永武ひかる	朝 日	2.1
李 禹 煥 インタビュー 「中平卓馬は、産業社会のアンチとしてモノを見出した。」				中谷先生のこと [中谷泰]	小林 裕児	春 陽	84
木村恒久インタビュー 「中平は、上位プログラムを設定した。」				黒田征太郎 KAKIBAKA描く 男 黒田征太郎・長友啓典著		日 経	9.7
中川幸夫 永遠の不良少年	倉林 靖	STUDIO VOICE	330	立ちどまらぬ「幸福な前衛」 中西夏之の四つの展覧会 [中西夏之]	田中 三蔵	朝日夕刊	1.23
前衛生け花作家・中川幸夫さんに聞く 「花に教わりながら、どん欲に」	前田 恭二	読売夕刊	8.5	ここに注目 山海塾「うつり」 中西夏之の美術と「饗宴」		日経夕刊	8.18
近況 長倉洋海さん (写真家) 笑顔のパワーに感染して	佐藤 由紀	毎日夕刊	6.13	現代アート考 中西夏之と絵画 公開制作と新作で存在感示す	三田 晴夫	毎日夕刊	1.23

平成15年定期刊行物所載文献(近/作ナ)

特集 仕事場のつくり方 中西元男氏に聞く 組織をうまく機能させる事務所運営のコツ	道添 進	デザイン の現場	131	中町 力	金沢学院 大学紀要	1
注目する新人作家12人 長野順子		版画芸術	120	住友 文彦	セゾン アート プログラム・ ジャーナル	10
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 中埜幹夫	古川 誠	美術手帖	832	中村 一美	" "	" "
アクリリックス・ワールド18 中埜幹夫	"	"	841	平野 明彦	美術 フォーラム21	8
追悼日向あき子 日向あき子論試論・美術批評の中の文化人類学的眼差し	仲野 泰生	構造	14	山辺 知行	新美術新聞	981
特集 生涯で最も重要な出会い セルジュ・ボリアコフとの出会い	永畑 隆男	自由美術	2003	舟木 力英	茨城県近代美術館 だより	62
秋の褒章 荒川修作氏、中林忠良氏、若桑みどり氏らが受章	(美)	新美術新聞	1009	藤本 陽子	游 美	45
日展にのぞんで 当麻寺金堂弥勒仏坐像	中原 篤徳	日展 ニュース	110	中村 哲也	新美術新聞	993
特集 森山大道 中平卓馬 格闘写真史196X-200X		美術手帖	833	大西 若人	朝 日	4.9
未知の規定 1970年代初頭における中平卓馬のテキストへの覚書	倉石 信乃				美術の窓	237
記憶と忘却の岸—写真家は何を燃やすのか?	八角 聡仁					
「動機と行為の直結」を目指す写真家たち 森山と中平の苦悩をこそ起点に据えよ	島原 学			小田切 博	美術手帖	840
格闘写真史年表				中村 宏	あいだ	96
李禹煥 インタビュー「中平卓馬は、産業社会のアンチとしてモノを見出した。」	中川 道夫 ききて			三田 晴夫	毎 日	9.14
木村恒久 インタビュー「中平は、上位プログラムを設定した。」	"			編集 部 イビ 小田切 構成 博	美術手帖	838
ひと 記憶喪失の中で撮り続けた写真家中平卓馬さん	大西 若人	朝 日	10.27	中村 好文	芸術新潮	637~ 643、 645~648
単眼複眼 いまなぜ森山氏・中平氏の写真か「現在の起源」へ高まる関心[中平卓馬]	"	朝日夕刊	10.29	大竹 昭子	朝日夕刊	7.13
創作探訪 純粋写真、無心を写す 中平卓馬 病後の挑戦意図は排して撮影の日々	白木 緑	日 経	11.2	(前) 読 売		5.11
				仲山 瑛子	美術文化	24
中町力2001~2002年作品の解説						
特集2 絵画考 絵画論考 光の束とともに—中村一美の絵画						
「傾く小屋—美術家たちの証言 since 9.11」展《連鎖—破房》シリーズ等						
現代作家紹介 差異の発現 中村一美の絵画について						
哀悼 中村光哉氏						
研究ノート 中村彝の筆跡(2)						
茨城の画人たち 中村彝 明治20年~大正13年						
わたしの好きなもの スポーツカー						
アートの瞬間 中村哲也「プレニウム・ユニット・パス」肩までつかれる「筋肉美」						
中特集 中村輝行 編集長対談 中村輝行×一井建二 絵画に求めるもの						
特集 新しい身体と彫刻の美学 Figure/Sculpture プロダクトの中の新しいヒトのかたち 中村至男						
貴賓席 拙著『絵画者』書評に						
絵画者1957—2002 著者中村宏さん						
特集 現代アーティスト10組の仕事場に見るアトリエの建築的冒険 劇的リノベーションから共同スタジオまで 中村政人・申明銀・中村鑑「湯島もみじ」						
意中の建築 その八~十八						
視線 中山岩太 MODERN PHOTOGRAPHY 中山岩太撮影、芦屋市立美術博物館監修						
「中山岩太」監修=芦屋市立美術博物館 おばあさんの心						

第七九回展 受賞者の言葉(絵画部その2)[中山里美]	春 陽	84
アーティスト・インタビュー 中山ダイスケ 夢のなかの羊を連れて	編集部 美術手帖	829
特集 現代アーティスト10組の仕事場に見るアトリエの建築的冒険 劇的リノベーションから共同スタジオまで 中山ダイスケのスタジオ	" "	838
親しく成長ぶりを拝見[佐久市立近代美術館]	中山 忠彦 新美術新聞	993
「色いろ調」への反論	" "	1011
巻頭特集 女性の美学 中山忠彦が選ぶ美しい女性像ベスト5	中山 忠彦 編集部 美術の窓	238
アーティストクロージアップ105 中山智介 “ランナーズ・ハイ”ならぬ“ペインターズ・ハイ”	ギャラリー(月刊)	219
特集 生涯で最も重要な出会い 生涯で最も重要な出会い	名久井國男 自由美術	2003
特集 日用品のPACKAGE'S CHOICE!! デザイナー・名児耶肇と編集者・服部全宏のNYパッケージクルージング	名児耶 肇 服部 全宏 デザインの現場	127
特集 マンガはここにある・作家ファイル45 マンガは誰のものか? 著作権・批判・読者	夏目房之介 ユリイカ	485
わが街わが友1~10	" 東京	9.22~26、29、30、10.1~3
自著を語る『復活! 大人まんが』夏目房之介さん(マンガコラムニスト)	" 東京夕刊	1.23
マンガの居場所 自在さ、壁の薄さこそ特性	" 毎日夕刊	10.9
偉大な祖父・父 語るエッセー 漱石の孫夏目房之介さん ロンドンの下宿で“会えた”	石田 汗太 聞き手 読売夕刊	4.16
大正の版本 銀座で復活 役者絵の名取春仙	朝日夕刊	3.29
父那波多目煌星を語る	那波多目功一 游 美	45

オールドスクールグラフィッカーズ 横日 尾忠則×生意気 本のナチュラル・サイケデリック?	紫牟田伸子 構成 STUDIO VOICE	332
BOOKWORM 今月の書評『エゴン・シーレ ドローイング水彩画作品集』	奈良 美智 美術手帖	834
奈良美智写真集『the good, the bad, the average ... and unique』	産 経	12.20
不穏と楽天 奈良原一高の複視写真	芸術新潮	641
写真家奈良原一高さん 初の回顧展「無国籍的空間」への旅	前田 恭二 読売夕刊	2.4
アート ハイ&ロー(下)[成田亨]	工藤 健志 A — ism	7
ゼロゼロエポリーション6 名和晃平	美術手帖	842
ナンシー関大全 ナンシー関[著]	与那原 恵 朝 日	9.14
ナンシー関再評価 コラムなど続々刊行 消しゴム版画 辛口TV評論	日経夕刊	9.11
横堀先生と南城先生[南城一夫]	笠木 實 春 陽	84
(二)		
新村清志先生を想う	須藤 幹子 美術文化	24
新村清志氏を偲んで	浅野 輝一 "	"
特集 生涯で最も重要な出会い 生涯で最も重要な出会い	新村 稔 自由美術	2003
新納忠之介(にいろいろのすけ)という人	野添 浩一 グリーンルーフ	54
東京美術学校西洋画科卒業制作作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究1 西伊三次	佐藤 一郎 隆康 博 東京芸術大学美術学部紀要	39
VOICE OF VOICE ちょこっと現代思想 4 “おたく批評”篇 70年代生まれをレベゼン!	西島 大介 STUDIO VOICE	336
0号への誘いPart18 西田俊英	西田 俊英 新美術新聞	1001
世界画から日本絵画へ5 西田俊英 光と影の二重奏	刃刀 知子 美術の窓	240
日展にのぞんで 私の初入選	西田 眞人 日展 ニュース	110
第七九回展 受賞者の言葉(版画部)[仁科久]	春 陽	84
西野新川さん 山口県に作品を寄贈	(常) 新美術新聞	994

— 192 —

ゴッホのまなざし十選 1~10	野村 義照	日 経	4. 10、11、14、15、17、18、21、22、24、25	利行拾遺(その1／その2)[長谷川利行]	丹尾 安典	一 寸	15
				「日本のゴッホ」長谷川利行作品 14点まとめて寄贈 東京都現代美術館に		読売夕刊	7. 31
(ハ)							
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 1 萩生田文太郎	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 伊藤 由美 渡辺 郁夫	東京芸術大学美術学部紀要	39	作家訪問321 陶芸作家 長谷川文陽さん	編 集 部	目の眼	324
橋浦泰雄と田上義也—1924年のスケッチブックから	井内佳津恵	ろ び い	71	THE PERSON NOW 長谷川雅也	長谷川雅也 談	ア ー ト ト ッ プ	193
“理想画”への道程—橋本雅邦《龍虎》以後	塩谷 純	美術研究	377	第106回受賞者インタビュー 臥龍桜日本画大賞展 長谷川雅也		ギ ャ ラ リー(月 刊)	218
[資料紹介] 帝展改組と京都画壇—橋本関雪に宛てた大観・玉堂らの書簡から	岩間真知子	近代画説	12	かたちの虚実を問いなおす 時空に触れる	長谷川 学	辰野美術館だより	24
金のタピストリーによるファザードデザイン	橋本 京子	多摩美術大学研究紀要	17	個展に想う	長谷川 裕	美術文化	24
鶴丸昭彦と橋本錦永の絵画作品に就いて	ジョン・ワ インストッ ク	美術史論集	3	長谷川路可のフレスコ画 1	有田 巧	早稲田大学津 一記念博 物館研究 紀要	4
追悼圓鰐勝三氏 胸に刻まれる、情熱の限りを傾注した偉業	橋本堅太郎	新美術新聞	1011	蓬春先生・葉山の思い出	畑井美枝子	山口蓬春 記念館研 究紀要	3
神宮名品解説 神宮美術館所蔵奉納美術品 木彫「韻(いん)」[橋本堅太郎]	(中村)	瑞 垣	195	《アンダーグラウンド》1999年 畠山直哉(1958~)	島 敦彦	国立国際 美術館月 報	132
絵具とものづくりの楽しみ発見・再発見 12~17 川原の石、海岸の石から作ったパステル	橋本 弘安	美術の窓	232、234、236、238、240、242	巻頭特集 女性の美学 畠中光亨が選ぶ女性美ベスト 3		美術の窓	238
現代工芸作家シリーズ 魔術師たちの贈り物 第5回 橋本真之	富田 康子	ア ー ト ト ッ プ	190	特集 西向天神で何があったか。パフォーマンス放談会「いかがわしさについて」	畑中 純、 種村 季弘、 山口 昌男、 高山 宏 談 田之倉 稔 司会	見 世 物	2
[座談会]「所蔵作品展 近代工芸の百年」によせて「工芸」再読の意味	橋本 真之 外館 和子 富田 康子 進行	現代の眼	543	東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 1 八条弥吉	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 伊藤 由美 渡辺 郁夫	東京芸術大学美術学部紀要	39
長谷宗悦1983—2002	舟塚 雅恵	PATIO	17	八谷和彦《オーブ・スカイ》プロジェクトの全貌 八谷和彦インタビュー いま、なぜ	榊山 寛 インタビュー アー	美術手帖	836
巡り会い[長谷川潔]	丹阿弥丹波子	春 陽	84	ジェット・スカルプチュア 空飛ぶ彫刻なのか			
美と出合う 山中湖美術館「二つのアネモネ」長谷川潔	竹内 泰人	東 京	4. 13	Baghdad2003 初沢亜利	林 文浩	デザインの 現場	131
総力レビュー2002 建築と都市 巨大な『窓』の先に映るもの	長谷川健吾	木野評論	34	雲南省藏族の輪踊りとその装飾美術—国際共同調査による雲南省奔子欄郷の春節儀礼と造形・表現のアーカイブ化に関する研究—	服部 等作	広島市立 大学芸術 学部紀要	8
不可視の光 長谷川沼田居の「意識」について	江尻 潔	構 造	14	フェイス21世紀47 服部直文	常盤 茂	新美術新聞	980
第七九回展 受賞者の言葉(絵画部その2)[長谷川忠治]		春 陽	84	注目する新人作家12人 服部奈奈		版画芸術	120

の字ハウス	花里 俊廣	筑波大学 芸術学系 研究報告	40	簡潔な形態の包容力 [速水史朗]	石川 健次	毎日夕刊	3.3
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 英裕	白坂 ゆり	美術手帖	832	'02毎日デザイン賞 「無意識の領域」に着 眼し 深澤直人氏 「環境と行為により そうデザイン」	原 研哉	毎 日	2.12
特集 生涯で最も重 要な出会い 生涯で 最も重要な出会い	羽田 二郎	自由美術	2003	巻頭特集 '03風景 画セレクション イ ギリスの光り輝く風 景	原 雅幸	美術の窓	243
The Memory of Shadows	馬場淳一郎	明星大学 研究紀要	11	原三佳恵 小さな幸 せ	秋 田	版画芸術	121
羽場文彦2002年作品 の解説	羽場 文彦	金沢学院 大学紀要	1	画家原田直次郎をめ ぐる出会い 高橋由 一・森嶋外(その二)	福間 直子	ことひら	58
2002年(H14)10月29 日の北園克衛に……	羽原 肅郎	明星大学 研究紀要	11	原田直次郎と徳富蘇 峰一財団法人徳富蘇 峰記念塩崎財団所蔵 原田直次郎筆「徳富 蘇峰宛書簡」の翻訳 と解説	宮本 久宣	フィロカ リア	20
第七九回展 受賞者 の言葉(絵画部その 1)[濱圭]	春 陽		84	新私のいる風景 建 築家坂茂さん 見た 目だけの意匠競わな い	前田 恭二	読売夕刊	3.1
美術百科「この人の この一点」の巻 浜 口陽三 《パリの屋 根》	井上 芳子	和歌山県 立近代美 術館 ニュース	34・35	坂東青樹先生を偲ん で	後藤田仁一	美術文化	24
クラクフ国際版画ト リエナーレ「名誉 大賞」を受賞して	濱野 年宏	新美術新 聞	1007	果てしなく・あくが れ出ずる・ブルー —坂東青樹氏を偲ん で—	園尾 博一	" "	" "
特集2 現代の木工 家具 木工の四十年	早川謙之輔	現代の眼	541	虚実皮膜 板東史樹 の場合		L u r e	70
LIVE ARTIST 早川 純子 “お話”のおは なし	岡 部	版画芸術	119	(ヒ)			
コレクションの眼 早川純子	"	"	121	PHスタジオ アー トプロジェクト的な 「船をつくる話」	村田 真	美術手帖	839
第44回毎日芸術賞 早川良雄氏 展覧会 「早川良雄の時代— デザイン都市・大阪 の軌跡」(大阪・ATC ミュージアム)	永井 一正	毎 日	1.1	日 影 眩の360°の ニューヨーク100~ 106	日影 眩	ギャラ リー(月 刊)	213~ 217、 220、223
Close—up3 早 坂 百合恵 日々の暮ら しの中にある創作	ギ ャ ラ リー(月 刊)		223	着想の宅配便 漫画 家やなせたかしさん 上、下	東 菜奈	産 経	4.5、12
「林 邦 佳 玩 具 容 展一桶・様・容—」 から	唐澤 昌宏	陶 説	598	アートスクール時代 とその後の仕事 東 泉一郎 デザイナー ／アートディレク ター	東泉 一郎	美術手帖	837
コレクションの眼 林孝彦		版画芸術	121	Portfolio 東恩納裕 一 ファンシーなる ものの光学装置	斎藤 環	"	841
『モランディとその 時代』岡田温司著	林 哲夫	産 経	9.22	今月の読書 『東山 魁夷 風景との邂逅』東山すみ監修	高岡 忠雄	新美術新 聞	983
林康夫—敗戦直前の 海軍航空隊での錯視 体験が林芸術の基底	柴辻 政彦	陶 説	609	美学会第五十四回全 国大会発表要旨 東 山魁夷《黎明》で試み たこと	門間 仁史	美 学	215
表紙解説 速水御舟 筆 炎舞	水尾比呂志	国 華	1294	シンガポール「エス プラネード」を訪ね て 本格的な骨格の 国家へと離陸	樋口正一郎	産 経	1.18
中特集 速水史朗		美術の窓	232				
さぬきうた	速水 史朗						
速水史朗の原風景	小森佳代子						
風土に根ざした人間 賛歌 瓦と石による 「速水史朗展」	田中 三蔵	朝日夕刊	2.25				
創作探訪 故郷の風 土を彫刻する 讃岐 が生んだ速水史朗の 造形意識	浜部 貴司	日 経	2.2				

				1. 25、 2. 1、8、 15、 3. 1、8、 15、29、 4. 5、12、 19、26、 5. 3、 10、17、 24、31	カパーインタビュー 平野敬子	谷口真佐子	A X I S	104
都市造形の新世紀	"	"			この人 タスマニア 原生林の保護を訴える 写真家 平野正樹 さん		東 京	9. 8
大蔵教室の作家たち 18 樋口千登世 上 質な可愛らしさ	刃 知子	美術の窓	232		アトリエの扉をあけて 50 衝動を昇華させ、 多彩な赤の世界 平野瑞恵	杉瀬 由希	デザインの 現場	129
【意見交換から】(井 上長三郎の政治と美術)	久田 弘	美術運動 史研究会 ニュース	60		平福徳庵「乞食図」	小笠原 光	A R K	36
第12回芸術評論募集 入選作発表 【佳作】 踊ることと見えること 土方巽の舞踏論 をめぐって	木村 寛	美術手帖	834		平松礼二の眼 モネ の眼 日本の美意識 ジャポニズムへの旅 [平松礼二展]	平松 礼二 加藤 貞雄	新美術新 聞	994
世界のなかに放り出 された書—日本近・ 現代書史点描19 比 田井南谷	石川 九楊	墨	161		らんぼう美術館13～ 20、最終回 第十二 室～第二十室	平松 礼二	美術の窓	232～240
郷愁のトボグラ フィー—一九〇年 代の日本における風 景写真の政治学— [日高長太郎]	佐藤 守弘	文化学年 報(同志 社大学)	52		世界画から日本絵画 へ3 平松礼二 宇 宙への「路」	刃 知子	"	238
新・表現考 メディ ア時代の版画の手わ ざ デジタルイメー ジ対談 吉岡俊直× 樫田珠実 新たなリ アリティを求めて	辺 見 構成	版画芸術	122		文化・アーティスト と世界 シリーズ1 平山郁夫 北朝鮮へ の8回の訪問 ユネ スコ親善大使として の活動		ギ ャ ラ リー(月 刊)	218
私がいる時間 日比 野克彦さんの±00: 00	日比野克彦 佐藤美千代 聞き手	朝 日	12. 7		第44回文化財講演会 平山郁夫画伯と父・ 高田好胤を語る	高田都耶子	城陽市歴 史民俗資 料館館報	8
こと場 日比野克彦 さん アーティスト		朝日夕刊	7. 9		第45回文化財講演会 平山郁夫画伯と玄奘 三蔵をめぐって	別府 一道、 吉村 誠、 小林 澤應、 川勝由紀子 パネリスト 関河 礼子 コーディネーター	"	"
子どもの本 番外編 日比野克彦さんが選 んだ3冊	矢島 智子	東 京	11. 25		緊急インタビュー 平山郁夫氏に聞く 危機に直面する世界 的文化遺産を守るた めに	油井 一人	新美術新 聞	993
人間列島 石川県1 百貫華峰		読売夕刊	11. 8		高い志で美術館活動 を[佐久市立近代美 術館]	平山 郁夫	"	"
巻頭特集 画材と技 法 実力派人気作家 21名にきく あなた は油絵派? アクリル 派?	開 光市	美術の窓	242		文化財保護、世界平 和を希求する旅(上) (下) 東西文化交流 平山郁夫展ブルガリ アで開催	平山 吉雄	"	1001、 1002
平木孝志2000～2002 年作品の解説	平木 孝志	金沢学院 大学紀要	1		全文連設立十周年記 念講演会「文化財赤 十字」	平山 郁夫	全文連会 報	47
巻頭特集 画材と技 法 実力派人気作家 21名にきく あなた は油絵派? アクリル 派?	平澤 篤	美術の窓	242		北朝鮮の高句麗古墳 群 交流生むか、世 界遺産登録 訪問し た平山郁夫さん 「文化守る」を大義名 分に	山盛 英司	朝 日	4. 22
特集 生涯で最も重 要な出会い —設問 への回答	平澤 重信	自由美術	2003		ほからか 日本画 家・東京芸大長平 山郁夫さん	向井 光真	朝日夕刊	2. 24
[作品研究]人形の虚 実—平田郷陽の制作	今井 陽子	現代の眼	541		平山郁夫さんが見た ブルガリア バラの 国の豊かな遺産	山盛 英司	"	7. 10
フェイス21世紀52 平田智香	常盤 茂	新美術新 聞	993					

私と大英博 上 平山郁夫さん 文化財「守る」情熱に感銘	平山 郁夫	"	10. 3				(フ)			
わが街わが友1~13	"	東 京	1. 7~ 10、13~ 17、20~ 23				宮田美乃里	版画芸術	122	
大トルコ展 遙かなるイスタンブール1	"	東京夕刊	2. 26				深井隆VS飯内佐斗司 平櫛田中賞をめぐるいま木彫再燃のとき	飯内佐斗司 深井 隆	新美術新聞	1003
私のオアシス 鎌倉市二階堂のアトリエ 画家平山郁夫さん	山本 信哉	"	11. 1				「なくしてしまった美の領域」『陰影礼讃』谷崎潤一郎著	深澤 直人	A X I S	101
平山郁夫さんと見るヴィクトリアン・スード展	石川 健次	毎日夕刊	5. 28~ 31、6. 2				「アイデアはどうやって生成されるのか」『海馬 脳は疲れない』池谷裕二、糸井重里著	"	"	103
「日朝打開は文化協力から」高句麗古墳群を世界遺産に平山郁夫さんに聞く	武田 良敬	"	9. 17				「日常の芸術」『芸術としてのデザイン』ブルーノ・ムナーリ著、小山清男訳	"	"	104
平山郁夫さんのお品書き 近海魚の刺し身 心に染みた母のしょうゆ	平山 徹	読 売	11. 17				「サイエンス・オブ・デザイン」『私たちの詩学 morphopoiësis 1 向井周太郎著作集』向井周太郎著	"	"	105
「文化通じ関係打開を」今月中旬に訪朝平山郁夫さん 高句麗古墳群「世界遺産」話し合い		読売夕刊	4. 30				「自己のうちにある地球感覚」『未知の贈りもの』ライアル・ワトソン著、村田恵子訳	"	"	106
この人 第32回日本漫画家協会賞大賞に決まった 弘兼憲史さん		東 京	5. 24				世界グラフィックデザイン会議2003名古屋「VISUALOGUE」3 環境に溶けるデザイン プロダクトデザイナー・深澤直人の視線	深澤 直人 企画 集 部 構成	デザインの現場	130
第22回土門拳賞に広河隆一氏	(美)	新美術新聞	991				タカラ×深澤直人の新ブランド=±0(プラスマイナスゼロ)が生まれるまで	紫牟田伸子	"	131
春雷の遠野へ 追想 陶芸作家加守田章二	廣崎 裕哉	陶 説	602				'02毎日デザイン賞「無意識の領域」に着眼し 深澤直人氏「環境と行為によりそうデザイン」	原 研哉	毎 日	2. 12
雪の季節	広島 昌夫	美術文化	24				原点振り返る佐藤卓さん、深澤直人さん 毎日デザイン賞の表彰式		毎日夕刊	4. 24
特集 本をつくりたい!! ヒロ杉山 Enlightenment 作品集をつくる楽しみ	中島 優子	デザインの現場	130				アーティスト訪問3 深沢幸雄 言葉から創造される豊かな造形 多様な作家像を各美術館で展開する魅力	ギ ャ ラ リー(月刊)	224	
私INジョグジャカルタ 広田緑さん 街の魅力情報誌で伝える	黒瀬 悦成	読 売	8. 10				作家訪問315 陶芸作家 深谷泰さん	編 集 部	目の眼	318
新しき誘惑への使徒たち 第4回 広田 稔		ア ー ト トップ	189				特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 福井 篤	"	美術手帖	832
巻頭特集 画材と技法 油絵派 油彩による鮮やかな色彩表現	広田 稔 松嶋 励路 取材・文	美術の窓	242							
ヒロ・ヤマガタインタビュー 天上のマテリアリズム	野々村文宏	美術手帖	836							
横浜港でヒロ・ヤマガタ氏のアート展「光の競演」に法の壁30		東 京	2. 26							
この人「宇宙芸術展」で空間作品を披露する ヒロ・ヤマガタさん		"	5. 1							

大塚睦追悼 大塚睦の佇立する「裸形の母子像」について—福沢一郎の「満州の遠近」との関連において	尾崎 真人	構 造	14	世界の現代ガラスベストコレクション1 武田 厚 美術の窓 232
青春ブレイバック 福島瑞穂 東京都大田区・羽田空港	常盤 茂	新美術新聞	1004	藤田喬平
巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派? アクリル派?	福島 瑞穂	美術の窓	242	特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 藤田 淳 白坂 ゆり 美術手帖 832
PAPER IN MY WORK89 紙に求める人の温もり 副田高行	橋本 麻里	デザインの現場	131	連載・資料ドキュメント11 最終回 藤田嗣治—その実像を求めて 笹木 繁男 あいだ 85
福田千恵さんがサウジアラビア王立競馬場に壁画を献納	(高)	新美術新聞	996	あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第13回 職人としての藤田嗣治—笹木繁男氏の連載の余白に 稲賀 繁美 " 89
美術館の眼 10年間の収集記録I 福田豊四郎「紅蓮の座」1970	山本 丈志	A R K	35	藤田嗣治文庫目録 笹木 繁男 構 造 14
文化は誰のもの 第一部 著作権の波間で1 [福田美蘭]	大西 若人	朝 日	7.22	色いろ調 それでも変人、奇行の人[藤田嗣治] 安井 収蔵 新美術新聞 983
私の好きな景観 変容していく街で3 東京都台東区上野公園 [福田美蘭]	石川 健次 聞き書き	毎日夕刊	8.18	藤田嗣治の権力迎合 山口 泰二 美術運動史研究会 ニュース 58
作家訪問318 彫刻家 福永たくみさん	編集部	目の眼	321	藤田嗣治検証の二、三の問題 笹木 繁男 " 59
第14回五島記念文化賞 美術新人賞に福本双紅さん、中田秀人氏	(美)	新美術新聞	992	世界のフジタ、実像は? 画集・評伝 次々刊行 奇行・戦争協力も検証 [藤田嗣治] 山盛 英司 朝 日 2.4
藤井令太郎さんと私	松島 治基	春 陽	84	藤田嗣治画文集「猫の本」 山下 裕二 " 9.14
虚実皮膜 藤木正則の場合		L u r e	70	故藤田画伯遺言の地へ 自作彩る礼拝堂に フランス 大野 博人 " 10.7
ひと 貸与権連絡協議会の代表 藤子不二雄④さん 大型レンタル店に対応 出版文化枯死させるな	内藤麻里子	毎 日	9.7	パリで活躍した画家 藤田嗣治 代表作の下で安らかに眠れ 山口 昌子 産 経 10.8
Close-up 2 藤 崎孝敏 旅人から流浪の画家に!		ギャラリー(月刊)	222	近藤氏受賞の大宅賞選評 新資料で「藤田伝説」正しい位置に 東京夕刊 4.12
表紙の作品 藤島武二「鉸剪眉」1927年	谷口 雄三	グリーンルーフ	54	妻が遺言発見 自作に抱かれ永眠 故藤田画伯、ランス市が礼拝堂に改葬許可 久原 隠 " 10.7
明治の絵葉書 其の3 藤島武二のデザイン絵葉書	山田 俊幸	目の眼	318	藤田嗣治画文集 猫の本 日 経 7.27
ART HEAD QUARTERS 光と影の奏でるシンフォニー 影絵作家・藤城清治	池上ちかこ	美術手帖	835	21世紀を読む 内面を表現する言葉 [藤田嗣治] 柳田 邦男 毎 日 5.11
ほがらか 影絵作家 藤城清治さん	奥村 晶	朝日夕刊	3.10	藤田嗣治画文集「猫の本」 読 売 8.17
佐藤忠良彫刻写真集 藤田観龍者		日 経	7.20	「死後はチャペルで」 藤田嗣治氏再埋葬 池村 俊郎 読売夕刊 10.7
				彫刻家藤田文蔵のシカゴ万博出品作品と『世界之日本』 佐藤 善一 女子美術大学研究紀要 33
				藤田龍児先生を偲んで 松生 良人 美術文化 24
				コレクションの眼 藤浪理恵子 版画芸術 121

残されたひとやま
《給油所》(その3)
(その4)―藤牧版画
の後摺りについて8
[藤牧義夫]

大谷 芳久 一 寸 13, 14

残されたひとやま
《つき》(その1)―藤
牧版画の後摺りにつ
いて9 [藤牧義夫]

" " 16

藤牧義夫《隅田川両
岸画卷》に関する
ノート(承前)

加藤 弘子 東京都現
代美術館
紀要 8

現代建築思潮[討議]
部分的/離散的 ヨ
コミゾマコトと藤本
壮介の建築

藤本 壮介
ヨコミゾマ
コト 創平 10+1(Ten
Plus One) 33
今井公太郎
日埜直彦
吉村靖孝

視点 “視る”ことの
達人たち

藤森 武 美術の窓 243

特集 アジアのなか
の日本建築 鼎談2
アジアのなかで世界
建築の将来を展望す
る

磯崎 新、
藤森 照信、
松山 巖
布野 修司
聞き手 建築雑誌 1500

特集 建築を学ぶ人
たちへ 初学者に薦
める本 『日本の民
家』今和次郎著

藤森 照信 " 1512

ひとこと 藤森照信
さん 建築史家 幅
広い書評で賞を受け
「キョトンとしてま
す」

朝日夕刊 2.20

藤森照信さん『建築
探偵、本を伐る』第
1回毎日書評賞 選
考を終えて

山崎 正和 毎 日 1.5

藤森照信さん『建築
探偵、本を伐る』第
1回毎日書評賞 受
賞者に聞く

斎藤由紀子 " "

私の好きな景観 変
容していく街で1
東京都国分寺市小川
の石橋

藤森 照信 毎日夕刊 8.13

AUVERSへの旅路
0号への誘いPart17
二川和之

藤山 ハン 構 造 14
二川 和之 新美術新
聞 999

「マジメフマジメ」

船井 裕 国立国際
美術館月
報 128

新・作家への道標99
舟越桂・尽きること
のない「人間」への眼
差し 「人間」の表現
を通して、「人間」以
上の何かを表現し
たい。それはこの世
界の成り立ちにまで
もつながつていく。

ギャラ
リー(月
刊) 216

エッセイ イギリス
の達人 哀しみのロ
ンドン

舟越 桂 芸術新潮 644

第33回中原梯二郎賞
に舟越桂氏

(美)

新美術新
聞 998

NEW EDITION 舟
越桂 新作リトグラ
フ「石」がリトグラ
フの幅を広げた―

辺 見
イ タ
ン ユー
・ 版
構成 画
芸術 120

特集 舟越桂の変貌
新しい「ひとのかた
ち」へ

美術手帖 834

舟越桂 インタ
ビュー

舟越 桂
中山 真理
聞き手・文

いたらぬ想いの彼
方に

天童 荒太

とまどいつつ訪れ
るもの

水沢 勉

数少ないホントの
作り手

酒井 忠康

彫像の詩学―舟越
桂作品パーマネン
ト・コレクション
北海道・芸術の森
美術館

八代 彰子

彫像の詩学―舟越
桂作品パーマネン
ト・コレクション
東京都現代美術館

森 千花

彫像の詩学―舟越
桂作品パーマネン
ト・コレクション
石川・金沢21世紀
美術館(仮称)

越前 俊也

彫像の詩学―舟越
桂作品パーマネン
ト・コレクション
東京・世田谷美術
館

清水 真砂

「想い」をためて

西村 建治

そしてまた私に美
術を教えてくれる
人々

舟越 桂

彼は誰と約束をし
たのか

南郷 宏

危険な男

椿 昇

水底に堆積する言
葉

斎藤 環

中特集 舟越桂 イン
タビュー ささや
くかたち

舟越 桂
編集部
聞き手

美術の窓 235

舟越桂の月刊日誌
1〜8

" 236〜243

私と大英博 下 舟
越桂さん 重厚・繊
細 巨匠に注目

舟越 桂 朝日夕刊 10.6

創作探訪 彫刻家舟
越桂のアトリエ 心
に潜むイメージを形
に

白木 緑 日 経 3.30

『二百年の子供』挿絵
の舟越桂さん 静け
さの中に深い精神的

読 売 5.10

「舟越桂全版画 1987～2002」	(清)	〃	6. 15	「記憶するために」	堀	浩哉	多摩美術 大学研究 紀要	17
中原悌二郎賞 舟越 さんが受賞[舟越桂]		〃	6. 25	日展にのぞんで 塊 と動勢	堀	豊之	日展 ニュース	110
ひと 第41回朝日陶 芸展でグランプリ受 賞 古川敬之さん	宮崎 陽介	朝 日	8. 22	Close-up5 堀由樹 子 日常へのまなざ しから立ち現れる世 界			ギ ャ ラ リ ー(月 刊)	224
名画塾 「夏の月」熊 谷守一(1880～1977)	古山 浩一	ARTの森	14	第10回日本文化芸術 振興賞に 荒川修作 氏+マドリン・ギン ズさん 奨励賞は堀 木エリ子さん	(美)		新美術新 聞	991
特集 絵画輪廻転生 法貴信也	福永 信	美術手帖	832	ひと 日本現代芸術 奨励賞を受賞 堀木 エリ子さん	喜多 由浩	産 経		4. 3
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 北城 貴子	永草 次郎	〃	〃	甞れニッポン人 堀 木エリ子さん 手す きを現代風アート に。「伝統守るには 新たな用途」	猪瀬 聖	日経夕刊		3. 10
文化 絵巻に輝く移 民の汗 ハワイ日系 人の歴史、20巻700 カットに	北條 楽只	日 経	1. 13	巻頭特集 ピカソの 古典主義1914～1925 野良猫ピカソ	堀越 千秋	美術の窓		241
Go Artists Go! 星 晃	小林 玉紀	美術手帖	842					1. 25、 2. 22、 3. 29、 4. 26、 5. 31、 6. 28、 8. 2、 9. 27、 12. 27
近代大阪における女 性画家の研究—島成 園と「女四人の会」の 画家を中心に—[星 野(岡本)更園]	小川 知子	鹿島美術 財団年報 別冊	20	絵かきがゆく	〃	読売夕刊		
会いたい! 手足の 自由失い筆くわえて 創作 感動する心で 描く 詩画作家星野 富弘さん		読 売	11. 3	明治の絵葉書 其の 12 本田穆堂 キル ヒナーと花の使者	生田 誠	目の眼		327
第七九回展 受賞者 の言葉(絵画部その 2)[星野文和]		春 陽	84	文化 箱根寄木細工 名品伝える 江戸時 代からの口伝の技、 美術館開き10年	本間 昇	日 経		6. 13
手帳 没後7年星野 道夫氏関連書相次ぐ	松本 由佳	読売夕刊	6. 25		(マ)			
フォーカス 芸術貢 献で英国特別勲章 写真家細江英公氏		日経夕刊	9. 16	前史雄1985～2001年 作品の解説	前 史雄	金沢学院 大学紀要		1
アーティストクロ ーズアップ97 細谷正 之 遠くばかりを見 るのではなく、足も とから真実を見つ きたい。		ギ ャ ラ リ ー(月 刊)	213	第七九回展 受賞者 の言葉(版画部)[前 田光一]		春 陽		84
セゾンアートプログ ラム 「美術家助成 プログラム」受賞者 に牡丹靖佳氏、青木 克世さん	(美)	新美術新 聞	982	加山四郎先生と私	前田 舜敏	〃	〃	〃
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 牡丹 靖佳	白坂 ゆり	美術手帖	832	先生、個展の準備は できましたか?—前 田藤四郎「昭和エ ピナール」を讀えて—	橋爪 節也	〃	〃	〃
そば猪口を探す小 さな旅[堀田あきお、 かよ]		目 の 眼	325	特集記事「大地の芸 術祭 越後妻有ア ートトリエンナーレ 2003」を見て 1 アートの可能性と可 能性としてのア ート—地元から	前山 忠	あいだ		94
日本画製作(1997～ 2001)	程塚 敏明	筑波大学 芸術学系 研究報告	40	アトリエの扉をあ けて52 生命力をた えた墨色の小宇宙 牧かほり	杉瀬 由希	デザインの 現場		131
平成12年度特定研究 B 「シルクロード の遺跡で感じたこ と」	堀 研	広島市立 大学芸術 学部紀要	8					

平成15年定期刊行物所載文献(近／作マ)

牧進氏池上本門寺に「煌櫻」を奉納	(常)	新美術新聞	992	コルシカ島在住の画家松井守男さん 面相筆で描く紺碧の海努力一筋…着実な評価	藤田 綾子	産 経	11. 28
日蓮の桜額面に咲く池上本門寺・霊宝殿日本画家牧さん大作「煌櫻」を奉納[牧進]		読 売	4. 5	顔 仏レジオン・ドヌール勲章を受章する画家 松井守男さん	鶴原 徹也	読 売	9. 18
建築家・横文彦氏の集大成2作 都市スケールの公共空間	松葉 一清	朝日夕刊	5. 14	ようこそ 松井雪子さん 漫画家・作家魂のゆくえに思いめぐらせ	佐久間文子	朝日夕刊	5. 21
人の語感に対する建築 声原義信さんを悼む	横 文彦	毎日夕刊	9. 30	Aはアートの、Bはブックの… 松江泰治 作品集『TAIJI MATSUE』	松江 泰治	美術手帖	842
巻頭特集 魂の探求者 ゴッホVSレンブラント ゴッホに寄せて 闇の中で輝く光	馬越 陽子	美術の窓	240	見尽くせぬほど細密な地表面 松江泰治 写真集『TAIJI MATSUE』	前田 恭二	読売夕刊	10. 2
巻頭特集 画材と技法 油絵派 油絵具を食べたいほど好き	馬越 陽子 松嶋 励路 取材・文	"	242	文化 個性に迫る似顔切り絵 本業は舞台俳優、作家や落語家を「一筆」で描く	松尾 智昭	日 経	3. 6
正岡子規の画譜鑑賞	岡戸 敏幸	鹿島美術財団年報別冊	20	藤田龍児先生を偲んで	松生 良人	美術文化	24
90歳のマサコさんハサミちゃんちゃん豆紙人形「情熱人生連ドラに」署名4万「マサコ・ムトー」	河合真美江	朝日夕刊	2. 17	ローマ開催日本美術展覧会出品作—松岡映丘《今昔ものがたり伊勢図》	森 充代	アマリリス	70
ART iT独断—日本の若手作家10人 眞島竜男	坂口 千秋	ART iT	1	《草枕絵巻》について [松岡映丘一門]	川口 順啓	山口蓬春記念館研究紀要	3
ようこそ 増浦行仁さん 写真家「即実行」で土門拳の足跡たどる	吉村 千影	朝日夕刊	12. 17	絵ゴコロ読みドコロ熱帯の感動素直に表現 絵本作家松岡達英さん	大平佐和子 構成	朝日夕刊	2. 20
文化 レンズの中に彫刻の魅力 ミケランジェロ作品中心に教会などで撮影	増浦 行仁	日 経	4. 7	建築史のパラメーター 明治建築史の端緒を拓いた日本人建築家[松ヶ崎萬長]	岡田 義治	建築雑誌	1506
増浦行仁作品集「ジェネシス」	(前)	読 売	4. 20	文化 挿絵で導く庶民の教養 画家・松川半山、名所や文明開化の知識を広める	長友千代治	日 経	7. 31
(社)日本南画院理事長に町田泰宣氏を再選	町田 泰宣	新美術新聞	1010	独立珍談録1～8	松樹 路人	新美術新聞	985～992
日展にのぞんで 転機となったこと	町田 博文	日展ニュース	110	大英博展 ポスター完成 豪華さと多彩さ予感させる出来[松下計]	(高)	新美術新聞	1000
松井康成氏追悼	外館 和子	陶 説	604	第7回新生展 井上恵子・松下俊・宮永直人が優秀賞を受賞	松島 治基	春 陽	84
気魄の師 松井康成先生	岩瀬 健一	"	"	藤井令太郎さんと私	金子 一夫	一 寸	16
惜別 陶芸家として人間国宝 松井康成さん	川村 二郎	朝日夕刊	5. 12	図画教育者列伝(二) 松田霞城(その六)	北村 仁美	東京国立近代美術館研究紀要	8
追悼抄「人間国宝」の陶芸家 松井康成さん 往生極楽の思想形に	小関 新人	読 売	5. 25	松田権六資料の基礎的研究—手帳を中心として			
特集 現代アーティスト10組の仕事場に見るアトリエの建築的冒険 劇的リノベーションから共同スタジオまで 松井智恵・石原友明「M. I. STUDIO」	永草 次郎	美術手帖	838				

惜別 東映の草創期 支えた映画監督 松 田定次さん 華麗な チャンバラ編集に技	阿久沢悦子	朝日夕刊	2. 17
designscape36～41	松田 行正	デザインの 現場	126～131
特集 本をつくりた い!! 松田行正 「年に一冊」継続出版 の秘訣	石田 純子	"	130
第七九回展 受賞者 の言葉(版画部)[松 田洋子]		春 陽	84
玄々堂二代と松田龍 山 銅・石版画遺聞 13 附・松田龍山と 水路寮の銅版海図	森 登 一 寸		15
知られざる神秘空間 レオン・スピリアー ルト展1	松永 真	東京夕刊	4. 23
第七九回展 受賞者 の言葉(版画部)[松 野登美子]		春 陽	84
松村明写真集「路地 を抜けると」		読 売	2. 16
わたしの好きなもの 少数民族の芸能	松本 秋則	新美術新聞	999
第七九回展 受賞者 の言葉(絵画部その 1)[松本篤]		春 陽	84
近代大阪における女 性画家の研究—島成 園と「女四人の会」の 画家を中心に—[松 本華羊]	小川 知子	鹿島美術 財団年報 別冊	20
見世物はおもしろい 生人形の話—松本喜 三郎と安本亀八	木下 直之	太 陽 (別冊)	123
アートスクール時代 とその後の仕事 松 本弦人 アートディ レクター	松本 弦人	美術手帖	837
特集 〈生と死〉と美 術 III美術史学・美 術批評と〈生と死〉 「夭折の画家」評価を めぐる断章 青木繁 と松本竣介の場合	田中 淳	美 術 フォーラ ム21	8
美の美 松本竣介一 天に続く道上、 中、下	小島 英熙	日 経	10. 5、 12、19
インタビュー 松本 力	斎藤 一典 聞き手	e t c .	52
未歳生まれの五人衆 還暦を語る	松本 哲男	新美術新聞	980
巻頭特集 '03風景 画セレクション 松 本哲男氏が選ぶ 風 景画十選		美術の窓	243
特集 ブックデザイ ン批判 書物は、手 で持ち、目で読むも の 現代造本批判	松本 八郎	ユリイカ	482

画家たちの美術史 松本 春崇 4ism絵 画の個体発生学	鷹見 明彦	美術手帖	839
不思議な話	松本 博貴	明星大学 研究紀要	11
『画集SHIN—ON』松 山修平著	高橋 敏治 早瀬 圭一 聞き手	毎 日	11. 5
特集 新しい身体と 彫刻の美学 Figure /Sculpture プロダ クトの中の新しいヒ トのかたち 真鍋菜 見江	小田切 博	美術手帖	840
果てしなく・あくが れ出ずる・ブルー —坂東青樹氏を偲ん で—	圓尾 博一	美術文化	24
「ホモ・サピエン スってどんな動 物？」	"	"	"
こころの四季 「沖 縄戦の図」で帰郷を 決意 佐喜眞道夫さ ん[丸木位里、俊]	鬼束 信安	読 売	5. 14
時のかたち 獣	丸田 祥三	朝日夕刊	3. 20
丸投三代吉・なごみ の原点	亀田 正司	姫路市立 美術館だ より	80
今 思う	丸山 司瑠	美術文化	24
巻頭特集 画材と技 法 実力派人気作家 21名にきく あなた は油絵派? アクリル 派?	丸山 勉	美術の窓	242
画家たちの美術史 丸山直文 ステイン —予兆でもある記憶 の光彩	鷹見 明彦	美術手帖	835
(ミ)			
第七九回展 受賞者 の言葉(版画部)[み いださかえ]		春 陽	84
私の作陶譚	三浦 景生	淡 交	704
特集 生涯で最も重 要な出会い 重要な 出会いとは…	三浦 照	自由美術	2003
文化 独オペラ魅せ る背景画 バイエル ン歌劇場の舞台美 術、日本人が奮闘	三浦 真澄	日 経	8. 29
編集委員が読む あ る情熱のかたち 絵 をなげうった画家の 「作品」[三尾公三]	芥川 喜好	読 売	7. 6
PAPER IN MY WORK88 文 京 図 案室[三木俊一] ア ノニマスな紙遊び	橋本 麻里	デザインの 現場	130

Between XX and XXI — 9999 / AM- BIVALENCE / L'EN- FER・LE PURGA- TOIRE・LE PARA- DIS	三木 俊治	東京造形 大学研究 報	4	鳥の話	水こし町子	美術文化	24
新美術時評 生誕 100年—三岸好太郎 のモダン	柴橋 伴夫	新美術新 聞	995	「水谷清の作品につ いて」	廣江 泰孝	春 陽	84
三岸好太郎—転換と 連続	井上研一郎	美術運動 史研究会 ニュース	62	文化 「メリー」尋ね 笑顔と出会う 幸せ のメッセージ求め NYや神戸撮り歩く	水谷 孝次	日 経	2.13
「日本趣味」と三岸好 太郎	金子 信久	府中市美 術館だより	9	ひと 笑顔を撮り続 けるデザイナー 水 谷孝次さん	石川 健次	毎 日	2.6
空を飛ぶロマンティ シズム 三岸好太郎 展1	三岸黄太郎	東京夕刊	7.11	注目する新人作家12 人 水谷恵		版画芸術	120
三雲祥之助先生の思 い出	越智 雄二	春 陽	84	特集 本をつくりた い!! 水 野 学 「売る本」のためのコ ンセプトメイキング		デザインの 現場	130
アトリエの扉をあけて 47 三品雅子 異 次元をつくり出す色 の魔法	升田 希子	デザインの 現場	126	特別企画 学校へ行 こう! たくさんの 人に出会えた。それ だけでも、学校に 行った価値がありま す。 水野学	中島 優子	"	131
《Work — 2000 》 2000—01年 三島喜 美代(1932—)	安来 正博	国立国際 美術館月 報	133	新春特集2002回顧と 2003展望 女性の視 点から 第三部アン ケート 美術家はこ う見る	雨宮 敬子 池口 史子 岩田 糸子 内田 あぐり 上田 陽子 笹戸 津子 志村 節子 三谷 青子	新美術新 聞	980
世界ライトアップ巡 り 46カ 国・160都 市の夜景、2 万点超 す写真に	三島 叡	日 経	12.2	青春プレイバック 三谷青子 東京都武 蔵野市、三鷹市・都 立井の頭恩賜公園	常盤 茂	"	991
座談会「生涯で最も 重要な出会い」	阿部 早苗、 國定 正彦、 榎本 ひろ お、 庄 司 多津 男、 田中シンタ ロウ 醍 醐 イ サ ム、 ミズテツオ 司会	自由美術	2003	第七九回展 受賞者 の言葉(版画部) [三 田村直美]		春 陽	84
制作ノート 水上泰 財	水上 泰財	武蔵野美 術大学研 究紀要	33	文化 伽藍彫刻の美 生き写し アンコ ール・ワットの芸術、 10年かけ拓本に	道浦 拱陵	日 経	8.27
Close—up1 水上央 子 「いま、ここ」か ら「未だ見ぬ世界の 果て」へ		ギャラ リー(月 刊)	222	第七九回展 受賞者 の言葉(絵画部その 2) [道広真衣]	三井 永一	"	"
第7 回手塚治虫文化 賞 特別賞 水木し げるさん		朝 日	5.27	岡さんのこと	"	"	"
風韻 ささっと逃げ れば、勝ち 漫画家 水木しげるさん	由里 幸子 イ ン タ ビュー	朝日夕刊	4.18	第七九回展 受賞者 の言葉(版画部) [光 崎賢治]		"	"
私の履歴書 1～30	水木しげる	日 経	8.1～10、 12～31	特集2 アーティスト とミュージアム の、新しい関係? 美 術の中のかたち一 手で見る造形— 光 島貴之が兵庫県美の 収蔵庫に入った		ド ー ム	71
荒俣宏の不思議歩記 水木先生 小粒な不 幸をいとおしむ[水 木しげる]	荒俣 宏	毎 日	6.29	現代作家紹介 触れ ながら描く 光島貴 之という快楽	服部 正	美 術 フォーラ ム21	8
こだわる! スク ラップ 漫画家水木 しげるさん	清水 靖子	"	11.16	ウェアーのためのテ キスタイル	皆川魔鬼子	多摩美術 大学研究 紀要	17

特集 21世紀の戦争と美術 イラク戦争以後のアートを考える イラク戦争はまだ始まっていない 港千尋×毛利嘉孝	編 集 部 構成	美術手帖	835	2003年 期待のアーティスト 三宅信太郎「かわいく描ければ満足」	洪沢 和彦 産 経	1.11
eメール時評 写真が生む現代の奇跡	港 千尋 朝 日		1.9	新・表現考 メディア時代の版画の手わざ 木版画対談 緒賀岳志×宮崎敬介 技と現代性	辺見・岡部 構成	版画芸術 122
ゼロサン時評 「地球の肺」に広がる影	" "	" "	7.3	巻頭特集 巨匠展 今そして未来2003	宮崎 進	美術の窓 235
ゼロサン時評 ウェブで復活する物語	" "	" "	10.30	世界街から パンコク 最新の現代美術は「盆栽」	宮崎 真子 朝 日	2.22
(バリ写真)の世紀 今橋映子著 詩と共有した初源の、まなざし	" "	日 経	7.6	世界画から日本絵画へ1 宮廻正明 永遠の結晶	切刀 知子	美術の窓 236
特集 中国幻想奇譚 羊と仙人	南 伸坊	ユリイカ	471	技法講座37 宮廻正明 紙本裏彩色による日本画《前編》《後編》	松嶋 励路 取材・文	" 239、240
私の視点 ゴッホ落札 口に出せない芸術のお値段	" "	朝 日	2.15	新作の背景 宮廻正明《瀾日路》	石川 健次	毎日夕刊 11.7
建築家・南信の経歴と住宅作品にみられる特徴について	井上 祐一 初田 亨	日本建築学会計画系論文集	571	新・作家への道標 102 宮島達男・光が刻むそれぞれの生命 死を意識して生きる彼らの時間と死を意識しないで生きる僕らの時間		ギャラリー(月刊) 219
特集 森山大道 中平卓馬 格闘写真史 196X—200X 時空の二重性に貫かれた写真家、森山大道	南 境 泰裕 裕人 構成	美術手帖	833	アートプロジェクト・リポート ニュータウンでのカウントダウン 和泉シティプラザ内「宮島達男 時の庭 TIME GARDEN」	竹田 直樹	美術手帖 836
南大路さんのこと [南大路一]	三井 永一	春 陽	84	クローズアップ 1000人参加の美術作品に挑む宮島達男さん		日経夕刊 6.12
特集 峯孝を偲んで 峯先生と私	高階 正光	自由美術	2003	特集2 三代藍堂 宮田宏平展—金属造形の先駆け		現代の眼 540
特集 峯孝を偲んで 座談会「峯孝を語る」	池田 宗弘、 二森 駿、 中嶋 一雄、 健二 岡村 光哲 司会	" "	" "	終わりのない物語—水平線の彼方へ	松原 龍一	
特集 生涯で最も重要な出会い 重要な出会いとは…	美濃 俊幸	" "	" "	宮田藍堂さんのこと	山根 基世	
TOKYO発 当世デジタル浮世絵師 OLから転職、独学画家みはしりさん	出田 阿生	東 京	2.3	特集 長寿広告の秘密 宮田識×PRGR [横浜ゴム]	大城 謙司	デザインの現場 128
東京サンケイビル壁面芸術制作 都市に集う生命表現 “巨大な木”イメージ	三原 研	産 経	5.10	「切り絵の世界」を北京に 10月23日から故宮博物院 外国人、初の個展 故宮田雅之氏		産 経 9.19
空気のつぶの色	三森 早苗	明星大学研究紀要	11	第7回新生展 井上恵子・松下俊・宮永直人が優秀賞を受賞	(高)	新美術新聞 1000
木馬	宮 いつき	多摩美術大学研究紀要	17	CARDBOARD HOUSES 宮本隆司	白坂 ゆり	ART iT 1
明治の絵葉書 其の7 三宅克己・水彩画絵葉書の流行	山田 俊幸	目の眼	322			
LIVE ARTIST 三宅砂織 今一番必要なアートとは?	三脇 康生	版画芸術	120			

「傾く小屋—美術家たちの証言 since 9. 11」展《ビンホールの家》	宮本 隆司	セゾンアートプログラム・ジャーナル	10	生誕100年記念特集 現代版画の父棟方志功			版画芸術	119
				ドキュメント 棟方志功が拓いた現代版画の道	秋田 構成			
[連続企画] さよなら食糧ビル 宮本隆司「食糧ビル解体」都市を狩る	白坂 ゆり	美術手帖	834	初公開！遺された棟方志功の日記板を影りながら、太平洋を航海した棟方志功	掛谷 清子			
対談 宮本隆司×塚本由晴 ビンホール・ハウスと「小さな家」からの眺め		"	841	棟方令明氏(棟方板画美術館館長)に聞く 一本の道を歩み続けた人	秋田 構成			
特集 ダニエル・リベスキンド 一九九五年に見たユダヤ博物館	宮本 隆司	ユリイカ	474	棟方板画マーケット事情	戸 田			
視線『CARDBOARD HOUSES』宮本隆司著	大竹 昭子	朝 日	8. 24	棟方志功生誕100年記念 知られざる棟方志功—油彩を中心に—挙公開		"		122
交遊抄 表現者の責任	宮本 隆司	日 経	12. 23	美の現在 棟方志功生誕百周年に問う 先取りした「地域主義」「板画」と肉筆表情—変	高階 秀爾	朝日夕刊	8. 6	
宮本隆司写真集「CARDBOARD HOUSES」	(前)	読 売	7. 27	勝手に首都圏データベース 棟方志功とんかつ茶漬けの緻密	渡部 薫	"		12. 22
こと場 宮脇愛子さん 彫刻家		朝日夕刊	4. 3	「釈迦十大弟子」下書き発見 感性の棟方意外と綿密[棟方志功]		産 経		3. 17
文化 町並み「測り魔」の遺産[宮脇檀]	中山 繁信	日 経	4. 1	棟方志功「釈迦十大弟子」の下絵 幻の画稿3点発見		東 京		3. 16
こころの風景	三輪 休雪	朝日夕刊	10. 27~29	窓[棟方志功]		日 経		3. 17
三輪壽雪氏へのインタビュー	外館 和子	陶 説	605	創作探訪 棟方志功生誕100年「即興の天才」は神話だった構想は綿密、視野も広く	竹田 博志	"		11. 9
風韻 日本一粗末な仕事部屋じゃ 陶芸家三輪寿雪さん	福島 建治	朝日夕刊	8. 29	Town 棟方志功の青森市「日本のゴッホ」雌伏の地	(義)	日経夕刊		10. 29
画家たちの美術史 三輪美津子 フォト・ペインティング・ミステリー	鷹見 明彦	美術手帖	838	美術百科「この人のこの一点」の巻 村井正誠《クリシフィ》	植野比佐見	和歌山県立近代美術館 ニュース		34・35
現代作家紹介 三輪美津子の近作	金井 直	美術フォーラム21	8	交遊抄 同じにおい	村岡 三郎	日 経		4. 5
この人 萩焼・三輪窯の12代当主・休雪を襲名した 三輪龍作さん		東 京	5. 13	村上華岳筆《日高河清姫図》再考—インド細密画との関連から—	重松 知美	デアルテ		19
ひと 萩焼の十二代三輪休雪を襲名した三輪龍作さん	木下 武	毎 日	4. 20	美の美 村上華岳—画室の行者 上、中、下	宝玉 正彦	日 経		10. 26、11. 2、9
	(ム)			コレクションの眼 村上暁子		版画芸術		121
土佐美術史外伝40 向井潤吉	鍵岡 正謹	高知県立美術館 ニュース	42	特別インタビュー 宮脇修一氏に聞く [村上隆]	宮脇 修一	アート トップ		193
第101回受賞者インタビュー 第1回あさご芸術の森大賞展 六田貴之		ギャラリー(月刊)	213					
詩歌を主題とする棟方志功の版画について—戦前の初期作品を中心に—	吉村 有子	鹿島美術財団年報別冊	20					

日影 眩の360°の ニューヨーク106 2003年秋、蔡国強の 花火スベクタクル、 村上隆のマーケッ ト・ワールドの偶像 VS小野知美のネイ チャー版画	日影 眩	ギャラリー (月刊)	223	That's! エンターテ インメントFriday 村上隆氏の作品米の 画商落札 “高値の 花”フィギュア6810 万円			5.16
現代美術における戦 略と戦術 村上隆と トーマス・ヒルシュ ホルンをめぐって	椎原 伸博	実践女子 大学文学 部紀要	45	TOKYO発 幼稚力 宣言 村上隆 作品 世界触れに、アトリ エを訪ねました。	増田恵美子	東京	6.27
現在通信from NEW YORK 村上隆 & LV [村上隆]	富井 玲子	新美術新 聞	992	「おまけ」がアートに 村上隆氏とタカラが タッグ			10.9
特集 心のひみつ・ アートの衝動 過剰 と浄化の果ての東京 アート 村上隆が語 る「東京ガールズブ ラボー2」	村上 隆 編集 構成	美術手帖	831	村上隆氏作の少女像 6600万円で落札		日経	5.16
ART HEAD QUAR TERS スーパーフ ラット・制作システ ム 村上隆『けげけ ば』と『DOBSF ふ しぎの森のDOB君』	中川 素子		836	創作探訪 村上隆流 「千手観音」 背丈7 メートル鎮座しまし ますNY	白木 緑		7.6
書評 北澤憲昭『日 本画』の転位』	村上 隆						1.22、 4.17、 5.29、 6.26、 8.28、 9.30、 12.22
村上隆インタビュー (前編) ヴェネツィ アからGEISAIへ	編集 部 ききて・構 成		839	村上隆の芸術道場	村上 隆	毎日夕刊	
村上隆の造形的挑戦 1995—2003 海洋堂 専務・宮脇修イン タビュー「超・食玩」 開発計画			840	オタクは世界にはば たく 村上隆さん多 彩に活躍	石川 健次		7.11
村上隆インタビュー (後編) メディアと しての食玩からいま そこにある社会彫刻 へ	楠見 清 ききて 原田 環 (カワイイ ファクト リー) 構成			快進撃の現代美術家 村上隆さん 展覧会 よりイベントで	前田 恭二	読売夕刊	6.3
おとな新世紀 現代 不惑考2 荒野 居 場所定め静かな戦い [村上隆]	宮崎 健二	朝 日	1.8	特集 生涯で最も重 要な出会い ライバ ル	村上 裕介	自由美術	2003
おまけ玩具アートの 時代 タカラ 人気 美術家作品を採用 [村上隆]			10.9	自分を見つめて	村上よ志子	美術文化	24
単眼複眼 映像の可 能性示した村上と島 袋 制御された官能 と予測できない日常 [村上隆]	大西 若人	朝日夕刊	3.22	村田省蔵1999～2000 年作品の解説	村田 省蔵	金沢学院 大学紀要	1
科学してですか? アニメ方式でアート 村上隆さん(アーチ スト)	服部 桂		6.14	特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 村林 基	白坂 ゆり	美術手帖	832
NYに「不思議」立体 像[村上隆]	福島 申二		9.10	漆 自然からの贈り 物43、44	室瀬 和美	毎 日	8.10、17
ルイ・ヴィトン 満 開 表参道店 現代 アート出現[村上隆]		産 経	3.4		(メ)		
				アートスクール時代 とその後の仕事 明 和電機 アーティスト	明和電機	美術手帖	837
					(モ)		
				画家たちの美術史 母袋俊也 フォー マート探究と統合の 場所	鷹見 明彦		834
				大地の芸術祭 越後 妻有アートトリエン ナレ2003の歩き方 対談 鷹見明彦×母 袋俊也 超風景知覚 装置(ハイパー・サ イトシーイング・メ ディア)を探せ!			839
				碌山一周忌での望月 桂のスケッチ	山田 芳弘	碌山美術 館報	23

平成15年定期刊行物所載文献(近/作モ)

巻頭対談 MO-TOKO×グルーヴィ ジョンズ		美術手帖	834	ジェラルド・マラン ガ×森山大道「す べて白と黒の世界へ そして写真はつづ く」	大城 譲司	STUDIO VOICE	333
新・表現考 メディ ア時代の版画の手わ ざ リトグラフ対談 元田久治×北爪潤 版と絵との距離	秋 田 構成	版画芸術	122	光の狩人—森山大道 の軌跡	松実 輝彦	美術運動 史研究会 ニュース	60
こころの四季 常に 被写体と同じ視線	本橋 成一	読 売	10. 8	特集 森山大道 中 平卓馬 格闘写真史 196X—200X		美術手帖	833
手帳 元藤樺子さん 追悼のタペ「土方」 舞踏一時代に幕	松本 良一	読売夕刊	12. 3	森山大道インタ ビュー	三 橋 純 ききて		
ニューヨークの話題 森万里子の超大作 「WAVE UFO」	森口 水翔	新美術新 聞	995	時空の二重性に貫 かれた写真家、森 山大道	南 泰 裕 境 ききて・構 成		
書索省鑑	森岡 隆	筑波大学 芸術学系 研究報告	40	砂漠よさようなら—森山大道の光 と影	清水 穰		
特集 日本伝統工芸 展五〇年 日本伝統 工芸展のこれから	内山 武夫 森口 邦彦	文 化 財 (月刊)	481	移動しつづける 闇、そして閃光 多面的なる森山大道を追って	赤坂 英人		
試される平和 緊迫 イラク 写真家森住 卓さん		東 京	3. 12	「動機と行為の直 結」を目指す写真 家たち 森山と中 平の苦悩をこそ起 点に据えよ	島原 学		
巻頭特集 女性の美 学 森田りえ子が選 ぶ裸婦十選	森田りえ子	美術の窓	238	格闘写真史年表			
表紙解説 森戸果香 筆「義朝父子」(目黒 雅叙園美術館蔵)	川口 直宜	刀剣美術	552	単眼複眼 いまなぜ 森山氏・中平氏の写 真か「現在の起源」 へ高まる関心[森山 大道]	大西 若人	朝日夕刊	10. 29
特集 森村泰昌が語 る 伝説の女性画家 フリーダ・カーロの ざわめき	森村 泰昌	芸術新潮	645	人語る 写真家森山 大道 また新宿にも どるよ		日 経	9. 14
特集3 アートの中 のセルフイメージ		化粧文化	43	第44回毎日芸術賞 森山大道氏 写真集 「新宿」(月曜社)	飯沢耕太郎	毎 日	1. 1
私の体験的セルフ イメージ論	森村 泰昌			森山大道さんのお品 書き コンビニにお にぎり 撮影の緊張一 気にほぐす	高橋 直彦	読 売	2. 24
こだまするセルフ ポートレート[森 村泰昌]	原田 環			特集 生涯で最も重 要な出会い 男と女 について	諸橋あずさ	自由美術	2003
舟越桂展 私の出会 い 下	森村 泰昌	朝 日	5. 16	三次元CGワザ盗め 「ルパン三世」モン キー・パンチさん 東京工科大の院生に		朝日夕刊	5. 9
ヴェルサイユ特集 美の極み ヴェルサ イユせん望が歴史揺 るがす 美術家森村 泰昌氏が鑑賞	"	日経夕刊	2. 24	時評的発言 芸術の 目的、芸術の自律性 論議、万博参加批判 の批判など	門田 秀雄	構 造	14
わたしとおかあさん 美術家 森村泰昌さ ん	"	毎 日	4. 9	大塚睦追悼 戦後美 術の夜と昼	"	"	"
巻頭特集 巨匠展 今そして未来2003	森本 草介	美術の窓	235	追悼日向あき子 日 本のひとたちに役立 ちたい：につぼん・ ポピビズム—日向あ き子の最晩年の世 界—	"	"	"
Portfolio 森本美絵 スライサー2003	橋口 薫	美術手帖	842		"	"	"
座談会 美術の教育 現場における斎藤義 重	飯塚 八朗、 守屋 行彬、 千石 英世、 金 昌永 パネラー 中川 猛 進行	芸術評論	別冊		"	"	"

土曜訪問 30歳少年「釣りキチ三平」生みの親 漫画家矢口高雄さん	(ヤ)	三品 信	東京夕刊	6. 21		精錬所跡 アートに再生 瀬戸内・犬島美術作家・柳幸典さんが着手 三島をモチーフに「イカロスの塔」	中島 結実 朝 日	10. 16
教育ふあいる 漫画家矢口高雄さん 道草で学んだ自然		富所 浩介 聞き手	読 売	8. 18		柳宗悦と有縁の人々(12) 織物作家 柳悦考と帯	近藤 京嗣 陶 説	609
特集 マンガはここにある・作家ファイル45 どうして恋をするだけでは幸せに出来ないのか 矢沢あいにおけるイノセント		鈴木 謙介	ユリイカ	485		0号への誘いPart15 柳沢正人	柳沢 正人 新美術新聞	993
巻頭特集 画材と技法 油絵派 俯瞰の視点で空間を描く		矢澤健太郎 松嶋 励路 取材・文	美術の窓	242		柳原睦夫の陶芸―「うつわ」と「造形」の両立をめぐる	乾 由明 陶 説	604
安井曾太郎《樹陰》―制作過程を探る		村上 美保	愛媛県美術館研究 紀要	2		柳原睦夫の軌跡	鍵岡 正謹 " "	
東京画廊・石井利治氏に聞く3―安井曾太郎の葬儀、駒形十吉、日本芸術大賞―		中山 ゆかり、五十殿利治 聞き手	現代芸術研究	5		『Ryohei Yanagihara』柳原良平著	芸術新潮	645
日展にのぞんで 作り手にとつての作品		安田 敦夫	日 展 ニュース	110		帰ってきたトリスおじさん 懐かしいけれど新しい 柳原良平さんの本も刊行	佐藤 由紀 毎日夕刊	7. 4
安田虚心さん「雲龍図」を彦根清涼寺に奉納		(常)	新美術新聞	1007		特集1 牛腸茂雄 写真のスタンダード―「牛腸茂雄」という記憶	柳本 尚規 現代の眼	539
オーダーのたのしさ		安田 浩人	淡 交	704		風韻 正義って弱いものなんです 漫画家やなせたかしさん	小原 篤 イ ン タ ビュー 朝日夕刊	7. 11
BAD INTERVIEW 安彦良和		大塚 ギチ イ ン タ ヴュー・文	STUDIO VOICE	332		着想の宅配便 漫画家やなせたかしさん 上、下	東 菜奈 産 経	4. 5、12
見世物はおもしろい 生人形の話―松本喜三郎と安本亀八		木下 直之	太 陽 (別冊)	123		アンパンマンの空耳 ノー ト 「Yanase 星」知ってるかい?	やなせたかし 読売夕刊	9. 13
一展逸点 相撲生き人形 安本亀八		山盛 英司	朝日夕刊	1. 25		生命の塔、未来の眼	ヤノベケン ジ 国立国際美術館月報	131
元気悠々 健やかに美しく		八十山和代	日 経	8. 16		《クイーン・マンマ》2002年 ヤノベケンジ(1965〜)	平芳 幸浩 " "	
日本の実力派たち 建築家谷内田章夫さん「住みたくなる」集合住宅デザイン		堀 聡	日経夕刊	8. 11		対談 磯崎新×ヤノベケンジ 分裂と逸脱の彼方へ―「デメ」を生んだ男と「デメ」が育てた男	編 集 部 美術手帖	829
特集 ダニエル・リベスキンド 私はダニエル・リベスキンドについて何を書く、あるいは書かないのか?		八束はじめ	ユリイカ	474		アトムを探せ 生誕年を迎えて(上) 彫刻家ヤノベケンジ チェルノブイリの旅 廃虚からの前進	石田 汗太 読売夕刊	3. 17
特集 新しい身体と彫刻の美学 Figure/Sculpture 対談 西山美なコ×やなぎみわ		山下 里加	美術手帖	840		新私のいる風景 美術家ヤノベケンジさん 廃虚から未来へ	高野 清見 " "	10. 18
羊年の人 美術家やなぎみわさん 多くと出会い独りで制作			読売夕刊	1. 9		矢橋丈吉年譜考	滝沢 恭司 現代芸術研究	5
特集 21世紀の戦争と美術 イラク戦争以後のアートを考える 柳幸典		福住 廉	美術手帖	835		特集 峯孝を偲んで座談会「峯孝を語る」	池田 宗弘、一雄、健二 森中嶋八幡岡村司会 自由美術	2003
						現代工芸作家シリーズ 魔術師たちの贈り物 第7回 八幡はるみ	富田 康子 アー ト トップ	192

平成15年定期刊行物所載文献(近/作ヤ)

アーティストクロ ズアップ106 飯内 佐斗司 エンターテ イメント意識の背景 に和の心!		ギ ャ ラ リ ー (月 刊)	220	フェイス21世紀50 ヤマダコウイチ	常盤 茂	新美術新 聞	988
第21回平櫛田中賞 飯内佐斗司氏に	(千)	新美術新 聞	990	版画は、いま 版画 マーケットの現況と 将来 証言・版画 マーケット FROM ARTISTS 1 山中 現さん 原点を見失 わない	秋 田 構 成	版画芸術	120
深井隆VS飯内佐斗 司 平櫛田中賞をめ ぐっていま木彫再燃 のとき	飯内佐斗司 深井 隆	"	1003	明治挿絵譚 前回の 補綴『挿絵節用』の 吟味『佳人之奇遇』 の挿絵—高橋節雄・ 浅井忠一/鎗木清方 の『新小説』表紙絵評 [山中古洞]	岩切信一郎	一 寸	15
日展にのぞんで 自 然と共に	山内 昇三	日 展 ニ ュ ース	110	この人 米アカデ ミー賞にノミネート アニメーション作家 山村浩二さん		東 京	3. 22
山岡山泉模写作品に ついて	岩竹 彰子	岡山県立 美 術 館 ニ ュ ース	64	巻頭特集 画材と技 法 実力派人気作家 21名にきく あなた は油絵派? アクリル 派?	山本明比古	美術の窓	242
山口八九子基礎資料 1—八九子の案内 状—	丹尾 安典	早稲田大 学津八 一記念博 物館研究 紀要	4	新作の背景 山本明 比古《サタール・ス トリートの鯨》	石川 健次	毎日夕刊	7. 4
蓬春先生・葉山の思 い出[山口蓬春]	畑井美枝子	山口蓬春 記念館研 究紀要	3	作家訪問313 陶芸 作家 山本一仁さん	編 集 部	目 の 眼	316
山口蓬春《宴》に描か れた「はにわ」につい て	久富 和志	"	"	美と出合う 上田市 山本鼎記念館「漁夫」 山本鼎	前沢 朋美	東 京	3. 16
蓬春研究ノート3 山口蓬春の印章につ いて	岡田 修子	"	"	惜別 「じぶた」を描 いた絵本作家 山本 忠敬さん 徹底取材 で子の心とらえる	山 盛 英司	朝日夕刊	2. 3
山口蓬春と仙台	笠 理砂	"	"	特集 マンガはここ にある・作家ファイル 45 対談マンガの 遺伝子の行方	江口 寿史、 山本 直樹、 山本 浩二 堅田 司会	ユリイカ	485
特別展記念講演 伝 統とモダン—山口蓬 春の場合	井上研一郎	"	"	特集 建築を学ぶ人 たちへ 初学者に薦 める本 『柳宗悦 茶道論集』熊倉功夫 編	山本 長水	建築雑誌	1512
蓬春日記について3 [山口蓬春]	豊成 貴紘 岡田 修子	"	"	文化 舞台背景画描 いて50年 大自然や 街並み、巧みな技術 で立体的に	山本富二夫	日 経	12. 8
蓬春宛書簡について [山口蓬春]	川口 順啓	"	"	芳翠従軍記[山本芳 翠]	丹尾 安典	一 寸	13
Artist Interview64 山口由起子 音楽の 聞こえる絵	石田 純子	デザイン の現場	131	Artist Interview59 山本祐司 つぶらな 瞳がチャームポイン ト	池上ちかこ	デザインの 現場	126
カーデザイナーとし て画家として画廊を オープンさせた山崎 亮志さん	(常)	新美術新 聞	1001	山本容子さんの絵本 箱	山本 容子	朝 日	4. 13、 5. 18、 10. 12、 11. 16、 12. 21
30年放浪幻の53作 「東海道五十三次」の 原画発見 山下清画 伯遺作		産 経	6. 12	日本大学総長のトッ プ対談 21世紀を語 る19回 本物だけが 持つ世界 精神の豊 かさ求めよ	瀬在 幸安、 山本 容子 対談 盆子原和哉 司会	産 経	5. 21
巻頭特集 画材と技 法 実力派人気作家 21名にきく あなた は油絵派? アクリル 派?	山下 充	美術の窓	242				
コレクションの眼 山下陽子		版画芸術	121				
美学会第五十四回全 国大会発表要旨 山 下りん、アイコン、仮 面、人形	鐸木 道剛	美 学	215				

フリーダ・カーロとその時代1	山本 容子	東京夕刊	7. 30
江戸博蔵めぐり 十二ヶ月年中江戸風俗山本養和画	畑 麗	読 売	11. 22
特集 建築と情報の新しいかたち 一回性の建築 山本理顕インタビュー	中西 泰人、 本江 正茂 聞き手	10+1 (Ten Plus One)	33
東京 第6部インタビュー3 建築家山本理顕氏 国は住まいの未来像を		日 経	2. 27
文化往来 山本理顕氏、公共建築の革新に挑む		"	3. 5
雑誌探索 (2)「異象」細目一舟 木重信・宇野喜代之介・関口次郎・伊藤武雄・藤森秀夫・山脇信徳らー	紅野 敏郎	資料と研究	8
(二)			
作家訪問319 陶芸家 雪ノ浦裕一さん	編集部	目の眼	322
(三)			
オールドスクールグラフィッカーズ 横尾忠則×生意気日本のナチュラル・サイケデリック?	紫牟田伸子 構成	STUDIO VOICE	332
特集 オノ・ヨーコ未来に贈るIMAGINEの力 横尾忠則が語るオノ・ヨーコ	西野 基久 構成	美術手帖	841
巻頭特集 素朴と神秘の画家 ルソーの秘密 密林シリーズについての一考察	横尾 忠則	美術の窓	237
巻頭特集 '03風景画セレクション 横尾忠則氏に聞く "Yの風景"の謎		"	243
いつもそばに本が上、中、下	横尾 忠則	朝 日	10. 19、 26、11. 2
遠い視線近い視点 19～41	"	東京夕刊	1. 15、 2. 5、19、 3. 5、19、 4. 2、16、 5. 7、21、 6. 4、18、 7. 2、16、 8. 6、20、 9. 3、17、 10. 1、15、 11. 5、19、 12. 3、17
空を飛ぶロマンティズム 三岸好太郎展5	"	"	7. 17
文化 意識と肉体とあの世から帰ってきた猫	"	日 経	10. 19
	"	毎日夕刊	1. 17

あこのころ アーティスト横尾忠則さん けがで生まれたプロ意識	今井 隆 聞き手	読 売	10. 6
庭からの視線15 公と私の境界を取り払う過激にして優雅な試み[横河健]	伊藤 公文 文 家 久家 靖秀 写真 川上典李子 編集協力	A X I S	103
特集 建築を学ぶ人たちに 初学者に薦める本『人間を幸福にしない日本というシステム』カレル・ヴァン・ウォルフレン著、篠原勝訳	横河 健	建築雑誌	1512
「女性を愛した二人の写真家」秋山庄太郎・横須賀功光さんを悼む	福原 義春	産 経	1. 29
アーティストクロウズアップ103 横田海 具象と抽象のはざままで紡がれた「魂の絵」		ギャラ リー(月 刊)	217
横堀先生と南城先生[横堀角次郎]	笠木 實	春 陽	84
現代建築思潮[討議] 部分的／離散的 ヨコミゾマコトと藤本壮介の建築	藤本 壮介 ヨコミゾマ コト 創平 今村公太郎 日登直彦 吉村 靖孝	10+1 (Ten Plus One)	33
「傾く小屋—美術家たちの証言 since 9. 11」展 《Floating》	横溝美由紀	セゾン アートブ ログラム ・ジャー ナル	10
随想 地歌「菜の花」と岡倉天心—横山大観作「菜の花」との関わりから—	水木 結	五浦論叢	10
第五六回全国大会研究発表要旨 横山大観筆《屈原》に関する試論	植田彩芳子	美術 史	155
らんぼう美術館16 第十五室 横山大観室	平松 礼二	美術の窓	235
横山大観筆「游刃有余 地 図 下 絵」をめぐって	中部 義隆	美のたより	141
画集細読Ⅱ：掲載作品と代表作[横山大観]	野本 淳	横山大観 記念館 報	19
画集細読Ⅲ：人物資料補遺[横山大観]	池田 博子	"	"
大観幻の名画、63年ぶり公開 島根の美術館 来月1日から連作「海山十題」の2点		朝 日	3. 14

平成15年定期刊行物所載文献(近／作ヨ、ラ)

大観連作 最後の2作		読 売	3. 14	街日和 修行でつかんだ「なじみ」感	吉田 戦車	朝日夕刊	9. 13
ガラバゴス象亀は地球の化身	横山 大観 [立体造形]	新美術新聞	1005	芥川記者の展覧会へ行こう 吉田卓「女の顔」	芥川 喜好	読売夕刊	2. 1
第62回美術文化展評	横山 敏明	美術文化	24	プロムナード ギをんの屏風	吉田 直哉	日経夕刊	7. 14
漫画家 横山まさみちさん 読者を宝に艶笑連載7500回	小原 篤	朝日夕刊	12. 15	プロムナード 雪のさんたまりや	" "	" "	8. 4
美の美 横山操一 彗星ふたたび 上、中、下	小島 英熙	日 経	5. 11、18、25	「小山先生」[小山富士夫]	吉田 喜彦	陶 説	602
特集 絵画輪廻転生 絵画百花繚乱 横山裕一	白坂 ゆり	美術手帖	832	未歳生まれの五人衆 還暦を語る	吉野 毅	新美術新聞	980
「倉田先生!」[倉田三郎]	横山 了平	春 陽	84	日展にのぞんで 馬との出会い	吉村 年代	日 展 ニュース	110
近代日本に於ける西洋絵画の受容について 1. 油絵専攻における本研究へのアプローチ 油絵の多元性について	吉井 章	広島市立大学芸術学部紀要	8	特集80年代建築／可能性としてのポストモダン 動物化する建築	吉村 靖孝	10+1 (Ten Plus One)	32
文化的建築を次世代に 日本画家故吉岡堅二旧宅 東大和郷土美術館(仮称)として整備なるか	常盤 茂	新美術新聞	981	ART HEAD QUARTERS 妻有トリエンナーレに完成したMVRDVの建築	" "	美術手帖	836
新・表現考 メディア時代の版画の手わざ デジタルイメージ対談 吉岡俊直×檀田珠実 新たなリアリティーを求めて	辺 見 構成	版画芸術	122	ゴッホの独創とは 生誕150年オランダで2つの展覧会	吉屋 敬	毎日夕刊	4. 2
美術館と財政	吉岡 治美	美術文化	24	第七九回展 受賞者の言葉(絵画部その2) [四谷明子]		春 陽	84
特集 ブックデザイン批判 吉岡実と「社内装幀」の時代	中島かほる インタビュー	ユリイカ	482	特集2 今日の人形芸術—想念の造形 私の人形史	四谷シモン 今井 陽子 文責	現代の眼	538
よみがえる伝統 美染織史家の吉岡幸雄さんら 植物染料の“技”復元	赤岡 東	産 経	10. 4	特集 新しい身体と彫刻の美学 Figure /Sculpture 対談 四谷シモン×マリオ・A	編 集 部 構成	美術手帖	840
THE PERSON NOW 吉賀あさみ	吉賀あさみ 談	ア ー ト トップ	190	追想録 伝統織物、半世紀ぶり復元 与那嶺貞さん		日経夕刊	2. 14
未歳生まれの五人衆 還暦を語る	吉賀 将夫	新美術新聞	980	没後70年 小林多喜二は小説を書いて殺された	米倉斉加年	東京夕刊	2. 19
翻刻：風俗研究家・吉川観方の日記(昭和8年分)	藤本 恵子	朱 雀	15	雨、落つ	米谷 清和	多摩美術大学研究紀要	17
日展にのぞんで 初入選の思い出	吉崎 道治	日 展 ニュース	110	制作の周辺	米谷 雄平	札幌大谷短期大学紀要	34
東京美術学校西洋画科卒業制作作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究1 吉沢喜作	佐藤 一郎 藤木島 隆康 大西伊藤 渡辺 郁夫	東京芸術大学美術学部紀要	39	PAPER IN MY WORK86 寄 藤文平 時代感覚を持ったブックデザイン	橋本 麻里	デザインの現場	128
インタビュー 吉田アミ	斎藤 一典 聞き手	e t c .	51	(ラ)			
土佐美術史外伝37 吉田左源二	鍵岡 正謹	高知県立美術館 ニュース	39	あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第18回 ある家元の生活と意見—十五代樂吉左衛門宅訪問記	稲賀 繁美	あいだ	95

特集 建築と情報の新しいかたち情報/建築の融合とデザイン 暦本純一インタヴュー	(レ)	中西 泰人、 本江 正茂 聞き手	10+1 (Ten Plus One)	33	社会活動にも取り組んだ彫刻家 若林奮さん 詩情にじむ静かな空間構築	田中 三蔵	朝日夕刊	11. 17
					文化往来 剛と柔、「彫刻家」貫いた若林奮		日 経	10. 13
Extension—Expanding the Space of Artistic Expression [エクステンション—拡張する美術表現の場—] ログズ・ギャラリー [濱地靖彦、中瀬由央] 土曜訪問 五感をはぐくむ場を創造 現代人は視覚に頼りすぎ 建築家六角鬼丈さん	(ロ)	神谷 幸江 イン タ ビュー	キュレー ターズ・ エッグ	5	若林奮さんを悼む物質と生命の根源を問う	市川 政憲	毎日夕刊	10. 14
					彫刻家若林奮さんを悼む「日の出」反対運動の思い出	水沢 勉	読売夕刊	10. 16
(ワ)					特集 本をつくりたい!!! SONIC-BANG CO. 編集や営業もデザインの一環 [若林恵]	大城 譲司	デザインの現場	130
		市川 真	東京夕刊	10. 4	森嶋外ゆかりの作家 4 和田英作	川西 由里	島根県芸術文化センター (仮称) 準備ニュース	10
傷ついた美術史 第20回〜第23回 ゴミと芸術 1〜4 [若林奮]		小泉 晋弥	アート トップ	189〜192	和田三造 柴田善三郎像 柴田伊代子像	柴田 勝則	エスプラナード	133
追悼 若林奮さんとの7年—「日の出の庭」を介して		西澤 美子	あいだ	95	和達知男日記『うたかた』下	水沢 勉	現代芸術研究	5
2002年度芸術選奨 文部科学大臣賞に若林奮氏、榊原悟氏 新人賞に遠藤秀平氏	(美)		新美術新聞	989	わたしの好きなものの屋根の上のぼったて小屋	渡辺 英司	新美術新聞	1001
日の出「緑の森の一角獣座」若林奮氏が東京都を提訴「作品撤去請求は無効」	"	"	"	993	巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派? アクリル派?	渡部 吟子	美術の窓	242
日の出・若林奮「緑の森の一角獣座」撤去費請求をめぐる第1回口頭弁論	"	"	"	1000	少女と画家 絵手紙交流 [渡辺淳]	朝 日	4. 25	
日の出・若林奮「緑の森の一角獣座」第2回高等弁論 撤去費請求をめくって	"	"	"	1004	渡邊武夫先生を偲ぶ会 派超え大きな牽引力として若い人達の育成に尽力	田中 実	新美術新聞	1006
新美術時評 追悼若林奮 越後妻有「夏の旅」	山脇 一夫	"	"	1007	駒井哲郎先生	渡辺 達正	春 陽	84
現代彫刻の第一人者 若林奮氏死去 “彫刻も自然の一部として大いなる循環の中にある”	"	"	"	"	農耕画家渡辺杜月 渡辺系二作品展に寄せて	富田 武	田原の文化	29
アートプロジェクト・リポート 自然破壊・環境被害に抵抗の意思 東京・日の出町 若林奮“新しい庭”の手入れ	西澤 美子	美術手帖	835	誌上展覧会 絵画の前で	渡邊 野子	セゾンアートプログラム・ジャーナル	10	
追悼 若林奮 大木とステッキ―「普通」の純度	小泉 俊巳	"	842	特集 中国幻想奇譚 諏訪緑とわたなべまさこ	小谷野 敦	ユリイカ	471	
				渡辺幹夫 逆説的な色彩メゾチント	秋 田	版画芸術	122	
				巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派? アクリル派?	渡部 満	美術の窓	242	

渡辺幽香 年譜稿	猿渡紀代子	横浜美術 館研究紀 要	5	Voice's Art Space VEGAS NEW SCHOOL イエック	STUDIO VOICE	334
第七九回展 受賞者 の言葉(絵画部その 2)[渡辺洋子]		春 陽	84	池依依依さん日光東 照宮に流鏑馬画を奉 納	(常) 新美術新 聞	1007
Artist Interview60 わたなべろみ シ リーズごとにスキル アップ	池上ちかこ	デザイン の現場	127	特集 ヨハネス・ イッテン—造形芸術 への道	現代の眼	543
アートスクール時代 とその後の仕事 わ たなべろみ イラス トレーター	わたなべろ み	美術手帖	837	ヨハネス・イッテ ンの造形探求	山野 英嗣	
				生成の根源へー イッテンの造形世 界	向井周太郎	

海 外

(ア)

文化 犬を通して人 間写し出す 気取ら ず表情豊かな、魅力 的な被写体撮り続ける	エリオッ ト・ア ウィット	日 経	10. 23			
世界の現代ガラスベ ストコレクション6 エルヴィン・アイ シュ	武田 厚	美術の窓	237			
／区分線をねじる／ (前編)(中編)[ビー ター・アイゼンマ ン]	ジ・エ・フ リー・キ ニス 川田 潤 訳	10+1(Ten Plus One)	32, 33			
オビニオン2003 ケ ン・アダム(プロダ クションデザイ ナー)	小町 英恵 イン タ ビュー・ 文・写真	A X I S	103			
特集アジアの現在 産業化アートは無添 加、チェンライの “原石”。アング リット・アチャリヤ ソボン	金子 義則	STUDIO VOICE	333			
イラク日々 絵画で も人間性回復[カシ ム・アルサブティ]	福島 良典	朝日夕刊	7. 2			
ゆらめく旭日旗—韓 国人作家・安星金に 聞く[アン・ソング ム]	古川 美佳	あ い だ	96			
特集 新しい身体と 彫刻の美学 Figure /Sculpture		美術手帖	840			

対談 四谷シモン
×マリオ・A[マ
リオ・アンプロ
スイウス]

This is not a Cat-
telan

マリオ・A
木川 弘美
翻訳

(イ)

日韓アート交流断想 郭徳俊 in SEOUL + イ・ブル in TOKYO	古川 美佳	美術手帖	838			
---	-------	------	-----	--	--	--

(ウ)

世界の現代ガラスベ ストコレクション5 ベッティル・ヴァッ リーン	武田 厚	美術の窓	236			
第十四回高松宮殿下 記念世界文化賞受賞 記念講演会 素材を 通じて表現される人 間の内面	ジュリアー ノ・ヴァン ジ談	ARTの森	14			
作家点描 現代イタ リア彫刻 ジュリ アーノ・ヴァンジ 〈揺れ動く人間の 魂—伝統と創造 と—〉	土方 浦歌	ART LIB- RARY	4			
特集アジアの現在 ハブニングを仕掛 け、意外性を嗅ぎ当 てる写真 ウィン・ シャ	金子 義則	STUDIO VOICE	333			
生きるって 屏風絵 師 アラン・ウェス トさん	小倉 貞俊	東 京	5. 25			
エイズと美術—エイ ズは美術を変えた か：デヴィッド・ ヴォイナロヴィッチ の衝撃	笠原美智子	東京都現 代美術館 紀要	8			
特集 〈生と死〉と美 術 IV美術館と〈生 と死〉 エイズと美 術 エイズは美術を 変えたか：デヴィッ ド・ヴォイナロ ヴィッチの衝撃	”	美 術 フォーラ ム21	8			
空虚の絵画—アン ディ・ウォーホルの 平面作品	西村 智宏	東京造形 大学研究 報	4			
伝道者の魂建築に宿 る滋賀・近江八幡 ヴォーリス遺作多数 和洋折衷の妙 バリ アフリー先取り [ウィリアム・メレ ル・ヴォーリス]	(義)	日経夕刊	3. 12			

Extension—Expanding the Space of Artistic Expression [エクステンション—拡張する美術表現の場—] アニカ・エリクソン	(工)		エリック・カールのコラージュ絵本における造形的特質—	鉢呂 光恵	藤女子大学・藤女子短期大学紀要	41-2
	神谷 幸江 イン タ ビュー	キュレー ターズ・ エッグ	5	(sy)	アート ペーパー	58
How Latitudes Become Forms [緯度はいかにかたちとなるか] エズラ・エルセン	フィリッ プ・ヴェル ニユン タ ビュー	"	4	森村 泰昌	芸術新潮	645
アーティスト・クローズアップ エルムグリーン&ドラッグセット [マイケル・エルムグリーン]	市原研太郎	美術手帖	829	多木 浩二	"	"
マックス・エルンストにおける「地震 tremblement de terre」の主題について	國吉 貴奈	鹿島美術財団年報別冊	20	横尾 忠則	東京夕刊	8.6
マックス・エルンストの新しい神話—《Vox Angelica》(1943年)をめぐって—	石井 祐子	デアアルテ	19	特集 3 アートの中のセルフイメージ こだまするセルフポートレート [クロード・カーン]	原田 環	化粧文化 43
第五六回全国大会研究発表要旨 マックス・エルンストの《カ ス ト ル と ポ リ ュー シ ョ ン》(一九二三年)について—自然現象のモチーフを中心に—	國吉 貴奈	美術史	155	Design Office Report from USA 1 ビル・カーン カー ン&アソシエイツ サンフランシスコ	道添 進	デザインの現場 127
所蔵作品紹介: マックス・エルンスト『カルメル修道会に入ろうとした少女の夢』第1章 No. 14 のコラージュ	高木 幸枝	町田市立国際版画美術館紀要	7	ルイス・カーンの PSYCHE の構造に関する研究	山田 雅美	日本建築学会計画系論文集 567
特集 森村泰昌が語る 伝説の女性画家フリーダ・カーロのざわめき 青と赤の家—ファン・オゴルマンの夢想	(オ)		ワールド・カルチュア・マップ スペイン 2002年、冬のスペインで [アントニオ・ガウディ]	安藤 哲行	ユリイカ	472
	多木 浩二	芸術新潮	645	日韓アート交流断想 郭徳俊 in SEOUL + イ・ブル in TOKYO	古川 美佳	美術手帖 838
ジャネット・カーディフの作品	(カ)		自分を笑うユーモア精神 在日2世・郭徳俊、韓国で大回顧展	田中 三蔵	朝日夕刊	7.8
	ジャネット・カー ディフ	直島通信	2003.6	アーティストクロ ーズアップ98 佐野 ぬい、上野 憲男、 カジ・ギヤスディ ン 絵画が生まれる瞬間 と自然が感得される 瞬間	ギャラ リー(月 刊)	213
コラボレーション作品	ジャネット・カー ディフ & ジョージ・ ピュレス・ ミラー	"	"	現在通信 from NEW-YORK フィリッ プ・ガストン	富井 玲子	新美術新聞 1011
質疑応答	"	"	"	美学会第五十四回全 国大会発表要旨 絵 画と彫刻のパラゴ ネーカラヴァッジョ 作《勝利のモデル》を めぐって—	加藤奈保子	美学 215
				カラヴァッジョ 作 《キリストの埋葬》を めぐって—贖宥と救 済の祈念画	"	美術史学 23

特集 絵画輪廻転生 インタビュー		美術手帖	832	Extension—Expanding the Space of Artistic Expression [エクステンション—拡張する美術表現の場—] キム・ソラ	神谷 幸江 イ イン タ ビ ュー	キュレー ターズ・ エッグ	5
ジョン・カリナー 退廃と再生のパラ ドクス	松井みどり ききて・構 成			座談会 美術の教育 現場における齋藤義 重	飯塚 八朗、 守屋 行彬、 千石 英世、 金 昌永、 バネ ラ 猛 中川 進行	芸術評論	別冊
ブライアン・カル ヴィン—どこでも ない場所を探して	編 集 部 構成			木版画—ダイナミズ ムの系譜 金兌赫 虚実を結ぶ表現	金 兌赫	版画芸術	119
ニーノ・カルーソ かたちの要素を記号 化して無限に変成す る造形芸術	柴辻 政彦	陶 説	598	「空間認識と新たな 可能性」	金 鉉淑	多摩美術 大学研究 紀要	17
KIDI PARSONS ロ ングライフデザイ ナーを生み出す教育 川上アンドリュセシ ル	松本 希子	デザインの 現場	130	金秉騏(キム・ピョ ンギ)氏へのインタ ビュー	李 美那	静岡県立 美術館紀 要	18
ヴァシリー・カン ディンスキーとアン リ・ル・フォーコニ エ	真野 宏子	国学院雑 誌	1158	Extension—Expanding the Space of Artistic Expression [エクステンション—拡張する美術表現の場—] ギム・ホンソック	神谷 幸江 イ イン タ ビ ュー	キュレー ターズ・ エッグ	5
叙事と抒情—カン ディンスキー作品 (研究)の二つの側面	有川 治男	美術史	155	ロバート・キャパ2 知られざるその素顔	柏木 純一	毎 日	10.12
カンディンスキーの 舞踊論と「運動」概念	小林奈央子	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	48	ハインリッヒ・ キューン ウィーン 分離派からフォト・ セセッションへ	薦谷 典子	日仏美術 学会会報	22
《メロドの祭壇画》に おける信仰の形[ロ ベール・カンパン 他]	蜷川 順子	関西大学 哲学	22	美学会第五十四回全 国大会発表要旨 ギ ルランダイオ作 「ヴェスプッチ礼拝 堂壁画」の問題—「死 せるキリスト」とフ ランドル絵画の關係 —[ドメニコ・ギル ランダイオ]	江藤 匠 美 学		215
(キ)				新美術時評 不快適 の住宅[荒川修作、 マドリン・ギンズ]	中村 敬治	新美術新 聞	984
二都を結ぶもの— キースラーとスカル パー—ニューヨーク、 ヴェネツィア、 1942—50[フリード リッヒ・キース ラー]	谷内 克聡	あいだ	95	(ク)			
エドガー・ギーゼン ベルクの経歴と旧司 法省庁舎(現法務省 旧本館)の設計に果 たした役割	堀内 正昭	日本建築 学会計画 系論文集	568	クー・ボンチャン [hysteric Nine]	(前)	読 売	3.30
空間の思考10 星と ひまわり アンゼル ム・キーファーの最 近のシリーズ	多木 浩二	ユリイカ	475	芸術家について語る こと—近代日本にお けるギュスターヴ・ クールベ像の変容—	亀井 祐美	美学芸術 学	18
キャノン・デジタ ル・クリエーター ズ・コンテスト2003 審査員:ケイト・ギ ブ インタビュー 「写真を撮る」とい う行為は考えを表現 すること	伊東 豊子	STUDIO VOICE	330	How Latitudes Be come Forms [緯度 はいかにたちとなる か] サンティア ゴ・ククル	フィリッ プ・ヴェル ニユン タ イ ビュー	キュレー ターズ・ エッグ	4
《ヤッホー、少女た ち》2002年 サ ニー・キム(1968〜)	加須屋明子	国立国際 美術館月 報	130	フランティシエク・ クプカ[灰色と金色 の展開](一)	古田 浩俊	愛知県美 術館研究 紀要	9
外国人の目 韓国の 彫刻家金順天さん 芸術、日本に広めたい [キム・スンチョ ン]	西岡 省二	毎 日	6.12				

ラリー・クラークの
自伝的インスタレ
ーション〜フラス
テーションは永遠に
続く〜

編 集 部 STUDIO
VOICE 332

浮遊と滲透の絵画ー
イブ・クラインのモ
ノクロームについ
てー

奥村 泰彦 美学芸術
学 18

「ケイト・グリーン
ウェイのマザーゲー
ス」

(祐) 読 売 5.25

人・模・様 ヒロシ
マの教訓をロシアに
[アレクサンドル・
グリゴリヤン]

杉尾 直哉 毎日夕刊 8.27

空間の思考 8 出来
事の空間 クリスト
/ジャンヌ=クロード
のドラム缶のバリ
ケード

多木 浩二 ユリイカ 472

凸凹鏡 現代におけ
る結縁とは[クリ
スト&ジャンヌ=ク
ロード]

田中 三蔵 朝日夕刊 7.24

世界文化賞 受賞者
5氏の素顔 第7回
彫刻部門 クリスト
とジャンヌ=クロ
ード夫妻

渋谷 和彦 産 経 6.20

セントラルパーク彩
るゲート クリスト
夫妻7年ぶりプロ
ジェクト[クリスト
&ジャンヌ=クロ
ード]

高石 ゆみ 毎日夕刊 5.9

大規模プロジェクト
に挑むクリスト夫妻
に聞く 一生に一度
しか見られないもの
を[クリスト&ジャン
ヌ=クロード]

石川 健次 " 7.2

クリムトと点描主義
ー九〇〇年代のク
リムト風景画の変遷
についての一考察ー

梅田 智彦 京都美学
美術史学 2

巻頭特集 2003年人
物画傑作選 クリム
ト・愛の賛歌

編 集 部 美術の窓 232

動物寓話という仮面
[グルニエ]

樋口 桂子 学 鑑 100-5

エクリチュールの行
方ーヴィヴァン=ラ
スパイユ画廊の第一
回パウル・クレー展
拾遺ー

宮下 誠 国学院雑
誌 1149

1916年の文字絵作
に至るパウル・ク
レーと「東洋」の関
係について

野田由美意 成城文芸 182

20世紀前半の絵画
における文字(1):
パウル・クレー

三輪 健仁 東京国立
近代美術館研究紀
要 8

瓦礫の蓄積としての
歴史 ペンヤミンが
クレイの天使に託し
たもの

細見 和之 朝日夕刊 5.15

ミクロコスモスとし
ての色彩環ードロー
ナーとグレーズによ
る1930年代壁画制
作の原理[アルベ
ール・グレース]

加藤有希子 美 学 214

(ケ)

フランク O.ゲー
リーの建築作品の生
成に関する研究ー初
期作品に於ける考
察ー

飯森 まき二 日本建築
学会計画
系論文集 567

美学会第五十四回全
国大会発表要旨 記
憶と表象ーナチズム
/ホロコーストを想
起するアートー
[ヨッヘン・ゲルツ]

香川 檀 美 学 215

マイケル・ケンナ写
真集「JAPAN日本」

読 売 3.23

(コ)

日仏現代美術博にハ
ングルの書、出展
半島の平和、作品に
託す[康秀峰]

日経夕刊 3.7

あいだのすみっこ不
定期漫遊連載 第16
回 意味の生成:イ
メージとテキストの
関わりを読み解くう
えで ボール・ゴー
ギャン「メイヘル・
デ・ハーンの肖像」
を例として

稲賀 繁美 あ い だ 92

PARIS発 タヒチの
ゴーギャン

安部 雅延 新美術新
聞 1008

リチャード・ゴー
マンに聞く

清水 博美 ザ・ルー
フ 21

都市造形の新世紀
英国ゲーツヘッド
「エンジェル・オ
ブ・ザ・ノース」[ア
ントニー・ゴーム
リー]

樋口正一郎 産 経 1.25

第15回世界文化賞10
月23日に授賞式 プ
リジット・ライリー
氏ら5名に[レム・
コールハース]

(千) 新美術新
聞 1009

第15回「高松宮殿下
記念世界文化賞」
受賞者紹介 建築部
門 レム・コール
ハース氏

産 経 7.3

総合学芸 第15回高
松宮殿下記念世界文
化賞受賞者 建築部
門 レム・コール
ハース 混沌から都
市の可能性探る

桑原 聡 " 10.11

世界文化賞受賞者会 見 信念と素顔 一 流の証明[レム・ コールハース]	産 経	10.23			『1万円』はゴッホ だった 一夜にして お宝 故中川一政氏 所蔵作品 きょう競 売予定	東 京	2.8
シンプルでファン シー、だけど深い イギリスの新鋭ジェ イムズ・ゴギンの世 界	三宅由希子	デザイン の現場	128		ゴッホさんに沸く沸 く 憂き世ニッポン つかのま“好景気” 『作者不詳』もつら れ? 1700万	"	2.9
市場のための紙上美 術館—レオン・ゴ シェと複製エッチン グ集『メトロポリタ ン美術館』(一八七一 年)—	陳岡めぐみ	美術史	155		ゴッホ 6600万円で した	"	"
AUVERSへの旅路 [フィンセント・ ファン・ゴッホ]	藤山 ハン	構 造	14		中川一政氏収集の油 絵「1万円」実は ゴッホ	日 経	2.8
らんぼう美術館17 第十六室 ヴィンセ ント・ヴァン・ゴッ ホ室	平松 礼二	美術の窓	236		ゴッホの真作 広島 の会社社長美術館で 公開へ	"	2.9
巻頭特集 魂の探求 者 ゴッホVSレン ブラント		"	240		文化 ゴッホ神話健 在 検証 中川一政 コレクション競売	竹田 博志	2.15
ふたりの真摯な求 道者	小林 英樹				美の美 名画の技 5—ゴッホ	宝 玉 正彦	7.27
現実性と聖性との 融合	栗津 則雄				ゴッホあわや一万円 「作者不詳」競売寸前 きょう入札数千万円 説も	三田 晴夫	毎 日 2.8
略伝ゴッホとレン ブラント ゴッ ホ—理 解 されな かった優しさ					望まれる新たな修復 高値落札のゴッホ 「農婦」	"	毎日夕刊 2.24
ゴッホに寄せて 闇の中で輝く光	馬越 陽子				ゴッホの独創とは 生誕150年オランダ で2つの展覧会	吉屋 敬	" 4.2
はてな?おもしろ浮 世絵204 ゴッホ、 オークションの話題	中右 瑛	目の眼	320		熱気、一気に超高値 ゴッホ落札	読 売	2.9
ゴッホだった 落札 予想1万円が一転 故中川一政さんコレ クション		朝 日	2.8		「1万円」実はゴッホ 中川一政氏収集体 「作者不詳」競売予定	読売夕刊	2.7
ゴッホ作なら「どう しても」落札者		"	2.9		世界の現代ガラスベ ストコレクション12 ウラジミール・コベ ツキー	武田 厚	美術の窓 243
「隠れ」ゴッホ6600万 円 本物鑑定2日で 急騰、広島美術館に		"	"		ホンモノの魅力 ゴ ヤの絵画2点 4億 7800万円落札	東京夕刊	5.10
私の視点 ゴッホ落 札 口に出せない芸 術のお値段	南 伸坊	"	2.15		2点20万円、実はゴ ヤ作 4億円で落札 マドリード「20年来 の発見」	毎日夕刊	5.9
ゴッホ「農婦」が6600 万円 日本人が書き 換える「神話」「も しや」ではね上がる 値段	山盛 英司	"	2.27		ラファエル・コラン と黒田清輝	河野 克彦	島根県芸 術文化セ ンター (仮称)準 備ニュー ス 11
本物のゴッホ 故中 川一政氏が収集 きょう競売どこまで 上がるか		産 経	2.8		下町時間 インド農 民画家の二人 お米 の絵の具で丹念に描 く「ゴルカナ」	徳光 一輝	産 経 1.16
「ゴッホ」広島的美術 館長落札 代理人携 帯で実況中継		"	2.9		美学会第五十四回全 国大会発表要旨 ベ ルクソンのイマー ジュ論—コロアの絵 画を手掛かりに一 [カミーユ・コロア]	原田 葉子	美 学 215

(サ)

巻頭特集 2003年人
物画傑作選 レンブ
ラントそしてサー
ジェント[ジョン・
シンガー・サージェ
ント]

千足 伸行 美術の窓 232

世界の現代ガラスベ
ストコレクション9
ダナ・ザーマチニー
コヴァ

武田 厚 " 240

Design Office Re-
port from USA 2
ステファン・サグマ
イスター ニュー
ヨーク

道添 進 デザイン
の現場 128

ザッキ氏、日本の学
生に特別指導 東京
品川上大崎のドレス
メーカー学院で
[ジャン・マリ・
ザッキ]

(白) 新美術新
聞 1011

東洋陶磁に受けたア
メリカ作家たちのイ
ンスピレーション
[エイドリアン・
サックス]

三浦 弘子 陶 説 598

カバーインタビュー
リチャード・サッ
パー

石橋 勝利 A X I S 103

世界の現代ガラスベ
ストコレクション10
ティモ・サルパネ
ヴァ

武田 厚 美術の窓 241

(シ)

現在通信from NEW
YORK チャール
ズ・シーラーの写真
メトロポリタン美術
館

富井 玲子 新美術新
聞 1000

エゴン・シーレ 私
小説がない国で

橋本 治 芸術新潮 640

BOOKWORM 今
月の書評『エゴン・
シーレ ドローイン
グ水彩画作品集』

奈良 美智 美術手帖 834

疾走者 ジェーン・
カリアー著『エゴン・
シーレ ドローイン
グ水彩画作品集』

東 京 5.11

エゴン・シーレ
ジェーン・カリアー
著

日 経 4.20

シーレの風景画25億
円で落札 ナチスの
略奪品

日経夕刊 6.24

色彩に魅せられ 日
本画を学び描いたイ
ンド[マドウ・ジェ
イン]

竹内 幸史 朝日夕刊 4.24

オルテリウス『世界
の舞台(Theatrum
Orbis Terrarum)』掲
載の「ロシア図」につ
いて(二)[アント
ニー=ジェンキンソ
ン]

大山 知児 立正史学 93

ローマン・シグネー
ル...のためだけに...

田中 功起 美術手帖 834

PARIS発 [クリス
ティアン・シャート
ト]

安部 雅延 新美術新
聞 980

特集3 アートの中
のセルフイメージ
こだまするセルフ
ポートレート[シン
ディ・シャーマン]

原田 環 化粧文化 43

PARIS発 二十世紀
美術とシャガール
絵画に幸福をもたら
したシャガール

安部 雅延 新美術新
聞 989

美学会第五十四回全
国大会発表要旨 アル
ベルト・ジャコメッ
ティにおける
「供犠」としての彫刻
—ジャコメッティの
シュルレアリスム期
とジョルジュ・パタ
イユ—

橋本 梓 美学 215

特集アジアの現在
香港クリエイティヴ
を曳航する、サブカ
ルチャーキング。
ジャン・ラム

中西 多香 STUDIO
VOICE 333

Asian Artist 徐世
鈺(SUH SE-OK)
すべて私、人間から
始まる

ギ ャ ラ
リー(月
刊) 215

Extension—Expand-
ing the Space of Ar-
tistic Expression[エ
クステンション—拡
張する美術表現の
場—] アポロニア・
シュステルシッチ

神谷 幸江 キュレー
ターズ・
エッグ 5

東洋陶磁に受けたア
メリカ作家たちのイ
ンスピレーション
[リチャード・
ショー]

三浦 弘子 陶 説 598

特集アジアの現在
ジェンダーを転生さ
せる、サイアムの
光。 バンシリ・シ
リウエーチャパン

金子 義則 STUDIO
VOICE 333

ダ・シルヴァ[ヴィ
エイラ・ダ・シル
ヴァ]

鍋木 昌弥 構 造 14

意中の建築 その十
五 森に立てられた
十字架 オタニエ
ミ・チャペル[ヘ
イッキ&カイヤ・シ
レン]

中村 好文 芸術新潮 645

収蔵品紹介 申相浩
Dream0092 1992年 高 満津子 セラ・バ 2
作[シン・サンホ]

(ス)

- ヴィンチェンツォ・スカモッツィの建築理論における“scienza”について—アルベルティ、レオナルド・ダ・ヴィンチの“scienza”概念との比較を通して—
二都を結ぶもの—キースラーとスカルパー—ニューヨーク、ヴェネツィア、1942—50[カルロ・スカルパ]
意中の建築
その十二 修復という名の錬金術 カステルヴェッキオ美術館[カルロ・スカルパ]
その十三 ベル・カントで歌う美術館 カステルヴェッキオ美術館[カルロ・スカルパ]
ヘンク・スタリಂಗ・インタビュー ドロークと並ぶタッチデザイン牽引者、日本初の展覧会
巻頭特集 '03風景画セレクション 風景に心を託した西洋の画家 レオン・スピリアルト
世界の現代ガラスベストコレクション8 チャスラフ・ズペール
パティ・スミス 日本初個展・来日インタビュー 祈りとエネルギーを交信させて

(セ)

- 中川紀元に美術を学んだ中国人—画家関紫蘭の活動をめぐって—
《要旨》 エミール・ベルナールの見たセザンヌ(その1)
セザンヌと写真的イメージ—指標と転換子—
美学会第五十四回全国大会発表要旨《モデルヌオランピア》に関する一考察[ポール・セザンヌ]

To Encircle Base Plate Hexagram, Right Angles Inverted—多摩美術大学構内に設置されたリチャード・セラの彫刻に関する考察

上崎 千綾 多摩美術大学研究紀要 17

(ソ)

- 強迫感みなぎらせ異様な造形 ソウルでソ・ドホの個展
デイヴィッド・ソープ Re—motivating Utopias
闘争の表象/表象の闘争—ソドマによるロザリオ同信会のための二作品をめぐって—[イル・ソドマ]
How Latitudes Become Forms[緯度はいかにかたちとなるか] ソン・ドン

三田 晴夫 毎日夕刊 7.8

編集部 美術手帖 836

松原 知生 美 学 212

フイリッ・ヴェルニユン タービュ キュレーターズ・エッグ 4

(タ)

- 特集 心のひみつ・アートの衝動 ヘンリー・ダーガー「生」の「領域」の再建
スーザン・ダージェス来日インタビュー 自然と人間の融和の記憶を掬うように
J. M. W. ターナーにおける光と色彩[ウィリアム・ターナー]
美学会第五十四回全国大会発表要旨 J・M・W・ターナー作《光と色彩(ゲーテの理論)—大洪水の翌朝—創世記を書くモーセ》の作品解釈
第五六回全国大会研究発表要旨 ターナーとリッチモンド《イングランド—摂政皇太子誕生日のリッチモンド・ヒル》の地誌的解釈
カバーインタビュー ジェームズ・ダイソン
ダヴィッド(ジュ・ド・ボームの誓い)—語る身体1 [ジャック・レイ・ダヴィッド]
らんぼう美術館13 第十二室 ルフィーノ・タマヨ室

丹生谷貴志 美術手帖 831

スーザン・ダージェス談 ギャラリー(月刊) 218

富岡 進一 成城美術史 9

” 美 学 215

出羽 尚 美術史 155

石橋 勝利 A X I S 105

鈴木杜幾子 芸術学研究所(明治大学) 13

平松 礼二 美術の窓 232

『ミレー《晩鐘》の悲劇的神話』サルバドール・ダリ著、鈴木雅雄訳	小沼 純一 朝 日	3.9	第9回松伯美術館花鳥画展 大賞に陳宜青氏の「かぼちゃ」[チン・イッセイ]	(常)	新美術新聞	986
世界の現代ガラスベストコレクション11リノ・タリアピエトラ	武田 厚 美術の窓	242		(ツ)		
旅を楽しみ、旅から学ぶ アトリエ・グリズー[グレゴワール・ダンタン]	中島 優子 デザインの現場	126	日 影 眩 の360°のニューヨーク106 2003年秋、蔡国強の花火スペクタクル、村上隆のマーケット・ワールドの偶像VS小野知美のネイチャー版 画[ツァイ・グオチャン]	日影 眩	ギャラリー(月刊)	223
(チ)						
尊敬する高橋節郎先生	喬 十光 [チアオ・シンクァン]	新美術新聞	995	蔡國強の「爆発」アート 光 輪—Light Cycle NYセントラルパークのためのプロジェクト	富井 玲子 新美術新聞	1005
アーティスト訪問2 ジャナйна・チェッペ 人間の潜在的なアイデンティティを探して 日本初、アジア初の来日個展から		ギャラリー(月刊)	223	現在通信from NEW YORK 蔡 國 強「光輪」プロジェクト 爆発のあと	" "	1007
翻訳 チェッリーニとその時代(二)[ペンヴェヌート・チェリーニ]	イヴァン・アルナル ディ松本 典昭 訳	五浦論叢	10	インタビュー蔡國強一瞬を永遠化する爆発のスペクタクル テイト・モダン花火プロジェクト・レポート	藤森 愛実 美術手帖	833
時価68億円サリエラ盗難 ウィーン[ペンヴェヌート・チェリーニ]	青木 雪雄 朝日夕刊	5.12	巻頭特集 画材と技法 実力派人気作家21名にきく あなたは油絵派?アクリル派?	蔡 國華 [ツァイ・グオファ]	美術の窓	242
67億円の金細工盗難[チェリーニ]		東京夕刊	5.12	ヴェネチア・ビエンナーレ2003 音の余韻を楽しむスーメイの映像作品[スーメイ・ツェ]	森口 水翔 新美術新聞	998
「彫刻のモナリザ」盗難 ウィーン美術史美術館[チェリーニ]		毎日夕刊	5.12	上海から日本へ/日本から上海へ 周豪ふたたび上海との邂逅[ツォウ・ハオ]	安田 洋平 版画芸術	120
「彫刻のモナリザ」盗難 ウィーン、67億円の金細工[チェリーニ]		読売夕刊	5.12	(テ)		
陳澄波(一八九五〜一九四七)とその時代—《私の家庭》における「プロレタリア絵画論」と《日本二重橋》	李 淑珠 美 学	213	上流階級ご用達のインテリア チェレス・デ・アンナの魅力を伝える「ザ・ルームズ」	矢島みゆき デザインの現場	131	
木版画—ダイナミズムの系譜 張珂 滲みを与える生命感	張 珂 版画芸術	119	ティツィアーノの「ボエジア」研究	細野 喜代 鹿島美術財団年報別冊	20	
漆芸術の聖地の誕生	鄭 榮煥 [チュン・ヨンファン]	新美術新聞	995	ダニーロ・エッカード・トーマス・ケライン ジェームズ・ローズ・ドーン 秋元 雅史	直島通信	2003.12
特集アジアの現在 香港が生んだポップアーティストがグラスファイバーで世界を描けばこうなる! マイケル・チョンの「NO PEACE NO BOOM」 香港	中西 多香 STUDIO VOICE	333	審査員のことは[リクリット・ティラヴァニ]			

第50回ヴェニス・ビ
エンナーレ 第5回
ベネッセ賞 受賞者
リクリット・ティ
ヴァニ

リクリット・ティ
ヴァニ 直島通信 2003. 12

チョコレートのエル
ゴノミーを追究[ル
ノー・ティリー]

桜井みどり デザイン
の現場 130

空間の思考11 都市
の夢 デ・キリコの
「形而上学的絵画」の
場合

多木 浩二 ユリイカ 479

トーマス・デマンド
記憶／イメージ／物
語

市原研太郎 美術手帖 839

How Latitudes Be-
come Forms[緯度はい
かにかたちとなる
か] アニタ・デ
ューベ

フィリップ・ヴェル
ニューター エグ
キュレーターズ・ 4
エッグ

ルドルフ二世の宮廷
におけるデュー
ラー・コレクション
とデューラー・ルネ
サンスー「聖エウス
タキウス」をめぐつ
てー

平川 佳世 鹿島美術
財団年報 20
別冊

デューラーの『測定
法教則』(4)

下村 耕史 九州産業
大学芸術
学部研究
報告 34

特集 前川誠郎の
デューラー講義

前川 誠郎 芸術新潮 641

芸術をめぐる言葉
122 人体と照準器
とのあいだに格子
を置きなさい。……
デューラー

谷川 渥 美術手帖 832

(ト)

ワールド・カルチュ
ア・マップ ロシア
具象と抽象を往復し
て ポリス・トゥレ
ツキイ

鈴木 正美 ユリイカ 486

世界街から バンコ
ク 最新の現代美術
は「盆栽」[モン
トリー・トエムソム
バット]

宮崎 真子 朝 日 2. 22

ド・スタールーその
生涯の軌跡ー パリ
の「ド・スタール展」
を見て[ニコラ・
ド・スタール]

馬越 陽子 新美術新
聞 1000

ドメニキョーノとG.
B. アグッキー《エ
ルミニオと羊飼いの
風景描写をめぐる
一考察

小針由紀隆 静岡県立
美術館紀
要 18

ドラクロワ「リュク
サンブール宮内書室
天井画」にかんする
一考察

柳原 一徳 美術史学 23

アーティスト・ク
ローズアップ エル
ムグリーン&ドラッ
グ セット[イン
ガー・ドラッグセッ
ト]

市原研太郎 美術手帖 829

ミクロコスモスとし
ての色彩環ードロー
ナーとグレースによ
る1930年代壁画制作
の原理[ロベール・
ドローナー]

加藤有希子 美 学 214

(ナ)

単眼複眼 戦場の写
真家ナクトウエイ氏
「悲惨」を撮り続ける
葛藤[ジェームズ・
ナクトウエイ]

田中 三蔵 朝日夕刊 10. 21

(ヌ)

ジャン・ヌーヴェ
ル: 建築的キュー
ジーヌ

槻橋 修 STUDIO
VOICE 336

建築家ジャン・ヌー
ベル氏に聞く 虚実
の間に増す存在感
均質化に挑むガラス
の幻想性

松葉 一清 朝日夕刊 10. 8

(ノ)

1920年代および30年
代のリチャード・ノ
イトラの建築思想に
おけるテクノロジ
ーについて

玉田 浩之 日本建築
学会計画
系論文集 574
石田潤一郎

傷ついた美術史 第
24回 「萬来舎」の移
転計画をめぐって
[イサム・ノグチ]

小泉 晋弥 アー
トトップ 193

「萬来舎問題」をめ
ぐる若干の考察[イ
サム・ノグチ]

鷺見 洋一 慶応義塾
大学アー
ト・セン
ター年報 10

ノグチ・ルーム/第
二研究室の保存問題
ー慶応義塾大学三田
新校舎建設計画をめ
ぐって[イサム・ノ
グチ]

前田富士男 " "

特集2 あかり: イ
サム・ノグチが作っ
た光の彫刻

現代の眼 542

《大地の彫刻》と
《あかり》

川村 純一

永遠に光り輝く
《あかり》

尾関秀太郎

文化的建築を次世代
に 新萬来舎(ノグ
チ・ルーム)解体の
危機に[イサム・ノ
グチ]

豊原 真澄 新美術新
聞 981

新美術時評 イサ
ム・ノグチー大地へ
の愛

柴橋 伴夫 " 1004

第五六回全国大会研究発表要旨一九五〇年代の前衛芸術における伝統論争—イサム・ノグチの影響を中心に—	足立 元	美術史	155	バーン=ジョーンズ:モリス商会の仕事と唯美主義運動	白石 和也	九州産業大学芸術学部研究報告	34
イサム・ノグチの名作「消滅」の危機 慶大校舎 広島橋	田中 三蔵 朝 日	4. 15		第50回ヴェネチア・ビエンナーレ開幕 大賞はP・フィッツ、D・バイスの二人組に[デビット・バイス]	(林)	新美術新聞	996
慶大「萬来舎」解体計画に波紋 OBら保存訴え署名活動[イサム・ノグチ]		朝日夕刊	1. 16	特集 〈生と死〉と美術 IV美術館と〈生と死〉 食間に 現代美術における生と死を巡って[ミロスワフ・パウカ]	加須屋明子	美術フォーラム21	8
モダニズム名建築移築へ 慶大「萬来舎」[イサム・ノグチ]	猪谷 千香	産 経	3. 1	ワールド・カルチュア・マップ ドイツハンナ・ヘーヒとラウール・ハウスマン	副島 博彦	ユリイカ	482
慶大「萬来舎」 独立自存の危機[イサム・ノグチ]		東 京	5. 26	ディーリック・パウツ作「聖餐の秘蹟」祭壇画 《最後の晩餐》図について	川名 久子	大学院諸 究	1
「ノグチルーム」の慶大・萬来舎 移築巡る対立深刻	松本 良一	読売夕刊	5. 9	VOICE OF VOICE ジャン・ミッシェル・バスキア He lives through us	島田 淳子	STUDIO VOICE	330
慶大「ノグチ・ルーム」解体へ 戦後モダニズム建築代表作工事中止申請東京地裁却下		"	6. 12	東洋陶磁に受けたアメリカ作家たちのインスピレーション [ラルフ・バセラ]	三浦 弘子	陶 説	598
慶大「ノグチ・ルーム」解体へ 後味悪い「時間切れ」	松本 良一	"	6. 16	カバーインタビュー ハイス・バックナー	上條 昌宏	A X I S	101
東洋陶磁に受けたアメリカ作家たちのインスピレーション [リチャード・ノートキン]	三浦 弘子	陶 説	598	バックミンスター・フラーすべてを語る 第13回、第14回、最終回	梶川 泰司 監修 黒野 迅、 嶋 あゆ子 翻訳	美術手帖	829、 831、832
	(ハ)			空間の思考9 物語る地図 バックミンスター・フラーのダイマクシオン・マップ	多木 浩二	ユリイカ	474
Voice's Art Space VEGAS NEW SCHOOL トム・パーク		STUDIO VOICE	334	サンタ・マリア・デッラ・スカラ聖堂のパディーレ家一門による 壁画[ジョヴァンニ・パディーレ]	小佐野重利	美術史論 叢	19
12使徒の死とキリスト昇天 ロンドンで8年ぶりにハースト展[デミアン・ハースト]	桜井 武	毎日夕刊	11. 20	Voice's Art Space VEGAS NEW SCHOOL ティム・ババントン		STUDIO VOICE	334
現在通信from NEW YORK クレマスタ 三 味?[マシュー・バーニー]	富井 玲子	新美術新聞	995	フセイン巨像跡地に「希望の像」 イラク新生思い込める[バセム・ハマド]	大崎 敦司 朝 日	6. 23	
クレマスタ・クラブ		美術手帖		下町時間 インド農民画家の二人 お米の絵の具で丹念に描く[バル]	徳光 一輝 産 経	1. 16	
第5夜 [マシュー・バーニー]	ヴィヴィアン 佐藤 義正		832				
第6夜 これぞマシュー・バーニーの理想宮	清水 敏男		833				
最終夜 世界は永遠の性感帯/自分フェチのひねくれ者[マシュー・バーニー]	清水 穰 富沢 ノボル		834				

世界文化賞 受賞者
5氏の素顔 第3回
絵画部門 バルテュ
ス氏 山根 聡 産 経 6.20

アンナ・ハルプリン
(Anna Halprin
1920-)研究 ―Ritual
としての舞踏
『Circle the Earth』か
らMyth生成へー 昆野まり子 お茶の水
女子大学
人文科学
紀要 56

「今も色褪せない、
20世紀の思想家」
『Your Private Sky
the art of design
science』R. バックミ
ンスター・フラー著 韓 亜由美 A X I S 105

(ヒ)

もうひとりのヘロ
デーリケッツとピア
ズリーをめぐる考
察―[オーブリー・
ピアズリー] 小嶋 洋子 美学論究 18

世界文化賞 受賞者
5氏の素顔 第7回
建築部門 レンゾ・
ピアノ氏 渋沢 和彦 産 経 6.20

漆芸術は両国共通の
芸術表現 ジャン・ピ
エール・ブ
スケ 新美術新
聞 995

ピエロ・デッラ・フ
ランチェスカの《聖
十字架伝》再論 池上 公平 共立女子
大学文芸
学部紀要 49

ピエロ・デッラ・フ
ランチェスカ研究
《ウルビーノ公夫妻
の肖像》について 津田 智子 哲学会誌 27

地下水脈で結ばれて
いたマチスとピカソ 桐島 敬子 絵 448

現在通信from NEW
YORK 鉄人対決
(上)(下)[パブロ・
ピカソ] 富井 玲子 新美術新
聞 988、990

版画とその値段2
ピカソの版画2 秋山 修 美術の窓 232

らんぼう美術館18
第十七室 パブロ・
ピカソ 平松 礼二 " 237

巻頭特集 ピカソの
古典主義1914―1925 " 241

野良猫ピカソ 堀越 千秋

大正三年から大正
十四年のピカソ 編集部

ピカソ語録

ピカソの《アヴィ
ニヨンの娘たち》 若山 映子 待兼山論
叢 37

PARIS発 印象派の
長老ピサロ[カミー
ユ・ピサロ] 安部 雅延 新美術新
聞 1005

平成十四年度支部例
会研究発表要旨 レ
オナルド・ビストル
フィー再発見された
旧松方コレクション
の彫刻作品群につ
いて

高橋 明也 美術史 154

《定まらないフォル
ムの絵画》1965年
ダニエル・ビュレン
(1938〜) 中西 博之 国立国際
美術館月
報 126

ピラネージ作版画の
修復処置と接着剤の
分析[ジョヴァン
ニ・バッティスタ・
ピラネージ] 坂本 雅美、
真貝 哲夫、
塚田 全彦、
河口 公夫 国立西洋
美術館研
究紀要 7

現代美術における戦
略と戦術 村上隆と
トーマス・ヒルシュ
ホルンをめぐって 椎原 伸博 実践女子
大学文学
部紀要 45

(フ)

ファーガデリック
インタヴュー「ス
ケッチブックは僕の
頭の中そのもの！」 藤田 夏海
イン
タヴュー STUDIO
VOICE 330

ペルーの陶芸 マネ
ノ・ファレスさんの
デモンストレーショ
ン 大宮の日本美術
学校で 新美術新
聞 988

アルド・ファン・ア
イクの建築思想にお
ける「葉―樹、住
宅―都市」の図式に
ついて 朽木 順綱
前田 忠直 日本建築
学会計画
系論文集 574

展評「ファン・エイ
クの時代、地中海世
界と初期フランドル
絵画 1430―1530」
―ブリュージュ市立
美術館[2002年] 今井 澄子 日仏美術
学会会報 22

美学会第五十四回全
国大会発表要旨 ベ
ルスベクティウァ・
エイキアーナーファン
・エイクの遠近法
について 鮫島 正安 美 学 215

ヤン・ファン・エイク
作《ファン・デル・パ
ーレの聖母》―銘文
中のDUAS CAPEL-
LANIASの解釈につ
いて " 美学芸術
学 18

特集 〈生と死〉と美
術 I 西洋美術にお
ける〈生と死〉の表象
死を前にした人間
ヤン・ファン・エイ
クのヨーリス・ファン
・デル・パーレ 蜷川 順子 美 術
フォーラ
ム21 8

美の美 名画の技
1―ファン・エイク
兄弟 宝玉 正彦 日 経 6.29

第50回ヴェネチア・ビエンナーレ開幕大賞はP・フィッチ、D・バイスの二人組に[ピーター・フィッチ]	(林)	新美術新聞	996	フラゴナールと風景表現:その制作の論理[ジャン・オノレ・フラゴナール]	吉田 朋子	京都美学美術史学	2
特集3 アートの中のセルフィメージ女性シュルレアリストの自己表現 ヴェランディエヌ・ユゴとレオノール・フィニーの場合	宮川 尚理	化粧文化	43	平成十四年度支部例会研究発表要旨 フラゴナールと絵画ジャンルの問題	"	美術史	154
フーケの画歴:王の歿年(1461)前後期(続)[ジャン・フーケ]	篠原田鶴子	群馬県立女子大学紀要	24	ジャン=オノレ・フラゴナール作《門》の再検討—絵画ジャンルの視点から—	"	"	155
美の美 名画の技4—フェルメール	宝玉 正彦	日 経	7.20	世界の現代ガラスベストコレクション4 パヴェル・フラウア	武田 厚	美術の窓	235
第十四回高松宮殿下記念世界文化賞受賞記念講演会 都市生活のクオリティー	ノーマン・フォスター談	ARTの森	14	新収作品 フランク・ブラングイン《しけの日》	高橋 明也	国立西洋美術館年報	36
フォンタナの絵画空間について[ルーチョ・フォンタナ]	谷藤 史彦	ふくやま美術館研究紀要	2	R. H. プラントンによる初期灯台石造官舎(1869, 1870着工)の平面構成について	田中 修司	日本建築学会計画系論文集	569
KIDI PARSONS デザイナーは、センスを活かせるチャレンジいっぱいの仕事 エリカ・フサリ	大竹 秀子	デザインの現場	129	ブリュッセル《ネーデルラントの諺》をめぐる古典探し	森 洋子	学 鑑	100—10
Voice's Art Space VEGAS NEW SCHOOL ガジン・フジタ		STUDIO VOICE	334	消えたイタリアーブリュッセルのイタリア体験	幸福 輝	国立西洋美術館研究紀要	7
マコト・フジムラ氏 ホワイト・ハウス文化担当顧問に	(美)	新美術新聞	985	審美逍遙106~117 ブリュッセル	栗津 則雄	美術の窓	232~243
ブッソレンゴ[サン・ヴァレンティノ聖堂身廊壁画]に関する調査報告 [ブッソレンゴの画家]	諸川 春樹	美術史論叢	19	東京解剖図鑑 情熱 Passion 浮世絵に衝撃 復刻木版画家 [デービット・ブル]	石橋 春海	東 京	2.12
ハイパー回転寿司 [LO—SUSHI] 内装はアンドレ・ブットマン	浦田 薫	デザインの現場	130	久米民十郎とブルリュックの絵葉書—イマジュリイ資料散策1—[ダヴィット・ブルリュック]	山田 俊幸	一 寸	16
祝祭の島、幻視の絵画 イ・クトゥット・プディアナ 炸裂するバリ島美術	春日 聡	美術手帖	838	フィレンツェ・シンポジウム報告 恐るべきシンメトリー—ダンテの読者、挿絵画家としてのブレイク[ウィリアム・ブレイク]	浦 一章	死生学研究	2003秋
先端カルチャーを魅了するFUELのセンス	三宅由希子	デザインの現場	127	フォトモンタージュに関する覚書	キャンデイス・ブレイツ 三上真理子 訳	国立国際美術館月報	125
現在通信from NEW YORK ダンスとアートの会話[トリシャ・ブラウン]	富井 玲子	新美術新聞	1010	《無題》2000 ロラン・フレクスナー(1944年~)	平芳 幸浩	"	124
エドモンド・ブラケットによる、黄金比の引用に関する分析—シドニーの商業建築について—	岡本 美樹	日本建築学会計画系論文集	566		(へ)		
				第五十三回美学会全国大会発表要旨 フランシス・ペーコンの絵画における儀礼性—転換期前後の磔刑図をめくって—	保坂健二郎	美 学	213

旧松方コレクション の作者不詳《ウェヌ スとクビド》—ア レッサンドロ・マッ ツォーラ・ペードリ へのアトリビユー ション(要旨)	越川 倫明	国立西洋 美術館研 究紀要	7	美学会第五十四回全 国大会発表要旨 ボージャンの静物画 について[リュバ ン・ボージャン]	栗山 守正	美 学	215
ワールド・カルチュ ア・マップ ドイツ ハンナ・ヘーヒとラ ウール・ハウスマン	副島 博彦	ユリイカ	482	忘れられた画家ボー ジャン—その静物画 と宗教画を巡る一考 察—	"	文化学年 報(同志 社大学)	52
ベラスケスとイタリ ア	キャロル& ミルトン・ ベトリー、 ジョナサン ・ブラウ ン 招致研究者 高保二郎 報告者	鹿島美術 財団年報 別冊	20	グラスゴーにおける ジャボニス—G. ヘンリーとE. A. ホーネルを中心とし て—[エドワード・ アトキンソン・ホー ネル]	小野 文子	ジャボニ スム研究	23
第五六回全国大会研 究発表要旨 ベラス ケス作《マルタとマ リアの家のキリス ト》について	諸星 妙	美術史	155	平成十四年度支部例 会研究発表要旨 ヒ エロニムス・ボスに おける解釈の問題	神原 正明	美術史	154
VOICE OF VOICE キース・ヘリング 全速力で疾走するか のように	原 久子	STUDIO VOICE	330	遊歩人 ボッシュの 絵「快樂の園」の制作 地 オランダ・セル トヘンボッシュ[ヒ エロニムス・ボッ ス]	鶴原 徹也	読売夕刊	9.22
カバーインタビュー ジャック・ヘル ツォーク	伊藤留美子	A X I S	106	作家点描 現代イタ リア彫刻 チェッ コ・ボナノッテの彫 刻「ヴァチカン美術 館のボルタ・ヌオー ヴァー新しい扉」	田中 晴久	ART LIBRARY	4
《要旨》 エミール・ ベルナルの見たセ ザンヌ(その1)	浅野 春男	沖縄県立 芸術大学 紀要	11	特集 生涯で最も重 要な出会い セル ジュ・ボリアコフと の出会い	永畑 隆男	自由美術	2003
A. R. ペンク Standart 3	山口 洋三	エスブラ ナード	131	美学会第五十四回全 国大会発表要旨 記 憶と表象—ナチズム ／ホロコーストを想 起するアート—[ク リスチャン・ボルタ ンスキー]	香川 檀	美 学	215
グラスゴーにおける ジャボニス—G. ヘンリーとE. A. ホーネルを中心とし て—[ジョージ・ヘ ンリー]	小野 文子	ジャボニ スム研究	23	特集 〈生と死〉と美 術 IV美術館と〈生 と死〉「死よりも生 を」と美術館は叫べ るか クリスチャ ン・ボルタンスキー と小林正人	保坂健二朗	美術 フォーラ ム21	8
美学会第五十四回全 国大会発表要旨 拡 張すること、積み重 ねること—展示す ること—ボイス芸術 の方法的分類—[ヨ ゼフ・ボイス]	小用 隆史	美 学	215	観ることと描くこと 最終回 ハンス・ホ ルバイン(子)「大使 たち」	黒江 光彦	美術手帖	829
J. Mc N. ホイス ラーと日本—ホイス ラー研究センター所 蔵の書簡を中心とし た調査研究—	小野 文子	鹿島美術 財団年報 別冊	20	ジャクソン・ポロッ クのカット・アウ ト・シリーズ—マ ティスとピカソの同 化の試み—	大島 徹也	鹿島美術 財団年報 別冊	20
日本におけるウィス ラーの受容—明治期 から大正期まで— [ジェイムズ・マク ニール・ホイッス ラー]	小熊佐智子	芸 叢	19	ジャクソン・ポロッ クのプリミティヴィ ズム再考—《第一番 A》の成立をめぐつ て—	岸 みづき	美術史研 究	41

(ホ)

1億4000万で購入
仏人気彫刻家の34点
遺言で禁じた「没後
鋳造」[フランソワ・
ボンボン]

読 売 3.12

(マ)

文化 写真でつづる
東方見聞録 マル
コ・ポーロの足跡た
どる2年間の撮影旅
行

マイケル・
ヤマシタ 日 経 4.17

ハンネス・マイヤー
の建築作品における
雁行型構成の意義に
ついて—ドイツ労働
組合総連合連合学校
の造形方法の分析—

富田 英夫多 日本建築
学会計画
系論文集 566

特集 ニューヨーク
・ニューアート最
前線 ライアン・マ
クギネス

河内 タカ 美術手帖 829

短期共同研究 第二
期女性解放運動はど
のように女性の生き
方を変えたか—女た
ちの聞き書—[ペト
ラ・マザーズ]

松野 潔子 京都精華
代表 楠瀬 佳子 大学紀要 24
遠藤 育枝

クエンティン・マサ
イス《両替商とその
妻》〜15、16世紀
フランドル絵画にお
ける凸面鏡のモチーフ
と16世紀アントワー
プにおける世俗的主
題の登場〜

廣川 暁生 日仏美術
学会会報 22

地下水脈で結ばれて
いたマチスとピカソ

桐島 敬子 絵 448

『ジャズ』—作品分析
の方法論をめぐる
—[アン・リ・マ
ティス]

大久保恭子 鹿島美術
財団年報 20
別冊

現在通信from NEW
YORK 鉄人 対決
(上)(下)[アン・リ・
マティス]

富井 玲子 新美術新
聞 988、990

特集 パレルゴン:
美術における付随的
なもの マチスと
「絵画」の他者

天野 知香 西洋美術
研究 9

マチスと1950年代
前半の日本

関 直子 東京都現
代美術館
紀要 8

アンリ・マティスの
ロザリオ礼拝堂装飾
—第一案《蜜蜂》とそ
のダイスモチーフの
源泉—

和田佐知子 早稲田大
学大学院
文学研究
科紀要 48

特集 パレルゴン:
美術における付随的
なもの 絵画の脱構
築 マネの《草上の
昼食》とパレルゴン
[エドゥアール・マ
ネ]

三浦 篤 西洋美術
研究 9

ジェラルド・マラン
ガ×森山大道「す
べて白と黒の世界へ
そして写真はつづ
く」

大城 譲司 STUDIO
VOICE 333

カジミール・マレー
ヴィッチ、「後期絵
画の出発点」—具象
回帰に隠されたメッ
セージ

鈴木 育乃 芸 叢 19

How Latitudes Be-
come Forms[緯度は
いかにかたちとなる
か] マレーベ

フィリッ
プ・ヴェル
ニユン タ
ビユー キュレー
ターズ・
エッグ 4

R. マレニステヴァ
ンスのカヴロア邸に
おける幾何学的設計
手法について

阿部 順子 日本建築
学会計画
系論文集 565
小林 克弘

アンドレア・マン
テーニャ作《美徳
の園から悪魔を追
い払うミネルウァ》
の悪徳像について

森村 光美 大学院諸
究 1

アンドレア・マン
テーニャ研究—パド
ヴァのエレミターニ
聖堂オヴェタリ礼
拝堂装飾を中心に—

盛本 直美 美術史論
集 3

(ミ)

ミース・ファン・デ
ル・ローエのクラウ
ン・ホール、バカル
ディー・カンパニー
とニュー・ナショナル
・ギャラリーの平
面における共線性、
相似性と正三角形
[和文要約]

佐野 潤一 日本建築
学会計画
系論文集 565

ミケランジェロ作
『ロンダニーニのピ
エタ』の制作年代と
主題について

嶋谷 昭彦 美学芸術
学 18

芸術をめぐる言葉
131 ミケランジェ
ロは、たえまなく解
剖術を学び、骨、筋
肉、腱、血管の原理
やその結合や、人体
の多様な動きや仕草
を見出すために、人
間の皮を剥いだりし
た。……ヴァザーリ

谷川 渥 美術手帖 842

アルフォンス・ミュ
ンシャとサラ・ベル
ナル—『ジスモン
ダ』をめぐる—

子安三喜男 横浜美術
短期大学
教育・研
究紀要 1

ジョージ・ビュレ
ス・ミラーの作品

ジョージ・
ビュレス・
ミラー 直島通信 2003.6
談

コラボレーション作
品

ジャネッ
ト・カフ
デイジョ
ーレス・
ミラー " "

質疑応答 " 直島通信 2003. 6

150年前の色彩“復活”ミレー代表作「種をまく人」山梨県立美術館が修復へ
版画とその値段 9〜11 ミロの版画 1〜3 秋山 修 美術の窓 239〜241

(Δ)

ドロークのドライさにユーモアをプラス注目の若手、ムーレンダイクス[ヤン・ポール・ムーレンダイクス]
17世紀セビーリャ派絵画研究―バルトロメ・エステバン・ムリーリョの風俗画をめぐって―
ムンクの「叫び」赤い空は火山灰の異常気象ヒント? 米天文学者が新説
ムンク「叫び」背景大噴火の気象異変米の学者新説
寺本 政司 東京夕刊 12. 11
笹沢 教一 読売夕刊 12. 10

(メ)

[特集]YES! YOKO ONO オノ・ヨーコの復権 ジョナス・メカス インタビュー
小崎 哲哉 ART iT 1

第五六回全国大会研究発表要旨 ハンス・メムリンク作《受難伝》および《聖母の七つの喜び》におけるエルサレム表現について
岸 弥生 美術史 155

第15回世界文化賞10月23日に授賞式 ブリジット・ライリー氏ら5名に[マリオ・メルツ]
(千) 新美術新聞 1009

第15回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者紹介 彫刻部門 マリオ・メルツ氏
産 経 7. 3

第15回高松宮殿下記念世界文化賞受賞者彫刻部門マリオ・メルツ 日常素材で生み出す「謎」
桑原 聡 " 9. 20

世界文化賞受賞者会見 信念と素顔一流の証明[マリオ・メルツ]
" 10. 23

伊の彫刻家 世界文化賞 マリオ・メルツ氏死去
桑原 聡 " 11. 11

(モ)

開かれていた印象派の眼 クロード・モネ16歳の作品
村松 和明 美術の窓 235

らんぼう美術館20第十九室 クロード・モネ
平松 礼二 " 239

モネ肖像作者の謎 同じ構図の絵発見! 馬淵 明子 読売夕刊 10. 1

美学会第五十四回全国大会発表要旨 ジョルジョ・モランディと「静物」の論理
長友 文史 美学 215

アーツ・アンド・クラフツと工芸の変貌―ウィリアム・モリスと柳宗悦をめぐって―
藤田 治彦 " 213

半歩遅れの読書術 ベルト・モリゾ 印象派の秘法知る画家
菅野 昭正 日 経 11. 16

第五六回全国大会研究発表要旨 ギュスターヴ・モロー作《オルフェウス》について
田中 麻野 美術史 155

ギュスターヴ・モローとジャポニズム伝統異にする浮世絵に関心 無名絵師の作品を模写
及川 茂 東京夕刊 2. 4

(ヤ)

新しき誘惑への使徒たち 第7回 楊紹良[ヤン・シャオリン]
アート トップ 192

(ユ)

特集3 アートの中のセルフイメージ 女性シュルレアリストの自己表現 ヴァランティヌ・ユゴーとレオノール・フィニーの場合
宮川 尚理 化粧文化 43

修士論文概要 ラウル・ユバックと写真―1930年から1945年までの作品を中心に
土山 陽子 早稲田大学大学院文学研究科 紀要 48

特集アジアの現在 「サイアム的」クリエーションを体現するビジュアル派作家。 プラール・ダー・ユン
金子 義則 STUDIO VOICE 333

(ラ)

漆の人であり漆の神 [ライ・ツォウミン]
頼 作明 新美術新聞 995

土浦亀城の山縣邸と フランク・ロイド・ ライトのウィリッツ 邸との比較研究	河野 良平	芸術学研究(筑波 大学)	7	[作品研究]李禹煥の 制作における「倫理」	保坂健二郎	現代の眼	538
F.L.ライトの建築 思想における「成長」 の概念	水上 優	日本建築 学会計画 系論文集	563	特集 森山大道 中 平卓馬 格闘写真史 196 X—200 X 李禹 煥インタビュー 「中平卓馬は、産業 社会のアンチとして モノを見出した。」	中川 道夫 ききて	美術手帖	833
F.L.ライトの建築 思想における「第3次 元」の概念	"	"	571	李庚の絵画—中国の 現代作家紹介— [リ・クン]	塩田 昌弘	大手前大 学社会文 化学部論 集	3
新・作家への道標97 ヴォルフガング・ライ プ ただそこに結 晶化され、静かに佇 むことの奇跡 私 の制作の姿勢は、世界 すべてに対する挑戦 でもあるのです		ギ ャ ラ リー(月 刊)	214	Asian Artist 李 太 源 (LEE DAI— WON) 東洋的な抽 象の意味を		ギ ャ ラ リー(月 刊)	214
対談 ヴォルフガ ング・ライプ×鈴木理 策 時を超えるもの を見つめて	編 集 部 構成	美術手帖	833	ルーシー・リーの造 形原理	出川 哲朗	陶 説	598
第15回世界文化賞10 月23日に授賞式 プ リジット・ライリー 氏ら5名に	(千)	新美術新 聞	1009	「東と西の結婚」の ヴィジョン:パー ナード・リーチの生 涯と芸術	鈴木 慎宏	Ourobor- os	21
第15回「高松宮殿下 記念世界文化賞」 受賞者紹介 絵画部 門 プリジット・ラ イリー氏		産 経	7.3	「デ・ス ティル」ゲ ループとリートフェ ルト[ヘリット・ トーマス・リート フェルト]	山村 仁志	府中市美 術館だよ り	10
総合学芸 第15回高 松宮殿下記念世界文 化賞受賞者 絵画部 門 プリジット・ラ イリー 時空を超える 不可思議な平面	生田 誠	"	9.27	赤い巨大オブジェは [アレクサンダー・ リーパーマン]	草下 健夫	産 経	6.29
世界文化賞受賞者会 見 信念と素顔 一 流の証明[プリジッ ト・ライリー]		"	10.23	ベルリン五輪記録映 画「民族の祭典」 リーフェンシュター ル監督死去[レニ・ リーフェンシュター ル]		日 経	9.10
ラファエロのフィレ ンツェ時代の聖母子 画における幼児洗礼 者聖ヨハネの扱いに ついて	久保いくこ	芸術学研究(筑波 大学)	7	文化 海に魅せられ たレニ[レニ・リー フェンシュタール]	館石 昭	"	9.13
イタリア・ルネサ ンス絵画における(聖 母子と聖ヨハネ)の 主題の成立と展開— ラファエロを中心と して—	"	"	"	レイデン時代のレン ブラントとリーフェ ンスの人物像素描— 二つの《東洋の兵士》 (Benesch 3、4)の 帰属と機能につい て—[ヤン・リー フェンス]	熊澤 弘	鹿島美術 財団年報 別冊	20
オピニオン2003 ディーター・ラムス	小町 英恵	A X I S	105	美学会第五十四回全 国大会発表要旨 チャールズ・リケッ ツと日本—大正にお ける『サロメ』上演 をめぐって—	小嶋 洋子	美 学	215
顔 「マンガ金正日 入門」を著した 李 友 情さん[リ・ウ ジョン]	原 幸一	読 売	10.18	もうひとりのヘロ デーリケッツとピア ズリーをめぐる考 察—[チャールズ・ リケッツ]	"	美学論究	18
新・作家への道標 104 李禹煥・韓国 での初の回顧展を前 に アーティストは 常に緊張感の中に あって常に闘う姿勢 の中にいるんです が、日本では…		ギ ャ ラ リー(月 刊)	221	第五六回全国大会研 究発表要旨 一六世 紀における動植物画 制作の目的と用途— ヤコボ・リゴツィ の動植物画と《トル コ人と動物》連作を 中心に	和田 咲子	美術史	155

フィリッポ・リッピ 作パラッツォ・メ ディチのための《幼 児キリストへの礼 拝》の一解釈—新し い「降誕図」をめぐ って—	剣持あずさ	美 学	214
行動としての絵画 ゲルハルト・リヒ ター 眺め	吉原美恵子	徳島県立 近代美術 館ニュー ス	44
ゲルハルト・リヒ ター 絵画の鏡 ア ブストラクトペイン ティングの成立	清水 穰	美術手帖	829
空間の思考7 歴史 認識から建築へ ダ ニエル・リーベスキ ント2 「ユダヤ博 物館」	多木 浩二	ユリイカ	471
特集 ダニエル・リ ベスキント		"	474
歴史と建築の臨界 をめぐって	多木 浩二、 田中 純 対談		
解体、構築、そし て希望	小林 康夫		
私はダニエル・リ ベスキントにつ いて何を書く、あ るいは書かないの か?	八束はじめ		
歴史、断ち切れ る空虚『ベルリ ン・ユダヤ博物 館』のための断片 ×3	守中 高明		
リベスキントの三 角形	飯島 洋一		
苦悩する都市ベル リンと希望として のリベスキント	斉藤 理		
「線の間」を埋める ために	浜田 邦裕		
線と面の間に	菅野 裕子		
共鳴する建築 リ ベスキントにと って音楽とは何か?	吉田 寛		
線・争の建築	五十嵐太郎		
ダニエル・リベ スキント主要作品紹 介	松田 達 島居 斉 藤井 由理		
天声人語[ダニ エル・リベスキ ント]		朝 日	3.18
創作探訪 リベスキ ント展が問うこと 「破壊」記憶する建 築	松岡 弘城	日 経	2.9
ユダヤ人建築家 リ ベスキントに決ま った「9・11」跡地開 発	五十嵐太郎	読売夕刊	3.4
若き日のディエゴ ・リベラ(2): キュ ビスムからの離反と メキシコへの回帰	(KF)	ア ー ト ペーパー	56

(ル)

第五六回全国大会 シンポジウム『美術 と修復』『洗浄』とい う難問—ピーテル・ パウル・リュベンス 《十字架建立》—	森 直義	美術史	155
美の美 名画の技 2—ルーベンス	宝 玉 正彦	日 経	7.6
ルオー展鑑賞の手 引き 繰り返される モチーフ—ルオーの 四つのキリスト像に ついて—	八波 浩一	出光美術 館館報	124
建築家・芸術家 ル・コルビュジエ、 1950年代のフランス の建築	ジェラール・モ ニエ招致研究者 森島 報告者	鹿島美術 財団年報 別冊	20
情報化された建築 空間の構成に関する 研究 ル・コルビュ ジエ全作品集の建築 写真の連続性につ いて	岡河 貢 足立 真成 坂本 一成	日本建築 学会計画 系論文集	564
来月閉館の東急文 化会館「幻の緞帳」 保存へ[ル・コルビ ュジエ]		朝 日	5.9
巻頭特集 素朴と神 秘の画家 ルソーの 秘密		美術の窓	237
密林シリーズにつ いての一考察	横尾 忠則		
評伝 アンリ・ル ソー 女性と創作 と	編 集 部		
ルソーの秘密に迫 る secret 1—9			
研究ノート 内なる 風景へのまなざし— オディロン・ルド ンの幻想風景をめぐ って	山上 紀子	美学美術 史研究論 集	20
政府注文と画家— オディロン・ルド ンによるゴブラン織 り下絵制作につい て—	"	美術史	154
ヴァシリー・カン ディンスキーとアン リ・ル・フォーコニ エ	真野 宏子	国学院雑 誌	1158

(レ)

新収作品 グイド・ レーニ《ルクレチ ア》	高梨 光正	国立西洋 美術館年 報	36
美学会第五十四回 全国大会発表要旨 グイド・レーニの《 アウローラ(曙)》— シビオーネ・ボル ゲゼ枢機卿と牧歌 劇の舞台—	高橋 健一	美 学	215

ガイド・レーニの《バエトンの墜落》と《光と闇の分離》—クレメンスⅧ時代ボローニャの文学と絵画—	文 化	360・361
1880年前後のロシアにおける歴史画とイリヤ・レービン	杉山 昌夫 鹿島美術財団年報別冊	20
独の彫刻家 レームブルック知ってる? 1881年生まれ38歳で自殺[ヴィルヘルム・レームブルック]	菅原 教夫 読売夕刊	9.22
遺稿(未完) ミラノ時代の肖像画[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	柏木 隆夫 関西大学哲学	23
特集「近代」と「美術」の外側「アジア復興レオナルド・ダ・ヴィンチ展覧会」と戦時下の「レオナルド時代」	谷口 英理 近代画説	12
PARIS発 ダ・ヴィンチと美と思考の連続の記録	安部 雅延 新美術新聞	994
美術批評50年—ピエール・レストニエをしのびつつ	瀬木 慎一 あいだ	96
ピエール・レストニエを悼む 鋭く情熱的 美術評論の第一人者	新宮 晋 産 経	7.26
光の魔術師アリック・レヴィ カルティエのバリ新社屋は光を見せない光の空間	桜井みどり デザインの現場	129
レイデン時代のレンブラントとリーフェンスの人物像素描—二つの《東洋の兵士》(Benesch 3, 4)の帰属と機能について—	熊澤 弘 鹿島美術財団年報別冊	20
特集 レンブラント 終わりなき挑戦の画家	尾崎 彰宏 芸術新潮	647
巻頭特集 2003年人物画傑作選 レンブラントそしてサージェント	千足 伸行 美術の窓	232
巻頭特集 女性の美学 エロスとレンブラント	小林 英樹 "	238
巻頭特集 魂の探求者 ゴッホVSレンブラント	"	240
ふたりの真摯な求道者	"	

現実性と聖性との融合	栗津 則雄	
略伝ゴッホとレンブラント レンブラント—女性に支えられた生涯		
レンブラントに寄せて 視覚的触感、光と影	小尾 修	
美の美 名画の技 3—レンブラント	宝玉 正彦 日 経	7.13
レンブラント幻の自画像 13億円落札		毎日夕刊 7.11
レンブラントの自画像発見	鶴原 徹也 読売夕刊	2.1
28歳のレンブラント 復元自画像13億円落札	"	7.11
(口)		
世界の現代ガラスベストコレクション7 レナー・ロウピチュエ	武田 厚 美術の窓	238
第15回世界文化賞10月23日に授賞式 ブリジット・ライリー氏ら5名に[ケン・ローチ]	(千)	新美術新聞 1009
How Latitudes Become Forms[緯度はいかにかたちとなるか] ロビン・ロード	フィリッポ・ヴェルニ ユン タ ビュー	キュレーターズ・エッグ 4
カリエ=ベルズ工房とロダン[オーギュスト・ロダン]	泰井 良 関西大学哲学	23
ジュリオ・ロマーノ 作パラッツォ・デル・テの「驚の間」に関する一試論—政治メディアとしてのフェデリーコ・ゴンザーガ二世の寝室—	望月由美子 美術史	154
(ワ)		
ボンチ絵に隠された幕末史 第3の道模索したプロシヤワーグマン描く「会津の将軍」[チャールズ・ワーグマン]	赤塚 行雄 朝日夕刊	1.22
ミュージアム・インタビュー「アーティストのワイルダーさんにききました」の巻[アニアス・ワイルダー]		aprire 3

そ の 他 美術関係者

日 本

(ア行)

東京学芸大学所蔵「秋艸道人個展釋文」の書写年代[會津八一]	石井 健	東京学芸大学紀要	55
會津八一コレクションについて3	金澤 邦夫	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要	4
會津八一に関する図書の目録	中西 亮太	" "	" "
特集 唐津 日本のやきものルネサンスⅢ古唐津に憑かれた男たち 青山二郎	編集部	芸術新潮	640
穴澤一夫氏を偲びて	秋山 光和	日仏美術学会会報	22
鉄腕アマノ[天野駿]	丹尾 安典	一寸	14
ようこそ 荒川正明さん 出光美術館主任学芸員 妥協しない生き方にほれ込んで	山盛 英司	朝日夕刊	8. 13
私の履歴書1~30	有馬 頼底	日 経	3. 1~9、11~31
有光教一氏インタビュー 私と朝鮮古蹟調査研究—戦前から戦後を通して—	京都木曜クラブ 編	考古学史研究	10
第15回國華賞に安藤佳香氏 同奨励賞には猪熊兼樹氏「國華」に菊池寛賞	(常)	新美術新聞	1008
こと場 安藤佳香さん 京都造形芸術大学教授 國華賞受賞		朝日夕刊	11. 27
第25回サントリー学芸賞決まる 芸術・文化部門に飯島洋一氏、宮崎法子氏	(美)	新美術新聞	1010
ひと 現代建築評論にサントリー学芸賞[飯島洋一]		読売夕刊	12. 16
2003年日本建築学会大賞 我が国における西洋建築史学の確立と建築文化財保存の実践に対する貢献	飯田喜四郎	建築雑誌	1508
私INプレントラウアーベルク 池田佳奈重さん 未来切り開く作家紹介したい	宮明 敬	読 売	4. 13
池長孟と牧野富太郎	勝盛 典子	神戸市立博物館研究紀要	19
ギゾー様、まいる[池辺義象]	丹尾 安典	一寸	16

特集 アートの仕事
がしたい ボラン
ティアからスベシ
ヤリストまで 1
ギャラリスト タ
カ・イシイギャ
ラリー石井孝之

白坂 ゆり
ききて・構 美術手帖 836

東京画廊・石井利治
氏に聞く3—安井曾
太郎の葬儀、駒形十
吉、日本芸術大賞—

中山 ゆか
り、五十殿利治
聞き手 現代芸術
研究 5

ひと 地域に溶け込
んでアンコール遺跡
修復[石澤良昭]

読売夕刊 10. 27

2003年日本建築学会
賞・論文 近代日本
の建築と建築家に関
する多面的な研究

石田潤一郎 建築雑誌 1508

新しい歴史学を求め
て—「現象学的史学」

石田 尚豊 文化史学 59

文化・アーティスト
と世界 シリーズ3
伊勢彦信 隠れた才
能を探し出し実質的
な支援活動が続ける

ギャラ
リー(月
刊) 220

特集 唐津 日本の
やきものルネサンス
Ⅲ古唐津に憑かれた
男たち 出光佐三

編集部 芸術新潮 640

奥高麗をめぐる謎
その9 —糸屋良斎
と伊達綱村茶会記—

葛城三千子 陶 説 606

新春特別インタ
ビュー 日本文化の
伝統と発展 日本芸
術院長犬丸直氏に聞
く

ア ー ト
ト ッ プ 189

追悼—奥田元宋 奥
田元宋先生の思い出

犬丸 直 " 191

田中保の魅力もっと
知って 井上禎治さ
ん 文京で作品ギャ
ラリー開設

山本 雅人 産 経 1. 15

第15回國華賞に安藤
佳香氏 同奨励賞に
は猪熊兼樹氏「國
華」に菊池寛賞

(常) 新美術新聞 1008

第9回重森弘淹写真
評論賞に今橋映子氏

(美) " 1004

日本の実力派たち
東京大学助教授今橋
映子さん 異文化理
解の地平広げる

小島 英熙 日経夕刊 7. 14

私の古典 今村太平
の映画論など

佐藤 忠男 学 燈 100-2

実践と基礎知識 茶
の湯人物伝 数寄者
と美術館(一)[岩崎
弥之助]

淡 交 698

明治末年の美術と音
楽—岩村透と鈴木鼓
村—

森 仁史 一寸 14

美術史における芸術家—植田壽藏『近代繪畫史論』に潜む社会的役割を問題化する—	亀井 祐美	文化学年報(同志社大学)	52
ひと 多くの建築家発掘 編集者を表彰 [植田実]		読売夕刊	9.22
この人 日本遺跡学会初代会長に就任の京都橘女子大教授 牛川喜幸さん		東 京	3.4
追悼 江上波夫先生を偲ぶ	中根 千枝	東 方 学	105
追悼・江上波夫先生	大和 岩雄	東アジアの古代文化	114
新・コレクター登場 vol.4 本物で「感性」を磨く人間模様 江森清さん	秋 田	版画芸術	119
文化勲章に加山又造氏と大岡信氏 文化功労者に安藤忠雄氏、田沼武能氏	(美)	新美術新聞	1008
〈小委員会活動報告〉戦後建築史家の軌跡〈第六回〉大河直躬	戦後建築史学研究小委員会	建築史学	40
江戸化政期の粹人、文人たち(39)(大窪詩仏) 楽易な聴覚型の詩人	渥美 國泰	目 の 眼	320
幕末生れ明治の出版人 原胤昭・大倉孫兵衛	岩切信一郎	一 寸	13
大庭脩前館長 略年譜・著作目録 大庭脩前館長 略年譜		大阪府立近つ飛鳥博物館報	8
大庭脩前館長 略年譜・著作目録 大庭脩前館長 著作目録		" "	" "
大庭脩前館長 追悼文集		" "	" "
大庭先生を悼む	竹内 脩		
古稀新生・大庭先生の姿に重さねて	水野 正好		
二代の天皇から頂いたお言葉「ありがとうございます」と御準備のこと	大庭 博子		
入院中の父	土井 典子		
追悼 大庭脩先生	網干 善教		
大庭さんのこと	安藤 忠雄		
大庭先生語録	一瀬 和夫		
憧れの大人の風貌	石神 怡		
大庭脩先生への追悼	井上 秀雄		
大庭先生を偲ぶ	猪熊 兼勝		
大庭先生のご指導を得た年月	岩瀬 透		

河内飛鳥と周一良先生とのつながり	上田 正昭
二足のわらじが多足のわらじに	内田 正俊
碩学の他界を惜しむ	上井 久義
風を慕う	大谷 治孝
大きな人	大西 宏道
『古代人名録—戸籍と計帳の世界—』のころ	大脇 潔
大庭先生と中国を旅して	岡田 登
わが「福の神」	岡本 健一
大庭脩先生を偲んで、日野昭先生への手紙—近つ飛鳥博物館での最後の展示に関連して—	岡本 敏行
大庭脩館長を悼む	小田富士雄
大庭館長を偲ぶ	小田 義久
持説を壁画に見た大庭脩先生の遺烈	小野山 節
博物館長としての大庭先生	金関 恕
学べなかった先生の学問	河上 邦彦
大庭脩先生のこと	上林 史郎
大庭先生と『親魏倭王』	北野 耕平
大庭先生と印学	久米 雅雄
私にとっての「大じん人」	栗山 和之
大庭脩先生の想い出	黒田 一充
大人—大庭館長を偲ぶ—	河野 和明
待っていて下さい・大庭先生	小林 三郎
大庭先生の学術指導	小山田宏一
大庭脩先生を偲んで	近藤 本龍
温和と鋭利	榮原永遠男
大庭脩館長を惜しむ	白石太一郎
大庭先生と教育	菅谷 文則
大庭脩先生の追憶	鈴木 靖民
開館記念特別展「シルクロードのまもり—その埋もれた記録」	高島 徹
木簡への親しみと大庭先生	高橋美久二
大庭脩先生のこと	武田佐知子
「白山家資料」と大庭先生	田中 和弘

畏友、大庭脩氏と旧制大阪府立浪速高等学校	谷村 晃		岡倉天心と久保田鼎—久保田家資料を中心に—	吉田千鶴子	"	"	
大庭脩先生の笑顔	玉井 功		地歌「菜の花」と岡倉天心—横山大観作《菜の花》との関わりから—	水木 結	"	"	
永遠の笑顔	玉崎 勝治		美学会第五十四回全国大会発表要旨 岡倉天心とボストン美術館再考—「東洋美術史」構想を中心に—	久世夏奈子	美 学	215	
大庭先生を偲んでにこやかな大庭先生	千原 勝彦		芸術をめぐる言葉 124 真の芸術は伯牙であり、われわれは竜門の琴である。……岡倉天心	谷川 渥	美術手帖	834	
大庭館長の思い出 蘭園墨莊主人を偲ぶ	辻本 努 坪井 清足		天心岡倉覚三の思想形成—福井人としての岡倉と橋本左内—	川島 一穂	LOTUS	23	
ジャーナリストティックな眼—大庭脩先生の追悼に寄せて	坪井 恒彦		壮大なスケールで日本考古学に新風 岡崎敬氏の遺稿出版		朝日夕刊	5.10	
電話	永島 純一		第13回吉田秀和賞に岡田温司氏	(常)	新美術新聞	1009	
忘れられない景色	永田 英正		小川コレクション目録 I [小川栄一、小川弘一、小川貴司]	稲川由利子	岐阜市歴史博物館研究紀要	16	
大庭先生の思い出	西口 陽一		第2回竹尾賞デザイン史研究論文 優秀賞に奥定泰之氏	(美)	新美術新聞	992	
近つ飛鳥博物館での大庭先生との再会	端 信行		小田義久教授略年譜		龍谷史壇	119・120	
残念です	畠井 浩		小田義久教授著作目録		"	"	
大庭脩先生のこと	原 秀三郎		小西大東 その三—京都史蹟会に関する新出資料を中心として—	松田万智子	京都府立総合資料館紀要	31	
追悼 大庭脩館長	福岡 澄男						
大庭先生追悼	藤田 豊						
大庭先生追悼	藤永 正明						
大庭史学	藤善 眞澄						
大庭脩先生と私—「居延漢簡」を読み始めた頃	町田 章						
大庭先生を偲んで	三木 弘						
接客業	水田 紀久						
十年間のご恩	三宅 正浩						
大庭先生のこと	向井 幸一						
大庭脩先生を思う	山中 一郎						
行幸啓のこと	山本 彰						
多趣味な碩学の師—大庭脩先生	吉房 康幸						
2通の書面	吉村 健						
大庭先生と木簡学会	和田 萃						
大庭脩先生と私	大形 徹						
大阪府立近つ飛鳥博物館 大庭脩館長追悼文集 力を傾けち続けられた先生に	水野 正好	大阪文化財研究 24					
惜別の辭[大庭脩]	藤善 眞澄	東方学 105					
岡倉天心の鎌倉彫刻論—仏像批評史の基礎的研究として—	熊田由美子	五浦論叢 10					
『白狐』に至る軌跡—『ヨシツネ物語』、『コアツモリ』、『アタカ』に関する考察—[岡倉天心]	清水恵美子	" "					
			加藤達美先生の思いで	小松 誠	陶 説	604	
			交遊抄 貴公子	香取 忠彦	日 経	4.2	
			実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(二)[嘉納鶴翁]		淡 交	699	

ひと「スター・ウォーズ展」を企画した京都国立博物館研究官 狩野博幸さん	森本 俊司	朝 日	8. 2	座談会 を語る	児島喜久雄	嘉門 柳 前川 安雄、宗玄、誠郎、光雄 茂	清 春	33
人間列島 石川県1 嘉門安雄		読売夕刊	11. 8	児島喜久雄の思い出に寄せて			" "	
テーブルトーク 町おこしに現代美術展 北川 フラムさん (アートディレクター)	山盛 英司	朝日夕刊	1. 28	続・思い出することなど一父の思い出	児島 光雄			
アートディレクター 北川フラムさん 仏から芸術文化勲章 型破りの活動に高い評価		読 売	11. 15	三役をこなした児島喜久雄	雪山 行二			
美術評論2冊 北澤 憲昭さん	前田 恭二	読売夕刊	4. 16	特集 アートの仕事 が見たい ボランティアからスペシャリストまで 2 コーディネーター/ライター/キュレーター/講師 児島やよい	坂口 千秋 きて・構 成	美術手帖	836	
コレクション道 蒐集こそ我が人生 コレクター3 北田治さん 現代版画史に残るミュージアムピースが欲しい	秋 田	版画芸術	121	実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(四) [五島慶太、後藤幸三]		淡 交	701	
実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(六) [北村謹次郎]		淡 交	703	朝鮮古蹟調査における小場恒吉	高橋 潔	考古学史研究	10	
第15回倫雅美術奨励賞決まる 美術評論部門小沢節子氏 美術史研究部門木村理恵子氏	(千)	新美術新聞	1010	実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(三) [小林逸翁]		淡 交	700	
美術手帖編集長に聞く 楠見清さん 常に問い続けたい	石川 健次	毎日夕刊	8. 29	特集 詩集のつくり方 詩集を遺さなかった詩人 クロニクル2002年9月-12月 [小林善雄]	内堀 弘	ユリイカ	475	
岡倉天心と久保田鼎一久保田家資料を中心に	吉田千鶴子	五浦論叢	10	東京画廊・石井利治氏に聞く3-安井曾太郎の葬儀、駒形十吉、日本芸術大賞一	中山 ゆかり、五十殿利治 聞き手	現代芸術研究	5	
巻頭エッセイ 隈元 謙次郎先生追憶	青木 茂	近代画説	12	時代を拓く 江戸 to TOKYO 3 現代の写実「世に出す」 [小山登美夫]	藤川 明子	朝 日	1. 5	
追悼 黒岩重吾	大和 岩雄	東アジアの古代文化	115	フロントランナー 画廊経営小山登美夫さん 「村上・奈良」 輝かせ、アートを大衆の手に	野波 健祐	"	11. 8	
桑山正進教授著述目録(一九六五-二〇〇二)		東方学報 京都	75					
【座談会記録】 企画展「甲野勇の軌跡」公開座談会記録	和田 哲、江坂 輝弥、檜 國男、吉田 格、渡辺 忠胤、進行 清水 司会	くにたち郷土文化館研究紀要	5			(サ行)		
第15回倫雅美術奨励賞決まる 美術評論部門小沢節子氏 美術史研究部門木村理恵子氏	(千)	新美術新聞	1010	すぐれた作家・作品論『彫刻家への手紙』を刊行 美術評論家・神奈川県立近代美術館館長酒井忠康さんに聞く	(S)	産 経	1. 18	
				2002年度芸術選奨 文部科学大臣賞に若林奮氏、樺原悟氏 新人賞に遠藤秀平氏	(美)	新美術新聞	989	
				美術商よもやま話一坂本五郎氏に聞く	山本ゆかり	国華清和会会報	1	

文化 生誕百年瀧口修造に捧ぐ シュールレアリストのオマージュ展、今年24回目	佐谷 和彦	日 経	11.10	実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(二)[住友春翠]	淡 交	699
実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(五)[佐藤助庵]			淡 交	702	(タ行)	
彙報 佐原真先生を偲ぶ	井上 洋一	考古学雑誌	87-3	日本実験映像史10 瀧口修造と前衛映画	西村 智弘	あ い だ 96
文化 モアイ像 端正な顔再び 修復に日本の技術駆使、謎解明の一助に	沢田 正昭	日 経	2.21	瀧口修造アーカイヴ所蔵のスタドレール画廊カタログ	菊谷 洋介	慶応義塾大学アート・センター年報 10
貴賓席 「状況に対して無自覚なのは…」[棋木野衣]	白川 昌生	あ い だ	89	特集1 旅―「ここではないどこか」を生きたための10のレッスン リバティ・パスポート[瀧口修造]	巖谷 國士	現代の眼 542
志賀直哉と美術	酒井 忠康	国文学解釈と鑑賞	867	文化 生誕百年瀧口修造に捧ぐ シュールレアリストのオマージュ展、今年24回目	佐谷 和彦	日 経 11.10
顔 ベトナムの遺跡博物館の展示を指導する 重枝豊さん	片岡 正人	読 売	10.26	人らんだむ 第14回 倫雅美術奨励賞を受賞した町田市立国際版画美術館の学芸員 滝沢恭司氏	(千)	新美術新聞 985
『雪舟からはじまった。』美術史家島尾新の個展		新美術新聞	1004	特集 詩集のつくり方 伊達得夫流「詩集のつくり方」	田中 栞	ユリイカ 475
特集 アートの仕事 がしたい ボランティアからスペシャリストまで Art Runners mini Interview 4 インディペンデント・キュレーター清水敏男	[難波]	美術手帖	836	田中日佐夫教授最終講義		美学美術史論集 15
特集 詩集のつくり方 詩、活字になるタイポグラフィ・志茂太郎小伝	片塩 二郎	ユリイカ	475	特集 唐津 日本のやきものルネサンスⅢ古唐津に憑かれた男たち 田中丸善八	編 集 部	芸術新潮 640
貴賓席 「状況に対して無自覚なのは…」	白川 昌生	あ い だ	89	実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(六)[田部松露亭]	淡 交	703
「学 鑑」を 読 む (170)―白洲正子	紅野 敏郎	学 鑑	100-6	コレクション道 蒐集こそ我が人生 コレクター4 谷口字平さん 作家の創造性こそが魅力	秋 田	版画芸術 121
続々再発見 近代の女性作家たち70 白洲正子	渡辺 澄子	東京夕刊	4.26	柳宗悦と有縁の人々(6) 塚田泰三郎	近藤 京嗣	陶 説 601
2003年日本建築学会賞・論文 イタリアおよび日本の都市史に関する研究	陣内 秀信	建築雑誌	1508	特集 坪井良平 未発表遺稿 第二篇 坪井家覚書―明治四十年～	坪井 良平 坪井 清足	梵 鐘 15
特集 アートの仕事 がしたい ボランティアからスペシャリストまで Art Runners mini Interview 7 批評家杉田敦 キュレーター杉田里佳	[染谷]	美術手帖	836	芸苑雑事記131 追悼二題―土井弘二、梅津五郎	瀧 梯三	美術の窓 241
明治末年の美術と音楽―岩村透と鈴木鼓村―	森 仁史	一 寸	14	人間発見 将軍の霊夢4	徳川 恒孝 高尾 建博 聞き手	日経夕刊 10.18
特集 唐津 日本のやきものルネサンスⅢ古唐津に憑かれた男たち 須藤善光	編 集 部	芸術新潮	640	交遊抄 貴公子[富山秀男]	香取 忠彦	日 経 4.2
				研究報告 鳥居龍蔵の長野県調査と郡教育会―『先史及び原史時代の土伊那』の編纂と刊行―	宮脇 正美	長野県立歴史館研究紀要 9

(ナ行)							
日本実験映像史9 中井正一と前衛映画	西村 智弘	あ い だ	95	実践と基礎知識 茶 の湯人物伝 数寄者 と美術館(四)[畠山 即翁]	淡 交	701	
特集1 中井正一論 前進はしたか—図書 館人としての中井正 一について	田野倉康一	セ ソ ン アートブ ロ グ ラ ム・ ジャーナ ル	10	実践と基礎知識 茶 の湯人物伝 数寄者 と美術館(五)[服部 正次]	"	702	
美術評論家なかが わ・つかさの活動を通 して見た昭和30年 代の札幌の美術	吉崎 元章	鹿島美術 財団年報 別冊	20	コレクション道 蒐 集こそ我が人生 コ レクター1 馬場駿 吉さん コレクター としての二つの原 則—私の蒐集40年 の歩みをふり返って—	馬場 駿吉	版画芸術	121
再考・版元中島重太 郎の版画集発行—昭 和の戦時中の版画発 行広告より—	岩切信一郎	一 寸	16	展示と研究に奮闘し た濱島先生[濱島正 士]	宇田川武久	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	100
人・模・様 メセナ 大賞「私より女房に」 [飛騨石庭社長中田 金太]	山本 敦	毎日夕刊	1.8	林宗毅氏と定静堂コ レクション	鶴田 武良	和泉市久 保惣記念 美術館久 保惣記念 文化財団 東洋美術 研究所紀 要	12・13
文化 マヤ文明に魅 せられて 偶然の重 なり、コバン王国の 王墓発見に導く	中村 誠一	日 経	3.27	林宗毅氏 略年表	鶴田 武良 編	" "	
ひと 目先よりも10 年先を 義憤から手 を挙げた 中本利夫 さん	和田 崇	毎 日	4.2	幕末生れ明治の出版 人 原胤昭・大倉孫 兵衛	岩切信一郎	一 寸	13
顔 “1万円のゴッ ホ”を6600万円で落 札した 中本利夫さ ん	松本 晃	読 売	2.21	いぶき “素人の目” で芸術伝える ギャ ラリーツアーなどを 行う NPO「MAG— net」原信子さん		読 売	6.10
サタデー発言 アー トNPO長かった道 程	並河恵美子	東 京	11.22	追悼日向あき子		構 造	14
実践と基礎知識 茶 の湯人物伝 数寄者 と美術館(二)[根津 青山]		淡 交	699	日向あき子論 試 論・美術批評の中 の文化人類学的眼 差し	仲野 泰生		
コレクション道 蒐 集こそ我が人生 コ レクター2 野中健 一さん “作品”に共 鳴し続けるこころの 在処	岡 部	版画芸術	121	日本のひとたちに 役立ちたい：につ ぽん・ポッピズ ム—日向あき子の 最晩年の世界—	門田 秀雄		
実践と基礎知識 茶 の湯人物伝 数寄者 と美術館(三)[野村 得庵]		淡 交	700	文化 開港の活気人 形に映す 昭和初期 製の横浜郷土玩具を 調査・収集	平尾 榮美	日 経	2.28
(ハ行)							
自著を語る『C夫人 肖像画 世界の巨匠 29人に愛された女 性』長谷川智恵子 さん(日動画廊副社 長)	長谷川智恵 子	東京夕刊	10.9	特集 アートの仕事 がしたい ボラン ティアからスペシャ リストまで 4 キュレーター 国立 国際美術館研究員平 芳幸浩	原 久子 ききて・構 成	美術手帖	836
特集 アートの仕事 がしたい ボラン ティアからスペシャ リストまで 5 キュレーター/美術 評論家 長谷川祐子	原 久子 ききて・構 成	美術手帖	836	特集 唐津 日本の やきものルネサンス Ⅲ古唐津に憑かれた 男たち 廣田照	編 集 部	芸術新潮	640
				無名と非命 福地復 一のこと	森 仁史	一 寸	15
				あの時の私 福富太 郎さん 美術収集家	高野 清見 聞き手	読売夕刊	6.28

彙報 藤島亥治郎先生を偲ぶ	斎藤 忠	考古学雑誌	87—3
〈追悼〉藤島亥治郎先生を偲んで	堀内 明博	古代文化	531
実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(一)[藤田香雪]		淡 交	698
特集 唐津 日本のやきものルネサンスⅢ古唐津に悪かれた男たち 古館九一	編集部	芸術新潮	640
特集 釜に魅せられた人びと 古香庵、茶の湯釜の研究と蒐集	細見 實	淡 交	700
(マ行)			
はくぶつかん散歩1 初代博物館長 町田久成の墓所 上野桜木 津梁院	上野 仁哉	国立博物館ニュース	659
テーブルトーク 分岐点は90年代の半ば 現代美術の変容を論じ 松井みどりさん(美術評論家)	藤生 京子	朝日夕刊	3. 25
気鋭新鋭 松井みどりさん(美術評論家) 学究的誠実さ詩的な感受性	(前)	読売夕刊	11. 14
図画教育者列伝(四)〜(六) 松田霞城(その三)〜(その五)	金子 一夫	一寸	13〜15
講演要旨 上方役者絵研究の草創期—松平進先生と南木コレクション— 五月一日〜八日 歌舞伎でめぐる日本一	中村 博司	池田文庫	23
第24回ジャポニズム学会賞に松村恵理氏	(美)	新美術新聞	1009
ひと 破壊されたイラクの文化財調査に参加する 松本健さん	山盛 英司	朝 日	4. 27
顔 ユネスコのイラク文化財調査に参加する 松本健さん「略奪品取り戻す手伝いを」	片岡 正人	読 売	5. 7
著者に会いたい『前衛いけばなの時代』三頭谷鷹史さん	宮崎 健二	朝 日	6. 1
〈学史〉わが父・三森定男	前田佐智子	古代文化	539
勝浦・那智における南方熊楠	松居 竜五	生活文化研究所年報	16
交遊抄 らつ腕館長[養豊]	武藤 治太	日 経	11. 14

特集 アートの仕事 が見たい ボランティアからスベシャリストまで 3 美術造形職 アースワーク代表宮内秘	白坂 ゆりき成	美術手帖	836
第25回サントリー学芸賞決まる 芸術・文化部門に飯塚洋一氏、宮崎法子氏	(美)	新美術新聞	1010
あとがきのあと「池田満寿夫一流転の調書」宮澤壯佳氏 同年の天才の足跡克明に		日 経	8. 17
宮本勢助・馨太郎 民具研究の軌跡	宮本 瑞夫	歴史と民俗	19
特集 アートの仕事 が見たい ボランティアからスベシャリストまで Art Runners mini Interview 6 美術ジャーナリスト村田真	[木谷]	美術手帖	836
実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(一)[村山香雪]		淡 交	698
森東吾先生とフェノロサ研究	北川 紀男	LOTUS	23
(ヤ行)			
江戸を生きる—矢崎俊三氏と近世邦楽—	岡田万里子	港区立港郷土資料館研究紀要	7
矢崎家資料調査の意義[矢崎俊三]	吉原健一郎	" "	" "
祖父の想い出[矢崎俊三]	矢崎 直子	" "	" "
特集 「近代」と「美術」の外側		近代画説	12
GHQの美術行政—CIE美術記念物課による「美術の民主化」と矢代幸雄	佐藤 香里		
矢代幸雄とアメリカ巡回日本古美術展覧会(一九五三年)	久保いくこ		
柳宗悦と有縁の人々(10)(11)[安川慶一]	近藤 京嗣	陶 説	606、607
美術商茶話—柳孝さんに聞く	山本ゆかり	国華清和会会報	2
柳宗悦と有縁の人々(4)〜(12)	近藤 京嗣	陶 説	599〜601、603〜607、609
アーツ・アンド・クラフツと工芸の変貌—ウィリアム・モリスと柳宗悦をめぐる—	藤田 治彦	美 学	213

ようこそ 山内和也さん 東京文化財研究所主任研究官 バーミヤン遺跡保護 難民支援も	山盛 英司	朝日夕刊	7.9	「Design」ではなく「design」の発想をデザイン・カウンシルチーフ・エグゼクティブ・アンド・リユー・サマーズ	川上典李子 取材・文	デザイン の現場	126
この人 バーミヤン遺跡の地下探査に携わる 山内和也さん	大島 弘義	東京	9.10	《オルナンの埋葬》への同時代批評—シャンフルーリによる人相学の援用—	西山 恒彦	日仏美術 学会会報	22
実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(五)[山口滴翠]		淡 交	702	ビエール・バルブト (1862—1916) (2)—知られざる日本美術愛好家—	高山 晶	慶応義塾 大学日吉 紀要	37
ひと 特別展「円山応挙」に出席する大乗寺副住職 山唄真應さん	岸 桂子	毎日	9.13	特別インタビュー 激変する中国美術 シーンに現れた新世 代のキュレーター 皮力に訊く		ギャラ リー(月 刊)	213
特集 日本人のイスタンブール体験[山田寅次郎]	長場 紘	アジア遊 学	49	フェノロサと浮世絵—とく北斎評価をめぐって—[アーネスト・フェノロサ]	山口 静一	北斎研究	33
〈学史〉山田信夫先生の思い出	森川 哲雄	古代文化	532	ブルトンがびっくり箱を開けるときの[アンドレ・ブルトン]	堀江 敏幸	芸術新潮	643
実践と基礎知識 茶の湯人物伝 数寄者と美術館(六)[湯木貞一]		淡 交	703	PARIS発 ブルトンの蔵書競売[アンドレ・ブルトン]	安部 雅延	新美術新 聞	991
連載 青春桜その21 冬青・小林勇と吉井長三	田村 祥蔵	清 春	33	「夏休みの課題」—アンドレ・ブルトン—	関根 秀吉	陶 説	607
裳華房・芳野兵作の出版『はな』及び『偉人史叢』の刊行をめぐって—	岩切信一郎	一 寸	14	ブルトン・コレクションの競売「超現実」思想の源、散逸の危機[アンドレ・ブルトン]	桐島 敬子	朝日夕刊	4.7
(ワ行)				ポール・ベリオと「蔵経洞」壁画をめぐって	秋山 光和	仏教芸術	271
秋の褒章 荒川修作氏、中林忠良氏、若桑みどり氏が受章	(美)	新美術新 聞	1009	特集 バレールゴン：美術における付随的なもの		西洋美術 研究	9
学史・評伝 探求に熱心なる人(1)～(4)—若林勝邦小伝—	杉山 博久	考古学雑 誌	87—1～4	[インタビュー] ジャン＝クロード・レーベンシュテインに聞く	三浦 篤 聞き手 森元 庸介 翻訳		
文化 水路に見る日本の暮らし 全国約500カ所調査、郡上八幡を「水の町」に	渡部 一二	日 経	5.16	解説 ジャン＝クロード・レーベンシュテイン 孤高なる逆照射	三浦 篤		
海 外				美術に新潮流見いだす ビエール・レスタニーさんを悼む	中原 佑介	朝日夕刊	6.6
現在通信from NEW YORK 追悼 カーク・ヴァーネダー	富井 玲子	新美術新 聞	1003	この人 来日した仏ルーブル美術館長 アンリ・ロアレットさん	中山 高志	東京	2.6
現在通信from NEW YORK 絵画のタイム・カプセル[ロランド・ギブソン]	富井 玲子	新美術新 聞	1001	書 評			
追悼エドワード・W・サイード		百 科(月 刊)	494	和 書			
サイードの贈り物	大橋 洋一			『アートセレクション「江戸名所図屏風」』内藤正人著			
サイードの思い出	四方田犬彦			(前)	読 売	9.14	
あるフーガの残響	真島 一郎						

平成15年定期刊行物所載文献(他／書評)

『藍のそば猪口七〇〇選』松岡寿夫著	陶	説	604						
『アヴァンギャルド以後の工芸』北澤憲昭著	富田 康子	あ い だ	92						
『アウトサイダー・アート、現代美術が忘れた「芸術」』服部正著	藤原 貞朗	"	94						
"		日	経	9.28					
『青山二郎全文集上・下』青山二郎著	須磨 満	陶	説	599					
『赤瀬川原平の日本美術観察隊(其の1・2)』赤瀬川原平著	藤森 照信	毎	日	5.18					
『明るい窓：風景表現の近代』柏木智雄・倉石信乃・新畑泰秀編著	岡部 昌幸	新美術新聞		989					
"	宮田 珠己	朝	日	4.6					
『アジア学の将来像』東京大学東洋文化研究所編	濱下 武志	学	鑑	100—10					
『足利義政 日本美の発見』ドナルド・キーン著、角地幸男訳	田中 曉龍	歴史と地理		567					
"	新保 祐司	東	京	3.9					
『飛鳥を掘る』河上邦彦著		日	経	2.2					
『アメリカで日本のアニメは、どう見られてきたか?』草薙聡志著	中条 省平	朝	日	9.28					
『アルブレヒト・デューラー』エルンスト・ヴィース著、相澤和子訳	子安美知子	読	売	11.16					
『井伊直弼 修養としての茶の湯』谷村玲子著	三谷 博	史学雑誌		112—2					
『生きられた家 経験と象徴』多木浩二著	竹内 昌義(みかんくみ)	A X I S		103					
『遺稿集連鎖—近代文学側面誌』紅野敏郎著	高橋 英夫	学	鑑	100—2					
『イコノエロティシズム 澁澤龍彦美術論集』谷川暁編	鹿島 茂	芸術新潮		640					
『石子順造とその仲間たち 対談集』	高島 平吾	あ い だ		85					
『イスタンブールの大聖堂—モザイク画が語るビザンティン帝国—』浅野和生著	橋川 裕之	史	林	440					
『和泉市史紀要第3集 松尾寺所蔵史料調査報告書』仁木宏監修、和泉市史編さん委員会編集	吉田ゆり子 三枝 暁子 金行 信輔	史学雑誌		112—3					
『和泉市史紀要第5集 松尾寺地域の歴史的総合調査研究』広川禎秀・塚田孝監修、和泉市史編さん委員会編集									
『和泉市史紀要第6集 横尾山施福寺の歴史的総合調査研究』広川禎秀・塚田孝監修、和泉市史編さん委員会編集									
『イスラーム世界の都市空間』陣内秀信・新井勇治編	森 俊偉	学	鑑	100—3					
『一遍聖絵の総合研究』砂川博編	宮島 新一	日本歴史		662					
『伊東忠太を知っていますか?』鈴木博之編著	与那原 恵	朝	日	6.1					
"	千田 智子	東	京	5.25					
"	樺山 紘一	読	売	5.25					
『異文化間交易の世界史』フィリップ・カーティン著	四方田雅史	歴史評論		644					
『今竹七郎とその時代』今竹七郎の記録編集委員会編	木下 直之	朝	日	3.16					
『ヴォーリズの西洋館 日本近代住宅の先駆』山形政昭著	山崎 幹泰	建築史学		41					
『永遠の蒸気機関車』東京都写真美術館発行		産	経	1.18					
『描かれた明治ニッポン—石版画[リトグラフ]の時代—』描かれた明治ニッポン展実行委員会編	菅野 洋人	マ	キ	エ	23				
『絵かきが語る近代美術—高橋由一からフジタまで』菊畑茂久馬著	照井 康夫	あ い だ		93					
"	岡部 昌幸	東	京	9.28					
"	三田 晴夫	毎日夕刊		9.3					
『エコ・デザイン・ハンドブック』アラステア・ファード＝ルーク著	桝山 寛	美術手帖		840					
『絵で読む江戸の病と養生』酒井シヅ著		朝	日	8.3					
"	養老 孟司	毎	日	8.17					
『江戸滑稽化物尽くし』アダム・カバット著		日	経	3.30					
『江戸時代 武家行事儀礼図譜一〜八』深井雅海編	小宮木代良	日本歴史		666					
『江戸の絵を愉しむ』榊原悟著	木下 直之	朝	日	9.7					
『江戸の時刻と時の鐘』浦井祥子著	岡田 芳朗	歴史評論		642					

『江戸の名所と都市文化』鈴木章生著	上杉 和央	史 林	438	『鏡にうつしだされた東アジアと日本』 鏑鏡研究会監修、西川寿勝・久保智康編著	中川 あや 梵 鐘	16
”	岩淵 令治	日本史研究	486	『輝け60年代 草月アートセンターの全記録』「草月アートセンターの記録」刊行委員会発行	都築 響一 朝 日	2.16
『エミール・ガレ』フィリップ・ティエボー、フランソワ・ル・タコン、山根郁信著	樺山 紘一	読 売	9.28	『画狂 剋太曼陀羅—須田剋太伝—』加藤勉著		埼玉史談 275
『「扇の草子」の研究—遊びの芸文—』安原眞琴著	常盤 茂	新美術新聞	991	『額縁と名画 絵画ファンのための額縁鑑賞入門』ニコラス・ベニー著、古賀敬子訳	鹿島 茂	芸術新潮 648
『欧文書体百花事典』組版工学研究会編		デザインの現場	130	『かたちの詩学 morphopoiēsis I』向井周太郎著	深澤 直人 A X I S	105
『大分現代美術展2002 アート循環系サイト』菅章編著	後藤 新治	デアアルテ	19	『花鳥・山水画を読み解く—中国絵画の意味』宮崎法子著	張 競 毎 日	7.13
『大江戸視覚革命』タイモン・スクリーチ著	原 研二	日本の美学	36	『金子光晴、ランボーと会う』鈴木和成著	野村喜和夫 日 経	7.27
『大阪の中世前期』河音能平著	三枝 暁子	史学雑誌	112—9	『カバンのなかの月夜 北園克衛の造型詩』北園克衛著		芸術新潮 637
”	竹内 光浩	歴史評論	638	『貨幣システムの世界史〈非対称性〉を読む』黒田昭伸著	岡田 健	歴史と地理 564
『大島』ダヴィット・ブルリユーク著、鈴木明訳	滝沢 恭司	美術運動史研究会ニュース	59	『鎌倉一禅の源流』東京国立博物館・日本経済新聞社編	井上 隆男	地方史研究 304
『岡本太郎「絶対の孤独」』図録[熊本市現代美術館]		ド ー ム	71	『鎌倉大仏縁起』鎌倉大仏史研究会編	”	” 301
『オキーフの家』マイロン・ウッド写真、クリスティン・T・パッテン文、江國香織訳	(前)	読 売	3.2	『体の美術館』カロリーヌ・デノエット著、諸川春樹訳・解説		読 売 10.13
『オディロン・ルドン』本江邦夫著		日 経	8.10	『環境歴史学の視座』橋本政良著	亀谷 弘明	日本歴史 659
『鬼のいる光景—『長谷雄草紙』に見る中世』楊曉捷著	石川 透	国文学解釈と鑑賞	863	『韓国の美術・日本の美術』鄭于澤・並木誠士共編	木下 長宏	日本の美学 36
『絵画と現代思想』酒井健著	石井洋二郎	日 経	12.14	『漢代都市機構の研究』佐原康夫著	太田 幸男	東洋史研究 62—2
『絵画の発明—ジョルジョーネ「嵐」解説』サルヴァトーレ・セッティス著、小佐野重利監訳、石井元章・足立薫訳	永澤 峻	美術手帖	831	『看板力』仙波喜代子・今井今朝春編	山下 裕二	朝 日 5.25
『絵画は二度死ぬ、あるいは死なない』林道郎著	前田 恭二	読売夕刊	12.25	『記憶・「創造」と「想起」の力』港千尋著	和田 精二	A X I S 101
『絵 画 者 1957—2002』中村宏著	武居 利史	あ い だ	95	『木曾御嶽信仰 宗教人類学的研究』菅原壽清著	西海 賢二	日本歴史 661
”	三角 忠	新美術新聞	1008	『木村兼葭堂—なにわ知の巨人』大阪歴史博物館編	木下 直之	朝 日 2.9
『外国切手に描かれた日本』内藤陽介著	木下 直之	朝 日	4.13	『教会建築論叢』前川道郎著	西田 雅嗣	建築史学 41
『ガウディ(GAトラベラー008)』二川幸夫企画・編集・撮影	(前)	読 売	10.12	『行基の考古学』拱河泉古代寺院研究会編	竹内 亮	日本史研究 492
『ガウランド 日本考古学の父』ウィクター・ハリス、後藤和雄責任編集	千田 稔	学 鐙	100—12			

『行基の考古学』河 泉古代寺院研究会編	吉田 靖雄	日本歴史	662	『建築における「日本 的なもの」』磯崎新著	今村 創平	美術手帖	839
『記録から記録史料 へアーカイバル・ コントロール論序 説』青山英幸著	中野目 徹	" "	" "	"	鈴木 博之	日 経	5.25
『きんぎょ』久留幸子 写真、高岡一弥ア ートディレクション	山下 裕二	朝 日	4.20	『見仏記』いとうせい こう・みうらじゅん 著		東 京	2.2
『近現代史料の管理 と史料認識』鈴江英 一著	中野目 徹	日本史研 究	493	『皇后の肖像』若桑み どり著	早川 紀代	歴史学研 究	775
"	太田 富康	歴史評論	644	『港市国家バンテン と陶磁貿易』坂井隆 著		日 経	1.12
『近世出雲大社の基 礎的研究』西岡和彦 著	岡 宏三	国学院雑 誌	1156	『高麗茶碗一論考と 資料』高麗茶碗研 究会責任編集		陶 説	604
"	横田 光雄	日本歴史	664	『国立国会図書館関 西館の建築』陶器二 三雄著	植松 貞夫	学 鑑	100—9
『近世立山信仰の展 開 加賀藩芦崎寺衆 徒の檀那場形成と配 札』福江充著	菅根 幸裕	"	663	『古代王権と武蔵国 の考古学』増田逸朗 著、増田逸朗著作集 刊行会編	利根川章彦	日本歴史	657
『近世日本の宗教社 会史』有元正雄著	澤 博勝	日本史研 究	495	『古代王権の空間支 配』広瀬和雄・小路 田泰直編	広瀬 和雄 小路田泰直	歴 博	120
『近代デザイン史— ヴィクトリア朝初期 からバウハウスま で』藪亨著	渡辺 眞	学 鑑	100—2	『古代国家と仏教経 典』田村圓澄著	小山田和夫	日本歴史	662
『近代美術シリーズ 2 南洋一九五〇— 六五 シンガポ ール美術への道—』 ラワンチャイクン寿 子編著	後藤 新治	デアルテ	19	"	三舟 隆之	歴史学研 究	777
『クアトロ・ラガッ ツイー天正少年使節 と世界帝国』若桑み どり著	池上 俊一	朝 日	11.16	『[共同研究]古代荘 園図と在地社会に ついての史的研 究—「額田寺伽藍並 条里図」の分析—』 仁藤敦史編	松田 行彦	"	772
"	三品 信	東 京	11.9	『古代地方木簡の研 究』平川南著	古尾谷知浩	史学雑誌	112—12
"	田中 優子	日 経	11.23	『古代朝鮮の考古と 歴史』李成市・早乙 女雅博編	吉井 秀夫	歴史学研 究	779
『グラフィックデザ インの入口』柿本原 政広・林規章・水野 学著	中島 優子	デザインの 現場	128	『古代天皇の即位儀 礼』藤森健太郎著	柳沼 千枝	歴史評論	640
『芸術家 宮本武蔵』 宮元健次著	日出間和貴	産 経	4.20	『國華』1295号 辻惟 雄編	(才)	毎 日	10.12
『芸術としてのデザ イン』ブルーノ・ム ナーリ著、小山清男 訳	深澤 直人	A X I S	104	『子供とカップルの 美術史—中世から18 世紀へ』森洋子著	石井 栄二	歴史と地 理	561
『芸術の美と類型・ 美学講義集』山本正 男著	太田 喬夫	美 学	212	"	子安美知子	読 売	1.12
『ケダモノ時代』赤瀬 川原平著	角田 光代	読 売	1.19	『子どもの中世史』齊 藤研一著	勝田 みほ	地方史研 究	304
『月刊文化財』文化庁 文化財部監修	西川杏太郎	文化財 (月刊)	481	『ゴヤ 最後のカー ニヴァル』ヴィクト ル・I・スト イ キ ツァ、アンナ・マリ ア・コデルク著、森 雅彦・松井美智子訳	松山 巖	読 売	3.23
『現代建築史』ケネ ス・フランプトン 著、中村敏男訳	杉本 俊多	建築史学	41	『古来の文様と色彩 の研究—花筏・松皮 菱・卍・月の兎・鼠 色・茶色—その美的 感情を紡ぐ』丹沢巧 著	森 理恵	美 術 フォーラ ム21	8
"	柏木 博	日 経	3.2				
『現代日本のアニメ』 スーザン・J・ネイ ピア著、神山京子訳	内藤麻里子	毎 日	4.6				

『最後の浮世絵師—河鍋曉斎と反骨の美学』及川茂著	榊原 晏	A X I S	102							『出土史料の古代史』佐藤信著	竹内 亮	日本史研究	494
『最後のゴーガン—(異国)の変貌』丹治恆次郎著	岡谷 公二	日 経	5. 11							"	古尾谷知浩	日本歴史	666
"	清水 徹	毎 日	5. 4							"	高島 英之	歴史と地理	565
『挿絵画家・中一弥日本の時代小説を描いた男』中一弥著、末國善己構成		朝 日	3. 16							『春画 秘めたる笑いの世界』白倉敬彦・早川閑多編著	池澤 夏樹	毎 日	12. 28
"	(川)	毎 日	3. 9							『常総・寛永期の大日石仏』徳原聡行編著	西海 賢二	地方史研究	306
『砂漠が誘う ラスター彩遊記』加藤卓男著	森 孝一	陶 説	599							『縄文社会論究』春成秀爾著	甲元 眞之	歴 博	118
『山水思想—もうひとつの日本』松岡正剛著	高島 直之	東 京	7. 13							『縄文論争』藤尾慎一郎著	藤尾慎一郎	"	121
『GK Design 50 Years 1952—2002』GKデザイングループ・GK史編集委員会著	藤崎圭一郎	デザインの現場	126							『書芸術の地平—その歴史と解釈—』萱のり子著	下野 健児	書 論	33
『志賀重昂『日本風景論』精読』大室幹雄著	川村 邦光	日 経	3. 2							『ジョルジョ・ヴァザーリ—メディチ家の演出者』ロラン・ル・モレ著、平川祐弘・平川恵子訳	岡田 温司	日 経	12. 21
『自画像の美術史』三浦篤編	木下 直之	朝 日	5. 11							"	樺山 紘一	読 売	12. 14
『色彩の回廊—ルネサンス文芸における服飾表象について—』伊藤亜紀著	金沢 百枝	史学雑誌	112—11							『白樺たちの大正』関川夏央著	樋口 覚	日 経	7. 20
『視線革命 浮世絵』諏訪春雄著		朝 日	7. 27							『しらべる戦争遺跡の事典』十菱駿武・菊池実編	榎本 久人	歴史学研究	783
『四川と長江文明』古賀登著	今泉恂之介	日 経	7. 20							『城破りの考古学』藤木久志・伊藤正義編	千田 嘉博	日本歴史	656
『一四巻本地蔵菩薩靈驗記(上)』大島建彦監修	堤 邦彦	国文学解釈と鑑賞	863							『新建築学大系五〇歴史的建造物の保存』伊藤延男ほか著	坂本 忠規	建築史学	41
『事典 しらべる江戸時代』林英夫・青木美智男編	堀 新	歴史評論	640							『神社建築史論—古代王権と祭祀—』丸山茂著	黒田 龍二	古文書研究	57
『自分の仕事をつくる』西村佳哲著		デザインの現場	131							"	有富 純也	史学雑誌	112—3
『ジャコモッティの肖像』ジェイムズ・ロード著、関口浩訳	小澤 基弘	美術手帖	841							『人生は博覧会 日本ランカイ屋列伝』橋爪紳也著	細馬 宏通	見 世 物	2
『写真時代!』飯沢耕太郎編著	木村 重樹	"	833							『崇徳院怨霊の研究』山田雄司著	竹内 光浩	歴史評論	641
"	高橋源一郎	朝 日	2. 2							『スーラー点描を超えて 六耀社アートビュウシリーズ』米村典子著	後藤 新治	デアルテ	19
『シャルトル大聖堂のステンドグラス』木俣元一著	高野 禎子	学 鑑	100—8							『菅原道真と平安朝漢文学』藤原克己著	後藤 昭雄	国語と国文学	957
『修復からのメッセージ』森直義著	森 直義	東京夕刊	1. 16							『図説 江戸考古学研究事典』江戸遺跡研究会編	西海 賢二	地方史研究	306
『修復の鑑』アレクサンドロ・コンティ著、岡田温司ほか訳	伊藤 俊治	読 売	2. 2							『図説民俗建築大辞典』日本民俗建築学会編	"	"	303
『重要文化財—かながわ考古展—』図録[神奈川県立歴史博物館]	井上 隆男	地方史研究	306							『スタイルの詩学—倫理学と美学の交叉(キアスム)—』山田忠彰・小田部胤久編	中川 克志	美 学	212
										『スペイン・ロマネスク彫刻研究』浅野ひとみ著	後藤 新治	デアルテ	19

『スミソニアンは何を展示してきたか』A・ヘンダーソン、A・L・ケプラー編、松本榮寿・小浜清子訳	津野海太郎	朝 日	7.13	『大乘院寺社雑事記紙背文書一』佐藤進一・笠松宏至・永村眞編	村井 祐樹	日本歴史	666
『駿台史学 117号—50周年大会特集号—』駿台史学会編	井上 隆男	地方史研究	304	『大発掘』辰巳ヨシヒロ著	山下 裕二	朝 日	10.19
『生と死の美術館』立川昭二著	種村 季弘	朝 日	4.27	『新版 タイボグラフィ・トゥデイ』ヘルムート・シュミット編集・デザイン	山本 太郎	デザインの現場	127
"	秋山祐徳太子	産 経	5.5	『高村光太郎』湯原かの子著		日 経	12.7
"	布施 英利	日 経	4.13	『竹久夢二』石川桂子・谷口朋子編	生田 誠	産 経	12.7
『西洋美術事件簿』瀬木慎一著		産 経	3.23	『他者の苦痛へのまなざし』スーザン・ソントグ著、北條文緒訳	野々村文宏	STUDIO VOICE	334
"	樺山 紘一	読 売	4.20	『地域に生きる博物館』徳島博物館研究会編	吉武 弘喜	博物館研究	421
『世界遺産 新たなる謎の発見』寺沢精哲監修	橋本 秀人	歴史と地理	569	『チベットと日本の百年 十人は、なぜチベットをめざしたか』日本人チベット行百年記念フォーラム実行委員会編	茨木 智志	歴史と地理	566
『世界遺産 平城宮跡を考える—考古学・歴史学・地質学・環境論・交通論から—』直木孝次郎・鈴木重治雄編	谷口 榮	地方史研究	303	『茶の本』岡倉天心著、浅野晃訳	竹原あき子	A X I S	105
『世界拡大計画』高松次郎著	石川 翠	新美術新聞	1002	『中・近世山村の景観と構造』米家泰作著	白水 智	日本史研究	494
"	高島 直之	読売夕刊	9.16	『中近世日本貨幣流通史—取引手段の変化と要因—』浦長瀬隆著	安国 良一	"	491
『前衛いけばなの時代』三頭谷鷹史著	北澤 憲昭	新美術新聞	997	『中国古代造園史料集成—増補 哲匠録 豊山編 秦漢…六朝』田中淡・外村中・福田美穂共編		建築史学	41
"	樺山 紘一	読 売	6.15	『中国古代の城郭都市と地域支配』五井直弘著	下田 誠	史学雑誌	112—9
『戦国の城を歩く』千田嘉博著	千田 嘉博	歴 博	120	『中国書法史を学ぶ人のために』杉村邦彦編	菅野 智明	書 論	33
『戦後日本を駆け抜けた異色の前衛 勅使河原蒼鳳』図録[世田谷美術館]		ド ー ム	68	『中国都市史』(東洋叢書9)斯羽義信著	小羽田誠治	史学雑誌	112—1
『戦争と建築』五十嵐太郎著	小田マサノリ	美術手帖	842	『中国文物地図集 (An Atlas of Chinese Cultural Relics)』国家文物局主編	愛宕 元	東洋史研究	62—2
"	木下 直之	朝 日	11.9	『中世再現 1240年の莊園景観—南部荘に生きた人々—』和歌山中世荘園調査会編	海津 一朗	地方史研究	303
"	森村 陽子	東 京	12.7	『中世寺院社会の研究』下坂守著	衣川 仁	日本史研究	489
"	隈 研吾	日 経	10.5	"	海老名 尚	日本歴史	660
『装飾/芸術』天野知香著	稲賀 繁美	あいだ	87、88	『中世寺院史料論』永村眞著	遠藤 廣昭	歴史評論	642
『創造者たち(上・下)』ダニエル・J・ブアスティン著	樺山 紘一	日 経	1.19				
『相馬地方の妙見信仰—千葉氏から相馬氏へ—』野馬迫の里原町市立博物館・千葉市立郷土博物館共編	井上 隆男	地方史研究	306				
『雙林寺八十八番大師堂修理工事報告書』栄町教育委員会	"	"	305				
『総和町史 資料編 原始・古代・中世』総和町史編さん委員会編	大村 進	法政史学	59				

『中世出羽の領主と城館』伊藤清郎・山口博之編	吉井 宏	日本歴史	660	『TOKUJIN DE-SIGN』吉岡徳仁著		芸術新潮	637
『中世東国の領域と城館』齊藤慎一著	中澤 克昭	" "	" "	『都市図の系譜と江戸』小澤弘著	岩切信一郎	浮世絵芸術	145
『中世日本の外交と禪宗』伊藤幸治著	川本 慎自	日本史研究	490	『都市のかなしみー建築百年のかたち』鈴木博之著	初田 亨	東京	11.30
『中世の興福寺と大和』安田次郎著	久野 修義	古文書研究	57	"	川本 三郎	日 経	12.7
『ちよう、はたり』志村ふくみ著	河谷 史夫	朝 日	5.11	『伴林氏神社史料』遠藤慶太・高島正憲・福島幸宏編	籠谷 次郎	日本史研究	491
『月と日本建築』宮本健次著		日 経	8.31	『豊臣秀吉と京都』日本史研究会編	小島 道裕	歴史評論	641
『土の絵師 伊豆長八の世界』村山道宣編		芸術新潮	639	『トランスアトランティック・モダンー大西洋を横断する美術』村田宏著	多木 浩二	美術手帖	832
"		地方史研究	302	『敦煌文物(Picture Album of Dunhuang Relics)』敦煌市博物館編	富谷 至	東洋史研究	62—1
"		東京	2.2	『新版 敦煌物語』松岡譲著	加藤 千洋	朝 日	5.11
"	樺山 紘一	読 売	1.12	『敦煌文書の世界』池田温著	大津 透	史学雑誌	112—8
『DNAパラダイスー27人のアウトサイダーアーティストたち』はたよしこ編著	都築 響一	朝 日	7.6	『長岡京研究序説』山中章著	市 大樹	古代文化	531
『デカダン村山槐多』福島泰樹著	桑原 聡	産 経	1.27	『鍋島 後期の作風を觀る』小木一良編著	中 島 陶 説	599	
『デザインの煎じ薬・全十三包』武正秀治著		デザインの現場	130	『錦絵にみる日本の温泉』木暮金太夫編	(紀)	毎 日	9.14
『デザインのデザイン』原研哉著	伊藤 俊治	読 売	11.30	『錦絵を読む』浅野秀剛著	岩切信一郎	浮世絵芸術	145
『デジタル技術とミュージアム』波多野宏之編著	濱崎 好治	博物館研究	416	『二一世紀の文化行政 地域史料の保存と活用』地方史研究協議会編	佐藤 勝巳	日本歴史	663
『デッサンする身体』赤間啓之著	布施 英利	日 経	11.2	『日蘭交流史 その人・物・情報』片桐一男編	小川亜弥子	日本史研究	495
『鉄腕アトム』手塚治虫著	"	産 経	1.21	『日中宮城の比較研究』吉田敏著	瀧浪 貞子	歴史評論	641
『鉄腕アトムは電気羊の夢を見るか』布施英利著	荻原 裕幸	朝 日	5.18	『「日本画」の転位』北澤憲昭著	村上 隆	美術手帖	836
『天下統一と城』千田嘉博・小島道裕編	松下 浩	日本史研究	488	"		日 経	3.30
『天神信仰の成立ー日本における古代から中世への移行ー』河音能平著	小倉 慈司	史学雑誌	112—9	『日本考古学事典』田中琢・佐原真編集代表	鈴木 忠司	古代文化	531
『展望 河口慧海論』高山龍三編著	奥山 直司	学 鐙	100—9	"	館野 和己	日本史研究	493
『東京大学コレクションXII 真贋のはざま』西野章編		ド ー ム	67	"	大塚 初重	日本歴史	658
『陶芸名品集成(全三巻)』講談社刊		日 経	5.11	『日本古代地方寺院の成立』三舟隆之著	中野 聡	"	667
『東国の古墳と大和政権』大塚初著	白石太一郎	日本歴史	662	『日本古代中世住宅史論』藤田勝也著	溝口 真人	建築史学	41
『道宣伝の研究』藤善真澄著	松浦 典弘	仏教史学研究	46—2	"	寺前 公基	同志社大学博物館学年報	35
『東大寺領黒田荘の研究』新井孝重著	阿部 猛 藤井 崇	歴史評論	639	『日本古代の食封と出挙』水野柳太郎著	三上 喜孝	日本歴史	663

『日本古代の陵墓』堀田啓著	外池 昇	歴史評論	634	『橋本の町と町家 中心市街地伝統的町 並み調査の記録 1999—2002』橋本の 町と町家の研究会編		建築史学	41
『日本中世住宅の研究(新訂)』川上眞著	藤田 盟児	建築史学	40	『原弘と「僕達の新活 版 術」—活 字・写 真・印刷の一九三〇 年代』川畑直道著	倉倉 睦子	学 鑑	100—1
『日本彫刻史基礎資 料集成』水野敬三郎 編集者代表	田中 三蔵	朝日夕刊	7. 24	『(バリ写真)の世紀』 今橋映子著	山田登世子	東 京	7. 27
『日本デザイン史』竹 原あき子・森山明子 監修	山田 俊幸	産 経	9. 21	"	港 千尋	日 経	7. 6
『日本のステンドグ ラス 彩色玻璃コレ クション』藤森照信 解説、増田彰久撮影	鹿島 茂	芸術新潮	646	"	山内 昌之	毎 日	8. 24
『日本の美術(第443 号) 金工技術』村上 隆著	宮代 栄一	朝日夕刊	4. 10	"	伊藤 俊治	読 売	6. 29
『日本の美術(第444 号) 和物茶碗』林屋 晴三著		陶 説	604	『巴里ゆらゆら』小杉 小二郎著	高岡 忠雄	新美術新 聞	1005
『日本美術のことは 案内』日高薫著	木下 直之	朝 日	1. 5	『バルテュスとの対 話』コスタンツォ・ コスタンティーニ 編、北代美和子訳	鹿島 茂	芸術新潮	641
『日本美術の社会史 縄文期から近代の市 場へ』瀬木慎一・桂 木紫穂編著	"	"	8. 31	"		東 京	2. 15
『日本美術の二〇世 紀』山下裕二著	野地耕一郎	産 経	11. 16	『繁華街にみる都市 の近代—東京—』初 田亨著	伊藤 毅	建築史学	41
"	(前)	読 売	10. 12	『ハンス・ウエグ ナーの椅子100』織田 憲嗣著	(才)	毎 日	1. 19
『日本美術の発見者 たち』矢島新・山下 裕二・辻雄雄著	鹿島 茂	芸術新潮	647	『万里の長城 攻防 三千年史』来村多加 史著	岡田 健	歴史と地 理	569
"	丸谷 才一	毎 日	9. 28	『美学事始—芸術学 の日本近代』神林恒 道著	小林 信之	日本の美 学	36
『日本仏塔集成』濱島 正士著	大野 敏	建築史学	40	"	西 欣也	美 術 フォーラ ム21	8
『日本文化の模倣と 創造』山田獎治著	和田 精二	A X I S	104	"	(梟)	毎 日	3. 9
『日本喪服史 古代 篇—葬送儀礼と装 い—』増田美子著	稲田奈津子	史学雑誌	112—6	『東アジアの文化交 流史』池田温著	森 公章	日本史研 究	489
『日本妖怪学大全』小 松和彦編著		日 経	4. 27	『ピカソ』瀬木慎一著	石川 健次	毎 日	10. 26
『人形師「原舟月」三 代の記』絵守すみよ し著	木下 直之	朝 日	10. 26	『美術鑑賞宣言—学 校+美術館—』山本 朝彦・仲野泰生・菅 章編著	後藤 新治	デアルテ	19
『野に遊ぶ魯山人』梶 川芳友著、稲越功一 撮影		陶 説	602	"	保坂健二郎	美術手帖	838
『廃墟の美学』谷川渥 著	飯島 洋一	日 経	5. 18	『美術館はどこへ?』 暮沢剛巳著	毛利 嘉孝	"	829
"	張 競	毎 日	4. 13	『美術史 1古代美術 』エリー・フォー ル著、篠塚千恵子訳	伊藤 俊治	読 売	1. 19
『白雨コレクション 蒲原信一郎のみずみ ずしさ』横尾文子著	森 孝一	陶 説	608	『美術にみる日本の くらし 宮城県美術館 コレクションを民俗 学的に観察すると …』図録[宮城県美術 館]		ド ー ム	69
『幕末維新・明治・ 大正美人帖』ポーラ 文化研究所編		産 経	3. 29	『美の架け橋—異国 に置かれた屏風た ち』榊原悟著	富田 紘次	同志社大 学博物館 学年報	35
『幕末・明治の絵双 六』加藤康子・松村 倫子編著	岩切信一郎	浮世絵芸 術	145	『100の指令』日比野 克彦著	佐藤 由紀	毎 日	9. 28

『百貨店の博物史』海野弘著		日	経	6.22	『ぼくの昔の東京生活』赤瀬川原平著	小島ゆかり	毎	日	6.22	
『表現の現場』田窪恭治著	池内 紀	毎	日	5.25	『ボルソ・デステとスキファノイア壁画』京谷啓徳著	後藤 新治	デア	ルテ	19	
『兵庫県の出土古鏡』櫃本誠一著	近藤 喬一	日本歴史		661	『THE MODERN BONSAI 盆栽宇宙』山本順三編、増田茂写真	山下 裕二	朝	日	8.3	
『評伝 河口慧海』奥山直司著	川喜田二郎	日	経	9.21	『毎月新聞』佐藤雅彦著	柴田 文江	A X I S		104	
『平野政吉 世界のフジタに世界一巨大な絵を描かせた男』渡部琴子著	(梟)	毎	日	1.19	『前田本『玉燭宝典』紙背文書とその研究』今江廣道編	菊池 紳一	日本歴史		661	
『富嶽旅百景』青柳周一著	鈴木 章生	歴史評論		639	『まぶさび記』篠原資明著	(良)	読	売	1.12	
『不在への問い』高松次郎著	石川 翠	新美術新聞		1002	『マルセル・デュシャン』カルヴィン・トムキンズ著、木下哲夫訳	北山 研二	学	鑑	100—6	
"	高島 直之	読売夕刊		9.16	"	高橋源一郎	朝	日	2.16	
『藤田嗣治「異邦人」の生涯』近藤史人著		絵		448	"	小林 康夫	日	経	3.9	
"	安部 寧	朝	日	2.9	"	伊藤 俊治	読	売	3.9	
"	榎木 野衣	東 京		2.2	"	いしかわ じゅん	産	経	1.5	
"	(霧)	毎	日	2.23	『マン美研』ジャクリース・ベルント編	田中 長徳	"		6.8	
"	後藤 正治	読 売		1.12	『マン・レイ 写真と恋とカフェの日々』ハーバート・R・ロットマン著、木下哲夫訳			日	経	5.25
『富士登山』ダヴィット・ブルリユーク著、鈴木明訳	滝沢 恭司	美術運動史研究会ニュース		59	"	(水)	毎	日	6.8	
『武士の成立・武士像の創出』高橋昌明著	元木 泰雄	日本史研究		492	"	湯川 豊	読	売	7.6	
『補陀落渡海史』根井浄著	西海 賢二	地方史研究		301	『南青山ギャラリー物語』青山益朗編	中 島 陶	説		602	
『仏教考古学事典』坂詰秀一編	斎藤 忠	古代文化		539	『宮崎進の仕事Ⅱイメージと造形』宮崎進著	高岡 忠雄	新美術新聞		994	
"	真鍋 孝志	梵 鐘		16	『宮本武蔵の水墨画』金沢弘監修	宮地 暢夫	岡山県立美術館ニュース		60	
『観音変容譚 仏教神話学2』彌永信美著	阿部 泰郎	説話文学研究		38	『未来派 イタリア・ロシア・日本』井関正昭著	ヨシダ・ヨシエ	新美術新聞		999	
『大黒天変相 仏教神話学1』彌永信美著	"	"		38	"	(紀)	毎	日	7.6	
『風土記逸文の文献学的研究』荊木美行著	小倉 慈司	日本歴史		666	『弥勒信仰のアジア』菊池章太著	加藤 直子	アジア遊学		57	
『フランスの美術館・博物館』ジャック・サロワ著、波多野宏之・永尾信之訳	大江長二郎	アート・ドキュメンテーション通信		59	『みんなの博物館』諸岡博熊著	浅羽 雅晴	読	売	9.28	
『文化財五十年をあゆむ』西川杏太郎著	鷺塚 泰光	博物館研究		425	『「無言館」の坂道』窪島誠一郎著	(清)	"		9.14	
『文家屯 一九四二年遼東先史遺跡発掘調査報告書』遼東先史遺跡発掘報告書刊行会編	伊東 淳史	史 林		437	『写真集 棟方志功』飯窪敏彦撮影・著		産	経	2.8	
『暴力と芸術』勅使河原純著		日	経	8.3	"	(顕)	読	売	2.2	
『北魏仏教史論考』(岡山大学文学部研究叢書15)佐藤智水著	金子 修一	史学雑誌		112—4	『メソポタミアの神像—偶像と神殿祭儀—』松島英子著		古代文化		538	
					"	三津間康幸	歴史学研究		777	

平成15年定期刊行物所載文献(他/書評)

『木喰仏』寺島郁雄写真、矢島新解説	西海 賢二	地方史研究	306
"	山下 裕二	朝 日	11.23
"		日 経	11.23
"	(前)	読 売	11.16
『文字を読む』京谷啓徳共著	後藤 新治	デアルテ	19
『モダンイズム/ナショナリズム——一九三〇年代日本の芸術』五十殿利治・水沢勉編	高島 直之	美術手帖	835
『モダン・デザイン全史』海野弘著	三浦 雅士	毎 日	1.5
『モダンデザイン批判』柏木博著	海野 弘	日 経	1.26
『モナ・リザは高脂血症だった』篠田達明著		"	10.19
『ものと人間の文化史(シリーズ)』法政大学出版局刊行	田中 優子	日本の美学	36
『モランディとその時代』岡田温司著	堀江 敏幸	朝 日	11.9
"	林 哲夫	産 経	9.22
"	酒井 忠康	日 経	10.5
"	松山 巖	読 売	11.2
『森芳雄追悼文集』森芳雄追悼文集刊行会刊	笠井 誠一	新美術新聞	1011
『やさしく読み解く日本絵画』前田恭二著	松山 巖	読 売	10.5
『柳宗悦 手としての人間』伊藤徹著	鷺田 清一	朝 日	8.31
"	川村 湊	東 京	7.27
『大和 山田寺跡』独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所編	仁藤 敦史	日本歴史	661
『闇に消える美術品 国際的窃盗団・文化財荒らし・ブラックマーケット』エマニエル・ド・ルー、ロラン＝ピエール・パランゴ著、菊池丘訳	鹿島 茂	芸術新潮	643
"	木下 直之	朝 日	7.6
"	高階 秀爾	日 経	6.8
『軟らかい海』十二代三輪休雪著	森 孝一	陶 説	606
『遊戯から芸道へ 日本中世における芸能の変容』村戸弥生著	坂井 孝一	日本歴史	659
『夢と光の画家たち—モデルニテ再考』坂上桂子著	永井 隆則	美術フォーラム21	8

『ヨーロッパの略奪』リン・H・ニコラス著、高橋早苗訳	樺山 紘一	読 売	1.26
『横浜の近代史 橋樹郡にみる都市化・工業化』横浜近代史研究会・横浜開港資料館編	波多野 想	建築史学	41
『慶滋保胤と浄土思想』平林盛得著	小原 仁	歴史評論	636
『世の途中から隠されていること—近代日本の記憶—』木下直之著	高階絵里加	日本の美学	36
『写真集 よみがえる古民家—緑草会編『民家図集』古川修文・永瀬克己・津山正幹・朴賛弼編		芸術新潮	640
『LEGO bookmuseum Vol. 1』北本水晶著、レゴジャパン監修	川本 ケン	STUDIO VOICE	333
『ロマン主義の詩と絵画—ブレイク、ワーズワス、ターナー、コンスタブル—』岩崎豊太郎著	岩崎豊太郎	人文学研究所報	36
『論集 仏教土着』大桑斉編	江上 琢成	仏教史学研究	46—1
『ワークショップ 森であそぶ・森でつくる』図録[宇都宮美術館]		ド ー ム	70
『倭館』田代和生著	長森 美信	歴史評論	644

洋 書

J. M. Bernstein, Adorno: Disenchantment and ethics, Cambridge university press, 2001	石田 圭子	カリスト	10
Jean-Claude Lebezstejn, Annexes —de l'Œuvre d'art, Editions La Part de l'Œil, Paris, 1999	松岡新一郎	西洋美術研究	9
Victor I. Stoichita, A Short History of the Shadow, Reaktion Books, London, 1997	宮下 誠	"	"
Georges Didi-Huberman, Devant le temps: Histoire de l'art et anachronisme des images, Minuit, 2000	森元 庸介	"	"

Menke Christoph,
"Die Reflexion im
Ästhetischen." In:
Zeitschrift für Äs-
thetik und allge-
meine Kunstwissen-
schaft, Felix
Meiner, Hamburg,
2001

田中 均 美 学 212

Olive Checkland, Ja-
pan and Britain after
1859: Creating Cul-
tural Bridges, Rout-
ledgeCurzon, GBR,
2003

大山 瑞代 学 鑑 100—4

Daniel Arasse, Le
Détail: Pour une His-
toire rapprochée de
la Peinture, Flam-
marion, Paris, 1992

小池 寿子 西洋美術 研究 9

Ziad Mahayni Hrsg,
Neue Ästhetik Das
Atmosphärische und
die Kunst, Wilhelm
Fink Verlag, 2002

阿部美由起 美 学 213

Emma C Bunker,
Nomadic Art of the
Eastern Eurasian
Steppes: The Eugene
V. Thaw and Other
New York Collec-
tions, Yale Univ.
Press, USA, 2002

高濱 秀 学 鑑 100—5

Susan Stronge,
Painting for the
Mughal Emperor:
The Art of the Book
1560—1660, V&A
Publications, GBR,
2002

山田 篤美 " 100—1

Henry Keazor,
Poussins Parerga:
Quellen, Entwick-
lung und Bedeutung
der Kleinkomposi-
tionen in den Ge-
mälden Nicolas
Poussins, Schnell
und Steiner, Re-
gensburg, 1998

栗田 秀法 西洋美術 研究 9

Debra Higgs Strick-
land, Saracens, De-
mons, and Jew: Mak-
ing Monsters in Me-
dieval Art, Princeton
University Press,
USA, 2003

諸川 春樹 学 鑑 100—11

Michael Charles-
worth, The Gothic
Rival 1720—1870,
Helm Information
Ltd., 2002

岩崎豊太郎 人文学研 究所報 36

Frank L. Holt,
Thundering Zeus.
The Making of Hel-
lenistic Bactria
(Hellenistic Culture
and Society vol.32),
University of Califor-
nia Press, Berkeley,
1999

戸田 敬 山形大学
歴史・地理・人類
学論集 4

Richard Howells,
Visual Culture, Pol-
ity Press, GBR, 2003

岡田 温司 学 鑑 100—7

Lutz Koepnick, Wal-
ter Benjamin and
the Aesthetics of
Power, University of
Nebraska Press,
Lincoln and London,
1999

長谷川明子 美 学 215

時 評

前 年 度 分

Art Top Critical Words	ア ー ト ト ッ プ	
二つの日本画賞から—ふたたび「日本画」ということ—	野地耕一郎	189
「大パトロン」から「小パトロン」へ	中野 稔	"
2002年 暮 れ—東京・上海の展覧会から—	野地耕一郎	190
「現代美術における絵画の可能性」	中野 稔	"
1 月～3 月の展覧会から	野地耕一郎	191
「視覚以外の五感を刺激」	中野 稔	"
2002年の県内美術界	大塚 博 秋田美術	39
展覧会見てある記	伊藤 紫織 国華清和 会会報	1
新美術時評 新春に 過ぎた年を振り返っ て思うこと	山脇 一夫 新美術新 聞	980
新春特集2002回顧と 2003展望 女性の視 点から 第二部 アン ケート 美術各界 の現場から	岩渕 潤子 逢坂恵理子 串田 光子 川浪 千鶴 長谷川祐子 光田 由里 李 美那	" "
2002年展覧会入場者 ベスト10 スペイン の至宝、大仏をおさ える	(林)	" 982
年鑑2003 I 現況篇 美術界の記録[2001. 9→2002. 8]		美術手帖 830
年鑑2003 I 現況篇 美術界の記録[2001. 9→2002. 8] 追悼	村田 真知	" "

当年度分							
Art Top Words	Critical	アート トップ					
4月・5月の展覧会から	野地耕一郎	192		回顧2003 美術「現象」となった村上隆 広がる外界との「繋がり」	菅原 教夫	読売夕刊	12.10
「関西の現代アーティスト群像」	中野 稔	"		回顧2003 写真 同人誌30年後の評価	前田 恭二	"	12.11
6月・7月の展覧会から	野地耕一郎	193		回顧2003 考古学 揺れ動く「時代」の概念	片岡 正人	"	12.15
グループ展の可能性とは	岸 桂子	"		受賞・美術賞			
8月・9月の展覧会から	野地耕一郎	194		第38回昭和会展審査報告	米倉 守 絵		449
美術館の個性とは?—夏の展覧会より—	岸 桂子	"		飯田喜四郎先生の日本建築学会受賞	西澤 泰彦	建築史学	41
レビュー	言水ヘリオ	e t c.	48~55	第十五回「國華賞」(平成十五年度) 選衡経過・選評	関口 正之 宮治 昭 浅井 和春	国 華	1296
"	斎藤 一典	"	49~57	キリンアートアワード2003決まる 応募者記録更新 ハイレベルな12作		新美術新聞	1008
"	芦谷 英美	"	52、56、57	地中海学会賞		東京夕刊	7.11
"	小池 麻奈	"	56	アニー賞「千と千尋」4部門制覇 長編アニメ・監督など		日 経	2.3
"	石川 翠	"	57	美術市場			
展覧会紹介	狩野 博幸 田沢 裕賀 伊藤 紫織	国華清和 会報	2	特別企画 アートオークション活用法 今、日本にどんなオークションがあるのか		ギャラリー(月刊)	217
発句一代 夏目四郎の覚え書63 平成十五年春、回顧	夏目 四郎	新美術新聞	993	ジョン・徳川のオークション入門1~8	ジョン・徳川	"	217~224
新美術時評 アーティストの心刺激するチェス	岩渕 潤子	"	1002	ユゲット・ベレス・コレクション バリの女性美術商遺愛の浮世絵オークション		芸術新潮	637
発句一代 夏目四郎の覚え書64 平成15年回顧	夏目 四郎	"	1011	美術市場リーダー 135、138~140、142、144	瀬木 慎一	新美術新聞	982、991、994、997、1003、1009
2003年の美術界をふりかえる	常盤 茂 生尾慶太郎 北澤 憲昭 武田 厚 宝木 範義 谷 新嘉 彦坂 尚 林 紀一郎 南 宏 山脇 一夫 米倉 守 ワシオ・トシヒコ	"	"	ゴッホ 日本のオークションに初登場 真作と判明大フィーバー		"	985
回顧2003 美術	大西 若人	朝日夕刊	12.11	新美術時評 偶然の出会い期待 チュエリッヒの街	岩渕 潤子	"	1005
美術この1年 財政難公立館を直撃	中村 隆夫	東 京	12.20	版画は、いま 版画マーケットの現況と将来 巻頭座談会 版画マーケットの光と影 版画商の本音トーク	松山 龍雄 文・構成	版画芸術	120
回顧2003 美術 公立美術館、深まる危機	宝玉 正彦	日 経	12.23	オークション・入札会潜入! 秋のオークションシーズンに向けて	岡 イ 部 ン タ ビ ュー ・ 取 材 ・ 構成	"	121
マンガこの1年 今までの蓄積が響き合って	村上 知彦	毎日夕刊	12.9				
美術この1年 うら悲しい「数こそ力」	三田 晴夫	"	12.10				
考古学この1年 衝撃的だった「弥生新時代」	伊藤 和史	"	12.11				

中国流出美術品続々と帰国 好況、愛国心後押し 渡部 圭 東 京 9.14

8400万円の重み 清朝皇帝印、最高値で落札 加藤 直人 東京夕刊 7.14

美術館・博物館・画廊

一般

ワークショップをめぐって	(KF)	アートペーパー	57
座談会「美術館と観客」—NPOとボランティアの活動を巡って—	山本 南 育夫、宏 南 宏 対談 建昌 司会	aica JAPAN	4
都市渋谷とBunkamuraの場合	木島 俊介	"	"
美術館と入場者	瀬木 慎一	"	"
美術館と観客	中原 佑介	"	"
疎外された観客	前野 寿邦	"	"
観客の独裁権	小倉 正史	"	"
潜在的市民ニーズとしての美術館	菅 章	"	"
館長の意識改革を望む	中川 健造	"	"
デフォルト美術館と大衆資本	山本 和弘	"	"
特別記事/インタビュー 「ナショナル・ギャラリー」ってなんだ? (続) 公募団体利用と企画展開催と文化庁の永井義美さんに聞きました	永井 義美 編集部	あいだ	85
美術館のディレンマ	マーシャ・タッカー 高島 平吾	"	90
あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第15回 「知の共有財産・展覧会カタログの現在—制作から批評まで」を聞いての愚感	稲賀 繁美	"	91
特集 展示される「信仰」—博物館の中の宗教—	五十嵐真子	アジア遊学	58
展覧会にかかわる普及事業の一例—社会との連携と美術館の社会的認知に向けて—	李 美那	アマリリス	69
アートボランティア開花宣言		A — ism	8
ボランティアに開かれた美術館を目指して	黒岩 恭介		

変わる「美術館ボランティア」—「奈良美智展」以前・以後— 高橋しげみ

青森県 ボランティアの大冒険 高田 敬子

esperanza 青森県立美術館(仮称)に望む 第5回 河島 伸子 " "

特集 街が変わる! 画廊が動く! 2003年新・東京アートエリア ギャラリー(月刊) 213

特集 ザ・お引越 移転する美術館/先取りドキュメント " 214

もうひとつのアートスペース 百貨店の美術部・美術画廊 " "

第1回三越と高島屋 223

第2回松坂屋と丸栄 名古屋の百貨店 224

[教育普及レポート] 夏休み! こども美術館 一條 彰子 現代の眼 542

アメリカの新しい美術館動向について 建昌 哲 国立国際美術館月報 130

ICCおよび新設アートセンターの動向について 晶中 実 " 133

合成素材の使用 博物館と合成素材 民俗博物館あるいは博物館の民俗部門を中心に 笹原 亮二 国立民族学博物館調査報告 36

展示における資料の悉皆的拡張と生活空間再現の可能性 " " 44

博物館の資料蒐集と展示を目的とした生活財調査の活用 金 時徳 " "

平成12年度若手職員海外派遣研修 こどもの博物館におけるハンズ・オン展示と学習プログラムに関する調査報告 吉本 純子 塵 界 14

美術館評価の時代2 独法国立館の「評価結果」と展望 西澤 美子 新美術新聞 980

特集連載 ミュージアム評価1~9 上山 信一 " 982~987、989~991

東京・新川に現代美術の拠点 小山登美夫ギャラリー、ギャラリー小柳、SHU-GOARTS、タカ・イシイギャラリー 四軒同時オープン (千) " 984

美術市場レーダー 136、141 瀬木 慎一 " 985、1000

東京・ミュージアムぐるっとパス 都内31の施設で1ヶ月有効 1800円で、めいっぱい美術館や博物館を楽しもう	(真)	新美術新聞	989			連載 メップで、ダンスを29地域の力、場の力「とから国際現代アート展デメーテル」	"	68
第2回ミュージアム顧客満足度調査発表 展示作品・建物は良し サービス面に不満	(美)	"	992			小特集 まちがまるごとミュージアム「小さな博物館」in墨田区	"	70
ミュージアム・ショップ最新事情 経営を支える大黒柱に	鳥村 千代 西澤 美子	"	998			連載 世界のミュージアムあんな話こんな話17 企業によるアート戦略の巻「ルーパー現在アートのためのスペース」&「バックファブリック」[ベルリン]	河村 恵理	71
新美術時評 美術館・博物館評価の時節 変わらぬ基本的な存在意義	岩淵 潤子	"	999			19世紀終盤から20世紀初頭のドイツにおける集積型ミュージアムの展開に関する一考察	海老澤模奈人	日本建築学会計画系論文集 563
東京都現代美術館で学芸部長解任 改革の影で崩れる学芸員制度	(美)	"	1000			歴史系博物館における歴史教育の現状	母利 美和	日本史研究 494
美術館博物館接客研修でサービス向上	西澤 美子	"	1002			巻頭言 美術館の行方	福原 義春	博物館研究 416
新美術時評 巨大美術館のツケ、身の丈にあうものを	後小路雅弘	"	1010			巻頭言 博學連携が博物館を活性化する	高田 浩二	" 417
2003ニュース統報 国立館の“第2回評価結果”	西澤 美子	"	1011			学校と美術館 連携と融合の可能性	大嶋 貴明	" "
シンポジウム「岐路に立つ美術館 美術館の未来」から		セゾン アートプロ グラム・ ジャーナル	10			ミュージアム・リテラシーを育む—学校教育におけるあらたな博物館利用をめざして—	佐藤 優香	" "
美術館への提言	中原 佑介					学校教育と博物館	中川 修	" "
基本に立ち戻れ	三田 晴夫					特別寄稿「21世紀：社会のなかの社会のための博物館」	有本 建男	" "
小さな美術館の小さな展覧会	本江 邦夫					巻頭言 博物館見習い	脇田 修	" 418
美術館に連帯は可能か?	塩田 純一					巻頭言 「児童と一緒に創るミュージアム」—展示オクターブを広げよう—	長谷川 栄	" 419
シンポジウムに参加して	天野 太郎					第18回 支部が推薦する博物館情報9. 四国支部/初めてのボランティア展示を終えて		" "
驚きと感動—視覚障害者による博物館利用の可能性2	阿由葉 司 小野美佳子	千葉県立中央博物館研究報告	16			随筆 「変わらぬもの」	浅海 保	" 421
博物館法におけるいくつかの問題点	関根 俊一	帝塚山大学短期大学部紀要	40			公立美術館の入館者数	清水 久夫	" "
学芸員談話室2 クリーエの仕事って?	雨宮六途子	同志社大学博物館学年報	35			巻頭言 自然史系博物館で資料を集める	斎藤 靖二	" 426
博物館標本資料と基本的学術情報	小谷 凱宣	東北アジア研究センター叢書	8			学芸員による学習支援プログラムの開発について	平岡 健	" "
連載 世界のミュージアムあんな話こんな話13 夏の祭典—街中が美術館に—	高橋 紀子	ドーム	67					

夏休み子ども向け行事「ミュージアム・クイズ・ラリー YOKOHAMA」について	中野 雅之	"	"	国立民族学博物館における知的財産の確立と保全の研究	ミュージアム・データ	60
随筆 見る人	市川 政憲	"	427	博物館と知的財産	野林 厚志	
平成十四年度東支部特別例会報告 シンポジウム「美術館・博物館の新たな現状と課題—学芸員の科学研究費申請をめぐって」	美 術 史	155		知的財産としての映像音響資料	鈴木 明	
問題提起	木下 直之			学生による展覧会企画—平成13年度・視聴覚教育メディア論の報告をかねて—	玉蟲 玲子	MUSE- OLOGY 22
美術館・博物館の現在 科研費問題 シンポジウムの総括と展望	太田 泰人			IPMを導入した北米地域の博物館事例	日高 真吾	民具マン スリー 421
美術館・博物館にとって科研費とは?—申請資格を得る利点と今後の課題	小勝 礼子			民族学博物館の現在—民族学博物館は21世紀に存在しうるか	竹沢尚一郎	民博通信 103
東京都の美術館の現状	笠原美智子			紀行 ドイツ民族学博物館 紀行—ヨーロッパの中核から	佐々木史郎	" "
国立博物館の現状について	松本 伸之			資料 日本のユニバーシティ・ミュージアム	伊能 秀明 織田 潤 伊藤 麻里	明治大学 博物館研 究報告 8
報告要旨	柳沢 秀行			博物館における情報化の現状と課題	宗清 禮吉	山口県立 山口博物 館研究報 告 29
誰にとつての危機か—美術館・博物館の現状をめぐって—	毛利 義嗣			〈研究ノート〉日本民族博物館の設立に向けた動きとその経過について	刈田 均	横浜市歴史博物館 紀要 7
美術史学における研究とは?—大学と美術館・博物館との学術交流について	小川 裕充	美術史論 叢	19	仮想展覧会について	山田 磯夫	横浜美術 短期大学 教育・研 究紀要 1
TOPICS 博物館—美術館の独立行政法人化—地方への波及をにらんで	北澤 憲昭	美 術 フォー ム21	8	異文化のプレゼンテーション エスノグラフィ・ミュージアム・テレビジョン	増田 研	" "
特集 文化財ボランティア事例紹介 美術学芸 美術館および歴史博物館におけるボランティア活動の現状と課題	岡部 幹彦	文 化 財 (月刊)	472	教育普及活動のなかの博物館実習	中野 千幸	四日市市 立博物館 研究紀要 10
「世界の中の日本」3 ドイツ人の見た日本 第3回ワークショップ 第2部「日本研究と博物館・コレクションの調査」	ヨーゼフ・クライナー問題提起者 王 敏、 浦川 治造、 中島 悦子、 太田 順三、 金山 喜昭 参加者 中野 栄夫 司会	法政大学 国際日本 学研究所 研究報告	2	研究ノート「柳田社会科と博物館」	井川 和道	" "
民藝型博物館と民俗型博物館の接木論	吉田 優	MUSE- UM STUDY	14	小学校の授業3年 社会科学習と博物館	物江 郁雄	歴史地理 教育 651
アメリカ合衆国における博物館の発達について(下)	矢島 雄 伊藤 平八 藤成 太郎 金成 太 杉山 輔 藤代 聡子 松田 千穂	"	"	巻頭エッセイ7 [特集]胎動する歴史学 歴史展示 歴史展示とは何か	小島 道裕	歴 博 118
				歴博けんきゅう便14 展示の新たな可能性を求めて	北原 糸子	" "
				博物館における娯楽の役割	駒見 和夫	和洋女子 大学紀要 43
				凸凹鏡 美術館長の公選制を夢想した	田中 三蔵	朝日夕刊 5.1
				赤字脱却へ「民」の知恵 現代美術館でジブリ展 写真美術館は収支予測	"	" 7.5

くらし再考 ミュージアムで朝食を 国宝からスター・ウォーズ 新鮮な非日常空間 ラフなスタイルで	前川 健次 産 経	9.6	木下直之さんに聞く	"			
東京解剖図鑑 現代アート結集『気軽に寄って』[小山登美夫 ギャラリー、SHU-GOARTS、ギャラリー小柳、タカ・イシイギャラリー]	山内 宏泰 東 京	2.28	文化を発信 美連協 公立美術館盛り上げる工夫		読 売	4.8	
市民とともに歩む『博物館像』を探る 東京新聞フォーラム		東京夕刊	地震から作品守れ! 台座に倒れない「裏ワザ」あり	安田 武晴	読売夕刊	2.7	
モノづくりの軌跡に光 空洞化テコ 海外客誘致		日 経	現代美術 変わる画廊地図	高野 清見	"	2.19	
文化 地元のスター作家探せ 地方の美術館、工夫こらす 未知の作品に脚光	宝玉 正彦	"	新しい博物館文化への挑戦 収集・伝承から探求・地域還元へ	中川 志郎	"	4.15	
ミュージアム再興への道		"	建築季評 90年代建築の地方美術館 新しい概念不在	中川 理	"	6.26	
1 集客への圧力揺らぐ学芸員の地位		6.10	ネットで予習 実物に感動 博物館ITで“深化”	津久井美奈	"	8.19	
2 名作が来ない所蔵品活用など知恵		6.11	逆風の美術館		"		
3 常設展重視 鑑賞者育成、原点に回歸		6.12	第1部-4 法人化2年 甘い? 評価	高野 清見		10.20	
4 広がる評価制度 正当さ求め基準自作も		6.13	第1部-5 入場者数では測れぬ「質」			10.21	
5 市民の応援団地域と連携、街づくり		6.14	第2部-1 収集予算激減10年で2割に	"		11.18	
文化 美術館・博物館 エデュケーター配置広がる	浜部 貴司	"	第2部-2 常設展を見せる工夫			11.19	
日用品が創る幻想世界 相次ぐ欧州現代美術展 社会への視線厳しく		日経夕刊	第2部-5 客の目線ようやく			11.26	
画廊選びは画商選び 個性表現の場 企画展に注目		"	第2部-6 郊外から街の中へ	"		11.28	
美術館・書店「盗撮」に悩む 絵画、雑誌など携帯でバチリ「マナー頼み」抜本策なく		"	21世紀の美術館像 新しい世界観提示する場	"	"	12.9	
六本木に新たなアートの拠点 相乗効果に期待[森美術館、コンプレックス、ナショナル・ギャラリー]	石川 健次 毎 日	4.11	日 本				
特集ワイド1 採算重視の美術館		毎日夕刊	(ア行)				
びっくり企画相次ぐ	小国 綾子		大阪アートコート ギャラリーがオープン「よりパブリックな活動を」	(千)	新美術新聞	997	
			版画は、いま 版画マーケットの現況と将来 証言・版画マーケット FROM GALLERY 6 アートプリントジャパン	秋 田	版画芸術	120	
			丸の内に移転オープン 相田みつを美術館 旧館の倍の広さに	宮本扶未子 毎 日		11.2	
			顔 再オープンした 相田みつを美術館の館長 相田一人さん	今井 正俊	読 売	11.6	
			地球的視野と地域的行動[愛知県陶磁資料館]	鶴 勲 陶 説			

1 世界第一の陶磁の殿堂			603	ステッカーと署名で反戦アピール ちひろ美術館がイラクの子どもを守れ[安曇野ちひろ美術館]	西澤 美子	新美術新聞	990
2 国際的な芸術家との交流			604	足立美術館 大観「山海二十題」のうち2点を新収蔵		"	989
3 資料館候補地は七つだった			605	米・ガーデニング雑誌が日本庭園に順位1位は足立美術館	(常)	"	1003
学楽サイト探訪 アイヌ民族博物館 自然と共生独自の文化		日経夕刊	5.9	アチック・ミュージアムの民具コレクション	近藤 雅樹	民具マンスリー	424
学校団体の博物館利用状況と課題について	糸田 和樹	秋田県立博物館研究報告	28	アチック・ミュージアムの民具コレクション(踏躰)の下駄	鈴木 通大	"	"
TOKYO・散歩 老舗・古町 谷中3 朝倉彫塑館へ	板崎 重盛	朝日夕刊	1.8	博物館倶楽部 アド・ミュージアム東京 広告通じモノの盛衰に郷愁	小泉 成史	東京	3.1
個人美術館へようこそ! 11 朝倉彫塑館	石川 健次	毎日	6.15	東西南北 東京・杉並区の「アニメ資料館」		日経夕刊	7.9
新美術時評 「具体」「芦屋」今問われる良識[芦屋市立美術館]	岩渕 潤子	新美術新聞	1011	文化往来 アフリカの伝統美術集めたギャラリー[アフリカンアートギャラリー]		日経	3.29
公立美術館冬物語 下「前衛の館」がけっぶち[芦屋市立美術館]		朝日	12.18	作品の購入運動と街づくりマインド[飯田市美術館]	米山 照実	博物館研究	426
逆風の美術館		読売夕刊		連載 池田文庫の服飾関係資料(第十一回) マックス・フォン・ペーベン著『流行—人間とモード』全八巻 ミュンヘン一九〇七—一九二五年	平井 紀子	池田文庫	22
第2部—3 財政難で民間委託方針[芦屋市立美術館]			11.21	本学卒業生による活動報告 池田満寿夫美術館	藤巻理英子	MUSE- OLOGY	22
第2部—4 「前衛」で特色 市民とは距離[芦屋市立美術館]			11.25	個人美術館へようこそ! 3 池田満寿夫美術館	石川 健次	毎日	4.20
特集3 空もでっかい、ほっかいどう。北海道のミュージアム・エデュケーション最新情報 足寄動物化石博物館 足寄発、地球時間の旅をする		ドーム	68	個人美術館へようこそ! 34 池大雅美術館	"	"	11.23
安曇野高橋節郎記念美術館開館 漆への深い理解と高い表現技術	白石 和己	新美術新聞	995	個人美術館へようこそ! 1 イサム・ノグチ庭園美術館	"	"	4.6
祝安曇野高橋節郎記念美術館開館	喬 十光 ジャン・ピエール・ブスケ 鄭 栄煥 頼 作明	"	"	伊勢現代美術館開館 三重・五ヶ所湾を望んだ地に	(真)	新美術新聞	991
個人美術館へようこそ! 16 安曇野高橋節郎記念美術館	石川 健次	毎日	7.20	本学卒業生による活動報告		MUSE- OLOGY	22
庭からの視線18 境界の解消が生むリラクゼーションの空間[安曇野ちひろ美術館]	伊藤 公文 文家 靖秀 久家 真 写 典子 川上 李 編集協力	A X I S	106	板橋区立美術館 展覧会と学芸員—展覧会の中の教育普及事業—	木内真由美		
				板橋区立美術館—学芸補助員の仕事について—	佐々木英理子		

平成15年定期刊行物所載文献(他/美博ア行)

あなたが選んだ古美術見せます 板橋区立美術館		産 経	4. 27	見るだけじゃない体験ミュージアム 漁村の暮らし経験[浦安市郷土博物館]		朝日夕刊	1. 30
個人美術館へようこそ! 21 板谷波山記念館	石川 健次	毎 日	8. 24	美術館倶楽部 江戸の花形デザイナー[永青文庫]	藤田 一人	東 京	4. 19
出光美術館(大阪)の閉館について		出光美術館報	123	連載 メップで、ダンスを31 江戸東京たてもの園 たてもの園に訪れた「日本の夏」		ド ー ム	70
出光美術館(大阪)スタートの頃	山本 勝義	" "	"	博物館における展覧会の可能性—江戸東京博物館「本田宗一郎と井深大—夢と創造」展を通して—	板谷 敏弘	博物館研究	421
二年目の“染付体験教室”	金沢 陽	" "	124	「NHK放送博物館」のリニューアル「あたご山に、ぜんぶある」	千葉 邦彦	アート・ドキュメンテーション通信	57
出光美術館(大阪)閉館へ	(美)	新美術新聞	986	〈リニューアル情報〉放送博物館のリニューアル〜より開かれた総合博物館をめざして〜[NHK放送博物館]	由見 尚洋	博物館研究	421
美術館倶楽部 大名の放蕩息子情熱コレクション[出光美術館]	藤田 一人	東 京	3. 8	(報告)企画展「写された国宝」ギャラリートーク「文化財と出逢う方法! ?」の試みから	鈴木 有紀	愛媛県美術館研究紀要	2
個人美術館へようこそ! 6 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	石川 健次	毎 日	5. 11	「青梅赤塚不二夫会館」きょうオープン「元氣な昭和」復活願		毎 日	10. 18
ミュージアムパーク茨城県自然博物館における安全管理体制について—安全委員会方式にもとづく施設の改修と安全の確立—	中山北條 豊 薫	博物館研究	425	〈論文・研究報告〉今、地域博物館の現場で思うこと[大磯町郷土資料館]	佐川 和裕	東京家政学院生活文化博物館年報	13
個人美術館へようこそ! 38 入江一子シルクロード記念館	石川 健次	毎 日	12. 21	現代版画はどこへ行く? 3 コレクションの王道とは—大川美術館長・大川栄二氏に聞く	松山 龍雄	版画芸術	121
コレクション/岩手県立美術館	齋藤 里香	博物館研究	417	版画は、いま 版画マーケットの現況と将来 証言・版画マーケット FROM GALLERY 3 O ギャラリー 大野博子さん	岡 構成 部	"	120
美術館めぐり「ヴァンジ彫刻庭園美術館」	(K)	ART LIBRARY	4	平成13年度新収蔵品資料紹介	中村 博司 北川 央 宮本 裕次 跡部 信	大阪城天守閣紀要	31
植木茂アトリエ記念館 彫刻の仕事場と暮らしの雰囲気を楽しんでいた試み	小林 邦雄	国立国際美術館月報	124	歴史の焦点 大阪府立狭山池博物館	馬場 英明	歴史と地理	562
植木茂アトリエ記念館を訪ねて	濱本 聰	潮 流	73	小学生を対象とした「ミュージアム・オリエンテーリング」の試み	五十嵐麻子 原田弥千世	大田区立郷土博物館紀要	13
第18回 支部が推薦する博物館情報8 中国支部/ウッドワン美術館における広報・展示活動(入館者確保と来館者サービスの充実に向けて)	重藤 嘉代	博物館研究	418				
話題の「農婦」公開 広島「ウッドワン美術館」村にゴッホがやってきた	藤原 正樹	東 京	5. 5				
特集3 「もう一つのミュージアム」と「もう一つのスクール」 浦安市郷土博物館 ほんもののまちと同じように、四季折々の行事が行われるまち		ド ー ム	69				

企画展「六郷用水 歴史探訪」での試み [大田区立郷土博物 館]	北村 敏	博物館研 究	421	逆風的美術館 第1 部-7 ビル最上階 と海岸沿い[神奈川 県立近代美術館(葉 山)]	高野 清見	読売夕刊	10.24
個人美術館へようこ そ!13 大田区立龍 子記念館	石川 健次	毎 日	6.29	博物館倶楽部 創作 意欲刺激した異国へ の好奇心[神奈川県 立歴史博物館]	藤田 一人	東京	7.26
古本歩き・大阪の巻 昭和十二年の大原氏 コレクション[大原 美術館]	山田 俊幸	一 寸	15	巻頭特集 2003年下 半期美術界徹底ガイ ド 第50回ヴェネ ツィア・ビエンナー レ総力特集 世界に 誇る美術館プロジェ クトをスタート! 養豊氏インタビュー [金沢21世紀美術館]		美術の窓	239
大原美術館散歩	薬科 英也	千 葉 市 美 術 館 ニ ュ ー ス C'n	27	個人美術館へようこ そ!17 鎌倉市鶴木 清方記念美術館	石川 健次	毎 日	7.27
文化往来 国吉康雄 コレクション、ベ ネッセが寄託[岡山 県立美術館]		日 経	3.12	《特集・地域博物館 は、いま…》鎌ヶ谷 市郷土博物館の場合	立野 晃	MUSE- OLOGI- ST	18
特別展示における教 育プログラムの一 例「豊饒の島の物 語」展で使ったオ タゴ博物館によるガ イドブックを中心と して	石川 直章	小樽市博 物館紀要	16	美術館紹介 上方浮 世絵館	高野 征子	浮世絵芸 術	146
個人美術館へようこ そ!22 小野忠重版 画館	石川 健次	毎 日	8.31	ワンポイントミュー ジウム71 河井寛次 郎記念館 いまだ主 のぬくもりが感じら れる記念館		ド ー ム	71
年次報告 尾道白樺 美術館		清 春	33	個人美術館へようこ そ!36 鹿沼市立川 上澄生美術館	石川 健次	毎 日	12.7
(力行)				ウチの一押 川越市 立美術館	濱中 真治	絵	450
「むかし体験企画」へ の取り組みから	安村 俊史	柏原市立 歴史資料 館館報	14	行ってみよう新美術 館 川越市立美術館	(常)	新美術新 聞	986
美術館倶楽部 文明 開化のショーウイ ンドー[ガスミュー ジウム]	藤田 一人	東京	9.6	個人美術館へようこ そ!14 川崎市岡本 太郎美術館	石川 健次	毎 日	7.6
美術館建築と観衆一 神奈川県立近代美術 館の場合	水沢 勉	aica JAPAN	4	カワサキ・ティーン ズ・プロジェクト 中高生によるコン サート&写真展一 [川崎市市民ミュー ジウム]	西澤 美子	新美術新 聞	995
神奈川県立近代美術 館葉山新館が完成 鎌倉から葉山へ本部 移転	西澤 美子	新美術新 聞	999	いちおしコレクショ ン 川 崎 市 市 民 ミ ュ ー ジ ャ ム 捕 虜・戦死…戦争の現 実淡々と	(留)	朝 日	3.8
神奈川県立近代美術 館 葉 山 館10月11日 オープン	(美)	"	1005	巻頭言 生涯学習から 生涯活動へ[川崎 市青少年科学館]	若宮 崇令	博物館研 究	427
新美術館意外な共通 点 逆風の下、生 活・環境を意識[神 奈川県立近代美術館 (葉山)]	大西 若人	朝 日	11.5	美術館倶楽部 混迷 する時代を風刺[河 鍋曉斎記念美術館]	藤田 一人	東京	8.9
この秋、2美術館 オープン 葉山の 「老舗」新館 六本木の 「空中の殿堂」[神 奈川県立近代美術館 (葉山)]	稲葉 千寿	東京夕刊	10.9	版画は、いま 版画 マーケットの現況と 将来 証言・版画 マーケット FROM GALLERY'S 2 樹 樹画廊 下村直樹さ ん	辺 構成	見 版画芸術	120

菊池寛実記念智美術館開館 記念展は日本現代陶芸の精華を展開		新美術新聞	994	個人美術館へようこそ! 24 久米美術館	石川 健次	毎 日	9. 14
見る楽しさ体感させる展示法[菊池寛実記念智美術館]	渋沢 和彦	産 経	4. 26	いちおしコレクション 栗田美術館「栗田嵐嶽記念館」 「美」求め作品の公表拒んだ異才	(ゆ) 朝	日	3. 15
木村圭吾の美術館オープン[木村圭吾さくら美術館]	(常)	新美術新聞	991	個人美術館へようこそ! 5 黒田記念館	石川 健次	毎 日	5. 4
現代版画はどこへ行く? 1 名古屋・ギャラリーAPA鈴木邑治氏に聞く	松山 龍雄 聞き手	版画芸術	119	群馬・高山社蚕業学校に見る近代 1万4千点の寄贈資料に興奮[群馬県立歴史博物館]	黒田日出男	朝日夕刊	3. 17
版画は、いま 版画マーケットの現況と将来 証言・版画マーケット FROM GALLERY S 5 ギャラリーダッドアート 三島俊文さん	秋 田	"	120	2003ニュース続報 現代彫刻センター解散	西澤 美子	新美術新聞	1011
倉庫を改装ギャラリービル誕生 現代美術の最先端が集合	渋沢 和彦	産 経	3. 8	建築博物館が欲しい!		建築雑誌	
九博だより 13 最終回 テーマ5「東洋と西洋」の構想	九州国立博物館設立準備室	国立博物館ニュース	659	建築博物館という小さな芽	林 昌二		1499
逆風の美術館 第1部-3 若者狙い異色の企画[京都国立博物館]		読売夕刊	10. 17	モノのゆくえ 同潤会アパートの調査で考えること	志岐 祐一		1500
[特別寄稿] 総合博物館: 沿革	瀬戸口烈司	京都大学総合博物館年報	H12~14 年度	建築博物館に期待すること	八束はじめ		1503
世田谷美術館新に分館「清川泰次記念ギャラリー」開館 区民ギャラリーも併設	(林)	新美術新聞	1007	博物館における実務	山口 俊浩		1504
個人美術館へようこそ! 7 玉堂美術館	石川 健次	毎 日	5. 18	建築学会の建築博物館に期待すること ジャン・ルイ・コーエン氏から学ぶ	山名 善之		1505
年次報告 清春白樺美術館		清 春	33	構造技術資料の収集・展示を	青木 繁		1506
特集2 空もでっかい、ほっかいどう。北海道のミュージアム・エデュケーション最新情報 釧路市立美術館 現代美術はじめての一步		ド ー ム	68	小さな建築博物館一家	高橋 鷹志		1507
コレクション/葛生町立古澤記念美術館	末武さとみ	博物館研究	421	建築図面があぶない!	初田 亨		1508
《特集・地域博物館は、いま…》展示を通して何を伝えるか [くにたち郷土文化館]	平松左枝子	MUSEOLOGIST	18	建築は現物保存で……	山本 長水		1509
個人美術館へようこそ! 23 熊谷守一美術館	石川 健次	毎 日	9. 7	建築博物館に望むこと	福田 晴虔		1510
ウチの一押 熊本市現代美術館	南 寛 宏	絵	449	都市と建築のディスプレイ	橋爪 紳也		1511
熊本市現代美術館開館	"	デアルテ	19	ひとつの現場からの中間報告	竹内 次男		1512
				文化往来 建築資料の散逸防止、国内初の博物館始動[建築博物館]		日 経	1. 6
				個人美術館へようこそ! 27 原爆の図丸木美術館	石川 健次	毎 日	10. 5
				美術館倶楽部 ご法度の実名“寛政三美人” [礪川浮世絵美術館]	藤田 一人	東 京	1. 25
				ミュージアム・トリックス 美術館・博物館訪問その16 高津古文化会館		マ キ エ	23

第18回 支部が推薦する博物館情報7. 近畿支部／神戸市立博物館における学校との連携活動—その概要と「出張授業」の取り組みを中心に—

麻田 明生 博物館研究 417

美術館レストラン最新事情 上野に待望の日本料理店 国立科学博物館・新館にオープン

西澤 美子 新美術新聞 991

トピックス—北から南から—特別展「THE地震展」について[国立科学博物館]

横山 一己 博物館研究 426

見るだけじゃない体験ミュージアム 森の探検・発見[国立科学博物館]

朝日夕刊 1.30

東京・六本木の美術展示施設の名称「国立新美術館」に決定

(美) 新美術新聞 997

美術市場レーダー143 国立新美術館の数学的な問題

瀬木 慎一 " 1006

国立新美術館「公募展」改革の契機に

吉田 敦彦 朝 日 7.19

国立新美術館六本木に2006年秋開業 会場の大半貸し出し

日経夕刊 7.23

国内最大の展示スペース 2006年度オープン予定の国立新美術館

毎日夕刊 7.9

展示のモダンイズム 特別展「2002年ソウルスタイル—李さん一家の素顔のくらし」を巡って

中西 啓 国立民族学博物館調査報告 44

展示デザインについて

大野木啓人 " "

国立民族学博物館の標本資料 集計からみる材質分析と異状の種類：合成素材を中心に

宇野 文男 " 36

展示改善にむけた観客調査の設計と実施：見学順路と滞在時間から見た観覧行動の解析

安達 文夫 国立歴史民俗博物館研究報告 108

ワークシートによる家族向け教育プログラム—「れきはく親子クイズ」の実施結果から—

小島 道裕 " "

[教室から博物館へ] 観客からみた歴博[国立歴史民俗博物館]

竹内 有理 歴 博 118

遺跡漫遊第9回 御所野遺跡オープン1周年 縄文環状集落の再現[御所野縄文博物館]

高田 和徳 建築雑誌 1505

個人美術館へようこそ！18 小杉放電記念日光美術館

石川 健次 毎 日 8.3

金刀比羅宮と美術の至宝展に携わって[金刀比羅宮博物館]

山本 健 ことひら 58

金刀比羅宮と高橋由一[金刀比羅宮博物館]

" 修復研究所報告 16

コレクション／小松市立宮本三郎美術館

二木 裕子 博物館研究 418

版画は、いま 版画マーケットの現況と将来 証言・版画マーケット FROM GALLERY'S 4 小山登美夫ギャラリー 小山登美夫さん

辺 見 版画芸術 120

(サ行)

見るだけじゃない体験ミュージアム ボランティアで解説[埼玉県立近代美術館]

朝日夕刊 1.30

印象派展のカタログ 大学院生が制作協力[埼玉県立近代美術館]

前田 恭二 読売夕刊 9.17

閲覧利用から見た文書館—その変遷と現状—[埼玉県立文書館]

原 由美子 文書館紀要 16

学生による「展覧会開催スタッフ」ワークショップ参加者を募集[相模原市民ギャラリー]

(千) 新美術新聞 995

個人美術館へようこそ！31 坂本善三美術館

石川 健次 毎 日 11.2

佐久市立近代美術館開館20周年特集

岩間 辰志、三浦 大助、対談 油井 一人 新美術新聞 993

佐久市立近代美術館開館記念企画展について

築山 美幸 " "

特集4 空もでっかい、ほっかいどう。北海道のミュージアム・エデュケーション最新情報 札幌芸術の森 芸術の森で、内なる自然をとりもどす

ド ー ム 68

特集1 「もう一つ のミュージアム」と 「もう一つのスケール」 財団法人札幌 彫刻美術館 子ども たちが生み出した、 驚きのガイド法		ドーム	69							すどう美術館海外短 期留学制度充足	"	1006	
美術館倶楽部 女心 彩る美的小宇宙[澤 乃井飾かんざし美術 館]	藤田 一人	東京	7.12							美術館紹介 川崎・ 砂子の里資料館の紹 介-私と浮世絵-	斎藤 文夫	浮世絵芸 術	146
特集1 昭和30年代 再現展示、懐かしさ のチカラ 師勝町歴 史民俗資料館 回想 法がつかない資料館 とケアセンター		ドーム	67							みんなでエコ社会 浜辺自体が『砂浜美 術館』 Tシャツ展 や漂流物展	坂口 千夏	東京	5.11
『昭和日常博物館の 試み』の継続と『回想 法・高齢者ケアの古 くて新しいツール』 の展開について[師 勝町歴史民俗資料 館]	市橋 芳則	ミュージ アム・ データ	62							美術館倶楽部 崋山 の自然で自由な感覚 [静嘉堂文庫美術館]	藤田 一人	"	5.17
古民家と至極の美 四国村美術館を訪ね る	松本 豊胤	目の眼	321							セゾンアートプログラ ムが活動に終止符 [セゾンアートプロ グラムギャラリー]	(美)	新美術新 聞	990
逆風の美術館 第1 部-6 来館者の声 評価指標に[静岡県 立美術館]										クローズアップ 名 品愉悦 泉屋博古館 分館 東京・六本木 にオープン	廣川 守 実方 葉子 川口 直宜 両角かほる	墨	160
いちおしコレクショ ン 資生堂アートハ ウス 作家も鑑賞者 も癒やす石の箱	(こ)	朝日	1.25							テーブルトーク ス ローな時代に役立つ 「文化の種」まく博物 館 香取忠彦さん [泉屋博古館分館]	内藤 好之	朝日夕刊	2.4
版画は、いま 版画 マーケットの現況と 将来 証言・版画 マーケット FROM GALLERY5 1 不 忍画廊 荒井裕史さ ん	辺見 構成	版画芸術	120							仙台市博物館におけ る広報活動について	佐藤 美香	仙台市博 物館調査 研究報告	23
支局長人国記 島田 美術館長島田真祐さ ん 武蔵にならない、 個で時代と切り結ぶ	広瀬 輝文	朝日夕刊	2.24							仙台市博物館利用者 アンケート調査報 告-平成12・13・14 年度の調査から-	高倉 祐一	"	"
しもだて美術館11月 1日オープン	(美)	新美術新 聞	1007							本を借りるように 「アート」を借りよう せんだいメディア テークで	(真)	新美術新 聞	980
文化 矢羽根が映す 弓の心 父から受け 継いだ収集品、明治 神宮に寄贈[嘯月美 術館]	河西 宏和	日経	4.3							追悼・後藤康男氏 [損保ジャパン東郷 青児美術館]	寺坂 公雄	"	981
実践報告 ユニバー サル・デザインによ る誘導・案内方法の 創出-「縄文時遊館」 への導入のための検 証を例にして-	奥野花代子	博物館研 究	425							個人美術館へようこ そ! 30 損保ジャパ ン東郷青児美術館	石川 健次	毎日	10.26
五年目に入る「昭和 のくらし博物館」	小泉 和子	学鏡	100-2							(タ行)			
「新宿歴史博物館」が 整理終了 紛失の疑 い濃厚	宮川 裕章	毎日	4.2							コレクション/台東 区立書道博物館	鍋島 稲子	博物館研 究	419
新生堂 中島千波と 千住博の常設室を開 設	(高)	新美術新 聞	991							いちおしコレクショ ン 大名時計博物館 大名に愛された超高 級古時計	(華)	朝日	2.1
										連載 メップで、ダ ンスを30 高岡市美 術館「問いのうつつ」 展「見ているのは、 あなたです」		ドーム	69
										個人美術館へようこ そ! 15 竹久夢二美 術館	石川 健次	毎日	7.13
										普及事業「土器ッと 古代“宅配便”」-見 て・さわって歴史体 験-について[千葉 県文化財センター]	白鳥 章	千葉県文 化財セン ター研究 連絡誌	64

アートと生活をつな ごう 千葉アート ネットワーク・プロ ジェクトの活動公開 [千葉市美術館]	(美)	新美術新 聞	1005	第19回 支部が推薦 する博物館情報4、 東京支部／東京国立 近代美術館の解説ボ ランティア—MO- MATガイドスタッ フ	一條 彰子 白濱恵理子	博物館研 究	426
美術館倶楽部 北斎 70歳執念の遠近法 [千葉市美術館]	藤田 一人	東 京	5.31	日本映画 すべての国 が保存文化庁、 フィルムセンターを 強化[東京国立近代 美術館フィルムセン ター]		日 経	1.7
建築 ちひろ美術 館・東京 記憶を呼 び起こす不思議な空 間体験	五十嵐太郎	毎日夕刊	6.17	「日本美術の流れ」を つかめ! 2003年7 月1日本館2階リ ニューアルオープン [東京国立博物館]		国立博物 館ニュー ス	660
いちおしコレクショ ン 中近東文化セン ター 歴史見つけた 象牙のスフィンクス	(文)	朝 日	2.22	はくぶつかん散歩 2、3[東京国立博 物館]	上野 仁哉	"	660、661
故・北村氏のアトリ エ 彫刻芸術の拠点 に整備[彫刻アトリ エ館]	重長 聡	毎 日	6.11	日本・東洋美術の見 方が変わる 楽しく なる 誌上ギャラ リー・トーク13 平 常展「日本美術の流 れ」縄文から近代 まで[東京国立博物 館]	小林 牧 構成	"	661
土浦市田村町から産 出した貝化石層の記 載と展示物作成	中島 礼	土浦市立 博物館紀 要	13	東京国立博物館が学 芸部を廃止 独立行 政法人化で効率重視	西澤 美子	新美術新 聞	994
年4回の展覧会活動 を通して—土浦市立 博物館の試み—	木塚久仁子	"	"	東京国立博物館の組 織改革について	西岡 康宏	博物館研 究	425
はたおり教室の活動 と成果—10周年記念 特別展を開催して—	阪本 佳子	"	"	特集 文化財ボラン ティア 事例紹介 美術学芸 東京国立 博物館におけるボラ ンティア活動の展開	高梨 真行	文化財 (月刊)	472
壺屋焼物博物館の教 育普及活動について	赤嶺由紀子	壺屋焼物 博物館紀 要	4	東京国立博物館の環 境保全計画—無線通 信とLANの併用によ る温湿度計測システ ムの開発—	和田 浩 神庭 信幸	MUSE- UM	584
手紙・FAX・電 子 メールからの問い合 わせについて	島袋まき子	"	"	東京国立博物館のサ イン計画について 考察—	吉田 知加	"	586
〈論文・研究報告〉学 校教育と博物館資料 の活用	小林 利子 小瀬 康行	東京家政 学院生活 文化博物 館年報	13	〈報告〉ボランティア によるギャラリー トーク[東京国立博 物館]	玉蟲 玲子 高梨 真行	"	"
7 資料紹介	"	"	"	新しくなった東博の 平常展示室に行く	編 集 部	目の眼	325
東京画廊・石井利治 氏に聞く3—安井曾 太郎の葬儀、駒形十 吉、日本芸術大賞—	中山 ゆかり、 五十嵐利治 聞き手	現代芸術 研究	5	単眼複眼 新機軸打 ち出す東博 独立法 人化3年、「お宝」活 用に意欲	渡辺 延志	朝日夕刊	11.18
ウチの一押 東京芸 術大学大学美術館	左近充直美	絵	448	総合学芸 東京国立 博物館「平常展」リ ニューアルから2カ 月 好評 時代と ともにたどる日本美術	生田 誠 産 経	9.13	
「東京国立近代美術 館の半世紀」		現代の眼		美術館倶楽部 “文 人画家”文晁の神髄 [東京国立博物館]	藤田 一人	東 京	5.3
連載17 展示今昔	堀谷 昭則		538				
連載18、19 教育 普及活動のあゆ み—友の会につい て(1)(2)	蔵屋 美香		539、540				
連載20 教育普及 活動のあゆみ—京 橋時代	一條 彰子		541				
連載 メップで、ダ ンスを32 東京国立 近代美術館 東近美 と来館者を結ぶ二十 の架け橋		ド ー ム	71				

東京国立博物館学芸部など再編 縦割り組織見直し		日 経	4. 23						
古代美術品真剣に模写 アレクサンドロス大王展 75組の親子挑戦[東京国立博物館]		読 売	8. 10						
変わる東京国立博物館 展示「親しみやすさ」重視	前田 恭二	読売夕刊	7. 16						
体験型観賞プログラム・ギャラリークルーズの実践より	石田 哲朗	東京都現代美術館 紀要	8						
いちおしコレクション 東京都現代美術館 ハーブ塗り込め 香る癒やしの箱	(華)	朝 日	3. 29						
公立美術館冬物語 上 予算削減「動員」へ走る[東京都現代美術館]		"	12. 17						
にぎわい空間 アートと緑でリフレッシュ 都庭園美術館 & 国立自然教育園 都現代美術館 & 木場公園		朝日夕刊	4. 10						
美術品1400点価格未評価 都現代美術館 規則違反 ずさん管理認める		東京夕刊	10. 4						
経営者の目美術館変える 補助金減り自助努力[東京都現代美術館]	浜部 貴司	日経夕刊	8. 20						
逆風の美術館		読売夕刊							
第1部-1 都現代美術館 好調でも苦悩[東京都現代美術館]	高野 清見		10. 14						
第1部-2 減る予算“客集め”で稼ぐ[東京都現代美術館]			10. 15						
視点 東京都写真美術館館長奮闘記vol. 1、2	福原 義春	美術の窓	241、242						
こと場 福原義春さん 東京都写真美術館館長		朝日夕刊	6. 18						
経営者の目美術館変える 補助金減り自助努力[東京都写真美術館]	浜部 貴司	日経夕刊	8. 20						
東京都写真美術館、過去最高の来館者 就任3年目の福原義春館長が会見	石川 健次	毎日夕刊	5. 26						
手帳 都写真美術館 明確な経営戦略で復活	前田 恭二	読売夕刊	7. 2						
にぎわい空間 アートと緑でリフレッシュ 都庭園美術館 & 国立自然教育園 都現代美術館 & 木場公園								朝日夕刊	4. 10
特集 文化財ボランティア 事例紹介 美術学芸 東京都美術館のボランティア	岡部 武夫	文化財 (月刊)	472						
気軽に美術鑑賞を 視覚障害者に都美術館配感[東京都美術館]		朝 日	3. 7						
ワンポイントミュージアム68 東京農工大学工学部附属繊維博物館 盛んな友の会活動、「生きている博物館」のこころ		ド ー ム	68						
古代エジプト文明展に伴う体験教室「パピルス紙作り」	菊池 逸夫	東北歴史博物館研究紀要	4						
第19回支部が推薦する博物館情報 5. 東海支部/徳川美術館「大名文化」教育普及活動の15年を振り返って	加藤 啓子	博物館研究	427						
いちおしコレクション 戸栗美術館 外様大名「苦心」の高級磁器	(桃)	朝 日	2. 15						
巻頭言 「未来志向に立って考える」— 栃木県立博物館の場合—	古口 紀夫	博物館研究	421						
随筆 このごろ思うこと[栃木県立博物館]	"	"	425						
第19回 支部が推薦する博物館情報 3. 関東支部/舟越桂展のあとさき—美術館利用者のコミュニティ創出に向けて— [栃木県立美術館]	杉村 浩哉	"	"						
[実践報告]学習会の成果と課題—2年間の活動を振り返って—	旭山 久	とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要	11						
行ってみよう新美術館 栃木市立とちぎ蔵の街美術館	(真)	新美術新聞	986						
個人美術館へようこそ! 28 土門拳記念館	石川 健次	毎 日	10. 12						
ワンポイントミュージアム69 富山市民俗民芸村売葉資料館 ミュージアムグッズは本物の葉		ド ー ム	69						

(ナ行)

連載「内科だった画廊だった」ふたたび(内科画廊)60年代の前衛展開催まで15、17~20	宮田 有香	あいだ	85、87、89、93、95	
アートで繋ぐコミュニティの絆[直島コンテンツポラリアートミュージアム]	秋元 雄史	直島通信	2003.1	
島からの挑戦[直島コンテンツポラリアートミュージアム]	中沢 新一	美術手帖	831	
個人美術館へようこそ!10 長野県信濃美術館東山魁夷館	石川 健次	毎 日	6.8	
巻頭言「歴史博物館における新しい試み」[長野県立歴史館]	市川 健夫	博物館研究	425	
個人美術館へようこそ!29 中村研一記念美術館	石川 健次	毎 日	10.19	
特集3 昭和30年代再現展示、懐かしさのチカラ 名古屋博物館の懐かしい昭和展覧会場は、にぎやかた 名古屋博物館第27回収蔵品展くらしのうつりかわり		ドーム	67	
全国美術館会議美術館基準(案)検討会(愛知・岐阜・三重)の活動報告『美術館基準(案)』と『日本の美術館の指針(案)』	山田 論	名古屋市美術館研究紀要	12	
教師向けプログラムと鑑賞活動学習のための教材開発—学校教師との連携を通じて	伊藤 優子	" "	" "	
〈執筆協力〉学校と美術館の連携を目指して	中條 幸治	" "	" "	
視覚に障害のある人への作品鑑賞ガイドの概略について	角田美奈子	" "	" "	
揺れる名古屋ボストン美術館 学芸部廃止・館長辞任	西澤 美子	新美術新聞	983	
どうなる名古屋ボストン美術館 運営財団09年閉館を否定 契約破棄は検討	"	"	1000	
名古屋ボストン美術館閉館へ 文化資源生かす観客育たず—静岡文化芸術大・岩淵潤子助教授に聞く	星野 学	朝日夕刊	8.9	

文化 明治彩った七宝の巨匠 並河靖之記念館館長に就任、調査・研究に励む	前 久夫	日 経	6.10	
コレクション/奈良県立万葉文化館	平岡 照啓	博物館研究	416	
特集 文化財ボランティア 事例紹介 美術学芸 奈良国立博物館とボランティア活動—「博物館」を魅力ある場所に—	宮田 康和	文化財(月刊)	472	
奈良市美術館が開館旧そこう美術館が市民の文化拠点に	(林)	新美術新聞	1005	
新潟県立万代島美術館7月12日オープン 戦後美術を企画展示	西澤 美子	"	996	
文書館・史料館めぐり 新潟県立歴史博物館	前嶋 敏	日本歴史	660	
個人美術館へようこそ!35 ニキ美術館	石川 健次	毎 日	11.30	
ワンポイントミュージアム67 虹の美術館 期間限定美術館の、地域の記憶の掘り起こしに拍手		ドーム	67	
教育普及活動における業務改善について	宮原 彩	西宮市立郷土資料館研究報告	6	
「ぬりえ美術館」開館1周年 塗り絵に広がる人の輪		読 売	8.22	
美術館倶楽部 嗜好と感性追い求めた琳派[根津美術館]	藤田 一人	東 京	3.22	

(ハ行)

個人美術館へようこそ!32 橋本関雪記念館	石川 健次	毎 日	11.9	
“待ち望んだ夢の扉” 八王子市夢美術館10月18日オープン	(千)	新美術新聞	1006	
《特集・地域博物館は、いま…》八戸市博物館・史跡根城の広場 縄文学習館における現状と課題—史跡を活かした生涯学習拠点としての役割—	藤田 俊雄	MUSEOLOGIST	18	
美術館倶楽部 癒やしの絵師広重の肉筆[馬頭町広重美術館]	藤田 一人	東 京	6.14	
特集1 デジタルしてる?ミュージアム デジタルミュージアム実践編[林原自然科学博物館ダイノゾアファクトリー]		ドーム	66	

私の履歴書19[林原美術館]	林原 健 日 経	6.20	富士急ハイランドにフジヤマミュージアム開館	(常)	新美術新聞	999
行ってみよう新美術館 パラミタ・ミュージアム	(千)	新美術新聞	986	美術館倶楽部 内なる充足から新時代へ[府中市美術館]	藤田 一人 東 京	2.22
ミュージアム美食散歩 カフェダール(ハラミュージアムアーク) シュールな束芋がケーキになった		朝日夕刊	10.2	ブリヂストン美術館リニューアルオープン	(千)	新美術新聞 983
個人美術館へようこそ! 25 菱川師宣記念館	石川 健次	毎 日	9.21	美術館評価の時代3ブリヂストン美術館がISO取得	西澤 美子	" 1010
美術館のこれからを考える—リニューアルを期して	堀澤 光栄	姫路市立美術館だより	77	美術館倶楽部 着物は身に纏う美術品[文化学園服飾博物館]	藤田 一人 東 京	6.28
採録・赤レンガ今昔	小菅 生野	"	78	ニッポンの行列 にぎわいのツボ2 小さな町大きなもてなし[北斎館]		日経夕刊 8.28
行ってみよう新美術館 兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー	(美)	新美術新聞	986	ワンポイントミュージアム70 細見美術館 日本美術に親しむための工夫が光る		ド ー ム 70
連載 メップで、ダンスを28 兵庫県立一庫公園ネイチャーセンターで驚きの展示キットに出会った		ド ー ム	67	遊ぶ 美術と夏休み 珠玉の日本美術 細見コレクションリクエスト展03[細見美術館]	福井 麻純	目の眼 324
文化往来 平木美術館、所蔵浮世絵をデジタル化[平木浮世絵美術館]		日 経	6.27		(マ行)	
個人美術館へようこそ! 20 小平市平櫛田中館	石川 健次	毎 日	8.17	美術館倶楽部 旧幕臣の心情的抵抗[町田市立国際版画美術館]	藤田 一人 東 京	8.23
個人美術館へようこそ! 26 平山郁夫美術館	"	"	9.28	ルオーと生活文化の美術館オープン 松下電工NAISミュージアム4月10日 東京・汐留に		新美術新聞 988
小学校に開設した「郷土の昔資料室」[広島県府中市歴史民俗資料館]	谷重 豊季	民具マンスリー	419	最長不倒記録—美術館準備室は飛ぶ[松戸市美術館準備室]	森 仁 史	美術運動史研究会 ニュース 63
随筆 “学べる美術館”[広島県立美術館]	常盤 豊	博物館研究	418	特集2 昭和30年代再現展示、懐かしさのチカラ 団地2DK生活再現展示から読み取れること 国立歴史民俗博物館シンボから、松戸市立博物館の昭和展示を考える		ド ー ム 67
広島市現代美術館常設展に思う	谷藤 史彦	新美術新聞	1003	老いるほど若くなる! 松本市美術館で型破りの70歳以上公募展	(常)	新美術新聞 1000
「戦争・平和博物館」展示と国際理解—平和の祈りに隠された問題—[広島平和記念資料館]	太田 満生	奈良教育大学紀要	52—1	コレクション/松本市美術館	細萱 禮子	博物館研究 426
特集 文化財ボランティア 事例紹介 美術学芸 福岡アジア美術館の制作補助ボランティア	松浦 仁	文化財(月刊)	472	個人美術館へようこそ! 12 真鶴町立中川一政美術館	石川 健次	毎 日 6.22
連載 MEPで、ダンスを27 福岡市美術館発 教育普及プログラム 「美術館の普及活動は接客業の信念で」		ド ー ム	66	特集 文化財ボランティア 事例紹介 美術学芸 三重県立美術館のボランティア組織	毛利伊知郎	文化財(月刊) 472

第18回 支部が推薦する博物館情報6. 北信越支部/三方町縄文博物館—縄文を生かしたまちづくりの拠点として—	田辺 常博	博物館研究	416	【文化の窓】“無言館”の人氣と民衆史研究の転機	宮瀧 交二	歴史評論	634
妖怪に会えるぞ[水木しげる記念館]		朝日夕刊	3.8	ユニバーシティ・ミュージアムを考える—一窓としての役割—	神野 善治	武蔵野美術大学美術資料図書館報	26
チャイム[水木しげる記念館]		産 経	2.23	連載 ユニークな美術館探訪 村内美術館	岸田 夏子	清 春	33
ニッポン紀行 鳥取県境港市 妖怪で観光地に“大化け” 来月「水木しげる記念館」	内田 光男	日 経	2.16	明治大学考古学博物館の50年とこれから・素描	島田 和高	MUSE-OLOGIST	18
水木しげるさん記念館が開館 鳥取・境港に		日経夕刊	3.8	学校団体の博物館見学受入にあたっての諸課題—中学・高校生の団体見学アンケート分析を通して—[明治大学刑事博物館・考古学博物館・商品博物館]	加藤健太郎 外山 徹	明治大学博物館研究報告	8
三鷹 夢が尽きない「ジブリの世界」[三鷹の森ジブリ美術館]	水谷 有	東京夕刊	5.21	新時代メセナ[Varietas Delectat] Vol. 1 美の復権メゾンエルメスの提案 エルメスジャポン株式会社	齋藤 峰明 談	ア ー ト トッ プ	193
美術館倶楽部 江戸ブルジョア繁栄の証し[三井文庫]	藤田 一人	東 京	1.11	森美術館オープン!		ART iT	1
メディア・コンテロールへの処方箋 椿昇「国連少年」(水戸芸術館)が示唆するもの	松永 康	あ い だ	91	デヴィッド・エリオット館長インタビュー	小崎 哲哉 聞き手		
特集2 「もう一つのミュージアム」と「もう一つのスクール」 水戸芸術館現代美術センター「高校生ウィーク」に見る未来形		ド ー ム	69	アートと人との関係性を築くプラットフォーム	染谷ヒロコ		
特集 文化財ボランティア 事例紹介 美術学芸 複眼で作品を観る—対話によるギャラリートークについて[水戸芸術館]	森山 純子	文 化 財 (月刊)	472	巻頭特集 首都蘇生と文化 アートとライフの共生、都市とアートの新しい関係を築く[森美術館]	森 佳子 談	ア ー ト トッ プ	194
矢崎家資料調査の経緯と経過	高山 優	港区立港郷土資料館研究紀要	7	インタビュー 新しい美術館モデルをつくりたい—森美術館館長デヴィッド・エリオット氏に聞きました	編 集 部	あ い だ	88
コレクション/美濃加茂市民ミュージアム	林 英雄	博物館研究	425	森美術館館長D・エリオット氏の発言をめぐって	藤枝 晃雄	”	93
学習に役立つ博物館資料(小学校編)	永井 秀樹	宮崎県総合博物館研究紀要	24	文化人とアーティストの世界 No.4 森稔(森ビル株式会社代表取締役社長)[森美術館]		ギ ャ ラ リー(月 刊)	222
個人美術館へようこそ! 37 宮本三郎美術館	石川 健次	毎 日	12.14	特集 森美術館×六本木アート・ウォッチング		”	”
個人美術館へようこそ! 8 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	”	”	5.25	今秋オープンの森美術館 概要を発表	(千)	新美術新聞	989
個人美術館へようこそ! 4 向井潤吉アトリエ館	”	”	4.27	東京・六本木ヒルズ10月18日 森美術館オープン	鳥村 千代	”	”
				2003ニュース統報 六本木・森美術館オープン	西澤 美子	”	1011

最新レポート 3人のリーダーに聞く「森美術館」はアートをどう変える?	デヴィッド・エリオット 南條 史生 篠原研二郎	美術手帖	835					逆風的美術館 第1部-7 ビル最上階と海岸沿い[森美術館]	"	"	10. 24
最新レポート 森美術館パブリック・プログラム	染谷比呂子	"	"					(ヤ行)			
小学生も目指せ 美術鑑定の達人 森美術館募集		朝 日	3. 18					文書館・史料館めぐり 八尾市立歴史民俗資料館	小谷 利明	日本歴史	662
ひと 大規模美術館で初の外国人館長となった デビッド・エリオットさん [森美術館]	山盛 英司	"	4. 13					路地裏に“谷中文化”咲かせたい 自宅に画廊きようオープン [谷中ギャラリー]		読 売	10. 10
変貌東京 六本木ヒルズ 中 刺激発信、美術館から[森美術館]		"	5. 9					リニューアルした三重県立美術館に柳原義達記念館開館	(千)	新美術新聞	1007
新美術館意外な共通点 逆風の下、生活・環境を意識[森美術館]	大西 若人	"	11. 5					考古遺物を活用した学校教育への協力ー出前授業を中心にー	佐竹 桂一	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	1
ぶらりミュージアム番外編 来月オープンする森美術館館長デビッド・エリオット氏に聞く「ハビネス」テーマに東京から発信	神谷 幸江	朝日夕刊	9. 11					個人美術館へようこそ! 33 山口蓬春記念館	石川 健次	毎 日	11. 16
この人 六本木ヒルズの最上階に開館した森美術館理事長森佳子さん	稲葉 千寿 東 京		10. 22					三月卒業[弥生文化博物館]	石神 怡	大阪文化財研究	23
この秋、2美術館オープン 葉山の「老舗」新館 六本木の「空中の殿堂」[森美術館]	"	東京夕刊	10. 9					REPORT ハマキッズ・アートクラブ活動 報告[横浜市民ギャラリー]		アートヨコハマ	19
文化往来 森美術館、企画第一弾は「幸福」		日 経	4. 1					〈報告〉一キログラムの土器作りに挑戦! 一博学連携に向けてー	亦野あゆみ	横浜市歴史博物館紀要	7
六本木に新たなアートの拠点 折り合いつくか表現意識と企業の常識[森美術館]	小倉 正史	毎 日	4. 11					イラクが誇る豊かな歴史遺産 横浜ユーラシア文化館に収蔵、陳列		東京夕刊	1. 22
文化という劇場 お寒い芸術文化活動 頼みの綱は森美術館	三田 晴夫	"	5. 4					横浜にユーラシア文化館 故江上波夫氏の収藏品2万7500点		日経夕刊	3. 15
ひと 六本木ヒルズに開館 森美術館の館長 デヴィッド・エリオットさん	石川 健次	"	10. 18					個人美術館へようこそ! 2 横山大観記念館	石川 健次	毎 日	4. 13
マイブレス ダラム(イギリス) 歴史建築と自然が調和 デヴィッド・エリオットさん(森美術館館長)		読 売	3. 24					コレクション/横山隆一記念まんが館	奥山菜々美	博物館研究	427
新私のいる風景 森美術館館長デヴィッド・エリオットさんアートとライフ問いかける	高野 清見	読売夕刊	5. 31					展覧会から 企画展「写された四日市」	秦 昌弘	四日市市立博物館研究紀要	10
								展覧会から 特別展「ロバート・キャパ写真展ー戦禍なき世紀にむけて」	"	"	"
								展覧会から 特別展「発掘された日本列島2002ー新発見考古速報展」会期2002. 9. 23~10. 25	中野 千幸	"	"

展覧会から 特別展 2002イタリア・ボ ローニャ国際絵本原 画展	井川 和道	"	"						[特集]胎動する歴史 学 歴史展示 オース トラリアの博物館 で考えたことーアボ リジニの展示と戦争 の記録をめぐるー [オーストラリア国 立博物館、オースト ラリア戦争記念館]	久留島 浩 歴 博 118
	(ラ行)									
新生堂西新橋店“楽 観房”オープン	(常)	新美術新 聞	985							
個人美術館へようこ そ! 19 碌山美術館	石川 健次	毎 日	8. 10						連載 世界のミュー ジウムあんな話こん な話15 挑戦する アート「テリトリー ズ展」 KW(カー ヴ エ / Kunst Werke)、ベルリン	河村 恵理 ドー ム 69
	(ワ行)									
展覧会の企画と運 営ー早稲田大学図書 館展示部会の経験か ら	松下 真也	早稲田大 学図書館 紀要	50						[特集]胎動する歴史 学 歴史展示 参照 する歴史の表象ーア ジアの三つの記念館 を訪ねてー[韓国独 立記念館]	吉田 憲司 歴 博 118
海 外										
ウィーン自然史博物 館ーその収集の歴史 と今日ー	前原 雅子	MUSE- UM STUDY	14						「戦争・平和博物館」 展示と国際理解ー平 和の祈りに隠された 問題ー[九・一八歴 史博物館]	太田 満 奈良教育 田渕五十生 大学紀要 52ー1
ウィーン美術史美術 館	薩摩 雅登	視 る	404						歩くこと・考えるこ と モダニズム再発 見の旅 番外編 8 ルイス・カーンのキ ンベル美術館 美術 館建築の聖地フォー トワースを訪ねる	鈴木 紀慶 デザイン の現場 131
アフター5 ウィー ン 夜の美術館日も 舌も満足[ウィーン 美術史美術館]	青木 雪雄	朝日夕刊	3. 15							
ヴィクトリア&アル バート美術館での漆 芸ワークショップ	栗本 夏樹	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	47						歩くこと・考えるこ と モダニズム再発 見の旅 番外編 7 ビルバオ・グッゲン ハイム美術館 都市 を再生する美術館と スペイン巡礼の旅	" " 127
1960年代後半にお けるミュージアムの展 覧会にみられるモダ ニズム促進 ヴィク トリア・アンド・アル バート・ミュージア ム巡回企画部による 「近代椅子」展を中 心に	豊口真衣子	日本建築 学会計画 系論文集	563						新館建設を断念 米・グッゲンハイム 美術館	朝日夕刊 1. 14
ミュージアムにお けるデザイン展示に 関する諸問題について ヴィクトリア・アン ド・アルバート・ミ ュージアムとホワイ トチャペル・アー ト・ギャラリーを中 心に	"	"	564						現在通信from NEW YORK ゲッティ ー美術史の殿堂 [ゲッティー美術館]	富井 玲子 新美術新 聞 993
記憶の観客になるー デウスブルクでの 体験から[ヴィルヘ ルム・レームブル ック美術館]	水沢 勉	国立国際 美術館月 報	131						世界に誇るケニア国 立博物館	菊池 弥生 オリエン テ 26
PARIS発 ドラクロ ワ愛好家への敬意 [ウジェーヌ・ドラ クロワ国立美術館]	安部 雅延	新美術新 聞	997						海外文化 バスク 都市無差別爆撃を記 憶 ゲルニカに平和 博物館[ゲルニカ平 和博物館]	立石 博高 朝日夕刊 3. 18
									ゲルマニッシェス・ ナツィオナルムゼウ ムの建築発展に見ら れる集積的特性の形 成について	海老澤模奈 人 日本建築 学会計画 系論文集 568
									徳寿宮美術館をめ ぐる「現代」と「近 代」[国立現代美術館 徳寿宮分館(ソウル)]	李 美那 国立国際 美術館月 報 134

新美術時評 日本？ で最初の現代美術館 を思う[国立現代美 術館徳寿宮分館(ソ ウル)]	後小路雅弘	新美術新 聞	992	「バルセロナ民族学 博物館」の「セラ・コ レクション」とその 背景	朝岡 康二	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	108
[特集]胎動する歴史 学 歴史展示 反照 する歴史の表象—ア ジアの三つの記念館 を訪ねて—[侵華日 軍南京大虐殺遇難同 胞記念館]	吉田 憲司	歴 博	118	開かれた場所へ 「バ レ・ド・ト ー キョー 現代創造サ イト」	四元 朝子	国立国際 美術館月 報	132
アーサー・ハゼリウ スとスカンセン野外 博物館	矢島 國雄 本間 与之	MUSE- UM STUDY	14	連載 世界のミュー ジウムあんな話こん な話12 廃校が現代 アートとの出会いの 場に P.S.1 (コン テンポラリーア ート・セ ン タ ー) [ニューヨーク]	酒井 敦子	ド ー ム	66
連載 世界のミュー ジウムあんな話こん な話16 コミュニ ティとのつながりを 大切に ステュディ オ・ミュージアム・ イン・ハーレム [ニューヨーク]	酒井 敦子	ド ー ム	70	日影 眩の360°の ニューヨーク101 「今がチャンスの時」 か? ウィリアムズ バーグ、ピエロギ画 廊と安部典子の白い 砂丘	日影 眩	ギ ャ ラ リ ー(月 刊)	214
[特集]胎動する歴史 学 歴史展示 ドイ ツの歴史系博物館事 情[先史・原始博物 館]	藤尾慎一郎	歴 博	118	スペイン・マラガに ピカソ美術館オーブ ン 故郷に刻む新た な歴史	松田 健児	産 経	11.22
ロンドンの大型博物 館・美術館における 広報活動について— 大英博物館の事例を 中心に—	鬼頭 智美	MUSE- UM	584	パリ・スガ島島の現 代美術館 07年開館 実業家ピノーさん [成功、還元したい] [ピノー美術館]	松葉 一清	朝 日	11.18
人類の歩みパノラマ で一望[大英博物館]	樺山 紘一	朝 日	1.4	Around the Globe 開かれた美術館— フォートワース現代 美術館	淵上 正幸	美術手帖	832
250周年の大英博物 館 「文明の衝突」へ の反証 「公共性」と 「普遍性」を2本の柱 に	外岡 秀俊	朝日夕刊	11.20	オランダを代表する 注目の写真美術館 FOAM[フोटogra フィー・ミュージア ム・アムステルダ ム]	廣川 覚子	デザインの 現場	127
[特集]胎動する歴史 学 歴史展示 反照 する歴史の表象—ア ジアの三つの記念館 を訪ねて—[中国人 民抗日戦争記念館]	吉田 憲司	歴 博	118	福建省博物院開館と 貿易陶磁展示	吉良 文男	東洋陶磁	32
現在通信from NEW YORK 壮大なるビ ジョン[ディア・ ビーコン(ディア・ センター分館)]	富井 玲子	新美術新 聞	996	ブラジルの日本移民 史料館[ブラジル日 本移民史料館]	忠谷 美宏	ムゼイオ ン	49
田舎でじっくりと20 世紀アートを満喫 巨大美術館「Dia: Beacon」オープン	大竹 秀子	デザインの 現場	129	場所を持たない現代 美術センターの戦略 [ベオグラード現代 美術センター]	住友 文彦	国立国際 美術館月 報	135
テート・モダンのコ レクション展示—そ のテーマ別展示の特 徴と戦略 二〇〇〇 年/二〇〇三年—	高木 友絵	カリスタ	10	連載 世界のミュー ジウムあんな話こん な話14 あなたはど ちら派 生身のガイ ドとオーディオガイ ド ベルギー王立美 術館、ブリュッセル	中山ゆかり	ド ー ム	68
荒俣宏の不思議歩記 秘密の美術館[ナポ リ国立考古学博物 館]	荒俣 宏	毎 日	10.12	現在通信from NEW YORK アメリカ効 果[ホイットニー美 術館]	富井 玲子	新美術新 聞	1006

ジョバンニ・モレッリ『イタリア絵画論—歴史的・批判的研究—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(2)第一章ボルゲーゼ美術館(序論からジローラモ・ジェンガまで)

上田 恒夫 金沢美術工芸大学紀要 47

ミュージアムにおけるデザイン展示に関する諸問題について ヴィクトリア・アンド・アルバート・ミュージアムとホワイチャペル・アート・ギャラリーを中心に

豊口真衣子 日本建築学会計画系論文集 564

あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第17回 波と屏風そして西陣の錦—クラクフからの晩夏の便り [ポーランド、日本美術・技術センター、マンガ・センター]

稲賀 繁美 あいだ 93

マチスの名画など117億円相当寄贈メトロポリタン美術館に

東京夕刊 2.28

マイケル・マリOTTの子供用教材トローリーも好評 MAO(モダンアート・オックスフォード)オープン

三宅由希子 デザインの現場 126

特集 ダニエル・リベスキンド 一九九五年に見たユダヤ博物館

宮本 隆司 ユリイカ 474

[特集]胎動する歴史学 歴史展示 ドイツの歴史系博物館事情 [ユダヤ博物館]

藤尾慎一郎 歴博 118

“空港に美術館”という新発想 スキポール空港「ライクスミュージアム別館」

廣川 覚子 デザインの現場 126

CINEMA パリ・ルーヴル美術館の秘密

(常) 新美術新聞 1011

ひと ルーヴル美術館の改革に大なたをふるう館長 アンリ・ロワレットさん

斎藤 智子 朝日 2.20

人語る ルーヴル美術館長アンリ・ロワレット 館独自の野心を形に

日経 12.14

フォーカス 日本の子ども「ルーヴルファン」に 仏ルーヴル美術館長アンリ・ロワレット氏

日経夕刊 3.11

顔 日本の支援に期待するルーヴル美術館長 アンリ・ロワレットさん

高野 清見 読売 2.13

会ってきました フランスのルーヴル美術館館長 アンリ・ロワレットさん

読売夕刊 12.13

海外展

(ア行)

新美術時評 アート・バーゼル盛況 観光産業と一体のフォローみごと [スイス・バーゼル市、6/18—23]

岩渕 潤子 新美術新聞 996

清酒ケースに零戦が会田誠の米国痛撃! [アメリカン・エフェクト展、ホイットニー美術館、7/2—10/12]

由本みどり 芸術新潮 645

荒木経惟のソウル! 国境を越えて深まるアラウキー人気 [荒木経惟写真展 小説ソウル 物語トーキョー展、イルミン美術館(ソウル)、—2/23]

飯沢耕太郎 毎日夕刊 1.24

安野光雅さん米国で作品展 E・カール美術館 [安野光雅展、エリック・カール美術館、4/14—6/29]

山本 克哉 朝日 6.26

伝統と現代の対話促す建築 [「伊丹潤一—伝統と現代」展、フランス国立ギメ東洋美術館、7/30—9/7]

上田 雄三 毎日夕刊 8.26

「多文化主義」の新たな戦略 第五十回ヴェネツィア・ビエンナーレを観る [ジャルディーニ、アルセナーレ、コレール美術館、市内各所、6/15—11/2]

武居 利史 カリスタ 10

第50回ヴェネチア・ビエンナーレ 日本館コミッショナーに長谷川祐子さん

(真) 新美術新聞 983

第50回ヴェネチア・ビエンナーレ 6月に開幕 日本館コミッショナー長谷川祐子さん「ヘテロトピアス」をテーマに

(美) " 987

Voice's Art Space "Dreams and Conflicts" 2003年の夢 の見方[第50回ベネチア・ビエンナーレ]	周 富子	STUDIO VOICE	332
特集 第50回ヴェネツィア・ビエンナーレ完全ドキュメント		美術手帖	839
各国展示+企画展ダイジェスト	原 久子		
総合ディレクター フランチェスコ・ボナーミ インタビュー	松井みどり 構成・翻訳		
ボナーミをめぐる イタリア国内での 反応「独裁者」は つねに、複数形で 書く	阿部 真弓 取材・文		
日本館コミッショナーを務めて	長谷川祐子		
前回コミッショナーの語る日本館 キュレーションの 現実と課題 チーム ワークと経験の 継承に向けて	逢坂恵理子		
ビエンナーレ審査 を終えて	河本 信治		
視覚の拡大、共生 の夢	松井みどり		
誰も知らなかった？ ビエンナーレQ&A	新川 貴詩		
ヴェネツィア・ビエンナーレ110年 史	カワイイ・ファクト リー+編集 部		
巻頭特集 2003年下 半期美術界徹底ガイ ド 第50回ヴェネ ツィア・ビエンナー レ総力特集		美術の窓	239
酒井忠康氏に聞く ヴェネツィア・ビ エンナーレの見方	酒井 忠康 談 集 部 編 文		
長谷川祐子氏に聞 く 日本館に見出 す「ヘテロトピア ス(他なる場所)」			
伊東順二氏が語る 初めてつくした ヴェネツィア・ ビエンナーレ	伊東 順二 談 集 部 編 文		
第50回ベネチア・ビ エンナーレ 巨展 表現と出会う旅	山盛 英司	朝 日	6.25
ベネチアに日本美術 の風[第50回ベネチ ア・ビエンナーレ]	"	"	7.3

ベネチア・ビエン ナーレから 9.11 以降アートは「笑い」 に向かうのか	大西 若人	朝日夕刊	8.27
第50回ベネチア・ビ エンナーレを見て	南 宏	東京夕刊	7.1
ベネチア・ビエン ナーレ概要決まる 日本館のテーマは 「ヘテロトピア」	石川 健次	毎日夕刊	3.24
第50回ベネチア・ビ エンナーレ報告	建 哲	"	
上 基調は多文化 主義一出色だった デンマーク館			7.22
下 頑強な姿勢、 静かな映像美学— 時代の混沌映す企 画展			7.23
ベネチア・ビエン ナーレ日本館 テー マは「他なる場所」		読売夕刊	3.10
報告 ベネチア・ビ エンナーレ	菅原 教夫	"	
上 伏兵ルクセン ブルク—金獅子賞 受賞			6.23
中 村上隆の魅力 芸術監督が語る 「映像時代」の絵画 像示す			6.24
下 キュレーター によるテーマ展 日本館に望まれた 個展形式			6.25
(力行)			
特集 2003韓国国際 アートフェア ソウ ルのアートフェアに 行こう 誌上プレ ビュー[韓国総合展 示場(COEX)、6/ 25—29]		ギ ャ ラ リ ー(月 刊)	217
特集 ソウルに集 まった日本、中国、 台湾、韓国 アート ネットワークが誕生 するのか KIAFの 大いなる試み		"	220
第2回韓国国際ア ートフェア 美の拠点 へ中韓活発	田中 三蔵	朝 日	7.17
東アジアの連携探 るソウルの国際ア ートフェア 国や企業 巻き込んだ文化戦 略	三田 晴夫	毎日夕刊	7.3
韓国で初の巡回展 開催 草間彌生ワ ールド国際美術界を 席巻[草間彌生展、 アートソングエ・セ ンター(ソウル)、2/ 15—5/11]	松村 壽雄	産 経	5.3

(サ行)

現在通信from NEW YORK 牛ちゃん、NYでもボクシング[篠原有司男のボクシング・ペインティング、ソーホーの伊勢文化財団ギャラリー、1/17]

富井 玲子 新美術新聞 984

(タ行)

日本 高山辰雄作品特別展 高山辰雄特別インタビュー[北京国際美術ビエンナーレ、中国美術館・中華世紀壇芸術館、9/20-10/20]

高山 辰雄 アートトップ 194

中国・北京ムーブメント 北京ビエンナーレと北京東京芸術行程 北京ビエンナーレ-高山辰雄

ギャラリー(月刊) 221

2003年北京国際美術ビエンナーレ開幕特別企画として高山辰雄展を開催

浅木 正勝 新美術新聞 1005

文化往来 織物美術家、龍村光峯[錦]中欧で巡回[クラクフ日本美術技術センター、7/30-8/30]

日経 1.13

(ナ行)

日中友好水墨画交流展 北京と東京で開催[北京市炎黄艺术馆、11/22-]

杉谷 隆志 新美術新聞 982

米で世界初の「日本写真史展」日本側キュレーター金子、竹葉両氏に聞く[ヒューストン美術館、3/2-4/27]

生田 誠 産経 4.19

随筆 シドニーでの日本美術展のこと[日本美術における四季展、ニューサウスウェールズ州立美術館(シドニー)、8/16-10/26]

尾崎 正明 博物館研究 426

(ハ行)

美の現在 パリの「ひととロボット展」「モノにも生命」の日本文化 電子技術の成果と共に示す[ひととロボット展-夢から現実へ、国際交流基金パリ日本文化会館、10/28-2004/1/31]

高階 秀爾 朝日夕刊 12.1

手帳 「芸術も文化だ」パリでロボット展[ひととロボット展]

高野 清見 読売夕刊 12.1

現在通信from NEW YORK 反戦デモの翌日に「ファースト・ステップ、PS1ミュージアム、2/16-4/27」

富井 玲子 新美術新聞 985

社会映す北京の秋の美術展 具象に表れる屈折 抽象は反復に傾斜[第1回北京国際美術ビエンナーレ、中華世紀壇芸術館・中国美術館他、9/20-10/20]

中村 敬治 毎日夕刊 11.17

余技の陶芸、無心の喜悦 ビカソ、小泉淳作、細川護熙展[細川護熙「TOGEI」展、パリ・ギャラリー吉井、10/6-10/31]

竹田 博志 日経 10.8

(マ行)

巨大村上フィギュア出現 トンガリ君のお値段は? [村上隆、二重螺旋逆転、ニューヨーク、ロックフェラーセンター、9/9-10/12]

由本みどり 芸術新潮 647

村上隆さんが巨大彫刻 かわいいでも不気味 今秋NYで展示[二重螺旋逆転]

石川 健次 毎日夕刊 8.19

美術展覧会図録所載文献

企画展

ア 行

アート・ウォッチングpart2 感覚
遊園地探検 宮城県美術館

脳と美の解剖学 布施 英利

アート・ウォッチ
ングと感覚遊園地
探検一本展覧会の
イントロダクショ
ン 加野 恵子

アートみやぎ2003 宮城県美術館

アートみやぎ2003
の八つの部屋一展
示解説に代えてー 庄司 淳一

§作家の言葉§ 阿部 仁史

" 勝又 豊子

" ササキツト

" ム 高山 登

在るということ 千葉 和男

§作家の言葉§ 平間 至

容器の造形 吉野 辰海

§作家の言葉§ 渡辺 雄彦

宮城の美術
1999-2002 西村 勇晴

アール・デコ様式 朝香宮がみたバ
リ 東京都庭園美術館開館20周年記
念 東京都庭園美術館

アール・デコ賛歌 井関 正昭

遠い記憶の中か
ら一開館20周年に
際して 朝香 誠彦

朝香宮邸、東洋と
西洋の出会い イ ヴォン
ヌ・ブリュ
ナメール

アール・デコ遊
びと洗練の造形 佐野 敬彦

パリの空の下でー
朝香宮邸誕生ス
トーリー 牟田 行秀

わが国の近代住宅
史からみた朝香宮
邸について 内田 青蔵

アイヌからのメッセー
ジ ものづく
り 徳島県立博物館他

アイヌ工芸、その
歴史的道程 大塚 和義

先住民族と博物
館ー「アイヌから
のメッセー」展
における自文化展
示の新たな試みー 吉田 憲司

徳島とアイヌー企
画委員会に参加し
ての感想を交え
てー 庄武 憲子

Outspoken Glass 遠慮のないガラ
スー今日の日本から 北海道立近代
美術館他

Outspoken Glass
遠慮のないガラ
ス?！ 水田 順子

東又窯〜アガリヌカマ〜 新垣家住
宅重要文化財指定記念 那覇市立壺
屋焼物博物館

壺屋東又窯の構造
とその系譜 池田 榮史

明るい窓：風景表現の近代 横浜美
術館 横浜美

第1章 風景画へ
の目覚めー17世紀
のイタリヤとオラ
ンダ 新畑 泰秀

第2章 風景画へ
の目覚めー江戸後
期の日本 柏木 智雄

第3章 風景画の
興隆ー18世紀から
19世紀初頭のイギ
リス 新畑 泰秀

第4章 西洋列強
のアジア進出と写
真家の移動ー19世
紀後半のオリエン
ト 倉石 信乃

第5章 幕藩体制
の崩壊と開国ー幕
末・明治の日本 柏木 智雄
倉石 信乃

第6章 風景画の
開花ー19世紀初頭
から中頃のフラン
ス 新畑 泰秀

第7章 風景画の
開花ー19世紀後半
から20世紀初頭の
日本 柏木 智雄

遊べや遊べ！子ども浮世絵展ー歌麿
や広重も描いた江戸の子宝ー 山口
県立萩美術館・浦上記念館他

子どもの近世とそ
の前後 黒田日出男

子ども浮世絵再発
見 稲垣 進一

寺子屋の「学びの
文化」をさぐる 中城 正堯

アフリカのストリートアート 福井
県立美術館他

アフリカ同時代美
術の中のストリー
ト・アート 川口 幸也

アフリカのスト
リートアートの魅
力 芹川 貞夫

「アートコフィン」
とガーナの埋葬
式ー現地取材レ
ポート 松村 利規

アフリカのアート
レスアート 村田慶之輔

ストリートグラ
フィック 芹川 貞夫

ストリートショッ
プと人々の暮らし "

アートラジオ 高橋 雅子

スーベニール 松村 利規

アフリカのスト
リートアート探訪
記 高橋 雅子

アフリカ美術展 わきあがるかたち
仮面・染織からストリートアートま
で 広島県立美術館

日本人が見たアフ
リカ 山口 昌男

芹沢銈介とアフリ
カ 芹沢 長介

アフリカの風 網谷 幸二

クバのンチャック 麻生 秀穂

アフリカ 仮面は
語る 小川 弘

ヨーロッパにおけ
るアフリカ美術と
その変遷 "

日本へのアフリカ
美術の紹介 "

私のアフリカさが
しー1950年代から
70年代の特撮ヒー
ロー番組から 石川 哲子

天野の歴史と芸能 丹生都比売神社
と天野の名宝 和歌山県立博物館

天野の歴史と芸能 高木 徳郎

近世以降の天野ー
天野の古文書より
みるー 谷口 正信

名づけえぬもの アメリカ・イン
ディアンの手仕事 宇都宮美術館

序文 手仕事に託
された宇宙—イン
ディアン表現に
みるアート—の祖
形— 谷 新

インディアン絵
画におけるアイデ
ンティティー ケヴィン・
ウォレン・
スミス 有木 宏二
訳

名づけえぬもの、
あるいは、固有名
の失地回復 有木 宏二

あるサラリーマン・コレクションの
軌跡展 戦後日本美術の場所 周南
市美術館他

コレクターからの
メッセージ「思い
出すままに…コレ
クションを省み
て」

「あるサラリーマ
ン・コレクション
の軌跡」—「コレク
ション」と「歴史」
について 赤松 祐樹

反—美術館として
の「あるサラリー
マン・コレクショ
ンの軌跡」 野田 訓生

コレクションとい
う場所 浅倉祐一郎

アレクサンドロス大王と東西文明の
交流展 東京国立博物館他

ギリシャから日本
へ 田辺 勝美

歴史の征服者アレ
クサンドロス大王 ヤニス・
ツェダキス
サッフォー
・アタナソ
プル

古代彫刻における
聖・俗表現の系譜
と背景—女性、両
性具有、動物 木村 重信

アレクサンドロス
の残した宿題 後藤 健

井伊家歴代の肖像 彦根城博物館

井伊家歴代の肖像 高木 文恵

井伊の赤備え—彦根藩の甲冑— 彦
根城博物館

当世具足の形成—
井伊の赤備えに寄
せて— 宮崎 隆旨

いしかわの歌仙絵馬 石川県立歴史
博物館

いしかわの歌仙絵
馬 戸淵 幹夫

伊能忠敬と日本図 江戸開府400年
記念特別展 東京国立博物館

伊能忠敬と日本図
の歴史 田良島 哲

北方図の世界—最
後のテラ・インコ
グニタをめぐる— 佐々木利和

印材清賞展—美麗なるハンコの世
界—新関欽哉氏コレクション受贈記
念 静嘉堂文庫美術館

石印材鑑賞小史 西嶋 慎一

印材清賞—新関コ
レクションと静嘉
堂コレクション 小林 優子

イン/プリント ブリティッシュ・
アートの新たなヴィジョン 北海道
立函館美術館他

黄金の林檎の夢—
英国現代美術の流
れ 桜井 武

マインド・ザ・
ギャップ—YBA登
場の前と後 穂積 利明

前向きな絶望、
クールなメランコ
リー—アートと
ポップ・ミュー
ジックの15年— 中田 耕市

ウィーンの夢と憧れ 世紀末のグラ
フィック・アート 徳島県立近代美
術館他

ウィーン1900—芸
術と芸術家 エリカ・パ
トゥカ

1900年 前後の
ウィーンのブック
アート ハンス・ビ
ザンツ

ウィーン近代化に
形を与えた建築家
オットー・ワーグ
ナーを巡って 竹内 次男

ヴィクトリアン・ヌード—19世紀英
国のモラルと芸術— 神戸市立博物
館他

序論：ヴィクトリ
ア朝社会とヌード
の流行 小野寺玲子

ヴィクトリアン・
ヌードへの道徳的
反応 アリソン・
スミス

ヴィクトリアン・
ヌードに見られる
古典古代 薩摩 雅登

ヴェネツィアの光と影 北海道立帯
広美術館他

色彩の勝利—14—
16世紀ヴェネツィ
ア絵画の様式と技
法 クラジナ・
バステック

浮世絵アヴァンギャルドと現代 東
京ステーションギャラリー

浮世絵アヴァン
ギャルドと現代 横田 洋一

私の浮世絵蒐集記 恵 俊彦

浮世絵風景画名品展 ホノルル美術
館所蔵 千葉市美術館他

ホノルル美術館の
浮世絵版画コレク
ション ジュリア・
M・ホワイ
ト

浮世絵風景画の魅
力 小林 忠

富嶽三十六景—刷
りと版—故ビー
ター・モースを回
想して ハワード・
A・リンク

ミッチナー夫妻と
ハワイ、そして日
本 樋口 利之

北斎および北溪・
北寿・岳亭の風景
画 浅野 秀剛

広重・国芳・英泉
の風景画について 鈴木 浩平

器と装飾Ⅱ さまざまな加飾の技

茨城県陶芸美術館

器と装飾Ⅱ さま
ざまな加飾の技 熊岡 昭彦

うるわしの京都 いとしの美術館

京都市美術館

うるわしの京都、
いとしの美術館 吉中 充代

永源寺の歴史と美術 栗東歴史民俗
博物館

永源寺を支えた六
角氏 佐々木 進

描かれた身体 ひとの表現・ひとの

かたち 大川美術館

大川コレクション
「描かれたひと」を
見たあとに 小此木美代
子

SOS ふるさとの文化財をすくえー

伝えたい古人の心と技— 長野県立

歴史館

文化財の保存・修
復がめざすもの 青木 繁夫

王朝の文様—天平・平安の花文様と

その流れ— サントリー美術館

装束と有職文様 仙石 宗久

王朝の花文様の系
譜—団花文・丸文
から有職文様、雪
輪へ— 瀬山 里志

近江の彫刻—参詣道と金勝寺文化園の諸像— 栗東歴史民俗博物館

近江の彫刻—参詣道と金勝寺文化園の諸像— 松岡久美子

大江戸八百八町展 東京都江戸東京博物館

「大江戸八百八町」展のコンセプトと成果について 市川 寛明
原 史彦

火事と復興—巨大都市江戸の経済循環— 市川 寛明

「熙代勝覧」の日本橋大通(神田今川橋—日本橋)の表店—覧 小澤 弘

「江戸町中世渡集」より掲載した図版の釈文について 市川 寛明

大倉集古館名品展 新潟県立近代美術館開館10周年記念 新潟県立近代美術館

大倉集古館 コレクションの礎、その精神—大倉喜八郎 宮下 東子

大倉集古館と東洋美術 田邊三郎助

大倉喜七郎とローマ開催日本美術展 草薙奈津子

大原美術館所蔵名品展 千葉市美術館

大原美術館とそのコレクション 高階 秀爾

大原コレクションの懐かしさ 小林 忠

岡崎市美術館収蔵作品展 茅ヶ崎市美術館

岡崎市美術館のコレクション 稲垣 満春

MOTアニュアル2003 おだやかな日々 東京都現代美術館

おだやかな日々 熊谷伊佐子

オプ・アート展 明滅／振動／幻惑する絵画 北海道立函館美術館

さいころ 骰子のなかのヴァザルリ 中村 聖司

ブリジット・ライリーの再評価について 穂積 利明

織りだされた絵画 国立西洋美術館所蔵17—18世紀タピスリー 国立西洋美術館

国立西洋美術館の「タピスリー展」を巡る覚書 高橋 明也

近世のタピスリー芸術—絵画と工芸のはざま—

タピスリーの製織技法について—国立西洋美術館所蔵タピスリーを中心に— 深津 裕子

旧松方コレクション由来のタピスリーの修復と保存について 石井 美恵

松方コレクションと工芸 湊 典子

カ行

絵画の現在 新潟県立万代島美術館

開館記念展Ⅰ 新潟県立万代島美術館

絵画についての覚書 本江 邦夫

試論—日本における「絵画の現在」 藤田 裕彦

絵と言葉Ⅱ 画家たちへの讃歌：1930—60年代のパリ〈マニユエル・ブルケル出版の版画本を中心に〉 目黒区美術館

絵と言葉Ⅱ 画家たちへの讃歌 1930—60年代のパリ 矢内みどり

絵になる言葉、言葉になる絵 ビノ・マラス

駆けめぐる馬たち—馬と人が出会う場所— 馬の博物館

躍動する馬たち 安村 敏信

紺—藍と木綿が織り成す文様— 広島県立歴史博物館

木綿紺の登場と発展 西村 直城

桑田コレクションについて

鎌倉—禅の源流 建長寺創建750年

記念特別展 東京国立博物館

鎌倉—禅の源流 浅見 龍介

ガラスの酒器・ヨーロッパ ローマン・グラスからアール・デコまで

サントリー美術館

ガラスの酒杯・十選 土屋 良雄

味わい、愛でるガラスの酒器—その源流から機能美まで 土田ルリ子

伽藍御影堂と弘法大師信仰 弘法大師入唐—二〇〇年記念 高野山霊宝館

伽藍御影堂と弘法大師信仰 井筒 信隆

ラ・カリカチュール 王に挑んだ新展開 町田市立国際版画美術館

『ラ・カリカチュール』とその時代 宮原 信

グランヴィルの政治諷刺『カリカチュール』における「連作」 野村 正人

『シャルジュ』と『フィガロ』 七月王政初期における体制側の諷刺新聞

華麗なる装い 徳島市立徳島城博物館

近世の装い 小川 裕久

宮川一笑筆『江戸名所図屏風』

蜂須賀家の装い

飯塚桃葉の印籠 高尾 曜

カンボジアの染織 福岡市美術館

カンボジアの織物文化 植村 和代

カンボジアの紺とナーガ 小川 紀子

カンボジアの染織—チャム人が果たした役割を中心に— 岩永 悦子

木のワンダーランド VERY GOOD, VERY WOOD 北海道立帯広美術館

生きている木—木のワンダーランドに寄せて 石尾乃里子

九州力 世界美術としての九州展

熊本市現代美術館

「九州力」に向かつて 田中 幸人

「九州力」はどこにあるか 針生 一郎

京都の日本画100年—栖鳳・松園から現代まで— うらわ美術館

伝統と創世……象徴としての画塾と美術学校…… 榊原 吉郎

近代日本画の制作理念をたどって 大須賀 潔

玉つくり 原石に輝きを求めて 下
関市立考古博物館

玉製品の生産と流通・消費～弥生時代・古墳時代の北部九州を中心に～ 岡寺 良

巨匠たちが描いた日本の自然展 国立公園の四季 文化フォーラム春日井・ギャラリー他

日本洋画と美術団体の系譜～国立公園を競作した79人の巨匠たち～ 並川 汎

煌きのダイヤモンド ヨーロッパの宝飾400年展 東京国立博物館表慶館他

ヨーロッパにおけるダイヤモンド・ジュエリーの400年 ヤン・ワルグラウ

きらめく光—日本とヨーロッパの点表現—“DOT/NET” 静岡県立美術館

日本文人画にみる点表現—池大雅を中心に 飯田 真

調和の幻想—新印象主義の絵画について 村上 敬

大下 藤次郎《万年橋》における点表現の違ひについて 泰井 良

大正期日本画における点描—今村紫紅と小野竹斎を中心に 森 充代

展覧会ソナター「きらめく光」展の共同制作と現代美術セクションの展示について 堀切 正人

点描の世界 吉岡健二郎

点描の東西—大雅・スーラなど— 中谷 伸生

作家の言葉 浅見 貴子

息遣い 大巻 伸嗣

自生成点—草間作品と因陀羅網をと おして 高橋 洋子

近代金銀屏風名作選 富山県水墨美術館

「近代金銀屏風名作選」の試みについて 川田 祐子

金—永遠なるものと移ろうものと 泉 彰宏

近代洋画の開拓者たち アカデミズムの潮流 佐賀県立美術館

寄稿 佐賀と日本近代美術アカデミズムの成立 岡部 昌幸

概説 近代芸術の母体—日本洋画の「アカデミズム」について 野中 耕介

佐賀美術協会について

空海と高野山 弘法大師入唐1200年記念 京都国立博物館他

空海と日本の密教 末本文美士

高野山の歴史と弘法大師信仰 井筒 信隆

特論1 聲響指帰 赤尾 栄慶

特論2 諸尊仏龕 岩佐 光晴

特論3 仏涅槃図 泉 武夫

特論4 高野山と運慶、快慶 浅湫 毅

特論5 遍照光院の大雅の襖絵 狩野 博幸

空想散歩 夢は日常に遠く近く

茅ヶ崎市美術館

想像力の飛翔 空想散歩 村山 鎮雄

雲にのる神仏 神奈川県立金沢文庫

雲にのる神仏 山地 純

幻想と幻視 混在領域と領域侵犯

平塚市美術館

「幻想美術」かく戦えり 尾崎 真人

現代陶芸の華 西日本の作家を中心に

茨城県陶芸美術館

現代陶芸の構造と装飾—あるいは陶芸という“創的立体”について 外館 和子

現代陶芸の100年展—第二部「世界の陶芸」—開館記念展 I

岐阜県現代陶芸美術館

本展の4つの構成 不動 美里

現代日本画の旗手展 ネクスト・スピリッツ。 天竜市立秋野不矩美術館

現代の日本画に 島田 康寛

日本美術院を担う次世代の画家たち 池田 良平

日展系の作家たち 青山 訓子

創画会系作家について 黒田 弓恵

現在団体に所属していない画家たち

現代の日本画 その冒険者たち 岡崎美術博物館

日本画への遠近—一個人の体験から 芳賀 徹

「現代日本画」はいかなる所から来て、いかなる所へ行くか 天野 一夫

冒険者のゆくえ 杉山 明美

会田 誠 浅見 貴子 伊藤 彬 内田 あぐり 岡村 桂三郎

小野 友三 河嶋 淳司 小嶋 悠司 斎藤 典彦 下田 義寛 菅原 健彦

菅原 博 沢田 具幸 滝沢 浩一 竹内 俊一 田中 禮一 土屋 光亨

島中 マコト・フジムラ 間島 秀徳 村上 隆 村山 幾朗 山田 昌宏 山本 直彰

作家アンケート

現代の木工家具 スローライフの空間とデザイン 東京国立近代美術館

工芸館

家具という新たな造形表現と工房家具 諸山 正則

作家の言葉 早川謙之輔

小島 伸吾

谷 進一郎

中村 好文

高橋 三太郎

村上 富朗

徳永 順男

富田 文隆

須田 賢司

工芸の世紀 明治の置物から現代のアートまで 東京芸術大学大学美術館

「工芸の世紀」の意味 横溝 廣子

純粋さへの意志—昭和の工芸 樋田豊次郎

東京美術学校依頼制作《線観》について 横山 りえ

工芸風土記・式 木・竹・漆工の世界 宮内庁三の丸尚蔵館

技の伝承とひろがり—木・竹・漆工の世界— 五味 聖

古河藩の武具 古河歴史博物館

古河に關係する刀 伊藤 巖
工について

子どもと楽しむ静物・風景画—地球を切り取った世界発見!— 天童市美術館他

子どもと楽しむ静物・風景画展につ 阿部 信雄
いて

子どもワークショップ展—記録— 文化庁芸術拠点形成事業 練馬区立美術館

「子どもワークショップ展」につ 高橋 優実
いて

「ジュニアキュレーターによる収蔵企画展」を鑑賞して 稲葉 邦男

「ジュニアキュレーターによる収蔵企画展」に参加して 小池 研二

古年輪 奈良文化財研究所飛鳥資料館

年輪から年代をよ 岩本 圭輔
む

こもれび展 水戸芸術館現代美術ギャラリー

こもれびの誘惑 浅井 俊裕
コレクションにみる画家たちのパリ

ポーラ美術館

エコール・ド・パリとポーラ美術館 荒屋鋪 透
の絵画

画家たちのパリ 岩崎余帆子

コレクションにみるベル・エボック 美しき時代1900年前後の芸術 ポーラ美術館

美しき時代への追憶、ベル・エボック 佐藤みちこ

ベル・エボックとポーラ美術館のコレクション 荒屋鋪 透

ベル・エボックのガラス工芸—エミール・ガレとその周辺— 鈴木 潔

ベル・エボックと日本の洋画—1900年のパリ万博を中心に— 佐藤みちこ

時間を視覚化したモノとブルースト 吉川 一義
美しき時代—ベル・エボックの化粧とよそおい— 津田 紀代

コレクター・駒形十吉の眼 併設平山郁夫展 新潟県立万代島美術館

「コレクター・駒形十吉の眼展 併設平山郁夫展」によせて 平山 郁夫

駒形十吉さんの思い出 加山 又造

駒形十吉氏と新潟県立近代美術館の大光コレクション 横山 秀樹

駒形十吉とそのコレクション 高 晟峻

今日の人形芸術 想念の造形展 東京国立近代美術館工芸館他

人形—情念のうつ 今井 陽子
わ

サ 行

サーサーン朝ペルシアのコイン—王の肖像が語る歴史と文化— 中近東文化センター

サーサーン朝ペルシアのコインとその広がり 山内 和也

サーサーン朝ペルシアの工芸文化 宮下佐江子

日本隊によるサーサーン朝ペルシア時代の調査 足立 拓朗

雑賀の兜をさぐる—雑賀鉢の系譜

和歌山市立博物館

雑賀の兜をさぐる—雑賀鉢の系譜— 太田 宏一

鮭 秋味を待つ人々 東北歴史博物館

コラム 画題としての鮭

詩歌と書の世界 近代詩文書作家協会創立30周年記念 北海道立函館美術館

近代詩文書の歩み 金子 卓義

自然のなかで 美術館ワンダーランド 豊科近代美術館

§ 作家の言葉 § 中嶋 大道
「とおざかるもの」 前川 秀樹

§ 作家の言葉 § 金田 実生

” 福田 澄子

” 津田亜紀子

” 田中みぎわ

世界をメタフィジックに感じるといふこと 自然の中で展の6人の作家について 以倉 新

釈迦の美術 滋賀県立琵琶湖文化館

総論 仏伝とその造形 土井 通弘

各論 近江の涅槃図 上野 良信

各論 舍利信仰とその造形 古川 史隆

若沖と琳派—きらめく日本の美— 細見美術館コレクションより 高島屋(なんば)他

琳派と若沖—凄みの系譜— 狩野 博幸

重要文化財—かながわ考古展— 神奈川県立歴史博物館

神奈川県文化財保護条例制定五十周年と「重要文化財—かながわ考古展」 川口徳治朗

春陽会 草創の画家たち 第八〇回展記念 小杉放菴記念日光美術館／萬鉄五郎記念美術館

序論 春陽会誕生 劉生、莊八、一政を中心に 田中 淳

春陽会—草創の画家たち展に寄せて 足立 朗

石井鶴三にとっての春陽会創立前後 千田 敬一

『方寸』から春陽会へ—小杉未醒を中心に— 田中 正史

山本鼎の姿勢—油絵三昧を目指して— 小林未央子

春陽会と萬鉄五郎 平澤 広

城下町和歌山の本屋さん—「紀伊国名所図会」を中心に— 和歌山市立博物館

城下町和歌山の出版と書商の営業形態 須山 高明

「帯伊」さんのこと 三尾 功

城下町和歌山の出版文化に関する若干の考察 高橋 克伸

正倉院展55回 奈良国立博物館

正倉院と宝物(概説) 梶谷 亮治

女性と仏教 いのりとほほえみ 奈良国立博物館

女性と仏教 いのりとほほえみ 西山 厚

新世紀こども大博覧会 入江コレクションにみる児童文化史400年 兵庫県立歴史博物館

入江正彦氏のこと 肥田 皓三
児童文化の宝庫 多田 敏捷
入江コレクションの意義
こども・博覧会・光学玩具 香川 雅信

ずこうのじかん 美術の時間 体感する美術2003 佐倉市立美術館

日本画に挑戦! 鶴沼 喜也
佐倉市立根郷中学校の授業に参加して コイズミ アヤ
体感する美術2003 ずこうのじかん・美術の時間を終えて 安本 幸世

リンクする教育普及 大学生の教育実践という立場から 加藤 修

スタジオジブリ立体造型物展 今年の夏もジブリがいっぱい「ナウシカ」から2004年夏公開「ハウルの動く城」まで 東京都現代美術館

これから日本の美術館はどうあるべきか? 宮崎 吾朗
司会 高階 秀爾、氏家 齊一郎 対談

スバル(一断面)展 戦後大分の美術 I 大分市美術館

スバル会の意義について 満生 和昭
スバル一断面試論—戦後美術におけるスバルの布置— 菅 章
大分の美術とスバル 意気盛んな青春時代 狭間 久
スバル会創立の頃 廣瀬 通秀
回想(ネギ・スバル、そして県美展) 江藤 明
スバルと人 菅 久

世田谷の絵馬 世田谷区立郷土資料館

絵馬について

戦国時代内と外 越前朝倉氏とその時代の対外交流 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

一乗谷朝倉氏遺跡出土の外国産陶器について 南 洋一郎

戦国を生き抜いた上杉氏—国宝「上杉家文書」の世界— 米沢市上杉博物館

合戦図屏風にみる上杉氏の戦い—米沢本「川中島合戦屏風」を中心に— 高橋 修

戦後ヨーロッパ・グラフィックの潮流—スイス派/ポーランド・ポスター— 大阪芸術大学博物館

「(スイス派)と『ノイエ・グラフィー』誌」 藪 亨
「スイス派作家と大阪芸術大学の交流」 山中 俊広
「ポーランド・ポスターの魅力とその歴史」 //

「創作陶芸」の現在 I—個性と創造性を求めて— 茨城県陶芸美術館

陶芸と創作性 外館 和子
草創期の日本刀 反りのルーツを探る 佐野美術館他

日本刀の成立と展開 廣井 雄一
蔵手刀 高橋 信雄
赤沼 英男

創造の手わざ 近代工芸・栃木の七星 栃木県立美術館

工芸王国・栃木が意味するもの—七人の巨匠を中心に— 青木 宏

園部の仏教文化—街道と古寺紀行— 開館5周年記念 園部文化博物館

園部の仏教文化—街道と古寺紀行— 犬持 雅哉
高屋 茂男

タ行

大英博物館の至宝展 創立250周年記念 東京都美術館他

大英博物館1753—2003年 マー ジョリー・ケイギル
大英博物館:記憶の劇場 ジョン・マック

大地の芸術 クレイワーク新世紀 国立国際美術館

クレイワークの自律的な展開 出川 哲朗
クレイワークの座標—80年代から現在までの状況— 安来 正博

国宝 大徳寺聚光院の襖絵 東京国立博物館

聚光院の障壁画—その創建と永徳画の時代性— 田沢 裕賀

大日蓮展 東京国立博物館

日蓮の心くばり 立松 和平
日蓮とその伝統 中尾 堯
日蓮教団と絵画 宮島 新一
日蓮諸宗本尊画試論—題目本尊から絵曼荼羅へ— 行徳 真一郎
法華信者と絵画 田沢 裕賀
日蓮諸宗の書跡 安達 直哉
日蓮諸宗の彫像 浅見 龍介
法華信仰と町衆の美術—日蓮諸宗の工芸— 小松 大秀

大見世物 江戸・明治の庶民娯楽 開館25周年記念特別展 たばこと塩の博物館

見世物とはいかなるものであったのか 川添 裕
祭礼造り物と細工見世物 福原 敏男
浅草と上野、あるいは見世物と博覧会について 木下 直之
絵図に見る江戸時代の浅草寺境内の諸見世—安永九年「惣見世名前帳」と「境内図」の紹介— 湯浅 淑子
博物館で開催する見世物展 岩崎 均史

浮世絵 大武者絵展 武者絵200年の歴史をたどる 町田市立国際版画美術館

浮世絵武者絵の流れ 岩切友里子
武者絵における怪物表現 佐々木守俊
太閤記の世界 岩切友里子
伊達家の茶の湯—利休・織部・遠州・道閑・石州・不昧— 仙台市博物館

仙台伊達家の売立に見る茶道具 小田 榮一
仙台藩ゆかりの遺跡から出土した陶磁器 西田 宏子

「雲州蔵帳」記載の喜左衛門井戸と細川井戸茶碗 武内 範男

楽しみの琳派展 富山市佐藤記念美術館

「楽しみの琳派展」に寄せて 安村 敏信

旅—「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン 東京国立近代美術館

旅—「ここではないどこか」を生きるために 蔵屋 美香

地平線の夢 昭和10年代の幻想絵画 東京国立近代美術館

地平線の夢 序論 大谷 省吾

茶の湯の造形—五島美術館・大和文華館所蔵名品選— 五島美術館他

五島美術館の茶道具コレクション 名児耶 明

大和文華館のコレクションと茶の湯の造形 村田 靖子
中部 義隆

中国染付 コバルトブルーの世界

開館五周年特別企画展 明代官窯青花磁器の宝庫 南京博物院蔵 佐川美術館

発展中の南京博物院 徐 湖平

青花磁器の特徴と発展及び南京博物院所蔵の青花磁器 程 曉中

南京の明代故宮及び揚州出土の磁器 霍 華

筑紫箏の世界 今甦る幻の古箏曲 多久市郷土資料館

第一部 筑紫箏の世界 概要 宮崎まゆみ

第二部 筑紫箏の周辺 概要 尾形 善郎

簡描—幸を祈る藍、福を招く布 サントリー美術館

簡描について 丹羽理恵子

椿会展2003「小品考」 資生堂ギャラリー

小品礼賛 福原 義春

鉄道と絵画展 東京ステーションギャラリー他

鉄道をめぐる絵画 三浦 篤

鉄道が運ぶ「近代の夢」—近代日本美術に描かれた「鉄道」の意味について 小勝 禮子

ヴィクトリア朝絵画に見る鉄道の旅—フリスからエッグまで 高橋 裕子

鉄道とイギリス文学

小池 滋

テクノロジーの表象—19世紀フランス文学と鉄道

小倉 孝誠

アメリカにおける鉄道と絵画

渡辺 純子

映画と鉄道

松浦 寿輝

天津市芸術博物館展 千葉市美術館

芸術の殿堂・友好の懸橋

陳 卓

天津市芸術博物館の絵画

小川 裕充

ドイツ・ロマン主義の風景素描 ドレスデン版画素描館所蔵 国立西洋美術館

はじめに

佐藤 直樹

ユリウス・シュノル・フォン・カロールスフェルトの「風景画帳」

ベトラ・クールマン＝ホディック

「風景画帳」の歴史と受容

〃

ロマン主義におけるディレクタントの役割—ゲーテ、フリードリヒ・メンデルスゾーンの素描をめぐって

佐藤 直樹

カスパー・ダーヴィット・フリードリヒとユリウス・シュノル・フォン・カロールスフェルトの素描法を隔てるものと結び付けるもの

ヴェルナー・ブッシュ

灯火器—東アジアのあかりの歴史— 和泉市久保惣記念美術館

灯火器概説

橋詰 文之

東京流行生活展 東京都江戸東京博物館

牛肉は文明開化の味

田中 裕二

和服にみるモダン

小山 周子

規制された流行—総代用品時代

田中 裕二

家具調テレビの時代

新田 太郎

東寺観智院の歴史と美術—名宝の美聖教の精華— 東寺宝物館

観智院の歴史と美術

新見 康子

どうぶつ美術館 描かれ、刻まれた

動物たち 宮内庁三の丸尚蔵館

語られる動物、語る動物

太田 彩

動物画の芽ばえから「肖像」へ

大熊 敏之

徳川将軍家展 江戸開府四〇〇年記念 岡崎市美術博物館他

江戸幕府の政治 上野 秀治

徳川幕府歴代将軍画像について 木村 重圭

静寛院宮後日譚—明治期の親子内親王行実抄— 小林 明

トルコ三大文明展 東京都美術館他

三大帝国を生み出した地アナトリア高原 大村 幸弘

ヒッタイト—アナトリアが生んだ古代オリエン特世界の強国—

吉田 大輔

アナトリアの美術—古代からビザンツ時代へ—

真室 佳武

オスマン帝国—トルコ民族の生み出したイスラム文明の精華—

鈴木 董

トルコ美術の現在 neresi? burasi? どこに?ここに? 埼玉県立近代美術館

どこに?ここに? フリヤ・エルデムジ

ホテル・カラオケ／真の震え ヒュイセン・アルプテキン

レイラ・ゲデイス・ワースフ・コルトウン

ギュルシン・カラムスタファ

状況に対する前向きで内向きな眼差し

ワースフ・コルトウン

類似と差異の「どこに?ここに?」

ジルルデッリ青木美由紀

トルコ?埼玉?

前山 祐司

ナ行

南蛮—東西交流の精華— 堺市博物館

東西交流の精華 吉田 豊

南蛮 NANBAN なんばん 土山 公仁

西と東の弥生土器—卑弥呼の時代の
安芸・備後— 広島県立歴史民俗資
料館

古墳時代の始まり
を告げる土器の広
がり 次山 淳

西本願寺展 東京国立博物館

西本願寺の歴史と
文化財 千葉 乗隆

本願寺本三十六人
家集—平安朝の文
学・美術・工芸の
至宝— 島谷 弘幸

慕婦絵と筆者たち 松原 茂
中世真宗美術への
まなざし—南関東
の作例を中心に— 津田 徹英

25人の絵画展 損保ジャパン東郷青
児美術館

東郷青児美術館大
賞、25年の重み 中村 隆夫

日本絵画に見る女性の躍動美 働く
女、遊ぶ女 サントリー美術館

かつて生きていた
女性たちに出会う 田中 優子

躍動する女たち—
描かれた多彩な女
性像— 酒巻 智子

日本画に描かれた動物たち—明治か
ら今日まで—展 茨城県近代美術館

口上—言—日本画
に描かれた動物た
ち展—に際して 加藤 貞雄

日本における動物
表現の変遷—近世
まで— 中田 智則

日本近代美術展 韓国国立中央博物
館所蔵 東京芸術大学大学美術館他

日韓文化交流と
「日本近代美術」 池 明観

韓国国立中央博物
館の近代日本画 内山 武夫

日本近代工芸の概
観—実用と芸術の
間— 竹内 順一

徳寿宮石造殿の日
本近代美術品展示 金 承熙

日本芸術院所蔵作品展 開館10周年
記念 式年遷宮記念神宮美術館

日本芸術院の収蔵
作品について 富山 秀男

日本人の風景表現 独立行政法人国
立博物館・国立美術館所蔵名品展

岡崎市美術館

風景表現と詩歌の
伝統 芳賀 徹

日本の三大七夕 七夕『額』飾りの世
界 安城市歴史博物館

安城七夕まつりの
誕生とその原像—
「額」飾りの本質と
昭和20年代後半の
七夕ブーム— 斎藤 弘之

日本洋画の楽しみ 三重県立美術館

所蔵名品展Ⅰ 川越市立美術館

三重県立美術館と
そのコレクション 毛利伊知郎

日本洋画の楽しみ 濱中 真治

八 行

白磁・青磁の世界 板谷波山・富本
憲吉から現代への軌跡 茨城県陶芸
美術館

白磁・青磁の魅
力—板谷波山と富
本憲吉— 中泉 多詔

白磁、青磁に自己
を表現した23人の
作家たち 古市 敏夫

畠山記念館名品展—茶道美術を中心
に—石川県立美術館開館20周年記念
石川県立美術館

畠山即翁とその茶
器蒐集 武内 範男

Happy Trail ドキュメント編・イ
ンスタレーション編 資生堂ギャラ
リー

真夏の雪 河野 晴子

「スキーの作り
方を教えてください。」—「無理だ
ね。」—デーモン・
マッカーシーとエ
リック・アラウエ
イとのインタ
ビュー— 河野 晴子

また会う日まで、
楽しい旅路を。～
曾根裕インタ
ビュー～ 曾根 裕

黄色い冬 ベンジャミ
ン・ワイズ
マン

ハビネス アートにみる幸福への鍵
森美術館

なぜハビネスなの
だろう？ アート
&ライフのための
サバイバルガイド

芸術と幸福 いく
つかの省略をとも
ないつつ並行する
歴史

デヴィッ
ド・エ
リ
オット

ピエール・
ルイジ・
タツィ

日本美術の「ハビ
ネス」 若沖、蕭
白、白隠

アジアの幸福論

自由、ユートピ
ア、崇高

幸福のメカニズム
欲望と絆とサバイ
バル

欲望の祭壇

あなたにとって
「幸福」とは？

柔らかな想像力
オノ・ヨーコと草
間彌生における幸
福の逸脱性

ハッピー・アワー
ズよ、いつまでも
アジア・シンド
ローム

帝国の終焉

これこそ幸福では
なからうか 金聖
歎と33の幸福な時

インド、ネパー
ル、東西アジアの
宗教美術

チベット仏教美術
とハーモニー

パリ・コミューンの諷刺画 1871年
ベンと大砲の市民革命 平塚市美術
館

紙礫—人はなぜ諷
刺するのか—この
小論をMに捧げる

19世紀のパリにお
ける諷刺画家の役
割—パリ・コ
ミューン成立前夜
の社会状況と印刷
メディアの発展か
ら—

パリ—1900 ベル・エポックの輝き
豊田市美術館他

1900年のパリ万博
とジャポニスム

ベル・エポックの
スーパースター：
川上貞奴とその周
辺

バルビゾン派～印象派展 ボルティ

モア美術館所蔵 山梨県立美術館他

ボルティモア美術
館展に寄せて

山下 裕二

丘山 新

スヴェン＝
オロフ・
ヴァレンス
タイン

南條 史生

ジョン・C.
ジェイ

草間 彌生、
デヴィッ
ド・エ
リ
オット
対話

松井みどり

アビナン・
ボーサヤ
ナン

シモン・
ジャミ

ダニエル・
バーンバ
ウ
ム

ジョン・シ
ウドマック

ヘルム
ート・ノイ
マン

1871年

平塚市美術

館

高橋 則雄

小池 光理

1900年

千足 伸行

豊田市美術館他

1900年のパリ万博

とジャポニスム

千足 伸行

ベル・エポックの

スーパースター：

川上貞奴とその周

辺

島田 紀夫

版画 大正から昭和へ—光と影のモ
ダニズム— 町田市立国際版画美術
館

版画 大正から昭
和へ—光と影のモ
ダニズム— 滝沢 恭司

比叡山麓の仏像 大津市歴史博物館

比叡山延暦寺の仏
像とその調査 寺島 典人

ひな人形の世界3 徳島市立徳島城
博物館

雛人形の世界を辿
る(2) 小川 裕久

美の巨匠たち 東京富士美術館所
蔵—西洋絵画400年展— 福岡市美
術館

東京富士美術館の
西洋絵画コレク
ション 野口 満成

漂白の詩人 芭蕉—風雅の跡 出光
美術館

芭蕉の俳風と筆跡 雲英 末雄

芭蕉の仮名はどこ
から 別府 節子

「開けゴマ！」Vol.1 絵の夢 八王
子市夢美術館開館記念展 八王子市
夢美術館

夢と20世紀絵画 巖谷 國士

「絵の夢」展によせ
て 浅井 京子

「開けゴマ！」Vol.2 美術誕生 八
王子市夢美術館開館記念展 公募展
入選作品展 八王子市夢美術館

大賞・準大賞作家
コメント 秋廣誠 秋廣 誠

大賞・準大賞作家
コメント 上根拓
馬 上根 拓馬

選評 鷹見 明彦

選評 作品の動静
を見た 峯村 明彦

選評 森口 陽

” 浅井 京子

福岡市美術館37回 福岡市美術館

選評 日本画 深野 治

選評 洋画 谷 健太郎

選評 彫刻 奥蘭 久治

選評 工芸 中村 信喬

選評 書 北畠 石聊

選評 写真 岡 博

選評 デザイン 平松 聖悟

福・北美術往来 北九州市立美術館
／福岡市美術館他

ローカルか、ナ
ショナルか、イン
ターナショナル
か？ 福岡の現代
美術と美術家た
ち—1990年以後 山口 洋三

アーティストの仕
事～見るモノから
話すコトへ～1990
年代後半の北九州
アートシーン 花田 伸一

仏教美術の世界 おのみち七仏めぐ
り寺院に見る 尾道市立美術館

浄土寺の仏教美術

西國寺の仏教美術 浜田 宣

フランス近代絵画展～印象派からエ
コール・ド・パリ～ 松岡美術館所

蔵 秋田県立近代美術館他

フランス絵画の栄
光と前衛性の終焉 潮江 宏三

フランス現代美術展：ルノー・コレ
クション 損保ジャパン東郷青児美
術館

ルノー・コレク
ション アン・ヒン
ドリー

ブルガリア現代版画と日本 それぞ
れの版表現 山梨県立美術館

ブルガリアの現代
版画 9人の出品
作家を中心に アルベナ・
スパッソー
ヴァ

ブルガリアと日
本、版表現にみる
多様性 向山富士雄

文人画名品展 出光美術館所蔵 田
原町博物館

出光美術館の文人
画コレクション 黒田 泰三

文人画 自娛の芸
術 ”

平林寺展 埼玉県立博物館

平林寺の歴史 武井 尚

壁画古墳の流れ 高松塚とキトラ

大阪府立近つ飛鳥博物館

第一章 キトラ・
高松塚古墳壁画の
文化史的意義 網干 善教

第三章 日本の壁
画古墳の意味 河上 邦彦

第四章 キトラ古
墳の調査 花谷 浩

房総の素封家と近代日本画壇—大
観・紫紅とその周辺— 城西国際大
学水田美術館

コレクションの成
り立ち 書簡紹介 堀内 瑞子
をかねて

「南画」あるいは
「文人画」のゆくえ 吉田 恵理

ポスター芸術の巨匠たち—ロート
レックからウォーホルへ— サント
リー美術館

ポスターというメ
ディア 三戸 信恵

ポスターで観る日本映画200 その
黄金期を中心にして 武蔵野美術大
学美術資料図書館

映画ポスターが、
まだピラと呼ばれ
ていた頃から 八木 洋行

「八木コレクシ
ョン」の整理にあ
たって 立花 義達

細川家と宮本武蔵 永青文庫

永青文庫所蔵史料
に見る宮本武蔵 川口 恭子

北海道の水彩画 北海道立三好太
郎美術館

水彩に魅せられた
画家たち 佐藤由美加

特別展観 仏を観る 東京芸術大学
陳列館

調査の重要性 長澤 市郎

明治の彫刻—職人
から「美術家」の
「彫刻」へ 佐藤 道信

X線撮影と画像処
理 稲葉 政満
信太 司

マ 行

Chaosmos'03 Mindscape 佐倉市
立美術館

偶然+スケール+
時間+ことば×夢 鷹見 明彦

\$ 作家の言葉 \$ 森山 晶

” 村上 保

” 福田 尚代

” 倉本 麻弓

” 藤城 凡子

まどわしの空間 遠近法をめぐる現
代の15相 うらわ美術館

線遠近法の「約束
ごと」とイリュ
ージョニスム 坂本 満

空間の変異譚／遠
近法をめぐるささ
やかな試み 森田 一

マンダラ展 チベット・ネパールの
仏たち 国立民族学博物館

マンダラとあたら
しい自然学 立川 武蔵

観自在菩薩とはな
にものか 佐久間留理
子

マンダラ、その構
造と機能 森 雅秀

後期密教のマンダ
ラ 野口 圭也

マンダラ・仏塔・
身体 吉崎 一美

法界語自在マンダ
ラの儀式 伊藤真樹子

マンダラの可能性 正木 晃

水の情景 画家たちが描いた生活と
自然 星野画廊

後記 星野 桂三
星野万美子

京の葵祭展—王朝絵巻の歴史をひも
とく— 京都文化博物館

歴史の中の葵祭 岡田 精司

葵祭の風俗 猪熊 兼勝

概説・京の葵祭 土橋 誠

武者絵 江戸時代の英雄大図鑑 洪
谷区立松濤美術館

武者絵の世界 岩切友理子

武者絵と私 恵 俊彦

際物のなかの武者
絵 林 直輝

武者絵の絵馬 矢島 新

明治の宮中デザイン 和中洋の融和
の美を求めて 宮内庁三の丸尚蔵館

探訪・明治の宮中
デザイン 大熊 敏之

明治宮殿の室内装
飾用織物と二代川
島甚兵衛 太田 彩

名所の変貌—広重から清親へ— 中
山道広重美術館

浮世絵師広重とそ
の画業 小林 忠

「名所」の変貌—小
林清親「日本名勝
図会」をめくっ
て— 菅原 真弓

もうひとつの現代 神奈川県立近代
美術館(葉山)

序にかえて—不死
の時間・不死の空
間 酒井 忠康

発見されるべき
「日本」—埴輪を導
きの糸として 水沢 勉

カンヴァスの荒
地—《一人》から
《死者》へ、麻生三
郎を中心に ”

廃墟の上の世界—
前衛美術の戦後的
状況 太田 泰人

「国際化」と「土着
性」—50年代、60
年代の個の探索 山梨 俊夫

絵画への回帰、持
続、あるいは復
権—70年代、80年
代の絵画の位置 ”

ひとつ、もうひとつ、
またひとつ—
1970・80年代の
「美術」— 杉山 昌夫

悲しみの詩学—清
宮質文の版画— 橋 秀文

戦後日本の彫刻—
「彫刻」とは呼びえ
ぬものへの道程 是枝 開

21世紀(へ)の視
座—90年代以降の
日本／美術 三本松倫代

美術館という場—
2つの場所の記憶 李 美那

もうひとつの明治美術 明治美術会
から太平洋画会へ 静岡県立美術館
他

公平さについて 本江 邦夫

明治洋画の胎動と
うねり—明治美術
会から太平洋画会
へ— 志賀 秀孝

道路山水と風景画
について 泰井 良

日本水彩画史のも
うひとつの物語—
渡辺豊洲・笠木治
郎吉を中心に— 山梨絵美子

満谷国四郎小考—
第2次渡欧と中国
旅行をめくって— 廣瀬 就久

太平洋画会とアメ
リカ 村上 敬

明治の水彩画と太
平洋画会 林 誠

太平洋画会と日本
の近代彫刻につい
て 渡邊 美保

明治美術会以前の
洋画界—幕末から
の系譜とその意
味— 滝澤 正幸

木綿の島々 インドネシアの染織
エイコ・クスマ・コレクション 福
岡市美術館他

インドネシア染織
との出会い 私の
コレクションをつ
くりあげてくれた
ミナンの男たち エイコ・ア
ドナン・ク
スマ

インドネシア東部
の木綿の織物 スワティ・
カルティワ
ジュディ・
アキヤディ

桃山陶に魅せられた七人の陶芸家—
陶片に学んだ技と美— 山梨県立美
術館他

桃山陶に魅せられ
た七人の陶芸家—
陶工から陶芸家へ
の歩み— 唐澤 昌宏

新古典派の七人に
みる鑑賞から創造
への始動 森 孝一

ヤ 行

TOSA・TOSA2003 柳原睦夫と現
代陶芸の尖鋭たち 現代陶芸の系
譜—現代陶芸・14人の尖鋭たち 高
知県立美術館

現代陶芸を「これ
も陶芸?」と思っ
ているあなたに 河村 章代

柳原睦夫さんの陶
芸 鍵岡 正謹

柳原睦夫・インタ
ビュー 柳原 睦夫
鍵岡 正謹、
河村 章代
インタ
ビュー

ヨーロッパ・ジュエリーの400年
ルネサンスからアール・デコまで
東京都庭園美術館他

ヨーロッパにおけ
るジュエリー、そ
の意味性と目的 ダイアナ・
スクリスブ
リック

造形美術としての
ジュエリー 関 昭郎

ヨーロッパ版画の散歩道 三重県立
美術館所蔵名品展Ⅱ 川越市立美術
館

三重県立美術館と
そのコレクション 毛利伊知郎

ヨンキントと風景
版画 浅見 千里

読む風景、眺める本 うらわ美術館

風景を読む 吉本 麻美

本を眺める ”

四都美人装い競べー京・大坂・江戸・名古屋ー 神奈川県立歴史博物館

『都風俗化粧伝』
に見る京の女性風俗 高橋 雅夫
近世後期の大坂風俗 中野 朋子
「洒落本」にみる江戸の女性風俗ー江戸後期を中心にー 村田 孝子
馬琴の『羈旅漫録』
に見る名古屋の女性風俗 高橋 雅夫

ラ 行

ロシア・アヴァンギャルドの陶芸展 モダン・デザインの実験 岐阜県現代陶芸美術館他

ロシア・アヴァンギャルドの陶芸 金子 賢治
1920年代のロシアとアヴァンギャルド 新田喜代見
すばらしき未来からのメッセージー1920年代のロシア磁器 マリアンナ・ブブチコワ

ロマノフ王朝展 栄光の宮廷文化と ロシア正教 東京都美術館

序ー「ロマノフ王朝展」の構成について 河合 晴生
ロシア宮廷の礼儀作法 アリーヤ・バルコヴェツ
19ー20世紀初めにかけてのロシアの貴金属工芸 ガリーナ・スマロージノワ
ロシア正教とアイコン 富田知佐子

ワ 行

「わたしの居場所」展 静岡New Art 静岡県立美術館

「展覧会」マッピング わたしの／現代美術の／美術館の居場所 堀切 正人

作家展

ア 行

相原求一郎・高橋久雄ーひとすじの道 埼玉県立近代美術館

相原求一郎の芸術 水野 隆

フランス中世聖堂壁画修復とフレスコ壁画創作 高橋 久雄
フレスコの詩[高橋久雄] ブリジット・モーリス = シャパール
ユルスリーヌ塔と、これからの展開[高橋久雄] 大越 久子

青木繁と近代日本のロマンティズム展 東京国立近代美術館他

近代日本美術における「感情」について 市川 政憲
青木繁の芸術ーその評価の軌跡 植野 健造

赤松麟作とその周辺 東京藝術大学 大学美術館コレクション展 東京芸術大学大学美術館

自伝絵巻(やっとこどっこい)解題 新関 公子
「白馬会」の技法的特色と赤松麟作の(夜汽車) "

秋野不矩展ー創造の軌跡ー 兵庫県立美術館他

秋野不矩の人と芸術 木村 重信
不矩さんとインド 岸田今日子
秋野先生は私のみしるべ 小嶋 悠司
秋野不矩の芸術 吉岡健二郎
弥縫録 秋野舜巨夫
秋野不矩試論 飯尾由貴子

阿部典英展 豊饒なる立体 芸術の森美術館

阿部典英論ー海への憧憬・豊饒ないのちの形ー 奥岡 茂雄
阿部典英の立体表現 吉崎 元章

有田巧 個展 岡崎画廊

個展によせて 有田 巧

栗野ユミト・藤阪新吾展 知覚スル装置 川崎市岡本太郎美術館

8 作家の言葉 8 栗野ユミト
" 藤阪 新吾
作家インタビューー『栗野ユミトに聞く』 栗野ユミト和多利浩一インタビュー

作家インタビューー『藤阪新吾に聞く』 藤阪 新吾和多利浩一インタビュー

安藤忠雄建築展2003 再生ー環境と建築 東京ステーションギャラリー他

想いのかたち 安藤忠雄について 鈴木 博之
「無」の庭 飯島 洋一
風景の再生 安藤 忠雄
同潤会青山アパート建替計画
国際子ども図書館
兵庫県立美術館・神戸市水際広場
六甲の集合住宅 I・II・III・IV
ピノー現代美術館
ユネスコ瞑想空間
グラウンド・ゼロ・プロジェクト
マンハッタンへのペントハウス
フォートワース現代美術館
直島コンテンポラリーアートミュージアム I・II・III

対論 蜷川幸夫×安藤忠雄 安藤 忠雄、蜷川 幸夫 対談

五百城文哉の植物画 見嶺の百花譜 小杉放菴記念日光美術館他

日本のボタニカル・アートと五百城文哉の植物画 大場 秀章
五百城文哉の生涯と「高山植物写生図」 寺門 寿明
日光における五百城文哉と植物研究 田中 正史
五百城文哉と牧野富太郎の交友ー牧野文庫所蔵資料から見るー 小松 みち

日本画家 石井公男展 茂原市立美術館・郷土資料館

解説 舛田 隆満
石井鶴三挿絵の世界 描かれた武蔵茨城県近代美術館

挿絵画家としての石井鶴三 堀江 俊夫

石踊達哉展 古典と未来がつながる瞬間 山形屋文化ホール

優雅で澄明で華やかな聖なる絵 瀬戸内寂聴
温故知新の美学ー石踊達哉を支持するの弁ー 瀧 梯三

石踊達哉にしくものぞなき 米倉 守
「石踊達哉」 草薙奈津子
石田喜一郎とシドニークメラサークル 20世紀写真の探索 写真のモダニズム／ジャポニズム 秋田県立近代美術館他
石田喜一郎とシドニークメラサークル—写真における近代と日本 光田 由里
石田喜一郎とシドニークメラサークル展によせて ジュディ・アニア
和泉正敏 石のはなし 岩手県立美術館
§ 解説 § 加藤 俊明
クリテリウム55 磯山智之 水戸芸術館現代美術ギャラリー
混在する文化 浅井 俊裕
§ 作家の言葉 § 磯山 智之
板谷波山 没後40年 その人と芸術 高島屋(日本橋)他
葆光の人—陶芸家・板谷波山 荒川 正明
祖父波山の想い出 村田あき子
板谷波山と下館 大木 綾子
板谷波山の蔵書について—板谷波山記念館所蔵— 荒川 正明
ヨハネス・イッテン 造形芸術への道 宇都宮美術館他
ごあいさつ クラウス・I.イッテン
ヨハネス・イッテン 橋の架設者 マティ・アス・フレーナー
生成の根源へ—「ヨハネス・イッテン 造形芸術への道」展によせて 向井周太郎
造形芸術への道 トロレス・デ・ナール 石川 潤 編、訳
ヨハネス・イッテンと日本 山野 英嗣
渡仏支援 伊藤彰規展—Land—北方の地の記憶1980—2003 北網圏北見文化センター美術館
伊藤彰規—自己の探索と大地の記憶— 吉田 豪介
—特別寄稿—歴史と遊び 伊藤彰規氏の「里帰り展」に寄せて 玄侑 宗久

—特別寄稿—伊藤彰規さんの事 横森 政明
流動する美術 8 伊奈英次・金村修の写真 都市風景のメカニズム 福岡市美術館
都市風景のメカニズム 山口 洋三
井上長三郎展 独創諧謔の画家 神奈川県立近代美術館他
独創諧謔の画家=井上長三郎 酒井 忠康
井上長三郎展に寄せて 大河内菊雄
作品解説 1925—1959年 原田 光
井上長三郎試論 1960—1995年 坂上義太郎
猪熊弦一郎回顧展 生誕100周年記念 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館他
猪熊弦一郎とニューヨーク 木島 俊介
小さな三角の石で部屋をうずめるとき ジョージR. エリス
猪熊弦一郎《海と女》の頃 安藤 輝美
風俗画伯 巖如春 都市の記憶を描く 石川県立歴史博物館
巖如春と史談会 大門 哲
いわさきちひろ展 茨城県天心記念五浦美術館
瞳の語りかけるもの 中山 公男
「ちひろ」の作品の中にあるもの 飯沢 匡
岩橋英遠・片岡球子展 北海道立近代美術館
岩橋英遠と片岡球子—北の心、深々と訴えかけるが如く・精気うごめくが如く— 奥岡 茂雄
岩橋英遠—風景創造の歩み— 土岐美由紀
片岡球子と「面構」—背反と統合の造形美— 鎌田 亨
植松奎二展 身体と眼差しへの思考—70sの写真・映像から新作まで— 北九州市立美術館
植松奎二の写真作品に写っていないこと—アーティストの覚え書きより— 花田 伸一

上村次敏・五月女幸雄 迷宮と幻影 埼玉県立近代美術館
上村次敏 その不思議な世界 園田 博一
もうひとつの価値を求めて—五月女幸雄の半生と作品— 松永 康
静謐にして音楽的、或る画家の感動 ミッシェル・ナダイ
内田綱一展 ギャラリー一目黒陶芸館
内田綱一の陶芸—手の論理と視る力— 外館 和子
榎倉省吾の世界展 森羅万象を描く 姫路市立美術館
榎倉省吾について 平瀬 礼太
いのちを考える 太田三郎と中学生たち 伊丹市立美術館
いのちを考える 太田三郎と中学生たち 大河内菊雄
「いのちを考えるワークショップ」を終えて 太田 三郎
堤 弘子、山本 淳子、野田 義子、山本 真奈美、宮城 友子 出席者 坂上義太郎 司会
大巻伸嗣+栗林隆+マーティン・シュミット アウト・オブ・ザ・ブルー展 トーキョーワンダーサイト
ESSAY 1 裂開と反転：懐かしい虚さの方へ 大巻伸嗣 林 道郎
ESSAY 2 水の上下：もしも私たちがペンギンだったら 栗林隆
ESSAY 3 壁の刺青：「ホワイト・キューブ」感 染 マーティン・シュミット
岡田謙三展 横浜美術館他
展覧会に寄せて 岡田 きみ
絵画の「妙所」、妙所の「絵画」 柏木 智雄
「ユージュニズム」へのプロローグ—岡田 謙三 1902—1950の軌跡— 加藤 隆子
岡田 謙三 Paris 1924—1927 井上 由理

岡本健彦展 横須賀市文化会館市民
ギャラリー

背骨の芯にあるもの 岡本 健彦

自立する絵画—岡
本健彦の芸術 広本 伸幸

岡本健彦ノート 石渡 尚

奥村光正 彗星のごとく 松本市美
術館

奥村光正の遠景 米倉 守

Okuのいたパリ 細萱 禮子

オクの巴里 小杉小二郎

弟 光正 奥村 斌

米倉 守

大津 英敏

酒井 信義

野村 義照

小杉小二郎

佐藤 泰生

長谷川智恵子

座談会より

YES オノ・ヨーコ展 水戸芸術館

現代美術ギャラリー他

イエス(YES)の精
神:オノ・ヨーコ
の芸術と人生 アレクサン
ドラ・モン
ローオノ・ヨーコとフ
ルクサス ジョン・ヘ
ンドリック
ス

YES オノ・ヨーコ展 水戸芸術館

現代美術ギャラリー

「YES オノ・
ヨーコ」展合同イ
ンタビューより オノ・ヨー
コ談

シリーズIX [岩手の現代作家] 菅沼

緑展 小原馨展 田代耕司展 「子

どもの時間」 萬鉄五郎記念美術館

菅沼緑のカタチ 平澤 広

作家エッセイ な
にが、作品なのか
なあ 菅沼 緑連鎖するイメー
ジ—はじまりは
「子どもの情景」 平澤 広作家エッセイ 15
年間の創作活動に
ついて 小原 馨田代耕司のミラク
ルワールド=ペー
パークラフト 田代 耕司、
平澤 広
対談すがすがしいデザ
イン 柳 宗理作家エッセイ 紙
と人と 田代 耕司

小茂田青樹展 川越市立美術館

小茂田青樹とその
画業 濱中 真治

郷土出身作家シリーズ 松村秀太郎

関長造 小柳津三郎 院展彫塑部で

活躍した富山の彫刻家たち 富山県

民会館美術館

「彫刻とは何か」を
求め続けた人々—
松村秀太郎、関長
造、小柳津三郎— 千田 敬一松村秀太郎・関長
造・小柳津三郎の
彫刻表現について 麻生 恵子

カ 行

フリーダ・カーロとその時代

Bunkamura ザ・ミュージアム他

序文 野中 雅代

マリア・イスキエ
ルドとフリーダ・
カーロの芸術に見
られるシュルレア
リスト的要素につ
いて ラクエル・
ティボルメキシコにおける
ヨーロッパ人亡命
女性シュルレアリ
ストたち—1940—
60年代の創造 野中 雅代ローラ・アルバレ
ス・プラボとシュ
ルレアリスムの精
神 オリヴィ
エ・ドゥッ
ロワーズ

岩橋英遠・片岡球子展 北海道立近

代美術館

葛飾北斎の世界—肉筆と浮世絵 尾

道市立美術館

葛飾北斎 人と作
品 永田 生慈

加藤豪展 ALBINO STATUE # 2

愛知県美術館

《une Statue IV'》
のためのテキスト 伊藤 佳範加 藤 豪—「une
Statue」は去勢さ
れ、交感され、解
消される 拝戸 雅彦

香取秀真展 佐倉市立美術館

外 来 美 術 の「浄
化」—香取秀真に
とっての鍍金作品
とは— 樋田豊次郎資料紹介・千葉県
立美術館所蔵「香
取秀真調査ノート」 幅 大香取秀真関係資料
と東京文化財研究
所 中村 節子東京藝術大学大学
美術館の香取秀真
資料について 本橋 浩介
五味 美里

流動する美術 8 伊奈英次・金村修

の写真 都市風景のメカニズム 福

岡市美術館

金森映井智の偉業を偲んで 高岡市

美術館

金森映井智さんの
こと 定塚 武敏金森映井智作品の
幾何学文様 山本 成子

加納鉄哉展 知られざる名工 岐阜

市歴史博物館

加納鉄哉 人と芸
術 白水 正加納鉄哉と眞聖寺
の関係について 村瀬 光春

下保昭展 富山県水墨美術館

下保昭展—見果て
ぬ夢を求めて・大
自然との相聞歌— 福井 文夫

神坂雪佳 琳派の継承・近代デザイ

ンの先駆者 京都国立近代美術館他

神坂雪佳:コレク
ターの立場から、
展覧会に寄せて クルト・
A・ギッ
ター

神坂雪佳論 榊原 吉郎

近代の琳派として
の神坂雪佳と京漆
器 佐藤 敬二神坂雪佳:近代琳
派の巨匠 ターニャ・
フェッレ
ット・ス
ティール工芸の革新をめざ
した図案家、神坂
雪佳—競美会にお
ける陶磁器をてが
かりとして— 清水 愛子摺られた瞬間:神
坂雪佳の木版画に
おけるイメージに
ついて オー
リー・ヨシ
コ・セオ

神坂雪佳の図案集 比嘉 明子

川上澄生 木版画名作あ・ら・かる

と 鹿沼市立川上澄生美術館

「名作あ・ら・か
ると」展にみる南
蛮世界と文明開化 原田 敏行静物—絵になるは
じめ・川上澄生の
愛したもの 臼井佐知子

川崎清 美術館建築とその周辺 国

立国際美術館

美術館とその周辺 川崎 清

取りつく島もない
強靱で自立した世
界 青木 淳

河田小龍 幕末土佐のハイカラ画人

高知県立美術館

河田小龍 人と作品 鍵岡 正謹

ハイカラ小龍 河村 章代

姜惠眞 HAEJIN KANG Gallery Q

自身を探す一距離を隔てた眺め 李 太豪

北代省三と実験工房 風の模型 川

崎市岡本太郎美術館

北代省三と美術 中原 佑介

寸法の夢・寸分の時一ぼくの伯父さん・北代省三の思い出 松岡 正剛

北代省三の写真 大日方欣一

「模型論・ノート」より 北代 省三

北代省三の軌跡 佐藤 玲子

写真家・北代省三 秋山 実

北代省三を偲んで 今井 直次

36号の表紙 岡部 昭彦

§北代省三をめぐって§ 佐藤慶次郎

” 鈴木 博義

遊びをせんとや生まれけむ 橋本 潔

風の実験 広井 力

§北代省三をめぐって§ 湯浅 譲二

風と音のワークショップ 山口 勝弘

高橋アキ・北代省三 往復書簡より 高橋 アキ 北代 省三

木原康行展 始源のかたち 北海道

立旭川美術館

態度としての生き方 木原 康行

木原康行の世界—始源のかたちを求めて 村山 史歩

木村蒨葎堂—なにわ知の巨人—没後

200年記念 大阪歴史博物館

木村蒨葎堂 脇田 修

木村蒨葎堂の画業について 橋爪 節也

蒨葎堂の本草学・物産学管見 嘉数 次人

画人「弘恭」蒨葎堂に関する試論 松浦 清

蒨葎堂の蔵書について 井上 智勝

下村観山・木村武山展—新しい日本

画の創造をめざして— 茨城県天心

記念五浦美術館

観山と武山 稲葉 睦子

草間彌生展 Labyrinth—迷宮の彼

方に 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

他

—草間彌生の生と死のオブセッショ— 植松 由佳

クリテリオム54 国谷隆志 水戸芸

術館現代美術ギャラリー

息づく空間 逢坂恵理子

空間と私の距離 国谷 隆志

立方体の7つの窓 ペア・クラーセ

ンの世界 目黒区美術館他

立方体の7つの窓—ネフ社から出ている作品 ペア・クラーセン

ペア・クラーセン クルト・ネフ

日本訪問に寄せて 赤沼 國勝

“objeux”の目地 及部 克人

新たなファンタジイを触発するかたち

ペア・クラーセンの世界—かつて子どもだった人達へ 降旗千賀子

ピカソを継ぐ者 アントニ・クラベ

「ガルガンチュア物語」 16世紀のベ

ストセラー 大川美術館

アントニ・クラベに想う 鈴木 治雄

アントニ・クラベと『ガルガンチュア物語』 春原 史寛

大巻伸嗣+栗林隆+マーティン・

シュミット アウト・オブ・ザ・ブ

ルー展 トーキョーワンダーサイト

クリムト 1900年ウィーン的美神展

兵庫県立美術館

1880—1918年 ウィーンの前衛

クリムトと「美しきウィーン女性」—近接と遠隔の間の肖像 トビアス・G・ナター

クリムトの東洋趣味はどのようなものであったのか 越智裕二郎

クリムトの時代における女性のイメージとファッ ション 三木由美子

世紀転換期のウィーンの音楽文化におけるヴァグナー崇拝とユダヤ人—《ベートーヴェン・フリーズ》の背景—

西村 理

ダン・グレアムによるダン・グレア

ム 千葉県美術館他

芸術のコンテクストと雑誌のコンテクスト—1960年代の雑誌作品

水沼 啓和

交叉する視座、交叉する時間

真武真喜子

ダン・グレアムとノー・ウェイヴ

花田 伸一

サバービアの欲望、近代建築が隠していたもの、パヴィリオン

野々村文宏

公共空間のなかのこどもたち

ダン・グレアム、長谷川逸子、高田美規雄司会

私の雑誌作品—「コンセプチュアル・アートの歴史」1965—1969

ダン・グレアム、水沼 啓和 訳

ミュージアムとしての庭園、劇場としての庭園

ダン・グレアム、大久保 京 訳

黒田清輝展 近代日本洋画の巨匠

和歌山県立近代美術館

序論 黒田清輝の生涯と芸術

田中 淳

黒田清輝の描く「田園の労働と休息」の主題をめぐって

山梨絵美子

小磯良平の青年時代 小磯良平生誕

100年記念 神戸市立小磯記念美術

館

「小磯良平の青年時代」点描—その揺籃期から新制作派協会設立期まで：人物画を中心として—

西村規矩夫

河野通勢と実篤 思索の描写 調布

市武者小路実篤記念館

「思索の描写」

福島さとみ

牛腸茂雄展 東京国立近代美術館

同時代の中の牛腸茂雄

増田 玲

ゴッホと花 ゴッホと同時代の画家
たち―‘ひまわり’をめぐる― 損保
ジャパン東郷青児美術館

“向日葵は金の油
を身にあびて…
…” ゴッホの《ひ
まわり》とバロッ
クのエンブレム

千足 伸行

希望と慰めの象
徴：ファン・ゴッ
ホの《ひまわり》と
《ルーラン夫人(揺
り籠を揺する女)》

シラール・
ファン・
ヒュフテン

ゴッホと浮世絵

五十嵐 卓

コマル&メラミッドの傑作を探し
て 川村記念美術館

傑作を探して
「絵を描くゾウ」、
あるいは拝金主義
アートの終焉

林 寿美
アメリカ・
アレナス

揺らめく神殿 コ
マル&メラミッ
ドの〈神話〉の行方

鴻野わか菜

駒井哲郎作品展 未だ果てぬ夢のか
たち 資生堂ギャラリー

《夢遊病者のフー
ガ(フューグ・ソ
ムナンビュール)》
という実験―駒井
哲郎の初個展前後
再び福原コレク
ションについて
発見された駒井哲
郎

林 洋子

鑑賞の手引―それ
ぞれの(未だ見果
てぬ夢のかたち)

朝川 佳子

小山富士夫の眼と技 大阪市立東洋
陶磁美術館他

あたたかい心とつ
めたい目

森 孝一

小山先生の古陶磁
研究

長谷部楽爾

陶の詩人 小山富
士夫の陶芸

林屋 晴三

小山富士夫の朝
鮮・中国陶磁学へ
の道

弓場 紀知

サ 行

齋藤眞成展 仏陀に帰依するアー
ティスト 天童市美術館

齋藤眞成の絵画世
界一個の内面を探
る営為

瀧 悌三

斎藤義重展 岩手県立美術館他

板切れは祭り気分
にのって―斎藤義
重の「複合体」を解
く

田中 幸人

ドリルの痕跡―斎
藤義重の60年代前
半における“ドリ
ル作品”について

松永真太郎

いくつかの断片―
斎藤義重の怒り―

若松 基

「反対称」について

藁科 英也

佐伯祐三とパリの時代展 鹿児島市

立美術館

佐伯祐三の芸術
「天才」と「死」のあ
いだ

熊田 司

世界の中心と日本
の端 鹿児島出身
洋画家たちの見た
パリ

谷口 雄三

上村次敏・五月女幸雄 迷宮と幻影

埼玉県立近代美術館

鳴剛 もう一つの眼差し 国立国際
美術館

もう一つの眼 差
し―鳴剛の絵画―

中井 康之

政木貴子・蘭田珠子・信貴結子 3 人

展 現代郷土作家展 同じ播磨に暮

らして 姫路市民ギャラリー

再開の周辺 岸野 裕人

作品について 政木 貴子

§ 作家の言葉 § 蘭田 珠子

” 信貴 結子

ローマン・シグネール近作展 資生

堂ギャラリー

ローマン・シグ
ネールが教えてく
れたこと

樋口 昌樹

ローマン・シグ
ネール―アルプス
の経験主義者

レイチェ
ル・クシュ
ナー

十勝の新時代Ⅵ 渋谷栄一展 北海

道立帯広美術館

線と色彩の飽くな
き探求―抽象と具
象を超えて

平 利弘

下村観山・木村武山展―新しい日本

画の創造をめざして― 茨城県天心

記念五浦美術館

版画家としてのシャガール 夢想と

追憶のポエジー 釧路市立美術館他

版画家としての
シャガール グラ
フィック芸術をめ
ぐる交友から

村上 哲

ポール・ジャクレー 虹色の夢をつ
むいだフランス人浮世絵師 横浜美
術館

虹色の夢をつむい
だフランス人浮世
絵師 ポール・
ジャクレー

猿渡紀代子

ポール・ジャク
レー 最後の浮世
絵師

クリスチャ
ン・ボラッ
ク

大巻伸嗣・栗林隆+マーティン・

シュミット アウト・オブ・ザ・ブ

ルー展 トーキョーワンダーサイト

白旗史朗 日本と世界の名峰を讃う

展 山梨県立美術館

「山と対話する男」
白旗史朗

田沼 武能

登攀写真家の肖像
半世紀

岡井 耀毅

今日の作家シリーズ 新庄茂扶展

封印と開削 日々の生のあかしとし

ての紙日記1979―2003 大阪府立現

代美術センター

生の証しのような
もの

高橋 亨

シリーズⅨ「岩手の現代作家」 菅沼

緑展 小原馨展 田代耕司展 「子

どもの時間」 萬鉄五郎記念美術館

鈴木治平 鍛金の世界 佐倉市立美

術館

個展によせて

鈴木 治平

「思い出」という名
の伝統

宮田 亮平

フランク・ステラ展 名古屋市美術

館他

フランク・ステ
ラ：必然性と自由

広本 伸幸

レオン・スピリアルト展 プリヂ

ストン美術館他

レオン・スピリ
アールト―その生
涯と作風の展開

アンヌ・ア
ドリアー
ヌ＝パニエ

海辺の町に夢さす
らう人

ノルベル
ト・ホス
ティン

レオン・スピリ
アールトの《めま
い》をめぐる覚書

福満 葉子

レオン・スピリ
アールトと日本

高木 陽子

郷土出身作家シリーズ 松村秀太郎
関長造 小柳津三郎 院展彫塑部で
活躍した富山の彫刻家たち 富山県
民会館美術館
関根伸夫展 《環境美術》なるもの
川越市立美術館
“野生の人”関根伸
夫の不運について 田中 幸人
関根伸夫さんの環
境美術への取組み 馬場 璋造
関根伸夫のなかで
の「環境美術」の位
置付け 山田 明子
《環境美術》なるも
の 関根 伸夫
高橋 雅之
イン タ
ビュー
ふたつの重要文化財 藤島武二《天
平の面影》と雪舟《四季山水図》 石
橋美術館
藤島武二《天平の
面影》 森山 秀子
雪舟《四季山水図》 平間 理香
政木貴子・蘭田珠子・信貴結子3人
展 現代郷土作家展 同じ播磨に暮
らして 姫路市民ギャラリー

タ 行

高田誠展～点描技法による風景の叙
情詩～ サトエ記念21世紀美術館
『高田誠』展 鑑賞
の手引き 江口 健
高橋常雄 高崎市タワー美術館
故郷への回帰—高
橋常雄の風景画 青木 忍
高橋常雄の作品に
見る自然観—宗教
美術との関わりか
ら 野本 淳
相原求一郎・高橋久雄—ひとすじの
道 埼玉県立近代美術館
高橋淑人展 1979—2002 東京画廊
絶対視感 光山 清子
高畑郁子展 情念の緋色 豊橋市美
術博物館
ごあいさつ 高畑 郁子
高畑郁子のマイ・
ペースの道程 針生 一郎
情念の緋色—高畑
郁子の世界 大野 俊治
高村光太郎と智恵子の世界 メナー
ド美術館
高村光太郎の木彫
《栄螺》の発見 北川 太一
光太郎の思い出 高村 規

竹内彰遺作展 ギャラリー・サザ
「竹内彰遺作展」開
催にあたって 鈴木 誉志男
陶芸家竹内彰の人
と作品 外館 和子
竹内彰氏を考える 伊藤 東彦
竹久夢二追想展 漂泊する心 郡山
市立美術館他
夢二—その漂泊の
軌跡 鈴木 誠一
人の夢二・あなた
の夢二・私の夢二 木暮 亨
松田基と夢二 小川 晶子
河村コレクション
とは 森谷 緑子
竹久夢二美術館
沿革とコレクショ
ンについて 谷口 朋子
宮城県美術館 天
江・島田 コレク
ション 原田 敦子
田澤茂の絵画世界 茅ヶ崎市美術館
ごあいさつ 田澤 茂
田澤茂—その自在
な画業の軌跡— 村山 鎮雄
シリーズⅡ「岩手の現代作家」 菅沼
緑展 小原馨展 田代耕司展 「子
どもの時間」 萬鉄五郎記念美術館
タイガー立石と絵本 田川市美術館
絵本を描いたタイ
ガー立石 原田 真紀
田中一光回顧展 われらデザインの
時代 東京都現代美術館他
組織するデザイン 柏木 博
大阪デザイン界の
五〇年代 早川 良雄
田中一光デザイン
の中核 永井 一正
田中一光の仕事 辻井 喬
九〇年代の田中一
光 岡田 彰
田中栄作彫刻展 武蔵野美術大学美
術資料図書館
§作家の言葉§ 田中 栄作
椿昇「国連少年」 水戸芸術館現代美
術ギャラリー
ミシマユキコ・ロ
ングインタビュー
2028年6月28日 ミシマユキ
コ
イラク、その戦争
のはらわた 榎木 野衣
「美学特殊C」—
「教室」の可能性に
ついてのある実験 熊倉 敬聡
「何でも入れられ
る器」批判 今村 創平

§作家の言葉§ 椿 昇
鶴岡政男と松本竣介 画家の動と静
大川美術館
「画家の動と静—
鶴岡政男と松本竣
介」展によせて 大川 栄二
ふたりの画家の思
い出—時代を描い
た鬼才たち— 中野 淳
鶴岡政男と松本竣
介—ふたりの画家
のヒューマニズ
ム— 春原 史寛
安房の人物シリーズ 8 寺崎武男の
世界 館山市立博物館
日本近代絵画の先
駆者 寺崎武男 寺崎 裕規
芸術宣言 寺崎 武男
堂本印象展 田辺市立美術館
堂本印象の画業と
作風の変化 田中日佐夫
堂本印象先生を偲
んで 橋本 恵一
堂本印象の世界 華麗なる変貌 茨
城県天心記念五浦美術館
『堂本印象の世界』
に寄せて 内山 武夫
華麗なる変貌『堂
本印象の世界』へ
の誘い 吉田 洋一
オノレ・ドーミエ展 19世紀フラン
ス諷刺版画 武蔵野美術大学美術資
料図書館
『シャリヴァリ』と
ドーミエ 田中 栄作
鉄斎 文人の器玩[富岡鉄斎] 鉄斎
美術館
文人の器玩 前田 博司
鉄斎の粉本 本画にいたる道 鉄斎
美術館
本画にいたる道 奥本 素子
富岡鉄斎展 あるコレクターが見た
画業七十年 愛媛県美術館他
鉄斎芸術の今日的
意義 原田 平作
朗らかに叱咤する
富岡鉄斎 飯内佐斗司
煎茶と文人画家・
富岡鉄斎 中村 秀晴
富岡鉄斎の表現を
見渡してみる 森 芳功
伊予と鉄斎をめぐ
る四題—矢野 玄
道・富岡春子・予
州滞在・天野方壺

戸谷成雄 森の襲の行方 愛知県美術館

《見られる扉Ⅱ》の境界をアンフレームに經由して— 1990年以降の戸谷成雄 拝戸 雅彦

オーストラリア現代工芸3人展：未知のかたちを求めて[キャサリン・トルーマン/ロビン・ベスト/スー・ロレイン] 東京国立近代美術館工芸館他

序文 ジャニス・ラリー

ナ 行

クリテリウム57 ナカイメグミ 水戸芸術館現代美術ギャラリー

未来を選べ。人生 高橋 瑞木
を選べ。

中江紀洋展 Art Spirit/くしろの造形—2 釧路市立美術館

感謝 中江 紀洋
(宿世からの追伸) 佐藤 友哉
の追伸

生まれた造形、未来へのメッセージ 瀬戸 厚志

有隣荘・中川幸夫・大原美術館 大原美術館

驚きと感動の空間 有隣荘での中川幸夫展に寄せて 大原謙一郎

有隣荘の中川幸夫 高階 秀爾
生きる 花を 有 柳沢 秀行
隣に

中基瑞真 一周忌追悼展 人間国宝の技と木工芸の世界 港区立港郷土資料館

父の音 中基 憲子

中西夏之 二箇所—絵画場から絵画衝動へ— 東京芸術大学大学美術館

はじめに 中西 夏之
絵と絵の姿形 ”

縁に立てられた絵—『二箇所』の余白に 林 道郎

中平卓馬展 原点復帰—横浜 横浜美術館他

「中平卓馬展 原点復帰—横浜」の概要と構成 倉石 信乃

イメージの零度—中平卓馬「原点復帰—横浜」 八角 聡仁

なぜいま、中平卓馬なのか 森山 大道

中平卓馬69/73 中川 道夫

落ちない流れ星・夏の思い出・朝青龍 ホンマタカシ

展覧会注記—開催にあたっての条件と経緯 倉石 信乃

左洲 その生涯[中村左洲] 式年遷宮記念神宮美術館

左洲の思い出 中村 正二
中村 宮雄

中村彝の全貌 茨城県近代美術館他

生命の実相—序にかえて 市川 政憲

ふぞろいの真珠たち 中村 彝=パロック論 小泉 淳一

中村彝をめぐる批評の揺らぎ—明治末期の批評言説 梶岡 秀一

中村彝と官展(文展・帝展) 木本 文平

中村彝年譜 藤本 陽子
編

今日の作家シリーズ 夏原新展 光學劇場 大阪府立現代美術センター

時間の虹 港 千尋

アートツアー・イン青森 成田亨が残したもの 七戸町立鷹山宇一記念美術館

残したものと残されたもの 工藤 健志

「山勇」のこと 大池亜希子

シンボジウム「怪物、特撮、そして美術—成田芸術の理解のために」 藤川 桂介、樋口 真嗣、榎本 野衣、バネリスト 工藤 健志、司会 成田 流里、ゲスト

第6回倉吉：緑の彫刻賞受賞記念展

西雅秋・深井隆・鮎内佐斗司 倉吉博物館

第6回受賞記念展によせて 澄川 喜一

第6回倉吉：緑の彫刻賞を迎えて 前田 明範

あかり イサム・ノグチが作った光の彫刻 東京国立近代美術館

あかり—イサム・ノグチが作った光の彫刻 木田 拓也

野町和嘉写真展 祈りの大地 平塚市美術館

自然と神への真摯な祈り 野町 和嘉

精神世界のアトラスとして—野町和嘉の核心 平木 収

野見山暁治展 東京国立近代美術館他

野見山暁治の「絵画」—降りてくる 市川 政憲

野見山暁治—生成する絵画 都築千重子

ハ 行

時代ヲ撃テ！橋本章展 福島県立美術館

こまったものだ 橋本 章

橋本章の芸術—生きること・描くこと 酒井 哲朗

橋本章—その作品の展開 真柴 毅

ゆらぎのなかで—橋本章の1960年代 堀 宜雄

橋本章久展—プライベート・パノラマ— INAXギャラリー

未体験遊泳 入澤 ユカ

浮世絵師初代長谷川貞信が描いた幕末・明治の大阪—「水の都」の原風景— 大阪城天守閣

父四世貞信 長谷川貞信

秦テルヲの軌跡 デカダンから光明へ—そして竹久夢二・野長瀬晩花・戸張孤雁— 笠岡市立竹喬美術館他

秦テルヲの足跡を辿って 島田 康寛

秦テルヲのデカダン 上蘭 四郎

テルヲの東京—漂泊の果てに光明を視た 野地耕一郎

今日の作家シリーズ 八田豊展—磁場の生まれるところ 大阪府立現代美術センター

八田豊と北陸の現代美術 中塚 宏行

浜口陽三・南桂子展 詩との出会い 練馬区立美術館

ある交友 野見山暁治

浜口陽三の芸術について 土方 明司

ハマグチの秘密 大岡 信

南桂子の作品世界 土方 明司
について
少女 谷川俊太郎
林功の世界展 古典に学んだ日本画
家の軌跡 そごう美術館
林功画伯を偲ぶ 高田 良信
思い出 中島 千波
古画を写すという
こと—林功の模写 森谷 美保
制作の意義
クリテリオム56 原倫太郎 水戸芸
術館現代美術ギャラリー
変換される現実 窪田 研二
フランス・ハルスとハールレムの画
家たち 新潟県立万代島美術館他
1580—1700年 の ビーテル・
ハールレム ビースプー
ル
天才フランス・ハ
ルス “
ハールレム・マニ
エリスムとファ
ン・マンデルの絵
画観 中村 俊春
「導きの星」ユ
ディット・レイス
テル—女性画家の
制作環境 今井 有
オランダの市民隊
について—ハール
レムを中心に 高橋 弘樹
ピカソ・クラシック 1914—1925
上野の森美術館
ピカソ・クラシッ
クの誘惑 多用な
るものの融合 大高保二郎
変貌する作品 ドミニク・
デュビュ
イ=ラベ
ピカソと古代美術 バトリス・
トリブー
ピカソとフランス
美術の伝統 アンヌ・コ
ロン
ピカソ、サティ、
コクトー：「パ
ラード」への道 岡村多佳夫
ピカソ、1914年以
降のキュビズム 坂元 暁美
ピカソとマチス 1930—40年代の版
画を中心に 埼玉県立近代美術館
ピカソからマチス
へ 一枚の静物画 平野 到
をめぐって
舞踏家土方巽抄 肉体のシュルレア
リスム 川崎市岡本太郎美術館
恩寵と重カ—人形
振りの土方巽— 種村 季弘

土方巽と暗黒舞
踏—見出された肉
体 國吉 和子
土方巽の怪奇な輝
き 石原慎太郎
オブジェを噛みく
だく肉体の叛乱—
現代美術と土方巽
原罪の処理場とし
てのキャンパス、
そして舞台 水谷 勇夫
【土方巽を語る】意
識の変革を目指し
た舞踏家 笠井 叡
稲妻を借着して—
土方巽と瀧口修
造、そして詩人た
ち 鶴岡 善久
〈風の関節を折る〉
言葉と舞踏 宇野 邦一
アスベスト館 過
激アヴァンギャル
ドの拠点 元藤 燐子
土方巽と岡本太郎
と、それから土方
巽抄—一歩にかえ
て 村田慶之輔
「肉体のシュルレ
アリスム 舞踏家
土方巽抄」展付記 楠本 亜紀
菱田春草展 愛知県美術館
菱田春草晩年の芸
術—一点の《落葉》
をめぐって— 村田 真宏
ダニエル・ビュレン 移行 | 場 / 作
品 豊田市美術館
展覧会について ダニエル・
ビュレン
ダニエル・ビュレ
ン—8.7cmの介入 大館奈津子
ダニエル・ビュレ
ン 移行 | 場 / 作
品 北川 智昭
平賀源内展 東京都江戸東京博物館
他
接近と交錯—平賀
源内とヨーロッパ
啓蒙期の科学 芳賀 徹
平賀源内の実像に
近づくための新し
い断片 藤田 彰一
源内焼 平賀源内のまなざし 五島
美術館他
近世陶磁の展開と
源内焼 仲野 泰裕
源内焼の地図皿に
ついて 三好 唯義
三彩陶器「源内焼」
と「交趾焼」との関
係について 砂澤 祐子

平櫛田中の全貌展 近代日本木彫界
の最高峰 井原市立田中美術館
日本彫刻の至宝 栗田 勇
平櫛田中論
平野杏子展 アート七変化 池田20
世紀美術館
アート七変化—平
野杏子展—に寄せ 林 紀一郎
ご挨拶 平野 杏子
平福百穂展 没後70年 秋田県立近
代美術館
ゆるぎなき画境の
高み 画人平福百 山本 丈志
穂
平福百穂年譜 “
日和崎尊夫と鑿の会 高知県立美術
館
カルバは駆けぬ
け—日和崎尊夫 鍵岡 正謹
人と作品—
詩へのオマ— 影山 千夏
ジュ—詩人 日和
崎尊夫
第6回倉吉：緑の彫刻賞受賞記念展
西雅秋・深井隆・藪内佐斗司 倉吉
博物館
深沢幸雄銅版画展 伊丹市立美術館
「銅版画にロマン
を賭けて」—ノー
ト的に 柳生不二雄
思いつくままに 深沢 幸雄
福島誠展 生活空間のかたち 多摩
美術大学美術館
絵はこころを語
る—有機的生活空
間の成立をめざし
て 長峰八州男
栗野ユミト・藤阪新吾展 知覚スル
装置 川崎市岡本太郎美術館
ふたつの重要文化財 藤島武二《天
平の面影》と雪舟《四季山水図》 石
橋美術館
イ・クトゥット・ブディアナ展 魔
境を幻視するバリ島絵画 東京ス
テーションギャラリー
私の作品にながれ
ている哲学 イ・ク
トゥット・ブ
ディアナ
クトゥット・ブ
ディアナ ジャン・ク
ト—
眠るイメージの
祝祭 伊藤 俊治
脳と遺伝子を直撃
する図像 大橋 力
バリ島絵画小史 河合 徳枝

舟越桂展 東京都現代美術館他

作家の言葉	舟越 桂
舟越桂一水の中の肖像、山としての人間	塩田 純一
異形なるものをめぐって	杉村 浩哉
言葉によるドローイング—舟越桂の作品タイトルについての一考察	森 千花
舟越桂—ひとがたと聖像	帯金 章郎

ハンナ・ヘーヒ1889—1978 コラージュ 伊丹市立美術館他

伝記と資料	ゲッツ・アドリアーニ
ハンナ・ヘーヒの作品における図像象徴	エバーハート・ロータース
ハンナ・ヘーヒ、疑問符付きの「しっかり娘」	カーリン・トーマス
ハンナ・ヘーヒのカラージュの逆説と詩情	ペーター・クリーガー

オーストラリア現代工芸3人展：未知のかたちを求めて[キャサリン・トルーマン/ロビン・ベスト/スー・ロレイン] 東京国立近代美術館工芸館他

細谷玉江油彩新作展〈空の旅人〉 東邦画廊

コバルトブルーと火花のあいだで	末永 照和
空の旅人によせて	細谷 玉江

ポール・ホリウチ展—シアトルに渡った日本の感性— 山梨県立美術館

内より出ずる光—ポール・ホリウチの芸術をたどって—	中根 和子
ポール・ホリウチと日本—静寂と調和を求めて—	神野 真吾

堀内正和の世界展 神奈川県立近代美術館他

堀内さんはえらい	加藤 貞雄
堀内正和—こころの遺産	堀内 淳子
堀内正和の彫刻—思考と手わざの間	尾崎信一郎
知的な遊び—ペーパー・スカルプチュアを中心に	長門 佐季

マ 行

眞板雅文 音・竹水の関—大原美術館 大原美術館

竹と風と眞板マジック—眞板雅文展を彩った人達—	大原謙一郎
自然のなかの造形の詩	高階 秀爾

牧野虎雄展 上越市立総合博物館

牧野虎雄回顧	瀬木 慎一
牧野虎雄一人と作品	笹川 修一

政木貴子・園田珠子・信貴結子3人展 現代郷土作家展 同じ播磨に暮らして 姫路市民ギャラリー

眞島直子展 地ごく楽 art space kimura ASK?

地への喝采—眞島直子に	新見 隆
-------------	------

ピカソとマチス 1930—40年代の版画を中心に 埼玉県立近代美術館

郷土出身作家シリーズ 松村秀太郎 関長造 小柳津三郎 院展彫塑部で活躍した富山の彫刻家たち 富山県民会館美術館

松本英一郎 Works1968—2001 多摩美術大学美術館

風景が風景であること	本江 邦夫
------------	-------

鶴岡政男と松本竣介 画家の動と静 大川美術館

円山応挙 〈写生画〉創造への挑戦 大阪市立美術館他

応挙の生涯—その人たるも温雅愛すべし—	佐々木丞平
---------------------	-------

応挙の芸術世界—一生を写し気を描く—	佐々木正子
--------------------	-------

浜口陽三・南桂子展 詩との出会い 練馬区立美術館

三代藍堂・宮田宏平展 新潟県立近代美術館

三代宮田藍堂の鍍金工芸—変わらぬものへの共鳴—	樋田豊次郎
-------------------------	-------

佐渡鍍金型鍍金の系譜—初代本間琢斎から三代藍堂・宮田宏平まで—	小見 秀男
---------------------------------	-------

～内なる美～ 宮田宏平アークセサリー・オブジェについての聞き書き	小西 珠緒編
----------------------------------	--------

武蔵 武人画家と剣豪の世界展[宮本武蔵] 東京都江戸東京博物館他

宮本武蔵と武人画家	守安 収
武器と武士道—『五輪書』の時代	小笠原信夫
小倉以後の宮本武蔵	島田 真祐
吉川英治『宮本武蔵』について	城塚 朋和

ミレー3大名画展 ヨーロッパ自然主義の画家たち Bunkamura ザ・ミュージアム他

自然主義の再来、あるいは「バーチャル・リアリティ」の復権	ゲイブリエル・P・ワイズバーグ
------------------------------	-----------------

名もなき人々の尊厳 ジャン＝フランソワ・ミレーから19世紀末の自然主義の画家たちまで	ヘルウィック・トッツ
--	------------

ミレーとヨーロッパ18月暦図の伝統	木島 俊介
-------------------	-------

ミレーとバルビゾン派の作家たち展 大丸(札幌)他

ミレーとバルビゾン派の画家たち	飯田 昌平
-----------------	-------

ミロ展 生命を謳う版画 芸術の森美術館他

ミロの宇宙の生成	中村 隆夫
三輪和彦 白の稜線展	三越(日本橋)

土に「斬り込む」—三輪和彦の新作	外館 和子
------------------	-------

棟方志功—北国の睡り、南国の醒め—生誕百年記念 大原美術館

縄文的バロックの世界	高階 秀爾
------------	-------

棟方志功 膂炙する疾風迅雷の芸業	滝沢 恭司
------------------	-------

棟方志功—わだばゴッホになる一生 誕100年記念 宮城県美術館他

生誕100年記念展に寄せて	棟方 令明
---------------	-------

小澤征爾氏、棟方志功を語る。	小澤 征爾 芳野 潔 イン タ ビュー
----------------	------------------------------

棟方志功『歓喜頌』頌歌	木島 俊介
-------------	-------

棟方志功とニュー・ヨークとピカソ	掛谷 清子
------------------	-------

筆から彫刀へ—棟方板画の「線」	三上 満良
-----------------	-------

《柳緑花紅頌》をめぐって〜棟方志功の装飾性〜 吉田 俊英
棟方志功と青森 武田 公平
SHUNJI MURAI Child Work ヒノギャラリー
絵画の垂直降下、あるいは村井俊二のために 本江 邦夫
コマル&メラミッドの傑作を探して 川村記念美術館
最上壽之展 横須賀市文化会館市民ギャラリー
最上壽之さんの最新作について 本江 邦夫
新作寸感 原田 光
前に出る影 “ドウシヨウモナイモノヲ モノニスル”ヨコスカ生まれのヨコスカ育ち。
最上壽之ノート 石渡 尚
モネと印象派の画家たち 高知県立美術館他
印象派とパリ近郊の風景—近代化の二つの側面をめぐって— 三浦 篤
クロード・モネ—自然への眼差し 蔦谷 典子
モネのデコラティーフ—山脇信徳の思索から— 鍵岡 正謹
モネ、ルノワールと印象派展 広島県立美術館他
モネとルノワール—印象主義の二つの系譜— 木島 俊介
ヴェネツィアと印象派—幻影との対話— 松田 弘
森田茂展 しもだて美術館
森田芸術に思う 加藤 貞雄
森田茂追憶と出立 飯泉 俊夫
ニセアカシアの秘密—修復者の目で見た森田茂— 森 直義
森山大道1965—2003 光の狩人 島根県立美術館他
過去と未来のあいだで 森山 大道
東京工芸大学「写大ギャラリー・森山大道コレクション」について 細江 英公
光の狩人 森山大道1965—2003 蔦谷 典子

森山大道—「等価」の詩学 深川 雅文
森山大道—北の旅から 地家 光二

ヤ 行

安田侃の世界—天にむすび、地をつなぐ— 北海道立近代美術館

精神が形となるとき—《意心帰》の世界 佐藤 友哉

アルテピアッツァ美唄—一心に帰る空間 柴橋 伴夫

安田侃の感覚界—フォルムの系譜から 久米 淳之

ヤノベケンジ アトムスーツ サヴァイヴァル・リヴァイヴァル 北九州市立美術館

ヤノベケンジとアトムスーツ/永遠の時間旅行 大久保 京

大阪万博とMEGALOMANIA—解体から再生へ— 平芳 幸浩

「アトムスーツ サヴァイヴァル・リヴァイヴァル」 花田 伸一

第6回倉吉：緑の彫刻賞受賞記念展 西雅秋・深井隆・飯内佐斗司 倉吉博物館

山口薫展 東京ステーションギャラリー

山口薫とその時代—青春の日々 阿部 信雄

山口薫の詩情 黒田 亮子

版画家山口進展 没後20周年 伊那谷から世界を目指して 長野県伊那文化会館

土蔵は楽天地 山口 歩

版画回想 山口 進

山口進、その生涯と版画史における位置づけ 岸田 恵理

平和美術展7回 吉野誠・山本美次 **生命を凝視めて** はつかいち美術ギャラリー

§ 作家の言葉 § 吉野 誠

” 山本 美次

結田信展 佐倉市立美術館

自由三味のひと 西嶋 俊親

結田信さんとの出会い 高橋 凡平

猫の想い出 結田 キミ

第二の故郷・佐倉 木邨かおり

ユトリ口展 生誕120年記念 大丸ミュージアムKOBHE他

ユトリ口の風景画が語るもの 中村 隆夫

尹錫男展[ユン・ソクナム] 鎌倉画廊

ユン・ソクナムの女性像 池田 忍

横尾byヨコオ：描くことの悦楽—イメージの遍歴と再生[横尾忠則]

京都国立近代美術館
展覧会について 河本 信治

横田七郎展 誰も気が付かなかった彫りの美を求めて 平塚市美術館

横田七郎の日本美術院彫塑部時代—こういうものにも美はある— 千田 敬一

父の思い出—彫刻家の時々父親— 横田 八郎

「静けさ」と「心」の作家—横田七郎をいたんで— 勝山 滋

蕪村 没後220年—逸翁美術館・柿衛文庫にみる[与謝蕪村] 逸翁美術館他

生涯と書 岡田 彰子

蕪村の俳画 岡田利兵衛

蕪村の俳諧 田中 道雄

蕪村と兵庫の門人 岡田 麗

吉川民仁展 鎌倉画廊
「大海の独り旅」 金澤 毅

平和美術展7回 吉野誠・山本美次 **生命を凝視めて** はつかいち美術ギャラリー

吉野誠の世界 よみがえる乾板写真 流山市立博物館

日本における芸術写真の成立と吉野 金子 隆一

米田知子 記憶と不確実さの彼方 資生堂ギャラリー

序文 豊田 佳子

歴史への視線 多木 浩二

ラ 行

ヴォルフガング・ライブ展 東京国立近代美術館他

序言 ウルブラ・ツェラー

ヴォルフガング・ライブ—生命の家 松本 透

とある庭にて、この世は滅し、とある庭にて、この世は救われん。

ヴォルフガング・ライプ パーバラ・カトワール

語りえぬもののことば—ヴォルフガング・ライプの作品における自然美の回帰に寄せて ハラルト・ゼーマン

無時間性—まったく別の何かの始まり ヴォルフガング・ライプ
ネクミ・ゼンメツ
対話

ヴォルフガング・ライプ 豊田市美術館

ライプ、あるいは確かさについて 金井 直

ジョルジュ・ルオー モノローグ 魂の独白 茨城県近代美術館

ルオー：人と芸術 千足 伸行

出光 佐三と《受難》、そして《ミセレーレ》—出光美術館のルオー・コレクションの形成について 八波 浩一

版画とルオー 井野 功一

モネ、ルノワールと印象派展 広島県立美術館他

ヴィルヘルム・レームブルック展 芸術の森美術館他

あいさつにかえて—わたしは「炎」をみた 酒井 忠康

ヴィルヘルム・レームブルック—「彫刻は事物の本質」 クリストフ・ブロックハウス

レームブルックとその時代 西村 勇晴

いまなお生成しつつある影—ヴィルヘルム・レームブルック受容の視点から 水沢 勉

「ピエタ」の情動 寺門臨太郎

落下と飛翔—レームブルックとヘルダーリン 江尻 潔

鏡面ガラスの中のトルソー—1920年代における芸術の諸相に照らして 後藤 文子

レンブラントとレンブラント派 聖書、神話、物語 国立西洋美術館

物語作家レンブラント／肖像画家レンブラント—展覧会に寄せて 幸福 輝

レンブラントの世界における宗教画 フォー・マヌート

かつてのレンブラントの「名作」—《聖家族》の受容史 ターコ・デイビッツ

レンブラントの弟子たちの物語画における模倣と独創性 ジョナサン・ピッケル

聖書・神話主題をもつレンブラントのエッチング—絵画との関連性をめぐって エリック・ヒンテルディン

アドルフ・ロース+F.O.シュミット

工房展 知と匠のコラボレーション

武蔵野美術大学12号館

壁付家具が語るロースのデザイン 島崎 信

武蔵野美術大学に宿るロースの夢 長尾 重武

マリー・ローランサン回顧展 生誕

120周年 せんだいメディアテーク他

美しい成功の物語 阿部 良雄

序論 ダニエル・マルシェッソー

マリー・ローランサン—女性、装飾、絵画 天野 知香

アール・デコの時代とマリー・ローランサン—装飾 デコ ドゥール 美術家たちを魅了したローランサンのアラベスク 高波真知子

粧う「わたくし」—ローランサンの初期ポートレートに見る「現実」と「仮想」のモード 橋本 優子

マリー・ローランサンと日本—日本人は、どこまでたどり着いたか 柳沢 秀行

文学的ローランサンと戦後の季節 山田 俊幸

コレククター—美術品収集家から見たマリー・ローランサン 吉澤 公寿

オーストラリア現代工芸3人展：未知のかたちを求めて[キャサリン・トルーマン/ロビン・ベスト/スー・ロレイン] 東京国立近代美術館工芸館他

ワ行

若山八十氏展 なつかしのガリ版！ 孔版画のパイオニア 町田市立国際版画美術館

若山八十氏 孔版 画にかけた人 滝沢 恭司

団体展

VOCA展2003 上野の森美術館

選評 高階 秀爾

選考所感 酒井 忠康

選考評 建昌 哲

ふたたび空虚について 本江 邦夫

「VOCA展2003」選考所感 笠原美智子

現代童画展29回 東京都美術館

第29回現代童画展によせて 安井 収蔵

物 故 者

索 引 (50音順)

青木雄二(漫)	9月5日	58歳)		西村公朝(彫)	12月2日	88歳).....306
秋山庄太郎(写)	1月16日	82歳).....295		長谷川公之(評)	6月15日	77歳)
芦原義信(建)	9月24日	85歳).....303		深作欣二(その他)	1月12日	72歳)
穴澤一夫(学)	5月13日	77歳).....299		福田恒太(その他)	4月14日	78歳)
池谷朗(写)	7月7日	69歳)		藤沢一夫(学)	11月3日	91歳)
伊住宗晃(その他)	2月2日	44歳)		前田竹房斎(工)	3月12日	85歳).....297
伊藤行(学)	4月21日	82歳)		松井康成(工)	4月11日	75歳).....298
梅津五郎(洋)	7月28日	83歳)		松田定次(その他)	1月20日	96歳)
圓鏑勝三(彫)	10月31日	97歳).....304		松本修自(学)	7月2日	52歳).....300
遠藤楽(建)	7月24日	76歳)		真野善一(デ)	12月20日	87歳)
大溪洗耳(書)	5月14日	70歳)		峯孝(彫)	4月10日	89歳).....297
岡本謙次郎(評)	10月5日	84歳)		守屋多々志(日)	12月22日	91歳).....307
奥田元宋(日)	2月15日	90歳).....296		柳悦孝(工)	8月20日	92歳)
風間完(洋)	12月27日	84歳).....307		柳澤孝(学)	9月6日	77歳).....301
加藤達美(工)	1月6日	74歳)		山中清一郎(洋)	3月29日	91歳)
加藤有次(学)	11月11日	71歳)		山中雪人(日)	6月5日	83歳).....300
川上景年(書)	4月28日	99歳)		山根赤鬼(漫)	6月24日	67歳)
菊地養之助(日)	12月15日	95歳).....306		山本忠敬(その他)	1月14日	86歳)
木嶋延幸(彫)	7月22日	87歳)		由木礼(版)	11月26日	75歳).....305
木村真太郎(書)	7月18日	78歳)		横須賀功光(写)	1月14日	65歳)
木村定三(美関)	1月21日	89歳).....295		横山まさみち(漫)	10月14日	73歳)
久保田一竹(工)	4月26日	86歳).....298		吉武泰水(建)	5月26日	86歳)
小金丸幾久(彫)	3月6日	87歳)		与那嶺貞(工)	1月30日	94歳).....296
小玉光雄(洋)	12月27日	80歳)		若林奮(彫)	10月10日	67歳).....303
後藤武久(洋)	12月1日	71歳)		渡邊武夫(洋)	9月11日	87歳).....302
斎藤求(洋)	12月24日	96歳)				
桜井昌一(漫)	4月4日	70歳)				
佐宗美邦(漫/洋)	4月27日	89歳)				
沢田俊一(洋)	6月22日	77歳)				
鹿田淳史(彫)	4月14日	44歳)				
下村一夫(その他)	3月10日	82歳)				
城ノ口み糸(工)	1月16日	86歳).....295				
関野雄(学)	7月23日	88歳)				
田崎昭作(洋)	1月17日	74歳)				
伊達宗泰(学)	4月13日	76歳)				
田村義也(その他)	2月23日	79歳)				
辻志郎(彫)	3月13日	70歳)				
辻村八五郎(洋)	10月19日	89歳)				
都竹伸政(洋)	6月1日	89歳)				
椿悦至(洋)	11月4日	89歳)				
仲田光成(書)	7月20日	104歳)				
西嶋武司(工)	11月5日	74歳)				
西村功(洋)	12月1日	80歳).....305				

物故者(平成15年)

凡例:

1. 索引に掲載された物故者の氏名は、平成15年中に没した美術家、及び関係者であり、50音順に配列した。
2. ()内には、職種、死亡月日、享年の順に記載した。
3. 職種は、下記のように略記した。
日:日本画家、洋:洋画家、版:版画家、彫:彫刻家、工:工芸家、デ:デザイナー、映C:映像・CG作家、漫:漫画家、書:書家、写:写真家、建:建築家、学:美術史研究者等、評:美術評論家、美関:美術関係者、その他:絵本作家・イラストレーター等、美:美術家(前記の範疇に属さず、現代美術において従来の表現形式にとらわれない創作活動をした者)
4. 記事が掲載されている物故者については、索引の氏名の横に掲載ページを示した。記事は死亡月日順に掲載した。
5. 各記事末尾の〈 〉内は、その記事の執筆者の姓を示す。それぞれの姓名・所属は下記の通りである。

今井—今井 陽子	東京国立近代美術館工芸館
木田—木田 拓也	東京国立近代美術館工芸館
北村—北村 仁美	東京国立近代美術館工芸館
小林—小林未央子	東京文化財研究所美術部
皿井—皿井 舞	東京文化財研究所協力調整官—情報調整室
塩谷—塩谷 純	東京文化財研究所美術部
田中—田中 淳	東京文化財研究所美術部
津田—津田 徹英	東京文化財研究所美術部
富田—富田 康子	東京国立近代美術館工芸館
増田—増田 玲	東京国立近代美術館
松本—松本 透	東京国立近代美術館
諸山—諸山 正則	東京国立近代美術館工芸館
山梨—山梨絵美子	東京文化財研究所協力調整官—情報調整室

「物故者」 ページ (295～308 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.295-308)

Cut for protection of the personal information


~~~~~  
印 刷 平成 18 年 3 月 31 日

発 行 平成 18 年 3 月 31 日

---

日 本 美 術 年 鑑

—— 平成 16 年 版 ——

編集者 東京文化財研究所美術部

発行者 独立行政法人文化財研究所  
東京文化財研究所  
東京都台東区上野公園 13-43  
電 話 (03) 3823-2241

印 刷 独立行政法人 国立印刷局  
東京都港区虎ノ門 2-2-4  
電 話 (03) 3587-4283~4

~~~~~  
出版助成：東京美術商協同組合寄付金